



29 原機（再）067

平成 30 年 2 月 28 日

原子力規制委員会 殿

住 所 茨城県那珂郡東海村大字舟石川 765 番地 1  
申請者名 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
代表者の氏名 理事長 児玉 敏雄



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所  
再処理施設に係る廃止措置計画認可申請書の一部補正について

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 50 条の 5 第 2 項の  
規定に基づき、平成 29 年 6 月 30 日付け 29 原機（再）009 をもって認可を申請  
した核燃料サイクル工学研究所 再処理施設に係る廃止措置計画について、下  
記のとおり一部補正いたします。

#### 記

一. 氏名又は名称及び住所並びに代表者の氏名

氏名又は名称 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
住 所 茨城県那珂郡東海村大字舟石川 765 番地 1  
代表者の氏名 理事長 児玉 敏雄

二. 廃止措置に係る工場又は事業所の名称及び所在地

名 称 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
核燃料サイクル工学研究所  
所 在 地 茨城県那珂郡東海村大字村松 4 番地 33

三. 廃止措置対象施設及びその敷地

1 廃止措置対象施設の範囲及びその敷地

核燃料サイクル工学研究所の再処理施設（以下「再処理施設」という。）  
の敷地は、茨城県那珂郡東海村の南東端の平坦地に位置し、東側は太平洋に

面しており，その敷地面積は約 15 万平方メートルで，敷地はほぼ台形状の部分とその南側にのびる帯状の部分とからなっている。

廃止措置対象施設の範囲は，再処理の事業の指定があつたものとみなされた再処理施設全施設である。再処理事業指定申請及び再処理事業指定変更申請の経緯等を表 3-1 及び表 3-2 に示す。また，主要な廃止措置対象施設を表 3-3，再処理施設の敷地及び廃止措置対象施設の配置を図 3-1，廃止措置対象施設の建家平面図等を図 3-2 に示す。

## 2 廃止措置対象施設の状況

### 2.1 施設の概要

再処理施設において再処理を行う使用済燃料は，軽水型原子炉及び新型転換炉原型炉等の使用済燃料である。

なお，再処理施設の再処理能力は，溶解施設の濃縮ウラン溶解槽の基数が 2 基の場合，軽水型原子炉使用済燃料の低濃縮ウラン燃料について，年間最大 210 トン(金属ウラン換算)，1 日当たり最大 0.7 トン(金属ウラン換算)である。

### 2.2 施設の運転履歴

再処理施設は，昭和 46 年 6 月に建設に着工し，昭和 52 年 9 月にホット試験を開始，昭和 55 年 12 月に使用前検査合格証を受領，昭和 56 年 1 月から本格運転を開始した。平成 19 年 5 月までに約 1,140 トンの使用済燃料を再処理してきた。

平成 18 年 9 月 19 日に再処理施設においても参照している「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」が改訂されたことに鑑み，再処理の運転を停止し，耐震バックチェック評価を行い，耐震性向上工事を進めてきた。

平成 23 年 3 月の東北地方太平洋沖地震の発生後は，施設の潜在的ハザード<sup>\*1</sup>の低減のため，保有しているプルトニウム溶液及び高放射性廃液の固化・安定化を図ることとし，平成 26 年 4 月から開始したプルトニウム転換技術開発施設(PCDF)におけるプルトニウム溶液の固化・安定化については，平成 28 年 7 月までに終了した。同じく平成 28 年 1 月から開始したガラス固化技術開発施設(TVF)における高放射性廃液の固化・安定化については，継続して進めており，ハザードの低減に努めている。

一方，平成 25 年から平成 26 年にかけて実施した国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）改革における事業の重点化・合理化に係る検討の結果，再処理施設については，新規制基準の施行を踏まえた費用対効果を勘案し，使用済燃料のせん断，溶解等を行う一部施設

の使用を取りやめ、平成 27 年度以降の中長期目標期間中に廃止措置計画を認可申請する方向で検討を進めることとした<sup>※2</sup>。

現在、再処理施設は、再処理設備本体<sup>※3</sup>から通常の方法によって核燃料物質を回収した状態で安定に維持している。また、使用済燃料を分離精製工場(MP)の貯蔵プールに、再処理により回収したウラン製品をウラン貯蔵所(U03)、第二ウラン貯蔵所(2U03)及び第三ウラン貯蔵所(3U03)に、ウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)粉末をプルトニウム転換技術開発施設(PCDF)の貯蔵ホールにそれぞれ貯蔵しているなど、複数の施設において放射性物質等をそれぞれ定められた様々な状態で保有している。

再処理に伴いこれまでに発生した放射性廃棄物のうち、特にリスクの高い高放射性廃液は、主に高放射性廃液貯蔵場(HAW)に貯蔵しており、ガラス固化技術開発施設(TVF)に移送し、安全確保に万全を期しつつ、できる限り早期に固化・安定化を図っていく。

低放射性廃液のうち低放射性濃縮廃液は、主に廃棄物処理場(AAF)、第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z)、第二スラッジ貯蔵場(LW2)、アスファルト固化処理施設(ASP)及び低放射性濃縮廃液貯蔵施設(LWSF)に貯蔵しており、今後、整備する低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)にてセメント固化することを計画している。低放射性廃液のうち廃溶媒は、主に廃棄物処理場(AAF)、スラッジ貯蔵場(LW)及び廃溶媒貯蔵場(WS)に貯蔵しており、現在保有しているリン酸廃液を低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)においてセメント固化したのち、廃溶媒処理技術開発施設(ST)において廃溶媒をドデカンとTBPに分離し、回収したTBPをプラスチック固化する。

また、高放射性固体廃棄物貯蔵庫(HASWS)には、高線量のハル・エンドピースを収納したハル缶や使用済フィルタ類等をセル内に不規則に貯蔵しており、廃止措置計画の変更認可を受けたのち、廃棄物を取り出す設備を新たに設置し、新規に建設する貯蔵施設(HWTF-1)に搬出することを計画している。

※1：ハザードとは危険性又は有害性のことであり、リスクとは危険性又は有害性によって生ずるおそれのある有害な結果及び発生する可能性の度合のこと。

※2：「日本原子力研究開発機構改革報告書」（平成 26 年 9 月 30 日）より引用。

※3：再処理設備本体とは、せん断処理施設、溶解施設、分離施設、精製施設、脱硝施設、酸及び溶媒の回収施設を示す。

## 2.3 施設の状況

### (1) 使用済燃料、核燃料物質の状況

再処理施設における使用済燃料及び核燃料物質の存在場所ごとの種類

及び数量を表 3-4 に、回収可能核燃料物質の存在場所ごとの保有量を表 3-5 に示す。分離精製工場(MP)の貯蔵プールには使用済燃料を、ウラン貯蔵所(U03)、第二ウラン貯蔵所(2U03)及び第三ウラン貯蔵所(3U03)には三酸化ウラン粉末(以下「ウラン製品」という。)を、プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)にはウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)粉末をそれぞれ貯蔵中である。これらの管理及び譲渡しの方法については、「七. 使用済燃料、核燃料物質及び使用済燃料から分離された物の管理及び譲渡しの方法」に示す。

## (2) 放射性廃棄物の状況

再処理施設から発生する放射性廃棄物のうち、気体廃棄物及び液体廃棄物は、それらの性状に応じて放射性物質の濃度及び放出量を低減する措置を行い、再処理施設保安規定に定める基準を超えないよう管理し、気体廃棄物については、主排気筒、第一付属排気筒及び第二付属排気筒から排出し、液体廃棄物については、海中放出設備の放出管を通じて海中に放出している。

液体廃棄物のうち、高放射性廃液は、施設内に貯蔵しており、適宜ガラス固化している。また、蒸発処理後の低放射性濃縮廃液は、アスファルト固化処理施設火災・爆発事故以降、固化・安定化しないまま、現在も施設内に貯蔵している。また、再処理施設から発生した固体廃棄物のうち可燃性廃棄物及び難燃性廃棄物(ゴム製 RI 手袋)の一部は、焼却したのち放射性廃棄物の貯蔵施設に貯蔵しており、不燃性廃棄物は、放射能レベルの区分や性状に応じて放射性廃棄物の貯蔵施設に貯蔵している。

再処理施設に貯蔵している放射性液体廃棄物及び放射性固体廃棄物について、貯蔵場所ごとの種類と貯蔵量を表 3-6 及び表 3-7 に示す。

これらの廃棄に係る計画については、「九. 使用済燃料、核燃料物質若しくは使用済燃料から分離された物又はこれらによって汚染された物の廃棄」に示す。

## (3) 施設の汚染状況

再処理施設は、構造、形状、材質等が多種多様な設備・機器から構成されており、原子炉のような材料の放射化はほとんど見られないが、化学形態、物理形態の異なるウラン、プルトニウム、核分裂生成物等の放射性物質が材料に付着し、再処理施設各工程に分散して存在しており、放射性物質の取扱いによって汚染が考えられる区域は、管理区域に設定し管理している。特に放射能濃度が高い放射性物質を内包する設備・機器等が設置

されているレッド区域等は、比較的放射能レベルが高い汚染がある。再処理施設の管理区域を図 3-3 に示す。今後、廃止措置の進捗に応じて、適宜詳細に汚染状況を調査する。これらの汚染の除去方法等については、「八. 使用済燃料又は核燃料物質による汚染の除去」及び「添付書類五 使用済燃料又は核燃料物質による汚染の分布とその評価方法に関する説明書」に示す。

#### (4) 施設の管理状況

##### 1) 先行して廃止措置に着手する施設

###### ①分離精製工場(MP)

分離精製工場(MP)には、せん断装置、濃縮ウラン溶解槽、抽出器、プルトニウム溶液蒸発缶、ウラン溶液蒸発缶、酸回収蒸発缶、高放射性廃液蒸発缶等が設置されている。

回収可能核燃料物質を再処理設備本体から取り出していない状態で維持しており、機器・設備に残存する放射性物質が飛散・拡散しないよう換気により負圧バランスを確保している。また、使用済燃料は、臨界にならないよう使用済燃料の面間距離を確保した状態で貯蔵プールに貯蔵している。その他、プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)等から発生する放射性気体廃棄物を主排気筒に送気する系統や放射性液体廃棄物を廃棄物処理場(AAF)に移送する系統については、各施設の廃止措置に応じて継続して使用しており、その間は換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

先行して廃止する本施設は、後述する工程洗浄を行った後、核燃料物質の分離、精製は行わない。

###### ②ウラン脱硝施設(DN)

ウラン脱硝施設(DN)には、UNH貯槽、蒸発缶(第2段)、脱硝塔等が設置されている。

回収可能核燃料物質を再処理設備本体から取り出していない状態で維持しており、機器・設備に残存する放射性物質が飛散・拡散しないよう換気による負圧バランスを確保している。その他、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

ウラン製品は、ウラン貯蔵所(U03)、第二ウラン貯蔵所(2U03)、第三ウラン貯蔵所(3U03)に搬出している。

先行して廃止する本施設は、後述する工程洗浄により回収されるウ

ランを脱硝し搬出した後、ウラン脱硝は行わない。

### ③プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)

プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)には、硝酸ウラニル貯槽、硝酸プルトニウム給液槽、脱硝加熱器、焙焼還元炉等が設置されている。

使用済燃料の再処理終了後、ハザードの低減を目的に、プルトニウム溶液の固化・安定化を図っており、転換したウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)粉末は、適宜、プルトニウム燃料技術開発センターに搬出している。

貯蔵中のウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)粉末は、これまでの管理と同様に、臨界にならないよう貯蔵ホールにより面間距離を確保した状態で管理している。また、機器・設備に残存する放射性物質が飛散・拡散しないよう換気による負圧バランスを確保している。その他、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を継続して維持している。

先行して廃止する本施設は、後述する工程洗浄により回収されるウラン及びプルトニウムを転換した後、ウラン及びプルトニウム転換は行わない。

### ④クリプトン回収技術開発施設(Kr)

クリプトン回収技術開発施設(Kr)には、反応器、クリプトン貯蔵シリンダ、キセノン貯蔵シリンダ等が設置されており、先行して廃止する本施設は、今後、クリプトン回収は行わない。

これまでの管理と同様に、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

## 2) 使用を継続する施設

### 2)-1 リスク低減に取り組む施設

#### ①高放射性廃液貯蔵場(HAW)

高放射性廃液貯蔵場(HAW)には、高放射性廃液貯槽等が設置されている。

高放射性廃液の受入れ・貯蔵及びガラス固化技術開発施設(TVF)への移送を行うため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、高放射性廃液をガラス固化技術開発施設(TVF)に全て移送した後、廃止に移行する。

#### ②ガラス固化技術開発施設(TVF)

ガラス固化技術開発施設(TVF)には、濃縮器、熔融炉、中放射性廃液蒸発缶等が設置されている。

使用済燃料の再処理で発生した高放射性廃液を熔融炉でガラス固化するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

高放射性廃液によるハザードを早期に低減するため、ガラス固化体の保管能力の増強及び新規保管施設の設置を考慮しつつ、12.5年(平成28年8月を起点)でガラス固化処理を完了することとしている。

本施設は、再処理施設から発生する高放射性廃液を全てガラス固化した後、廃止に移行する。

#### ③高放射性固体廃棄物貯蔵庫(HASWS)

高放射性固体廃棄物貯蔵庫(HASWS)には、ハル貯蔵庫、予備貯蔵庫等が設置されている。

高放射性固体廃棄物(雑固体廃棄物、ハル・エンドピース等)の貯蔵及び分析所(CB)から発生する高放射性固体廃棄物(分析廃ジャグ等)の受入れ・貯蔵を行うため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、高放射性固体廃棄物を新規に建設する貯蔵施設(HWTF-1)に全て搬出した後、廃止に移行する。

#### ④低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)

低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)には、スラリ蒸発缶、硝酸塩溶液蒸発缶、焼却炉等が設置されている。

現在、運転開始に向けて施設の整備等を進めている。

本施設は、再処理施設から発生する低放射性濃縮廃液及びリン酸廃液等の処理を終えた後、廃止に移行する。

### 2)-2 核燃料物質の保管・貯蔵施設

#### ①ウラン貯蔵所(UO3)

ウラン貯蔵所(U03)には、ウラン製品貯蔵設備等が設置されている。ウラン製品を貯蔵するため、施設を継続して使用しており、ウラン製品は、これまでの管理と同様に、臨界にならないようバードケージにより容器間距離を確保した状態で管理している。その他、放射線遮蔽機能を継続して維持している。

本施設は、ウラン製品を全て搬出した後、廃止に移行する。

#### ②第二ウラン貯蔵所(2U03)

第二ウラン貯蔵所(2U03)には、ウラン製品貯蔵設備等が設置されている。

ウラン製品を貯蔵するため、施設を継続して使用しており、ウラン製品は、これまでの管理と同様に、臨界にならないようバードケージにより容器間距離を確保した状態で管理している。その他、放射線遮蔽機能を継続して維持している。

本施設は、ウラン製品を全て搬出した後、廃止に移行する。

#### ③第三ウラン貯蔵所(3U03)

第三ウラン貯蔵所(3U03)には、ウラン製品貯蔵設備等が設置されている。

ウラン製品を貯蔵するため、施設を継続して使用しており、ウラン製品は、これまでの管理と同様に、臨界にならないよう貯蔵ピットにより容器間距離を確保した状態で管理している。その他、放射線遮蔽機能を継続して維持している。

本施設は、ウラン製品を全て搬出した後、廃止に移行する。

なお、使用済燃料を貯蔵している分離精製工場(MP)及びウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)粉末を保管しているプルトニウム転換技術開発施設(PCDF)は前述のとおり。

### 2)-3 低レベル放射性廃棄物<sup>※4</sup>の処理・貯蔵施設

#### ①第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS)

第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS)には、湿式貯蔵セル、乾式貯蔵セル等が設置されている。

再処理施設の各施設から発生する高放射性固体廃棄物(雑固体廃棄物、ハル・エンドピース等)を受入れ・貯蔵するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質



の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、高放射性固体廃棄物を今後必要な時期に建設する高線量系固体廃棄物廃棄体化施設(HWTF-2)に全て搬出した後、廃止に移行する。

## ②廃棄物処理場(AAF)

廃棄物処理場(AAF)には、低放射性廃液第一蒸発缶、低放射性濃縮廃液貯槽、凝集沈殿処理装置等が設置されている。

再処理施設の各施設から発生する低放射性廃液を低放射性廃液第一蒸発缶等で処理し低放射性濃縮廃液を貯蔵するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、再処理施設から発生する低放射性廃液の処理を終えた後、廃止に移行する。

## ③第二低放射性廃液蒸発処理施設(E)

第二低放射性廃液蒸発処理施設(E)には、低放射性廃液第二蒸発缶等が設置されている。

再処理施設の各施設から発生する低放射性廃液を低放射性廃液第二蒸発缶で処理するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、再処理施設から発生する低放射性廃液の処理を終えた後、廃止に移行する。

## ④第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z)

第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z)には、低放射性廃液第三蒸発缶、濃縮液貯槽、中和処理設備等が設置されている。

再処理施設の各施設から発生する低放射性廃液を低放射性廃液第三蒸発缶等で処理し低放射性濃縮廃液を貯蔵するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、再処理施設から発生する低放射性廃液の処理を終えた後、廃止に移行する。

## ⑤放出廃液油分除去施設(C)

放出廃液油分除去施設(C)には、サンドフィルタ、活性炭吸着塔等が設置されている。

再処理施設の各施設から発生する低放射性廃液を油分除去設備で処理するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、再処理施設から発生する低放射性廃液の処理を終えた後、廃止に移行する。

#### ⑥焼却施設(IF)

焼却施設(IF)には、焼却炉、小型焼却炉等が設置されている。

再処理施設の各施設から発生する低放射性固体廃棄物を焼却炉で処理するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、再処理施設から発生する低放射性固体廃棄物の処理を終えた後、廃止に移行する。

#### ⑦廃溶媒処理技術開発施設(ST)

廃溶媒処理技術開発施設(ST)には、抽出槽、シリカゲル吸着塔、蒸発缶等が設置されている。

今後整備する低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)が運転開始したのち、本施設において廃溶媒を処理することとしており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、再処理施設から発生する廃溶媒の処理を終えた後、廃止に移行する。

#### ⑧廃溶媒貯蔵場(WS)

廃溶媒貯蔵場(WS)には、廃溶媒貯槽等が設置されている。

再処理施設から発生する廃溶媒を貯蔵するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、廃溶媒を廃溶媒処理技術開発施設(ST)に全て移送した後、廃止に移行する。

⑨アスファルト固化処理施設(ASP)

アスファルト固化処理施設(ASP)には、廃液受入貯槽等が設置されている。

平成9年に発生したアスファルト固化処理施設火災・爆発事故を受けアスファルト固化処理は行わないこととした。それ以降においても低放射性濃縮廃液は貯蔵しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、低放射性濃縮廃液を低放射性濃縮廃液貯蔵施設(LWSF)に全て移送した後、廃止に移行する。

⑩低放射性濃縮廃液貯蔵施設(LWSF)

低放射性濃縮廃液貯蔵施設(LWSF)には、低放射性濃縮廃液貯槽等が設置されている。

低放射性廃液の処理により発生する低放射性濃縮廃液及び廃溶媒の処理により発生するリン酸廃液を受入れ・貯蔵するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、低放射性濃縮廃液及びリン酸廃液を今後整備する低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)に全て移送した後、廃止に移行する。

⑪スラッジ貯蔵場(LW)

スラッジ貯蔵場(LW)には、スラッジ貯槽、廃溶媒貯槽等が設置されている。

凝集沈殿処理により発生するスラッジ及び再処理施設から発生する廃溶媒を貯蔵するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、スラッジを今後必要な時期に建設する東海固体廃棄物廃棄体化施設(TWTF-2)に、廃溶媒を廃溶媒処理技術開発施設(ST)に全て搬出した後、廃止に移行する。

⑫第二スラッジ貯蔵場(LW2)

第二スラッジ貯蔵場(LW2)には、スラッジ貯槽、濃縮液貯槽等が設置されている。

凝集沈殿処理により発生するスラッジ及び低放射性廃液の蒸発処理により発生する低放射性濃縮廃液を受入れ・貯蔵するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、スラッジを今後必要な時期に建設する東海固体廃棄物廃棄体化施設(TWTF-2)に、低放射性濃縮廃液を低放射性濃縮廃液貯蔵施設(LWSF)に全て搬出した後、廃止に移行する。

#### ⑬アスファルト固化体貯蔵施設(AS1)

アスファルト固化体貯蔵施設(AS1)には、アスファルト固化体取扱設備等が設置されている。

アスファルト固化体及びプラスチック固化体を貯蔵するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、アスファルト固化体等を今後必要な時期に建設する高線量系固体廃棄物廃棄体化施設(HWTF-2)又は東海固体廃棄物廃棄体化施設(TWTF-2)に全て搬出した後、廃止に移行する。

#### ⑭第二アスファルト固化体貯蔵施設(AS2)

第二アスファルト固化体貯蔵施設(AS2)には、アスファルト固化体取扱設備等が設置されている。

アスファルト固化体及びプラスチック固化体等を貯蔵するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、アスファルト固化体等を今後必要な時期に建設する高線量系固体廃棄物廃棄体化施設(HWTF-2)又は東海固体廃棄物廃棄体化施設(TWTF-2)に全て搬出した後、廃止に移行する。

#### ⑮第一低放射性固体廃棄物貯蔵場(1LASWS)

第一低放射性固体廃棄物貯蔵場(1LASWS)には、貯蔵場等が設置されている。

再処理施設の各施設から発生する低放射性固体廃棄物を受入れ・貯蔵するため、施設を継続して使用しており、放射線遮蔽機能を維持し

ている。

本施設は、低放射性固体廃棄物を今後必要な時期に建設する高線量系固体廃棄物廃棄体化施設 (HWTF-2) 又は東海固体廃棄物廃棄体化施設 (TWTF-1, 2) に全て搬出した後、廃止に移行する。

#### ⑩第二低放射性固体廃棄物貯蔵場 (2LASWS)

第二低放射性固体廃棄物貯蔵場 (2LASWS) には、貯蔵場等が設置されている。

再処理施設の各施設から発生する低放射性固体廃棄物を受入れ・貯蔵及び焼却施設 (IF) への難燃性廃棄物 (ゴム製 RI 手袋) の払出しをするため、施設を継続して使用しており、放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、低放射性固体廃棄物を今後必要な時期に建設する高線量系固体廃棄物廃棄体化施設 (HWTF-2) 又は東海固体廃棄物廃棄体化施設 (TWTF-1, 2) に全て搬出した後、廃止に移行する。

※4：放射能レベルの高い廃液をガラス固化体としたものを高レベル放射性廃棄物と呼び、低レベル放射性廃棄物とは、高レベル放射性廃棄物以外の放射性廃棄物のこと。

### 2)-4 その他、継続して使用する施設

#### ①分析所 (CB)

分析所 (CB) には、セル、グローブボックス、試験装置等が設置されている。

再処理施設各工程から採取した試料を分析するため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、廃棄物処理、工程洗浄、系統除染、解体作業等に係る必要な分析業務を終えた後、廃止に移行する。

#### ②除染場 (DS)

除染場 (DS) には、グローブボックス、フード、浸漬槽等が設置されている。

必要に応じて機器等の除染を行うため、施設を継続して使用しており、換気による負圧バランスを確保した上で、放射性物質の施設外への漏えい防止機能及び放射線遮蔽機能を維持している。

本施設は、分離精製工場(MP)の機器解体を終えた後、廃止に移行する。

③主排気筒，第一付属排気筒，第二付属排気筒

各施設からの廃気を排出するため，継続して使用している。  
各施設の管理区域が解除された後，廃止に移行する。

④アクティブトレンチ

アクティブトレンチ内の配管については，低放射性廃液及び高放射性廃液を移送するため，継続して使用している。

アクティブトレンチ内の配管を使用した移送を終えた後，廃止に移行する。

⑤その他の附属施設

ユーティリティ施設，中間開閉所，第二中間開閉所，資材庫等については，各施設へのユーティリティ供給のため，継続して使用している。各施設へのユーティリティ供給を終えた後，廃止に移行する。また，リサイクル機器試験施設(RETF)については，今後の再処理施設の廃止措置における活用方策を検討した上で計画を定める。

表 3-1 再処理事業指定申請及び再処理事業指定変更申請の経緯

再処理施設事業指定申請書は、独立行政法人日本原子力研究開発機構（国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の旧法人名称）の設立に当たり施行された独立行政法人日本原子力研究開発機構法（平成 16 年法律第 155 号）の附則第 18 条第 1 項及び第 2 項に基づき、経済産業大臣に提出（平成 17 年 9 月 27 日）し、設立の日（平成 17 年 10 月 1 日）に指定があったものとみなされたものである。再処理事業指定申請及び再処理事業指定変更申請の経緯を以下に示す。

なお、平成 17 年 10 月 1 日以前の再処理事業指定申請に係る内容は、設置承認申請に記載している。設置承認申請及び設置変更承認申請の経緯を表 3-2 に示す。

許可年月日	許可番号	備考
平成 18 年 5 月 29 日	平成 17.01.14 原第 8 号	再処理を行う使用済燃料に原子力第 1 船（むつ）使用済燃料を追加、新型転換炉使用済燃料（ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料）の年間再処理量を 10 トンから 40 トンに増加、第二アスファルト固化体貯蔵施設に蒸発固化体等の固化体廃棄物及び低放射性の固化体廃棄物を貯蔵、低放射性の固化体廃棄物を第二アスファルト固化体貯蔵施設、第一及び第二低放射性固化体廃棄物貯蔵場から廃棄物処理場等に送り再び処理できるように変更。
(平成 26 年 5 月 30 日届出) (平成 26 年 6 月 25 日一部補正)	—	原子力規制委員会 設置法附則第 29 条第 1 項に基づく届出 本文に「7. 再処理施設における放射線の管理に関する事項」及び「8. 再処理施設において核燃料物質が臨界状態になることその他の事故が発生した場合における当該事故に対処するために必要な施設及び体制の整備に関する事項」を追加。

表 3-2 設置承認申請及び設置変更承認申請の経緯 (1/3)

設置承認申請書は、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（法律第 52 号）附則第 2 条第 1 項及び第 2 項に基づき、再処理施設設置承認申請書を内閣総理大臣に提出（昭和 55 年 2 月 23 日（54 動燃（再）63））し、提出をもって承認を受けたとみなされたものである。設置承認申請及び設置変更承認申請の経緯を以下に示す。

承認年月日	承認番号	備 考
昭和 55 年 4 月 21 日	55 安（核規）第 163 号	第二スラッジ貯蔵場及び廃溶媒貯蔵場の新設
昭和 55 年 8 月 22 日	55 安（核規）第 444 号	低放射性廃液蒸発処理開発施設及び極低放射性廃液蒸発処理開発施設を放射性廃棄物の廃棄施設にする
昭和 56 年 7 月 25 日	56 安（核規）第 357 号	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の変更 廃溶媒処理技術開発施設の新設
昭和 57 年 8 月 12 日	57 安（核規）第 457 号	高放射性廃液貯蔵場、ウラン脱硝施設及び第二中間開閉所の新設並びに第二低放射性固体廃棄物貯蔵場の増設
昭和 57 年 12 月 24 日	57 安（核規）第 782 号	溶解槽 1 基の溶解施設からその他再処理設備の附属施設への区分変更
昭和 58 年 8 月 17 日	58 安（核規）第 566 号	濃縮ウラン溶解セル（第 3 セル）への濃縮ウラン溶解槽設置、現在ある濃縮ウラン溶解槽の遠隔補修技術開発設備への変更、第一低放射性固体廃棄物貯蔵場及び資材庫の新設



表 3-2 設置承認申請及び設置変更承認申請の経緯 (2/3)

承認年月日	承認番号	備考
昭和 60 年 7 月 30 日	60 安 (核規) 第 321 号	新型転換炉使用済燃料の再処理の実施, 使用済燃料の貯蔵施設の貯蔵能力の増大, 照射後試験に供した使用済燃料のうち試験燃料片の再処理の実施, 廃溶媒技術開発施設における廃溶媒のエポキシ固化の技術開発の実施, アスファルト固化体などの貯蔵能力の増大, プルトニウム転換技術開発施設における濃縮度 20%未満の濃縮ウランを用いた技術開発の実施, 小型試験設備におけるパルスカラムを用いた溶媒抽出工程の試験の実施
昭和 61 年 9 月 8 日	61 安 (核規) 第 494 号	第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設の新設及び高レベル放射性物質研究施設から発生する低放射性の固体廃棄物の受入れ
昭和 62 年 4 月 27 日	62 安 (核規) 第 186 号	パルスフィルタの追加設置, プルトニウム溶液蒸発缶の塔部及び酸回収蒸発缶の材料変更, プルトニウム転換技術開発施設における脱硝ポート材料の追加変更
昭和 63 年 2 月 9 日	62 安 (核規) 第 865 号	ガラス固化技術開発施設の新設
昭和 63 年 12 月 1 日	63 安 (核規) 第 709 号	焼却炉の更新, 硝酸ウラニル溶液の受け入れ機能の追加
平成元年 10 月 24 日	元安 (核規) 第 729 号	第三ウラン貯蔵所の新設
平成 2 年 12 月 27 日	2 安 (核規) 第 855 号	海洋放出口の移設
平成 5 年 8 月 3 日	5 安 (核規) 第 514 号	リサイクル機器試験施設の新設
平成 7 年 2 月 2 日	6 安 (核規) 第 913 号	クリプトン固定化試験設備の設置
平成 9 年 7 月 31 日	9 安 (核規) 第 474 号	ユーティリティ設備の更新
平成 9 年 10 月 21 日	9 安 (核規) 第 657 号	アスファルト固化処理施設の区分の変更
平成 10 年 6 月 25 日	10 安 (核規) 第 506 号	スラッジ貯槽の転用及び第二アスファルト固化体貯蔵施設における低放射性固体廃棄物の保管
平成 11 年 5 月 11 日	11 安 (核規) 第 315 号	アスファルト固化技術開発施設の附属排気筒の排気量の変更及び廃棄物処理場のコンクリート固化装置の撤去

表 3-2 設置承認申請及び設置変更承認申請の経緯 (3/3)

承認年月日	承認番号	備 考
平成 12 年 2 月 29 日	12 安 (核規) 第 150 号	株式会社ジェー・シー・オーの臨界事故に係る濃縮度 20%未満のウランを含む溶液の小型試験設備への受入
平成 12 年 7 月 19 日	12 安 (核規) 第 654 号	低放射性濃縮廃液貯蔵施設の新設, 株式会社ジェー・シー・オーの臨界事故に係る濃縮度 20%未満のウランを含む溶液の再処理, 核的制限値の変更
平成 14 年 3 月 6 日	平成 13.03.01 原第 11 号	低放射性廃棄物処理技術開発施設の新設, その他再処理設備の附属施設の一部の区域の変更, 高レベル放射性物質研究施設の高放射性固体廃棄物の受入れ・貯蔵, 株式会社ジェー・シー・オーの臨界事故に係る溶液の再処理に関する記載の削除

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（1 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分	設備名称	
分離精製工場(MP)	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設	受入れ施設	天井クレーン設備	
			カスク冷却設備	
			除染設備	
			燃料取出し設備	
			燃料移動設備	
			燃料汚染検査, 除染設備	
			燃料一時貯蔵設備	
		貯蔵施設	燃料取扱操作設備(貯蔵プール)	
			燃料貯蔵設備	
			燃料移動設備	
			燃料取扱操作設備(濃縮ウラン移動プール)	
			プール水処理設備	貯水ピット
				廃液貯槽
				貯蔵プール水処理設備
	熱交換器			
	移動プール・機械処理プール水処理設備			
	再処理設備本体	せん断処理施設		燃料移動設備
			せん断装置	
			天井クレーン(濃縮ウラン機械処理セル)	
			マニプレータ類(濃縮ウラン機械処理セル)	
			燃料装荷装置	
			ハル取扱設備	
			天井クレーン(濃縮ウラン溶解槽装荷セル)	
			マニプレータ(除染保守セル)	
		溶解施設	廃棄物取扱設備	
			濃縮ウラン溶解槽	
			スロータンク	
パルスフィルタ(放射性配管分岐室)				
パルスフィルタ(分離第1セル)				
洗浄液受槽				
溶解槽溶液受槽				

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（2 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称	
分離精製工場(MP)	再処理設備 本体	溶解施設		調整槽	
				給液槽	
		分離施設	分離第 1 サイクル	高放射性廃液中間貯槽	
				分離第 1 抽出器	
				希釈剤洗浄器	
				分離第 2 抽出器	
				分離第 3 抽出器	
				分離第 4 抽出器	
			分離第 2 サイクル	調整槽	
				中間貯槽	
				分離第 5 抽出器	
				受槽	
				溢流受槽	
				中間貯槽	
			リワーク	溶媒受槽	
				廃溶媒受槽	
				プルトニウム溶液受槽	
		溢流溶媒受槽			
		調整槽			
		中間貯槽			
		精製施設	プルトニウムの精 製系	調整槽	
				中間貯槽	
				酸化塔	
				空気吹込塔	
				プルトニウム精製第 1 抽出器	
				プルトニウム精製第 2 抽出器	
				溶媒貯槽	
中間貯槽（プルトニウム溶液濃縮系）					
希釈槽					
プルトニウム溶液蒸発缶					
プルトニウム濃縮液受槽					
循環槽					
プルトニウム濃縮液取出し，受入れ設備					

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（3 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称		
分離精製工場(MP)	再処理設備 本体	精製施設	ウランの精製系	調整槽		
				中間貯槽		
				ウラン精製第1抽出器		
				ウラン精製第2抽出器		
				中間貯槽		
				ウラン溶液蒸発缶（第1段）		
				濃縮液受槽		
				希釈槽		
				給液槽		
				一時貯槽		
		脱硝施設	ウラン溶液蒸発缶（第2段）	濃縮液受槽		
				脱硝塔		
				製品積出し設備		
				重量計		
				三酸化ウラン容器接続器具		
				三酸化ウラン取出し装置		
				希釈剤洗浄器		
		酸及び溶媒の 回収施設	酸回収施設	希釈剤受槽		
				酸回収中間貯槽		
				酸回収蒸発缶		
				デミスタ		
				酸回収精留塔		
				凝縮器		
				冷却器		
				中間貯槽		
				溶媒回収施設（分 離第1サイクル系）	第1溶媒洗浄器	希釈剤洗浄器
						溶媒洗浄廃液中間貯槽

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（4 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
分離精製工場(MP)	再処理設備 本体	酸及び溶媒の 回収施設	溶媒回収施設（分 離第1サイクル系）	溶媒貯槽
				沈降槽
				フィルタ
			溶媒回収施設（分 離第2サイクル系）	希釈剤洗浄器
				溶媒洗浄廃液中間貯槽
				溶媒貯槽
				第2溶媒洗浄器
			溶媒回収施設（ウ ラン精製サイクル 系）	第3溶媒洗浄器
				溶媒貯槽
	フィルタ			
	製品貯蔵施 設	プルトニウム製品の貯蔵		プルトニウム製品貯槽
				プルトニウム製品取出し設備
	放射性廃棄 物の廃棄施 設	気体廃棄物の 廃棄施設	槽類換気系（燃料 溶解槽からの廃 気）	酸吸収塔
				洗浄塔 溶解廃気用
				フィルタ
槽類換気系（燃料 せん断装置からの 廃気）			フィルタ	
			洗浄塔 せん断廃気用	
槽類換気系（高放 射性廃液貯槽から の廃気）			洗浄塔	
			フィルタ	
槽類換気系（高放 射性廃液蒸発缶， プルトニウム濃厚 溶液処理工程など からの廃気）			酸吸収塔(酸回収セル)	
			空気吹込塔(酸回収セル)	
			洗浄塔(プルトニウム濃縮セル)	
			酸吸収塔(ウラン濃縮脱硝室)	
			洗浄塔(溶解オフガス処理セル)	
フィルタ				
セル換気系	フィルタ			
廃ガス貯蔵装置	廃ガス貯槽			

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（5 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分	設備名称	
分離精製工場(MP)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	高放射性の液体廃棄物	高放射性廃液蒸発缶
				高放射性廃液貯槽
				中間貯槽
		低放射性の液体廃棄物	中間貯槽	
	その他再処理設備の附属施設	濃縮ウラン溶解槽の遠隔補修技術開発設備		濃縮ウラン溶解槽
				遠隔補修・検査装置
	計測制御系統施設	安全保護回路		濃縮ウラン溶解槽, ウラン溶液蒸発缶(第1段), プルトニウム溶液蒸発缶, 高放射性廃液蒸発缶, 脱硝塔, 分離, 精製及び溶媒回収
			核計装設備	アルファ線モニタ
			中性子線モニタ	

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（6 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分	設備名称
ウラン脱硝施設(DN)	再処理設備本体	脱硝施設	UNH 受槽
			UNH 貯槽
			蒸発缶（第2段）
			濃縮液受槽
			脱硝塔
			酸吸収塔
			UO <sub>3</sub> 受槽
			オーバーサイズ受槽
			計量台
	溶解槽		
	計測制御系統施設	安全保護回路	脱硝塔

建家名称	施設区分	設備等の区分	設備名称
ウラン貯蔵所(U03)	製品貯蔵施設	ウラン製品の貯蔵	ウラン製品貯蔵設備
第二ウラン貯蔵所(2U03)			ウラン製品貯蔵設備
第三ウラン貯蔵所(3U03)			ウラン製品貯蔵設備



表 3-3 主要な廃止措置対象施設（7 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分	設備名称
プルトニウム転換技術開発施設 (PCDF)	その他再処理設備の附属施設	プルトニウム転換技術開発施設	硝酸プルトニウム受入計量槽
			硝酸プルトニウム貯槽
			混合槽
			混合液貯槽
			硝酸ウラニル受入計量槽
			硝酸ウラニル貯槽
			硝酸プルトニウム給液槽
			ウラン受槽
			混合液給液槽
			脱硝加熱器
			焙焼還元炉
			粉碎機
			混合機
			廃液受入槽
			廃液蒸発缶
中和沈殿槽			
安全保護回路（焙焼還元炉，窒素－水素混合ガスの供給系）			

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（8 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分	設備名称
クリプトン回収技術開発施設(Kr)	その他再処理設備の附属施設	クリプトン回収技術開発施設	原料ガス中間貯槽
			反応器
			水吸着器
			ウォームコンテナ
			炭酸ガス吸着器
			キセノン吸着器
			コールドコンテナ
			主精留塔
			クリプトン精留塔
			キセノン液化塔
			キセノン精留塔
			中間槽
			クリプトン貯蔵シリンダ
			キセノン貯蔵シリンダ
廃液貯槽			
クリプトン固定化試験設備			

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（9 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
高放射性廃液貯蔵場 (HAW)	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄施設	高放射性廃液貯蔵場の廃気	洗浄塔
				フィルタ
		液体廃棄物の廃棄施設	高放射性の液体廃棄物	高放射性廃液貯槽
				中間貯槽
				中間熱交換器
冷却塔				

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
ガラス固化技術開発施設 (TVF)	その他再処理設備の附属施設	ガラス固化技術開発施設		受入槽
				回収液槽
				濃縮器
				濃縮液槽
				濃縮液供給槽
				熔融炉
				中放射性廃液蒸発缶
				台車
				溶接装置
				クレーン設備（固化セル）
				マニプレータ類
				クレーン設備（搬送セル）
				検査設備
				保管ピット
				中放射性廃液貯槽
				低放射性廃液第一貯槽
				低放射性廃液第一蒸発缶
固化セル換気系設備				
槽類換気系設備				
冷却塔				
安全保護回路（固化セル）				

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（10 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
高放射性固体廃棄物貯蔵庫 (HASWS)	放射性廃棄物の廃棄施設	固体廃棄物の廃棄施設	高放射性の固体廃棄物	ハル貯蔵庫
				予備貯蔵庫
				汚染機器類貯蔵庫
				クレーン
				フィルタ

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設 (2HASWS)	放射性廃棄物の廃棄施設	固体廃棄物の廃棄施設	高放射性の固体廃棄物	湿式貯蔵セル
				乾式貯蔵セル
				100 トン天井クレーン
				ドラム移送容器
				排気フィルタ
				湿式貯蔵セル水処理設備

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（11 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
廃棄物処理場(AAF)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	低放射性の液体廃棄物	低放射性廃液貯槽
				中間受槽
				予熱器
				低放射性廃液第一蒸発缶
				サイクロン
				凝縮器
				冷却器
				低放射性濃縮廃液貯槽
				中和槽
				反応槽
				放出廃液貯槽
				放出管
				廃希釈剤貯槽
		廃溶媒・廃希釈剤貯槽		
	固体廃棄物の廃棄施設	低放射性の固体廃棄物	クレーン	

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
第二低放射性廃液蒸発処理施設(E)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	低放射性の液体廃棄物	予熱器
				低放射性廃液第二蒸発缶
				サイクロン
				濃縮液槽
				凝縮器
				冷却器

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（12 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	低放射性の液体廃棄物	予熱器
				低放射性廃液第三蒸発缶
				サイクロン
				濃縮液冷却器
				廃液受入貯槽
				濃縮液貯槽
				凝縮器
				冷却器
				粗調整槽
				中和反応槽
中間貯槽				

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
放出廃液油分除去施設 (C)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	低放射性の液体廃棄物	低放射性廃液貯槽
				サンドフィルタ
				活性炭吸着塔
				シックナー
				廃炭貯槽
				スラッジ貯槽
放出廃液貯槽				

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（13 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
スラッジ貯蔵場(LW)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	低放射性の液体廃棄物	スラッジ貯槽
				廃溶媒貯槽

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
第二スラッジ貯蔵場(LW2)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	低放射性の液体廃棄物	スラッジ貯槽
				濃縮液貯槽
				廃砂・廃樹脂貯槽

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
廃溶媒貯蔵場(WS)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	低放射性の液体廃棄物	廃溶媒貯槽

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
廃溶媒処理技術開発施設(ST)	その他再処理設備の附属施設	廃溶媒処理技術開発施設		受入貯槽
				洗浄槽
				第1抽出槽
				第2抽出槽
				第3抽出槽
				シリカゲル吸着塔
				廃シリカゲル貯槽
				蒸発缶
				充てん・かく拌装置
加熱装置				

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（14 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
アスファルト固化処理施設 (ASP)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	低放射性的液体廃棄物	廃液受入貯槽

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
低放射性濃縮廃液貯蔵施設 (LWSF)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	低放射性的液体廃棄物	濃縮液貯槽
				低放射性濃縮廃液貯槽
				廃液貯槽
				中間貯槽
				換気設備

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
低放射性廃棄物処理技術開発施設 (LWTF)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	低放射性的液体廃棄物	スラリ蒸発缶
				硝酸塩溶液蒸発缶
		固体廃棄物の廃棄施設	低放射性的固体廃棄物	焼却炉



表 3-3 主要な廃止措置対象施設（15 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
アスファルト固化体貯蔵施設(AS1)	放射性廃棄物の廃棄施設	固体廃棄物の廃棄施設	低放射性の固体廃棄物	アスファルト固化体取扱設備（移送セル）
				アスファルト固化体取扱設備（貯蔵セル）

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
第二アスファルト固化体貯蔵施設(AS2)	放射性廃棄物の廃棄施設	固体廃棄物の廃棄施設	低放射性の固体廃棄物	アスファルト固化体取扱設備（積換セル）
				アスファルト固化体取扱設備（移送セル）
				アスファルト固化体取扱設備（貯蔵セル）
				固化体評価試験設備

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
焼却施設(IF)	放射性廃棄物の廃棄施設	固体廃棄物の廃棄施設	低放射性の固体廃棄物	焼却炉
				小型焼却炉
				廃気処理設備

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
分析所(CB)	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	低放射性の液体廃棄物	中間貯槽
				その他再処理設備の附属施設
				試験装置

建家名称	施設区分	設備等の区分		設備名称
リサイクル機器試験施設(RETF)	その他再処理設備の附属施設	リサイクル機器試験施設		試験設備

表 3-3 主要な廃止措置対象施設（16 / 16）

建家名称	施設区分	設備等の区分	設備名称
共通設備等	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄施設	主排気筒
			第一付属排気筒
			第二付属排気筒
			フィルタ
			換気設備
	計測制御系統施設	工程計装設備	液面計，界面計，濃度計，圧力計，温度計，密度計，流量計，電導度計，放射線モニタ，水素イオン濃度計
	放射線管理施設	空気汚染モニタリング用機器	ベータ線ダストモニタ
			プルトニウムダストモニタ
		放射線モニタリング用機器	ガンマ線エリアモニタ
			中性子線エリアモニタ
			臨界警報装置
		排気モニタリング設備	クリプトンモニタ
			ヨウ素モニタ
			ダストモニタ
		排水モニタリング設備	排水サンプリング設備
			分析設備
	屋外放射線モニタリング設備	屋外放射線モニタリング設備	
	その他再処理設備の附属施設	電源設備	動力用変圧器，照明用変圧器，動力・照明用変圧器
		非常用電源設備	非常用発電機，無停電電源装置
		圧縮空気設備	空気圧縮機
給水施設		浄水装置，浄水貯槽，ポンプ，冷却塔，冷却水供給ポンプ，冷却塔供給ポンプ，低温貯水槽，高温貯水槽，冷却水供給槽，純水設備	
蒸気供給施設		ボイラ装置	

表 3-4 使用済燃料及び核燃料物質の存在場所ごとの種類及び数量

平成 29 年 6 月 30 日現在

種別	施設	部屋名	数量
使用済燃料	分離精製工場 (MP)	貯蔵プール	低濃縮ウラン燃料：約 17.2tU <sup>※1</sup> (112 体) ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料： 約 23.5tMOX <sup>※2</sup> (153 体)
ウラン製品 (三酸化ウラン 粉末)	ウラン貯蔵所 (U03)	貯蔵室	
	第二ウラン貯蔵所 (2U03)	貯蔵室	
	第三ウラン貯蔵所 (3U03)	貯蔵室	
ウラン・プルト ニウム混合酸化 物(MOX)粉末	プルトニウム転換 技術開発施設 (PCDF)	粉末貯蔵室	

上記の他、プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)に核燃料物質を含むスラッジ ( ) 及びスクラップ粉末 ( )、工程内に表-3-5 に示す回収可能核燃料物質が存在する。

※1 金属ウラン換算

※2 金属ウラン・プルトニウム換算

表 3-5 回収可能核燃料物質の存在場所ごとの保有量

平成 29 年 6 月 30 日現在

施設	工程名	物質の状態	保有量
分離精製工場 (MP)	せん断	使用済燃料せん断粉末	
	溶解 清澄・調整	洗浄液	
	抽出 (酸回収, リフ ーク等を含む)	洗浄液	
	Pu 濃縮	洗浄液	
	Pu 製品貯蔵	プルトニウム溶液	
	U 溶液濃縮・ 試薬調整	ウラン溶液	
	U 脱硝	ウラン粉末 (貯蔵容器に収納)	
ウラン脱硝施設 (DN)	U 濃縮・脱硝	ウラン溶液	
プルトニウム転換 技術開発施設 (PCDF)	受入・混合	ウラン溶液	

※1 金属ウラン換算

※2 金属プルトニウム換算

表 3-6 放射性液体廃棄物の貯蔵場所ごとの種類と貯蔵量

平成 29 年 6 月 30 日現在

廃棄物の貯蔵場所	廃棄物の種類	貯蔵量	放射能量, 主要核種
分離精製工場 (MP)	高放射性廃液 <sup>※1</sup> (希釈液)	約 24m <sup>3</sup>	約 5×10 <sup>16</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
高放射性廃液貯蔵場 (HAW)	高放射性廃液 <sup>※1</sup>	約 340m <sup>3</sup>	約 3×10 <sup>18</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
廃棄物処理場 (AAF)	低放射性 濃縮廃液 <sup>※2</sup>	約 547m <sup>3</sup>	≦10 <sup>13</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
	廃溶媒 <sup>※3</sup>	約 14m <sup>3</sup>	≦10 <sup>9</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z)	低放射性 濃縮廃液 <sup>※2</sup>	約 829m <sup>3</sup>	≦10 <sup>10</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
スラッジ貯蔵場 (LW)	廃溶媒 <sup>※3</sup>	約 30m <sup>3</sup>	≦10 <sup>9</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
	スラッジ <sup>※4</sup>	約 285m <sup>3</sup>	≦10 <sup>8</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
第二スラッジ貯蔵場 (LW2)	低放射性 濃縮廃液 <sup>※2</sup>	約 574m <sup>3</sup>	≦10 <sup>12</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
	スラッジ <sup>※4</sup>	約 872m <sup>3</sup>	≦10 <sup>8</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
廃溶媒貯蔵場 (WS)	廃溶媒 <sup>※3</sup>	約 56m <sup>3</sup>	≦10 <sup>9</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
廃溶媒処理技術開発施設 (ST)	廃溶媒 <sup>※3</sup>	約 8m <sup>3</sup>	≦10 <sup>9</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
アスファルト固化処理施設 (ASP)	低放射性 濃縮廃液 <sup>※2</sup>	約 97m <sup>3</sup>	≦10 <sup>12</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
低放射性濃縮廃液貯蔵施設 (LWSF)	低放射性 濃縮廃液 <sup>※2</sup>	約 1,032m <sup>3</sup>	≦10 <sup>13</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)
	リン酸廃液 <sup>※5</sup>	約 17m <sup>3</sup>	≦10 <sup>11</sup> Bq 主要核種: FP ( <sup>137</sup> Cs 等)

※1 抽出工程から発生した抽出廃液等を高放射性廃液蒸発缶にて蒸発濃縮した廃液。

※2 低放射性廃液第一蒸発缶又は低放射性廃液第三蒸発缶にて蒸発濃縮した廃液。

※3 抽出工程にて使用した溶媒 (TBP-ドデカン溶液)。

※4 凝集沈殿処理装置にて生成した沈殿物。

※5 廃溶媒を TBP とドデカンに分離する際に発生するリン酸を含む廃液を蒸発缶にて蒸発濃縮した廃液。

表 3-7 放射性固体廃棄物の貯蔵場所ごとの種類と貯蔵（保管）量

平成 29 年 6 月 30 日現在

廃棄物の貯蔵場所	廃棄物の種類	貯蔵（保管）量
ガラス固化技術開発施設 (TVF)	ガラス固化体	306 本
高放射性固体廃棄物貯蔵庫 (HASWS)	雑固体廃棄物, ハル・エンドピース等	約 2,884 本 <sup>※</sup>
	分析廃ジャグ等	約 1,381 本 <sup>※</sup>
第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設 (2HASWS)	雑固体廃棄物, ハル・エンドピース等	約 2,492 本 <sup>※</sup>
第一低放射性固体廃棄物貯蔵場 (1LASWS)	雑固体廃棄物	約 33,161 本 <sup>※</sup>
第二低放射性固体廃棄物貯蔵場 (2LASWS)	雑固体廃棄物	約 11,566 本 <sup>※</sup>
アスファルト固化体貯蔵施設 (AS1)	アスファルト固化体	13,754 本
	プラスチック固化体	828 本
第二アスファルト固化体貯蔵施設 (AS2)	アスファルト固化体	16,213 本
	プラスチック固化体	984 本
	雑固体廃棄物	19 本

※ 200 リットルドラム缶換算値

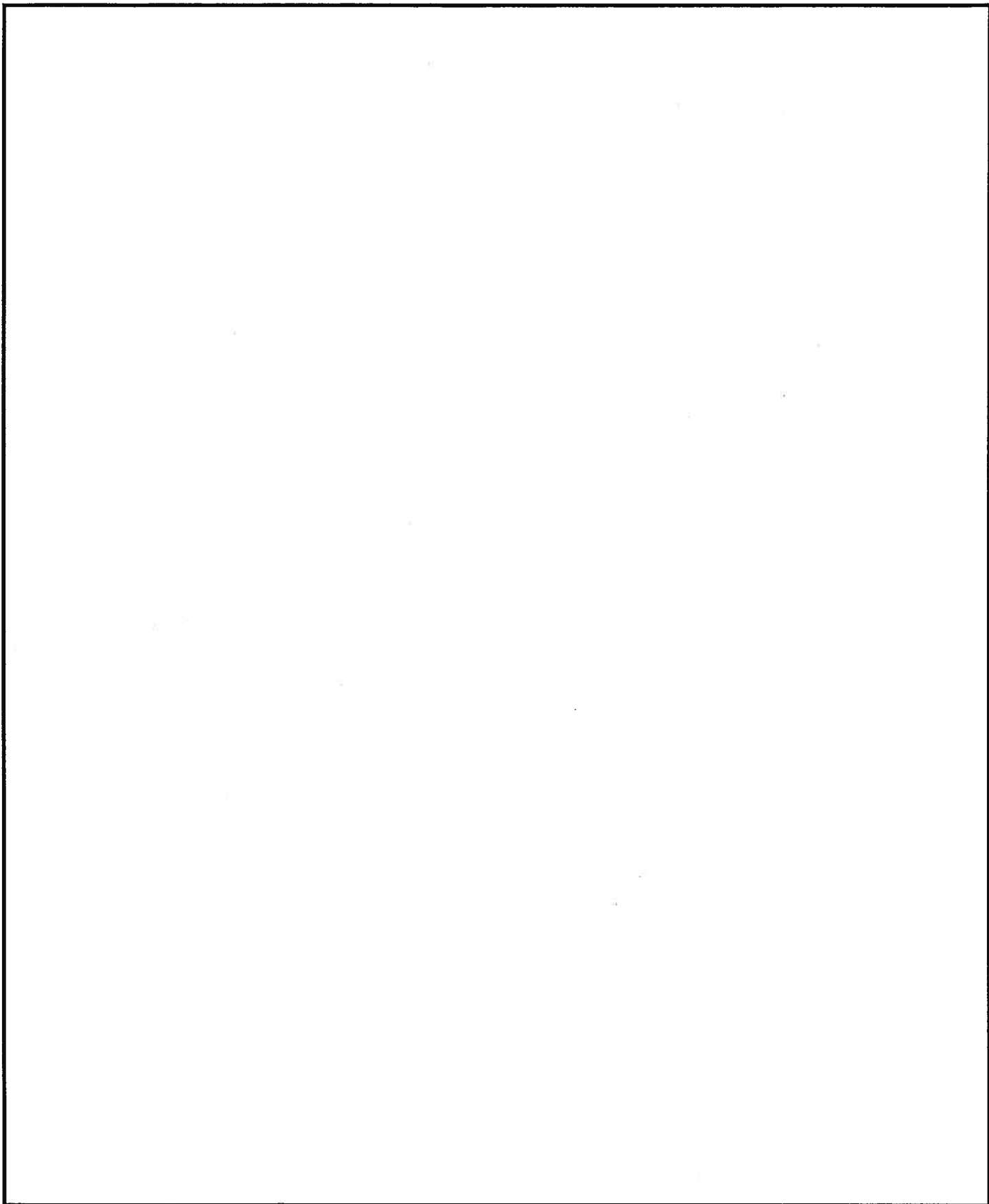


図 3-1 再処理施設の敷地及び廃止措置対象施設の配置

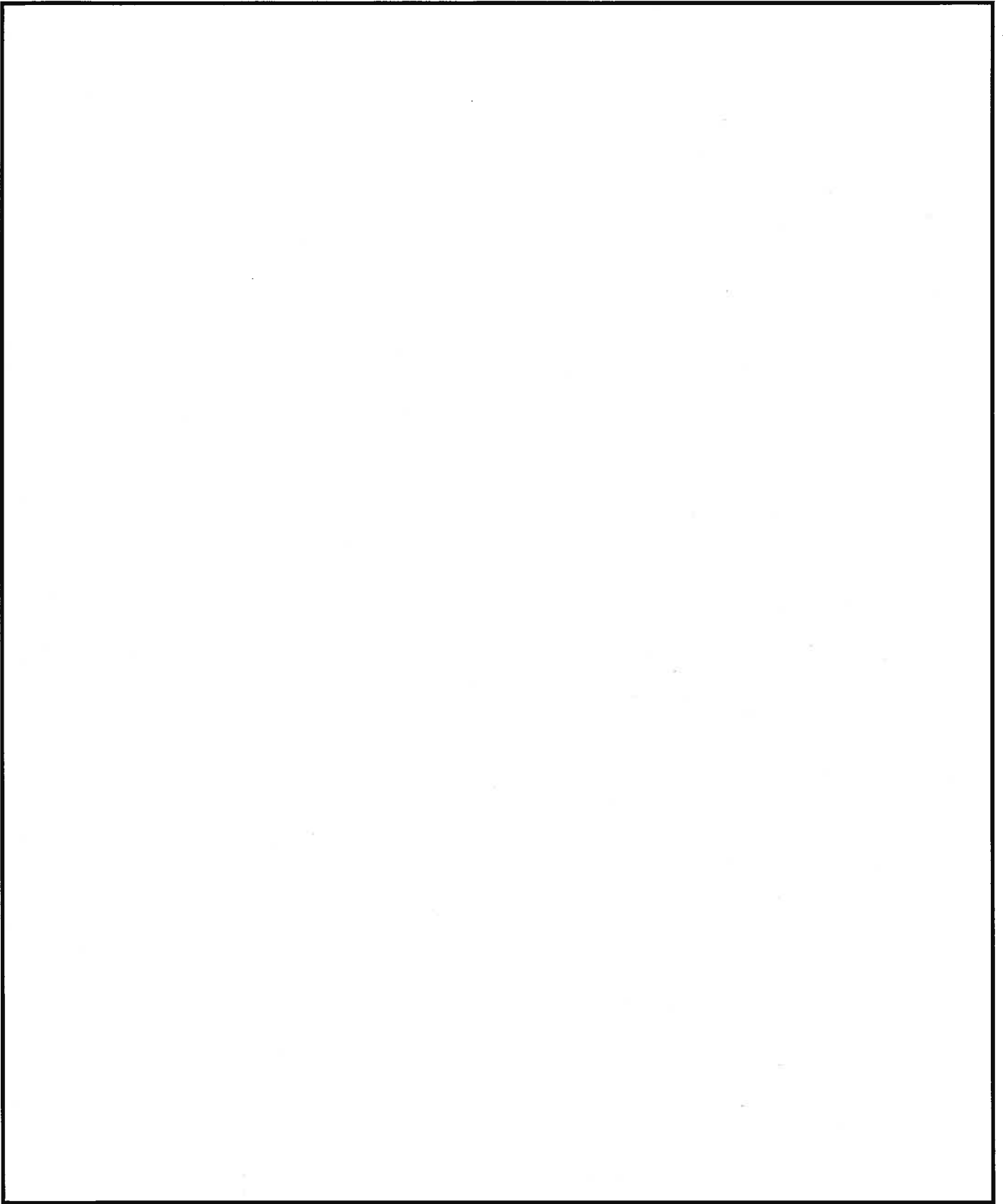


図 3-2 (1) 分離精製工場(MP)地下 1 階平面図



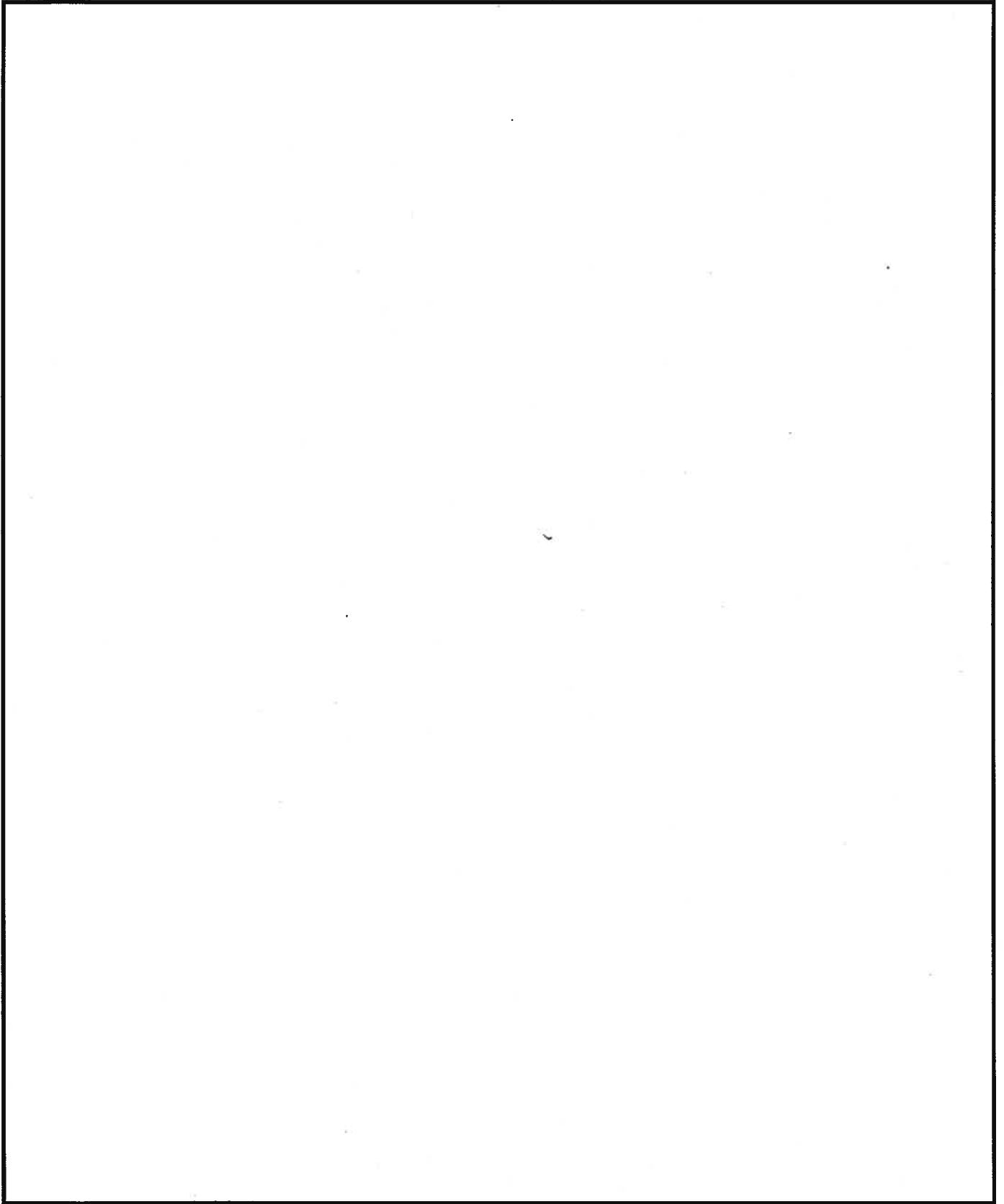


図 3-2 (2) 分離精製工場(MP)1 階平面図

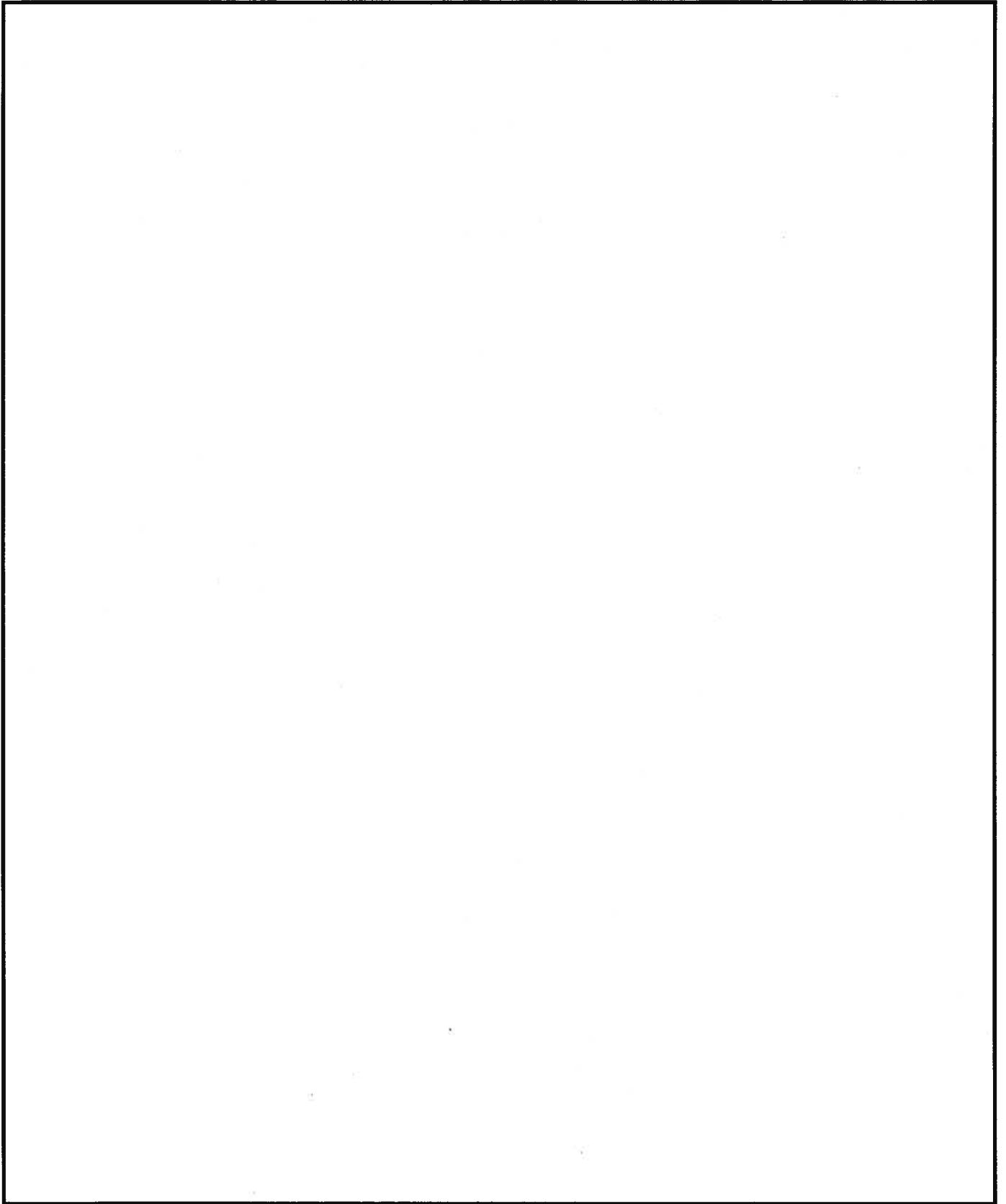


図 3-2 (3) 分離精製工場(MP)2 階平面図

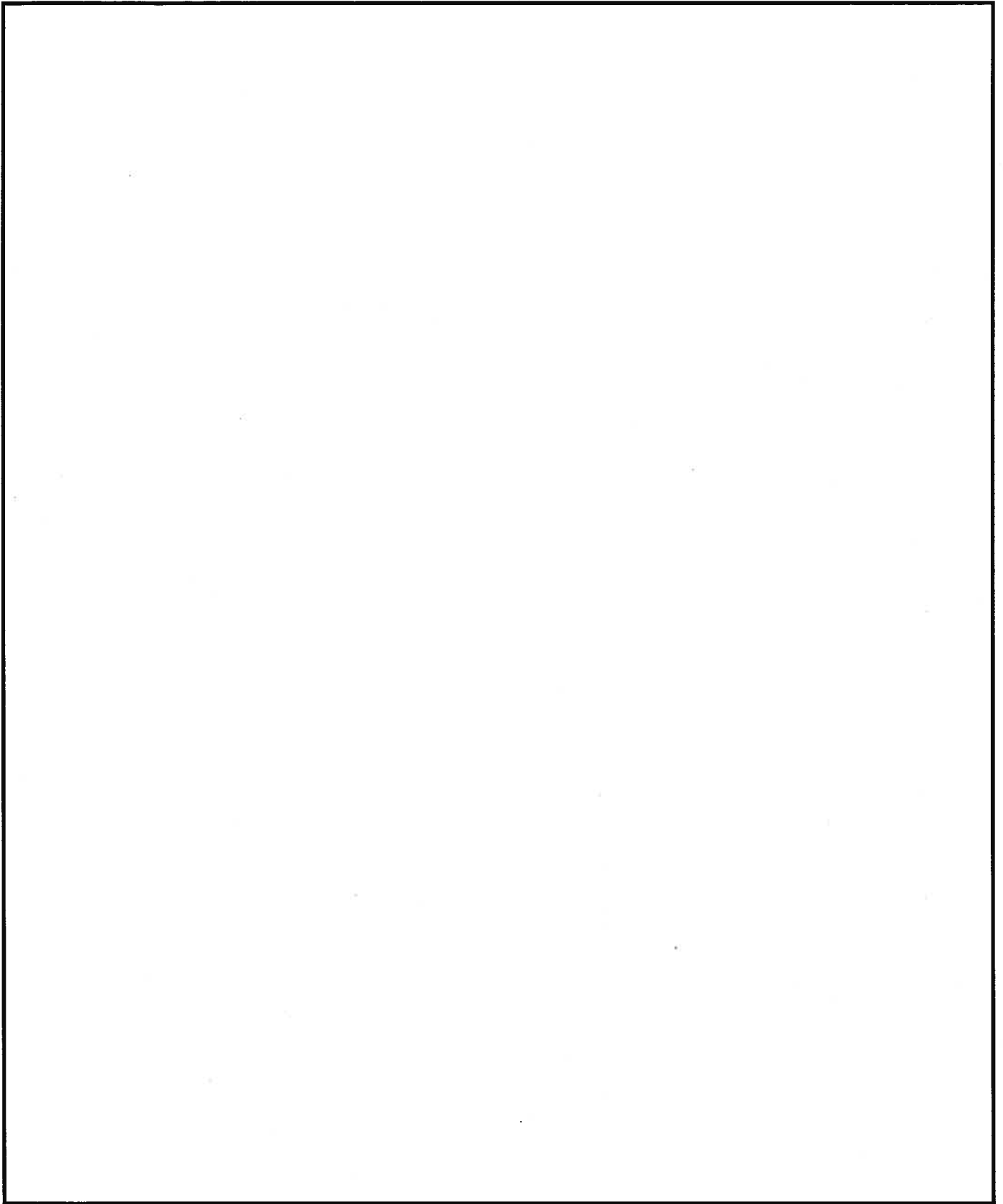


図 3-2 (4) 分離精製工場(MP)3 階平面図

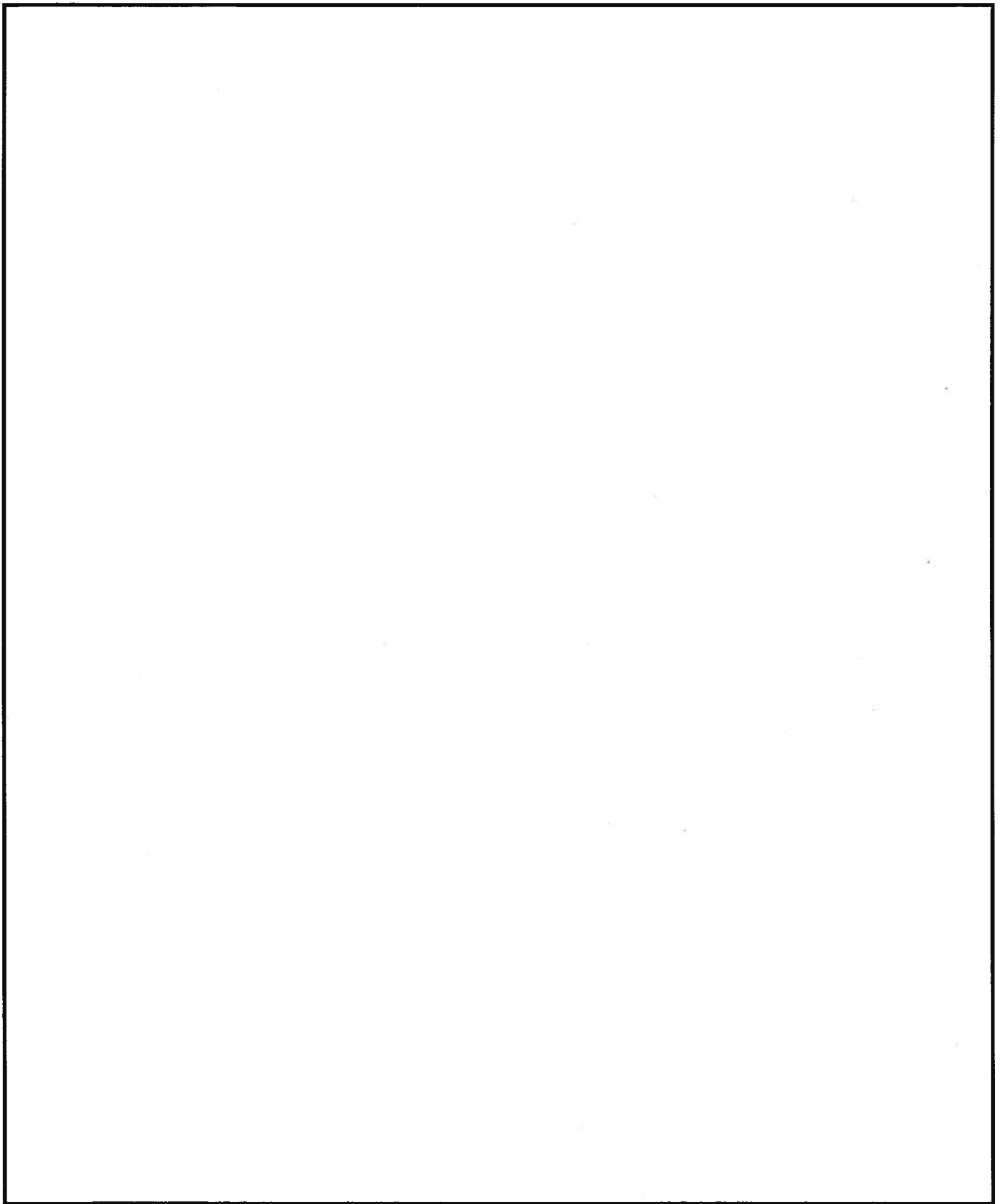


図 3-2 (5) 分離精製工場(MP)4 階平面図

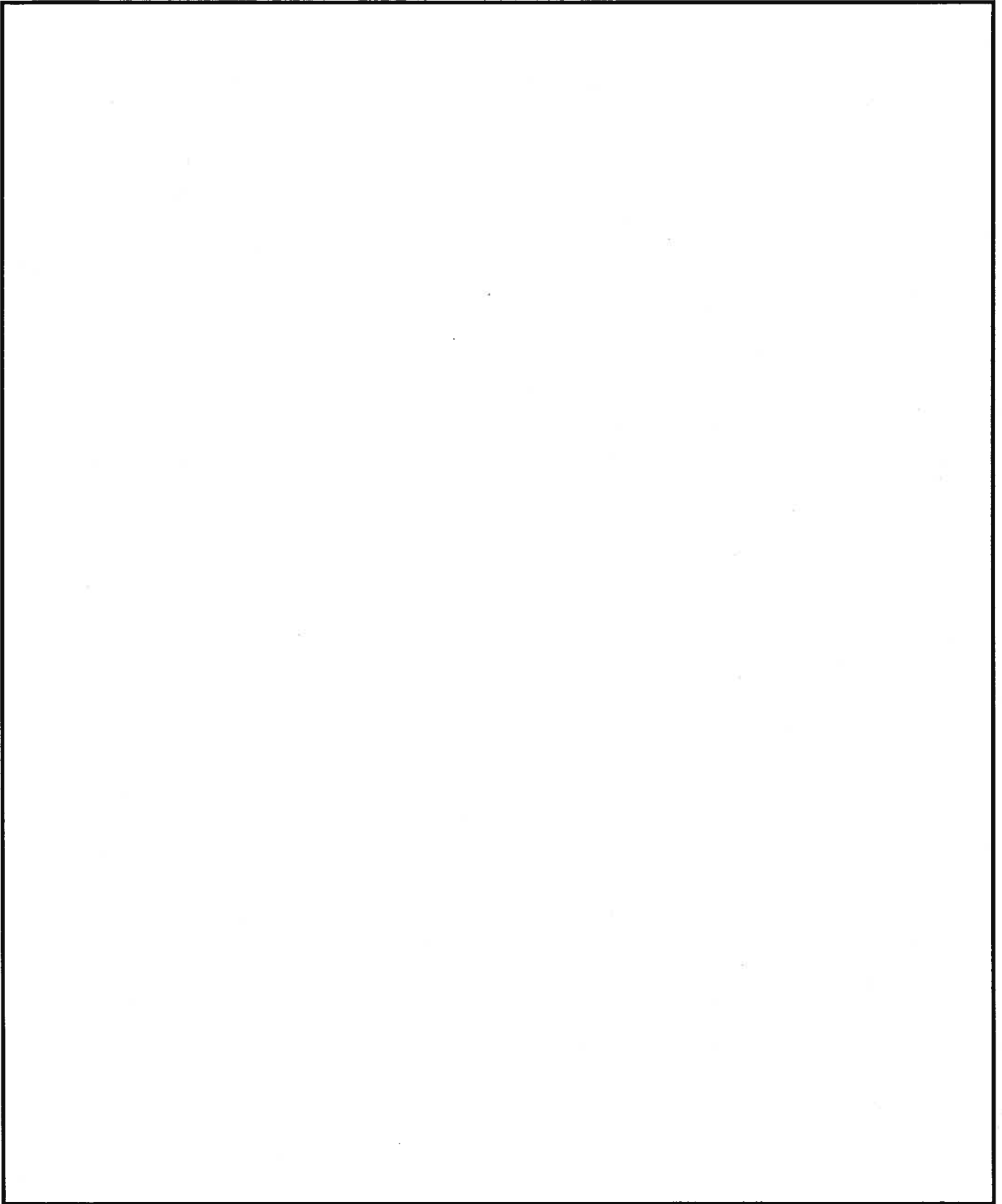


図 3-2 (6) 分離精製工場(MP)5 階平面図

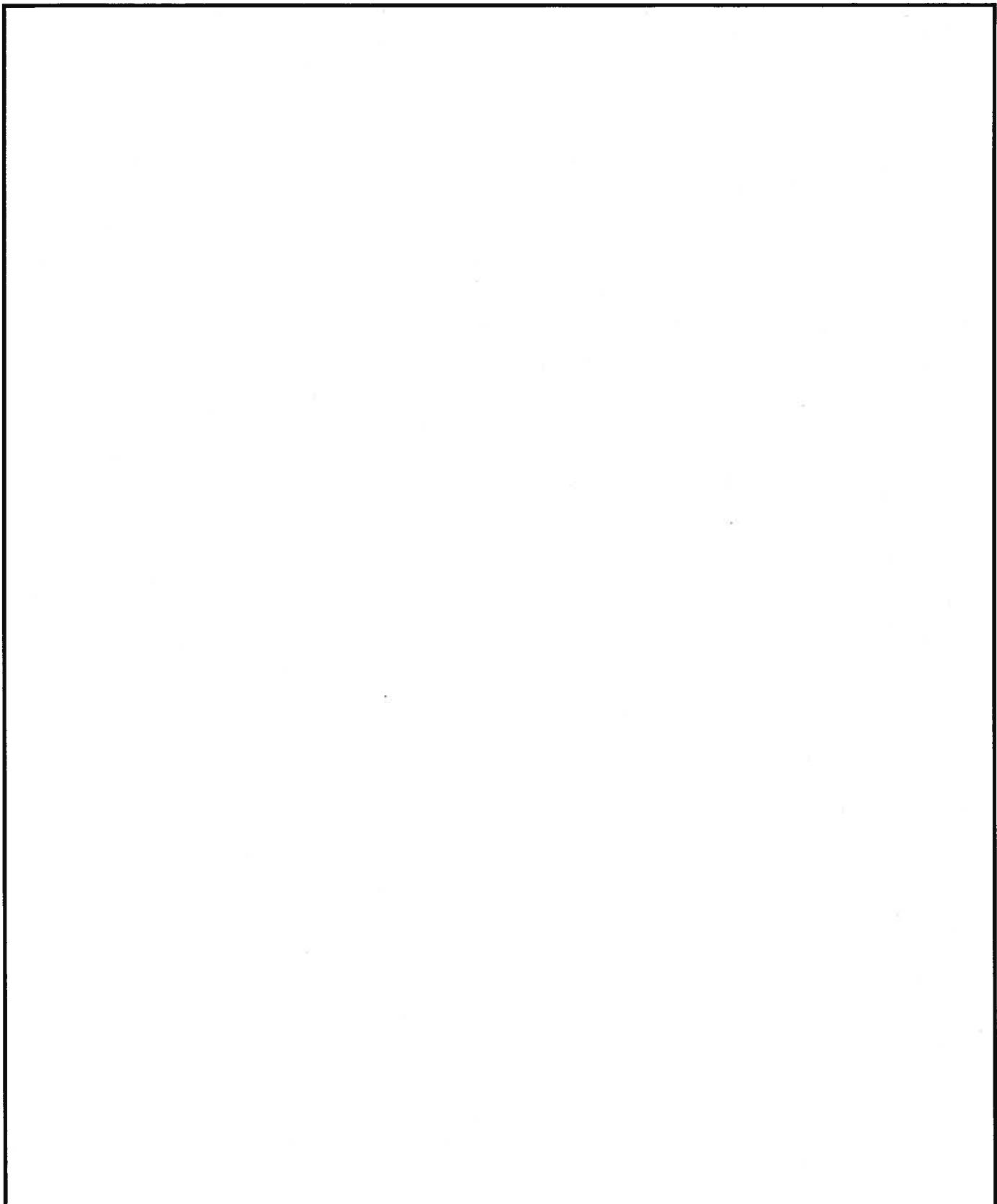


図 3-2 (7) 分離精製工場(MP)6 階平面図

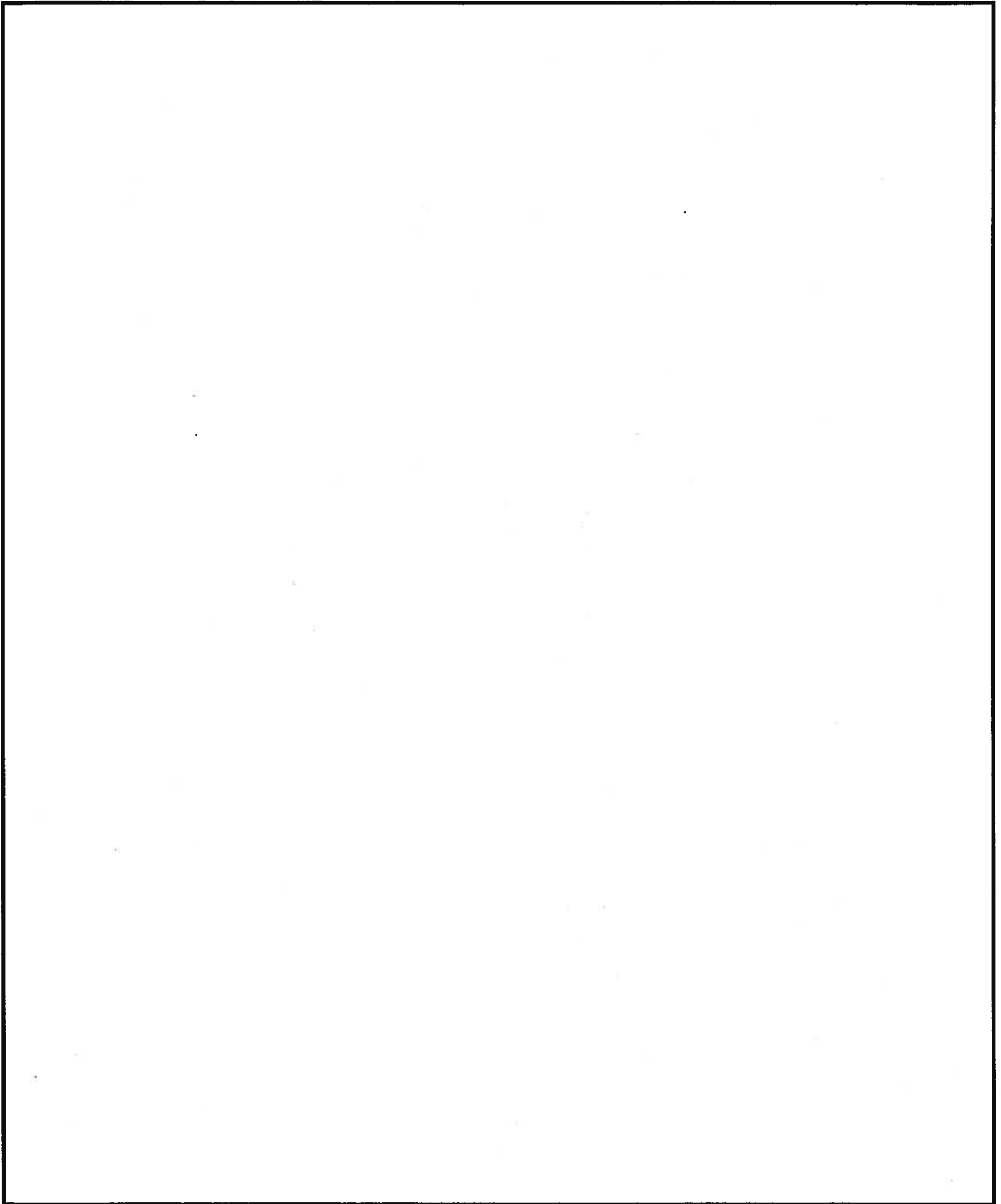


図 3-2 (8) 分離精製工場(MP)

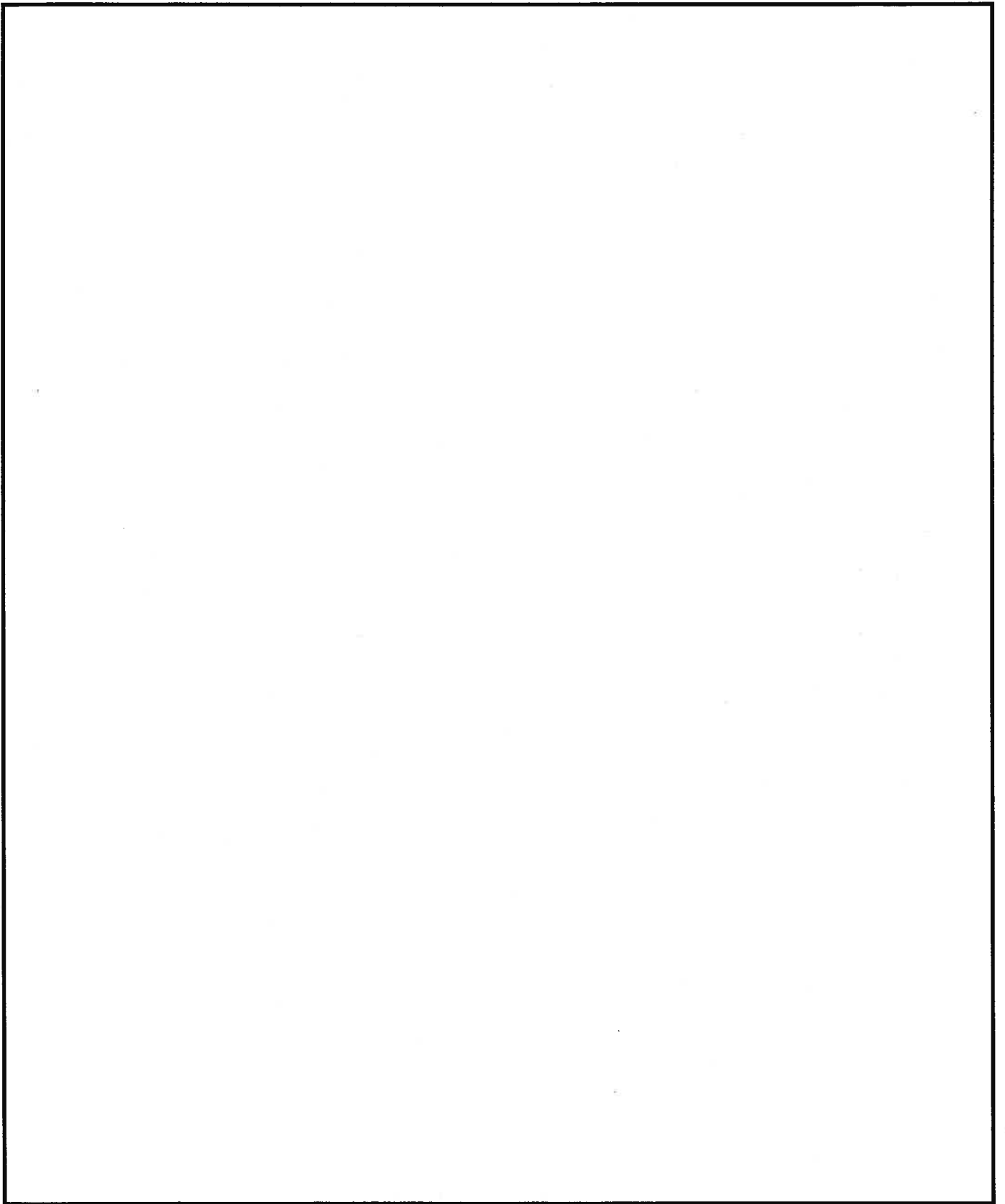


図 3-2 (9) 分離精製工場(MP)



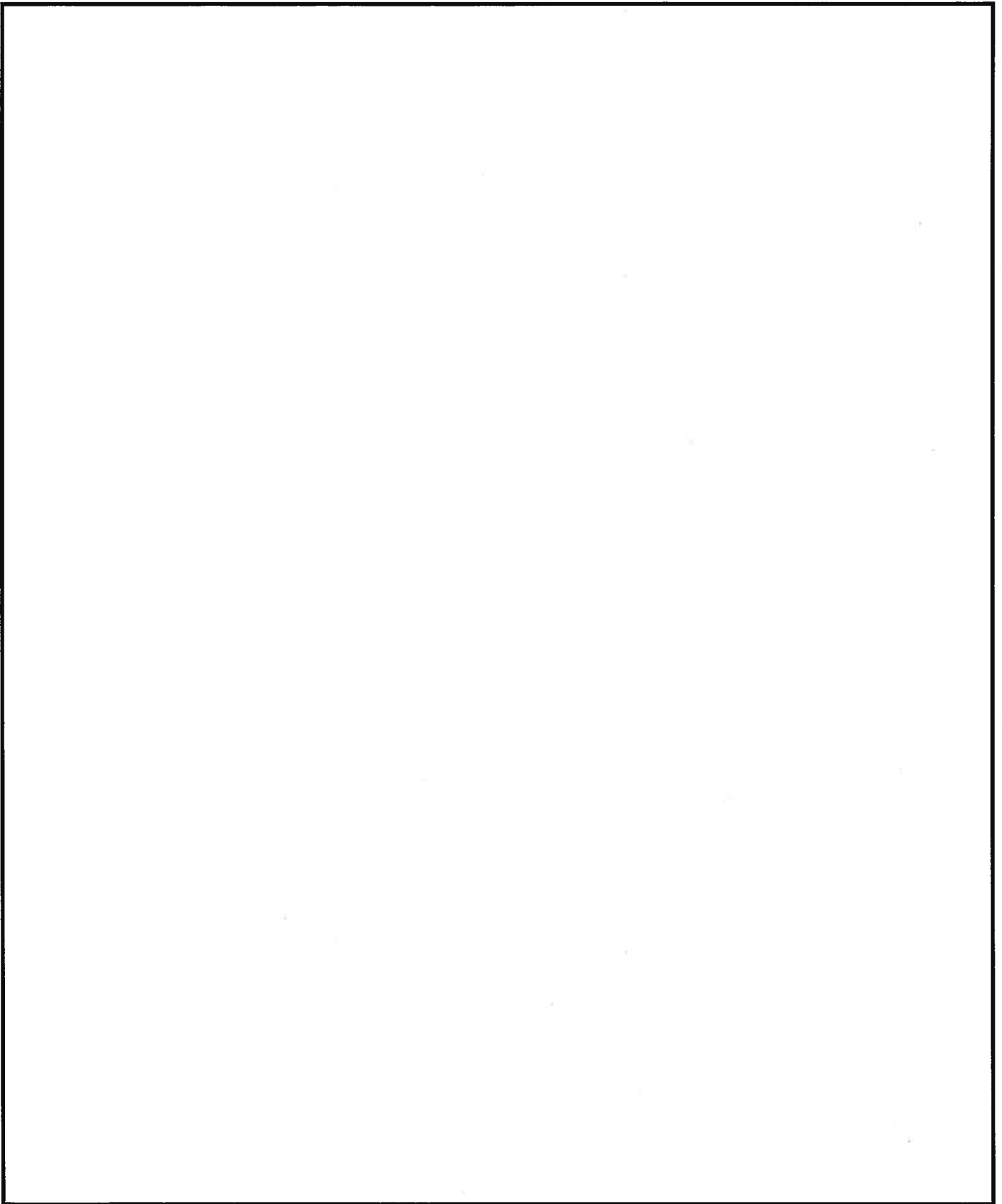


図 3-2 (10) 分離精製工場 (MP)

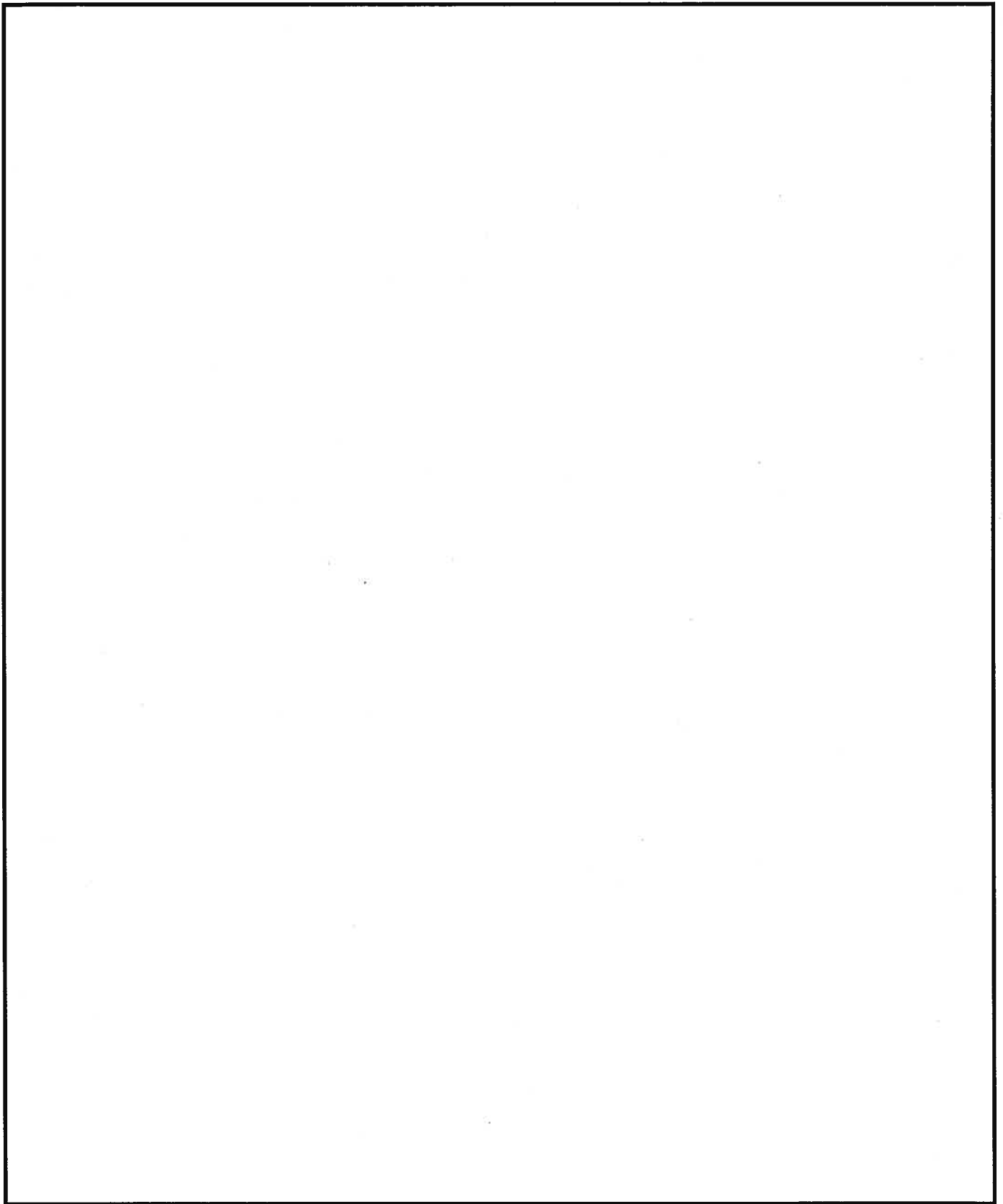


图 3-2 (11) 主排氣筒

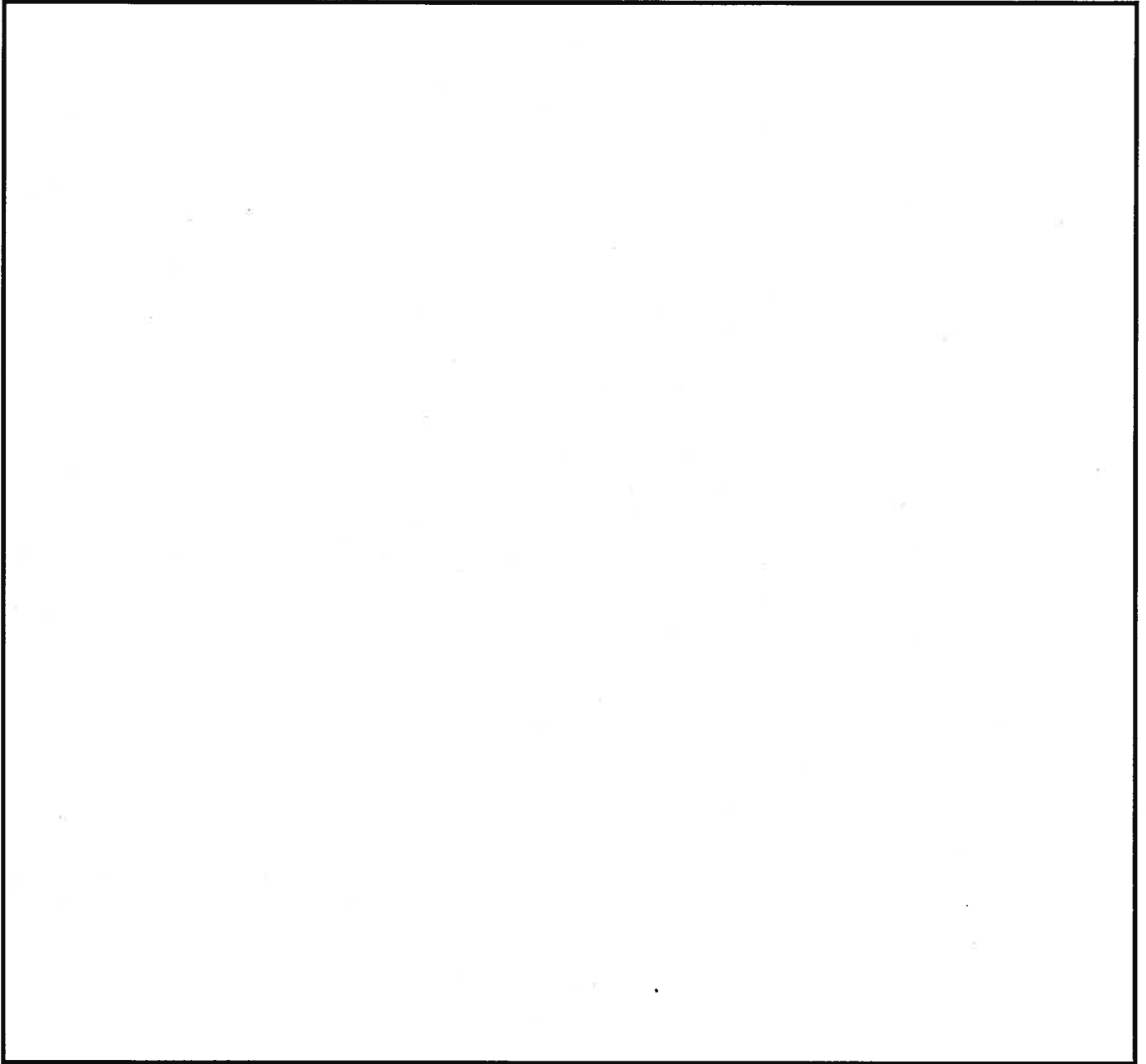


図 3-2 (12) 廃棄物処理場 (AAF) 地下 1 階平面図

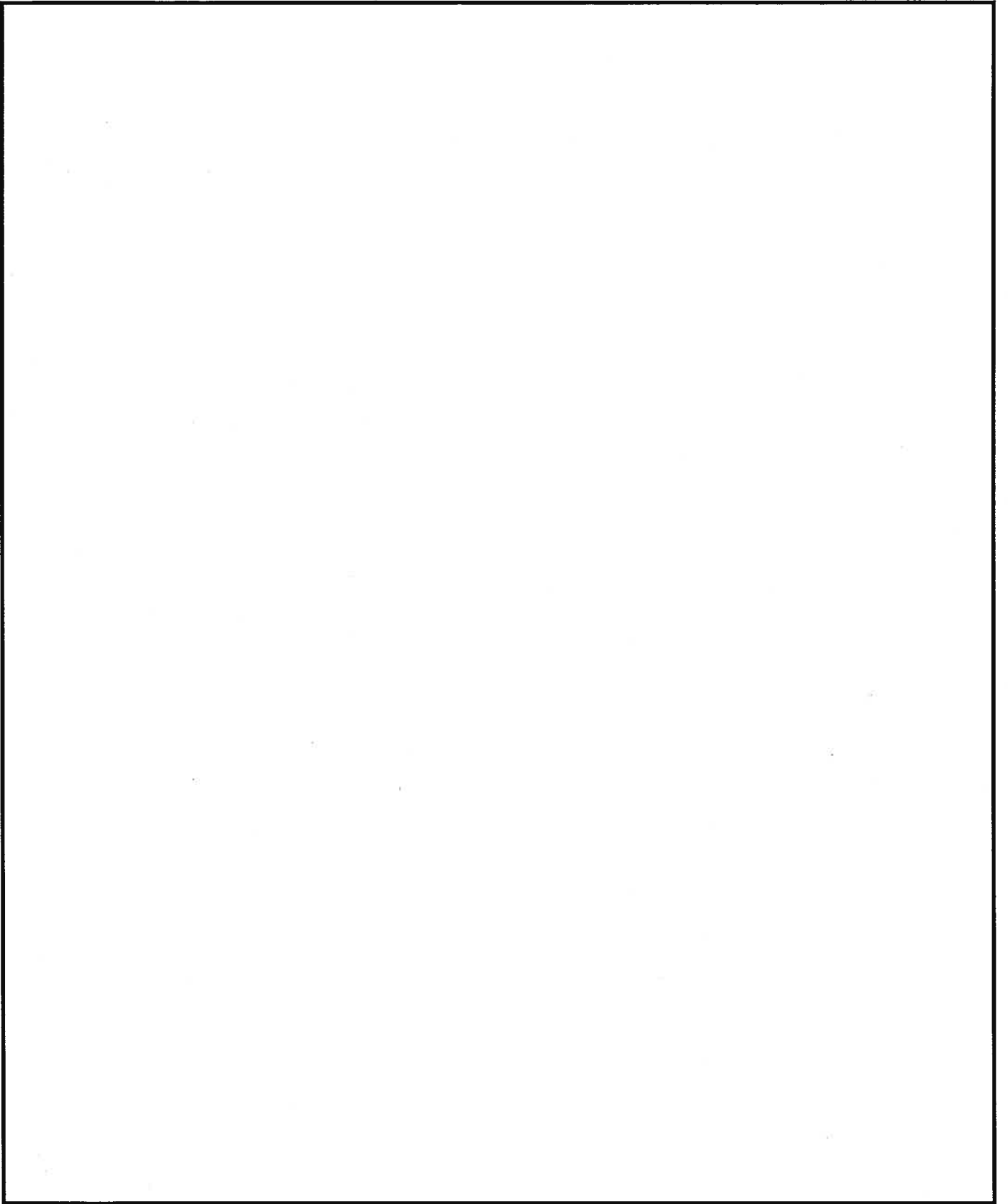


図 3-2 (13) 廃棄物処理場 (AAF) 1 階平面図

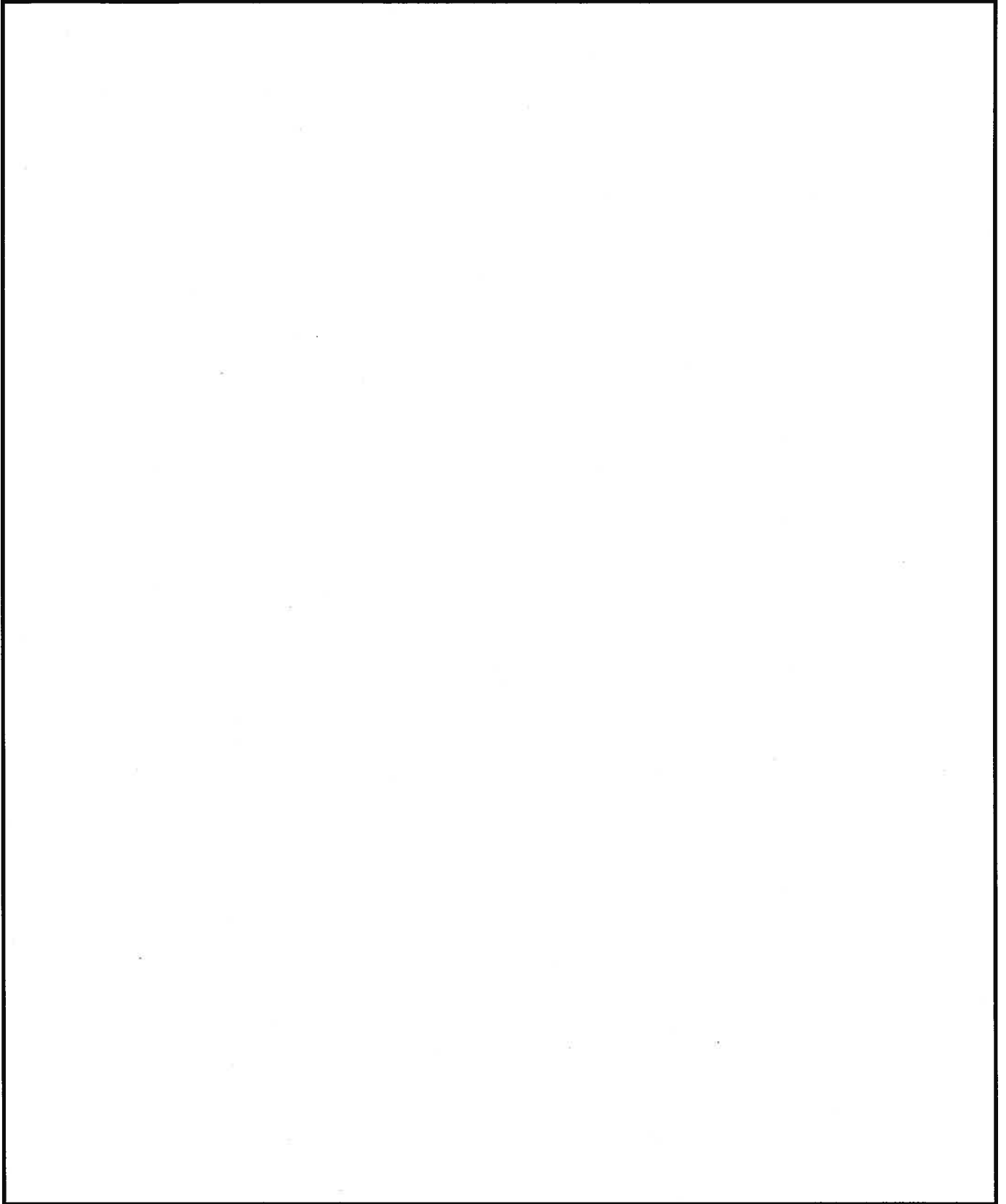


図 3-2 (14) 廃棄物処理場 (AAF) 2 階平面図

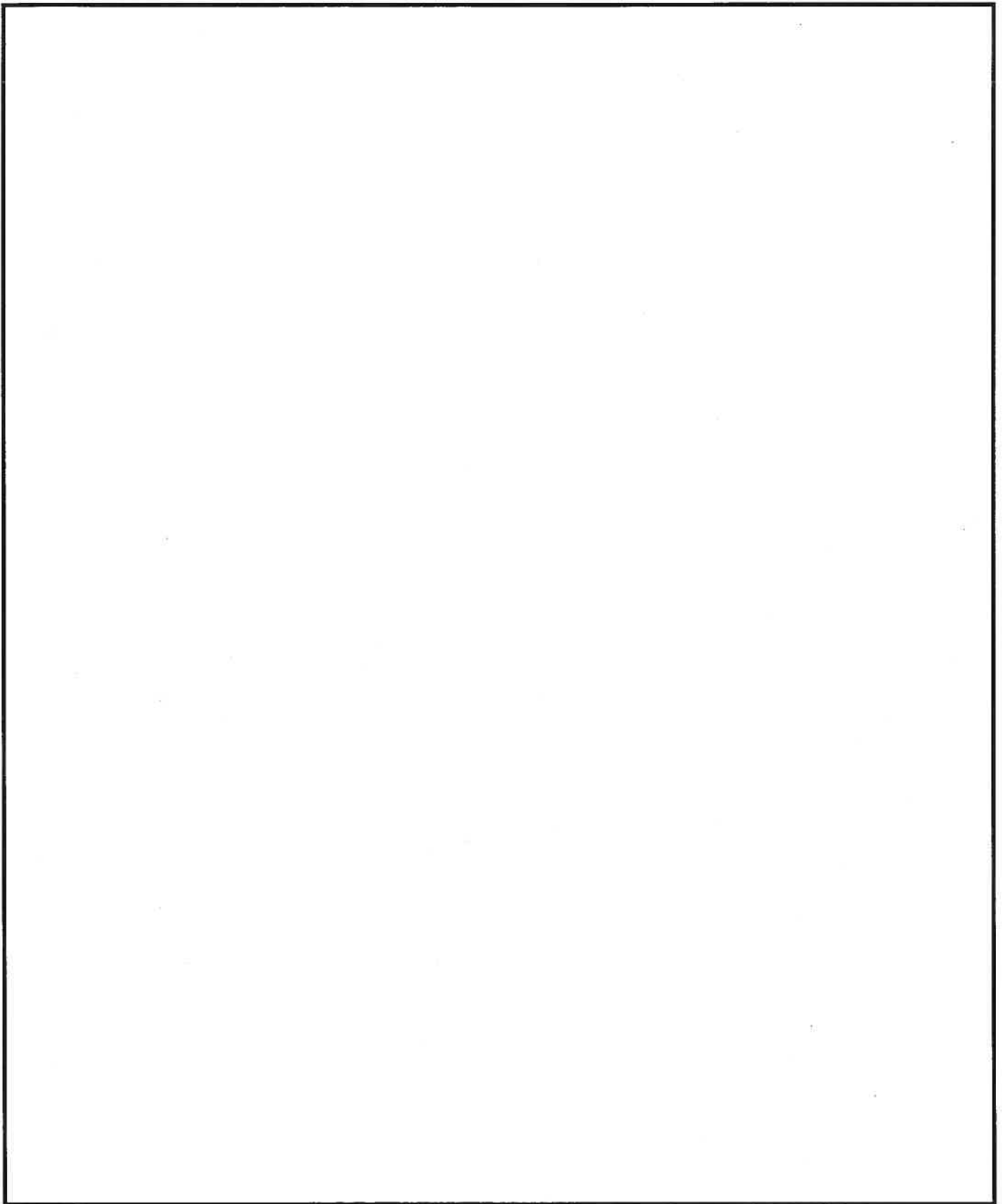


図 3-2 (15) 廃棄物処理場 (AAF) 中 3 階平面図

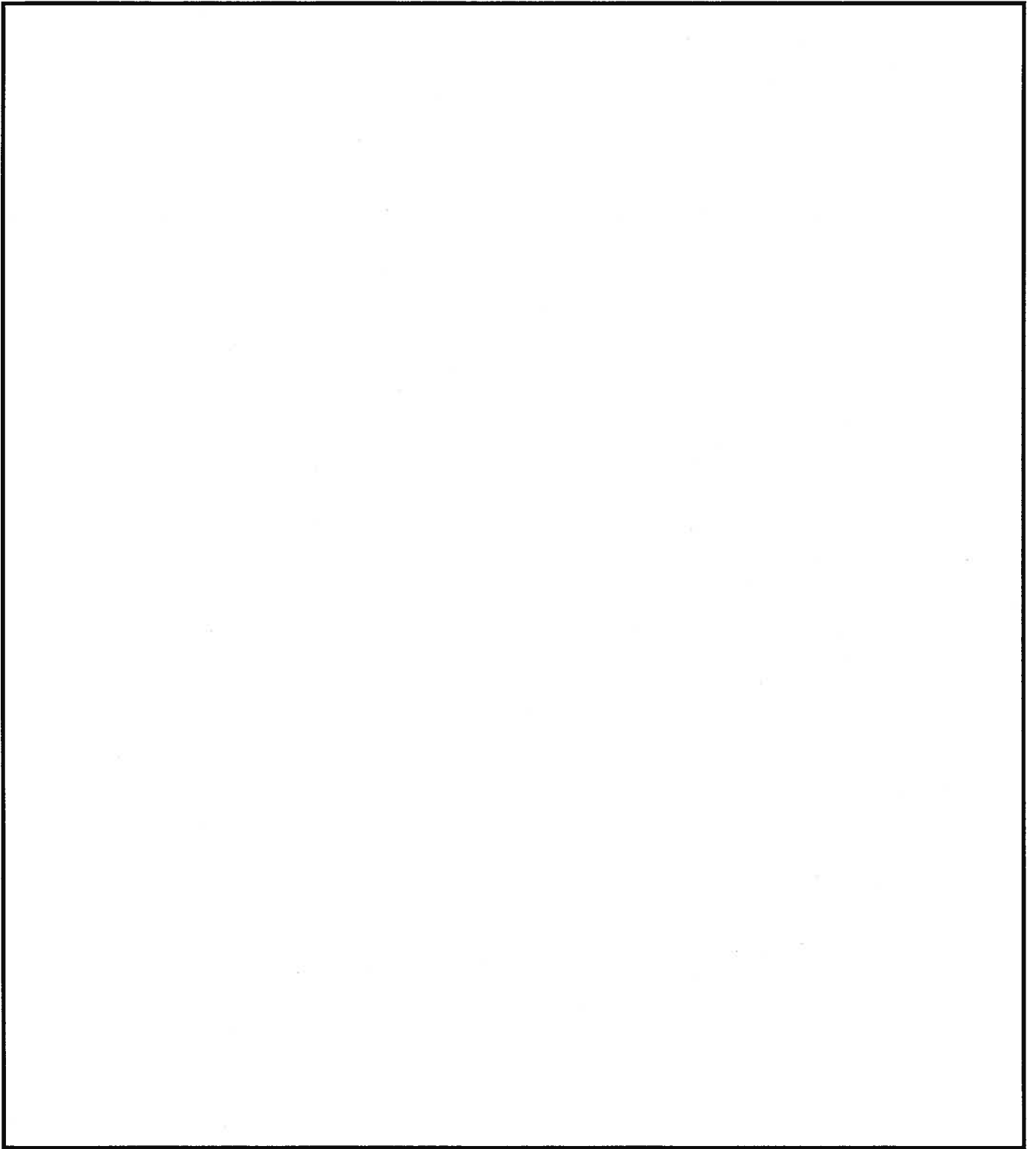


図 3-2 (16) 廃棄物処理場 (AAF) 3 階平面図

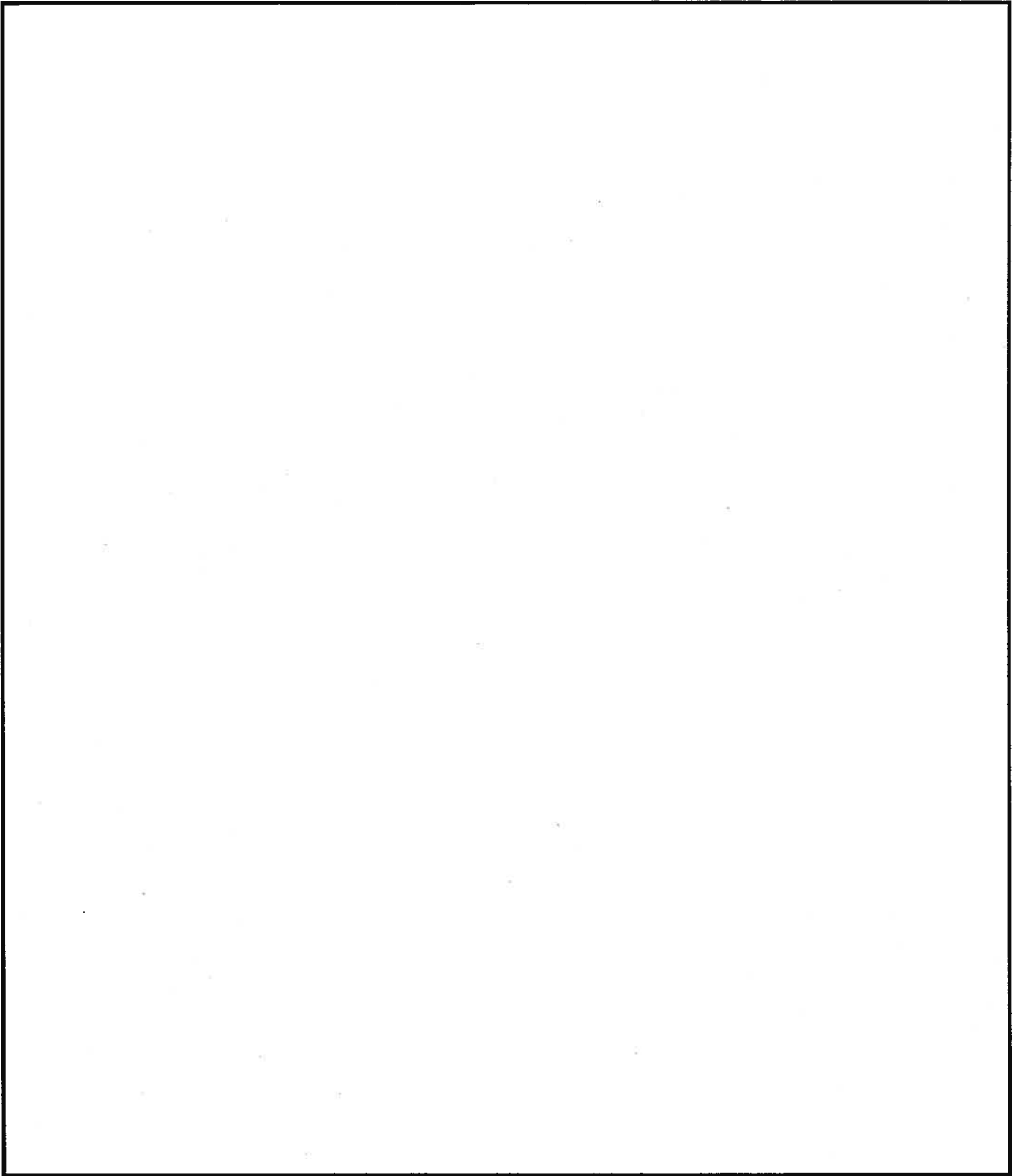


图 3-2 (17) 分析所 (CB) 地階平面図



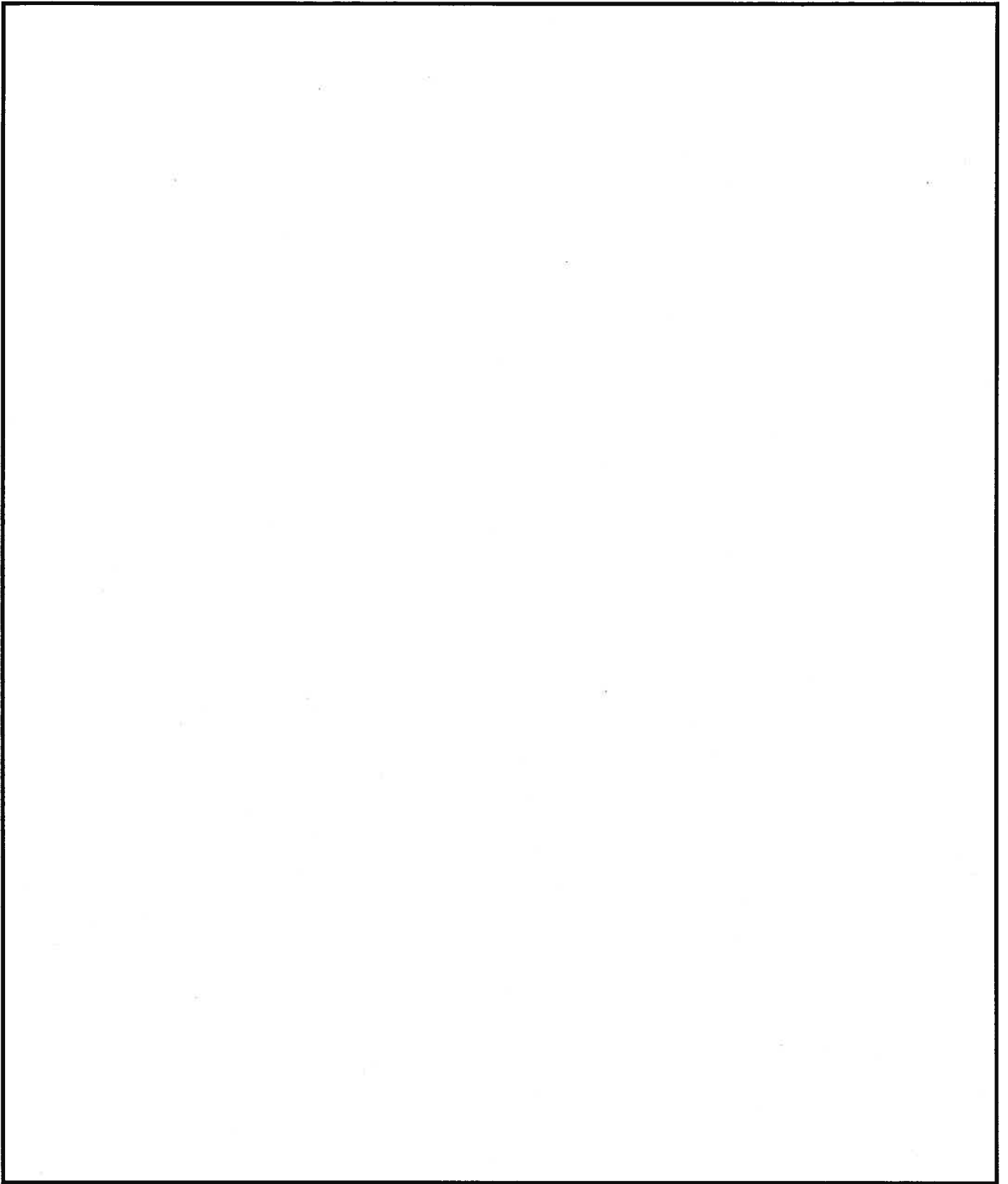


图 3—2 (18) 分析所 (CB) 1 階平面図

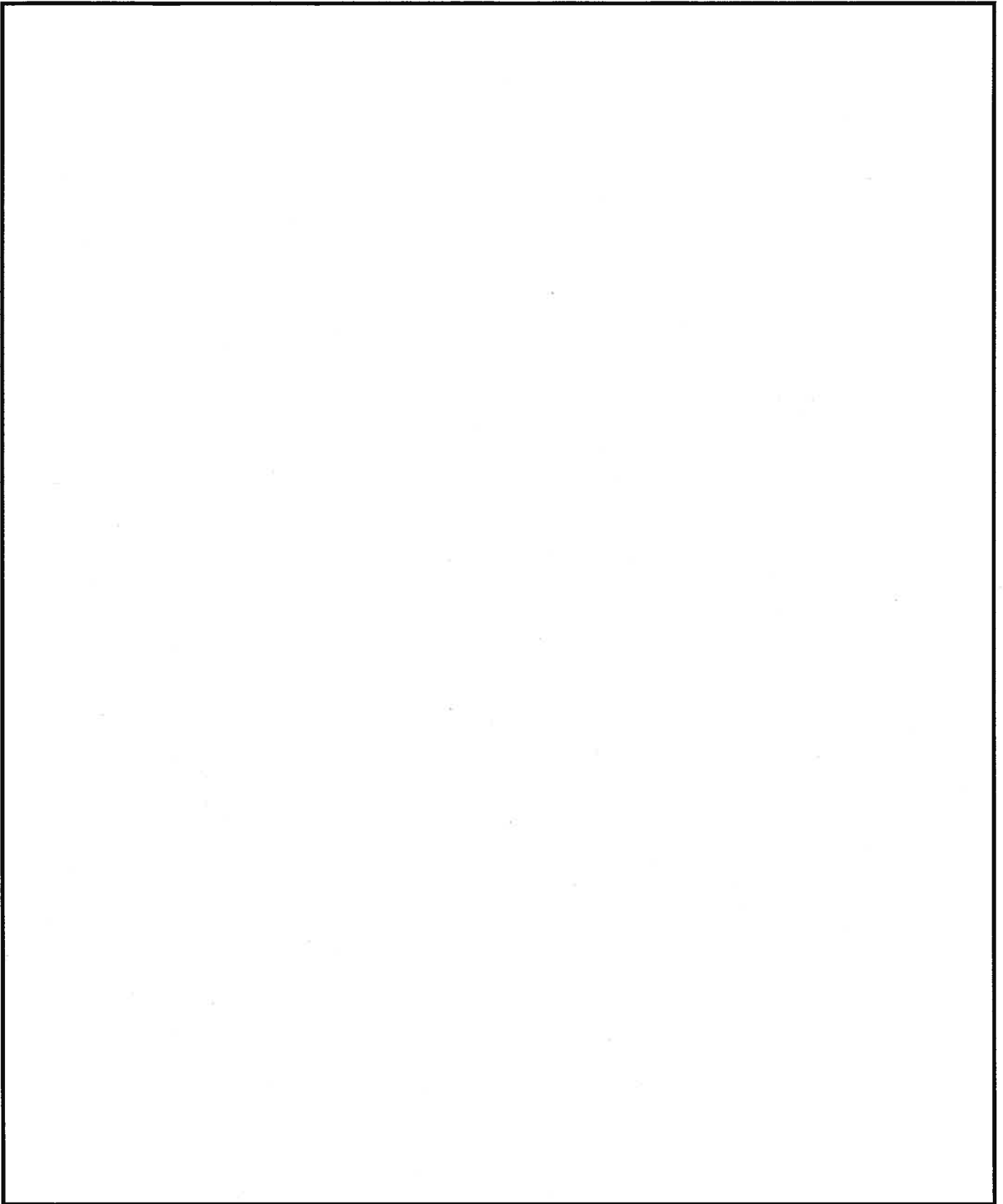


図 3-2 (19) 分析所 (CB) 2 階平面図

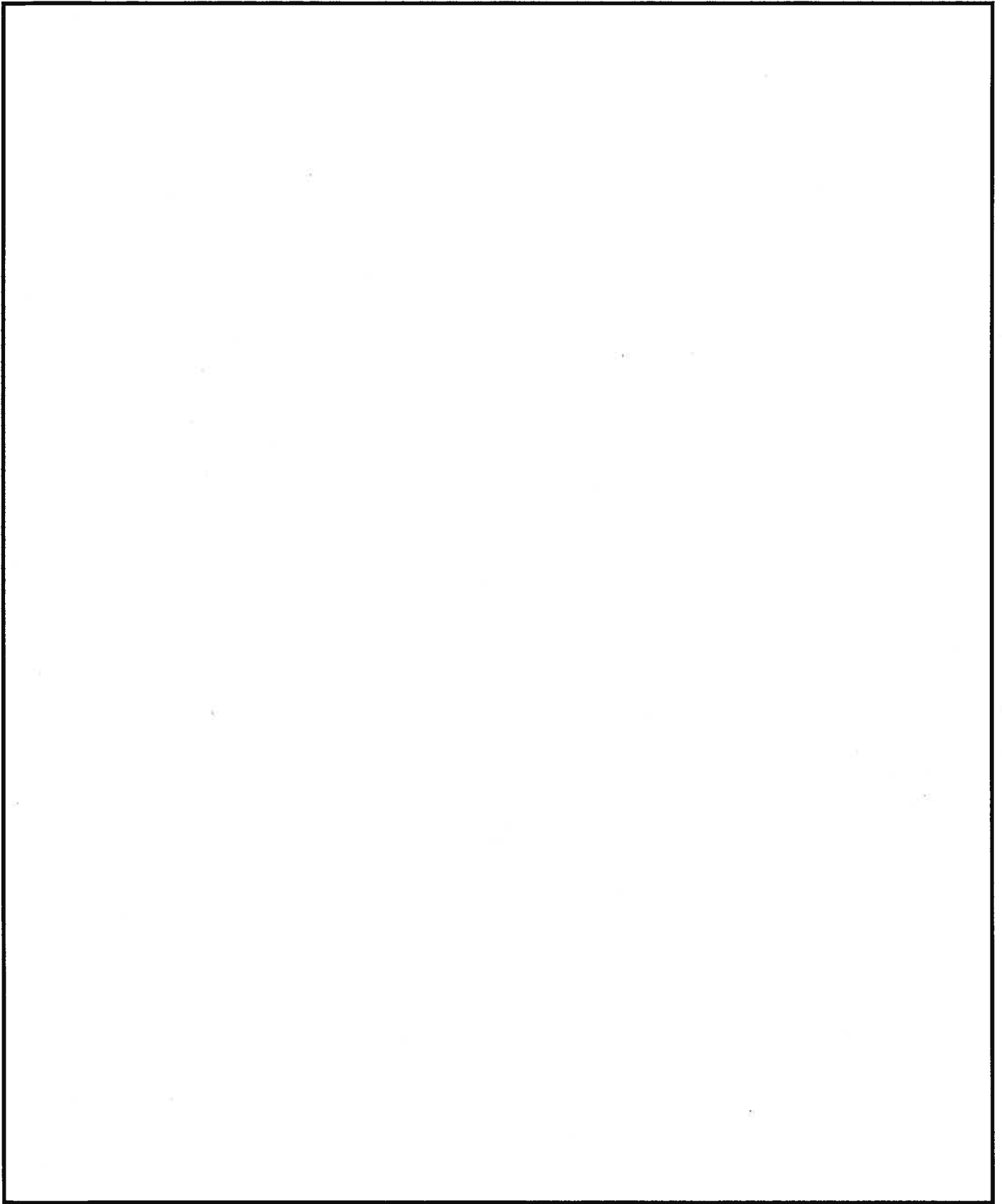


图 3-2 (20) 分析所 (CB) 3 階平面図

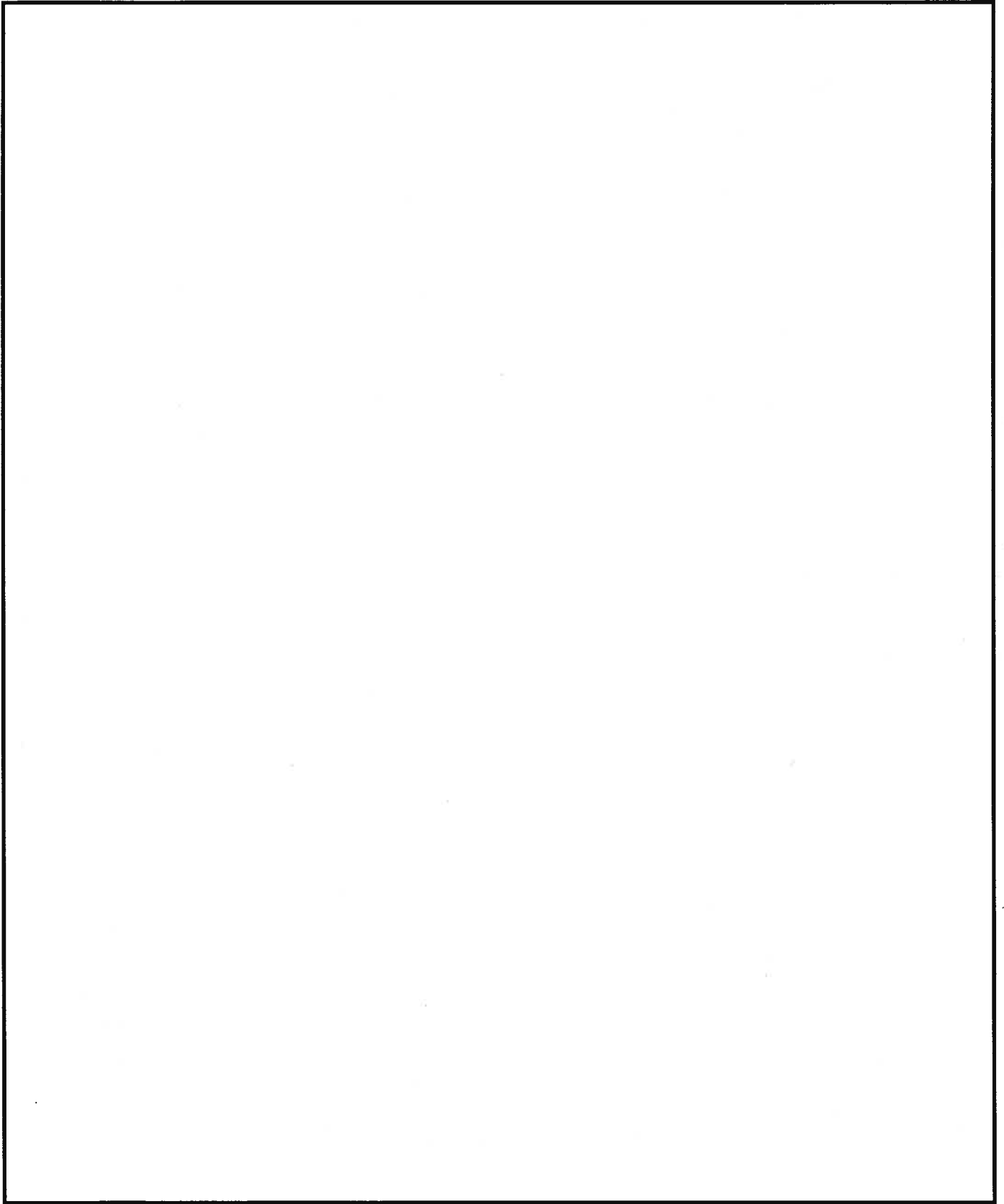


図 3-2 (21) 除染場 (DS)

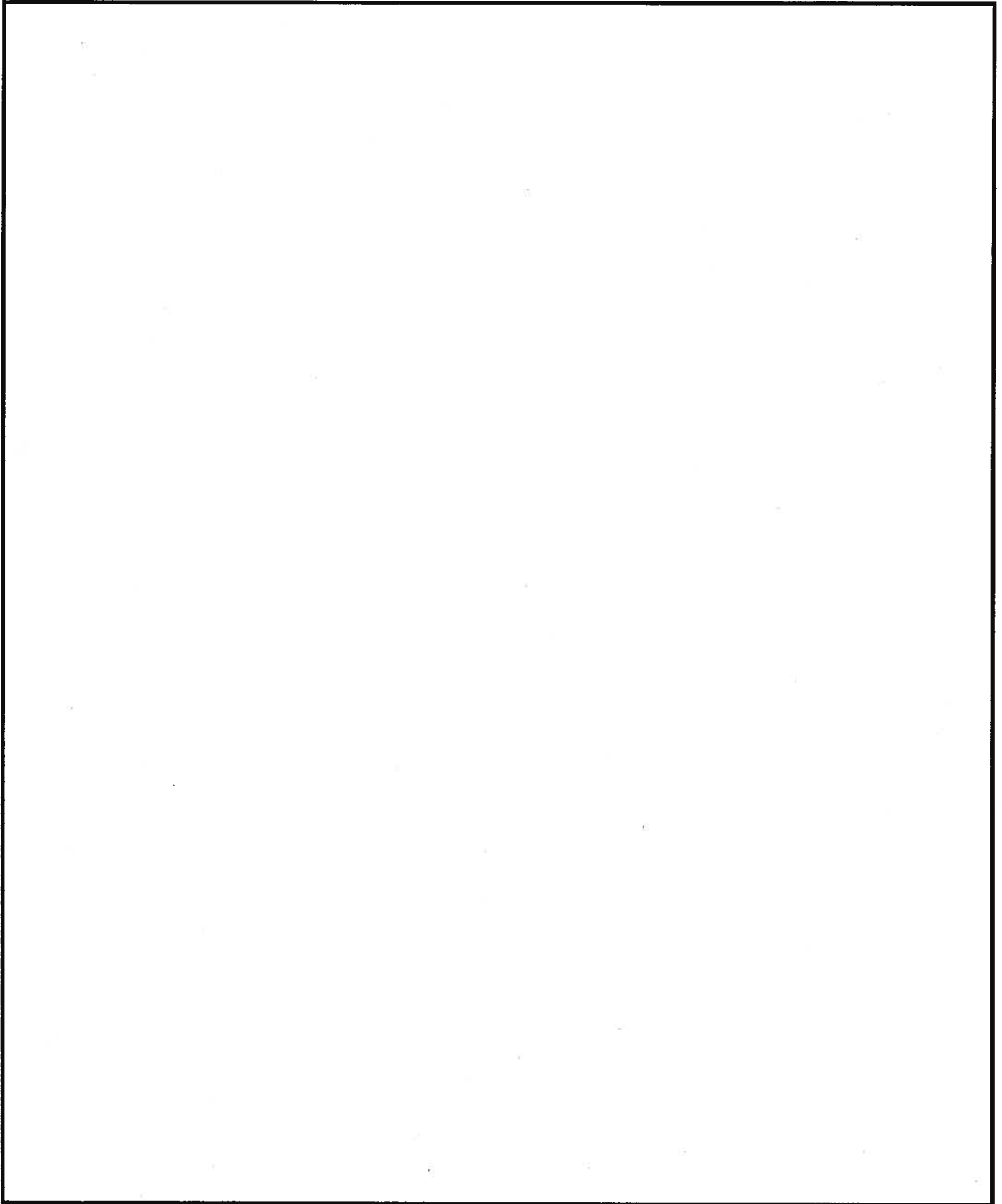


图 3-2 (22) 高放射性固体废弃物貯藏庫 (HASWS)

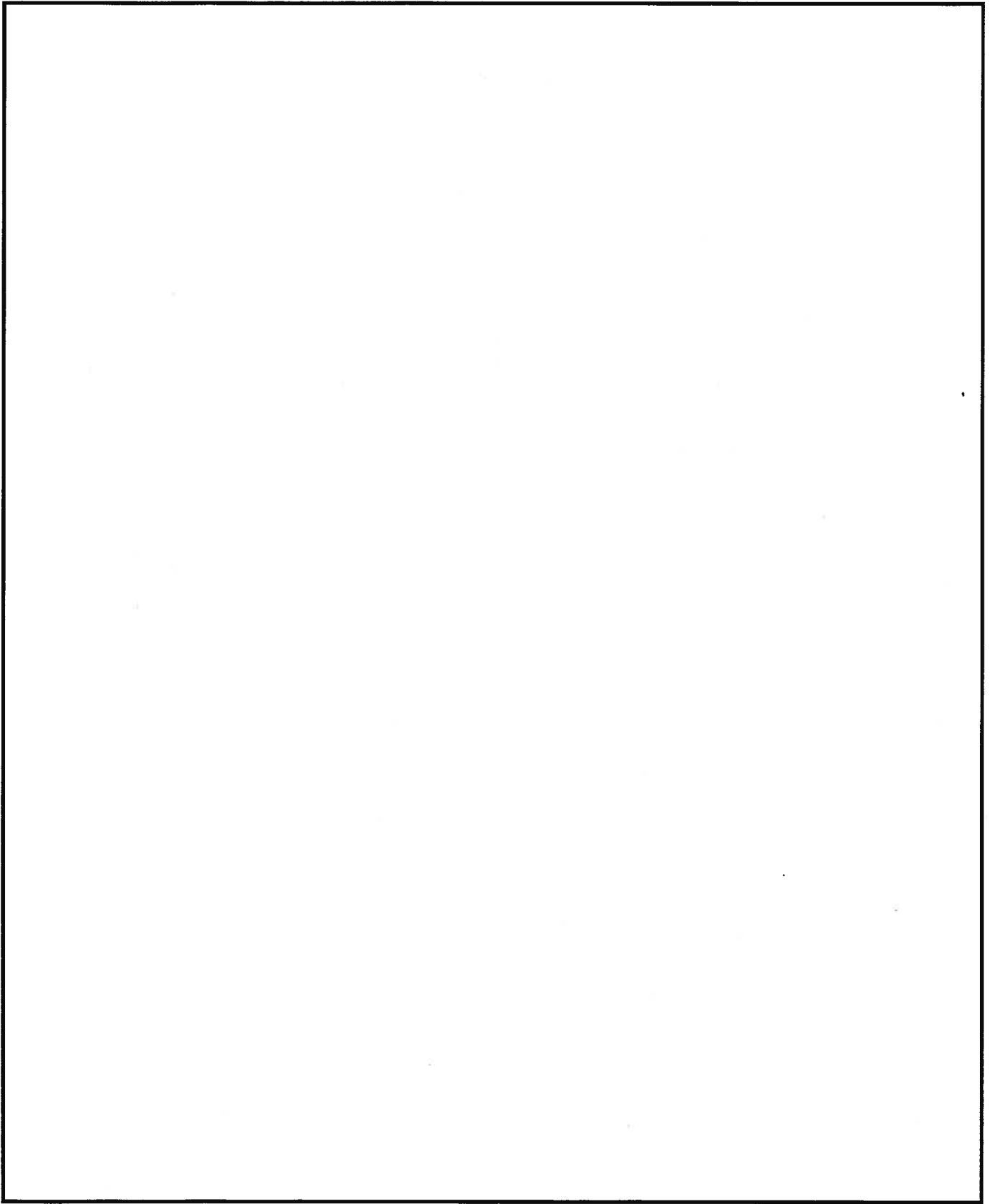


図 3-2 (23) スラッジ貯蔵場 (LW)

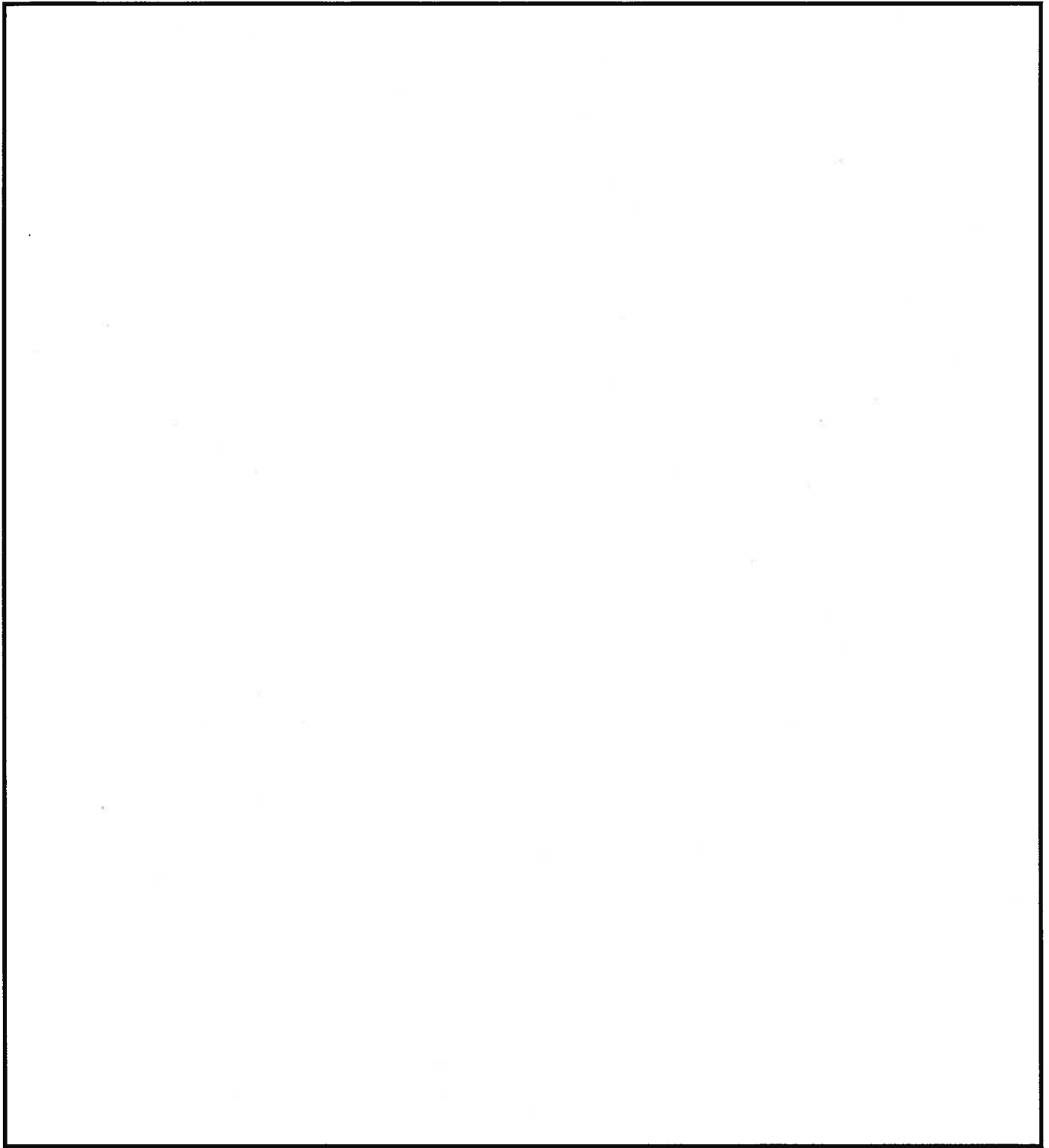


図 3-2 (24) ウラン貯蔵所 (U03)

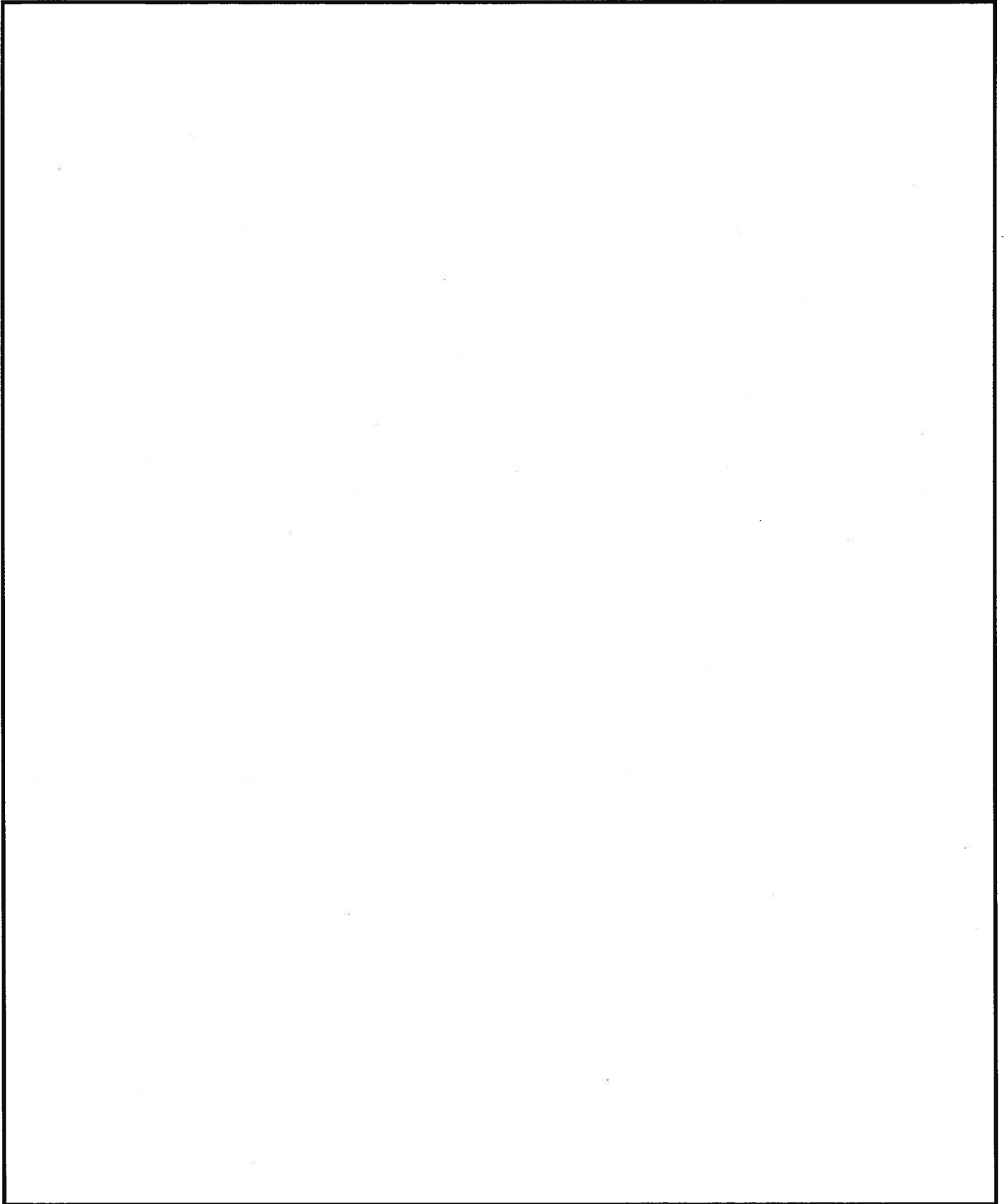


図 3-2 (25) 第二低放射性廃液蒸発処理施設 (E)



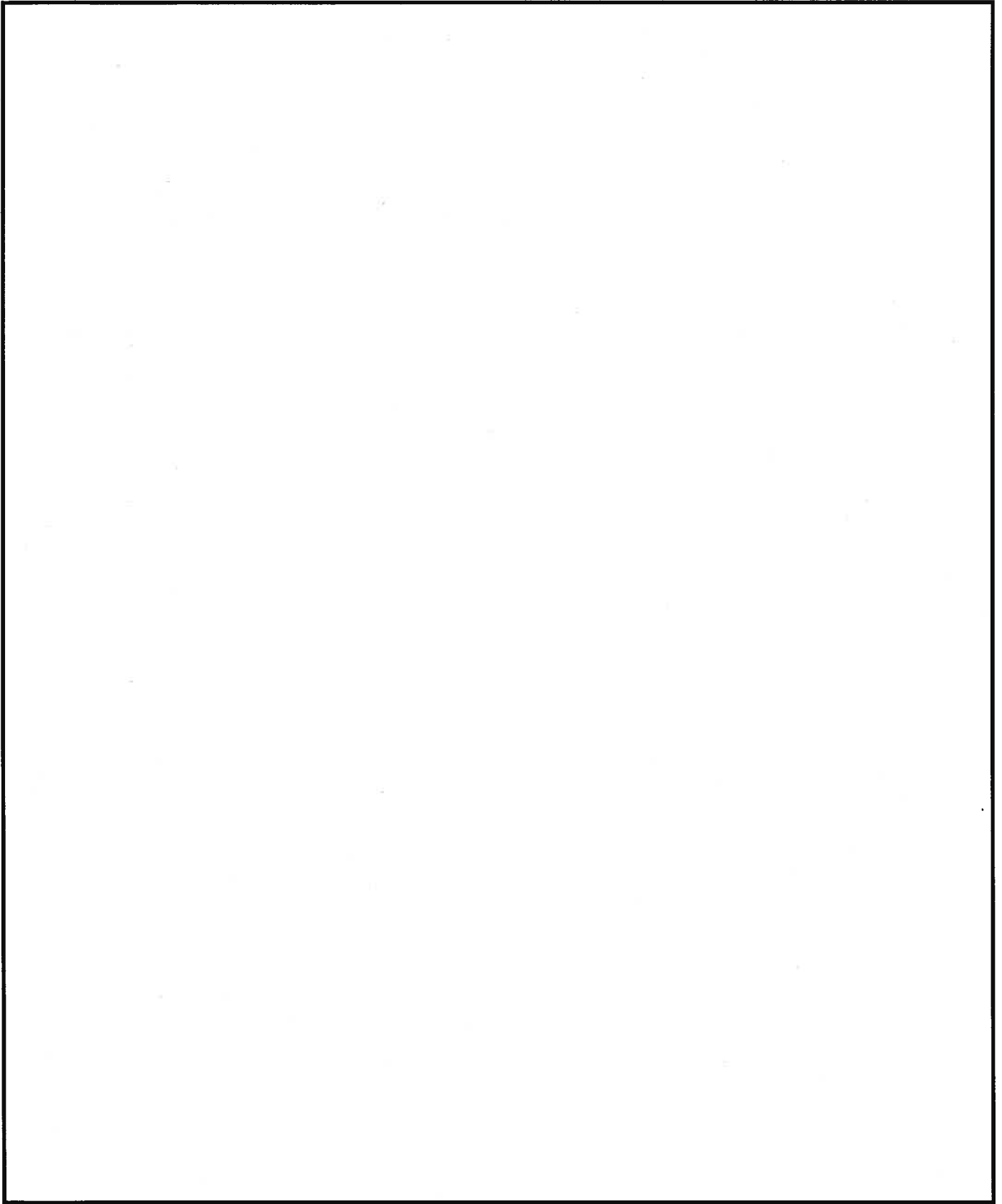


図 3-2 (26) 第二低放射性廃液蒸発処理施設 (E)

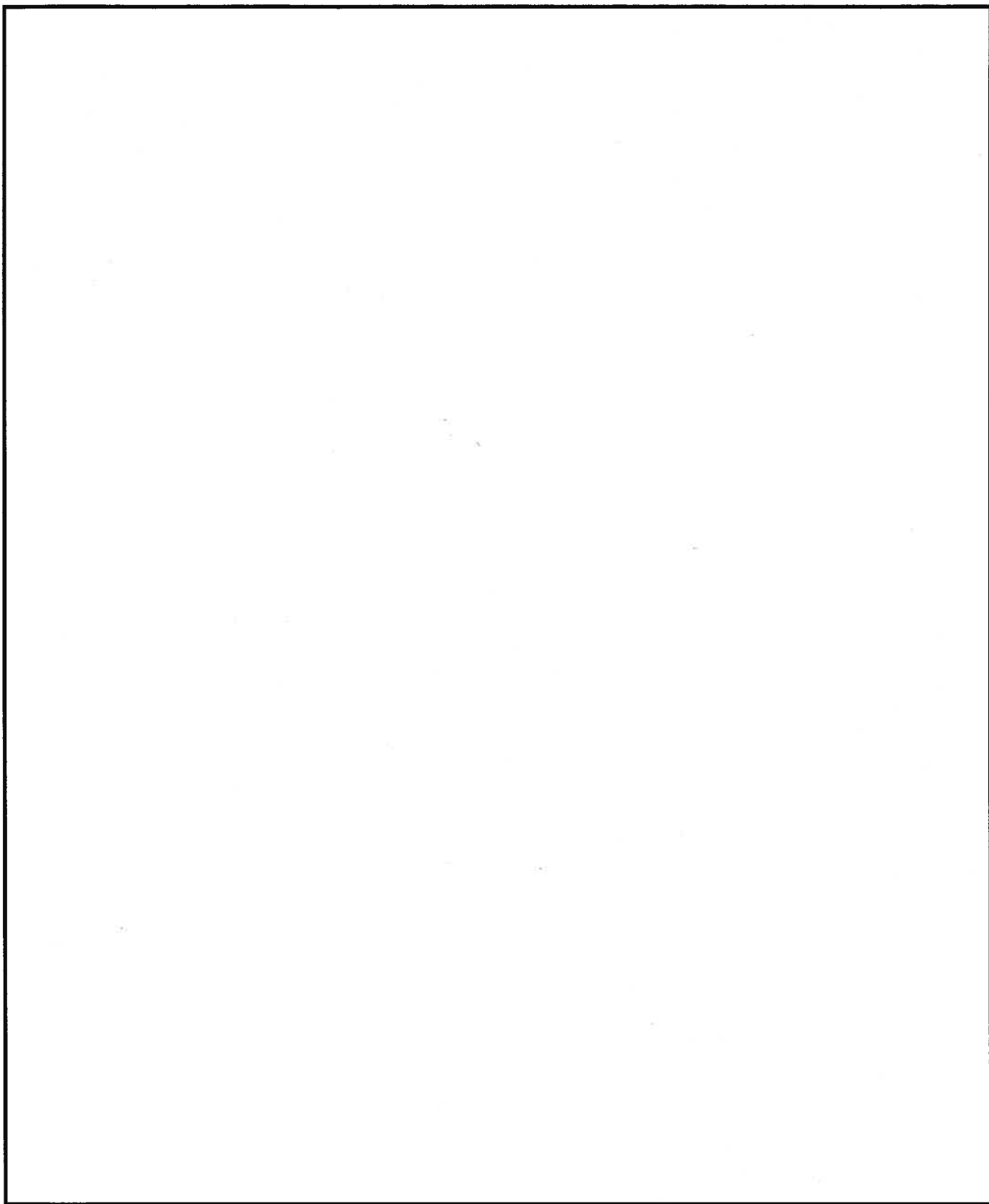


図 3-2 (27) 排水モニタ室 (DMS)

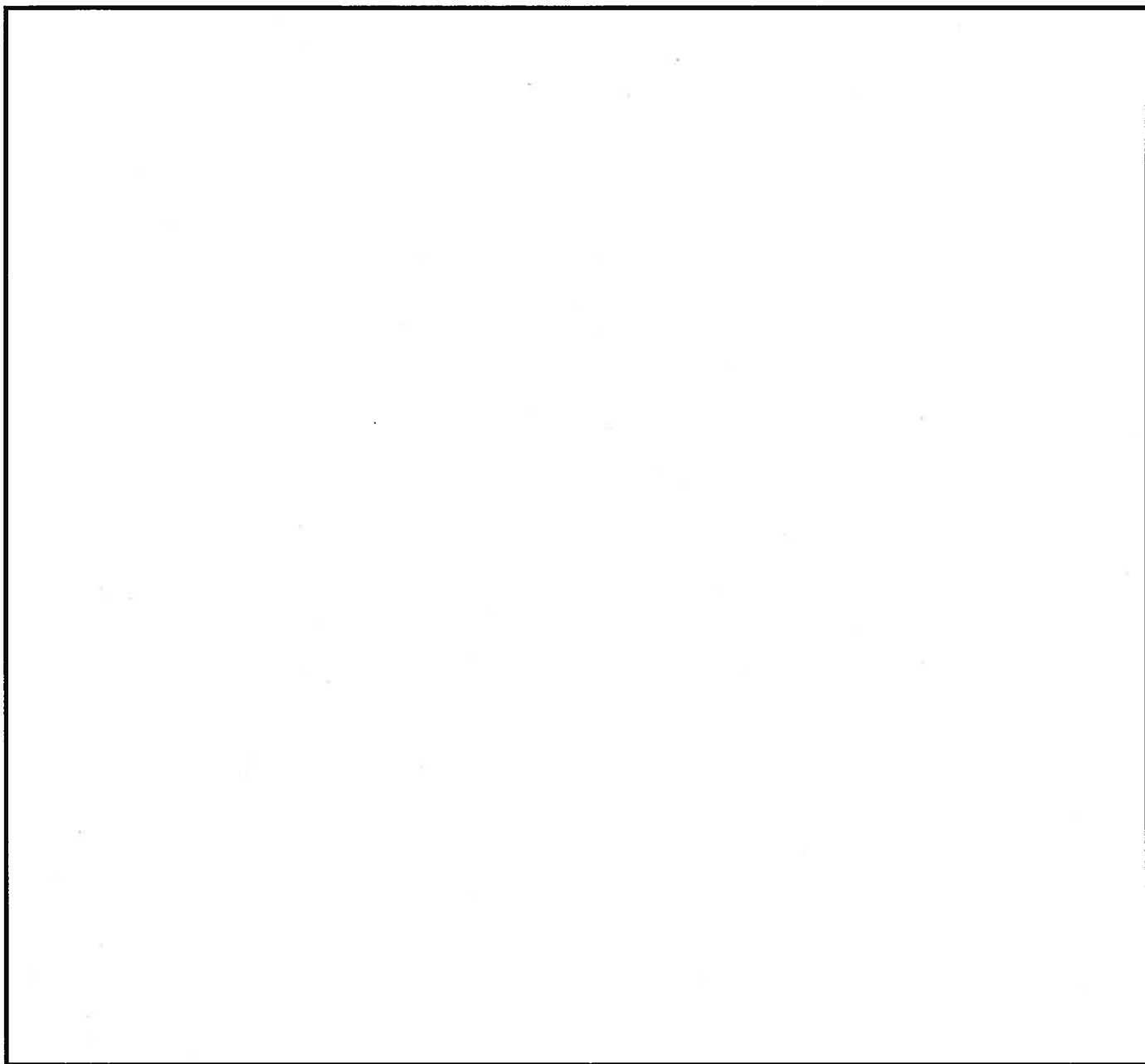


图 3-2 (28) 第三低放射性废液蒸发处理设施 (Z) 地下 2 阶平面图

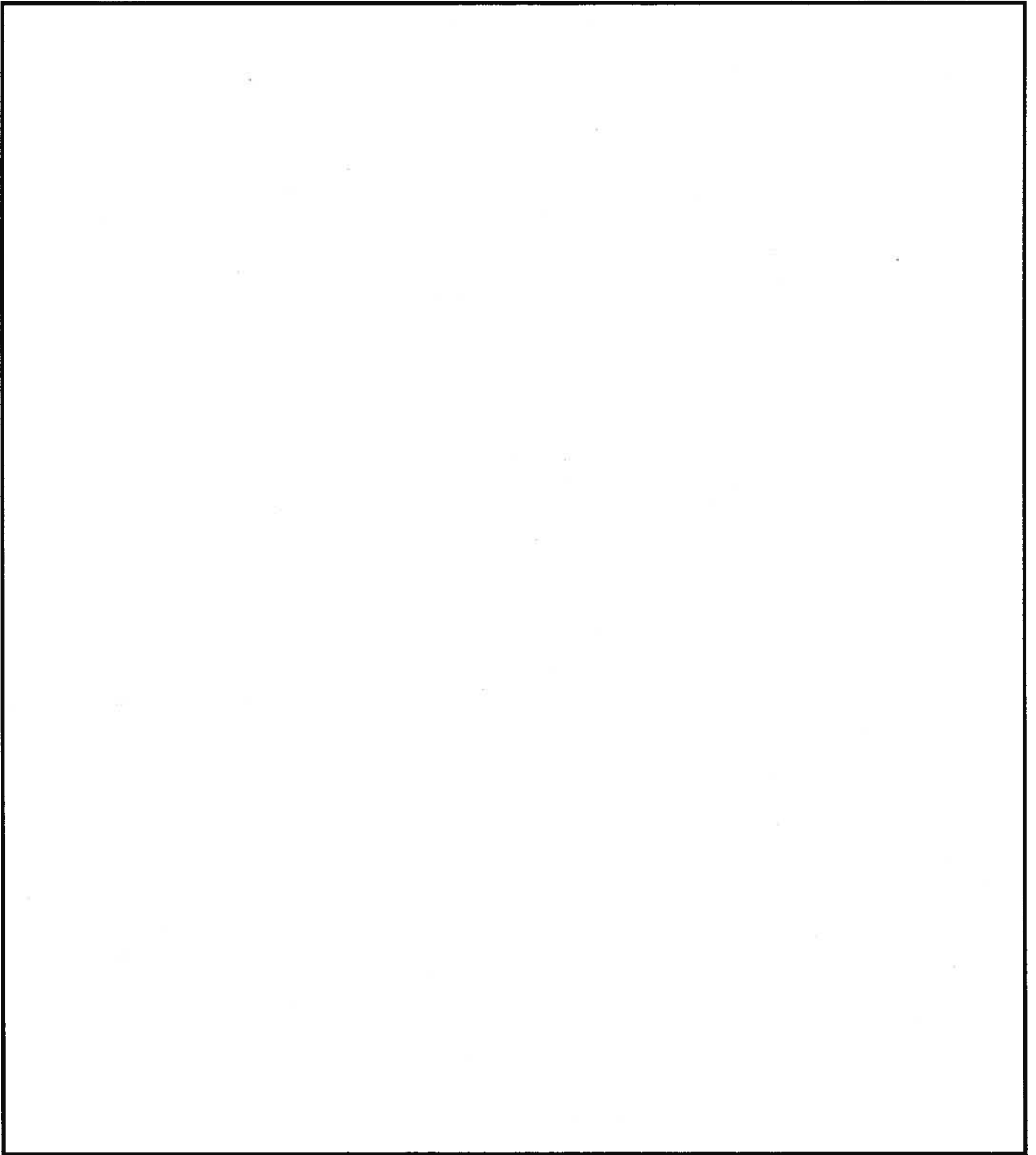


図 3-2 (29) 第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z) 地下 1 階平面図

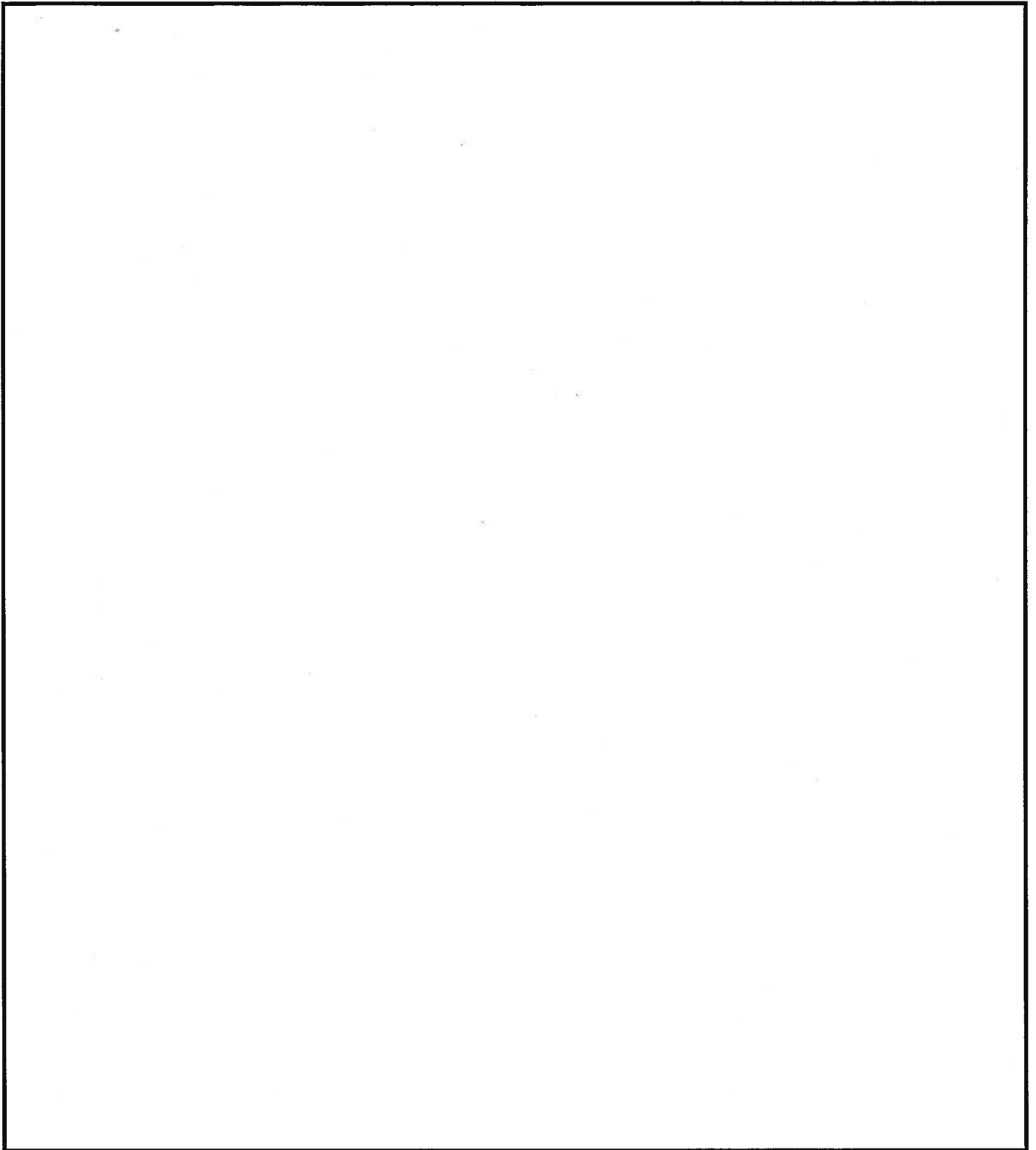


図 3-2 (30) 第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z) 1 階平面図

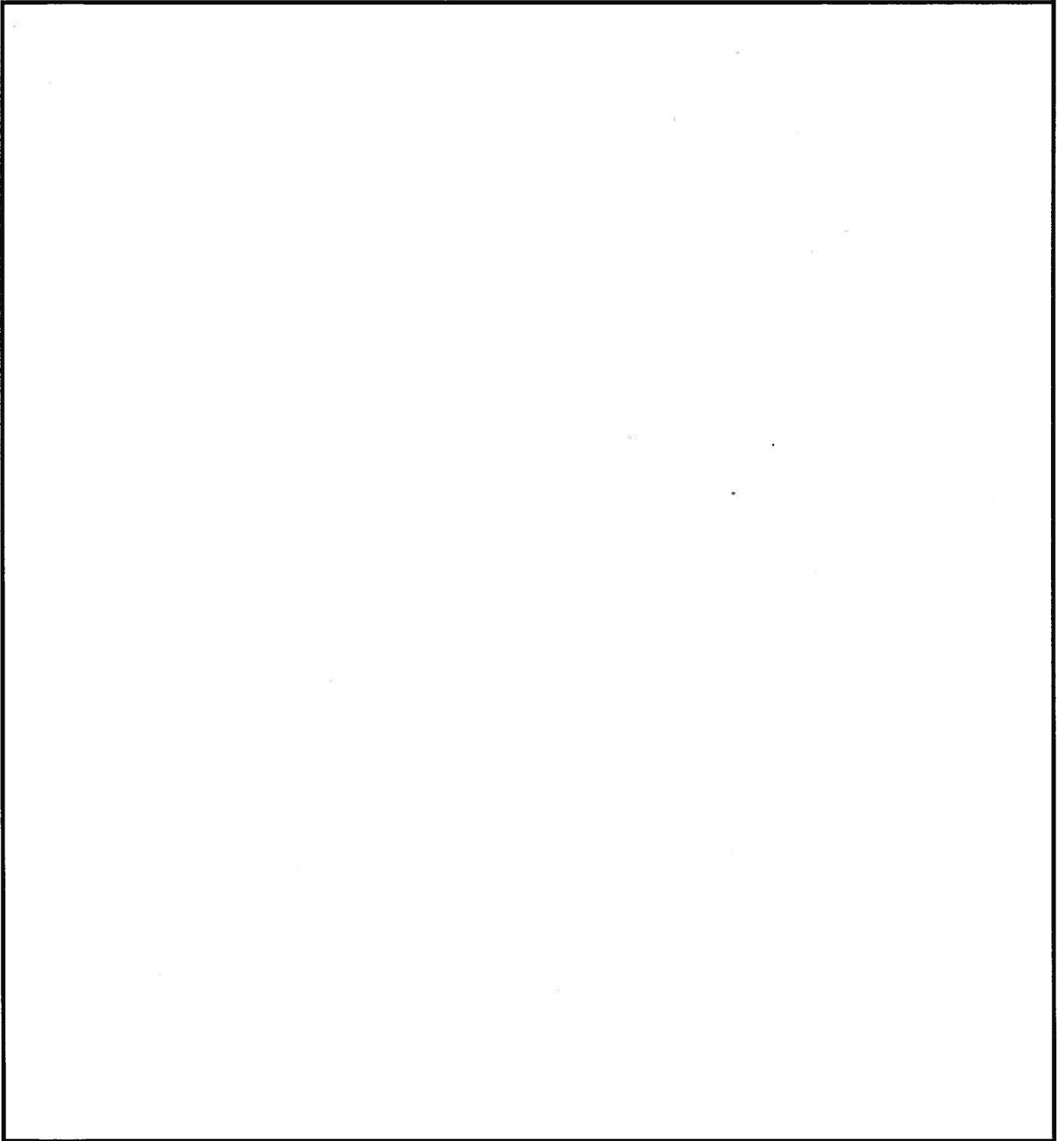


図 3-2 (31) 第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z) 2 階平面図

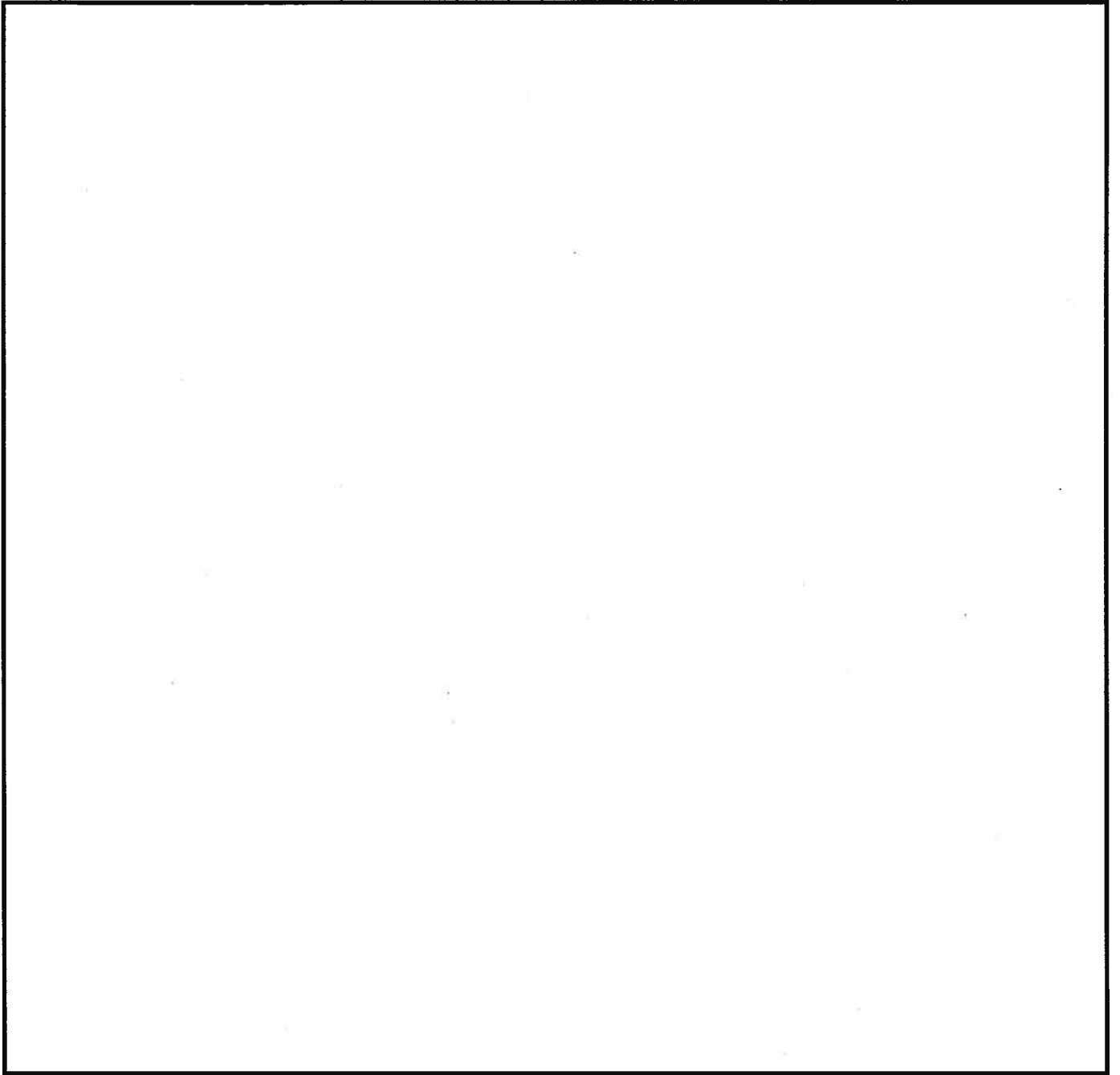


図 3-2 (32) 第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z) 3 階平面図

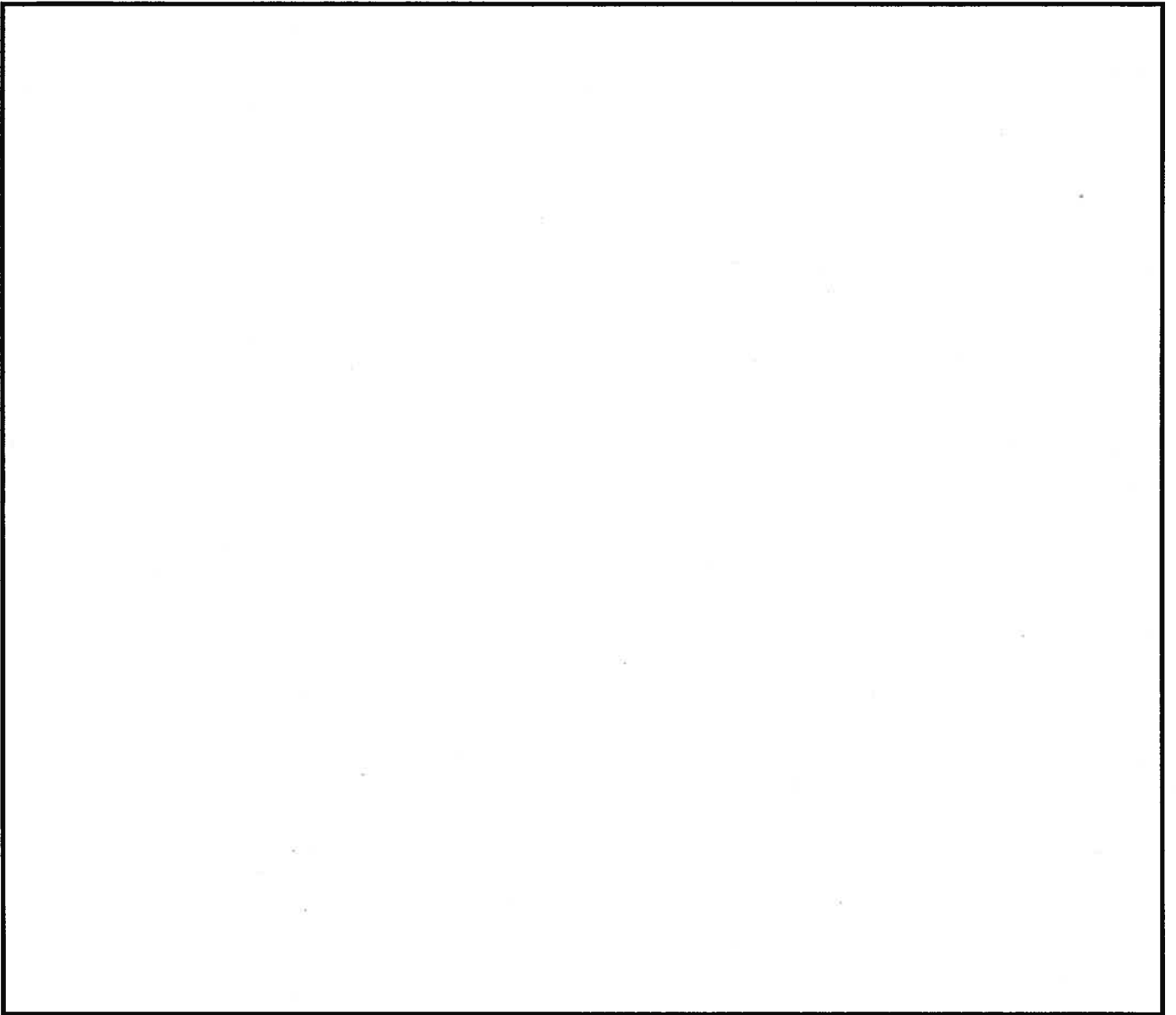


図 3-2 (33) 第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z) 4 階平面図



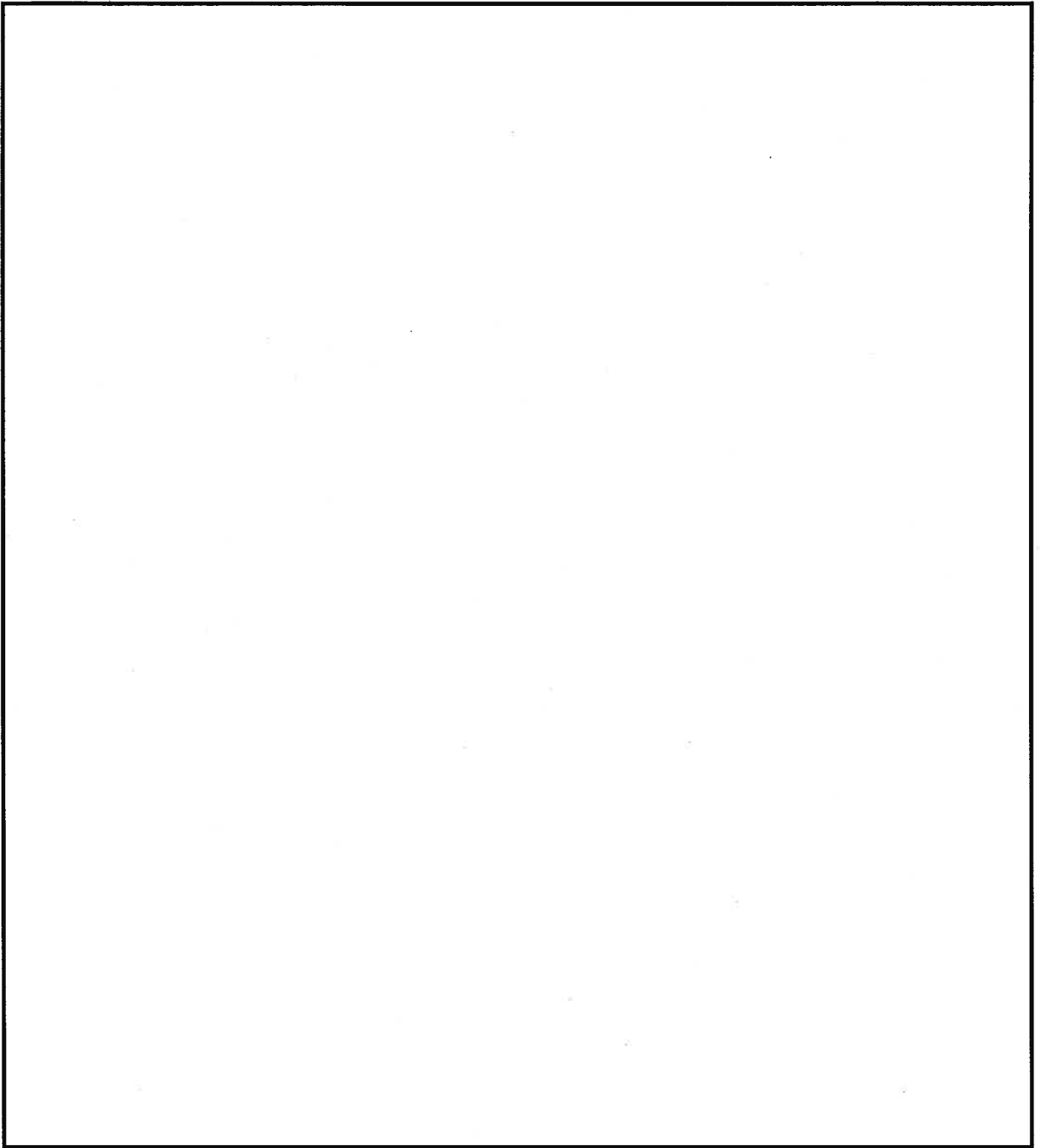


図 3-2 (34) 放出廃液油分除去施設 (C) 地下 1 階平面図

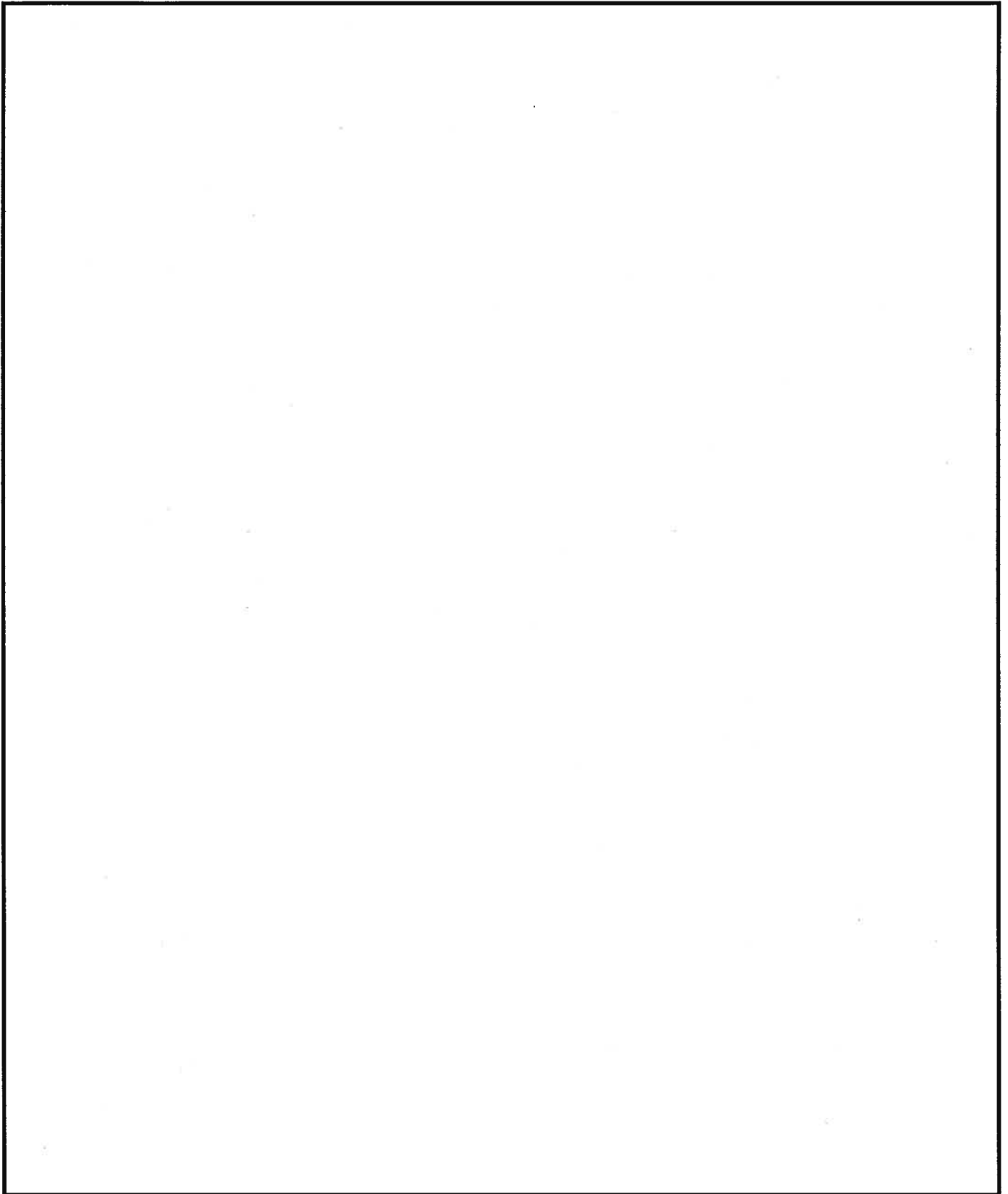


图 3-2 (35) 放出廢液油分除去施設 (C) 1 階平面図

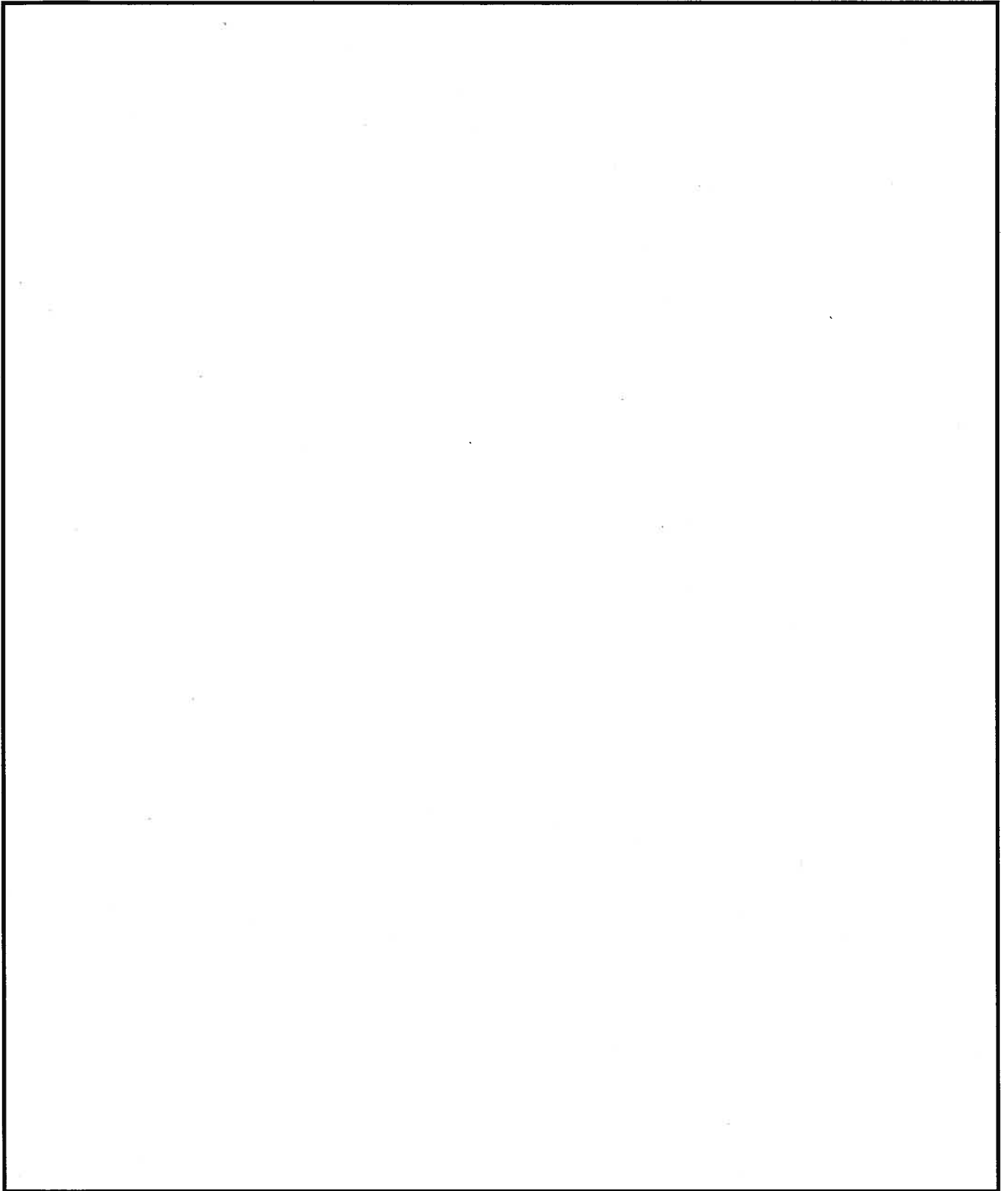


図 3-2 (36) 放出廃液油分除去施設 (C) 2 階平面図

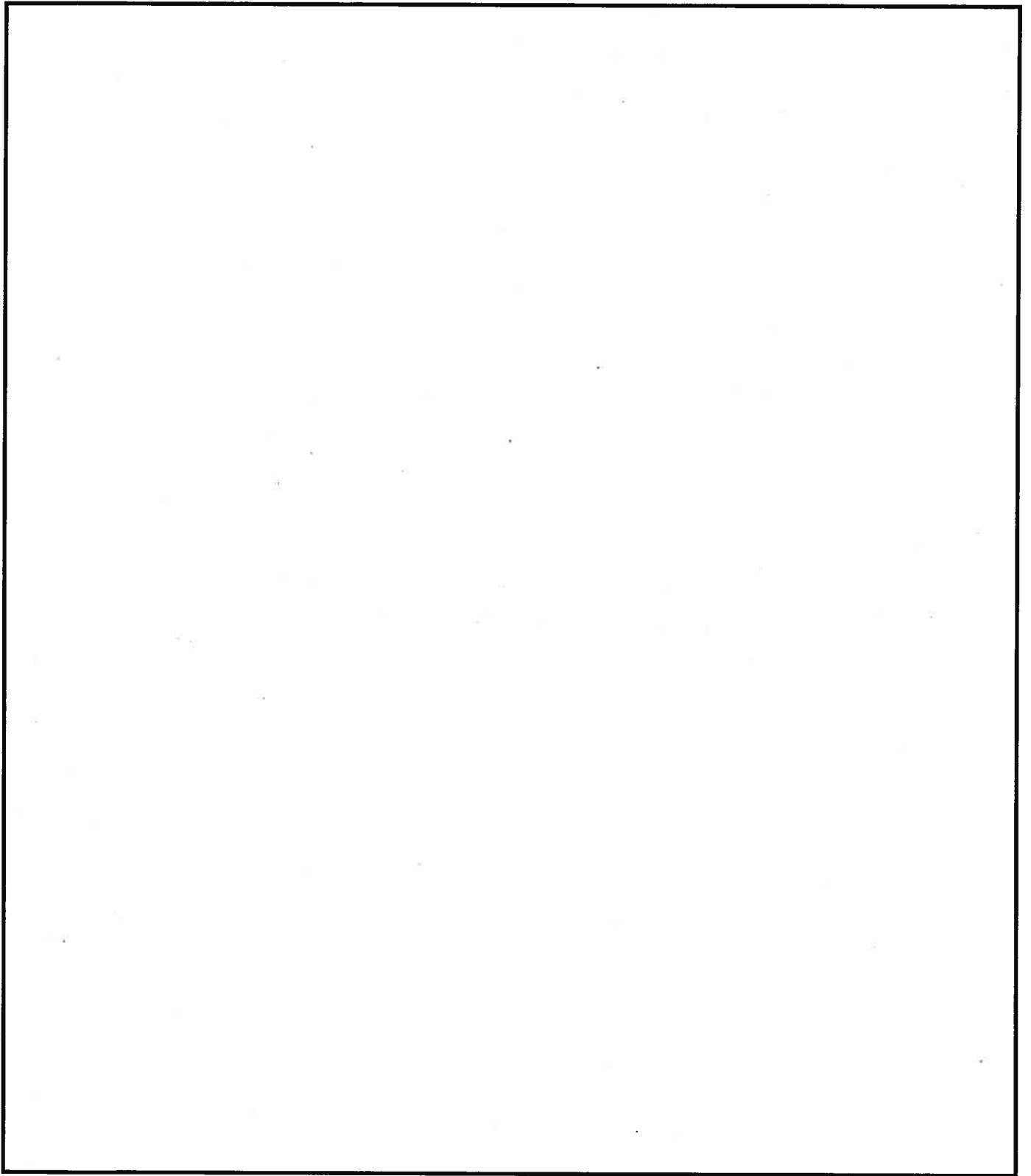


図 3-2 (37) 放出廃液油分除去施設 (C) 3 階平面図

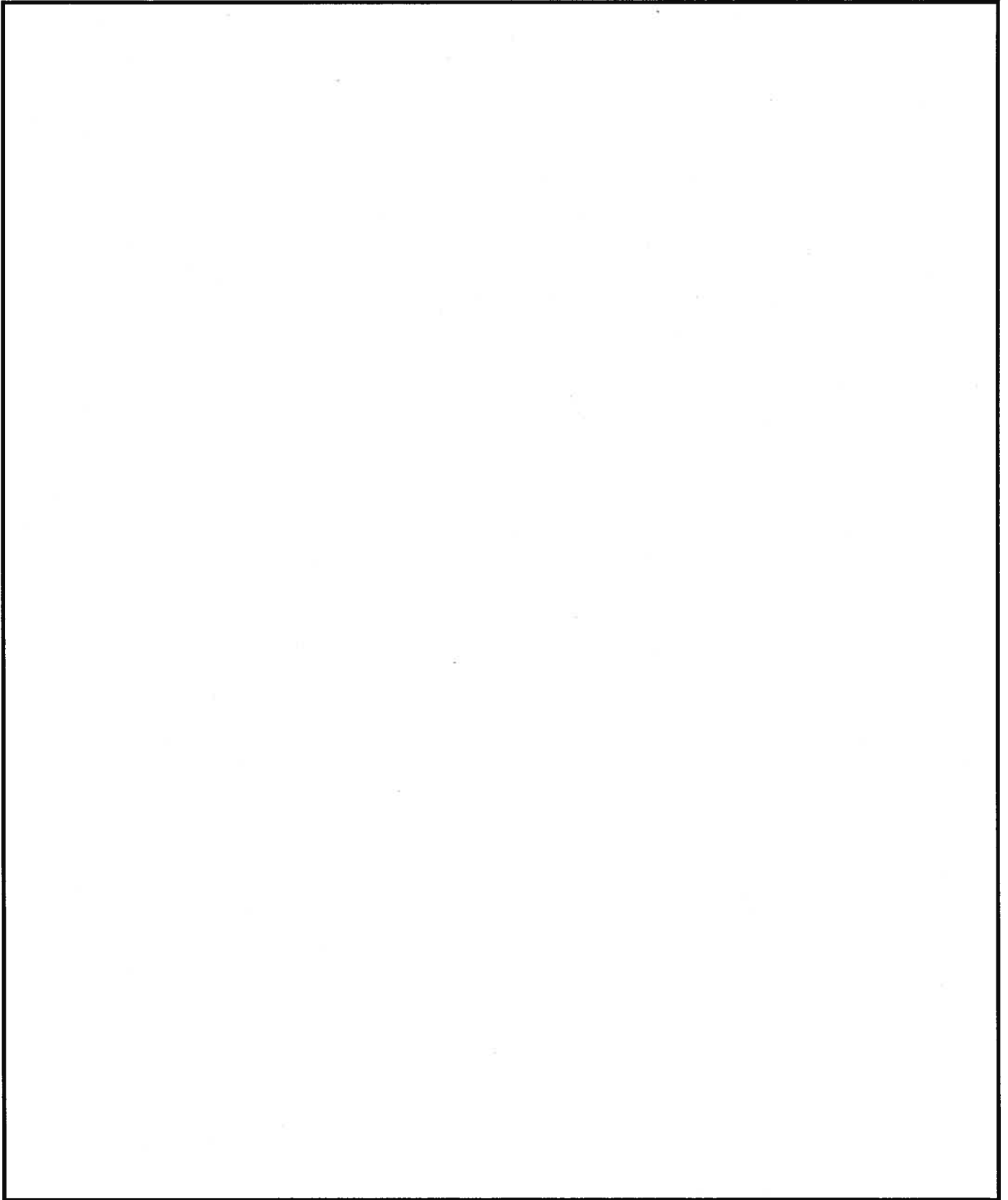


図 3-2 (38) 第二ウラン貯蔵所 (2U03) 1 階平面図

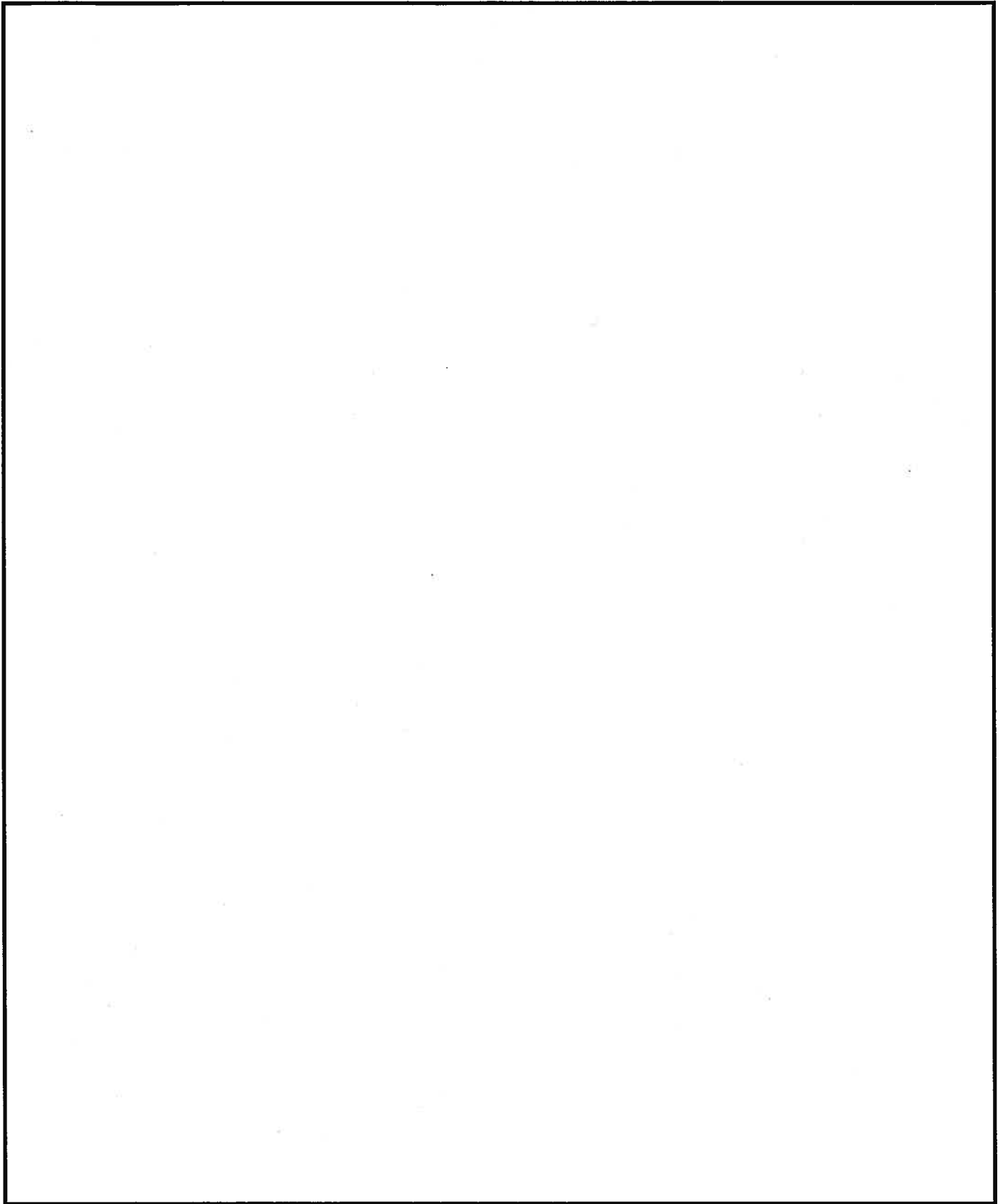


図 3-2 (39) 第二ウラン貯蔵所 (2U03) 2 階平面図

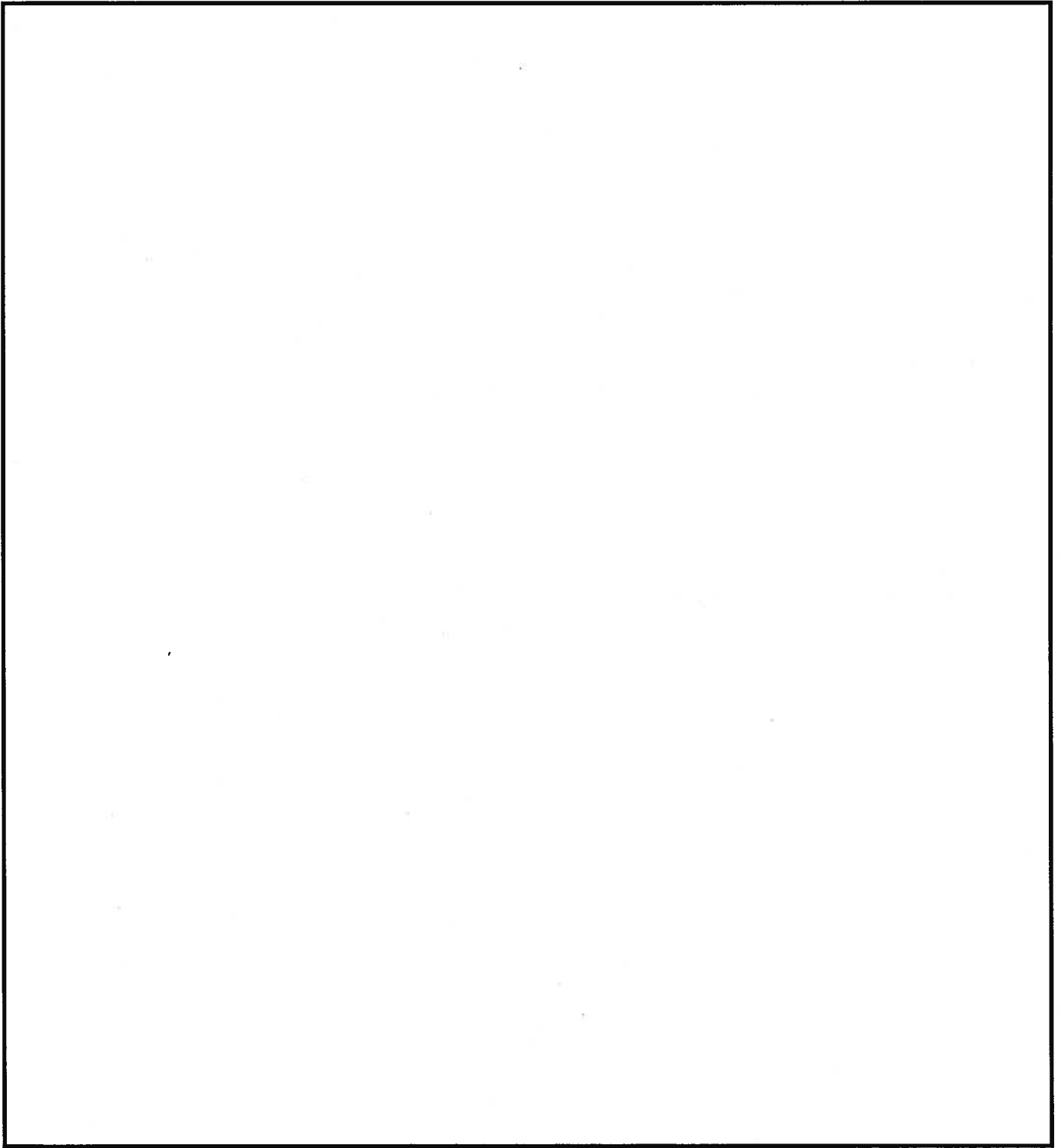


图 3-2 (40) 第二低放射性固体废弃物贮藏场 (2LASWS) 地下 1 阶平面图

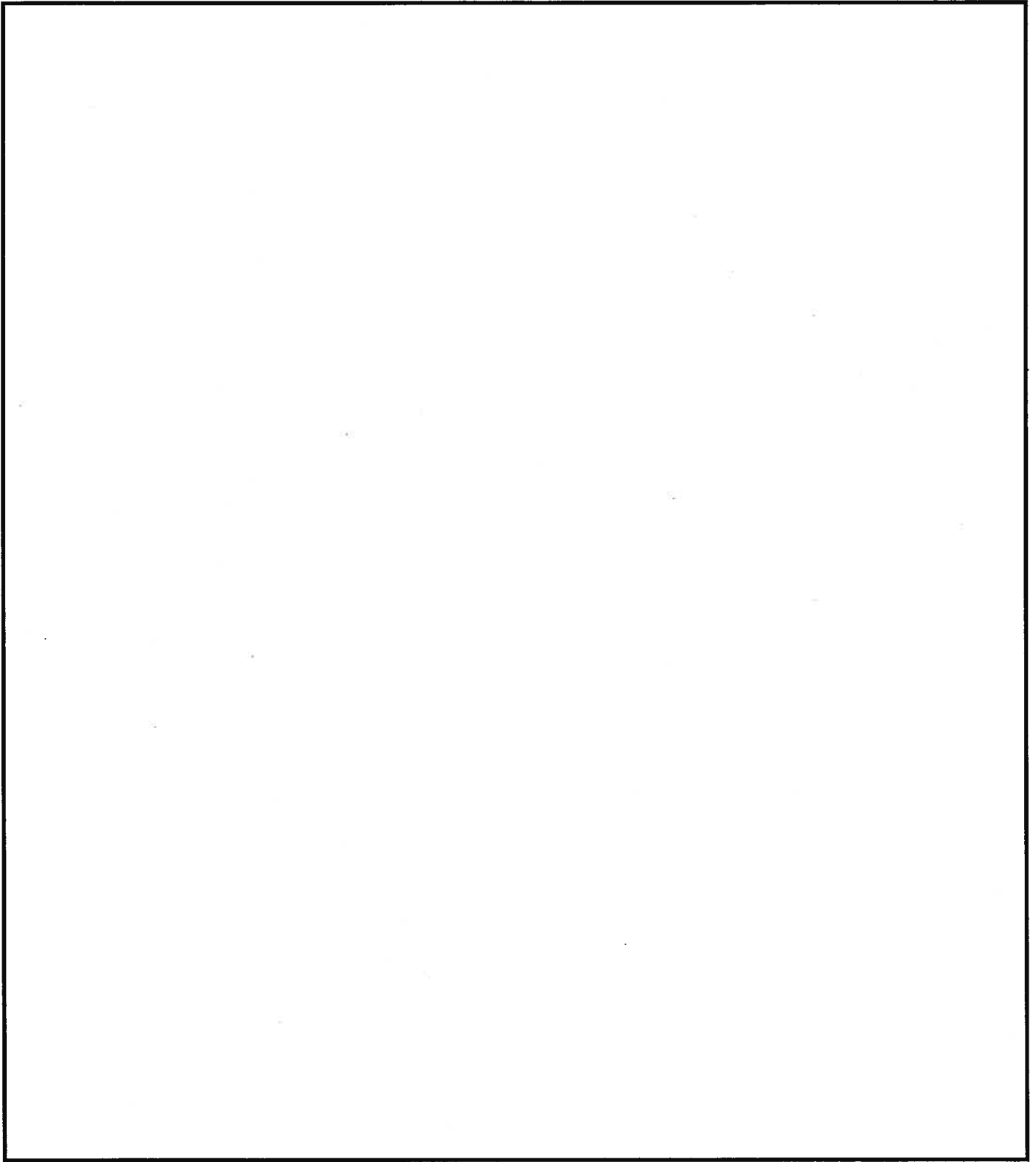


図 3-2 (41) 第二低放射性固体廃棄物貯蔵場 (2LASWS) 1 階平面図



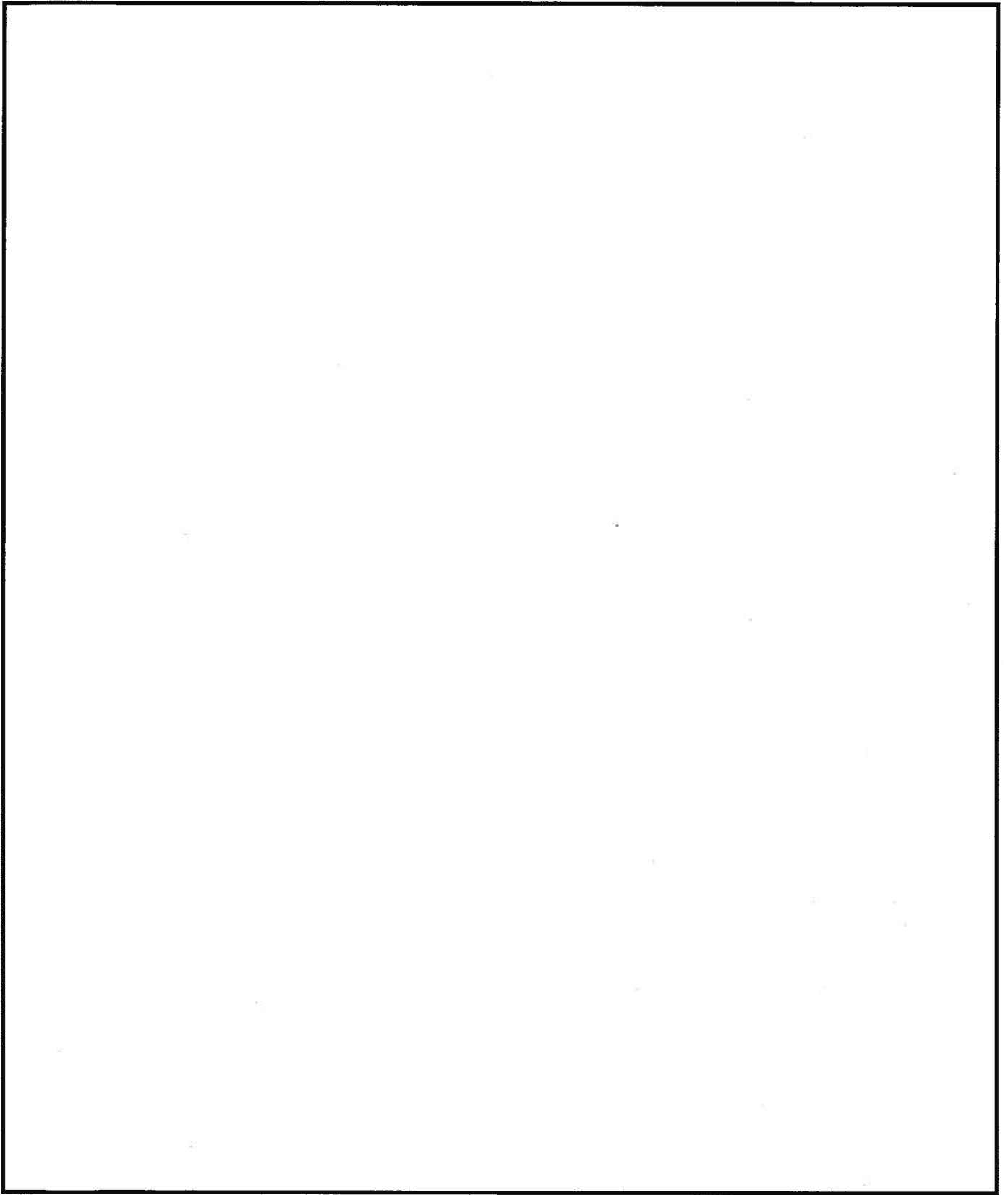


図 3-2 (42) 第二低放射性固体廃棄物貯蔵場 (2LASWS) 2 階平面図

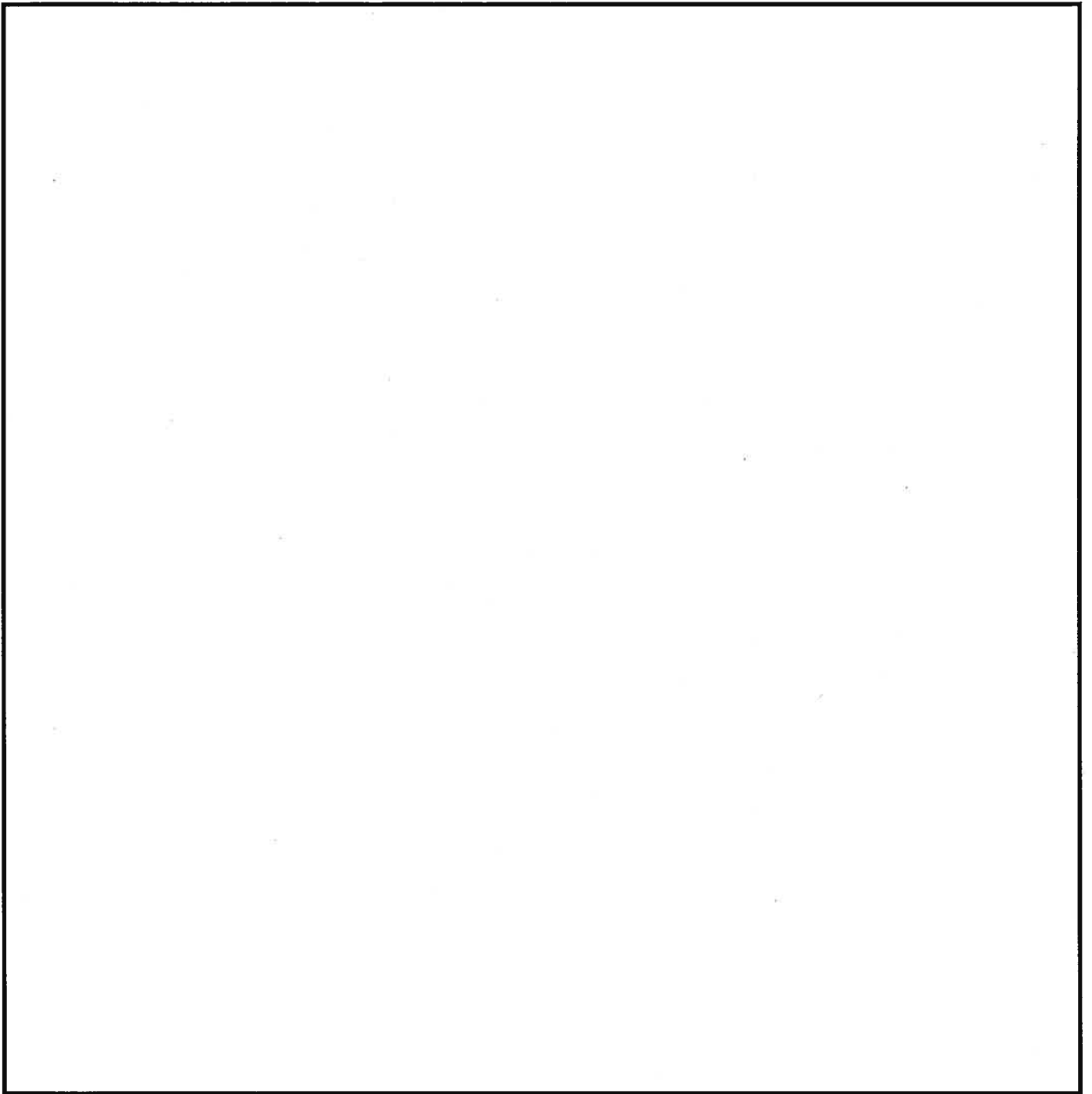


図 3-2 (43) アスファルト固化処理施設 (ASP) 地下 2 階平面図

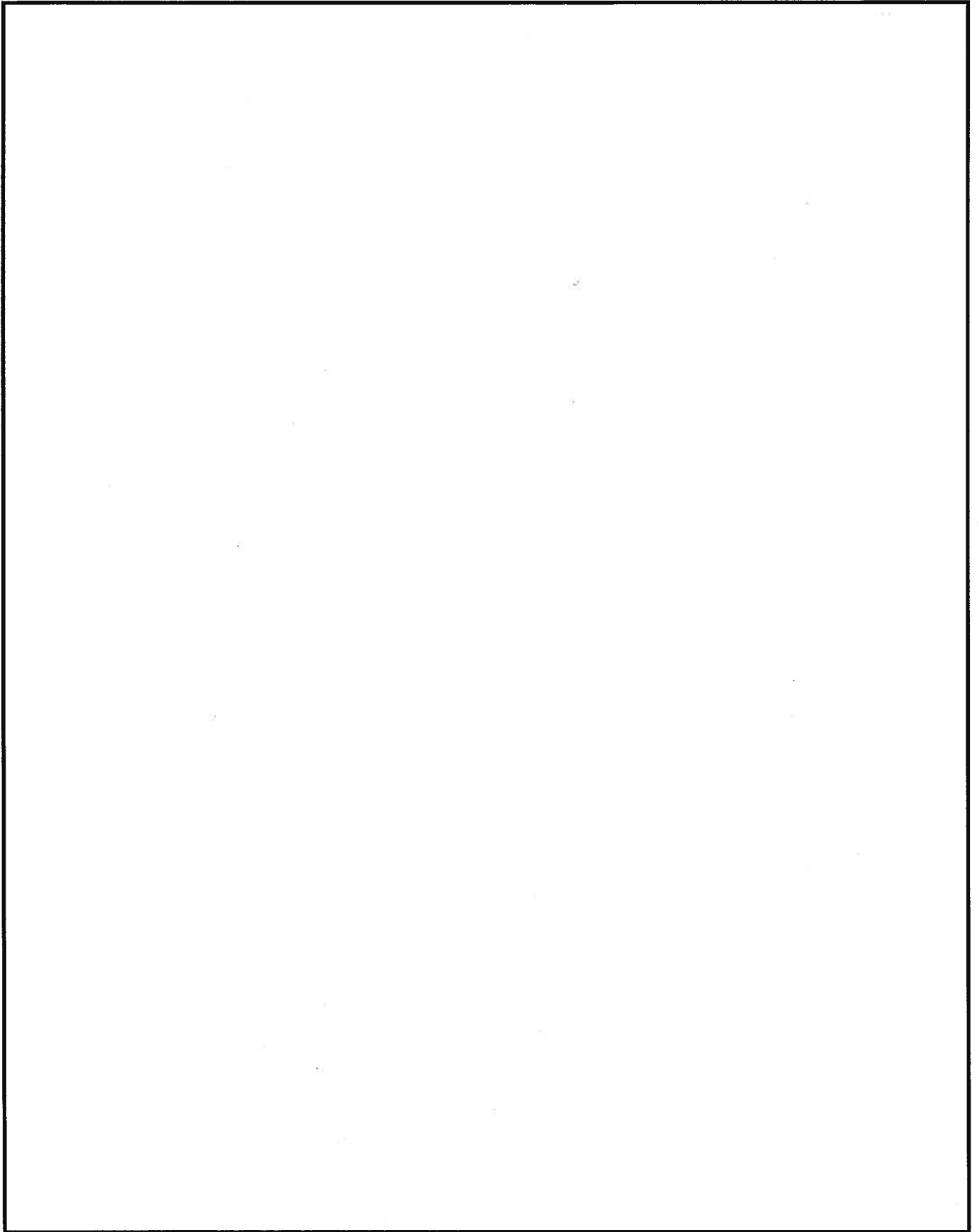


図 3-2 (44) アスファルト固化処理施設 (ASP) 地下 1 階平面図

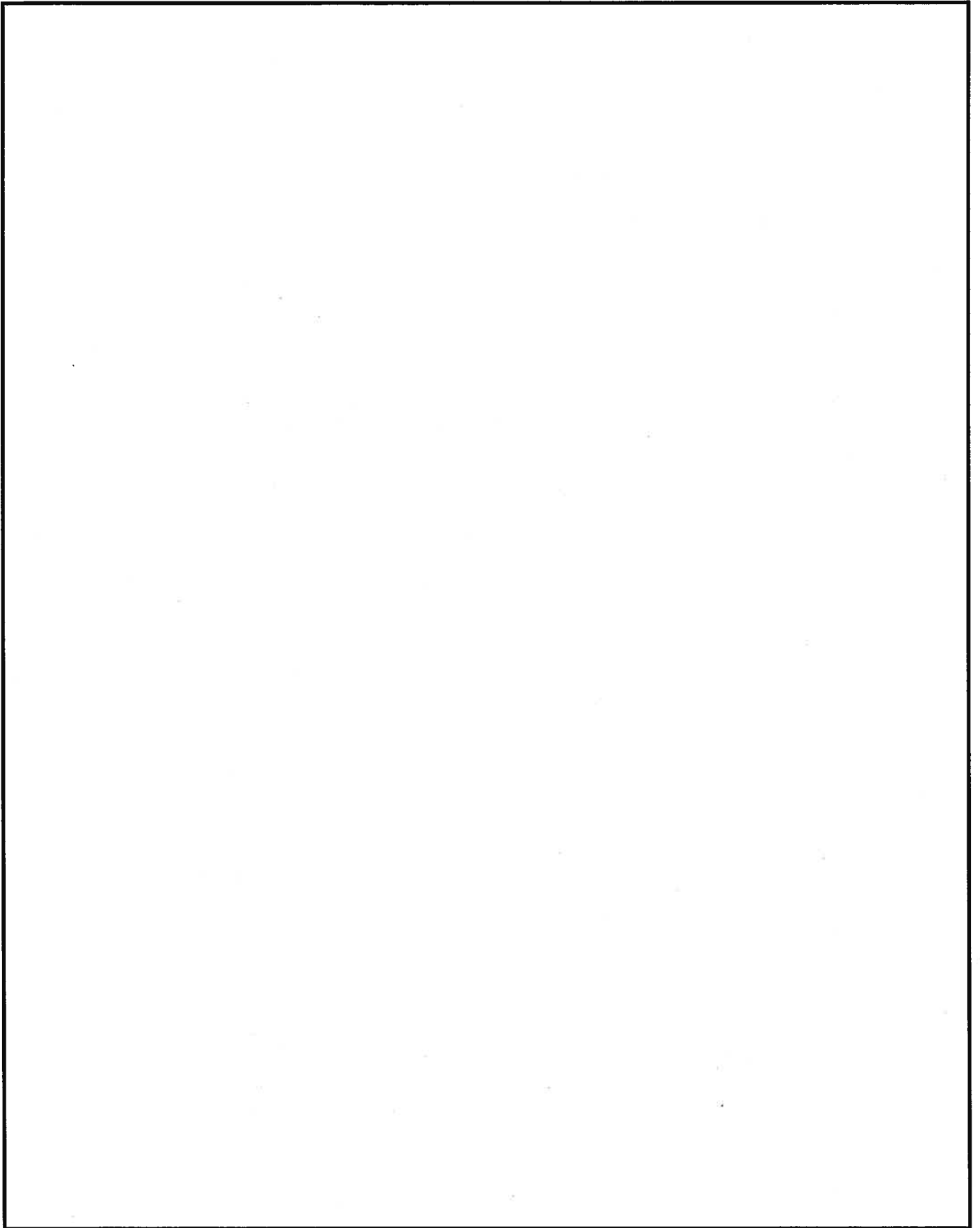


図 3-2 (45) アスファルト固化処理施設 (ASP) 1 階平面図

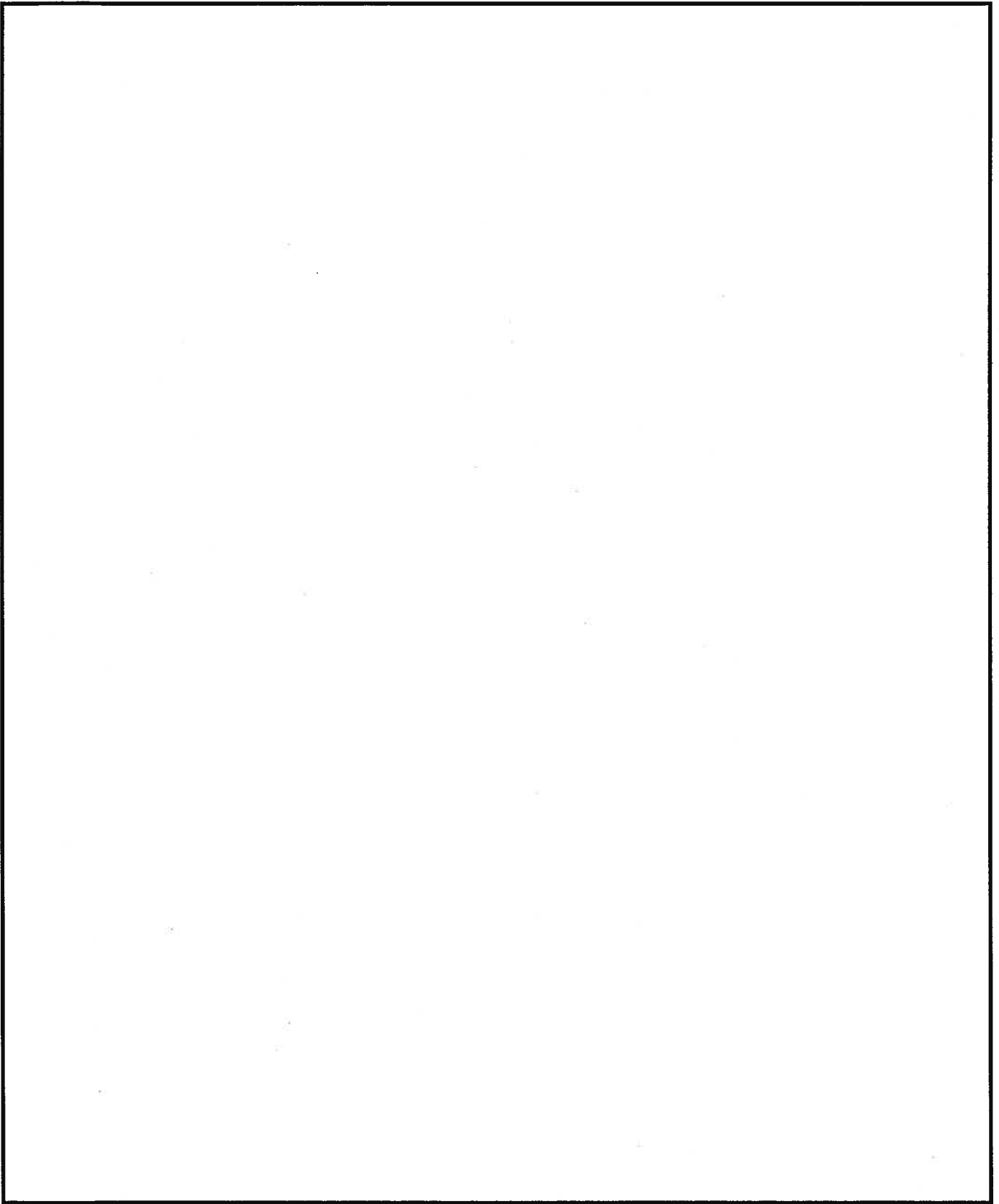


図 3-2 (46) アスファルト固化処理施設 (ASP) 2 階平面図

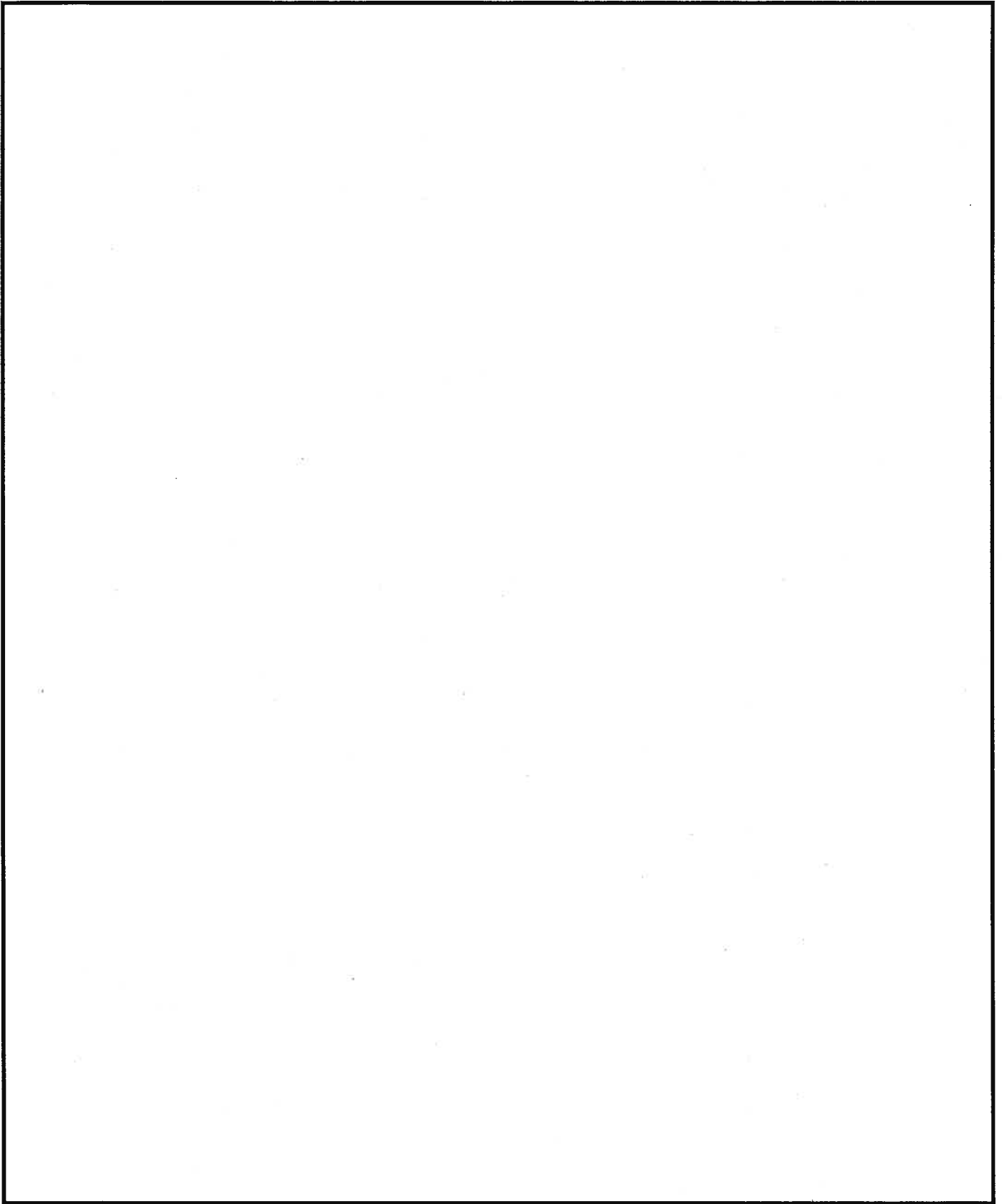


図 3-2 (47) アスファルト固化処理施設 (ASP) 3 階平面図

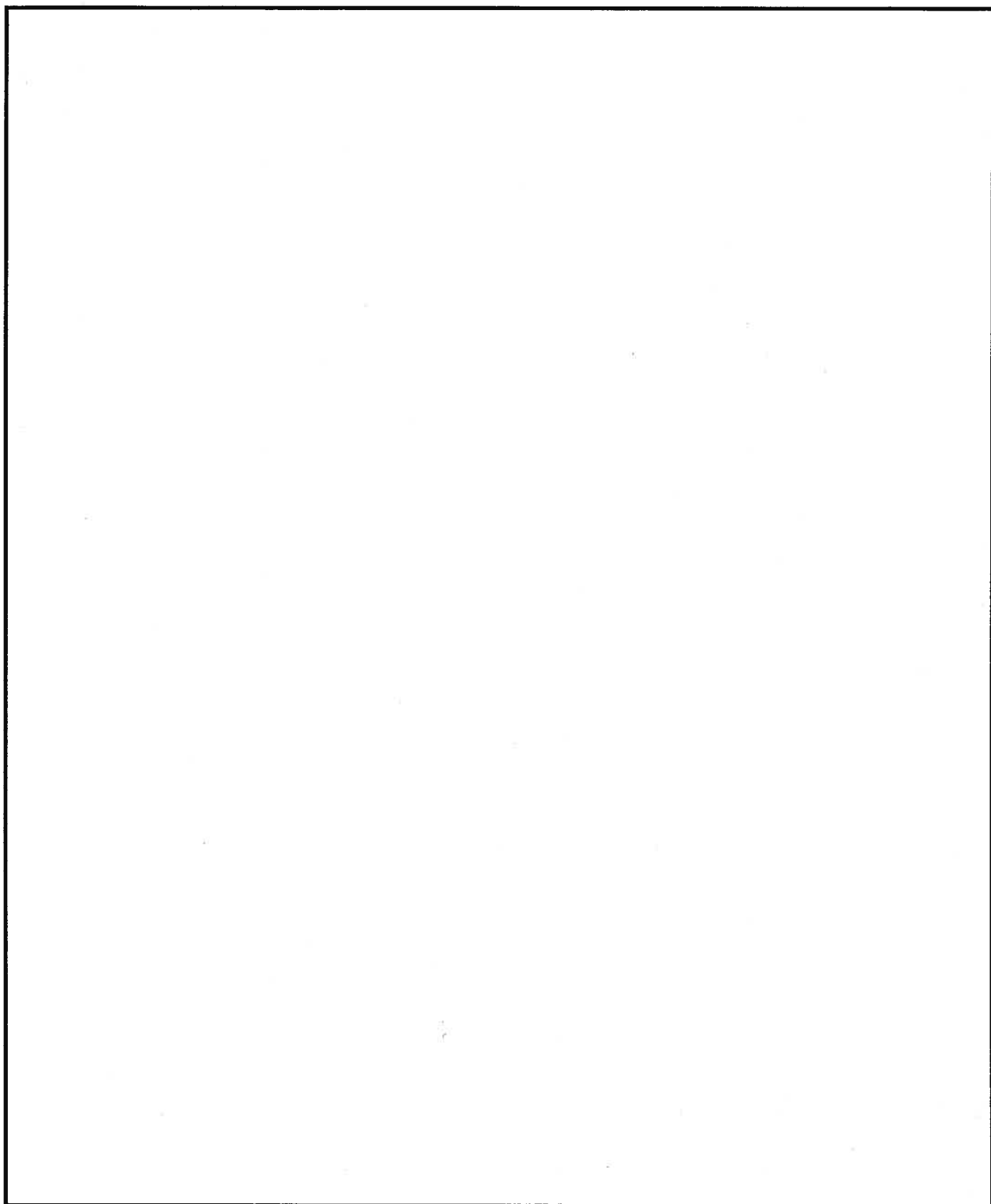


図3-2 (48) アスファルト固化処理施設 (ASP) 4 階平面図

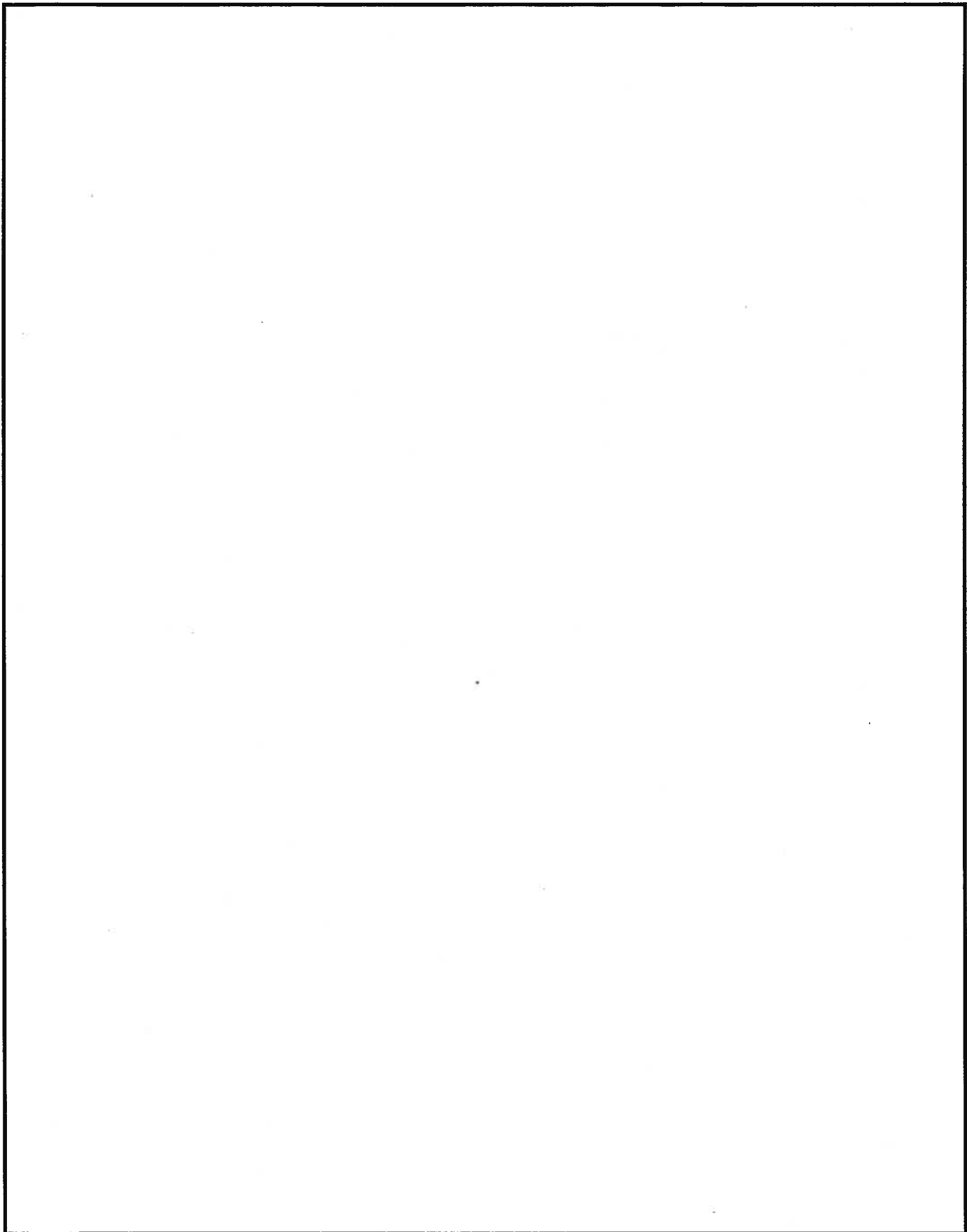


図 3-2 (49) アスファルト固化処理施設 (ASP) 断面図



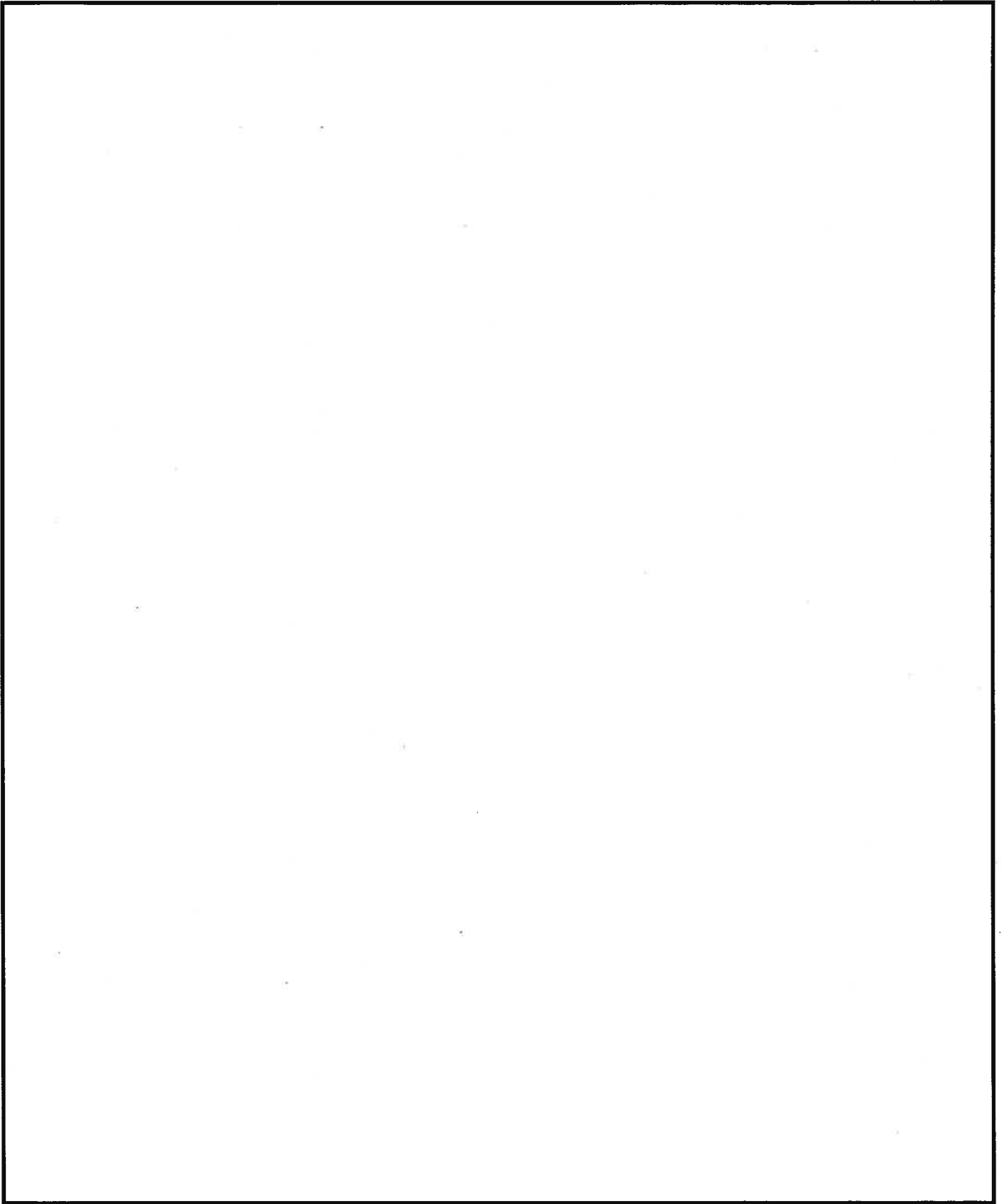


図3-2 (50) アスファルト固化体貯蔵施設 (AS1) 地下2階平面図

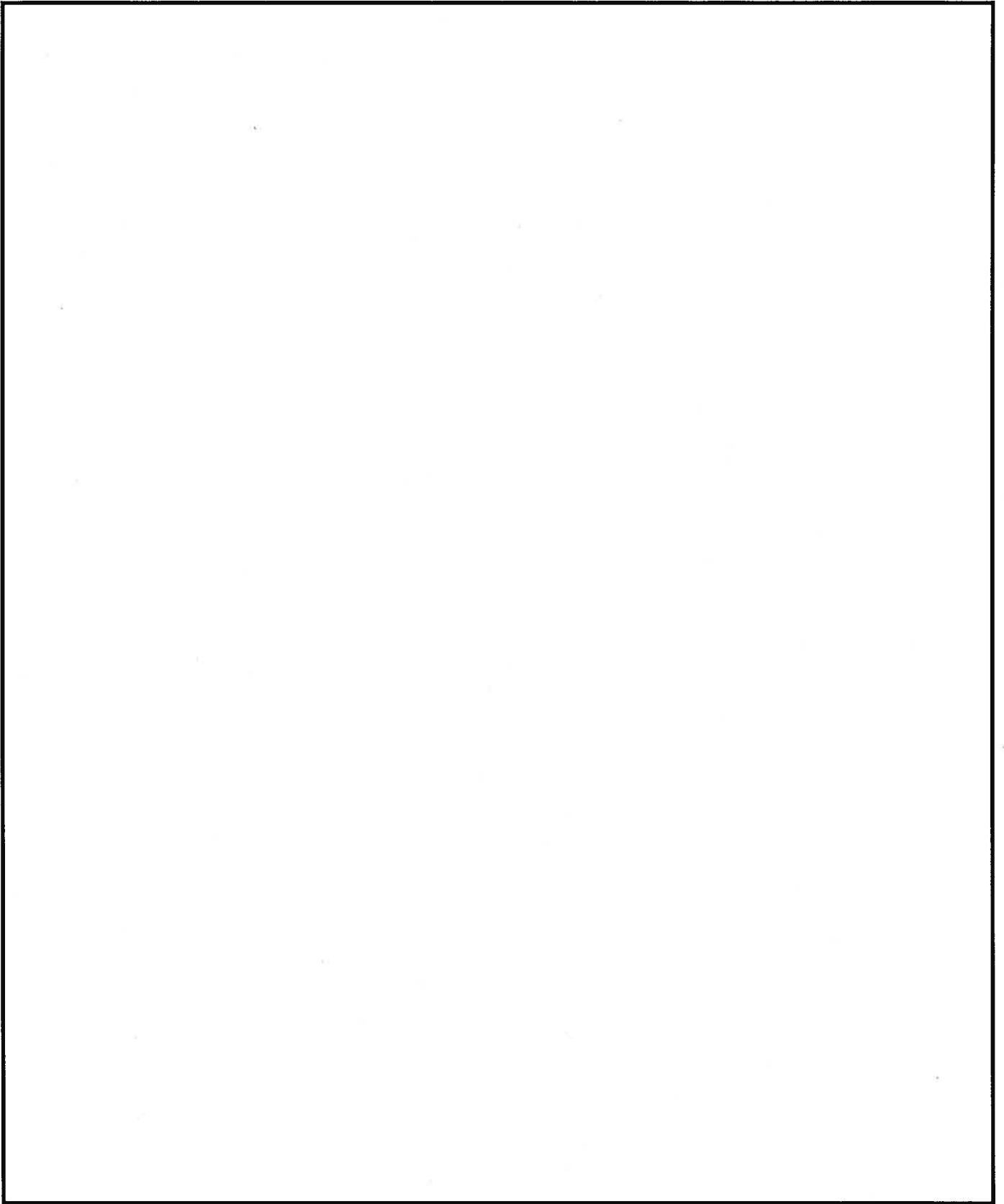


図 3-2 (51) アスファルト固化体貯蔵施設 (AS1) 1 階平面図

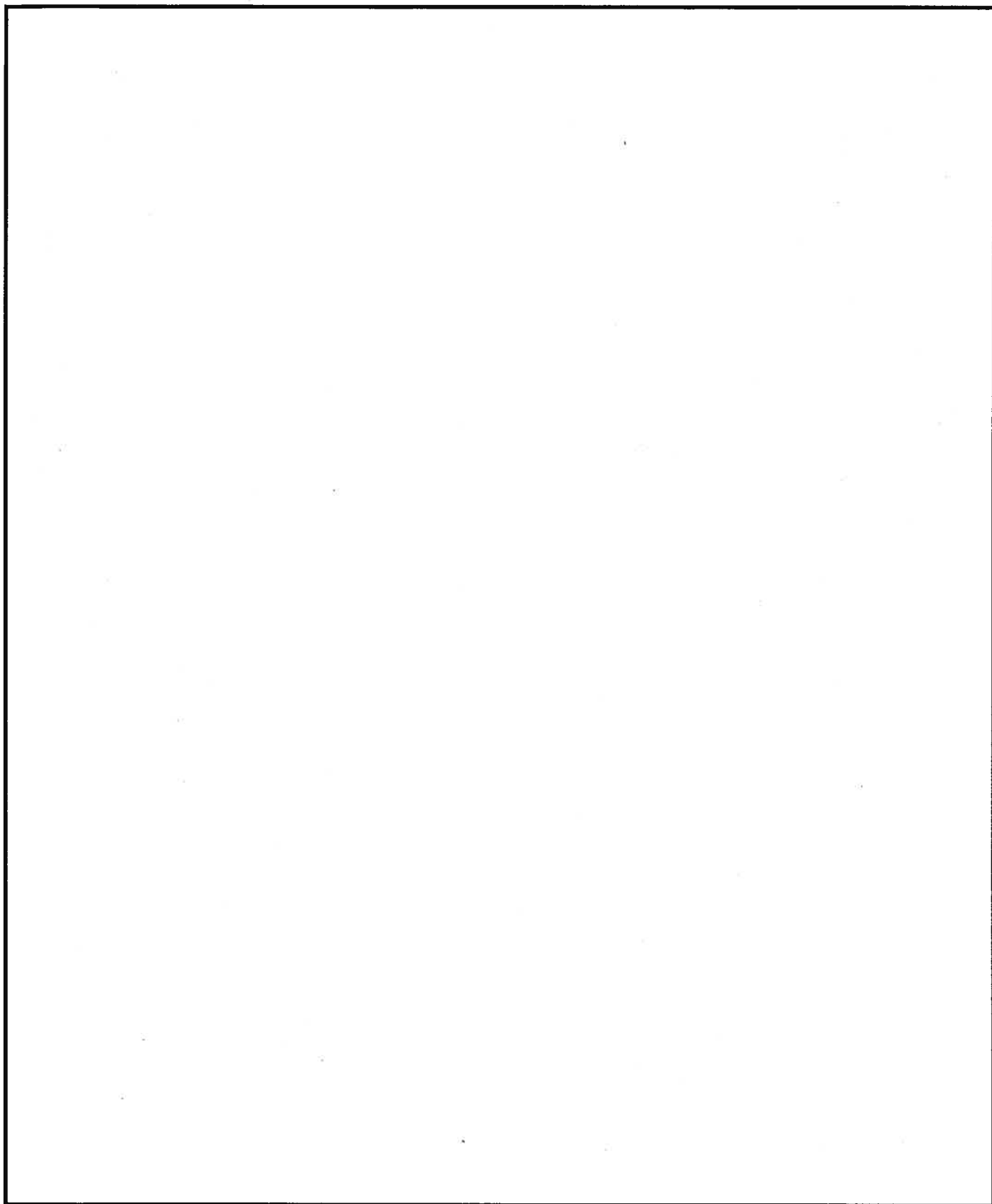


図 3-2 (52) アスファルト固化体貯蔵施設 (AS1) 2 階平面図

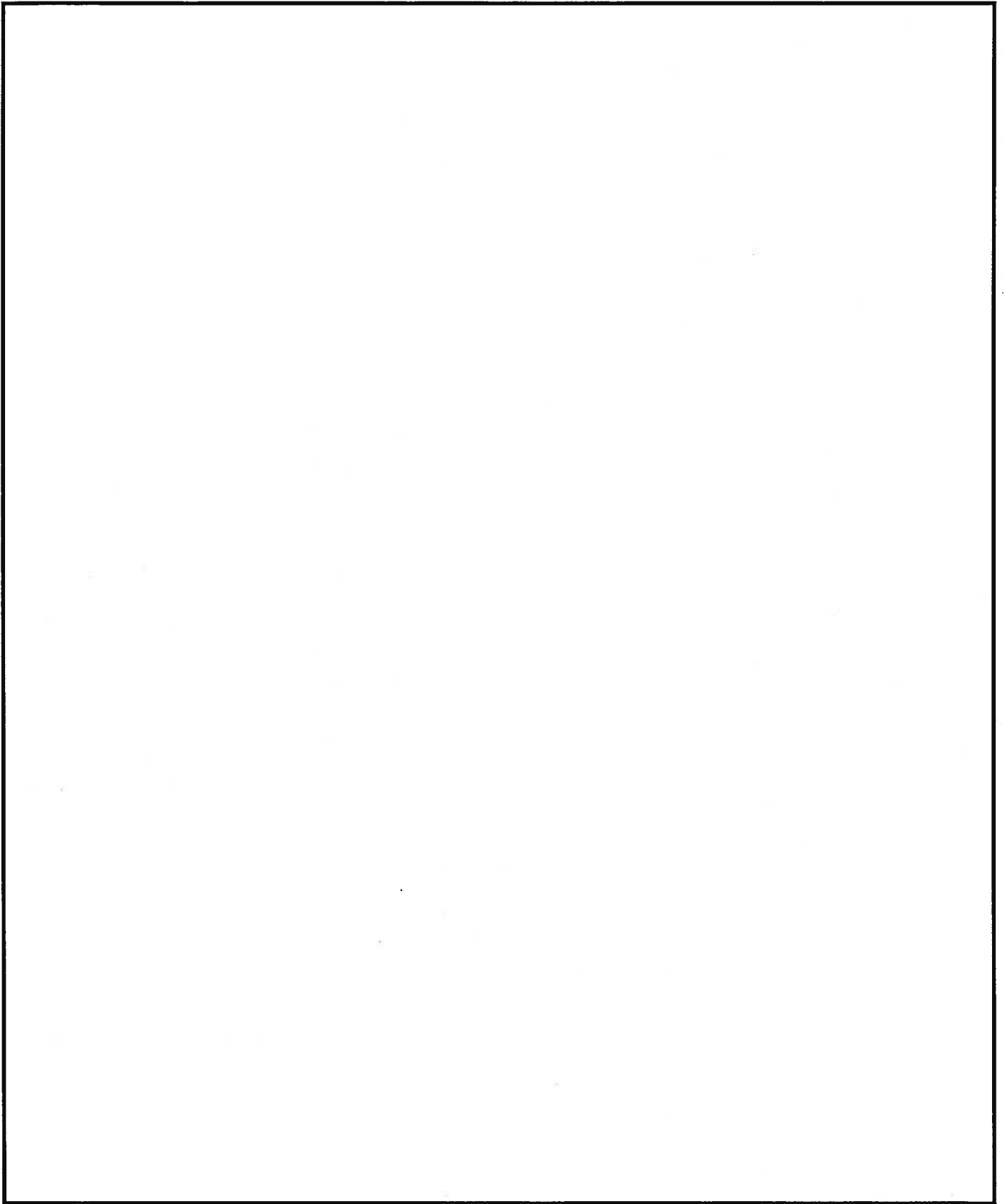


図 3-2 (53) アスファルト固化体貯蔵施設 (AS1) 3 階平面図

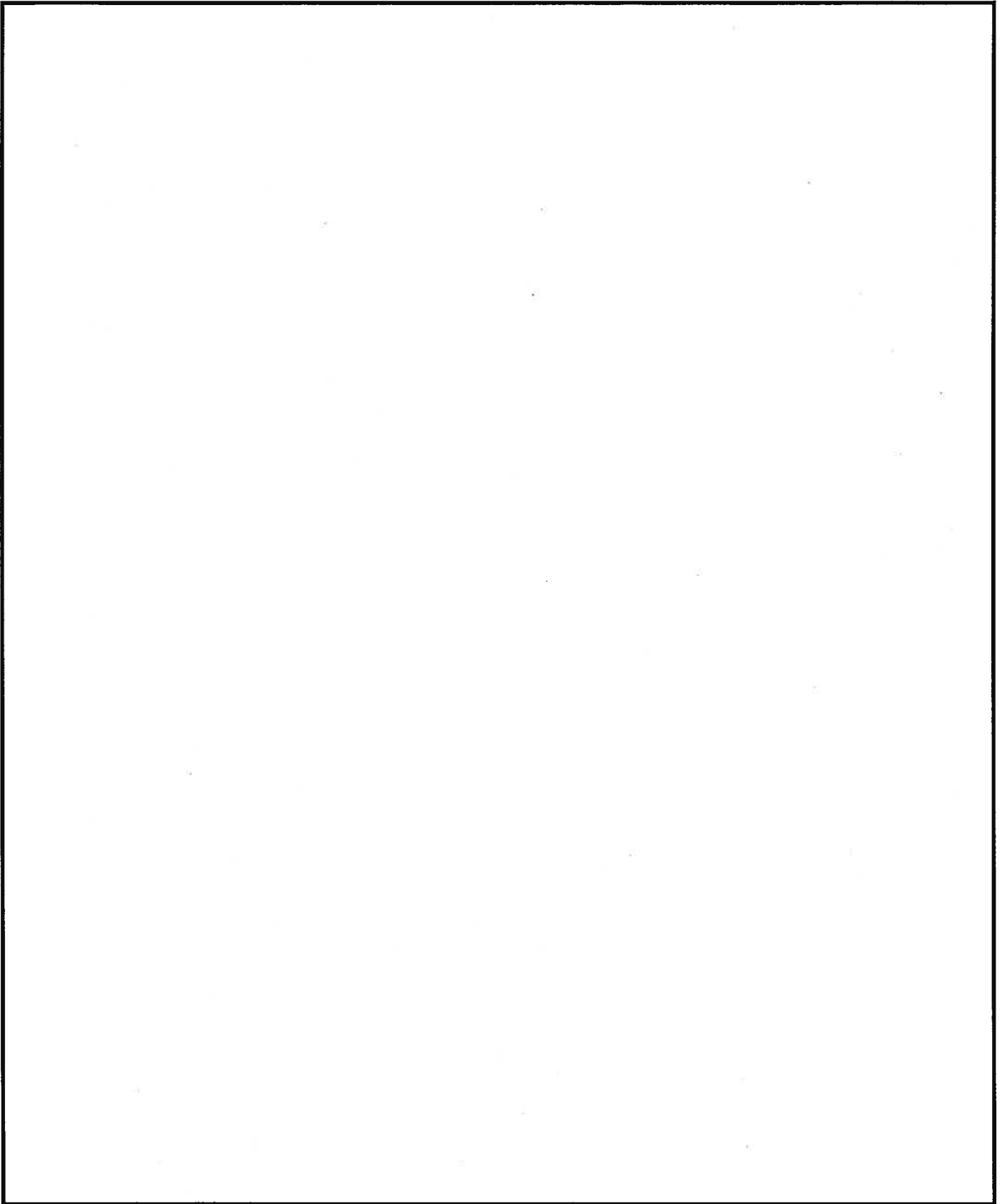


図 3-2 (54) アスファルト固化体貯蔵施設 (AS1) 断面図

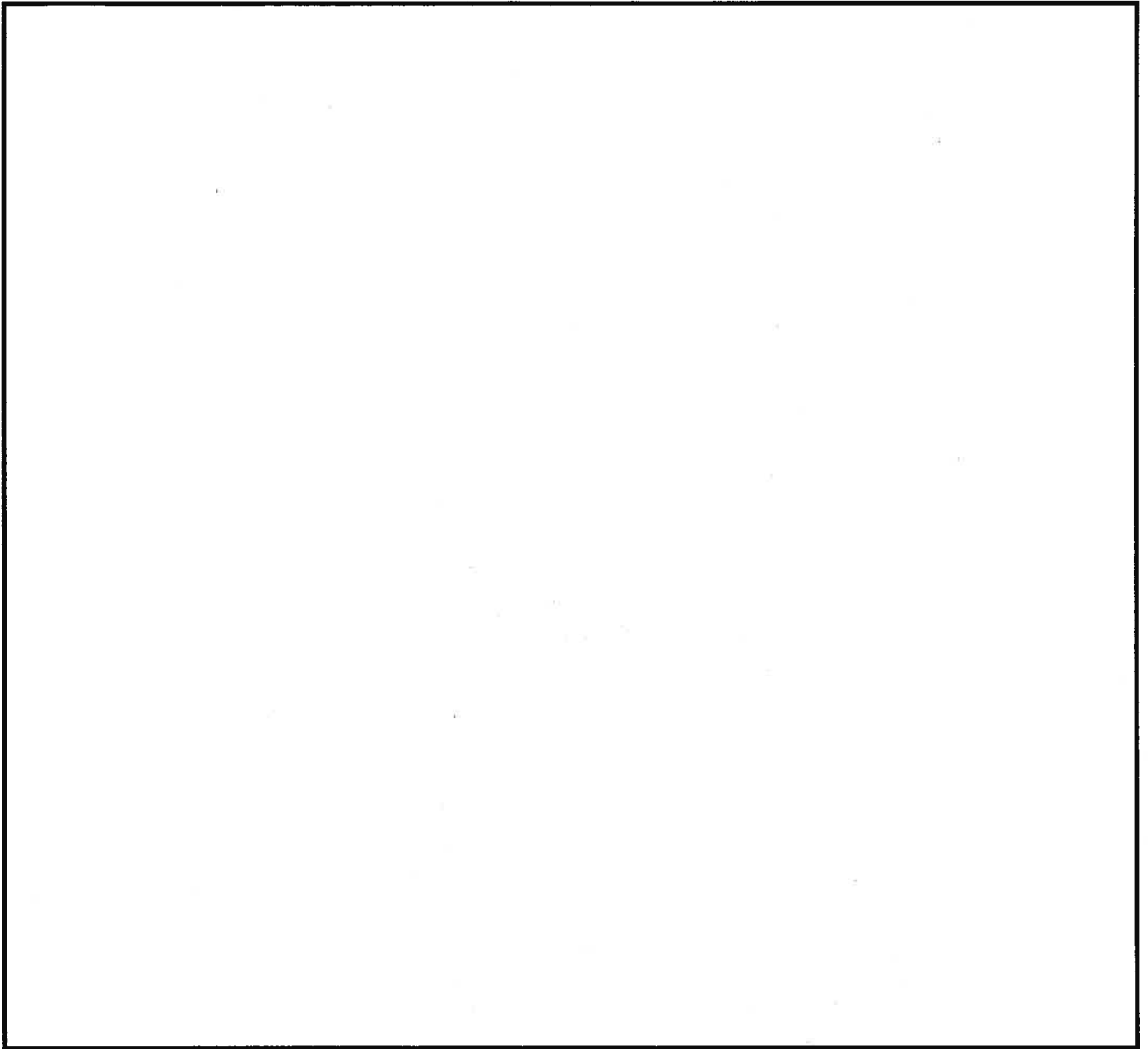


図 3-2 (55) アスファルト固化体貯蔵施設 (AS1) 断面図

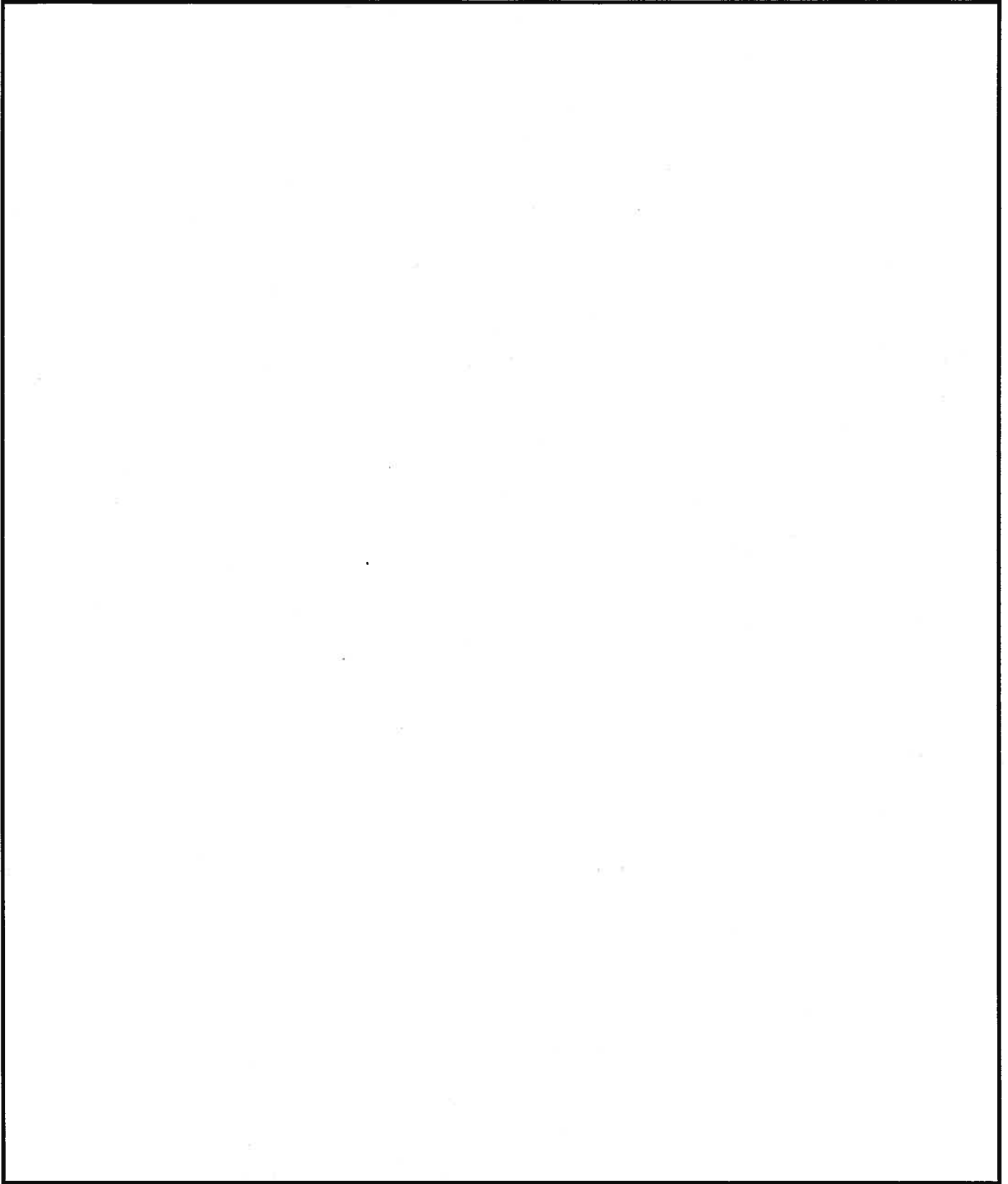


図 3-2 (56) アスファルト固化体貯蔵施設 (AS1) 断面図

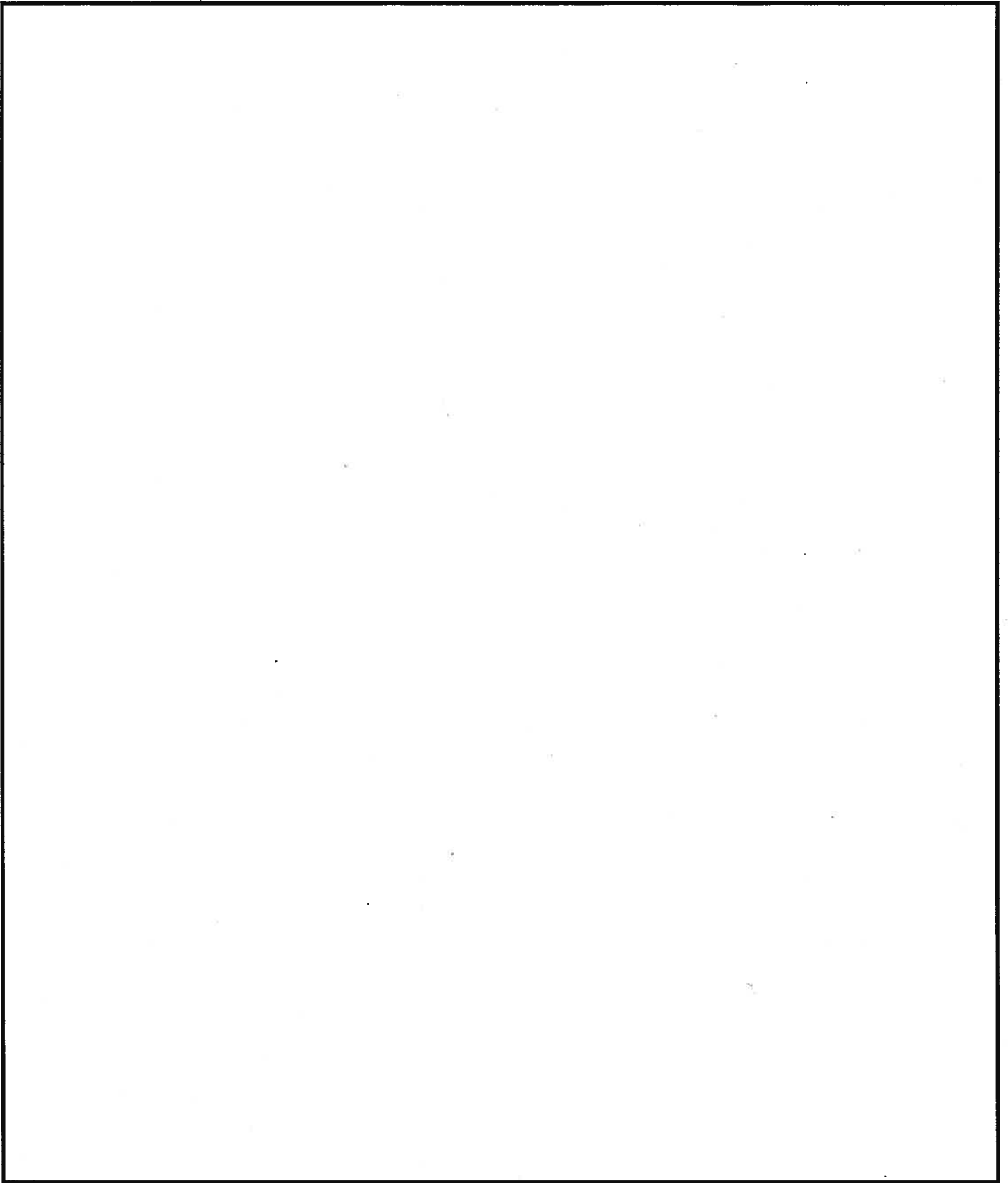


図 3-2 (57) 第二アスファルト固化体貯蔵施設 (AS2) 地下 1 階平面図



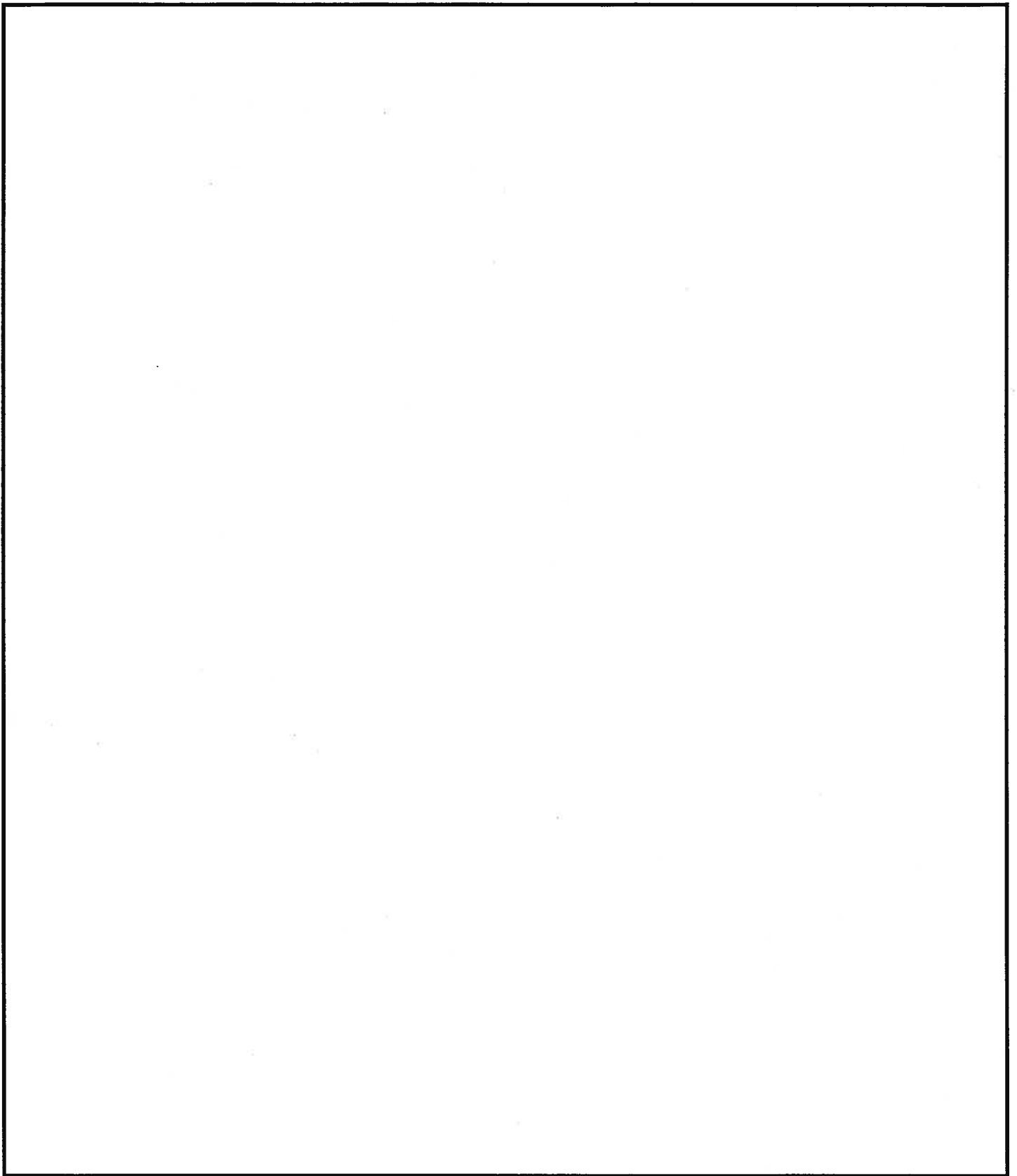


図 3-2 (58) 第二アスファルト固化体貯蔵施設 (AS2) 1 階平面図

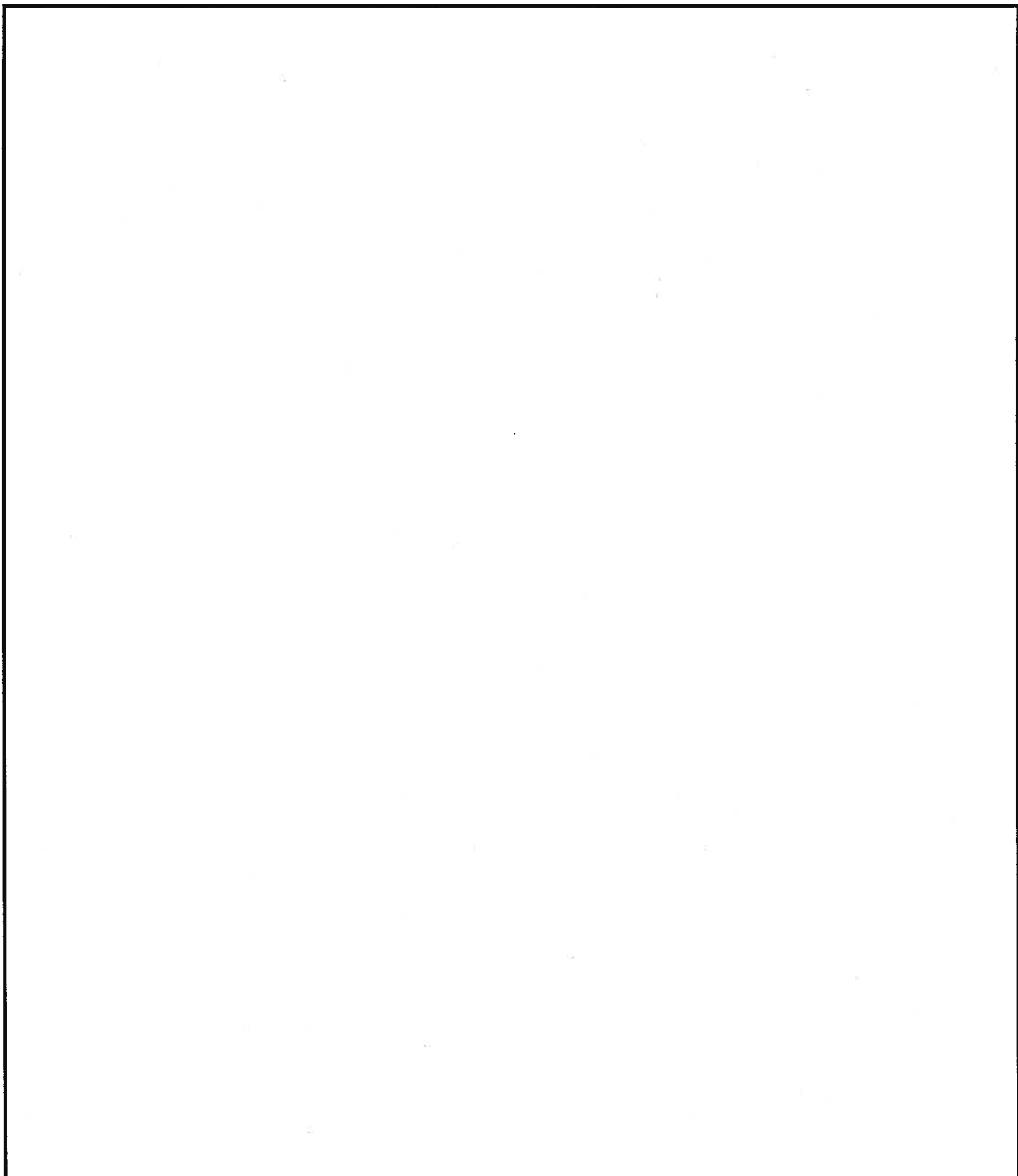


図 3-2 (59) 第二アスファルト固化体貯蔵施設 (AS2) 2 階平面図

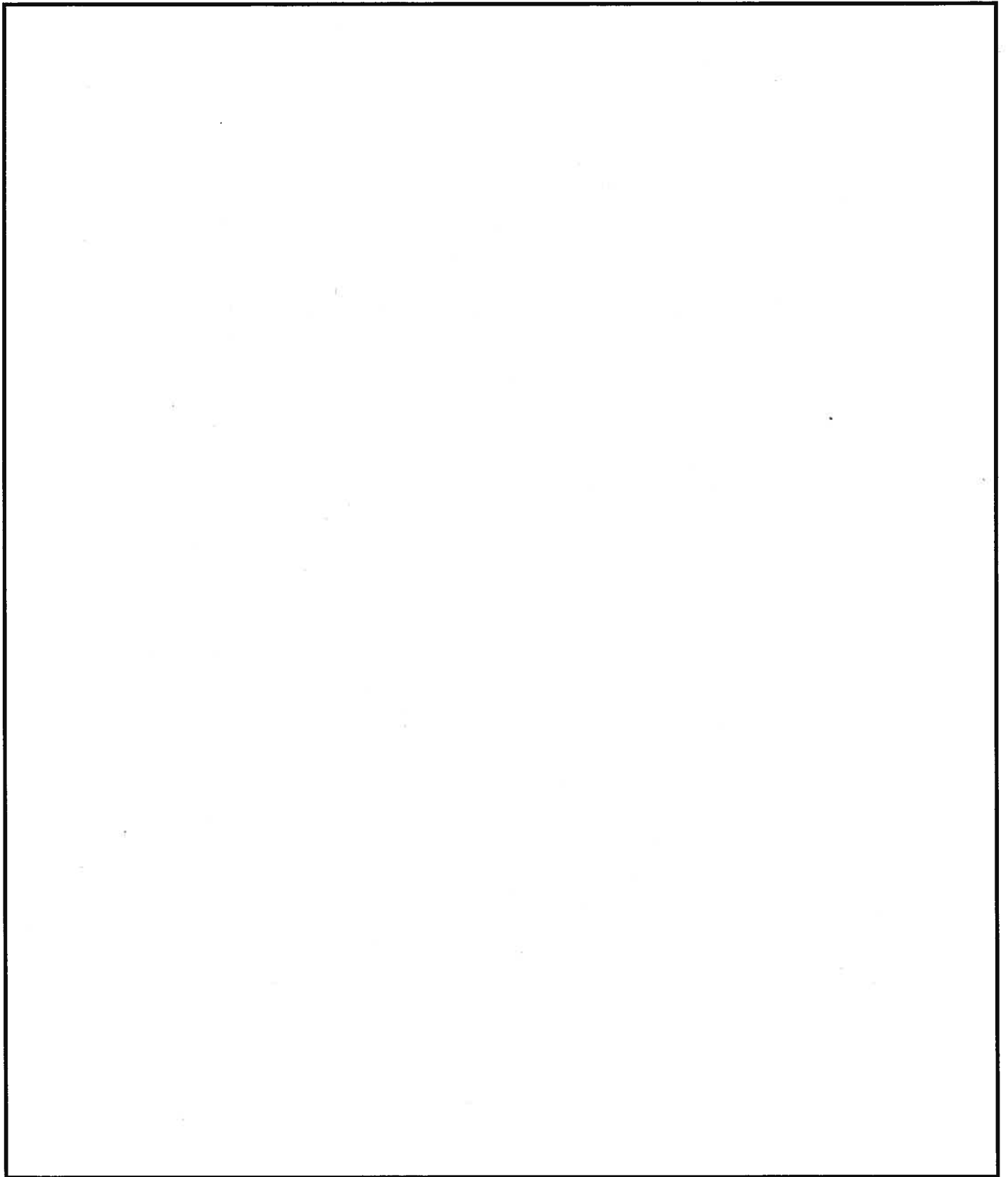


図 3-2 (60) 第二アスファルト固化体貯蔵施設 (AS2) 3 階平面図

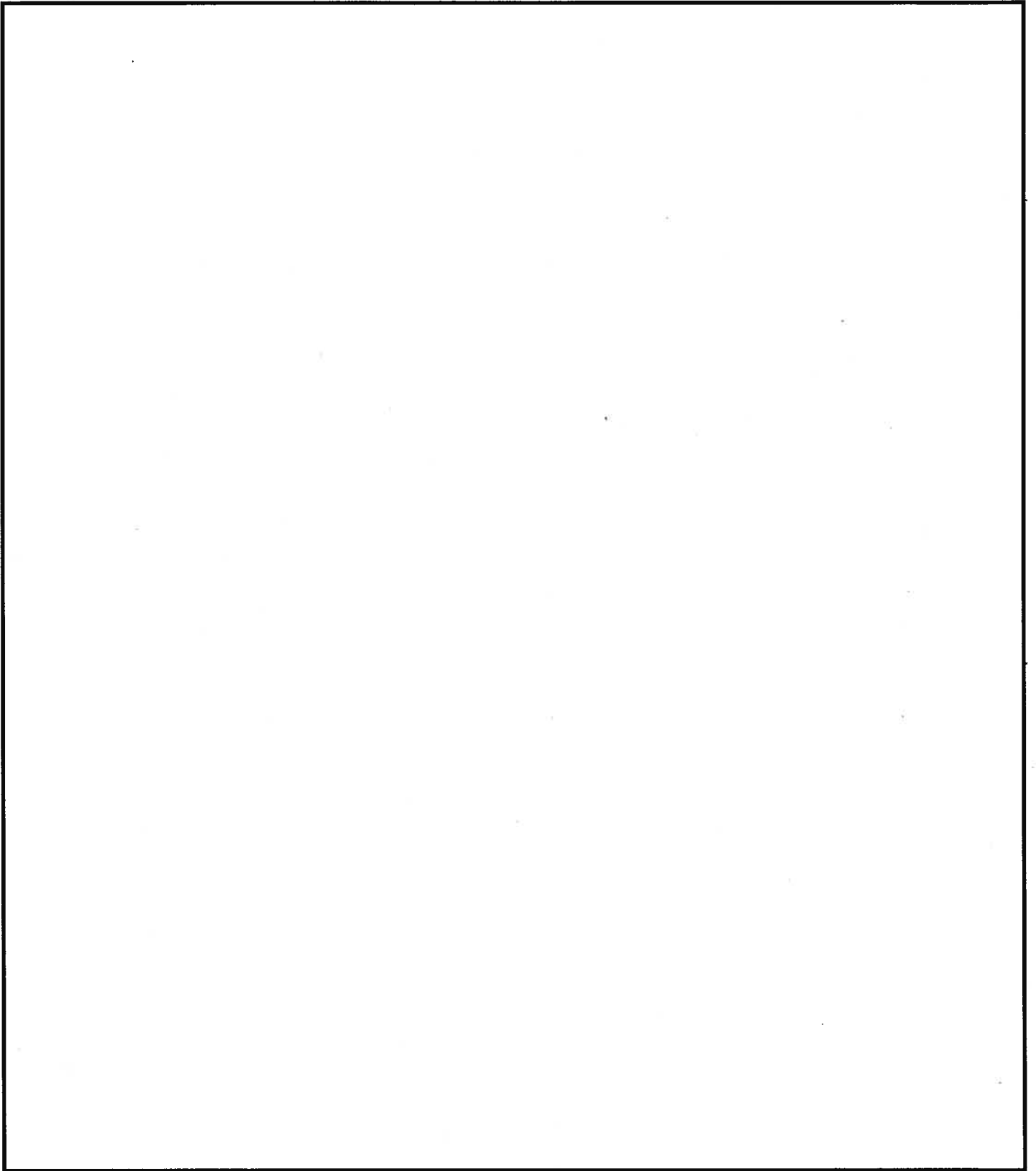


図 3-2 (61) 第二アスファルト固化体貯蔵施設 (AS2) 屋上階平面図

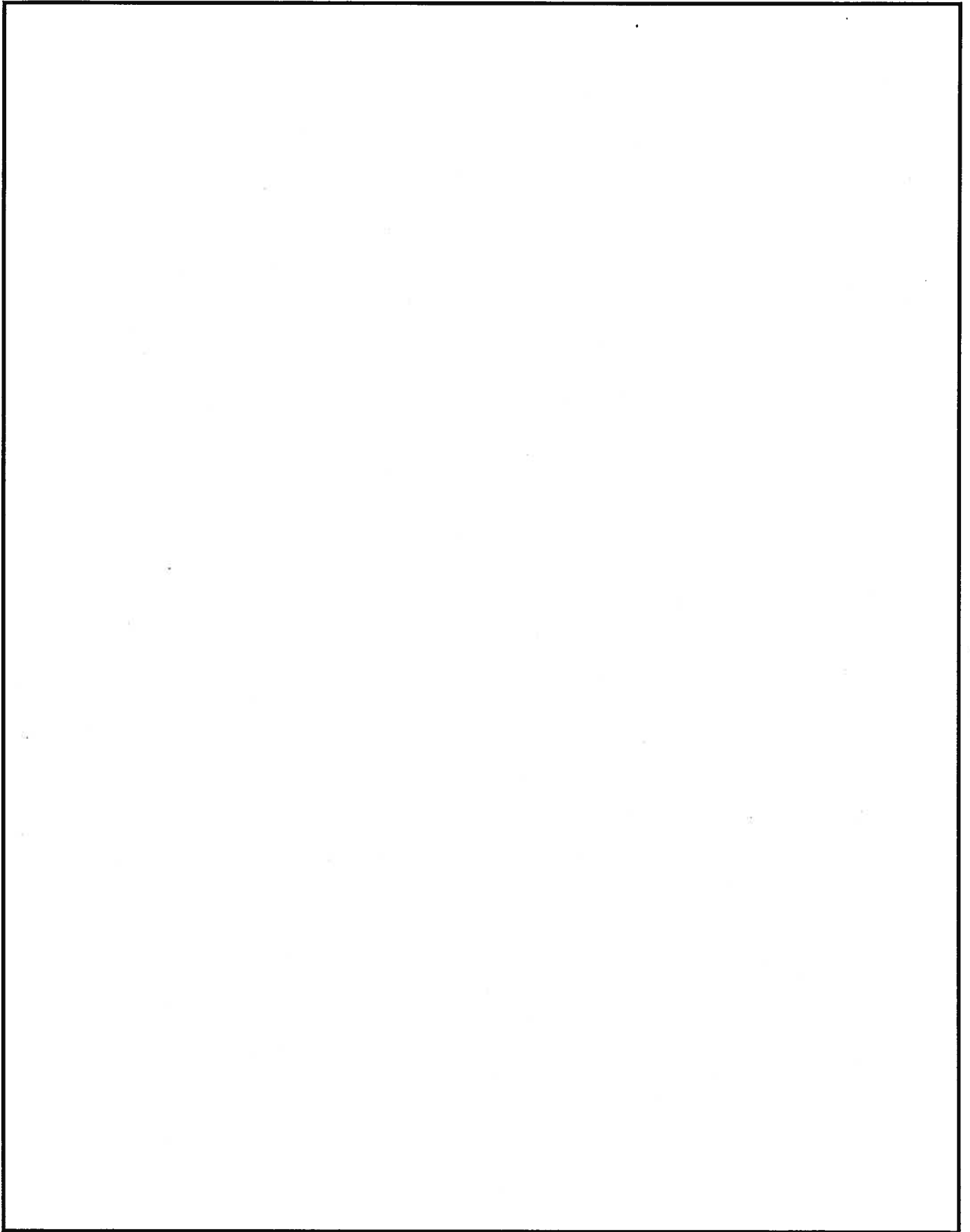


図 3-2 (62) 第二アスファルト固化体貯蔵施設 (AS2) 断面図

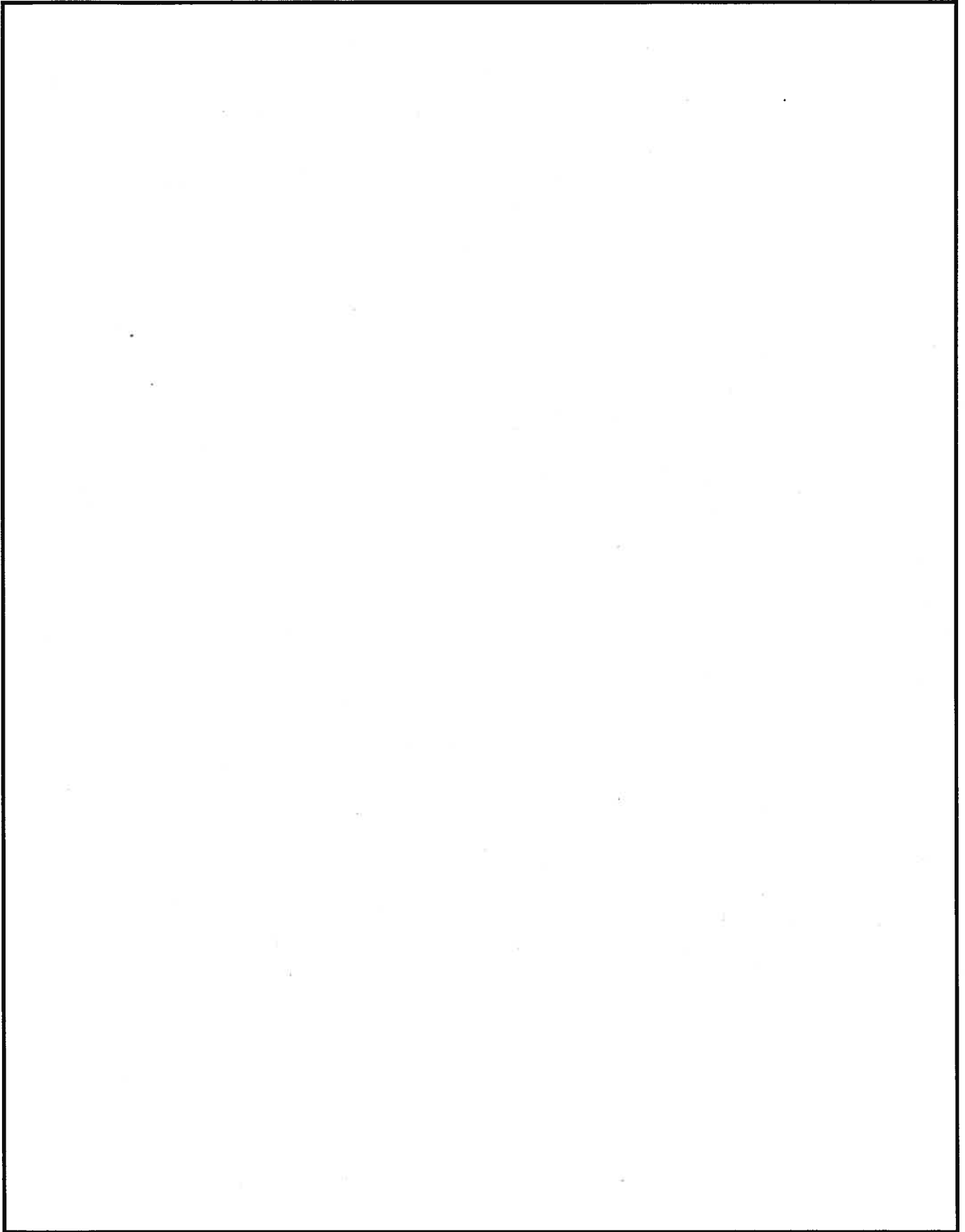


図 3-2 (63) 第二アスファルト固化体貯蔵施設 (AS2) 断面図

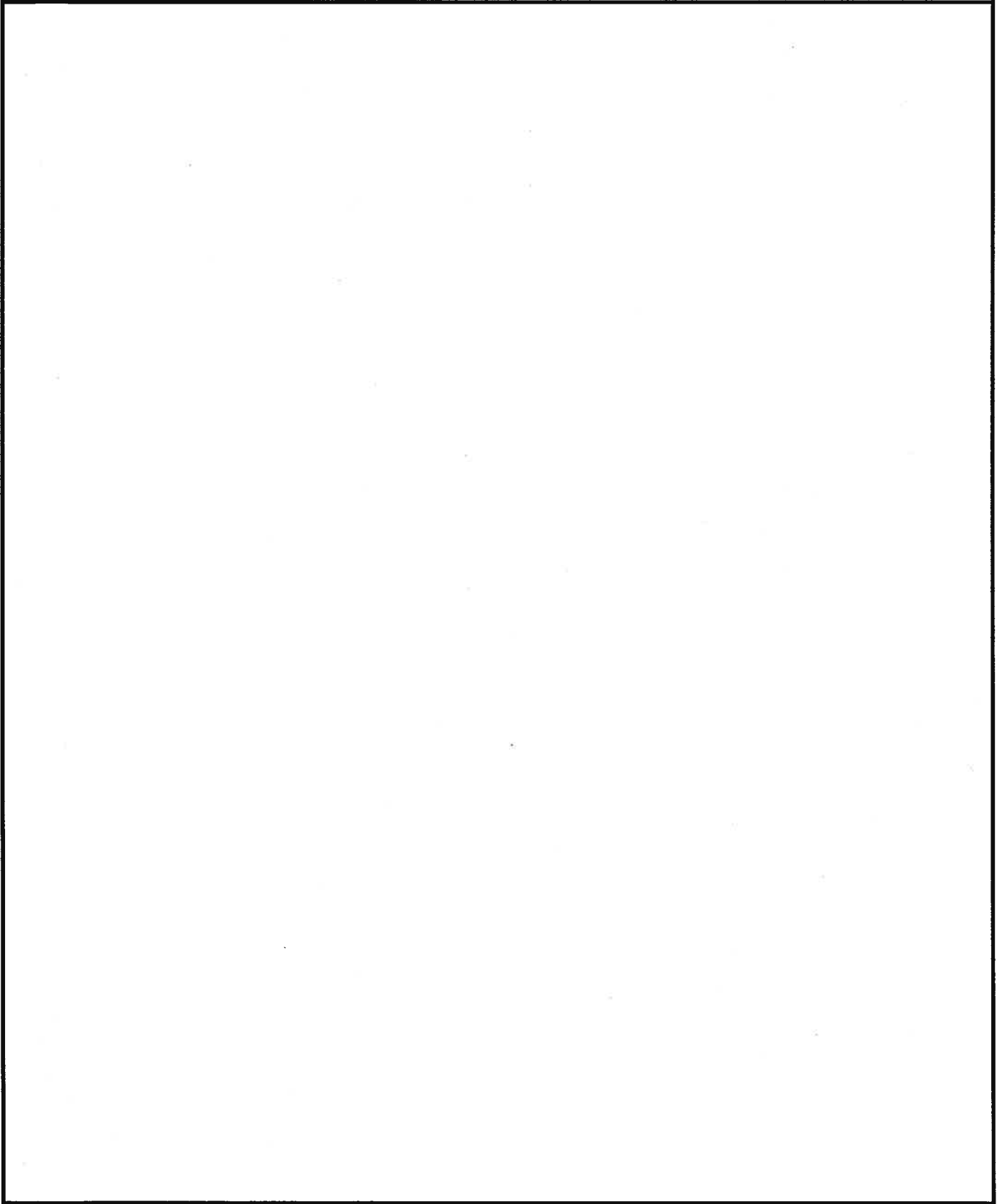


图 3-2 (64) 第一付属排気筒

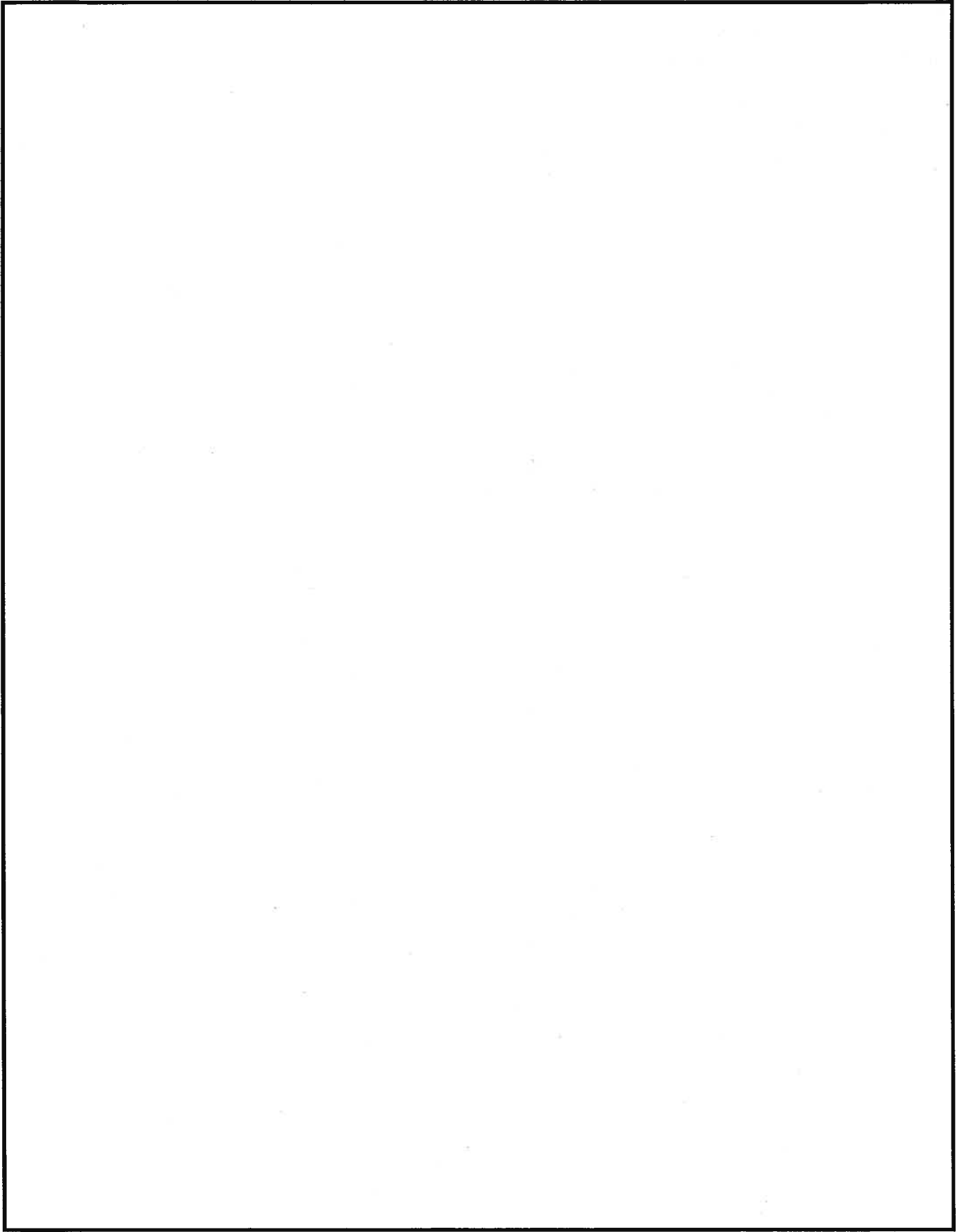


図 3-2 (65) クリプトン回収技術開発施設 (Kr) 地下 1 階平面図



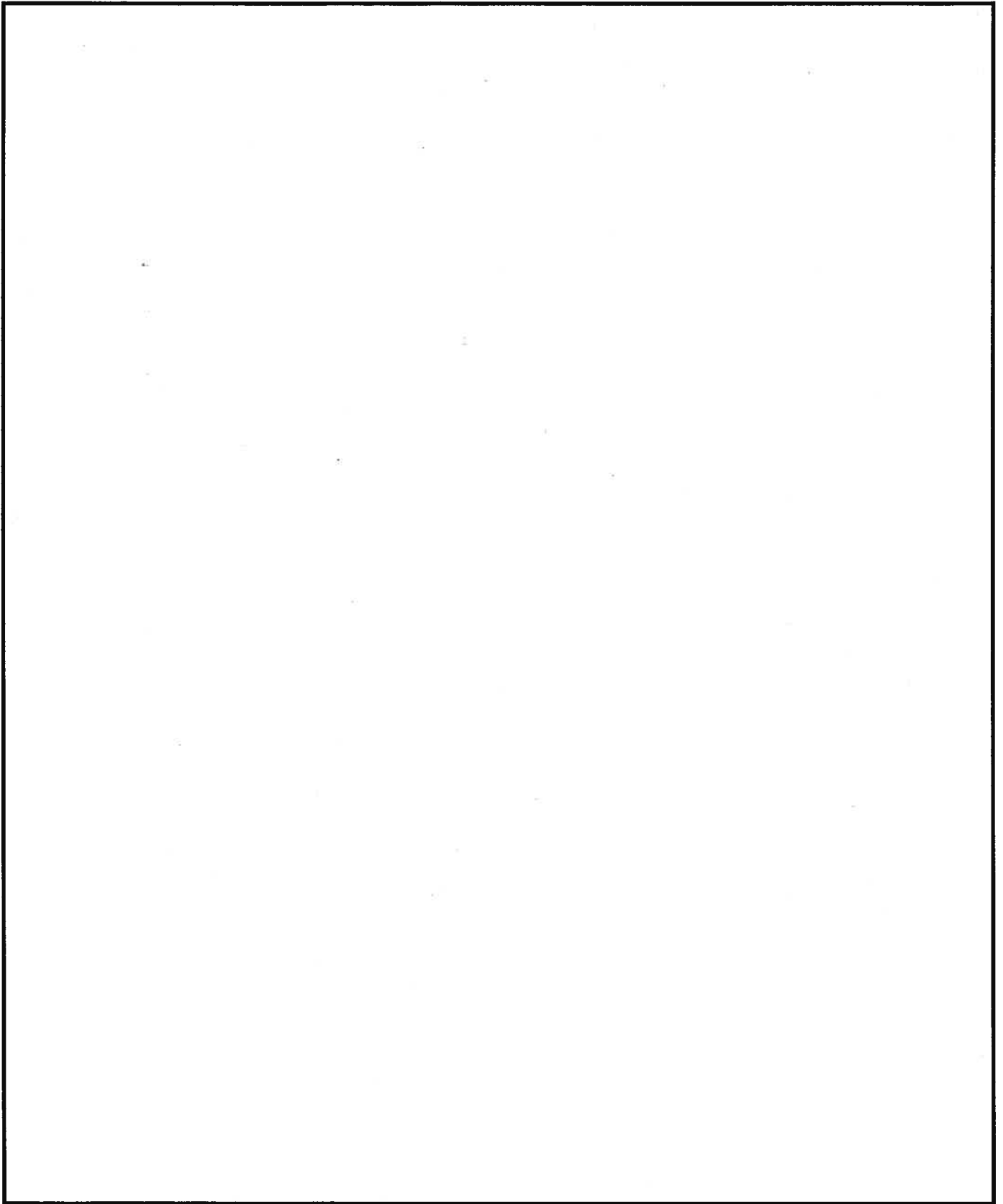


図 3-2 (66) クリプトン回収技術開発施設 (Kr) 1 階平面図

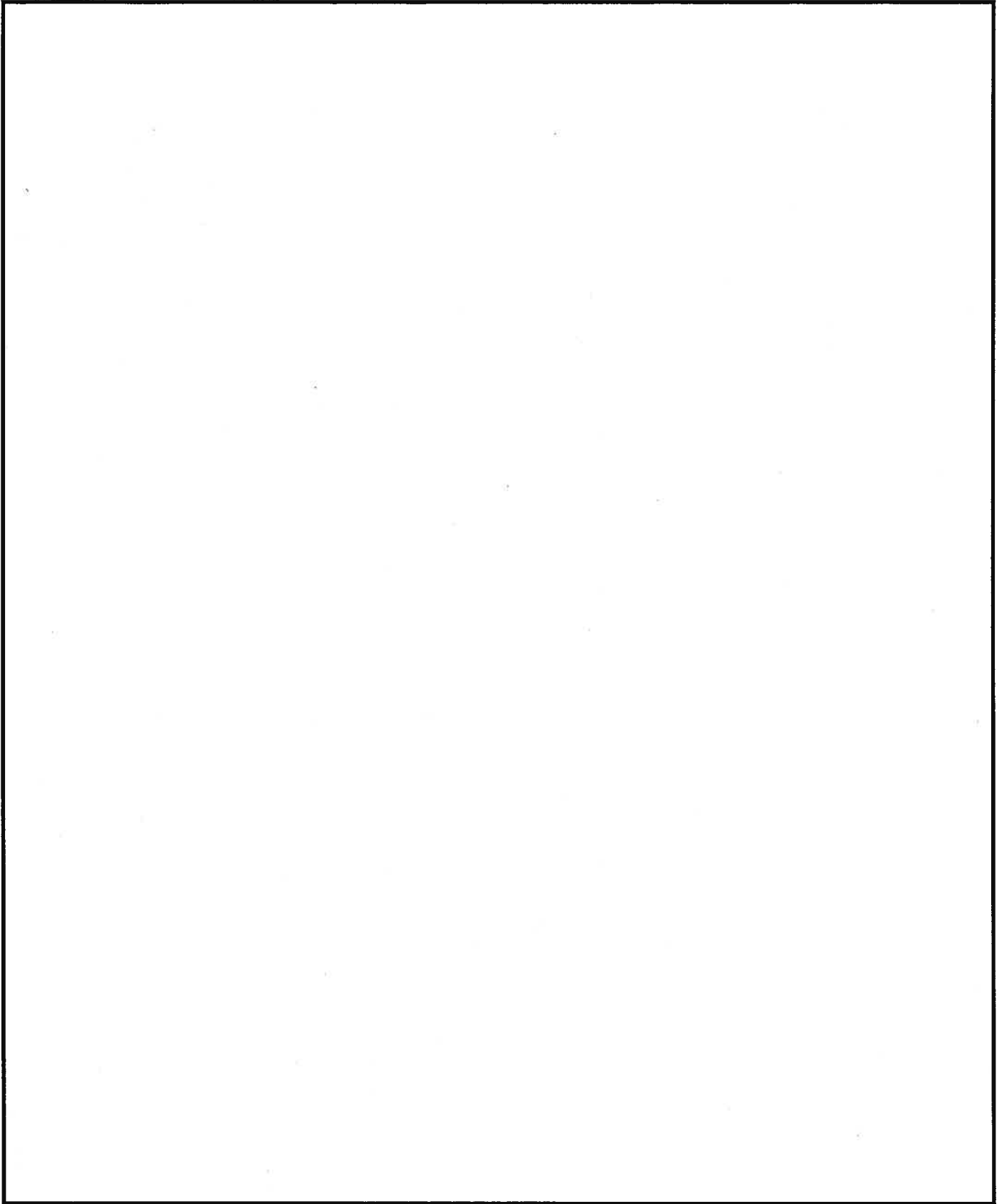


図 3-2 (67) クリプトン回収技術開発施設 (Kr) 2 階平面図

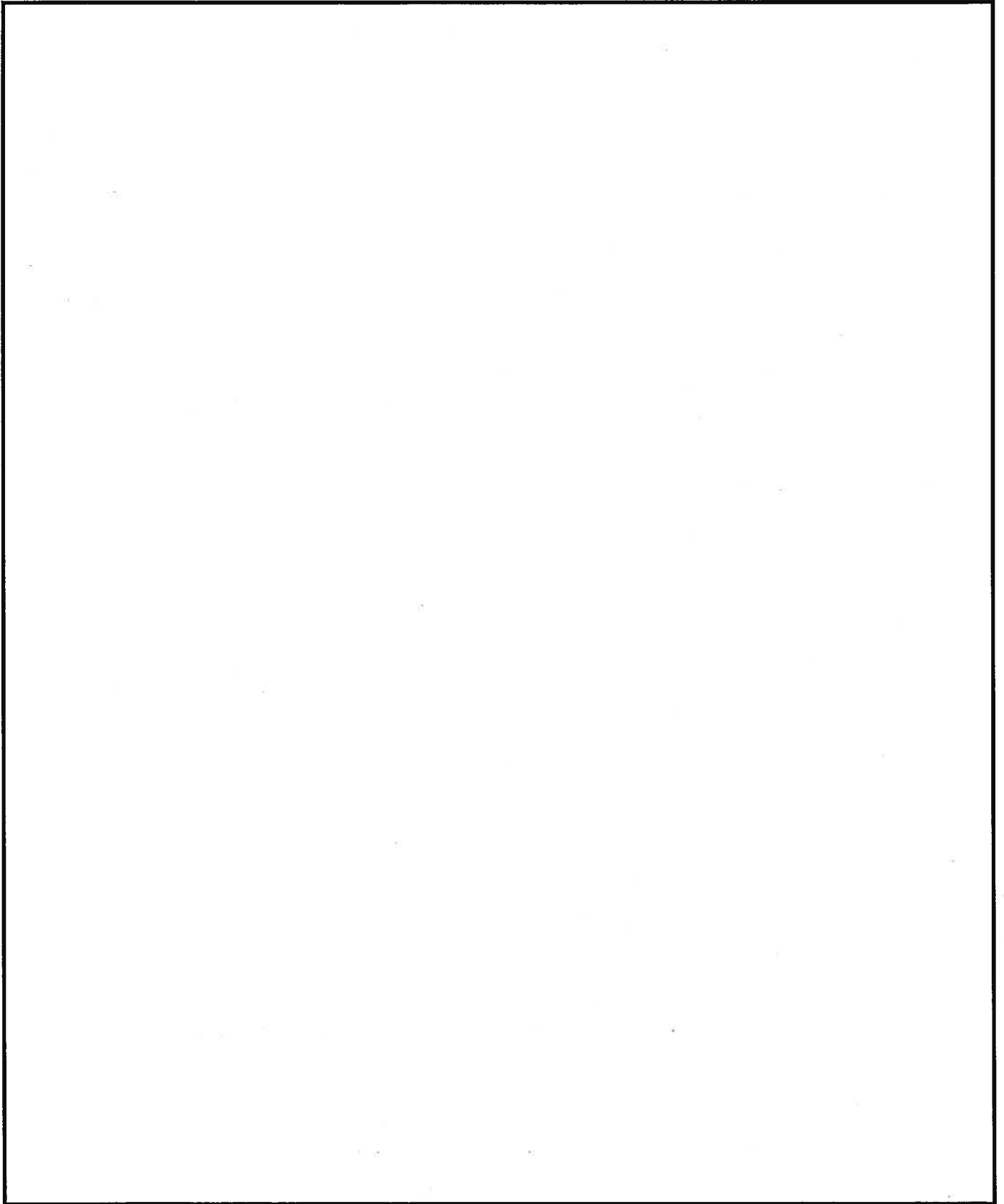


図 3-2 (68) クリプトン回収技術開発施設 (Kr) 3 階平面図

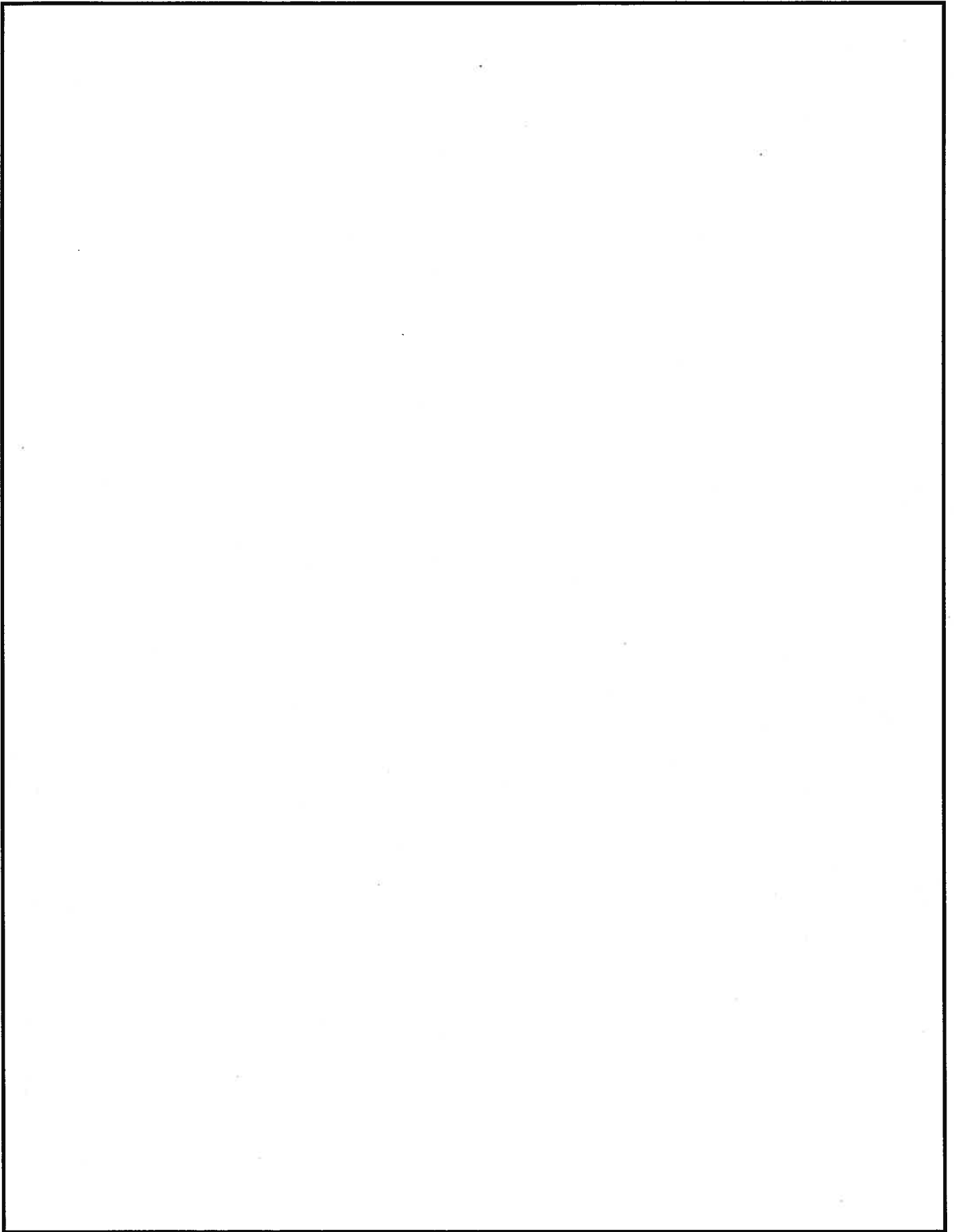


図 3-2 (69) クリプトン回収技術開発施設 (Kr) 断面図

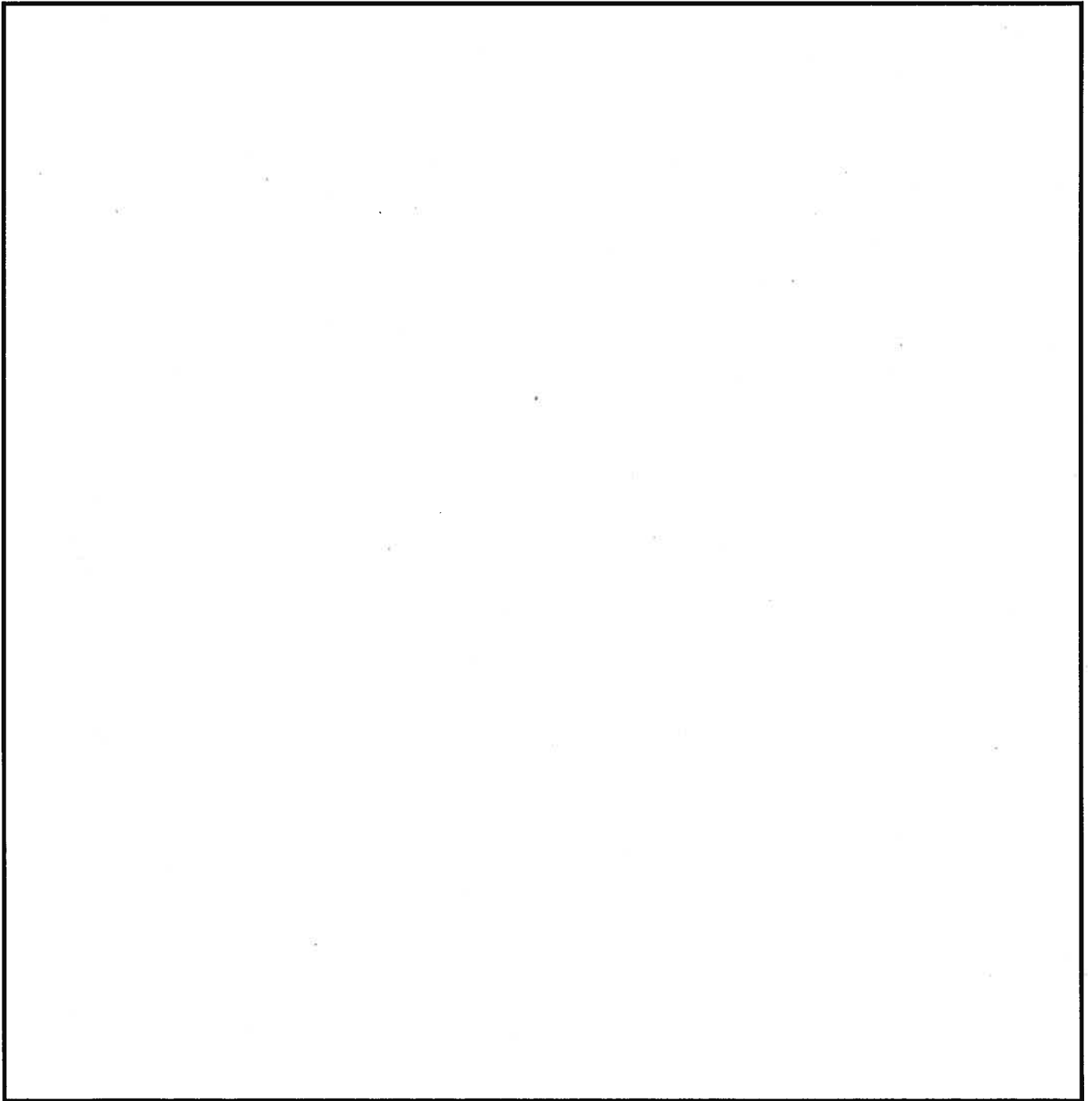


図 3-2 (70) クリプトン回収技術開発施設 (Kr) 断面図

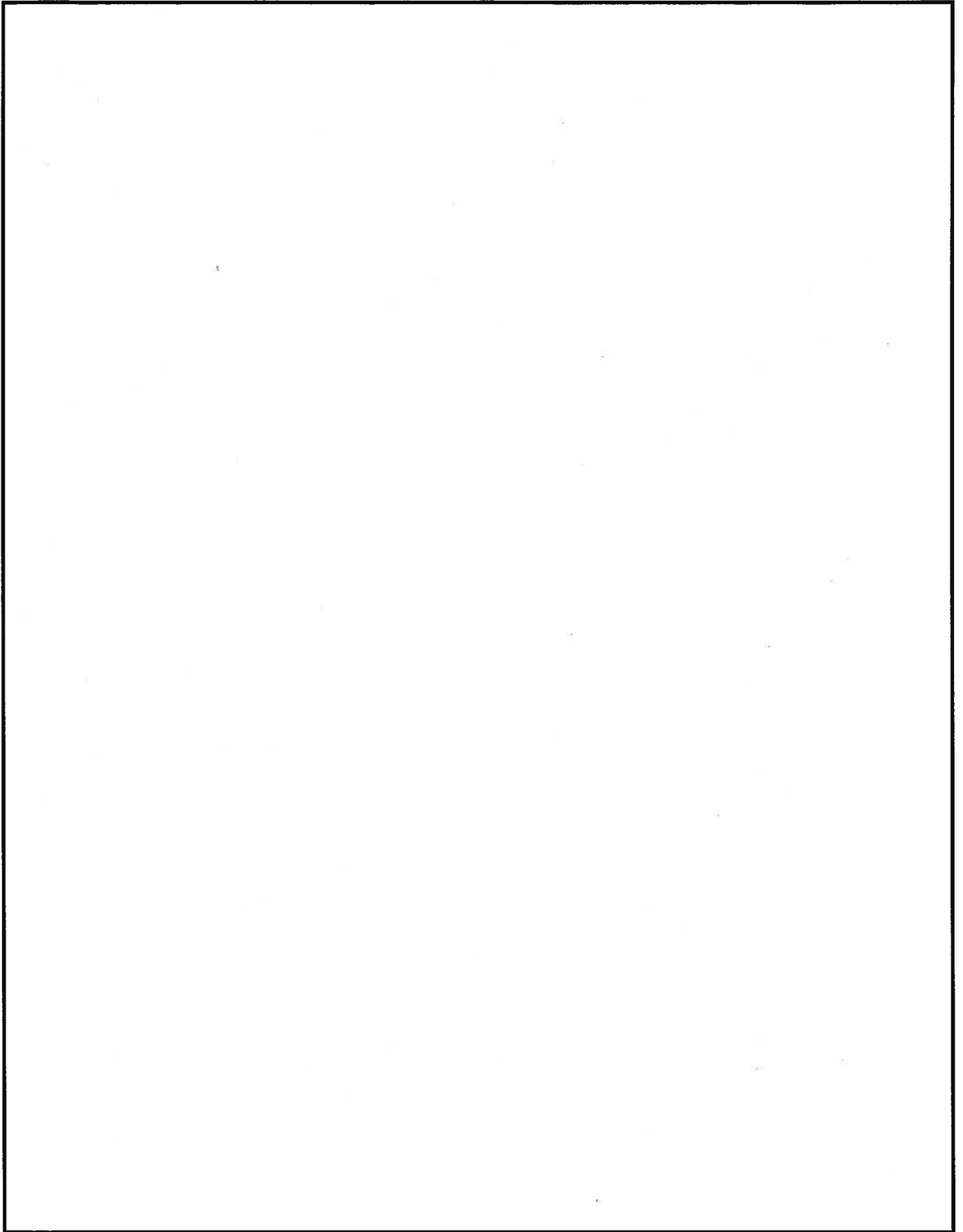


図 3-2 (71) プルトニウム転換技術開発施設 (PCDF) 地下 1 階平面図

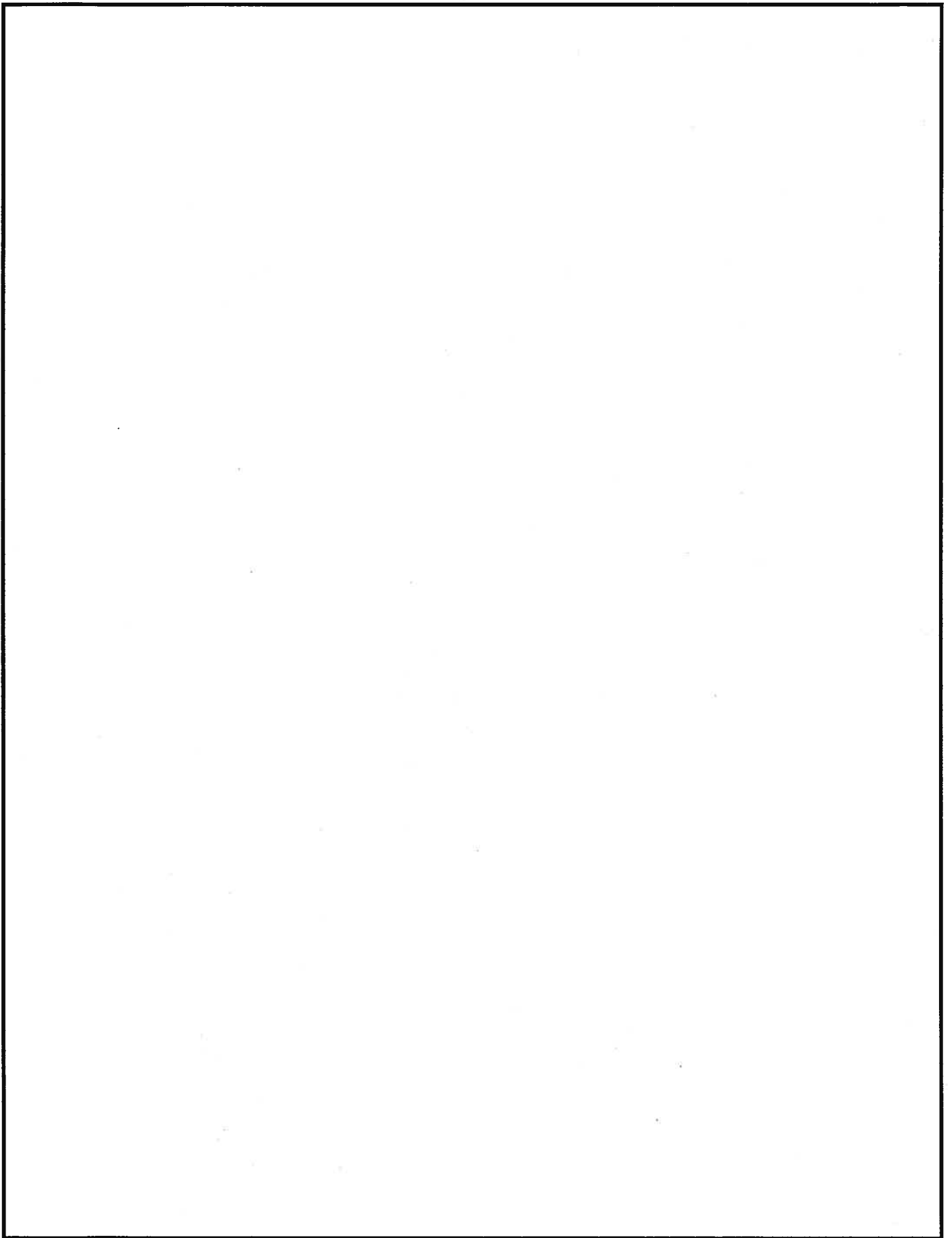


図 3-2 (72) プルトニウム転換技術開発施設 (PCDF) 1 階平面図

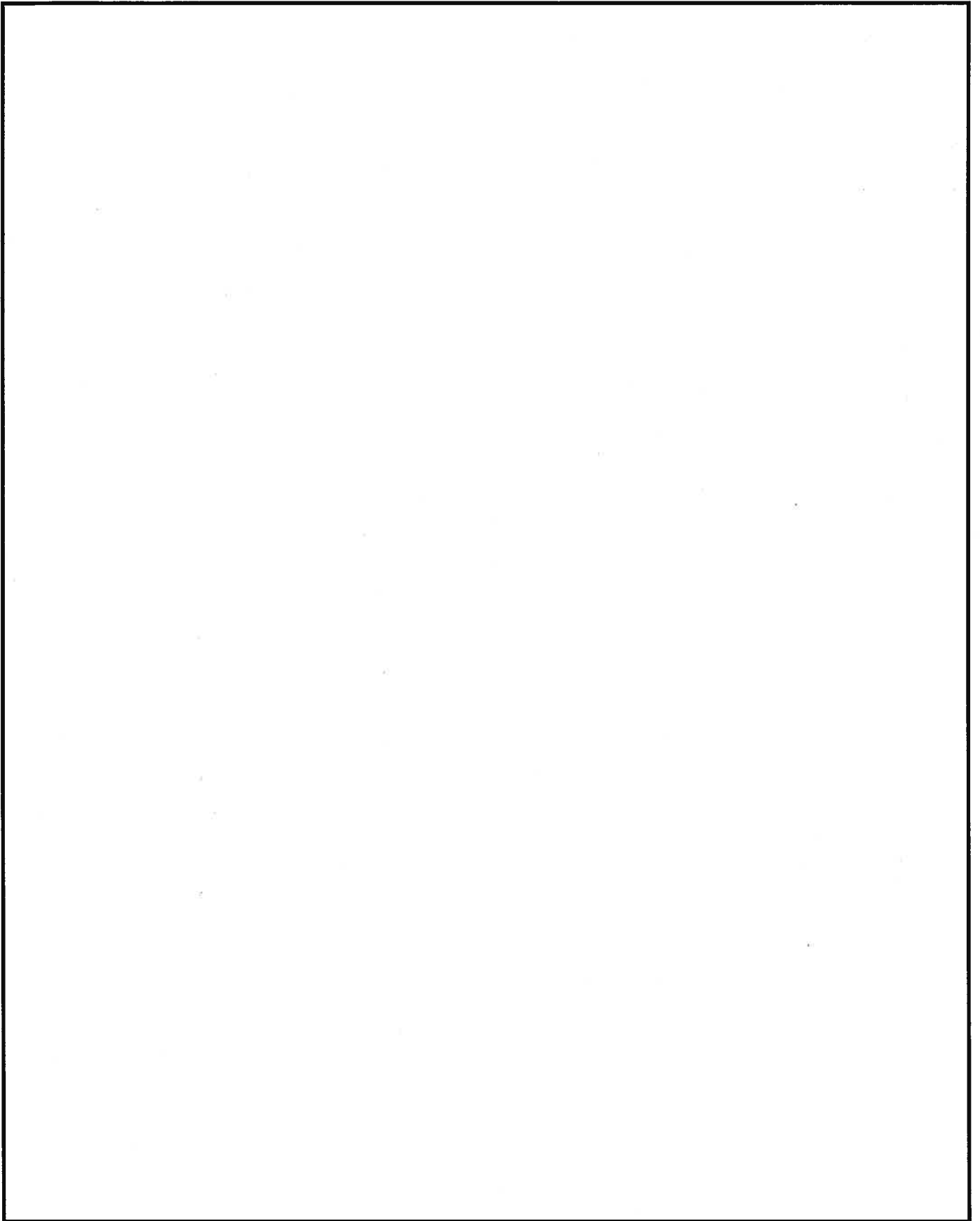


図 3-2 (73) プルトニウム転換技術開発施設 (PCDF) 2 階平面図



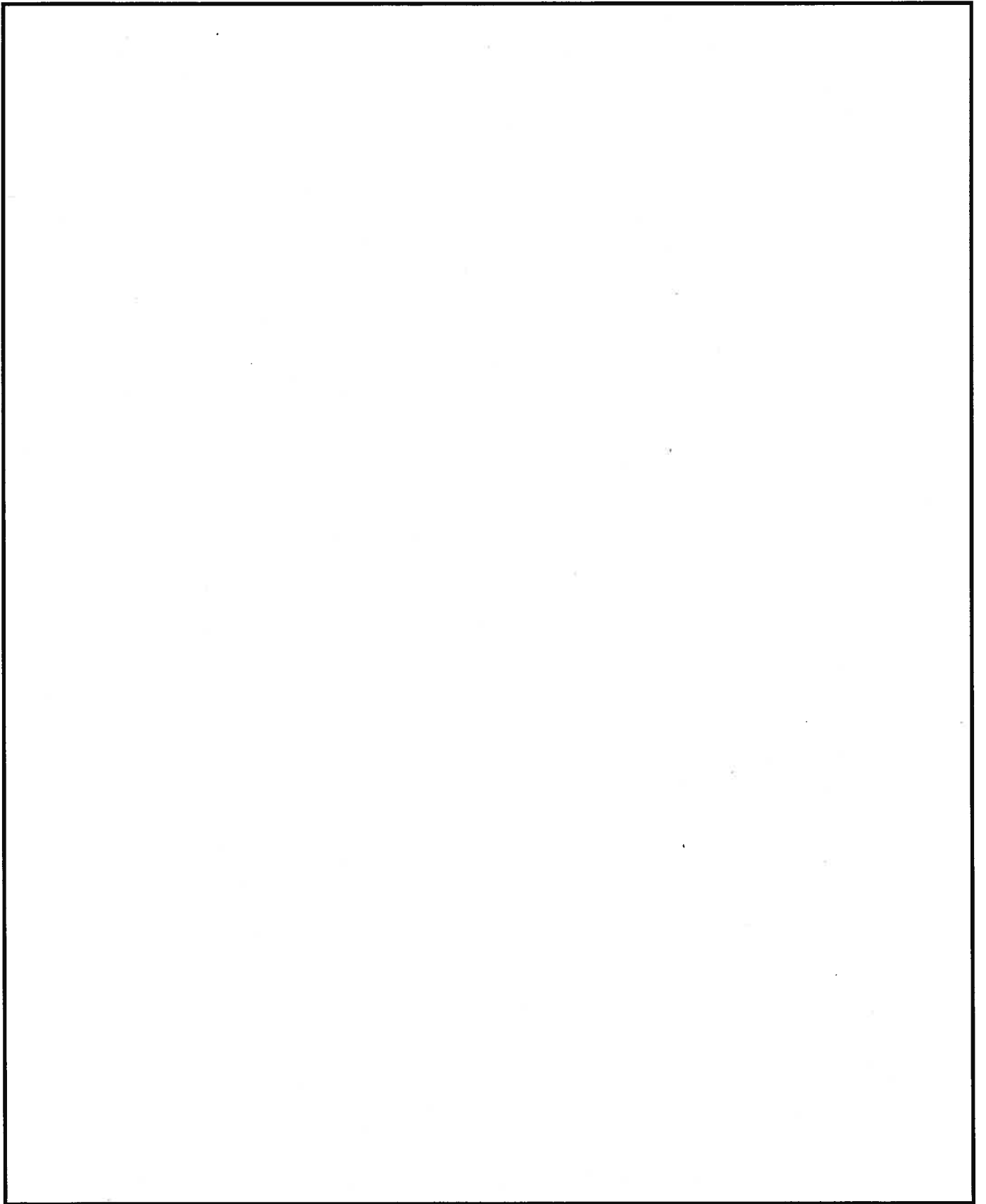


図 3-2 (74) プルトニウム転換技術開発施設 (PCDF) 3 階平面図

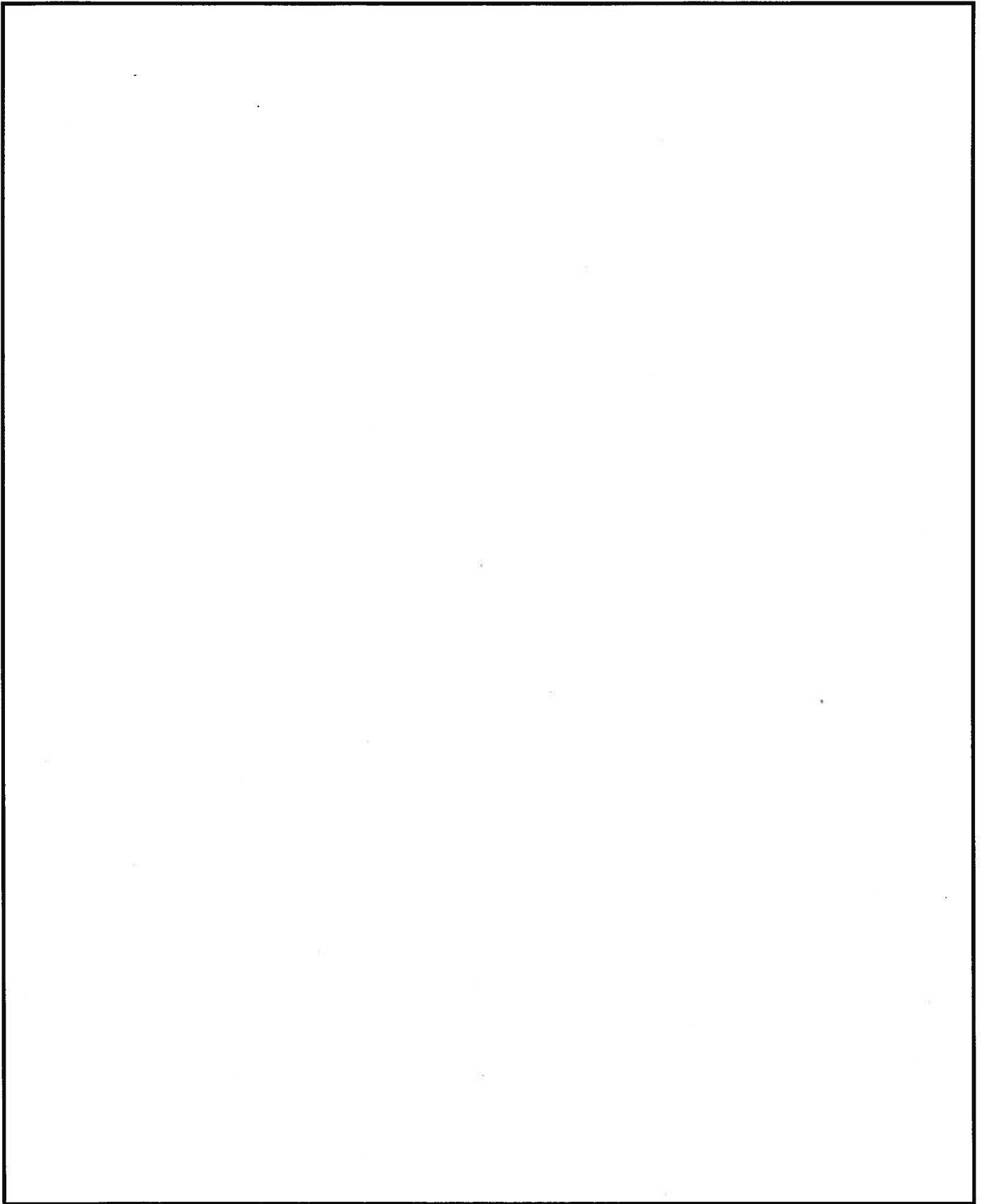


図 3-2 (75) プルトニウム転換技術開発施設 (PCDF) 4 階平面図

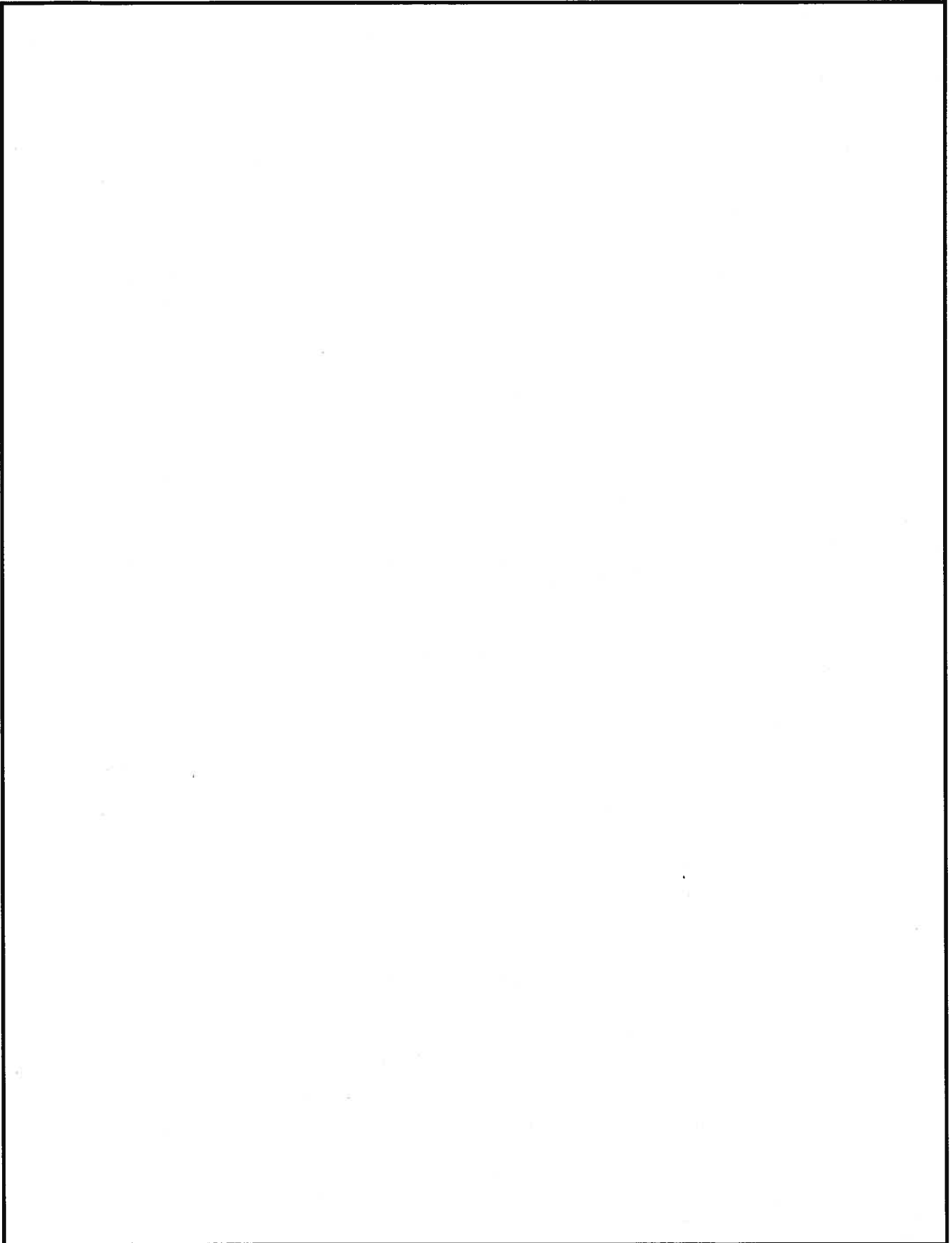


図 3-2 (76) プルトニウム転換技術開発施設 (PCDF) 断面図

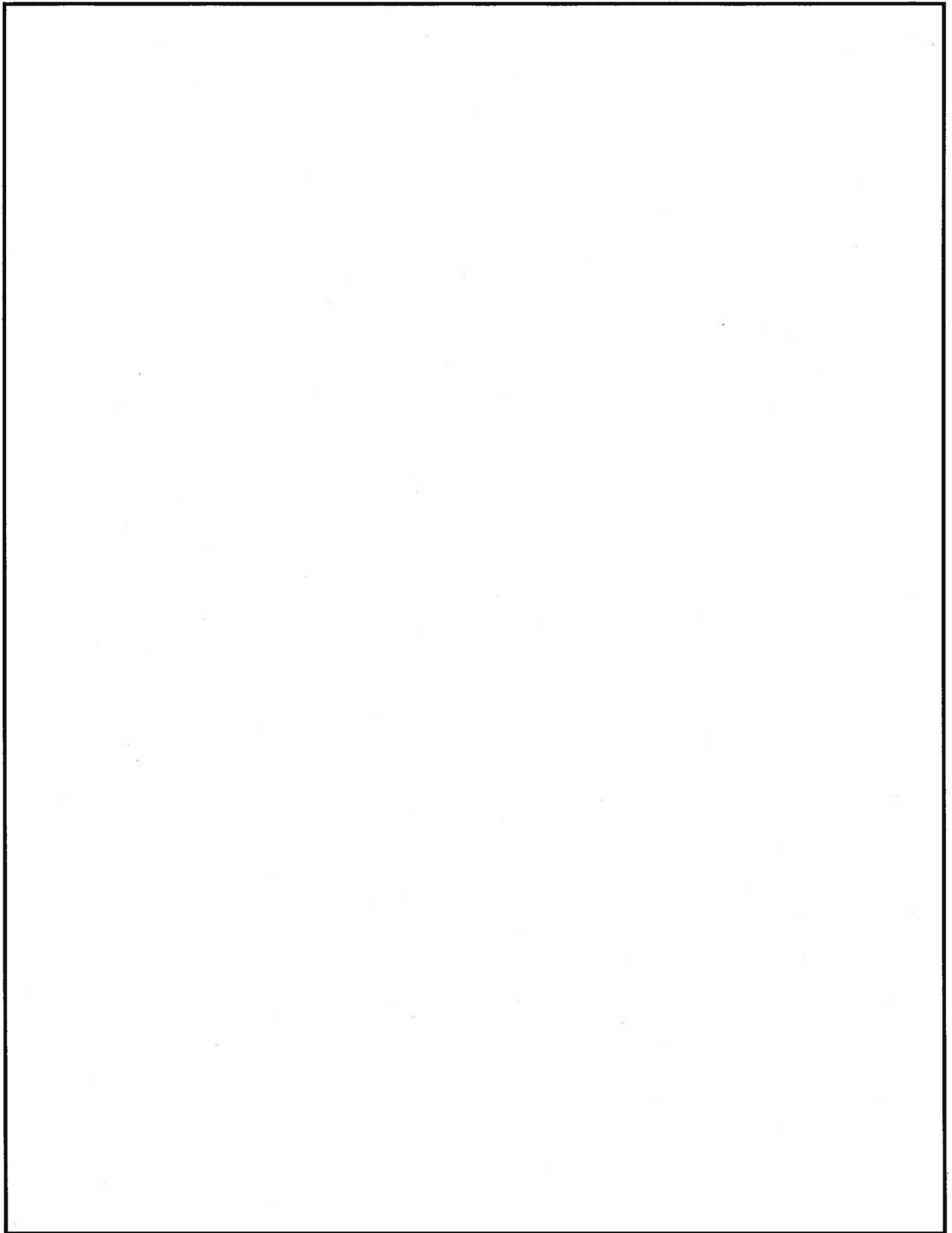


図 3-2 (77) プルトニウム転換技術開発施設 (PCDF) 断面図

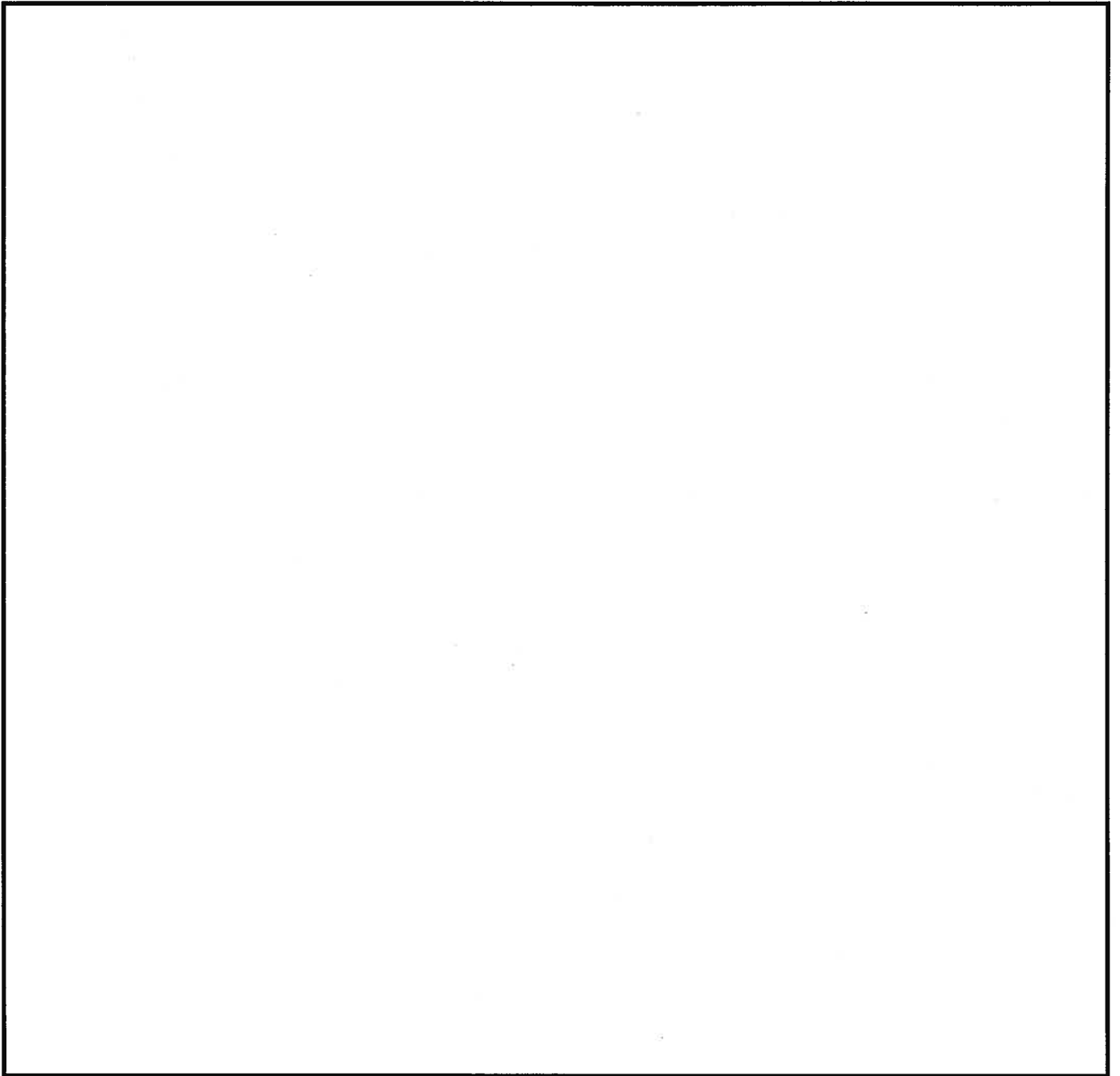


図 3-2 (78) プルトニウム転換技術開発施設 (PCDF) 断面図

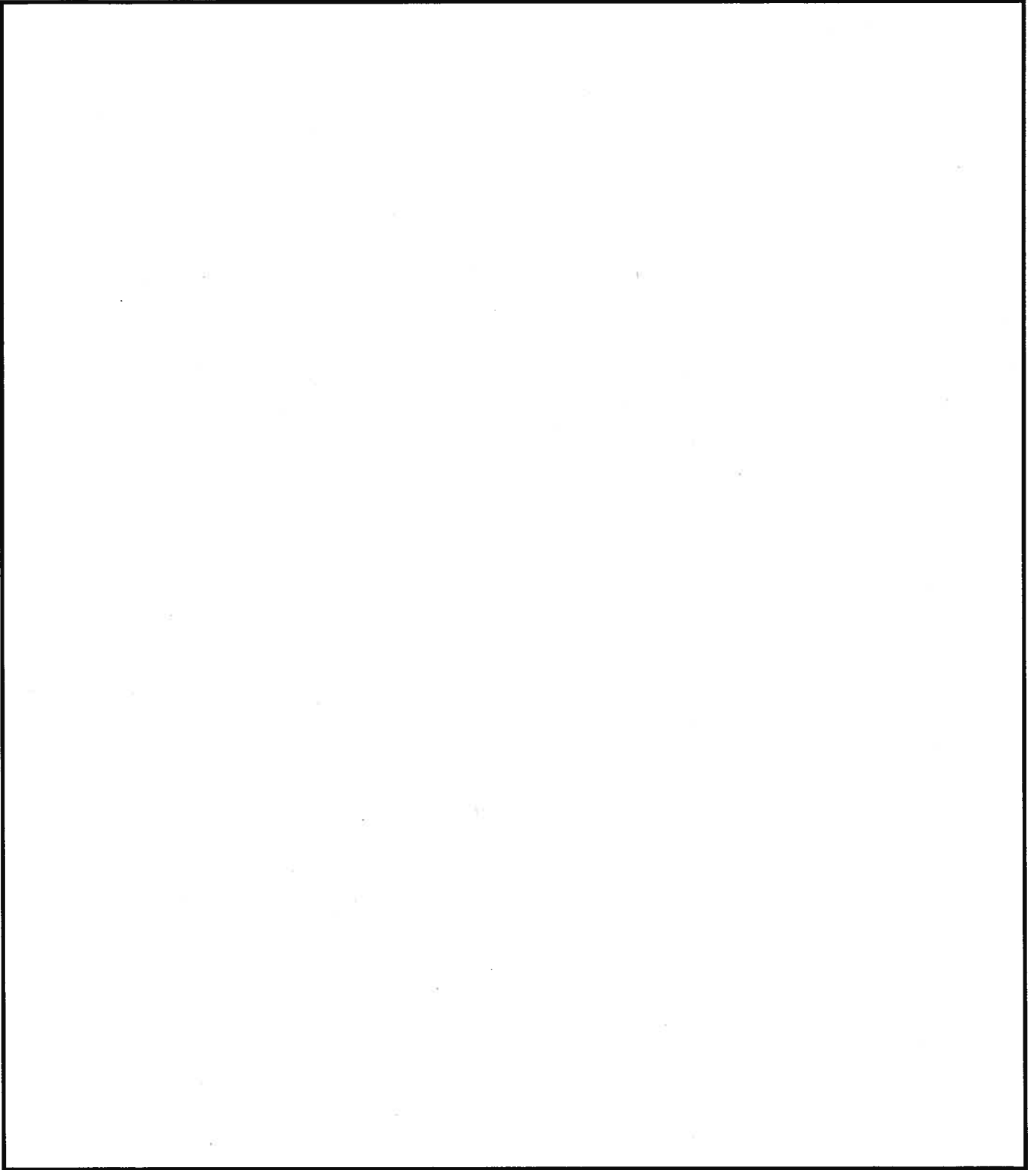


図 3-2 (79) 第二スラッジ貯蔵場 (LW2) 地下 2 階平面図

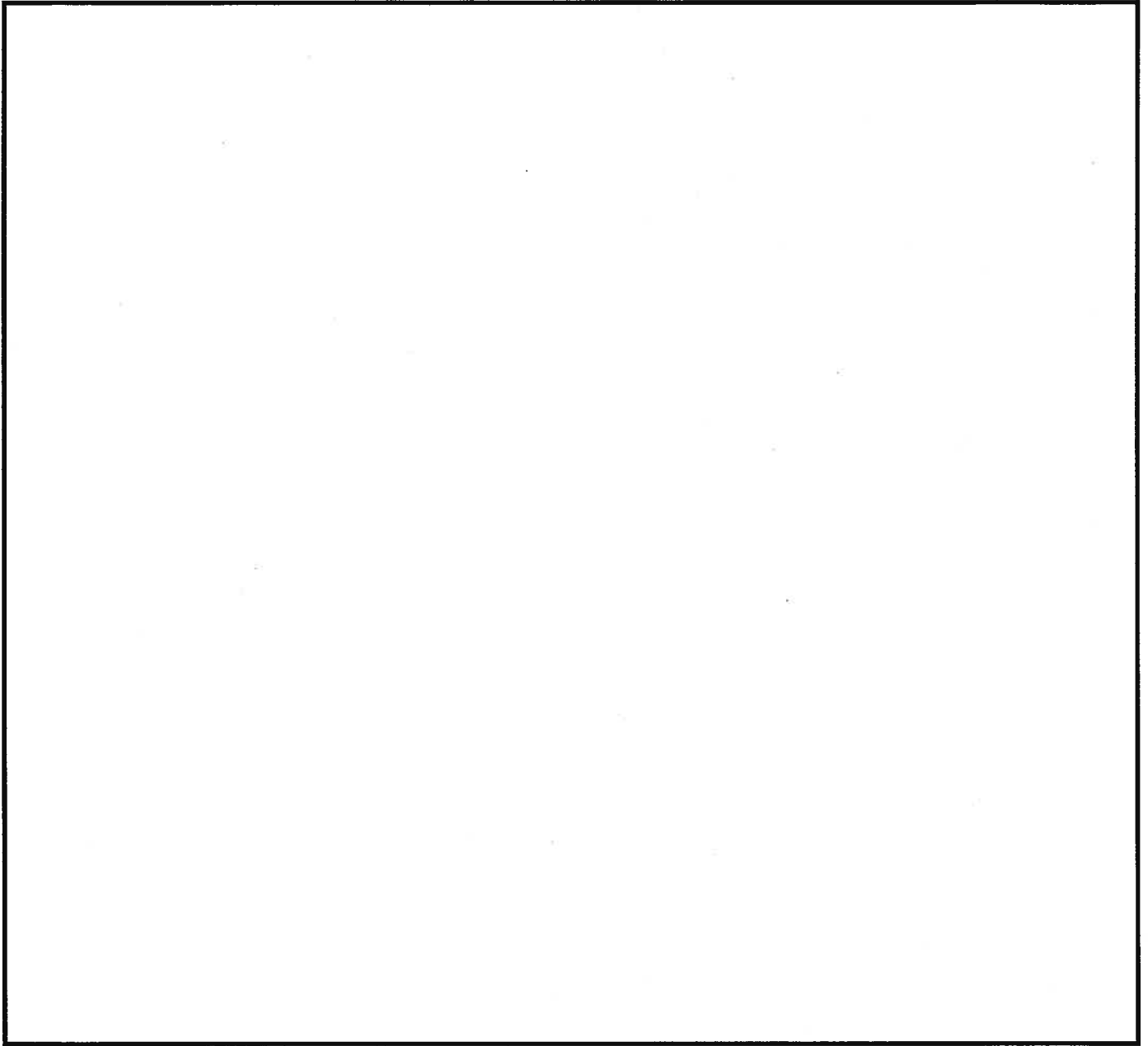


図 3-2 (80) 第二スラッジ貯蔵場 (LW2) 地下 1 階平面図

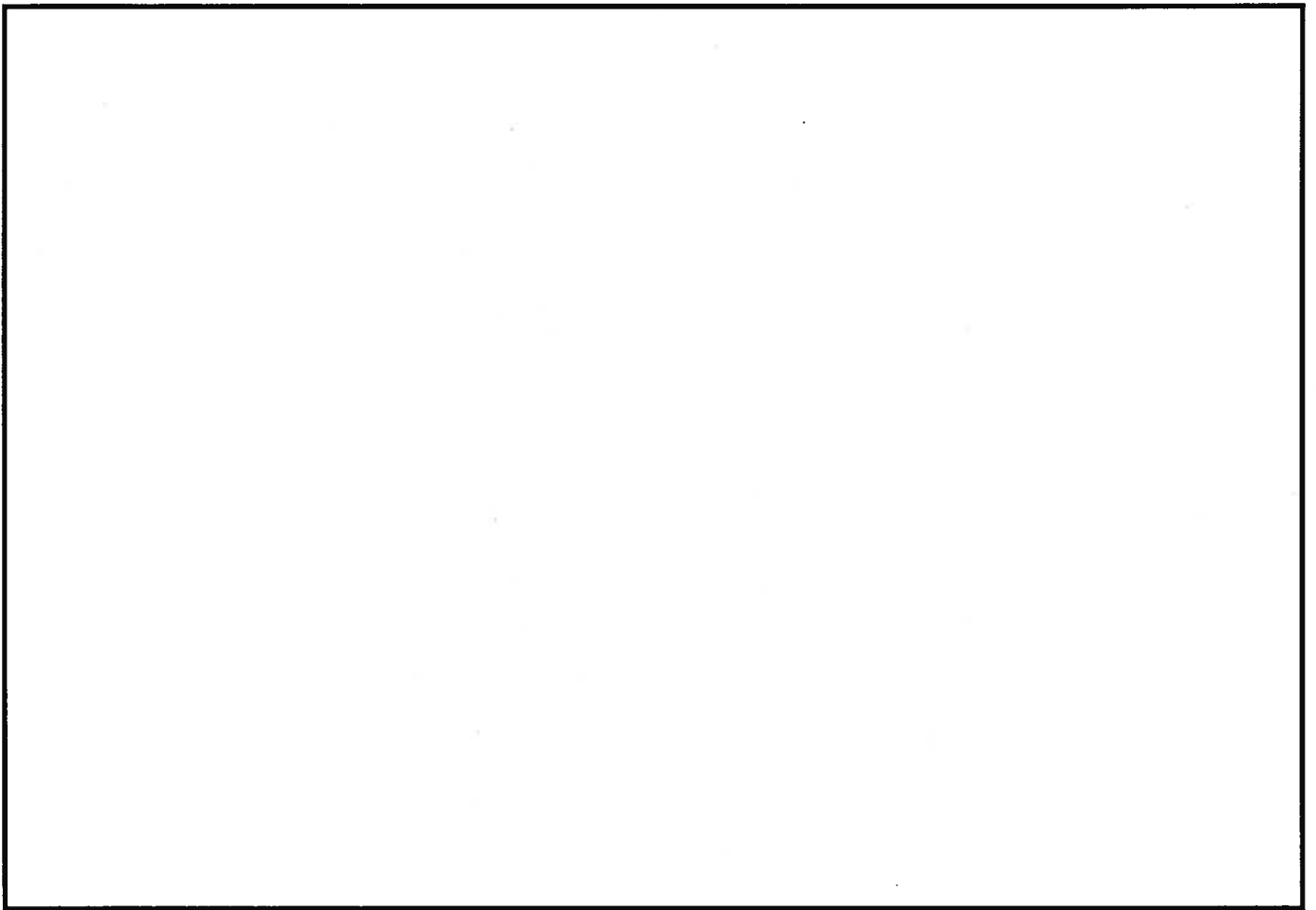


図 3-2 (81) 第二スラッジ貯蔵場 (LW2) 1 階平面図



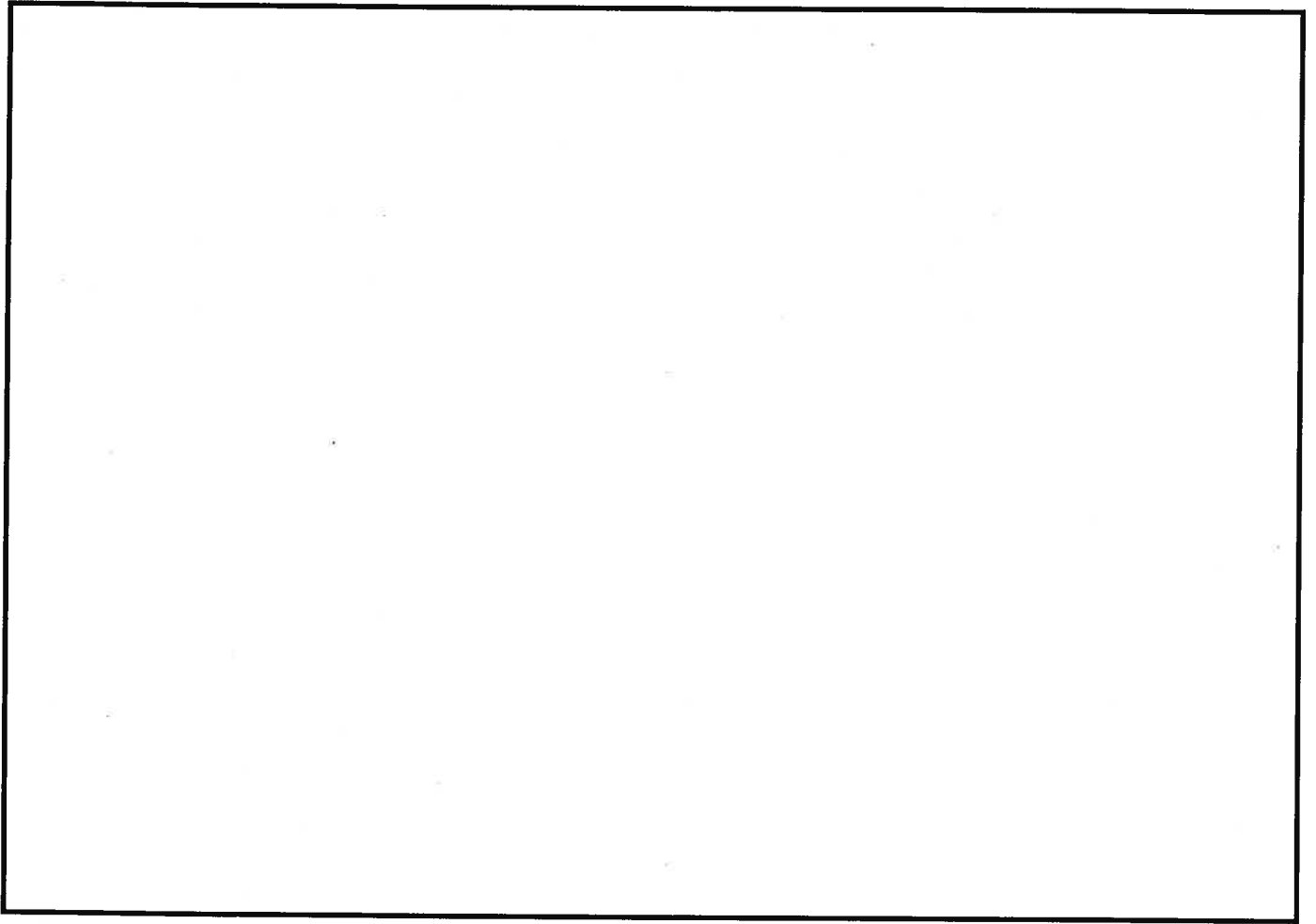


図 3-2 (82) 第二スラッジ貯蔵場 (LW2) 2 階平面図

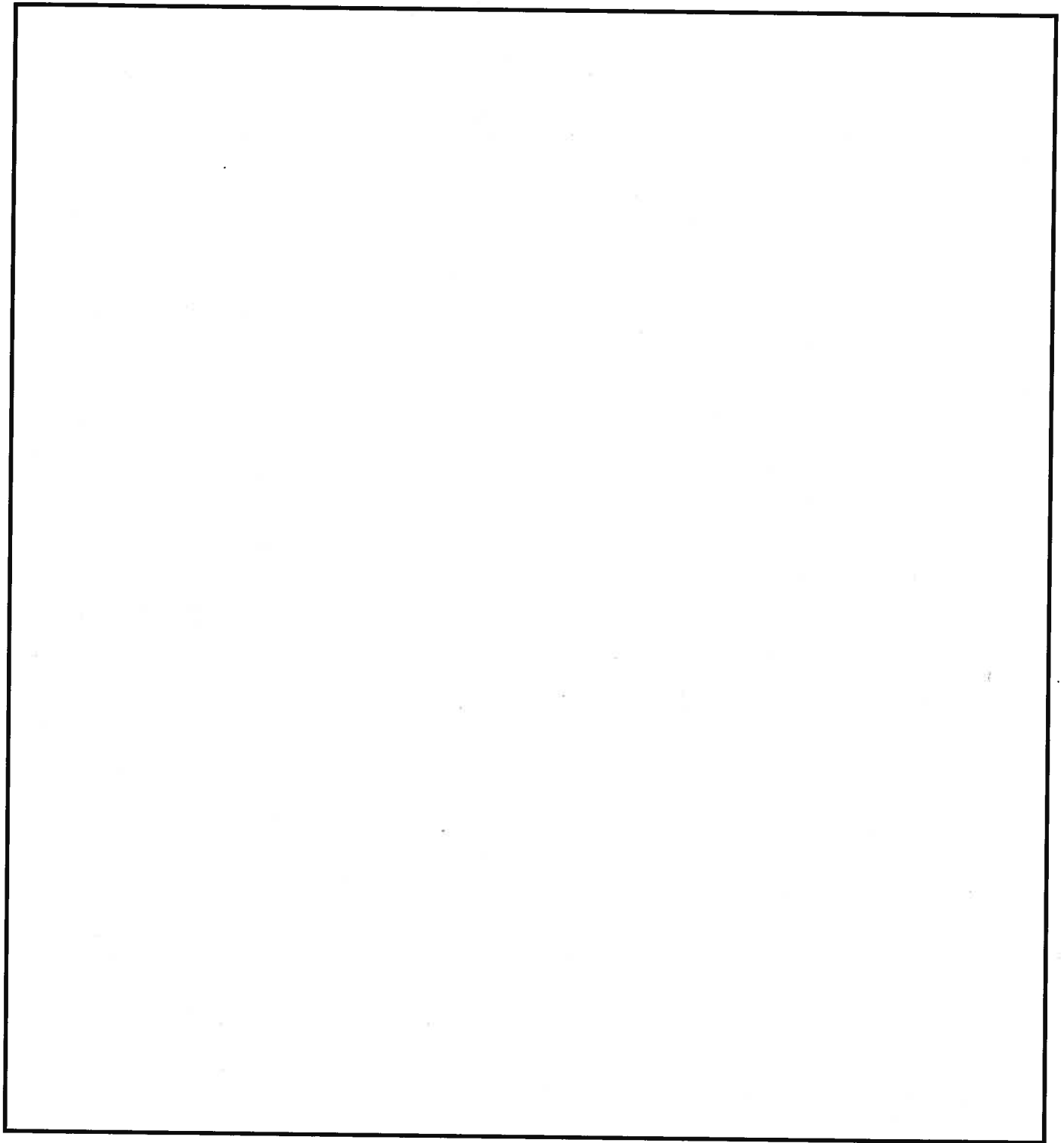


図 3-2 (83) 廃溶媒貯蔵場 (WS) 地下 1 階平面図

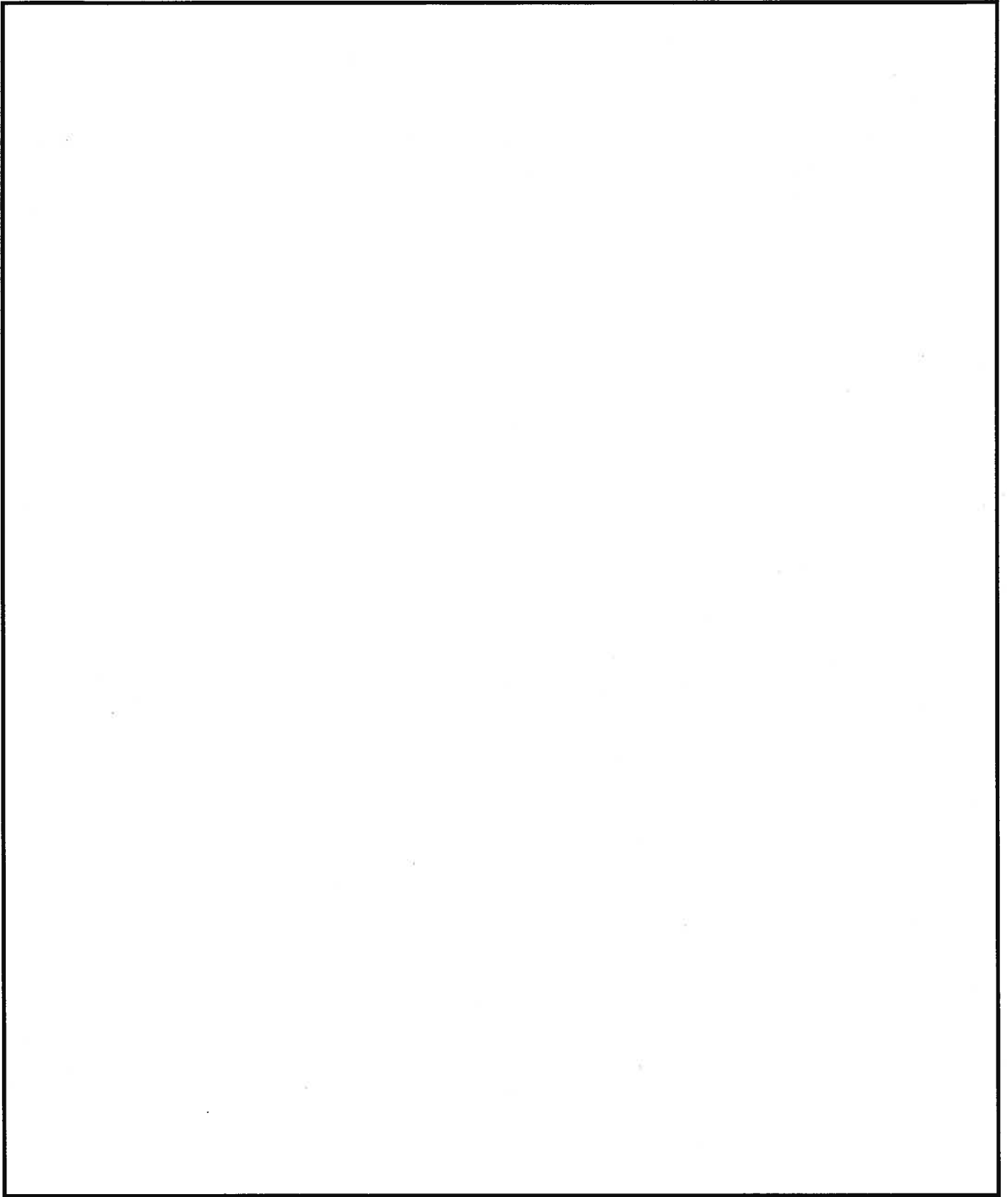


图 3-2 (84) 废溶媒貯蔵場 (WS) 1 階平面図

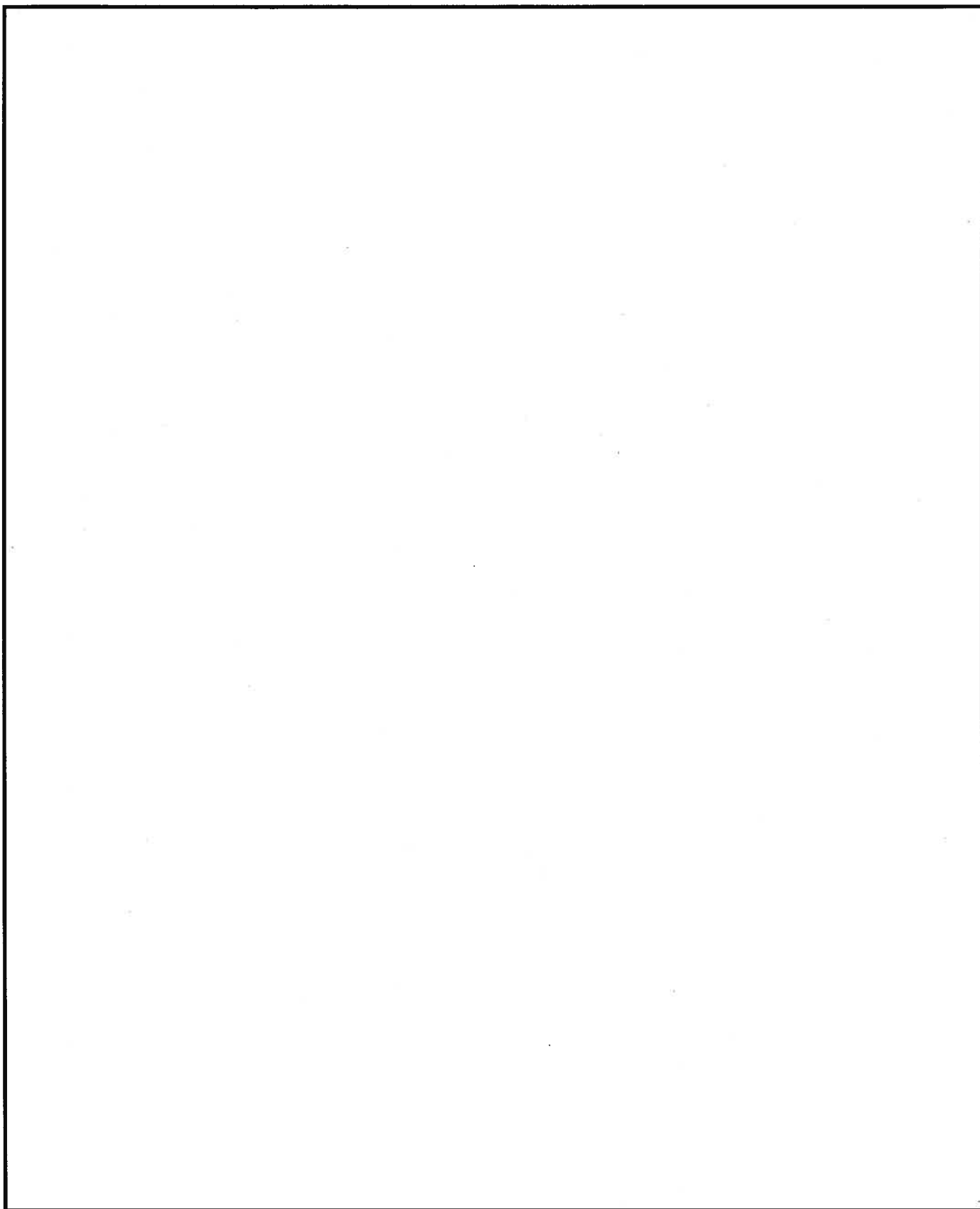


図 3-2 (85) 廃溶媒貯蔵場 (WS) 2 階平面図

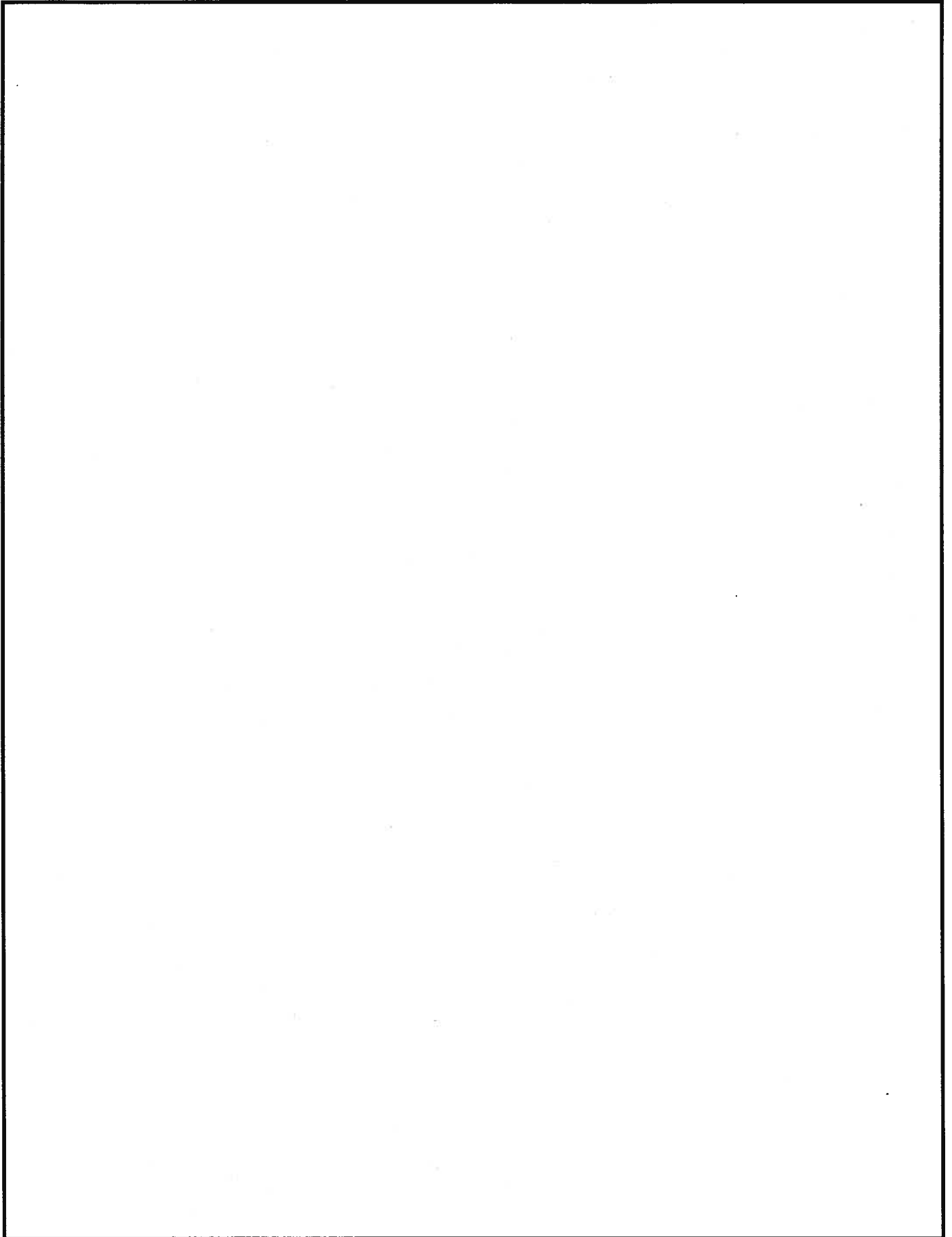


図 3-2 (86) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 地下 2 階平面図

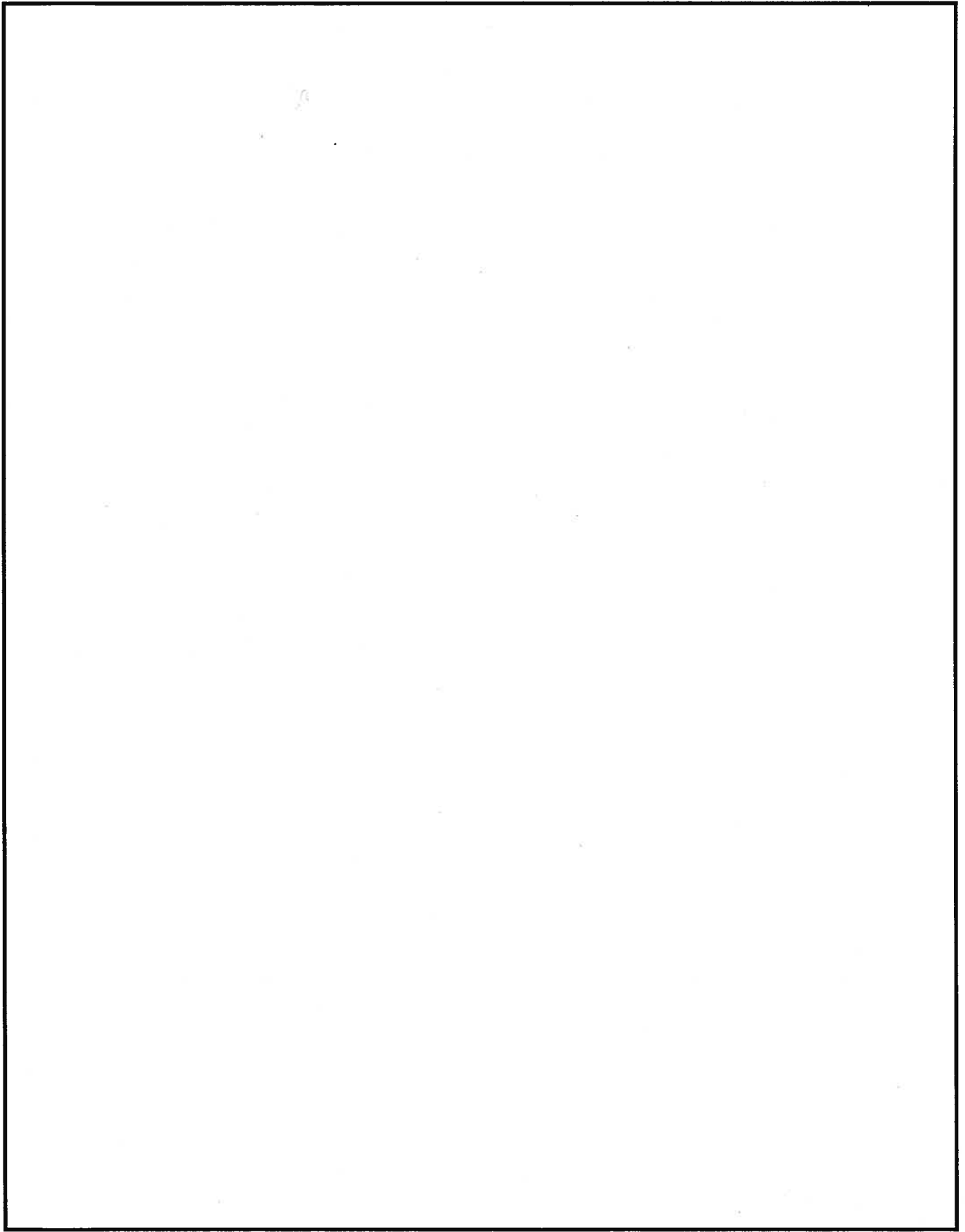


図 3-2 (87) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 地下 1 階平面図

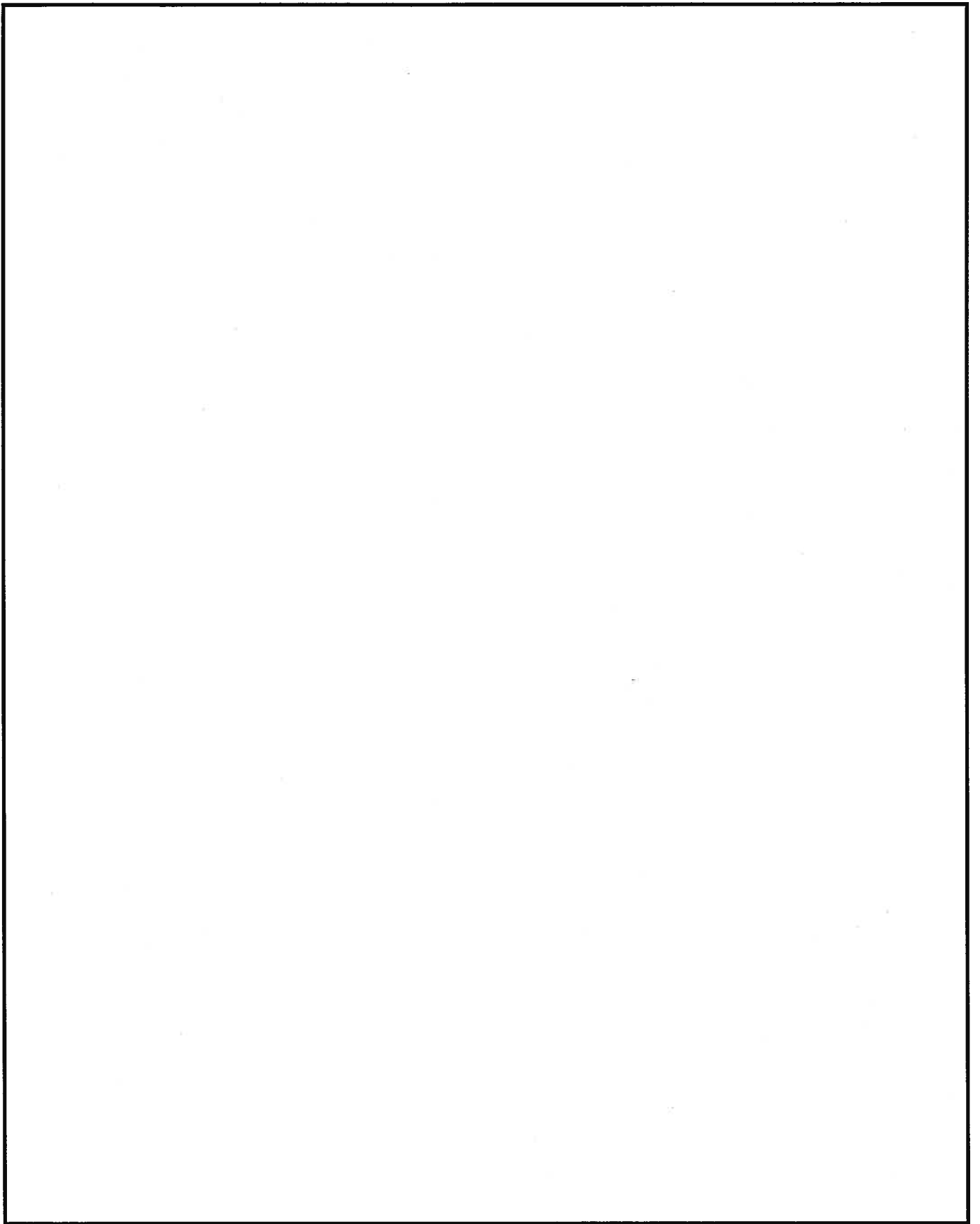


図 3-2 (88) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 地下中 1 階平面図

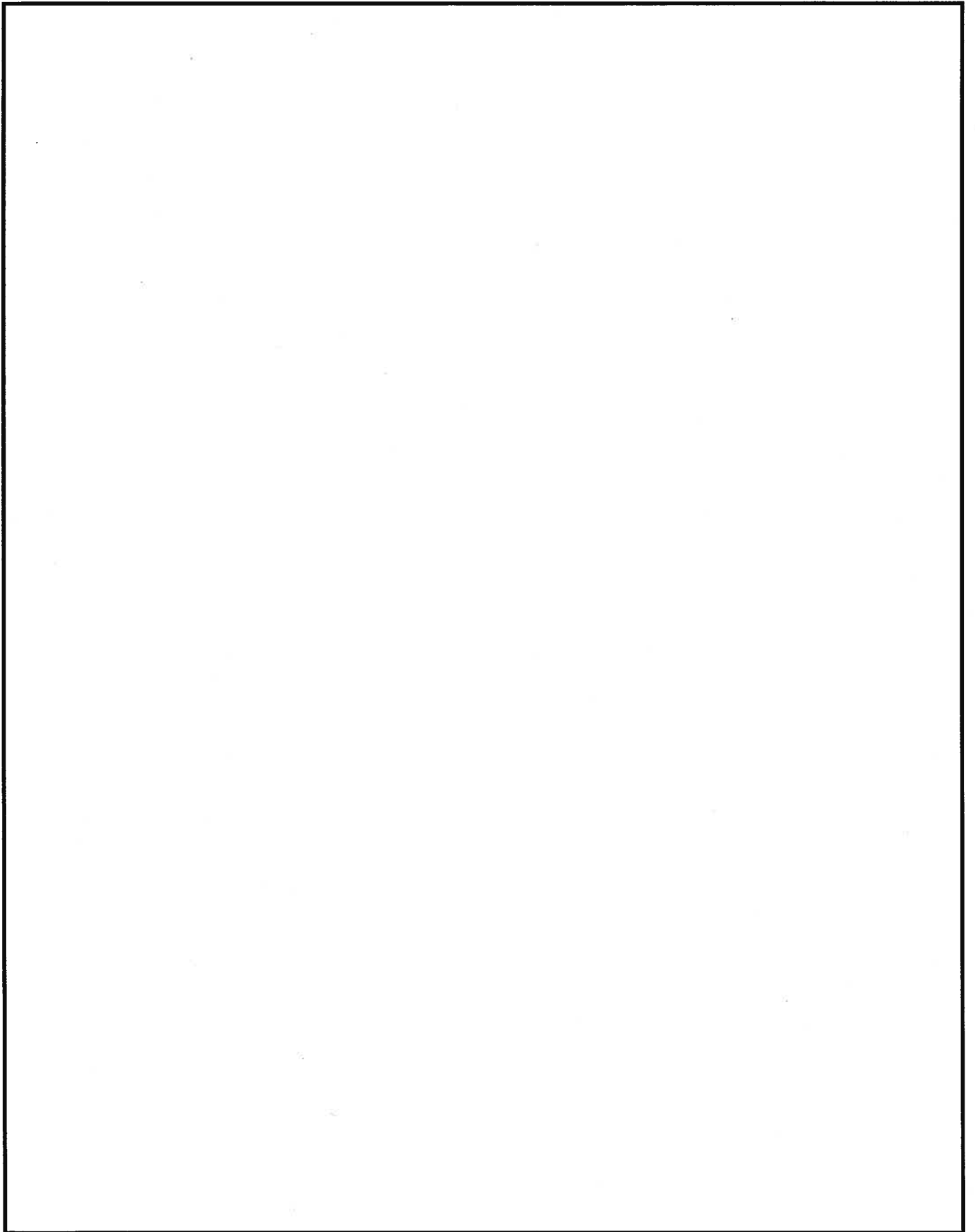


図 3-2 (89) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 1 階平面図



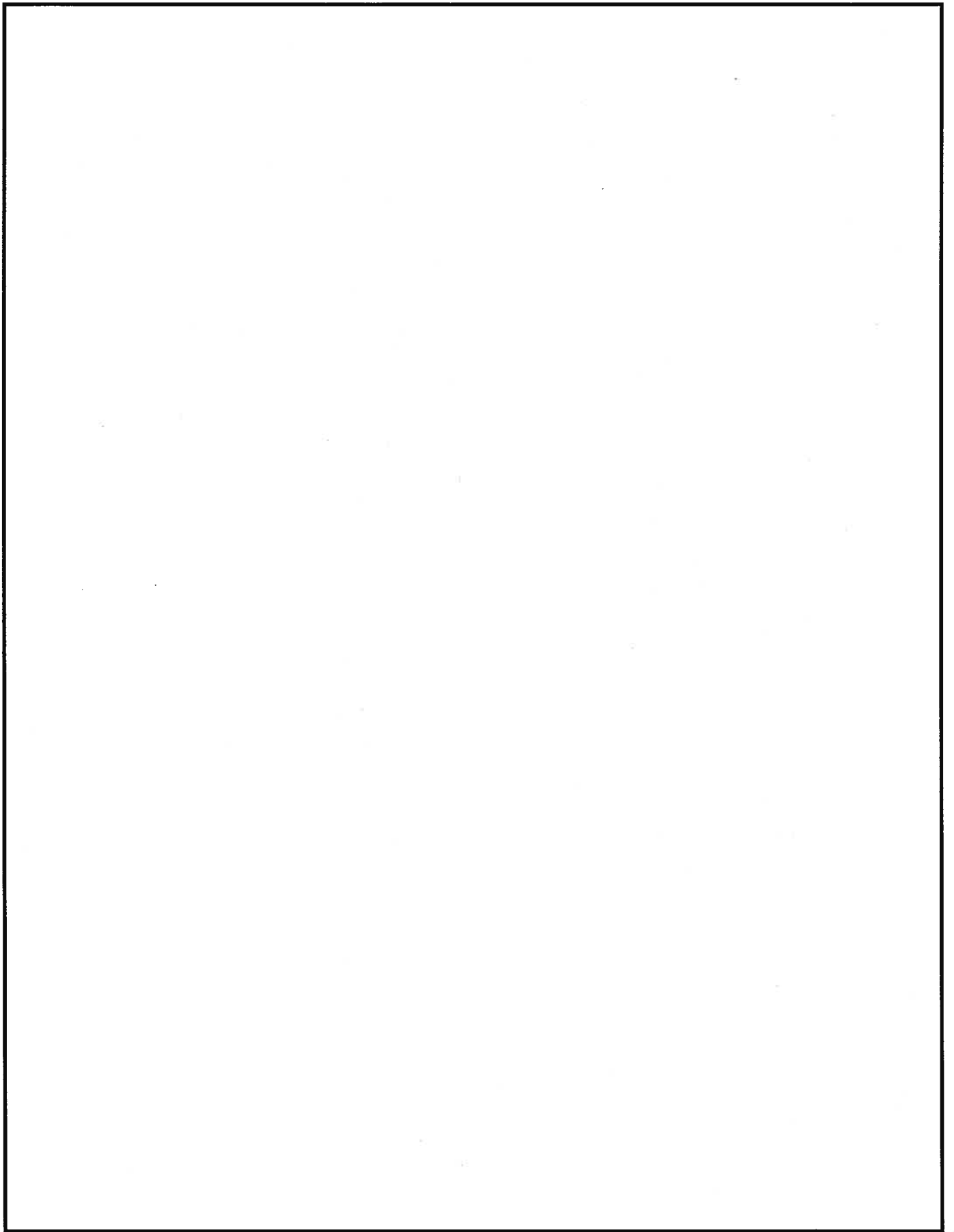


图 3-2 (90) 廢溶媒处理技術開發施設 (ST) 2 階平面図

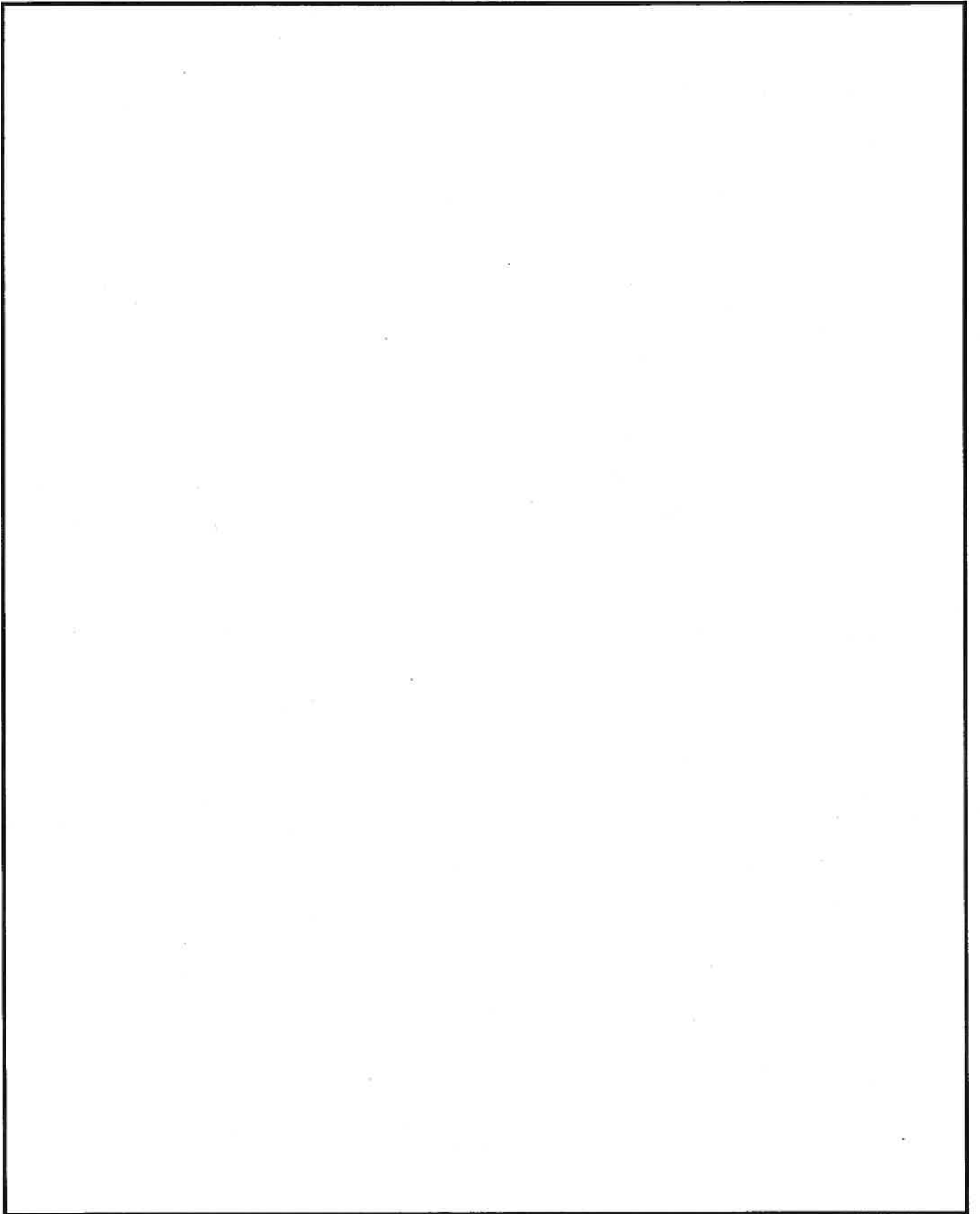


図 3-2 (91) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 3 階平面図

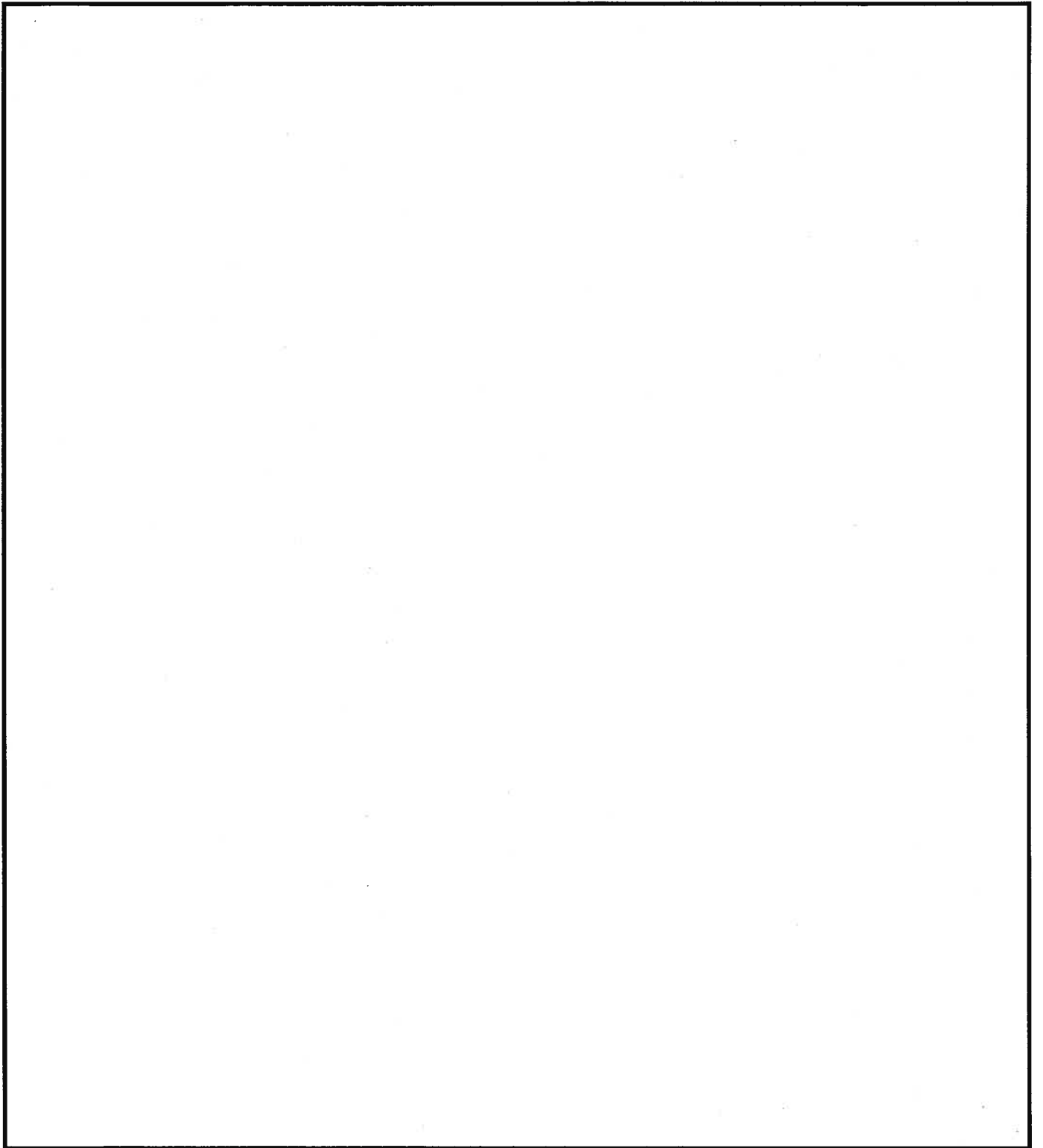


図 3-2 (92) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 断面図

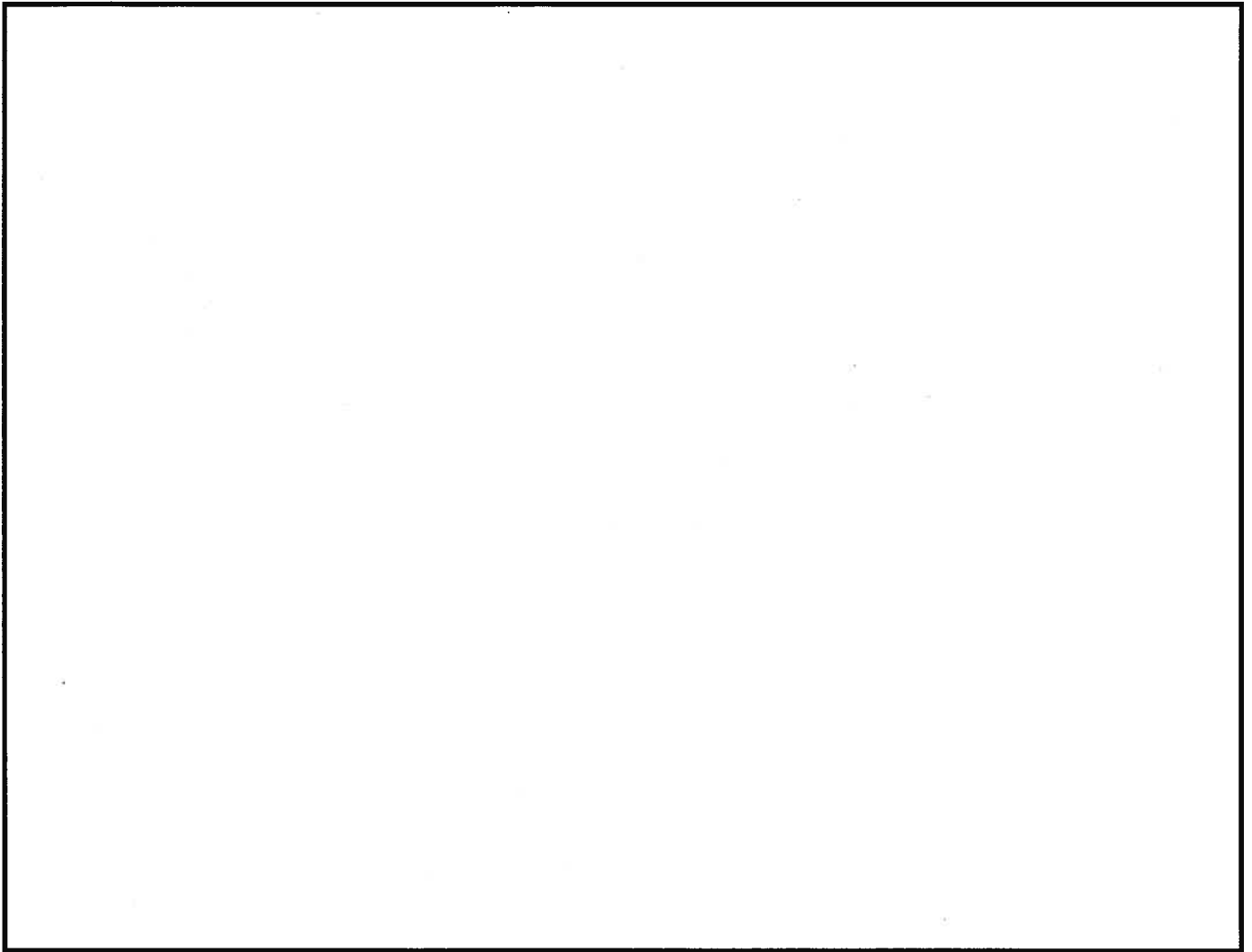


図 3-2 (93) 廃溶媒処理技術開発施設 (ST) 断面図

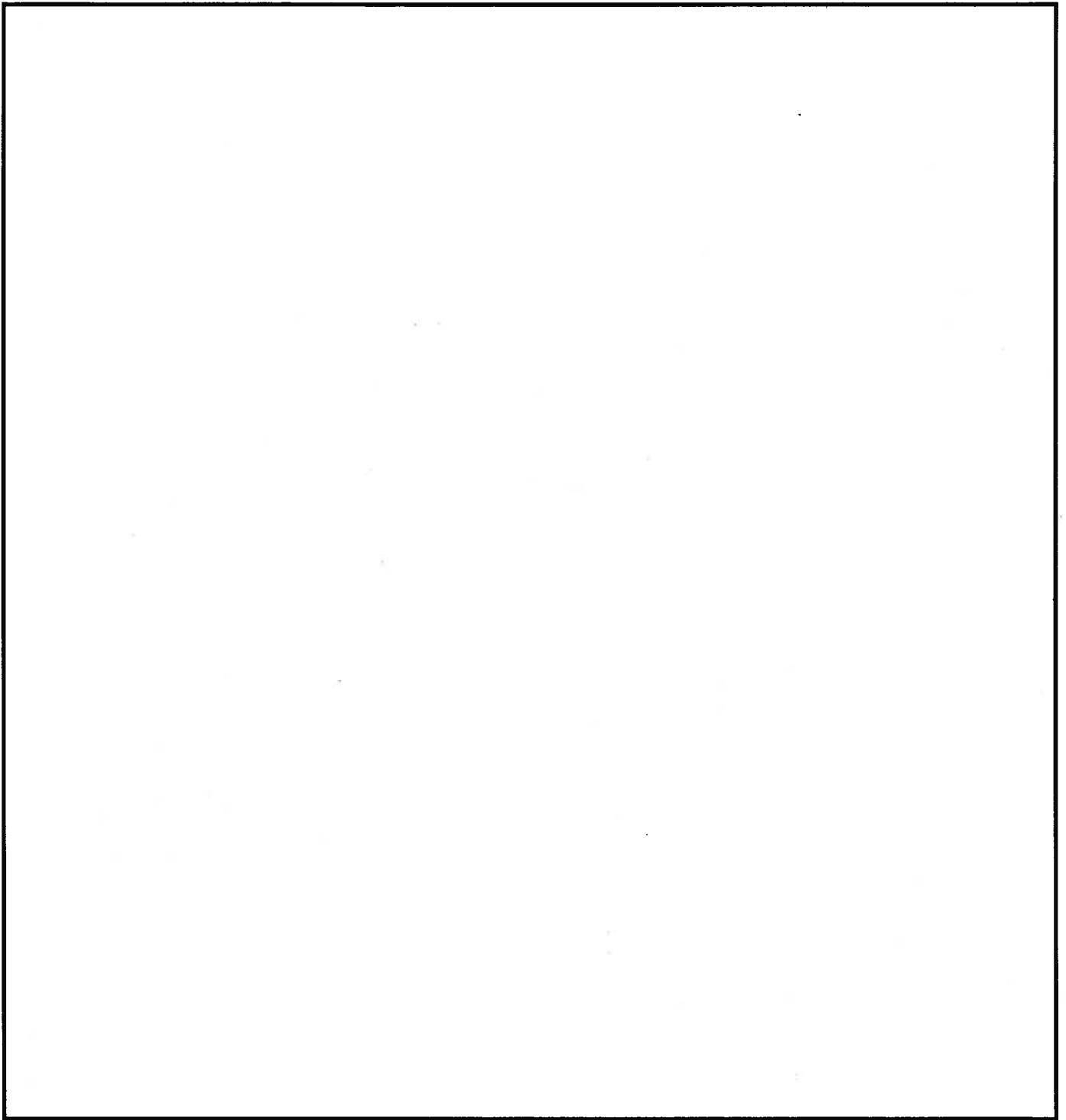


図 3-2 (94) ウラン脱硝施設 (DN) 地下 1 階平面図

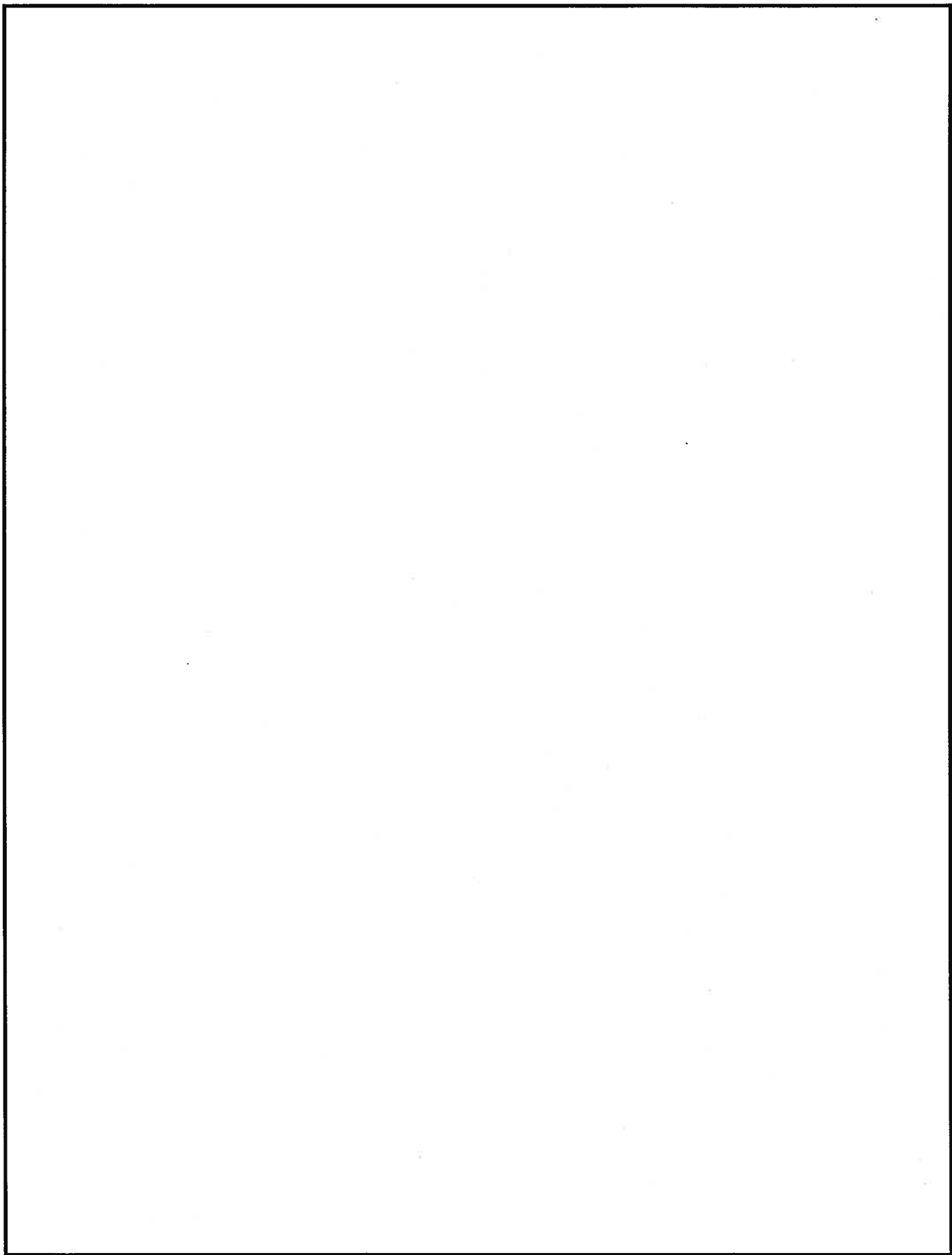


図 3-2 (95) ウラン脱硝施設 (DN) 1 階平面図

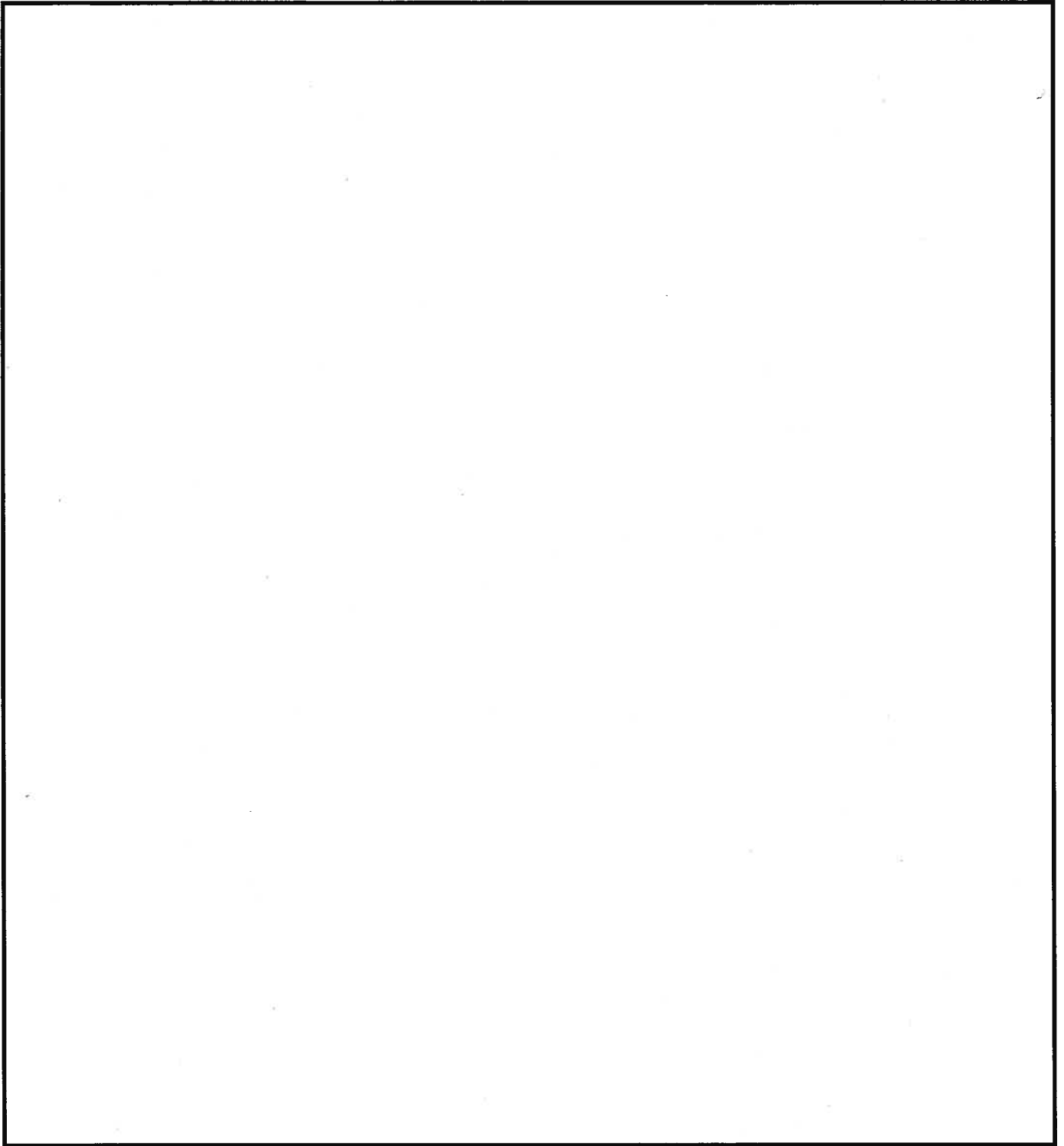


図 3-2 (96) ウラン脱硝施設 (DN) 2 階平面図

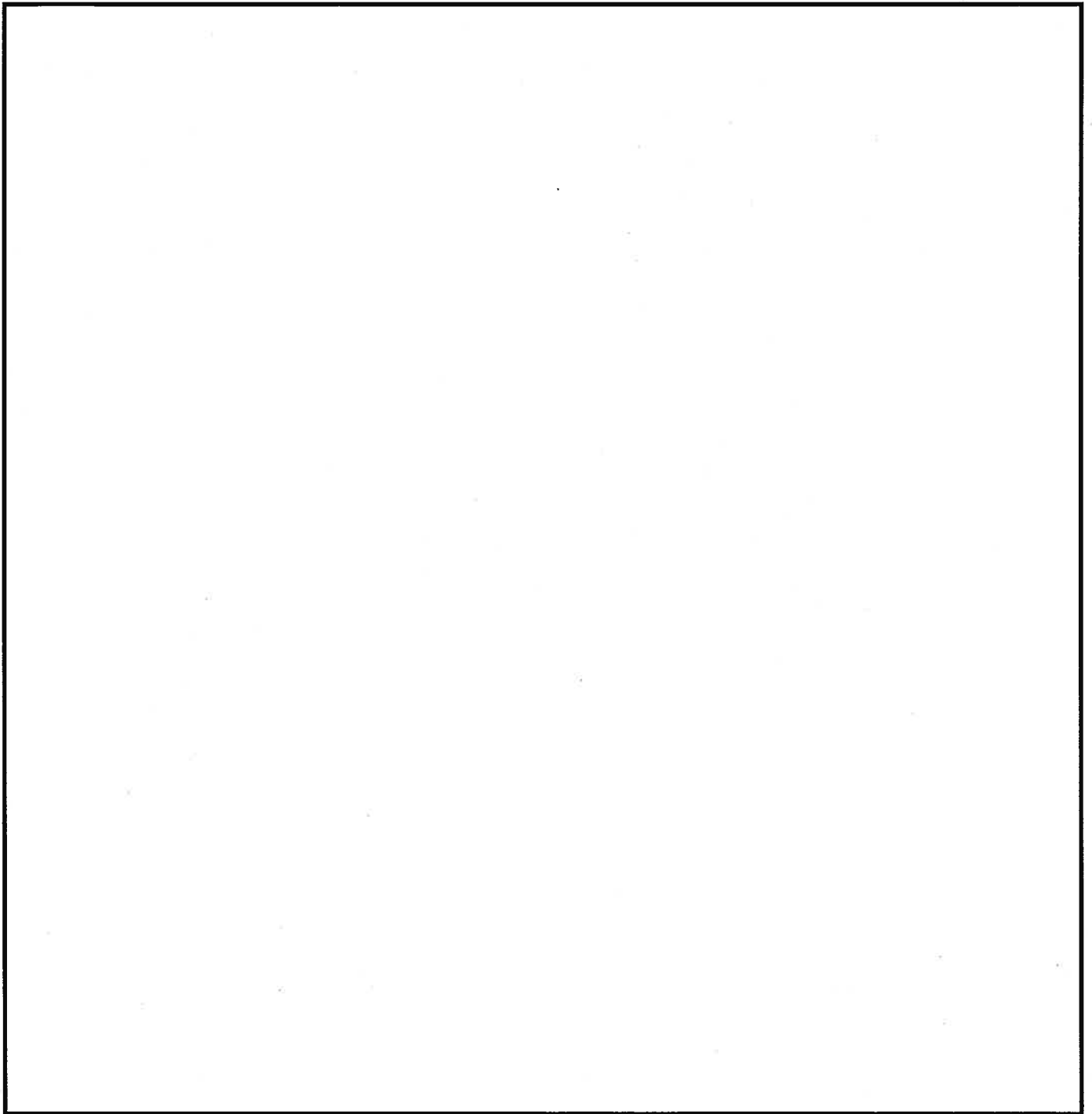


図 3-2 (97) ウラン脱硝施設 (DN) 3 階平面図



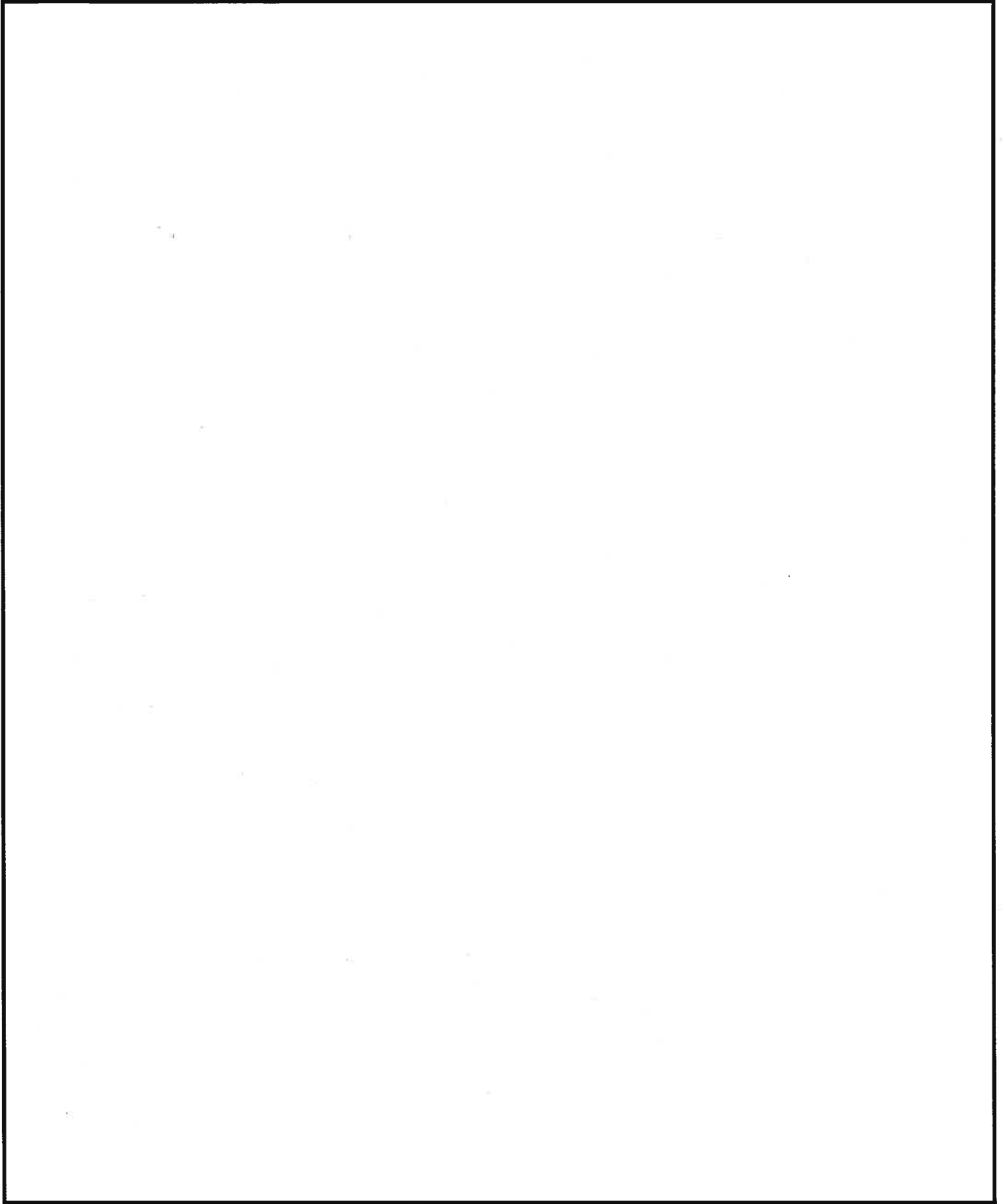


図 3-2 (98) ウラン脱硝施設 (DN) 断面図

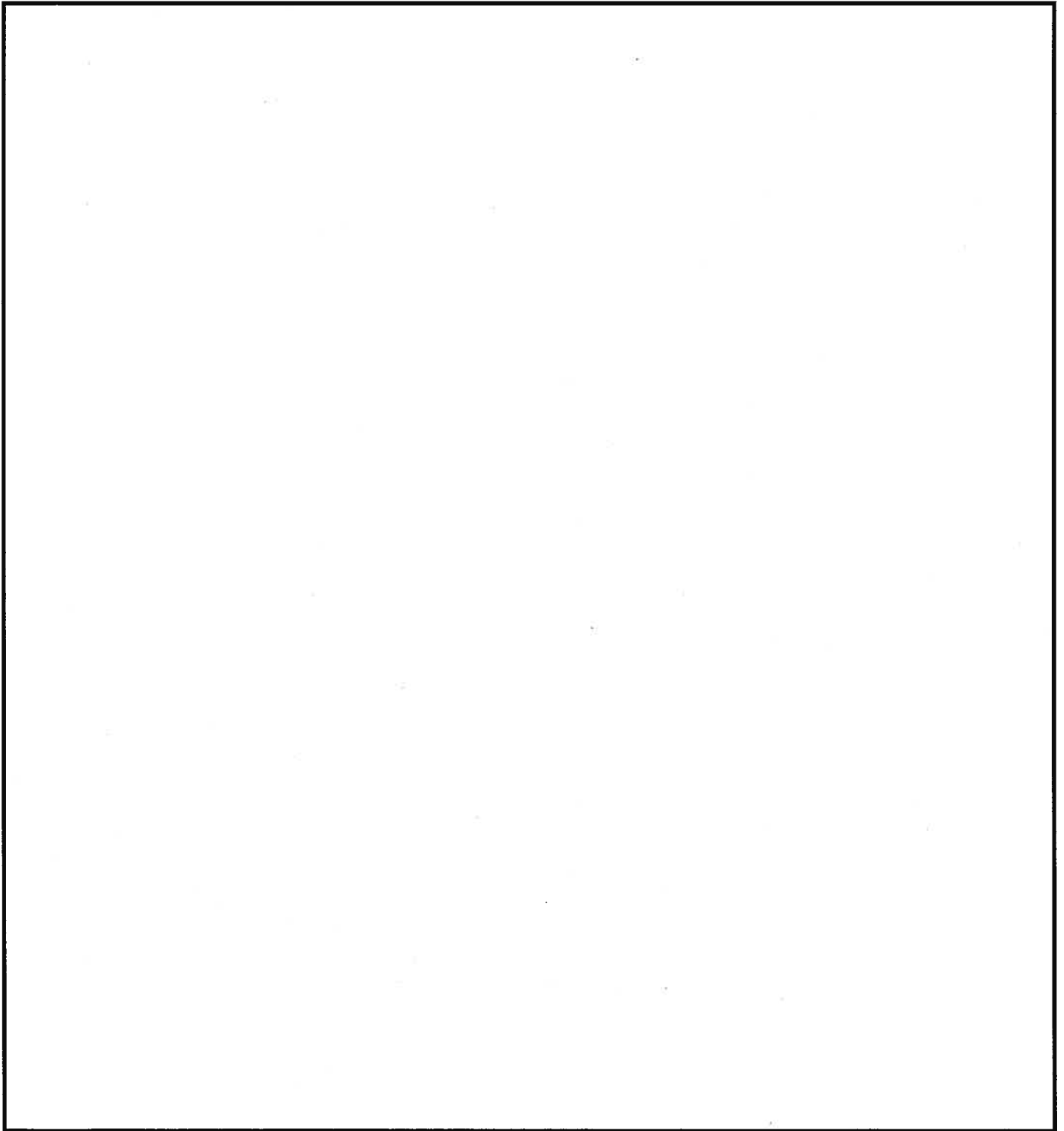


図 3-2 (99) ウラン脱硝施設 (DN) 断面図

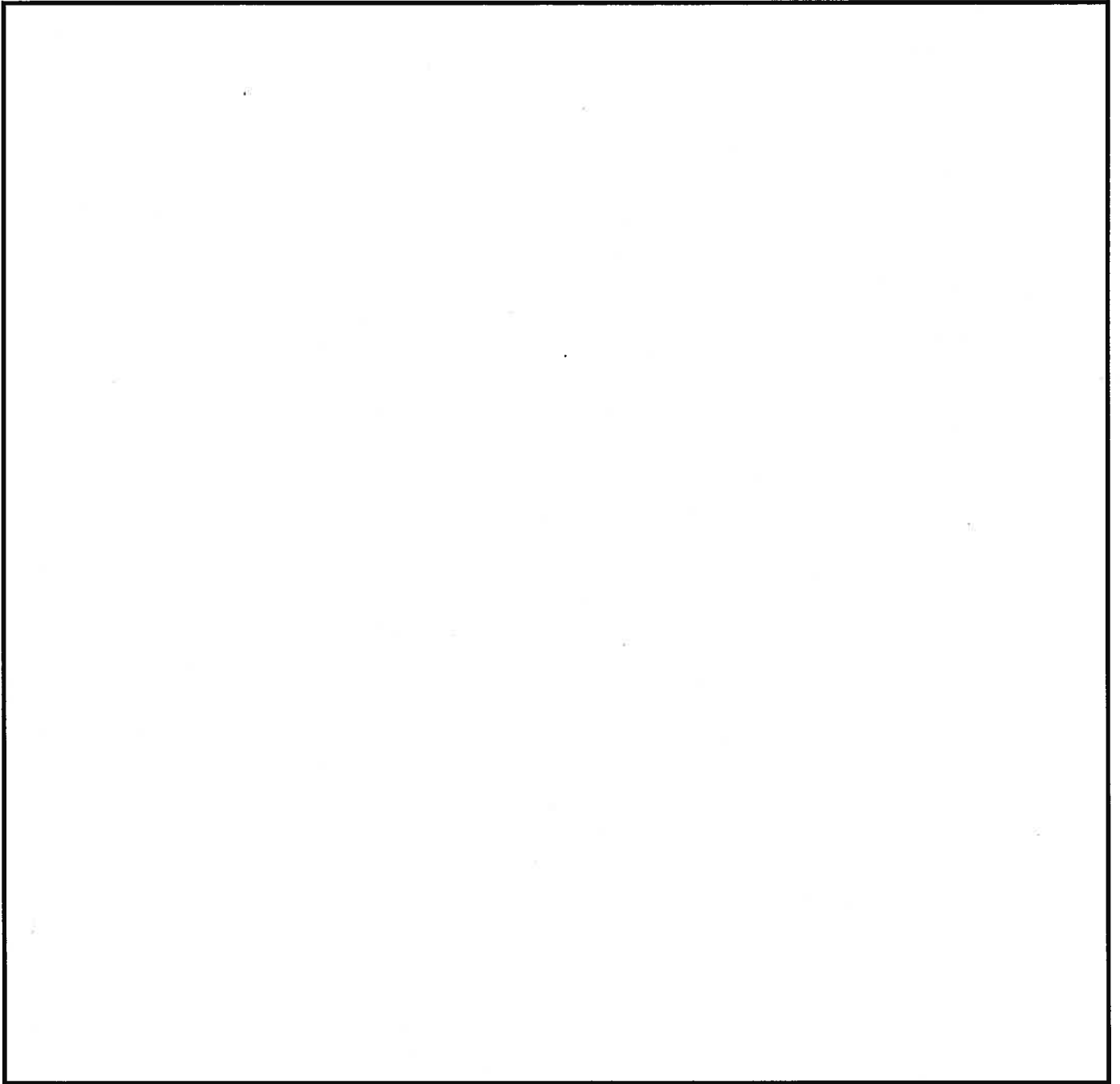


図 3-2 (100) 高放射性廃液貯蔵場 (HAW) 地下 1 階平面図

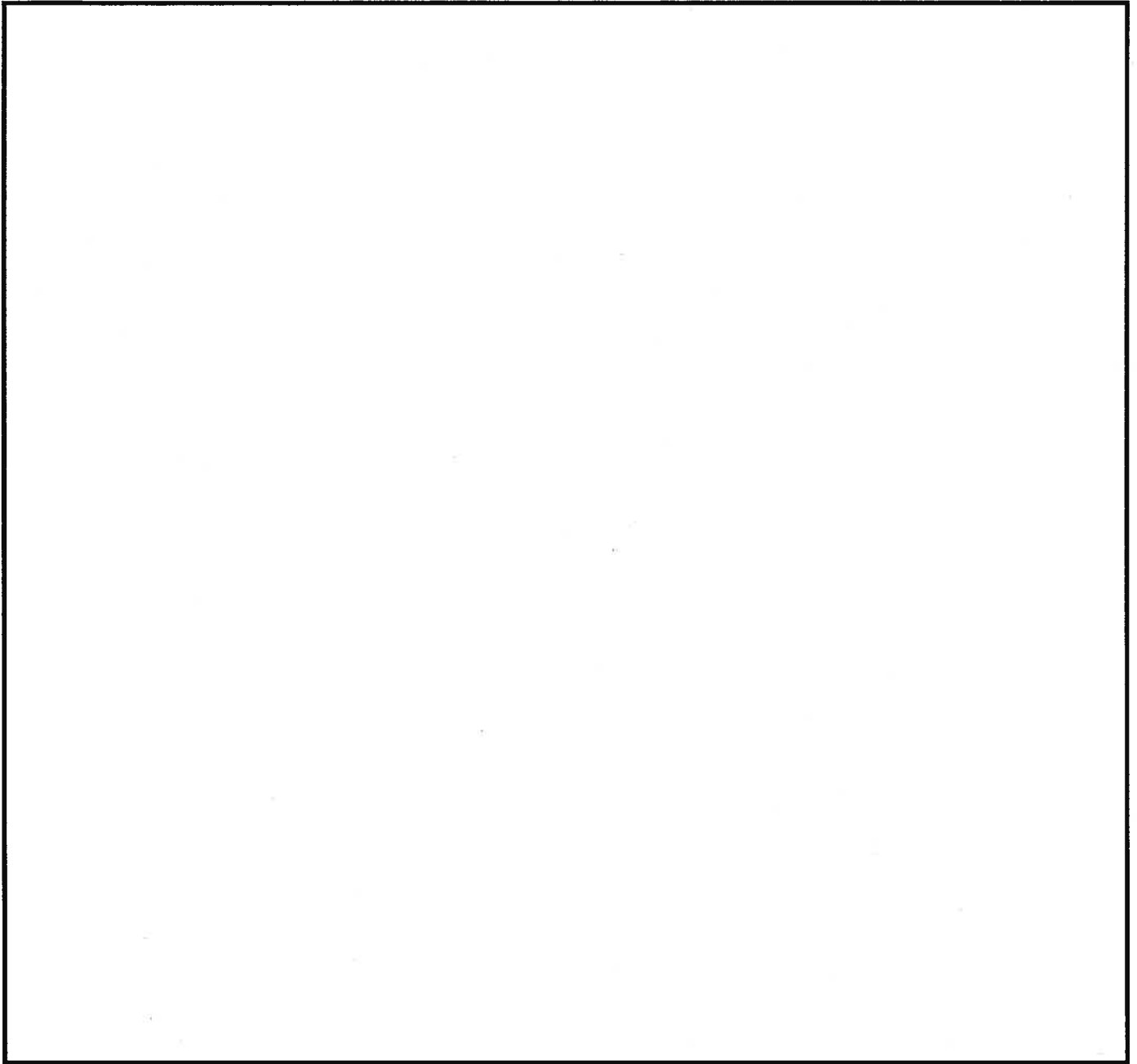


図 3-2 (101) 高放射性廃液貯蔵場 (HAW) 1 階平面図

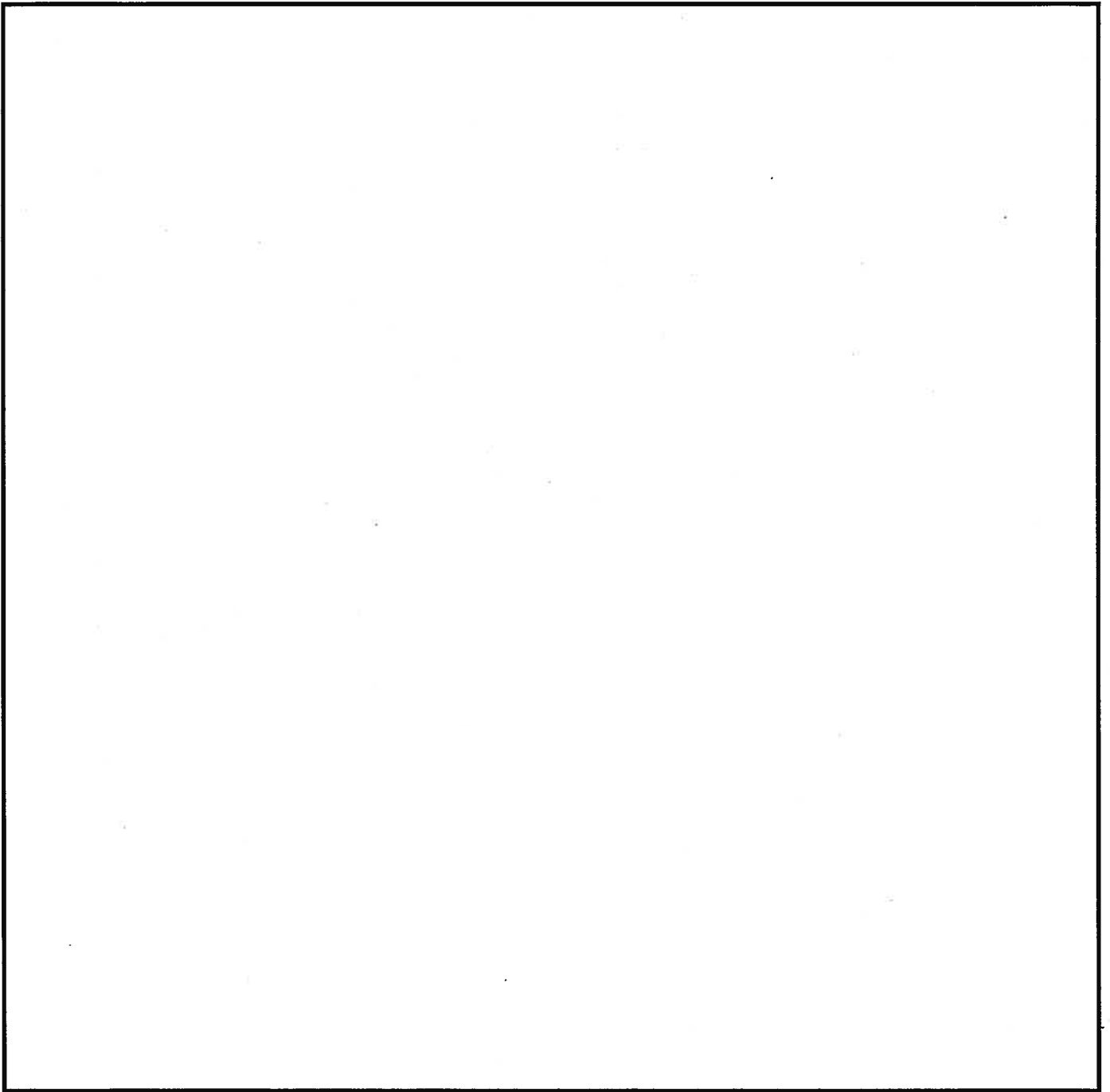


図 3-2 (102) 高放射性廃液貯蔵場 (HAW) 2 階平面図

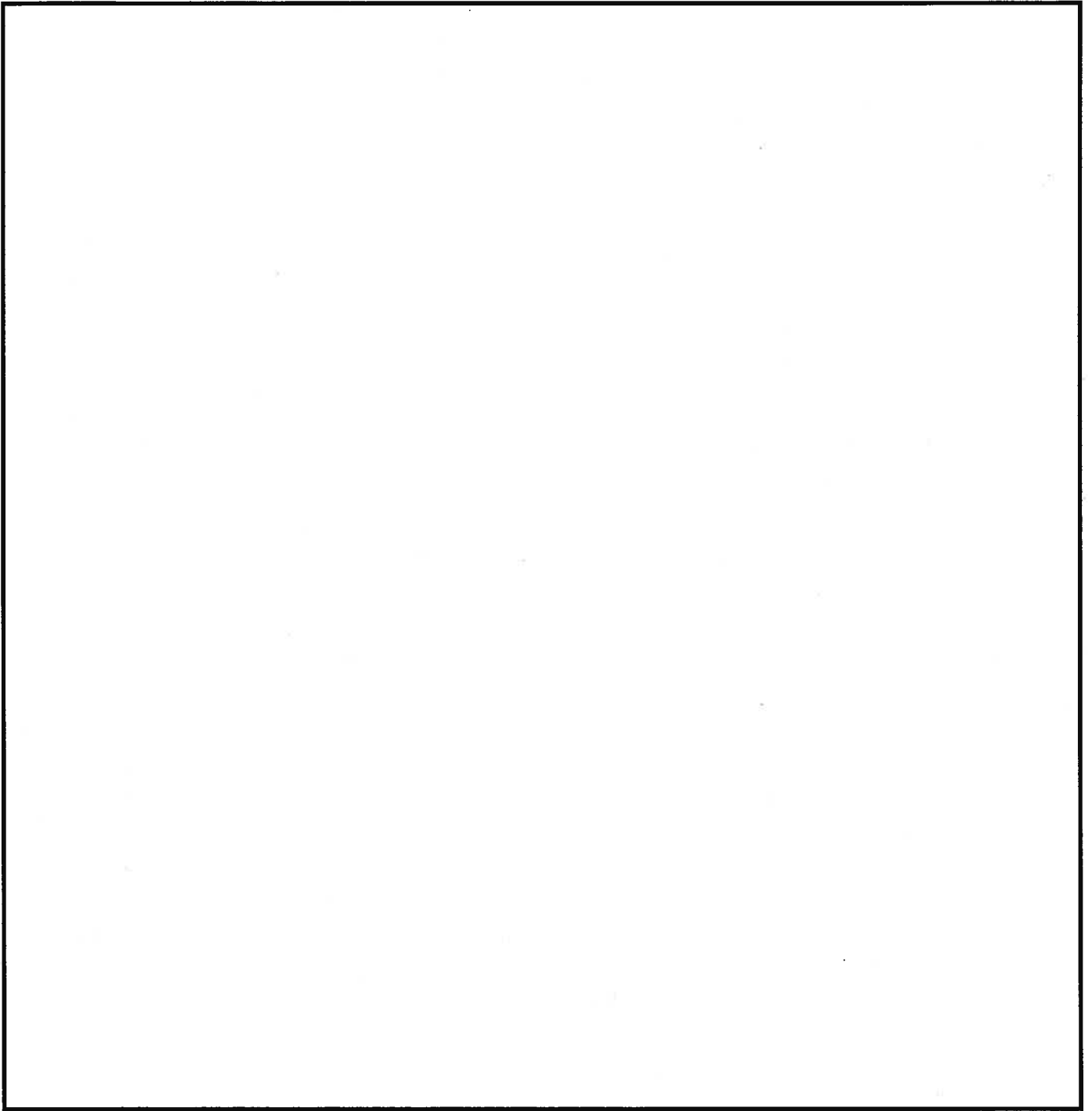


图 3-2 (103) 高放射性废液貯藏場 (HAW) 3 階平面図

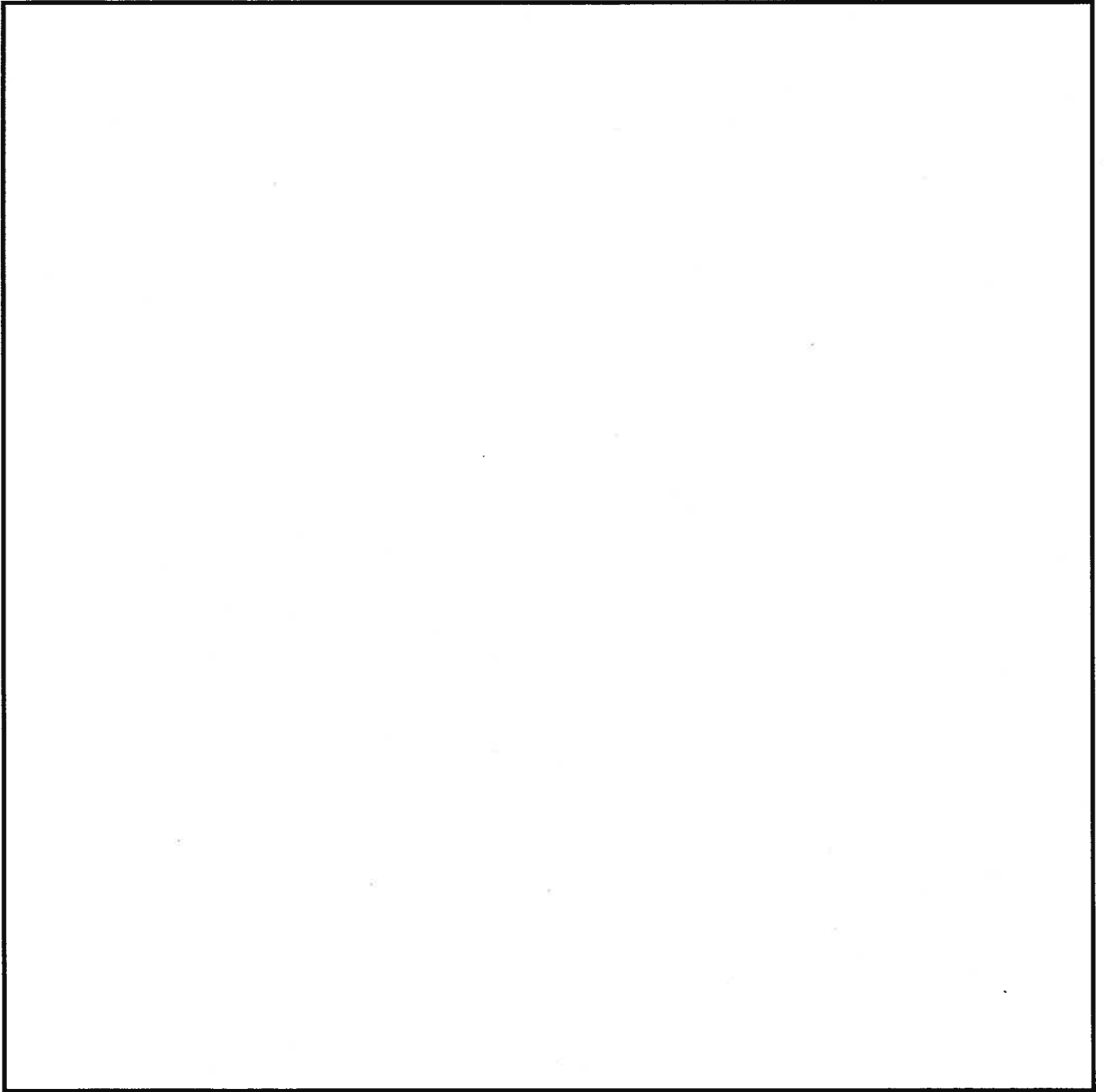


图 3-2 (104) 高放射性废液貯蔵場 (HAW) 4 階平面図

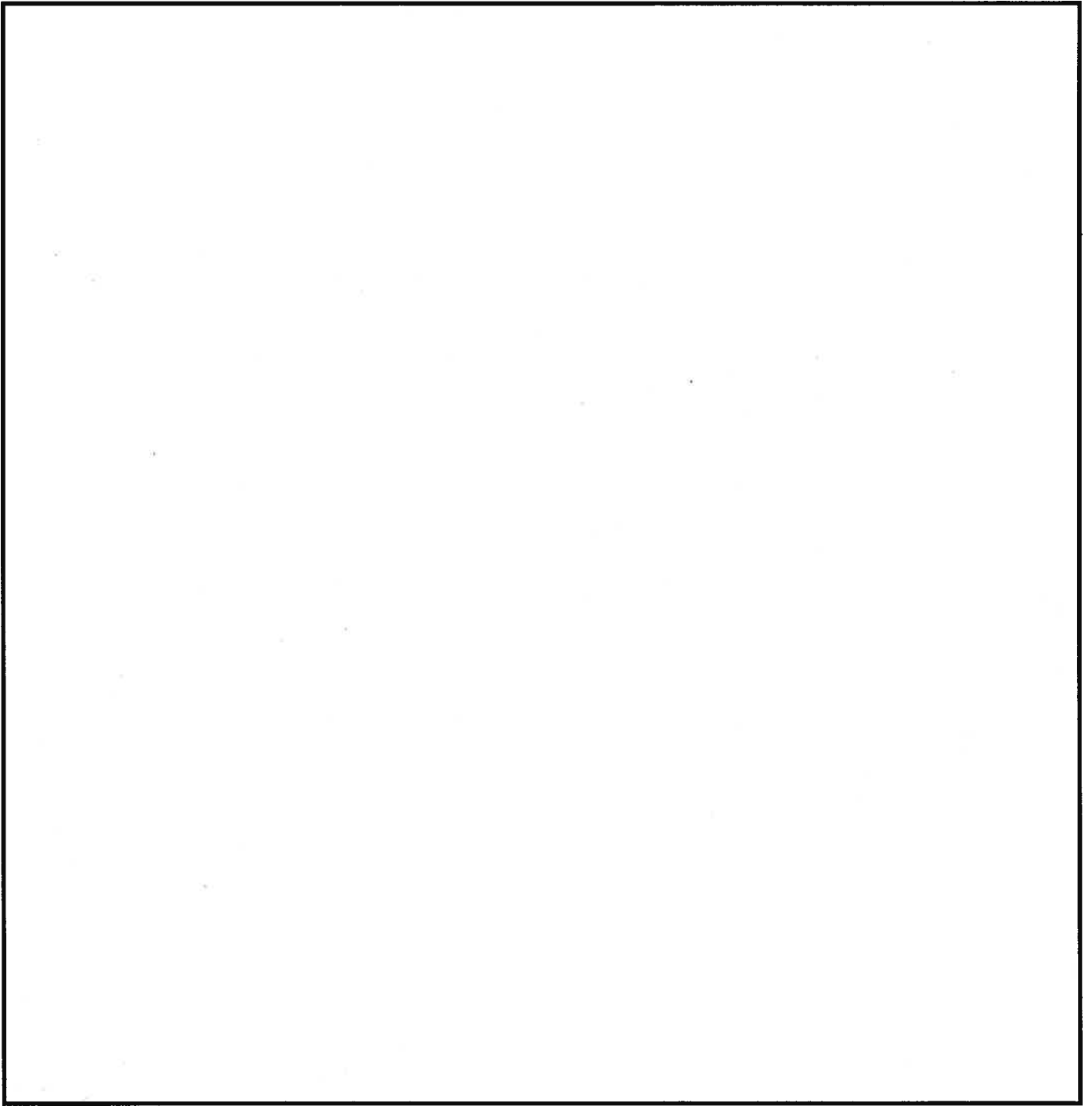


图 3-2 (105) 高放射性废液貯藏場 (HAW) 5 階平面図



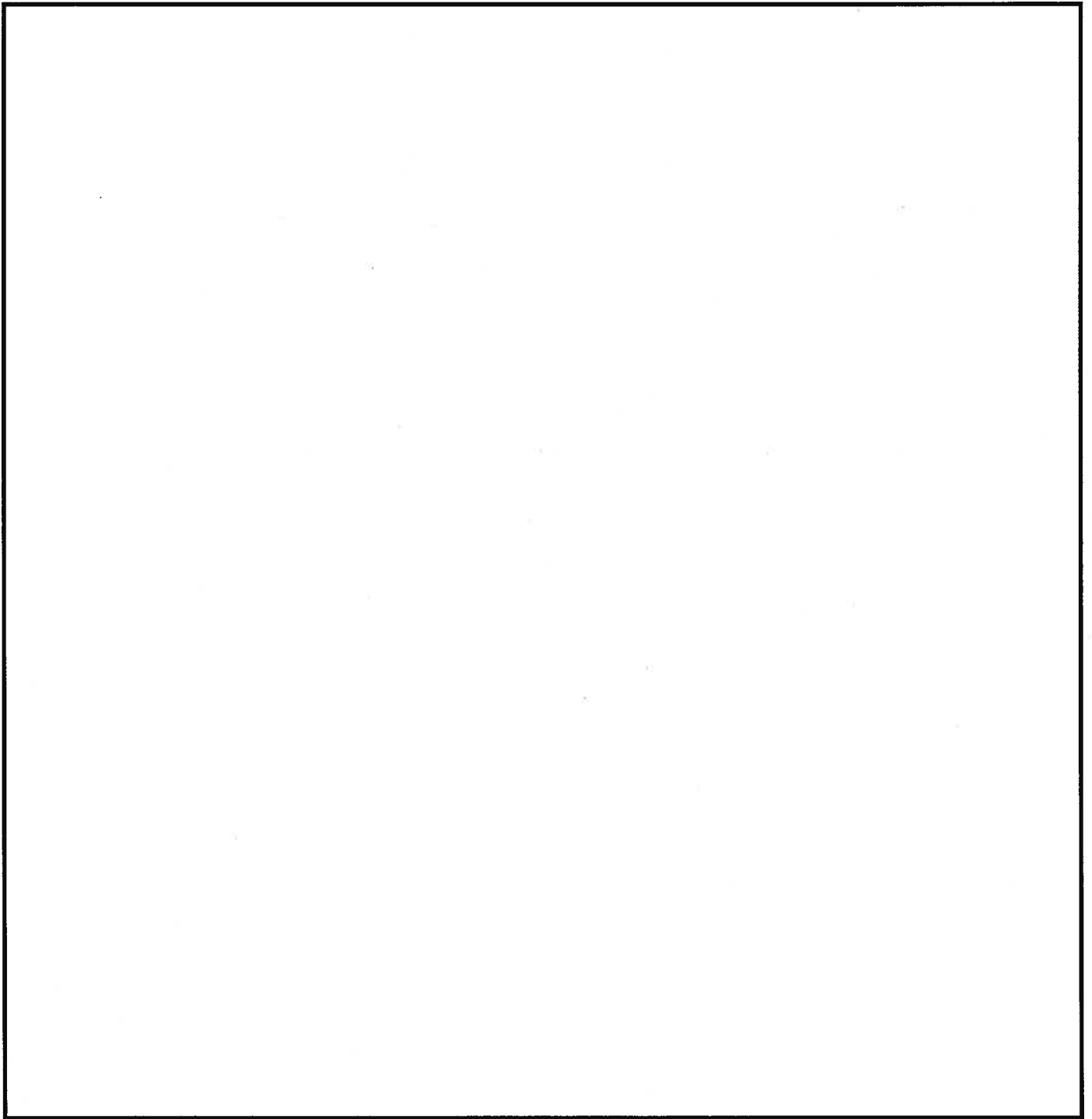


図 3-2 (106) 高放射性廃液貯蔵場 (HAW) 断面図

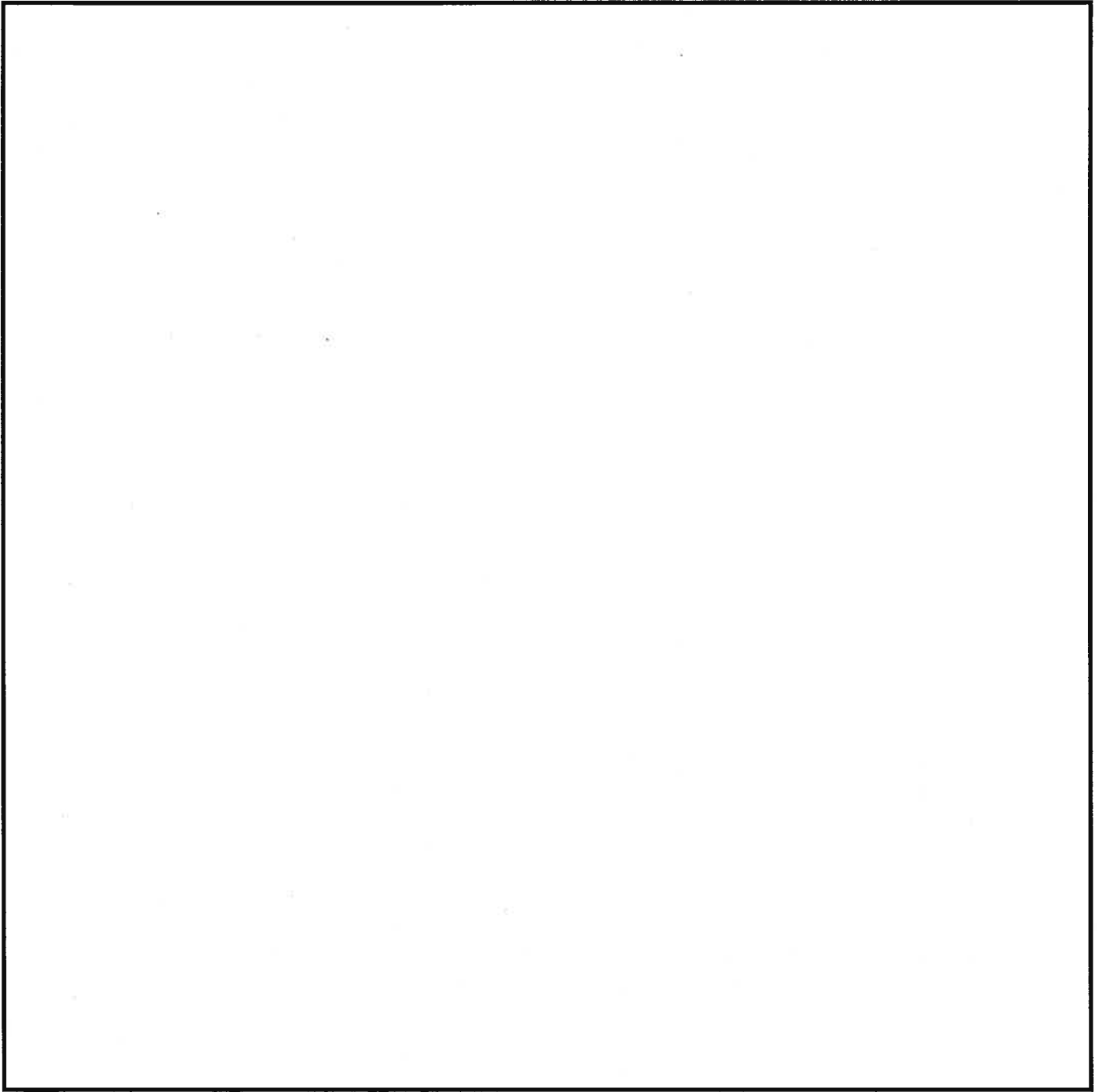


图 3-2 (107) 高放射性废液貯蔵場 (HAW) 断面図

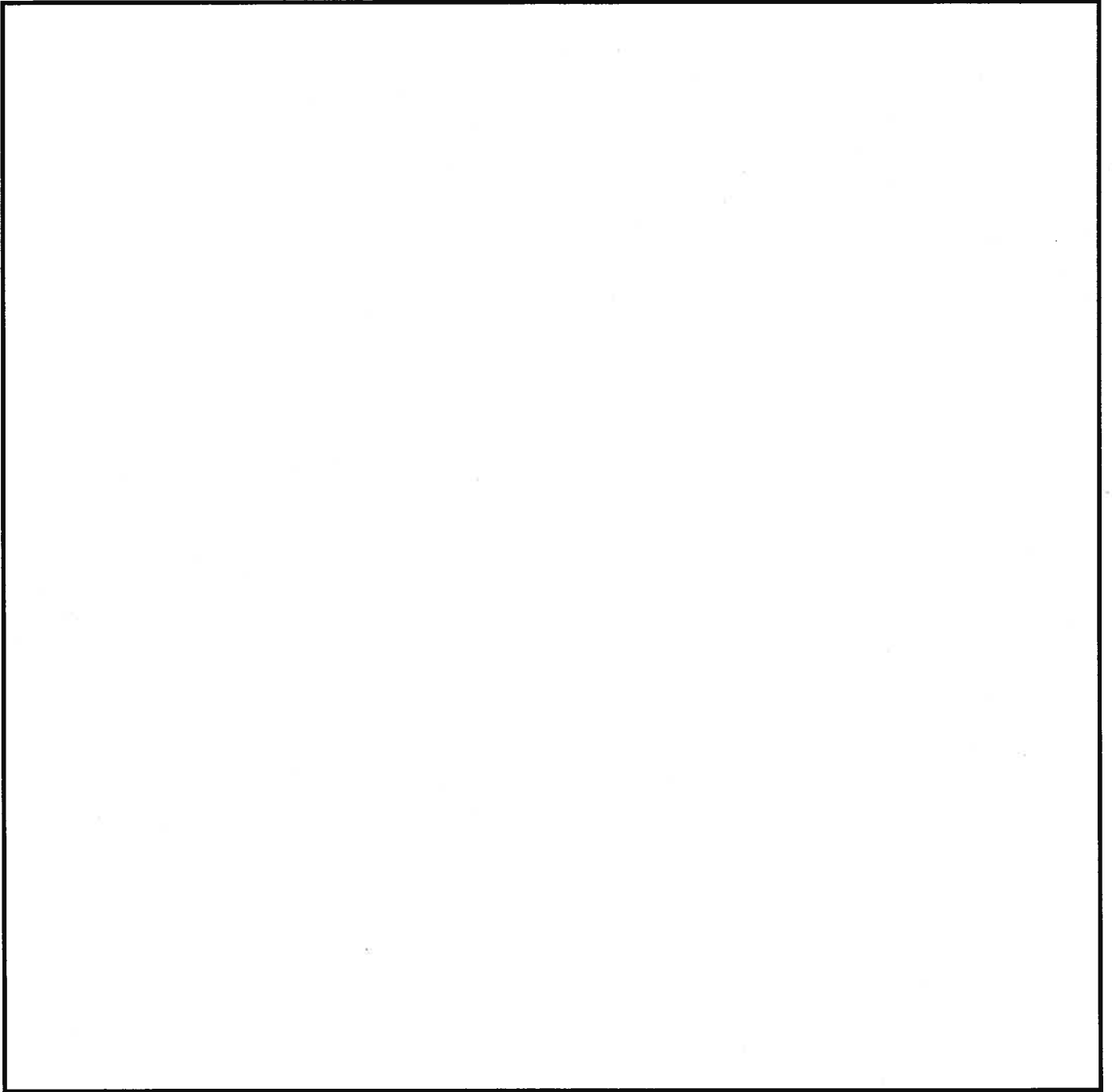


図 3-2 (108) 第二中間開閉所 1 階平面図

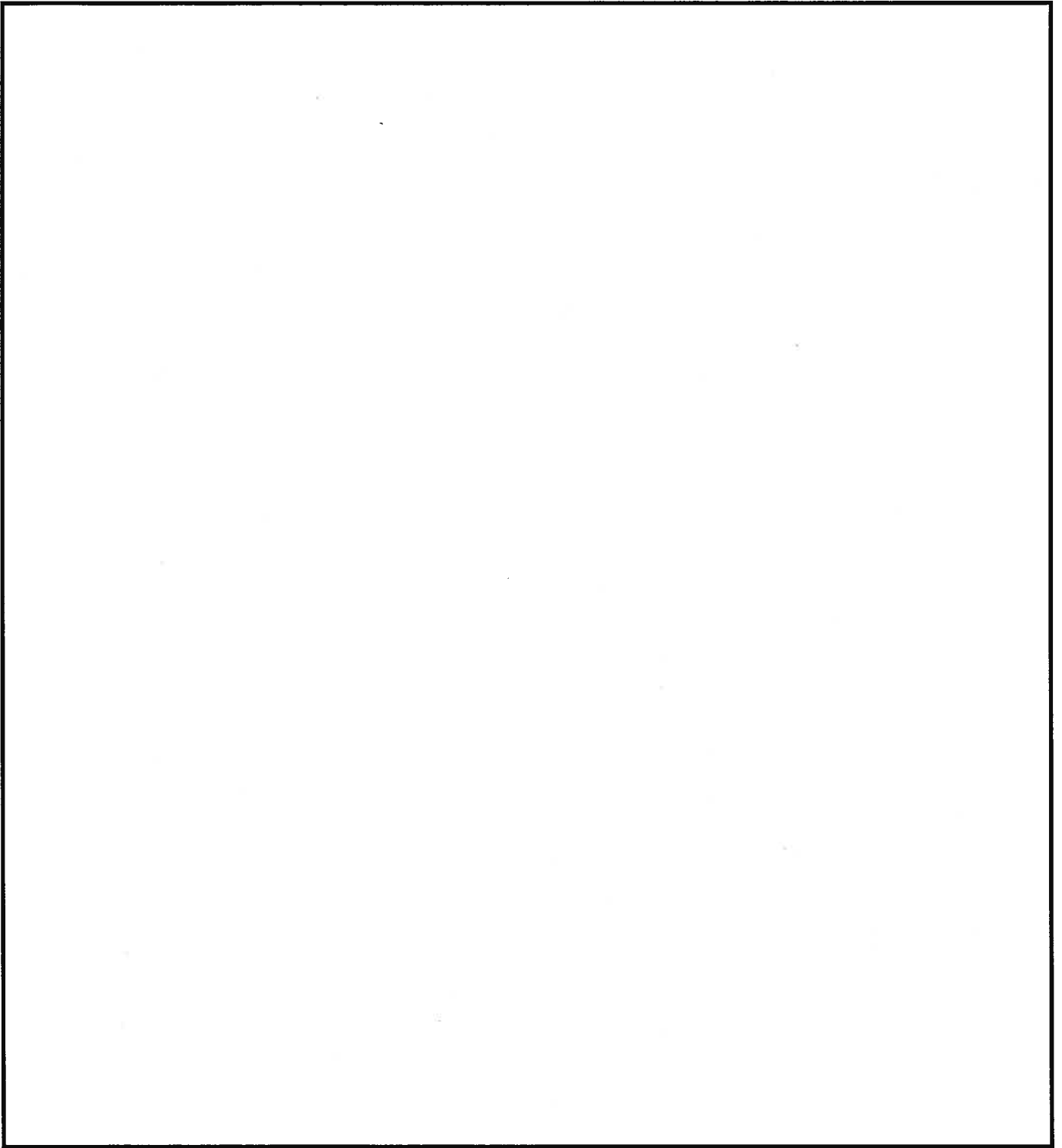


図 3-2 (109) 第二中間開閉所 2 階平面図

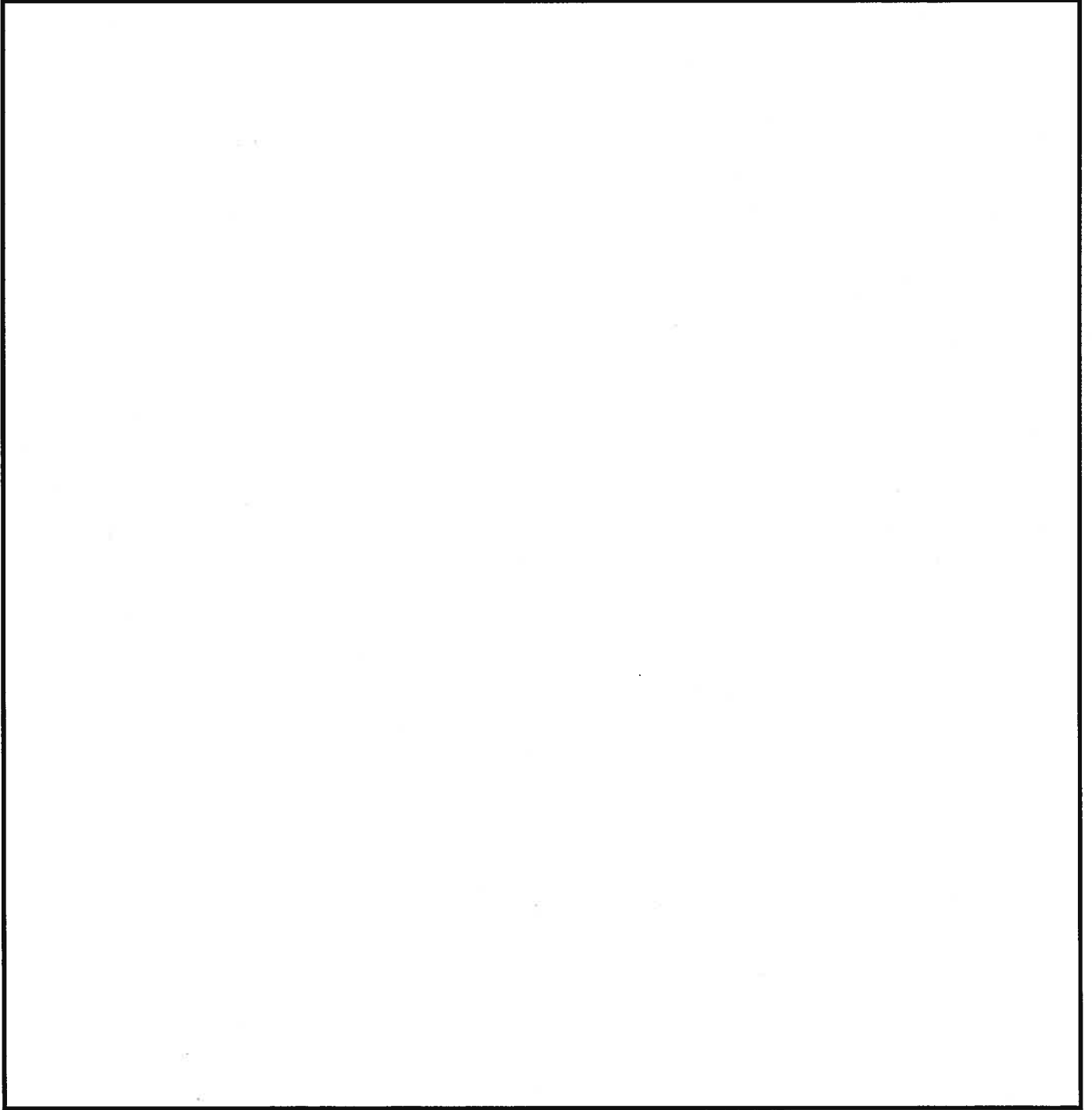


図 3-2 (110) 第二中間開閉所 3 階平面図

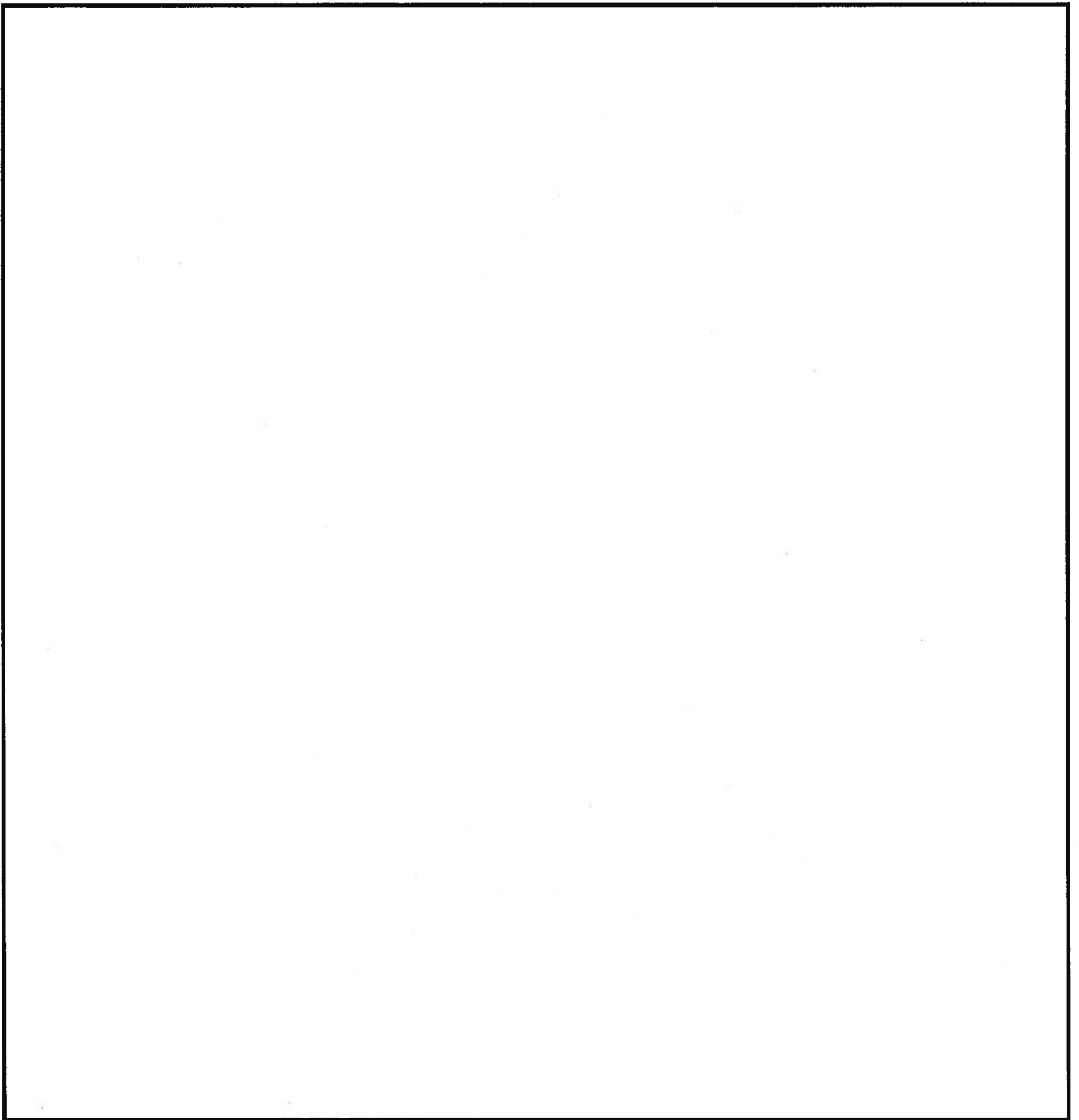


图 3-2 (111) 第二中間關閉所 断面図

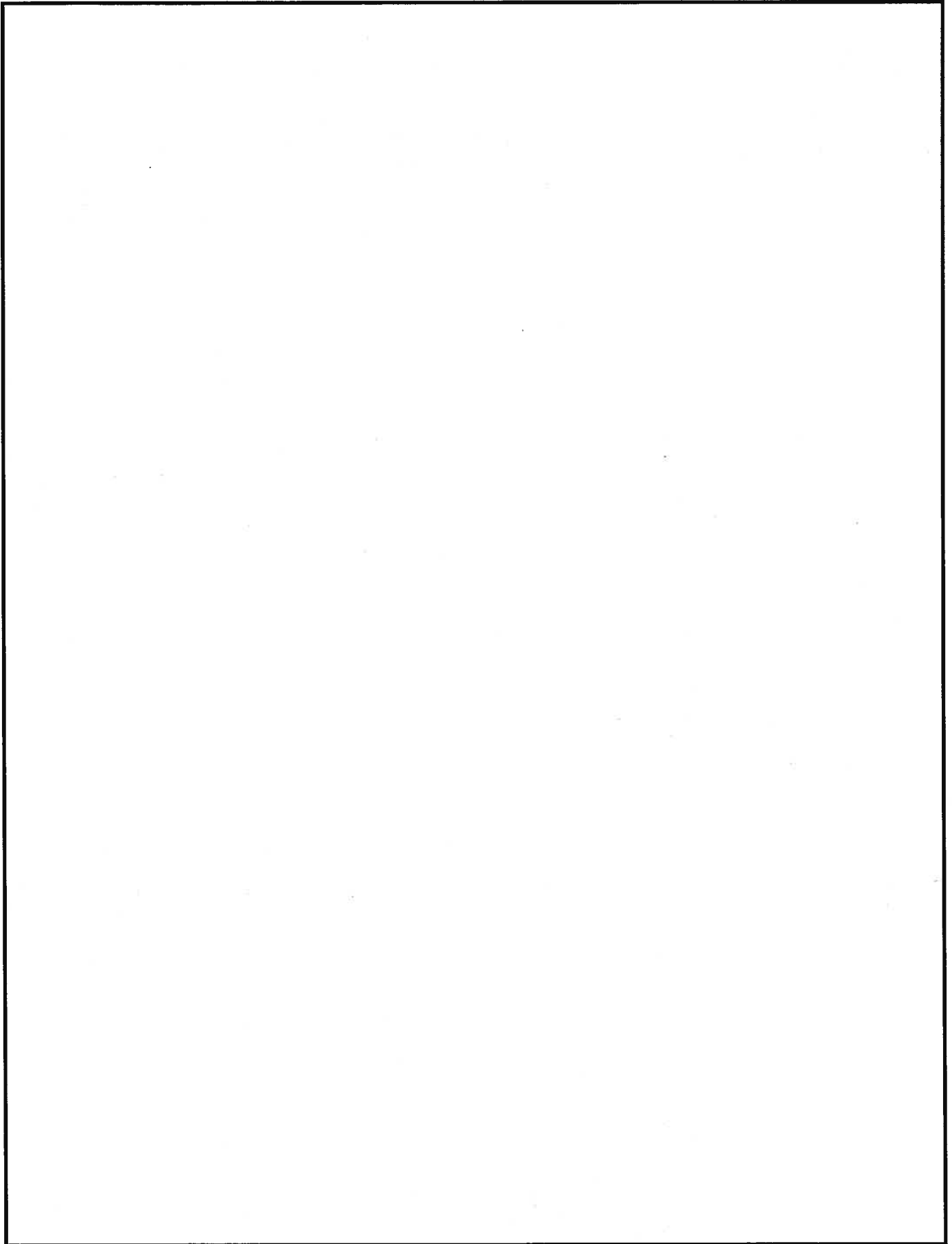


図 3-2 (112) 第一低放射性固体廃棄物貯蔵場 (1LASWS) 地下 1 階平面図

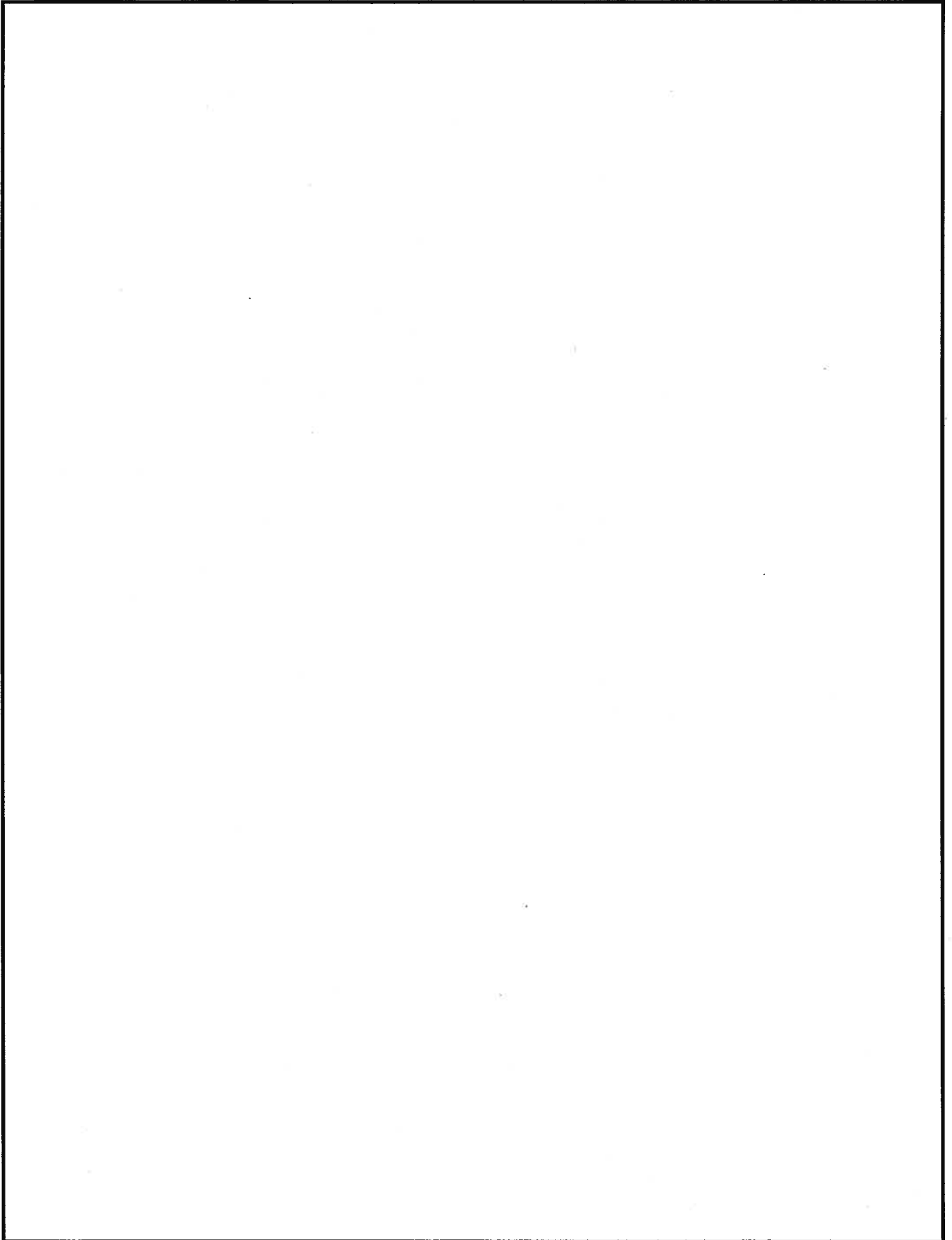


図 3-2 (113) 第一低放射性固体廃棄物貯蔵場 (1LASWS) 1 階平面図



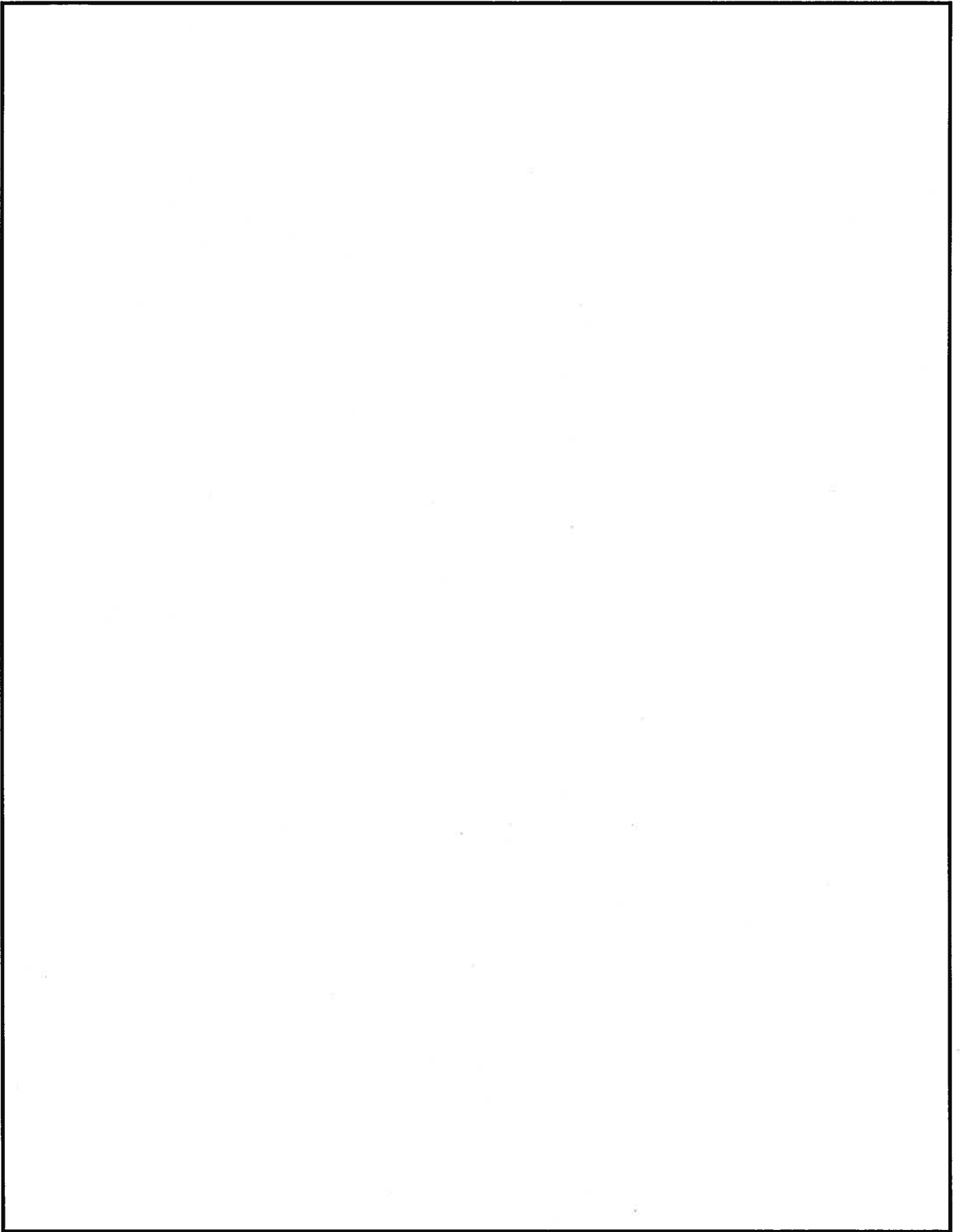


図 3-2 (114) 第一低放射性固体廃棄物貯蔵場 (1LASWS) 2 階平面図

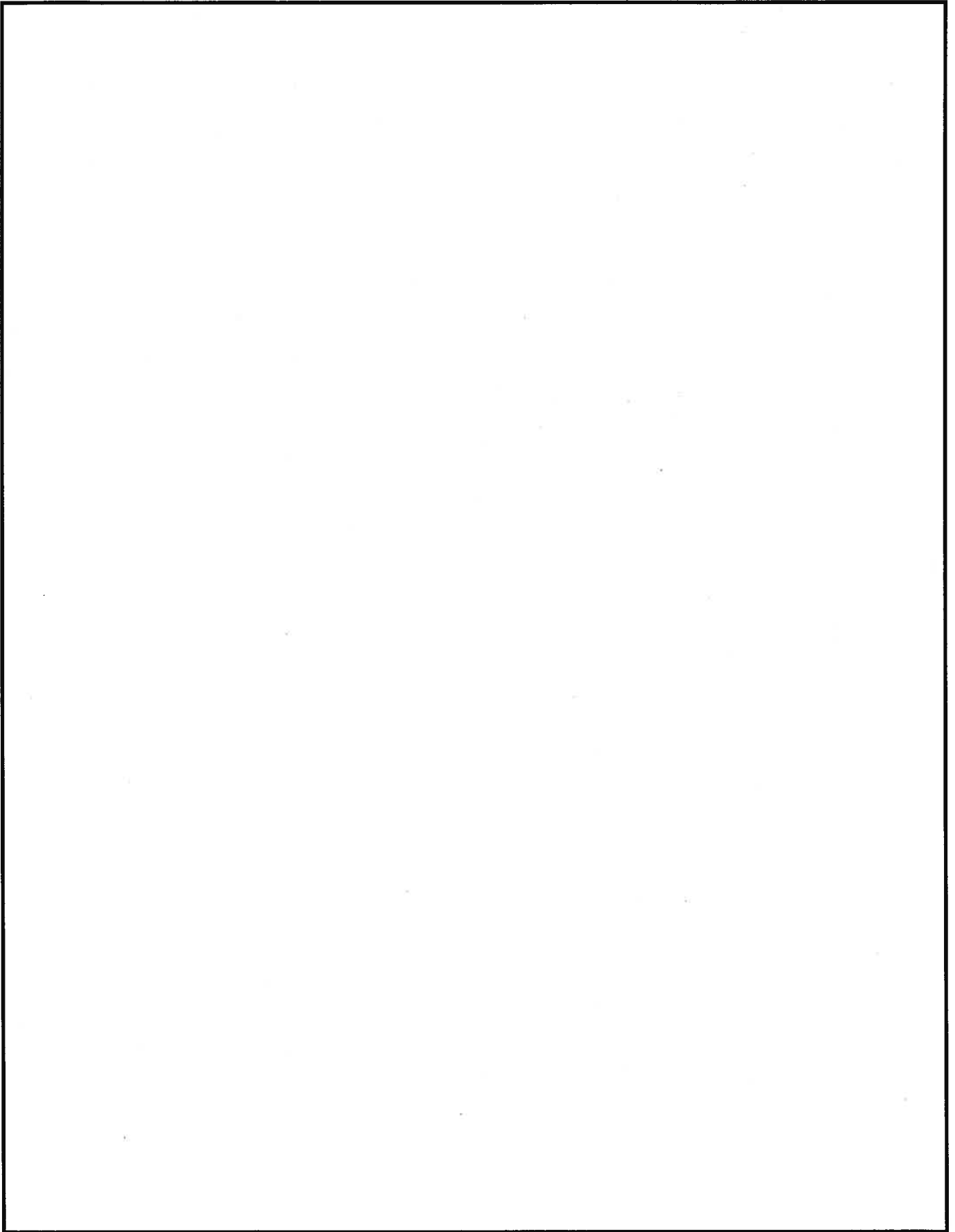


図 3-2 (115) 第一低放射性固体廃棄物貯蔵場 (1LASWS) 3 階平面図

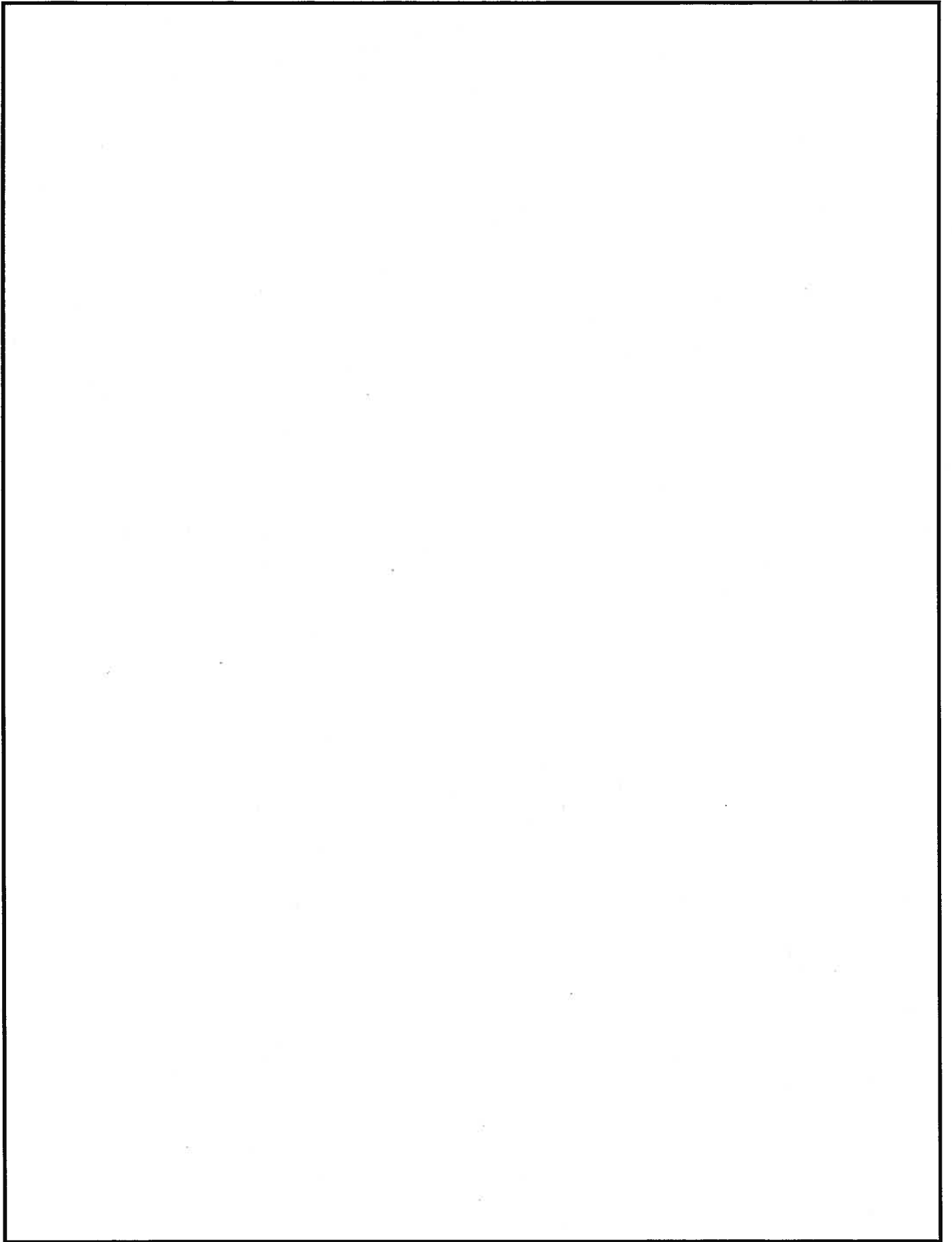


図 3-2 (116) 第一低放射性固体廃棄物貯蔵場 (1LASWS) 4 階平面図

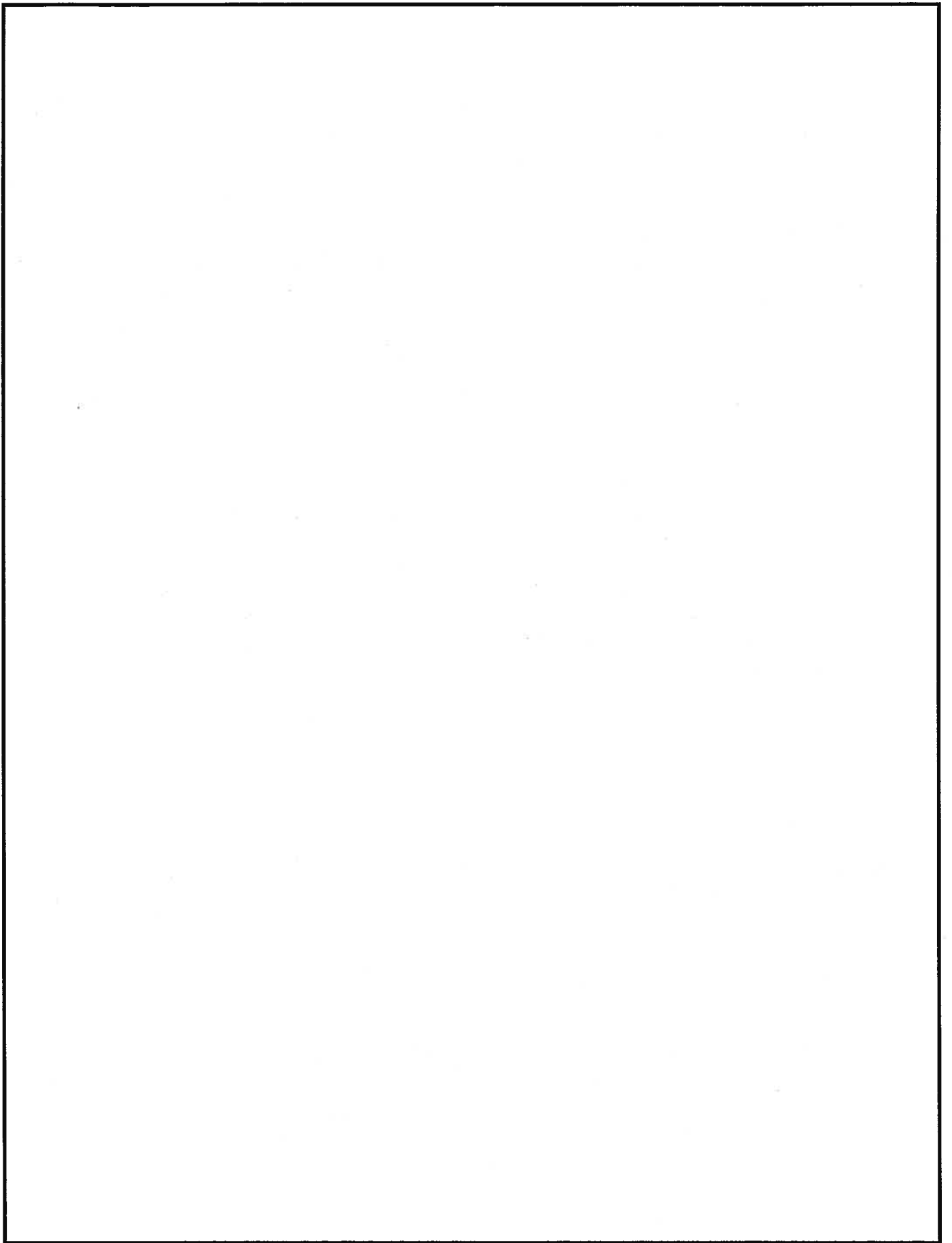


図 3-2 (117) 第一低放射性固体廃棄物貯蔵場 (ILASWS) 5 階平面図

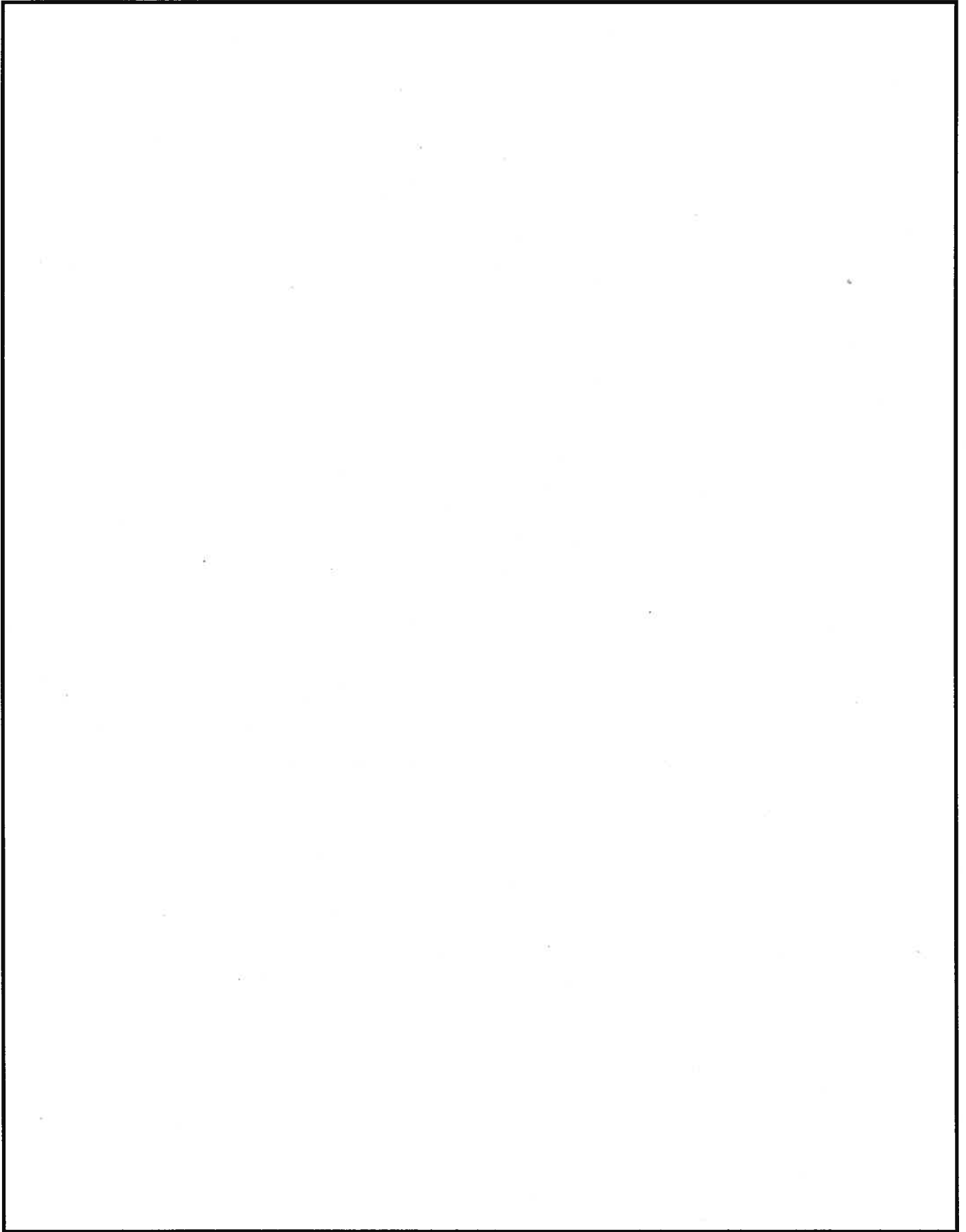


图 3-2 (118) 第一低放射性固体废弃物貯藏場 (1LASWS) 屋上階平面図

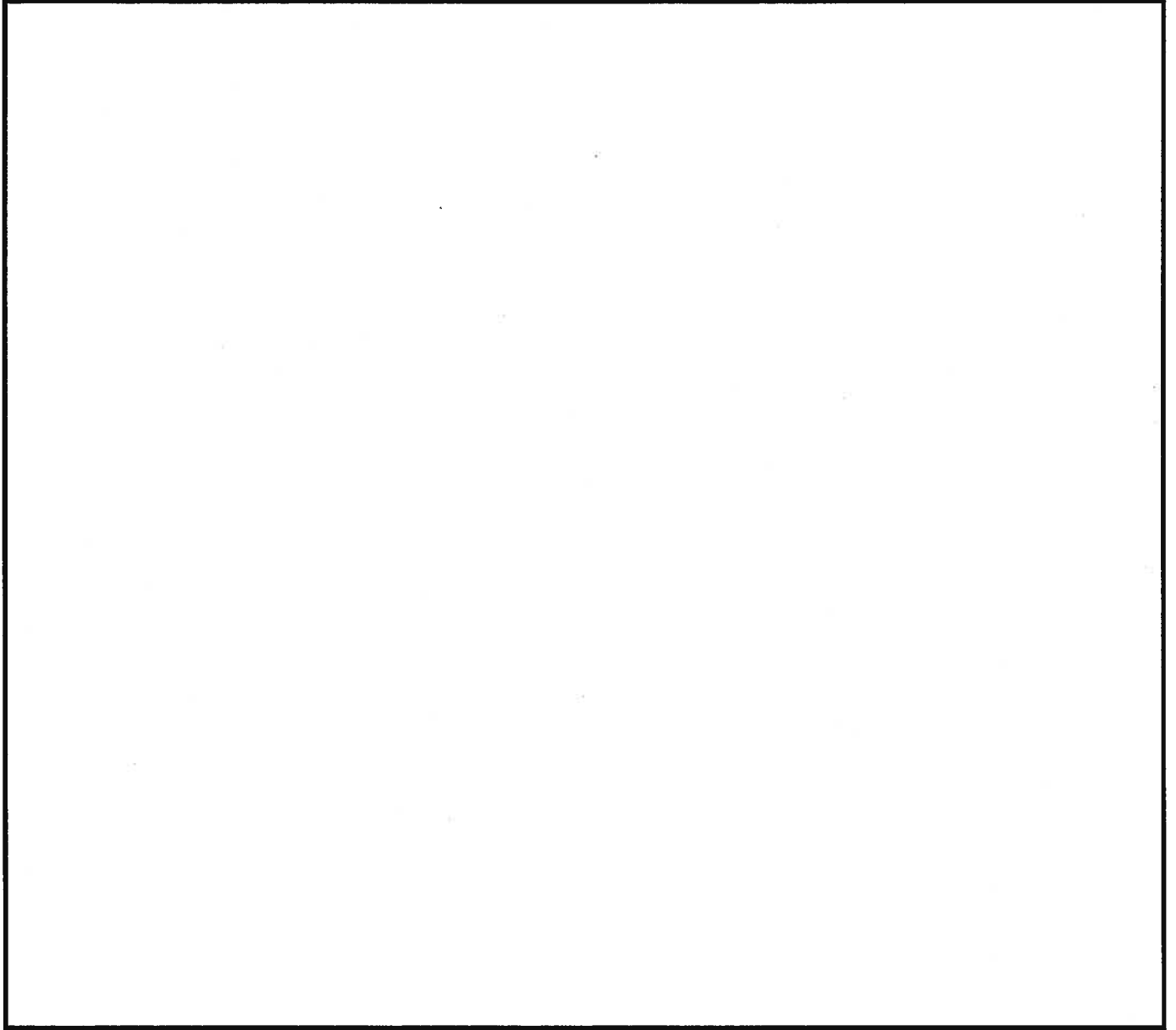


图 3-2 (119) 第一低放射性固体废弃物貯藏場 (1LASWS) 断面図

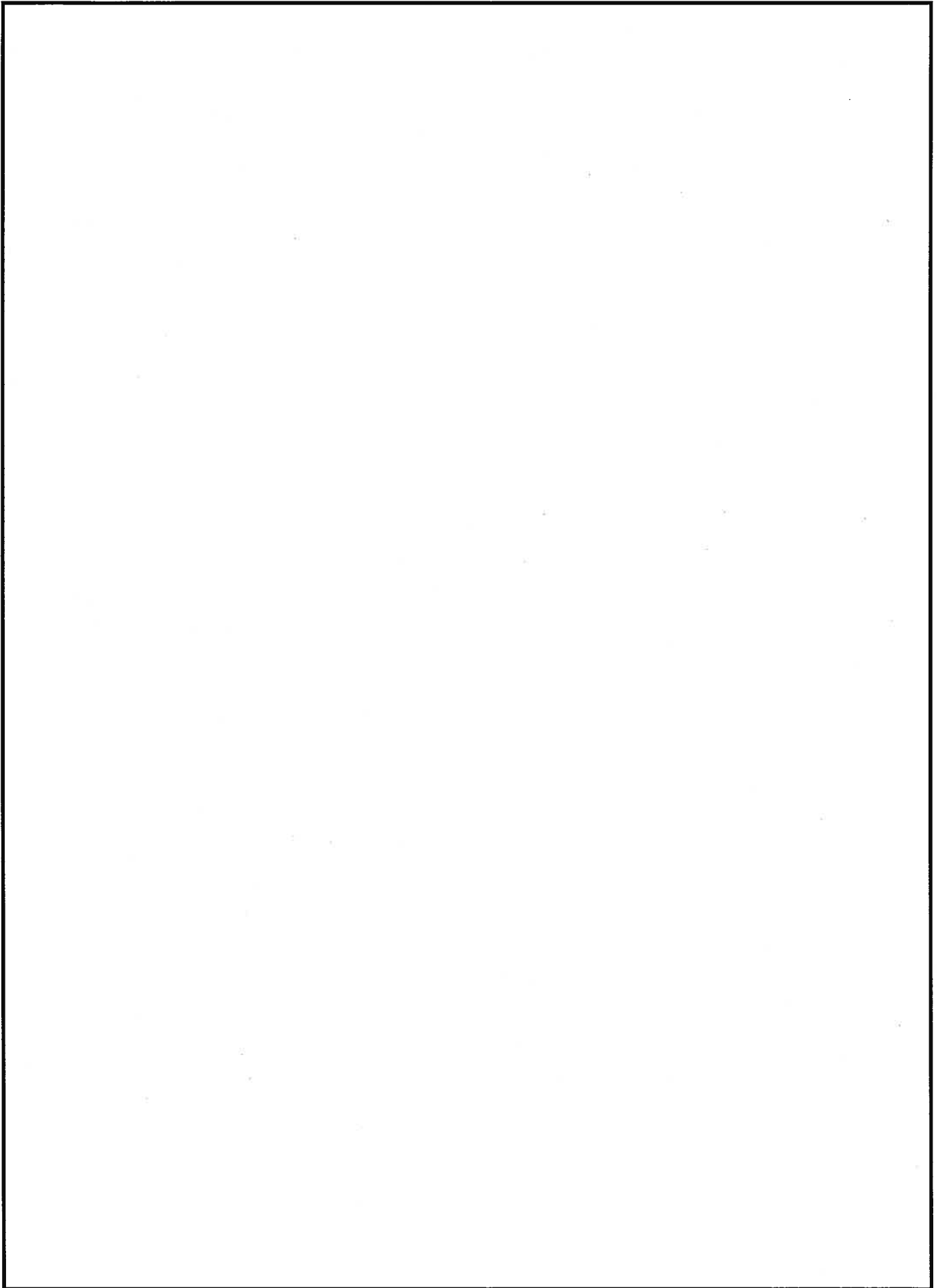


图 3-2 (120) 第一低放射性固体废弃物貯藏場 (1LASWS) 断面図

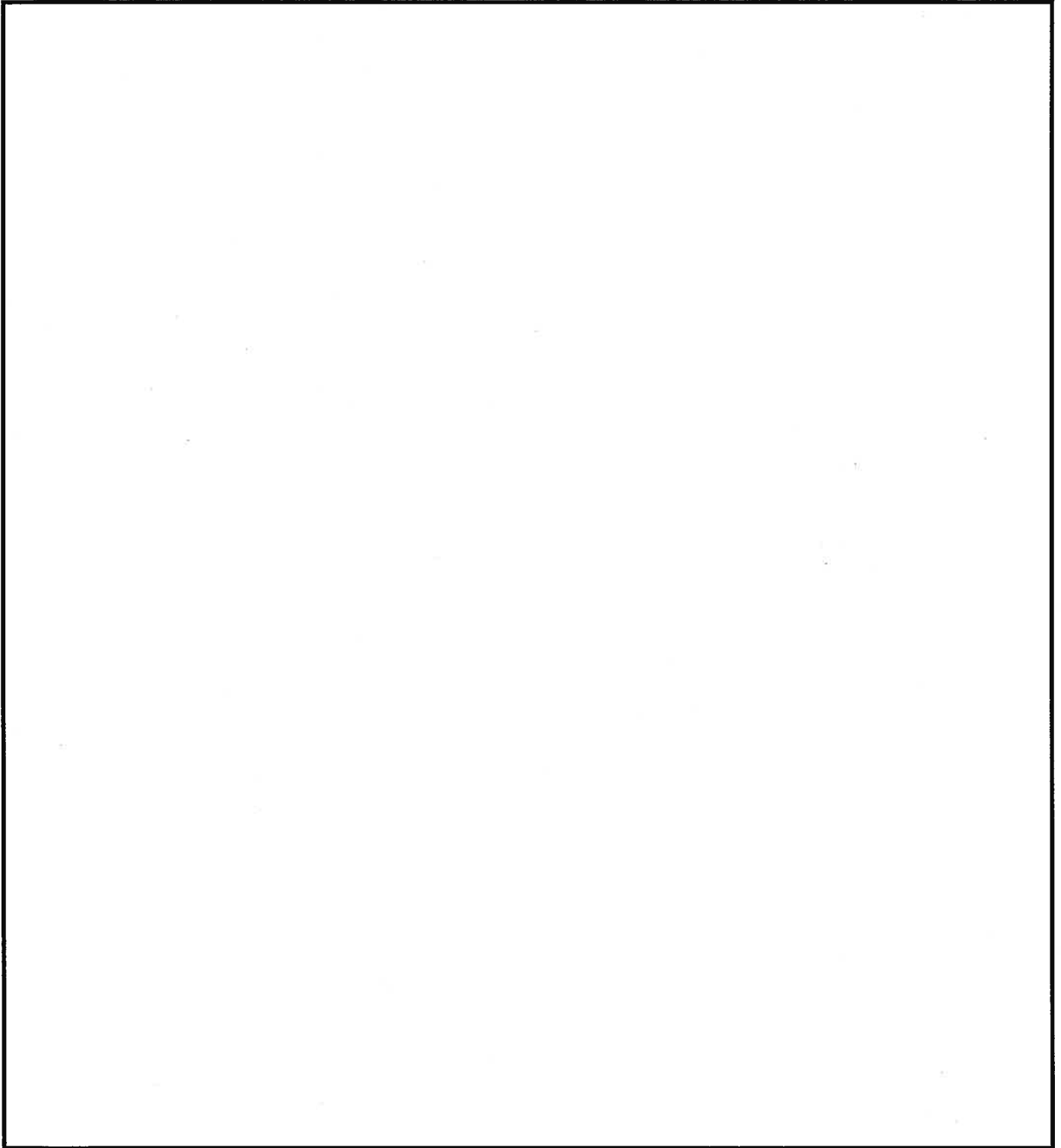


图 3-2 (121) 資材庫 地下 1 階平面図



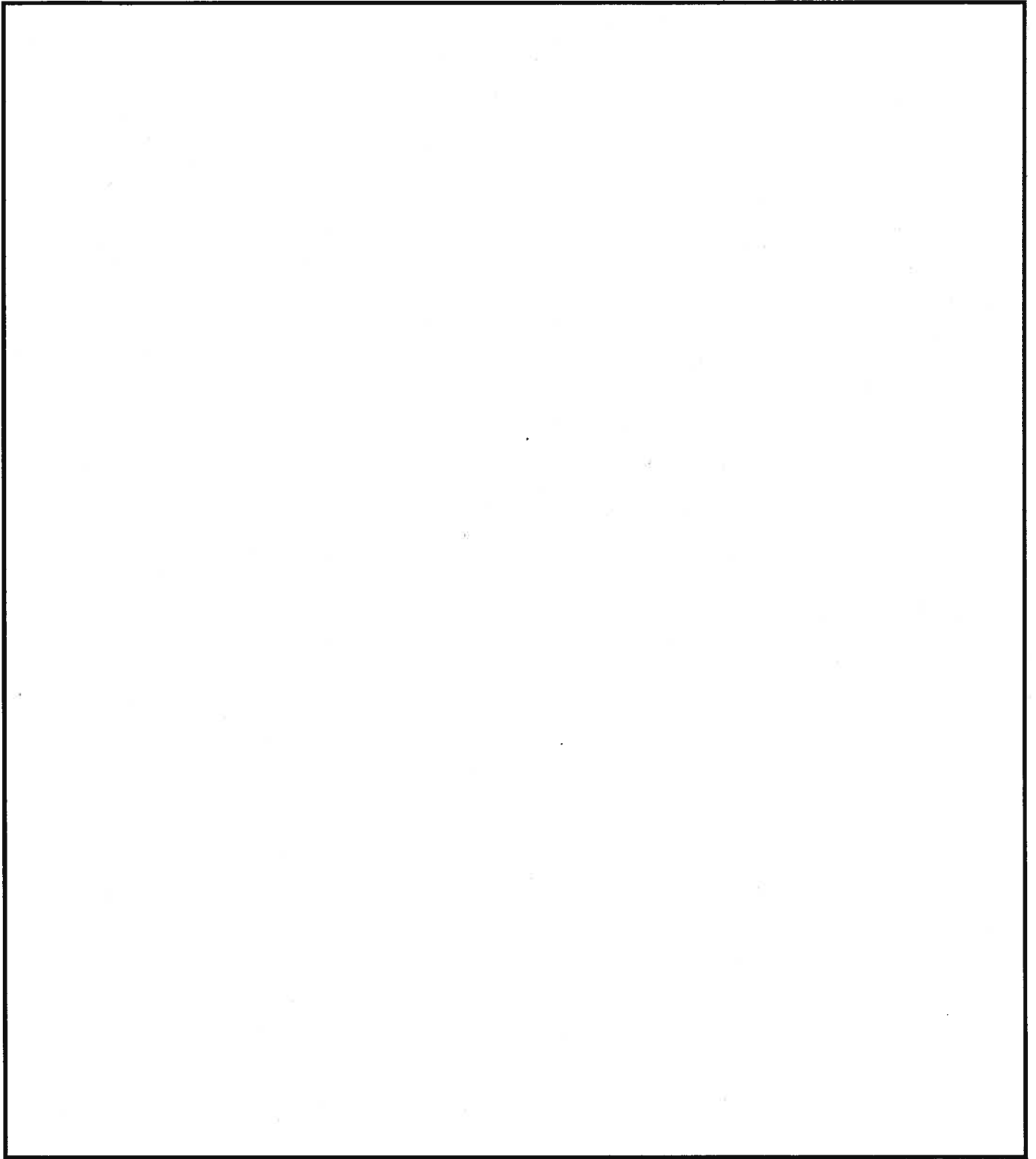


図 3-2 (122) 資材庫 中地階, 1 階平面図

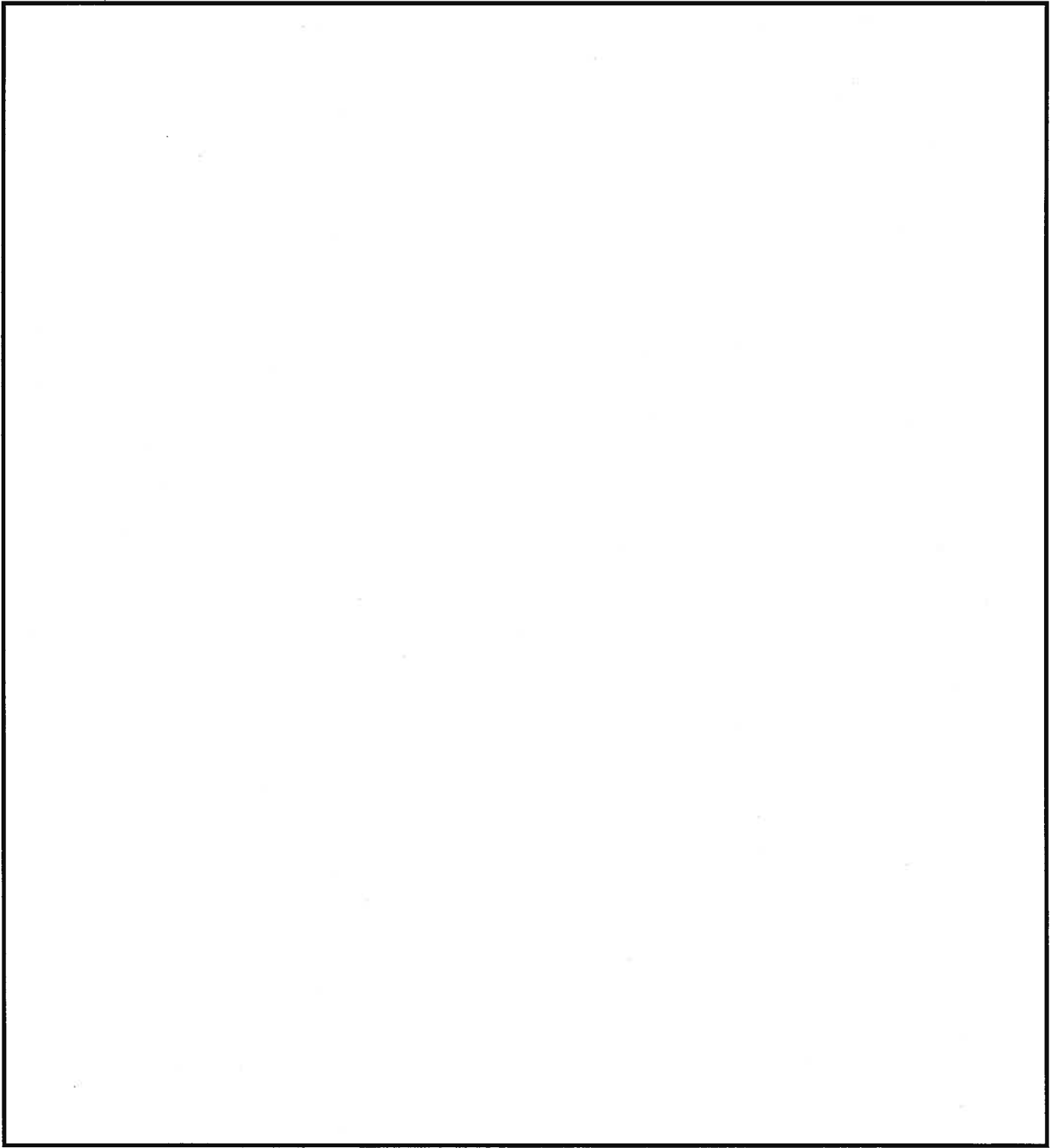


図 3-2 (123) 資材庫 2階平面図

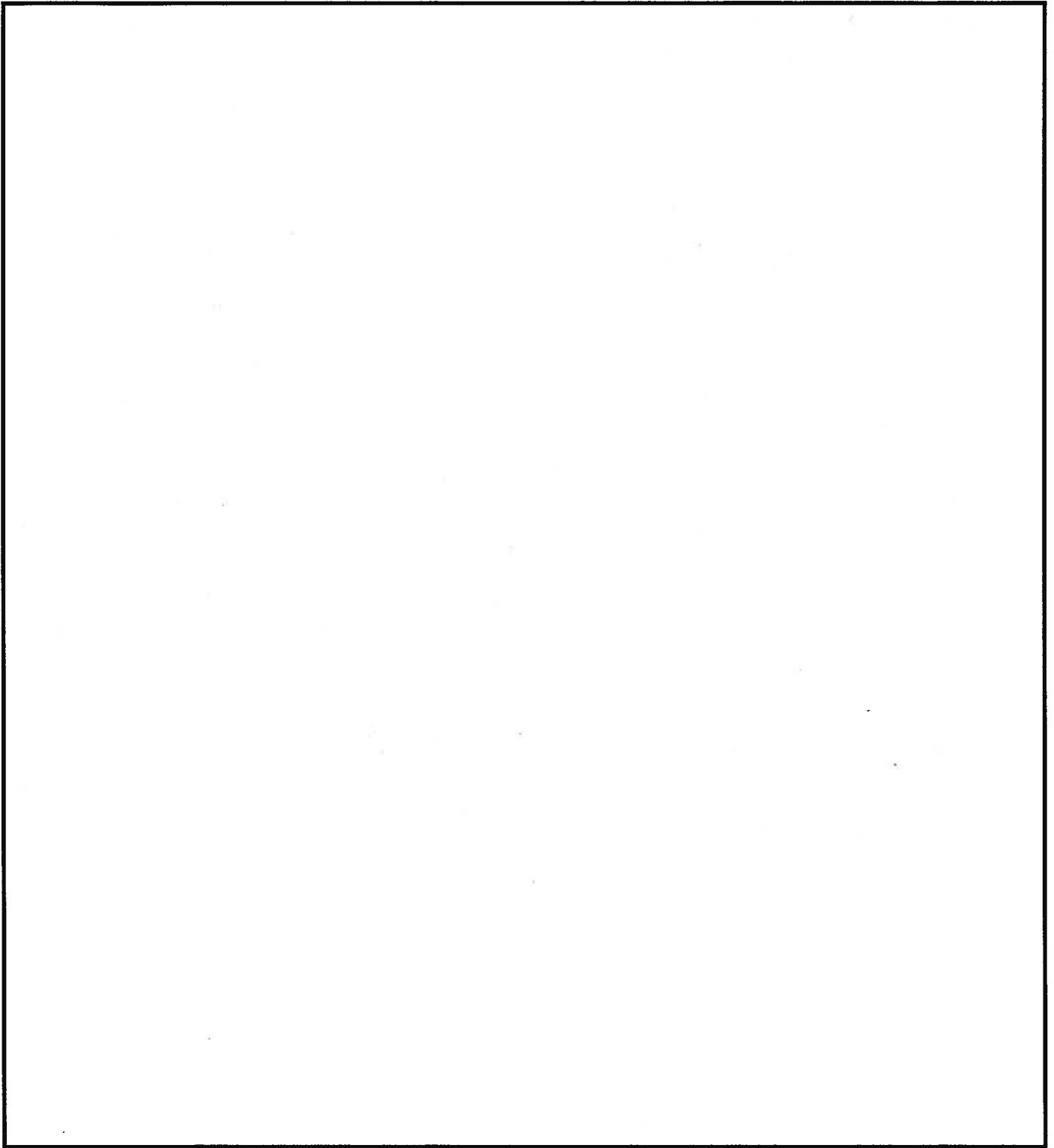


図 3-2 (124) 資材庫 屋上階平面図

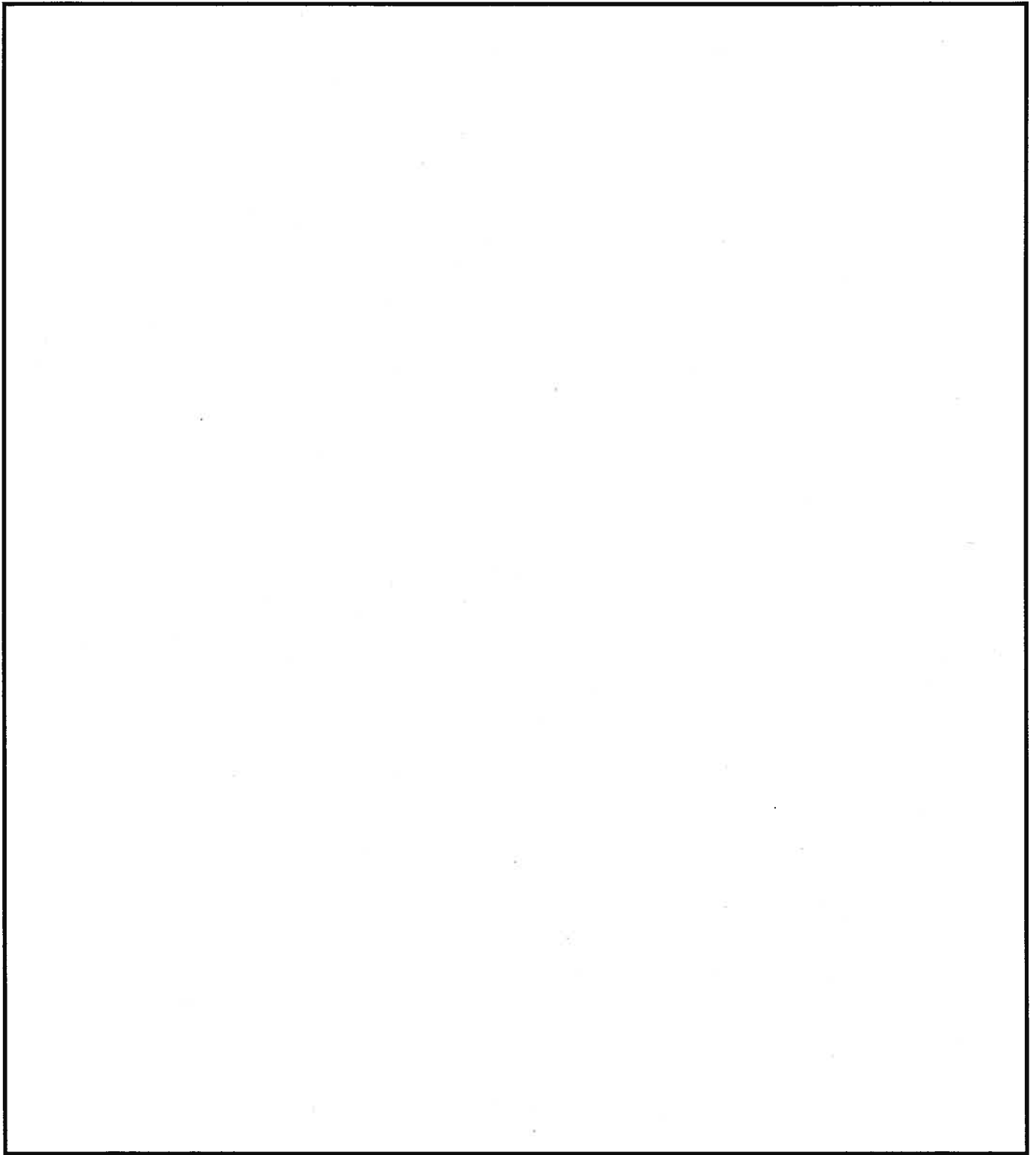


图 3-2 (125) 資材庫 断面図

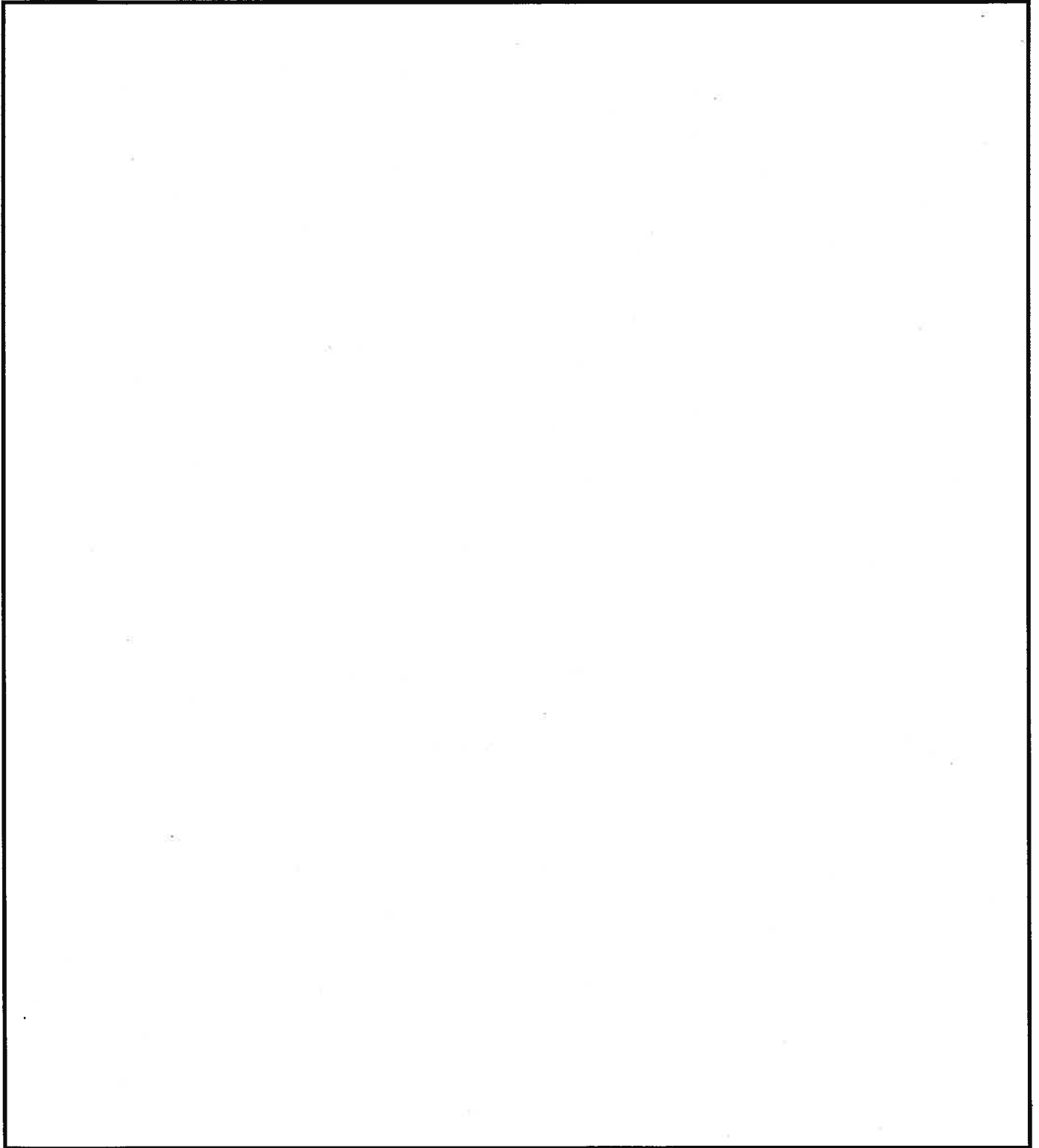


图 3-2 (126) 資材庫 断面図

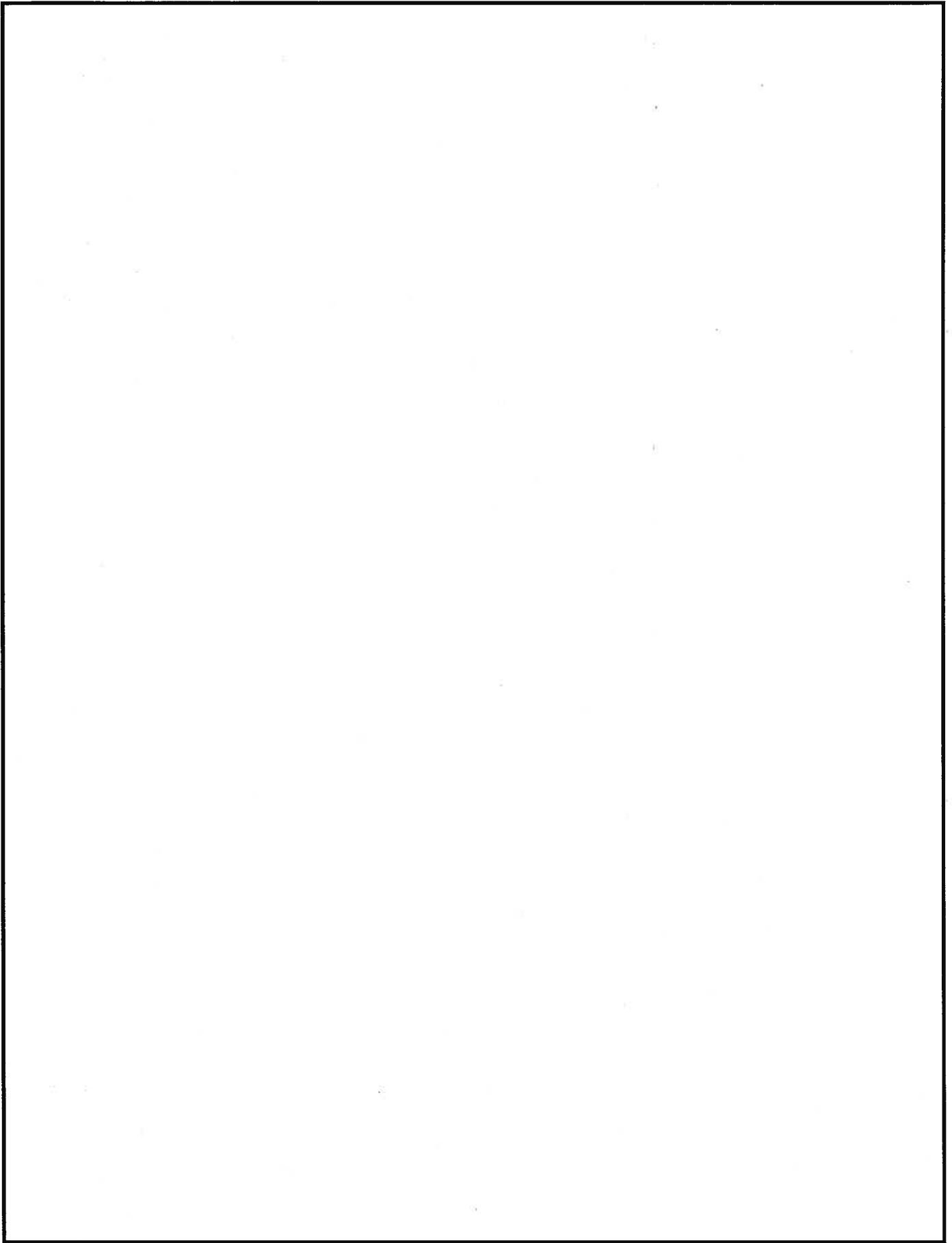


図 3-2 (127) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設 (2HASWS) 地下 2 階平面図

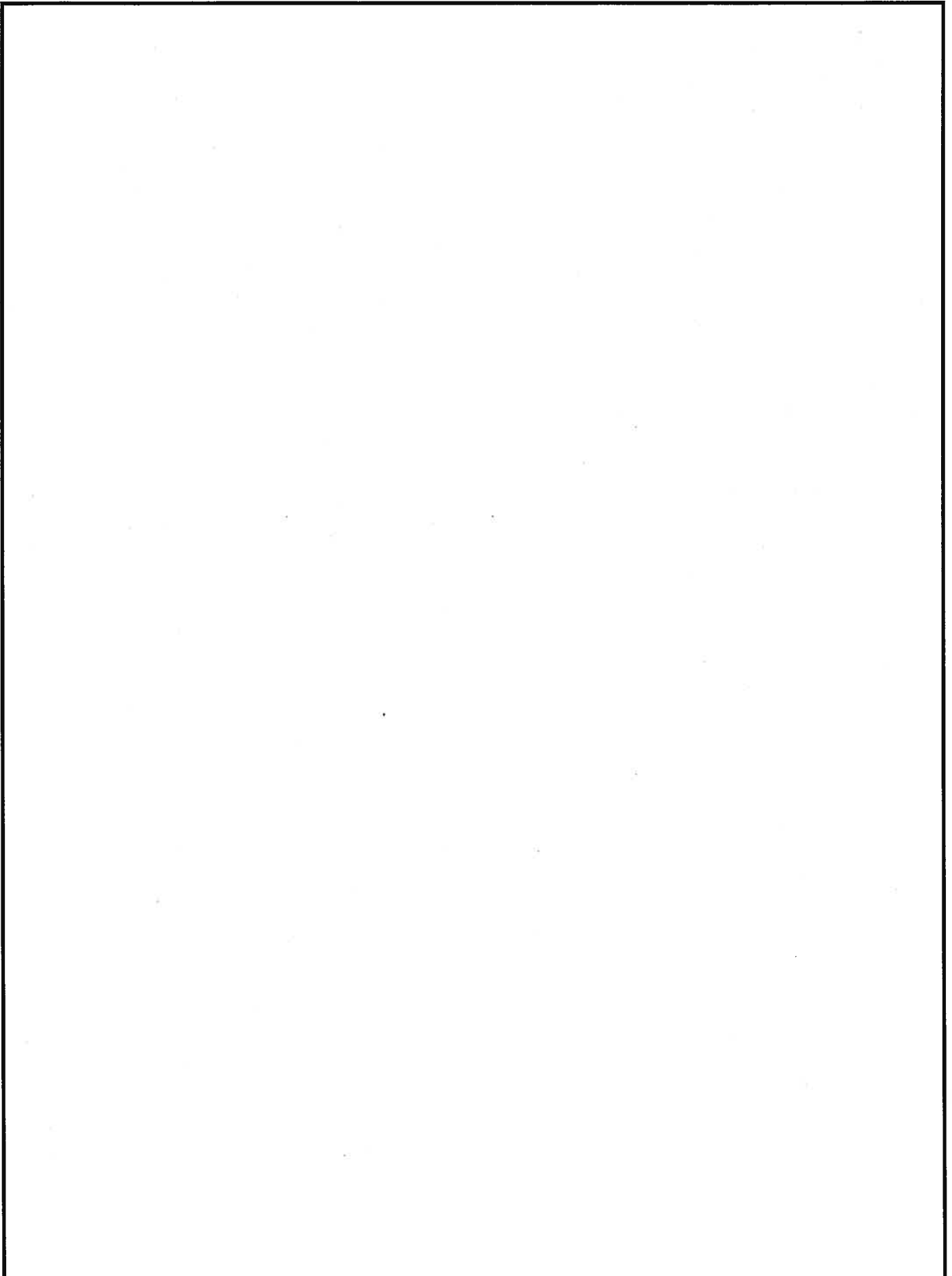


图 3-2 (128) 第二高放射性固体废弃物貯藏施設 (2HASWS) 地下 1 階平面図

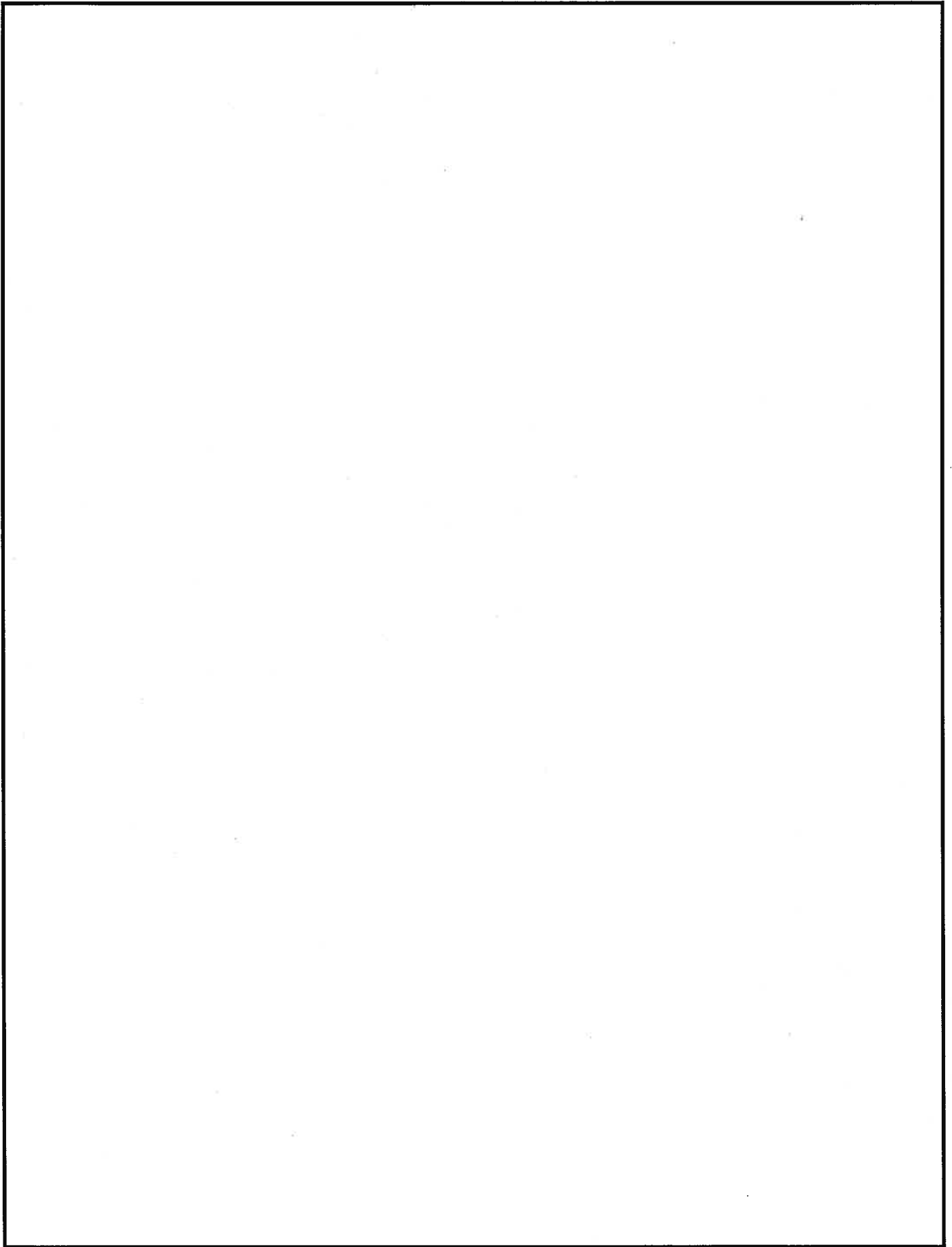


図 3-2 (129) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設 (2HASWS) 1 階平面図



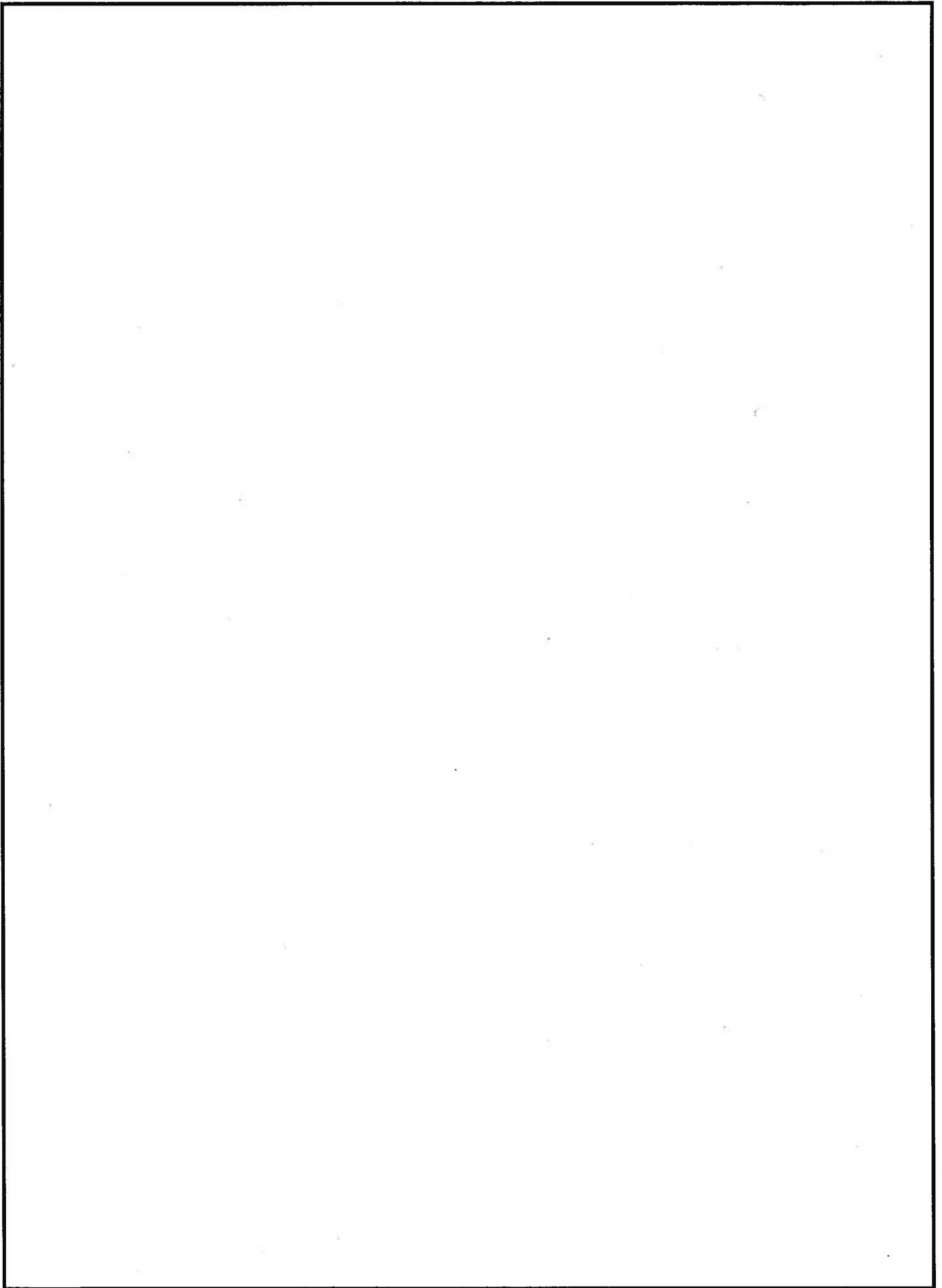


图 3-2 (130) 第二高放射性固体废弃物貯藏施設 (2HASWS) 2 階平面図

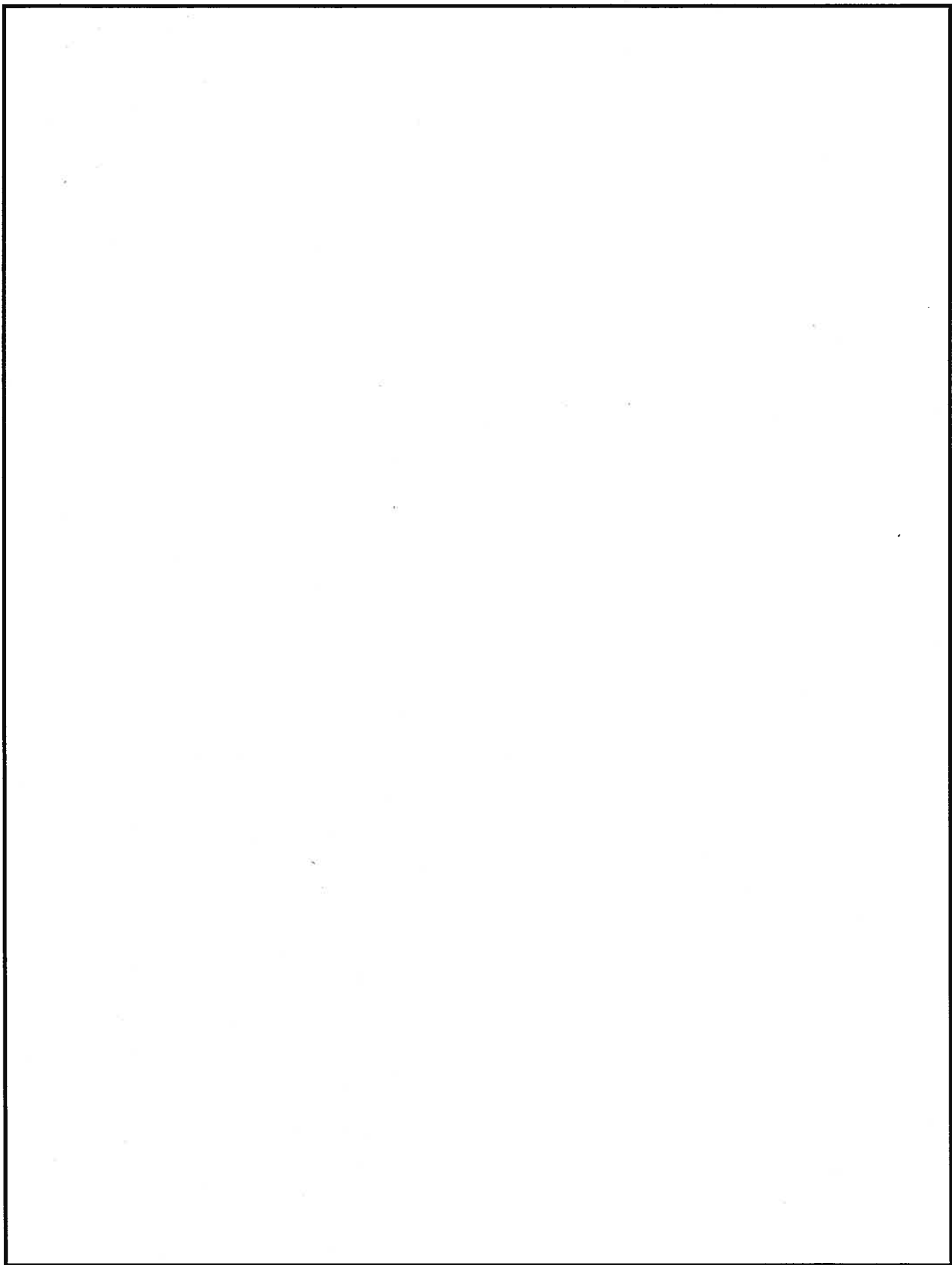


图 3-2 (131) 第二高放射性固体废弃物贮藏设施 (2HASWS) 3 阶平面图

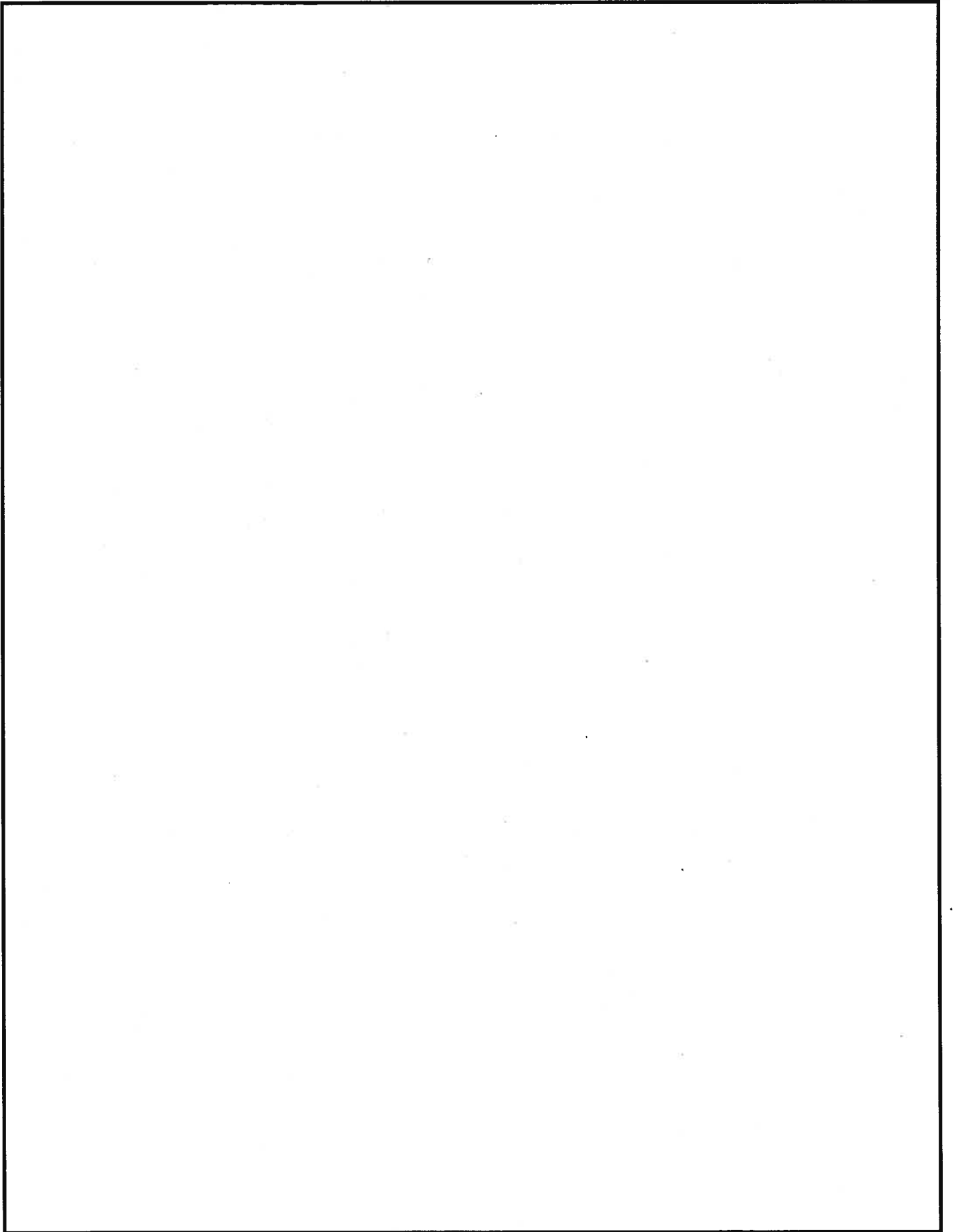


図 3-2 (132) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設 (2HASWS) 屋上階平面図

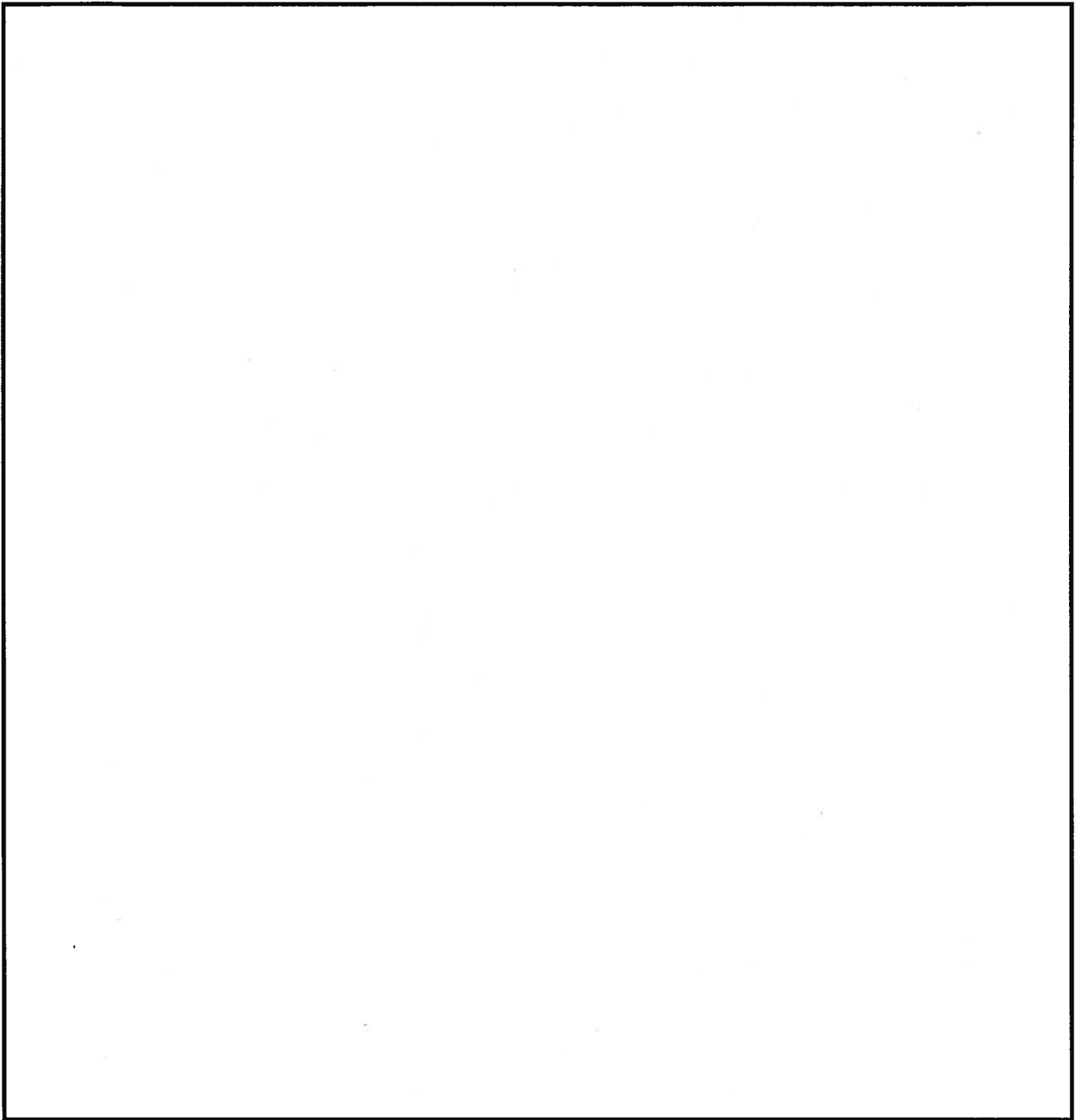


図 3-2 (133) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設 (2HASWS) 屋上階断面図

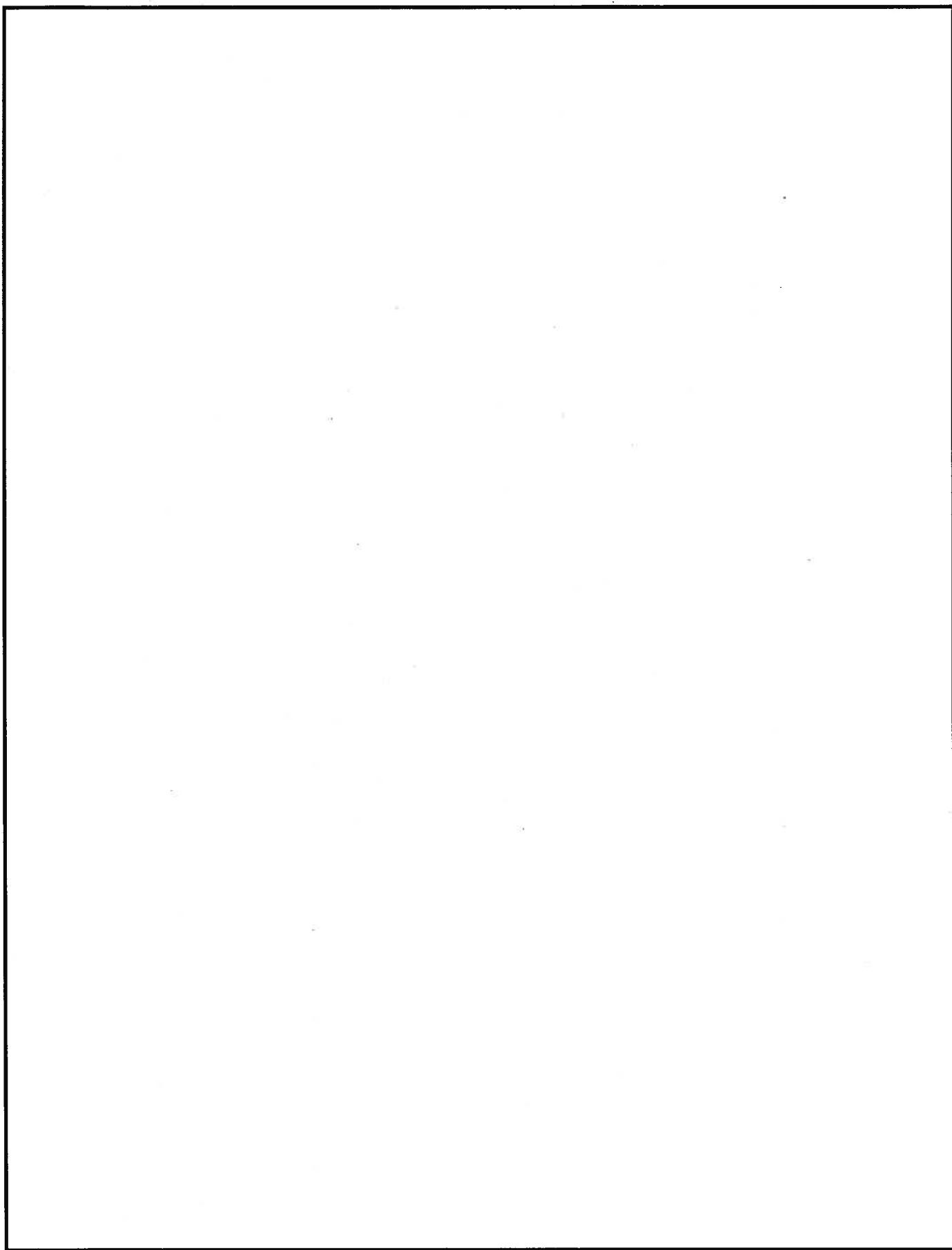


図 3-2 (134) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設 (2HASWS) 断面図

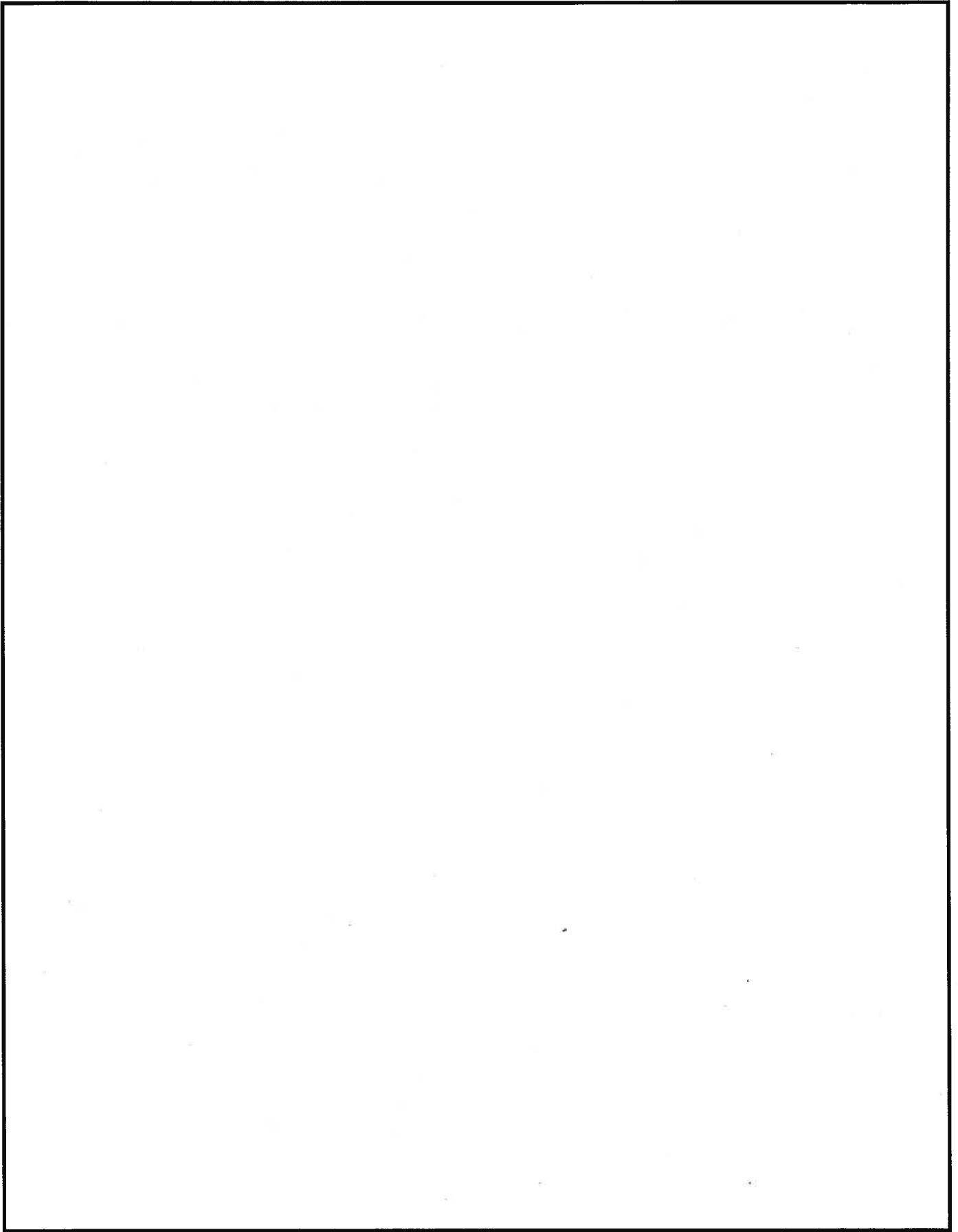


図 3-2 (135) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 地下 2 階平面図

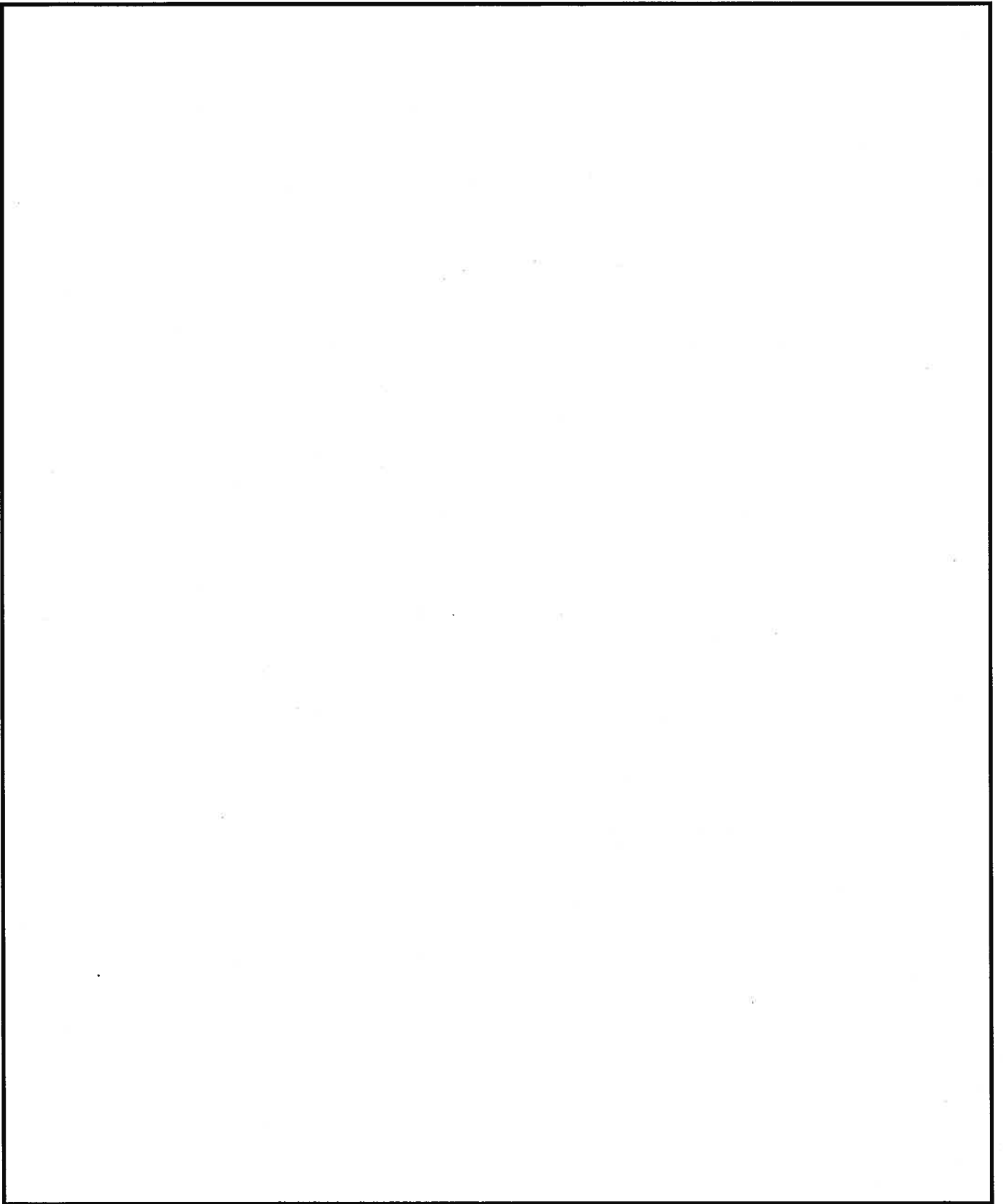


図 3-2 (136) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 地下 1 階平面図

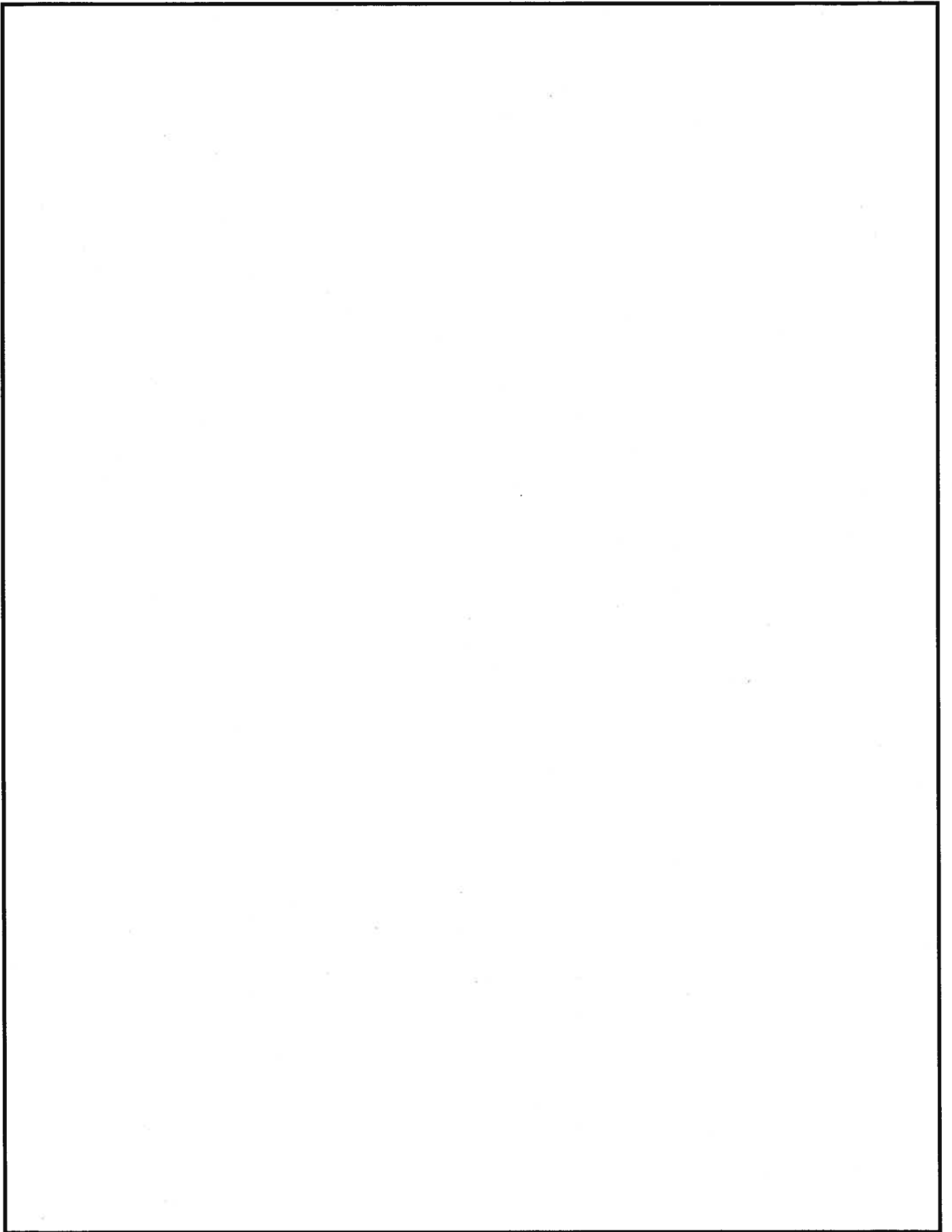


図 3-2 (137) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 1 階平面図



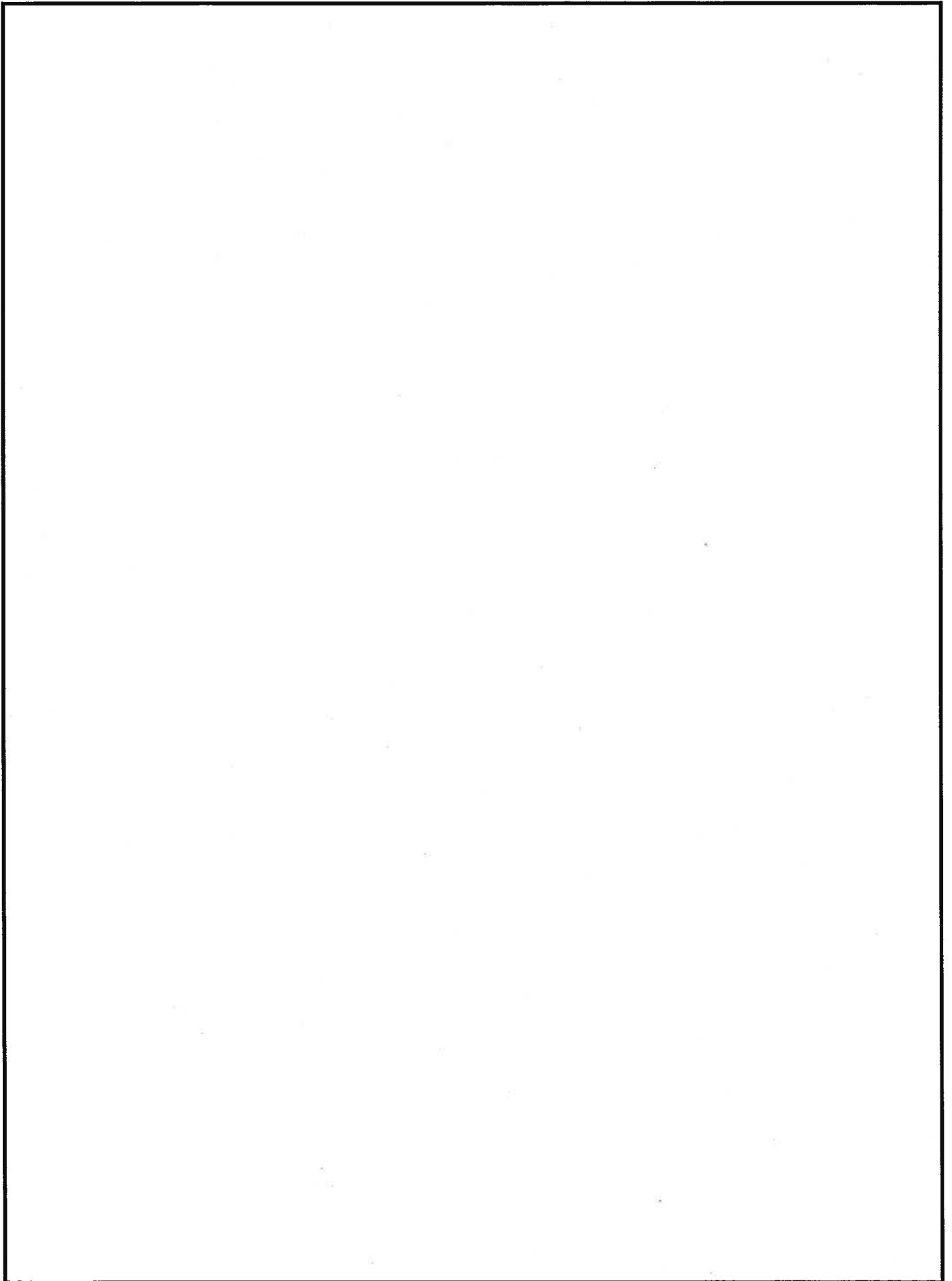


図 3-2 (138) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 2 階平面図

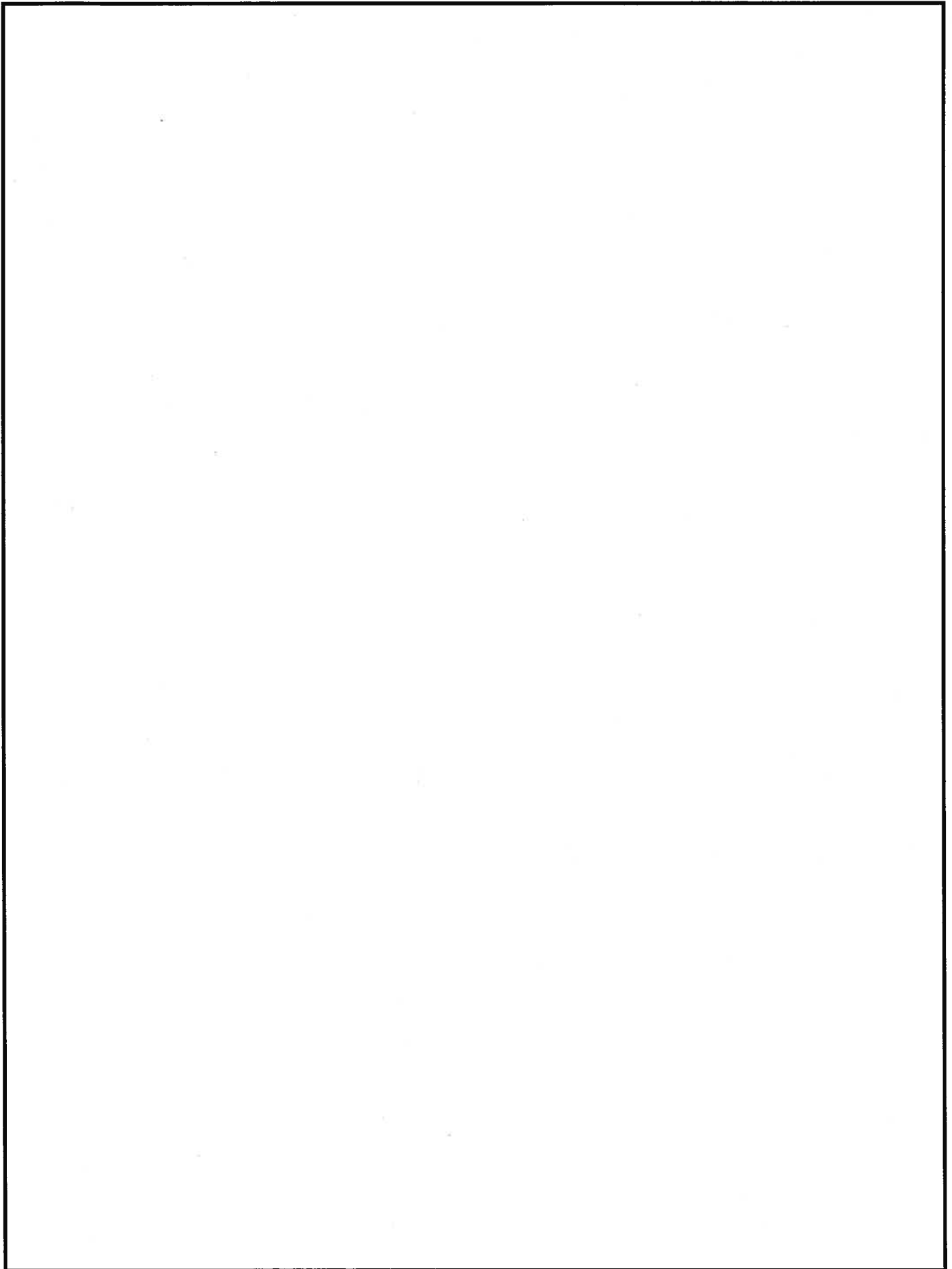


図 3-2 (139) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 3 階平面図

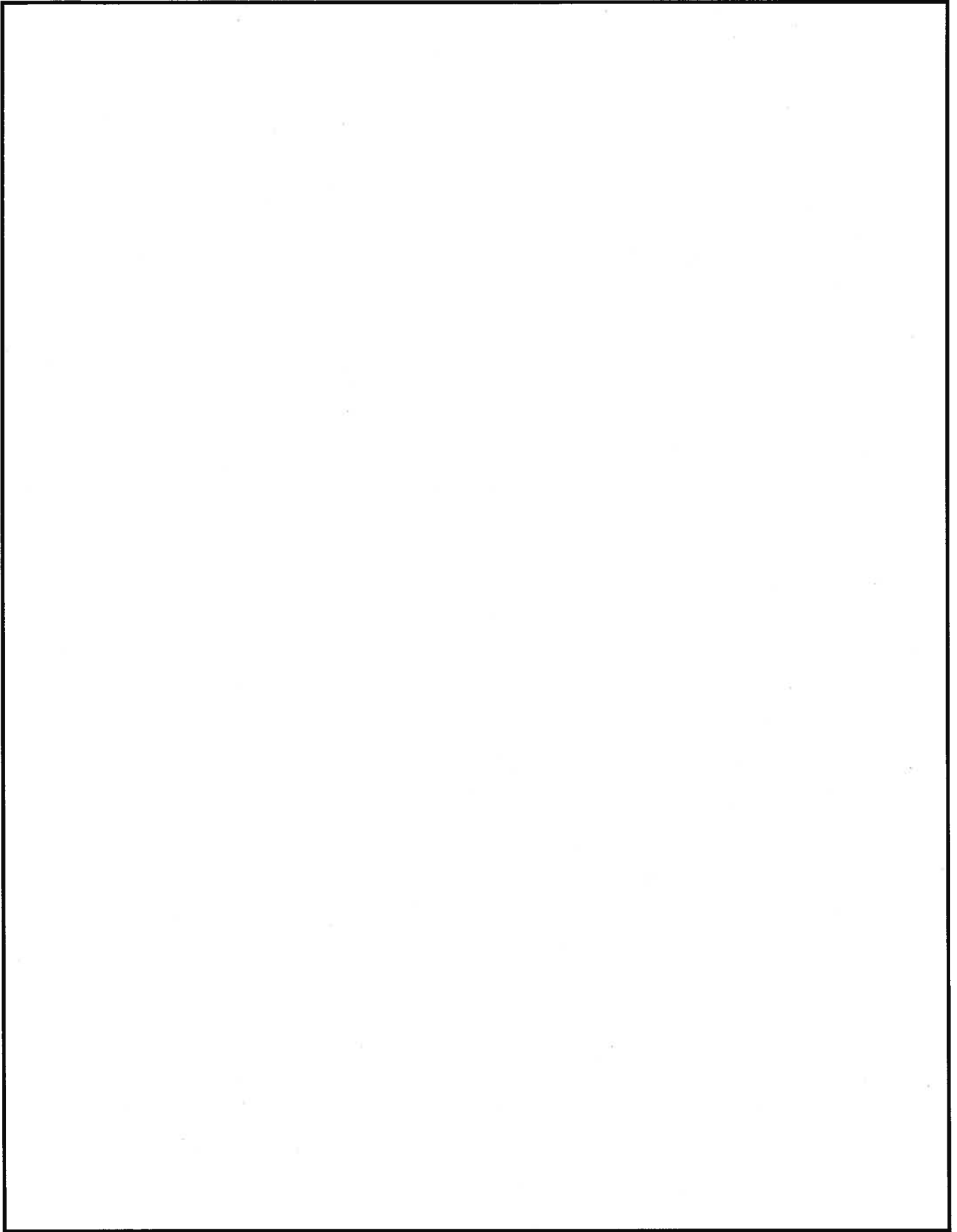


図 3-2 (140) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 屋上階平面図

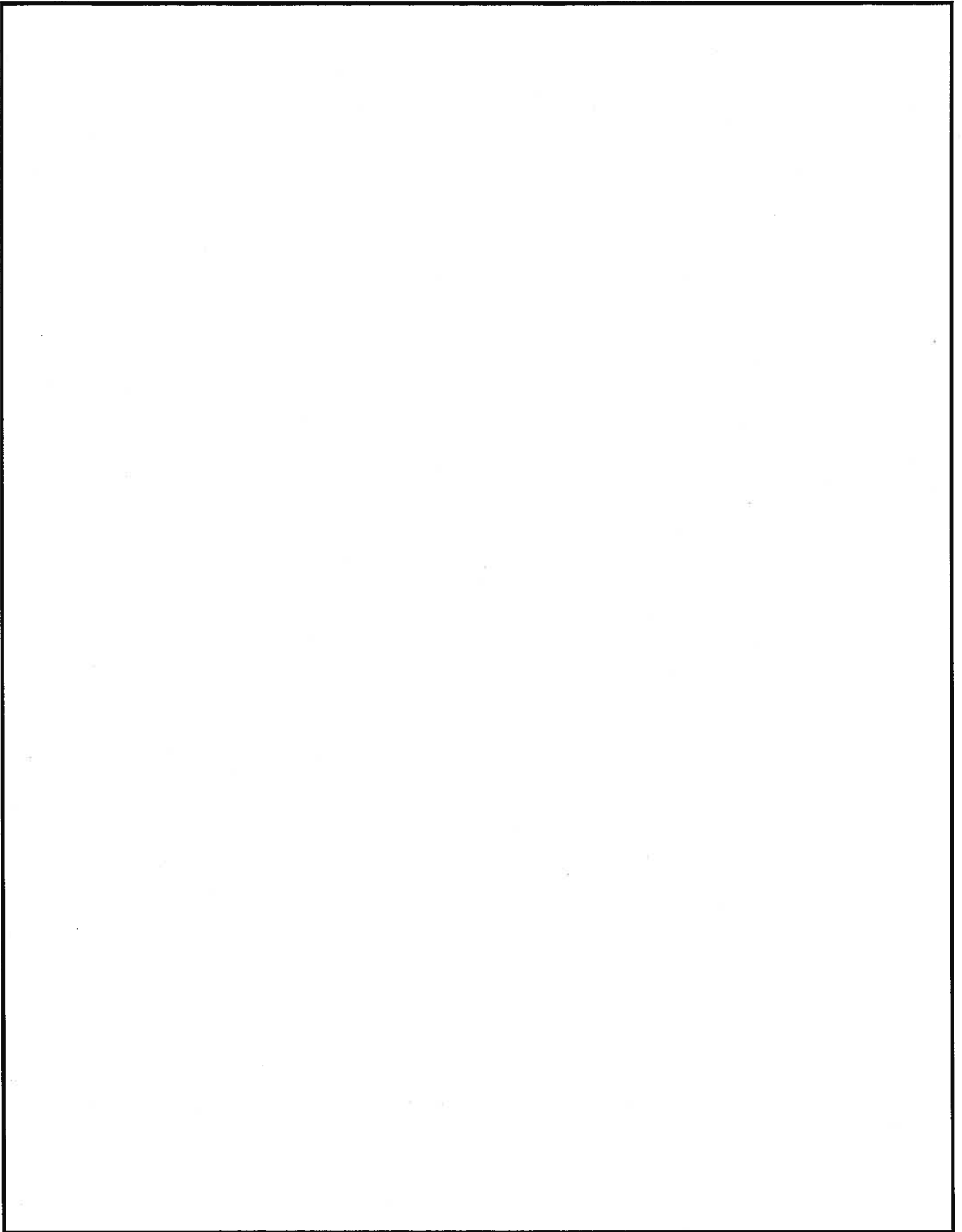


図 3-2 (141) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 断面図

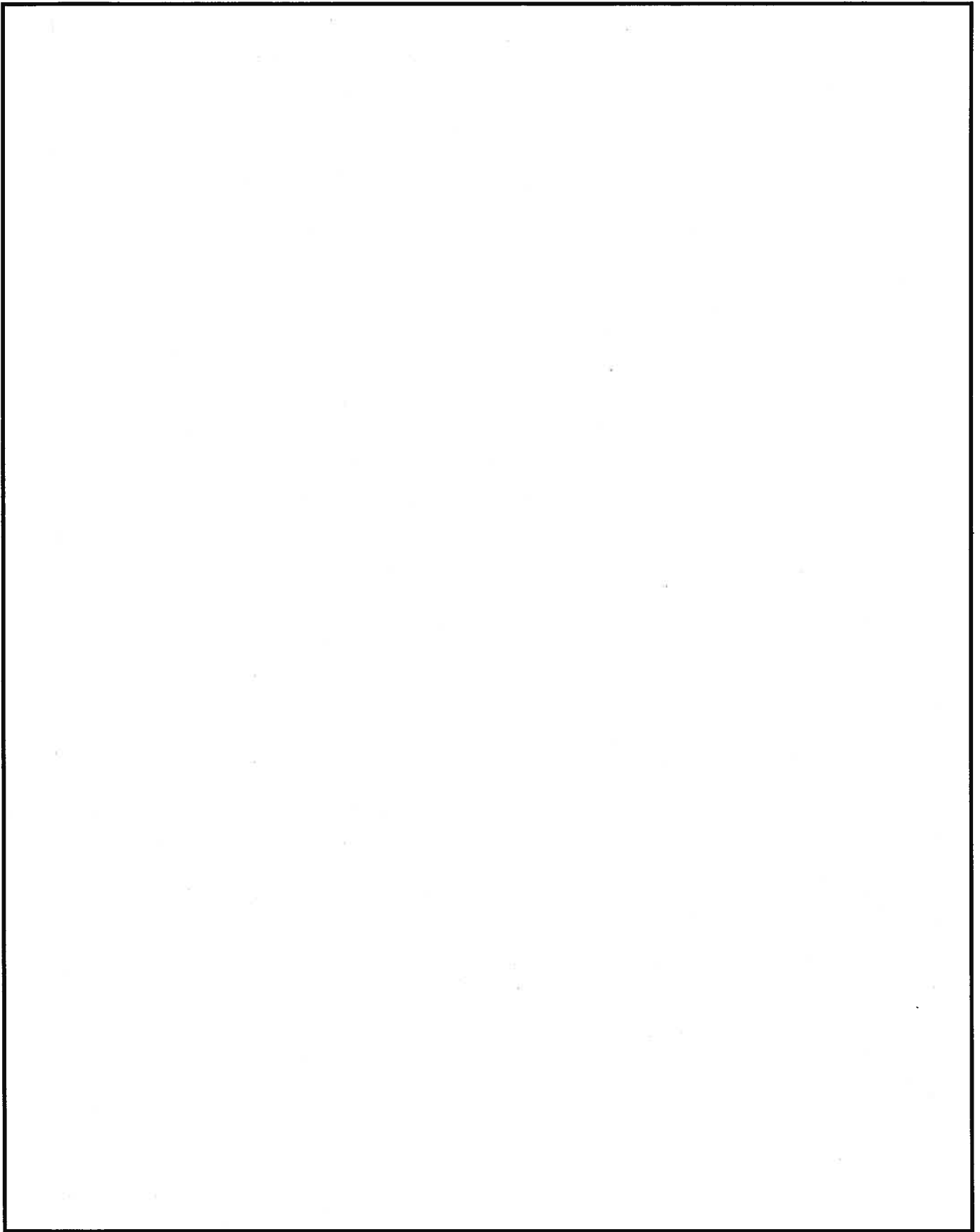


図 3-2 (142) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 断面図

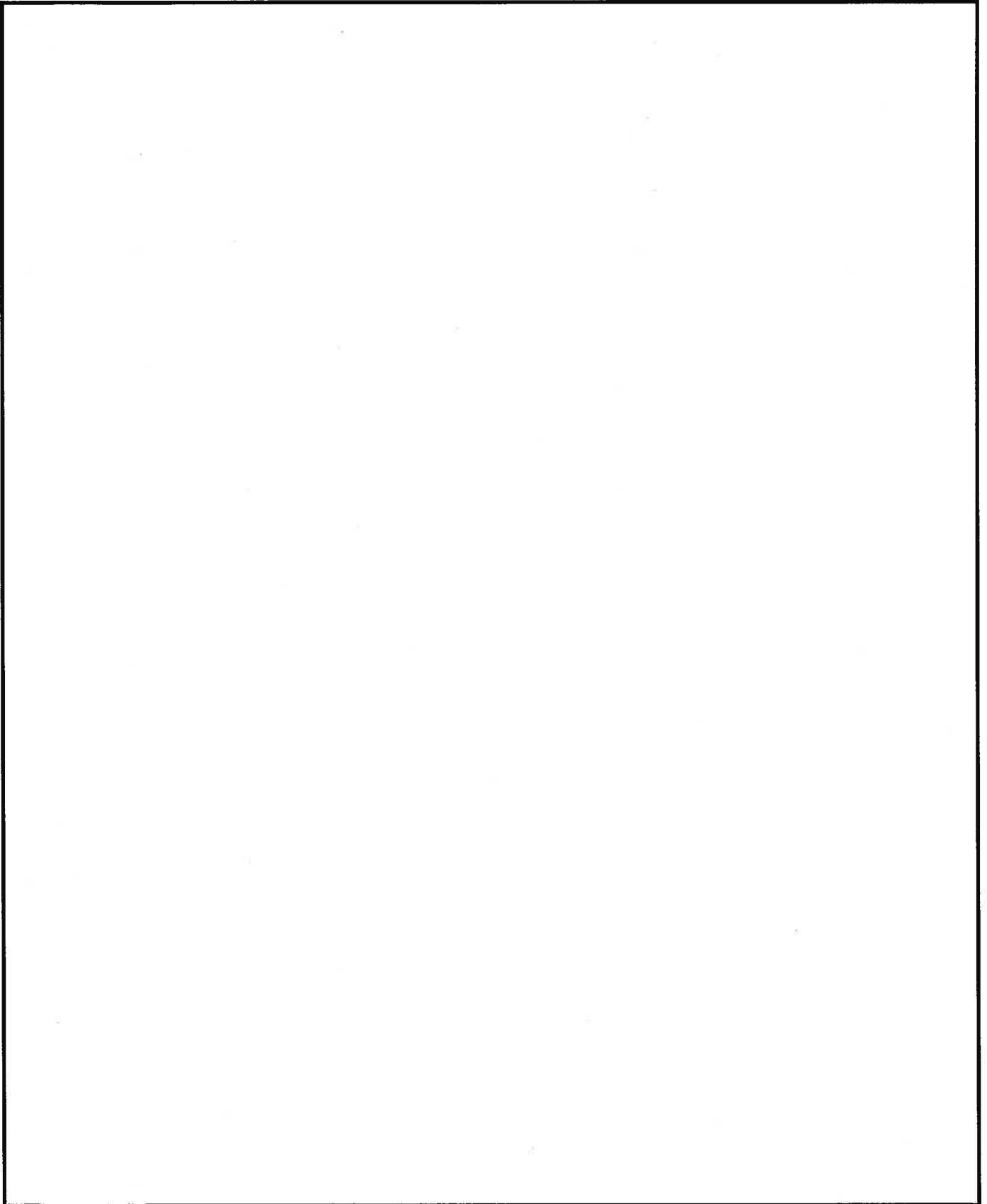


図 3-2 (143) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 断面図

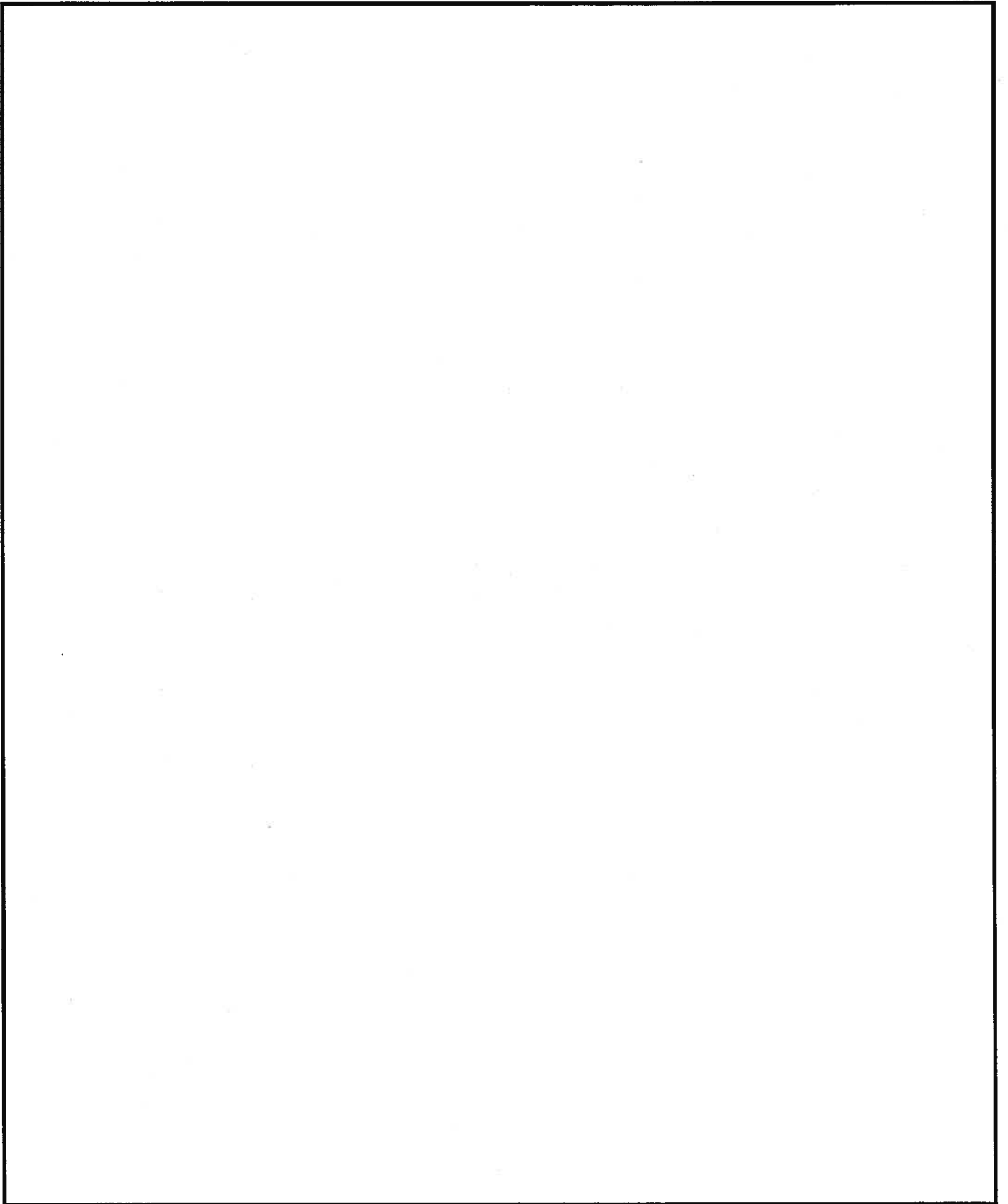


図 3-2 (144) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 断面図

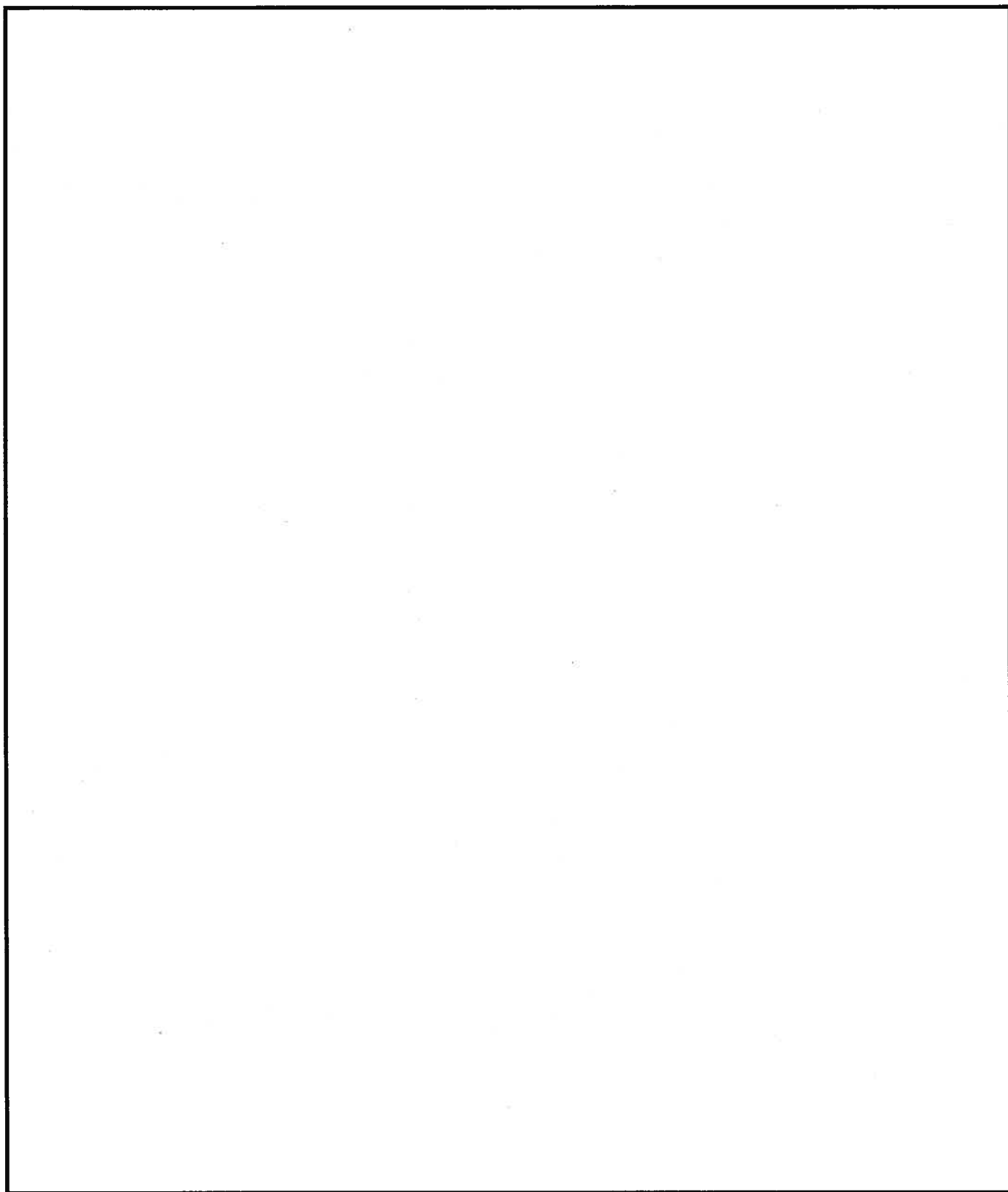


図 3-2 (145) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術管理棟 1 階平面図



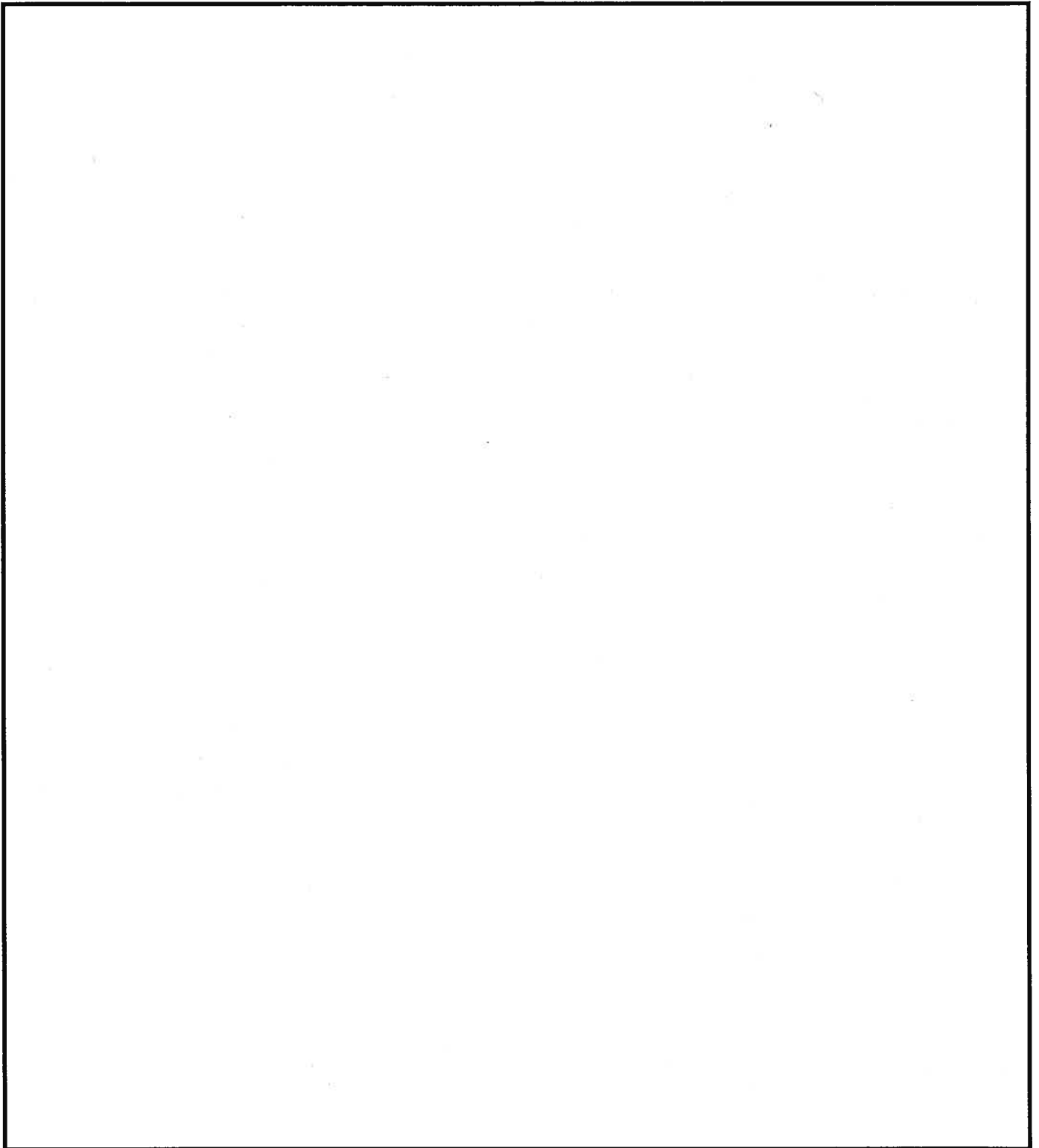


図 3-2 (146) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術管理棟 2 階平面図

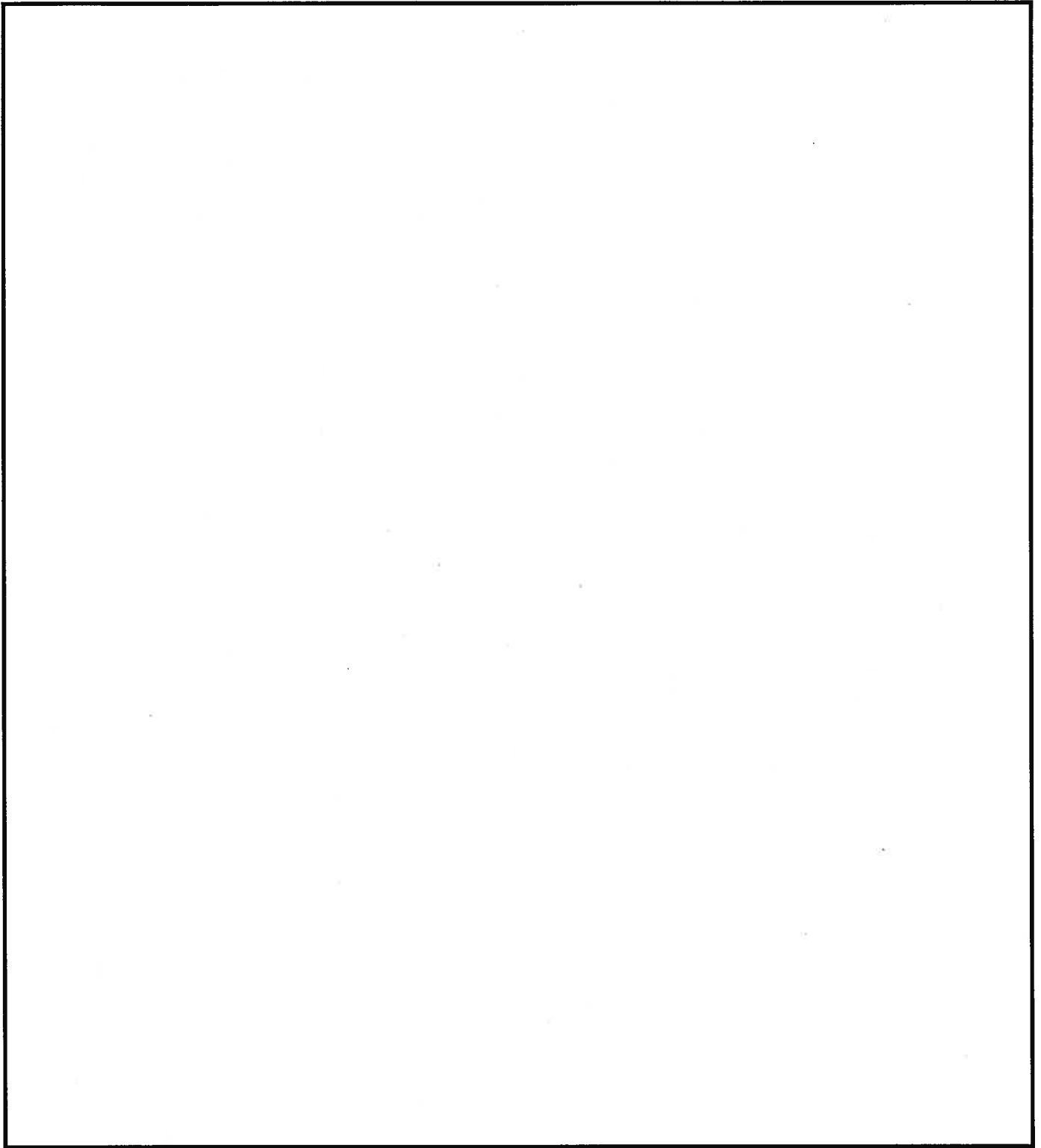


図 3-2 (147) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術管理棟 3 階平面図

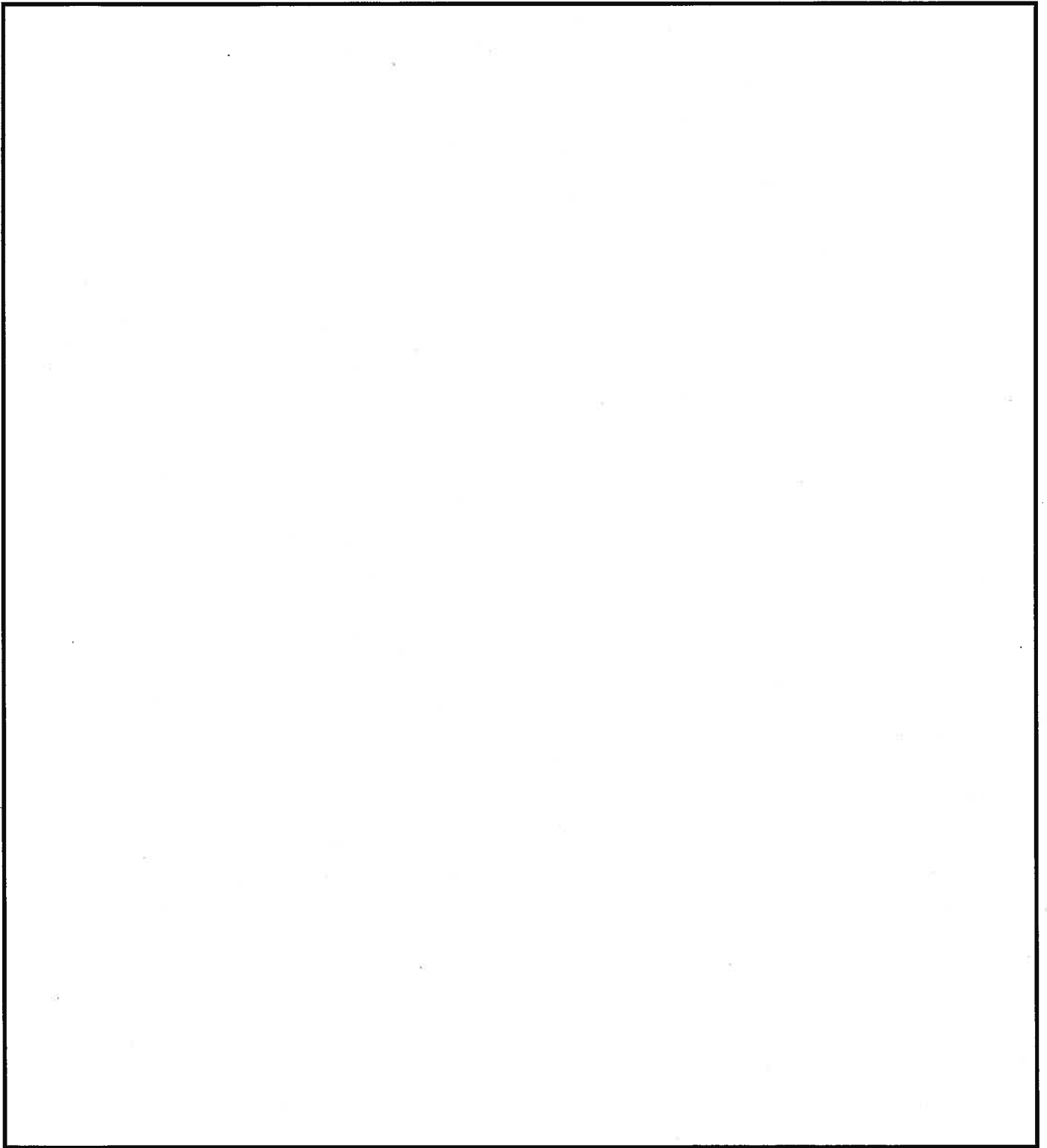


図 3-2 (148) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術管理棟 4 階平面図

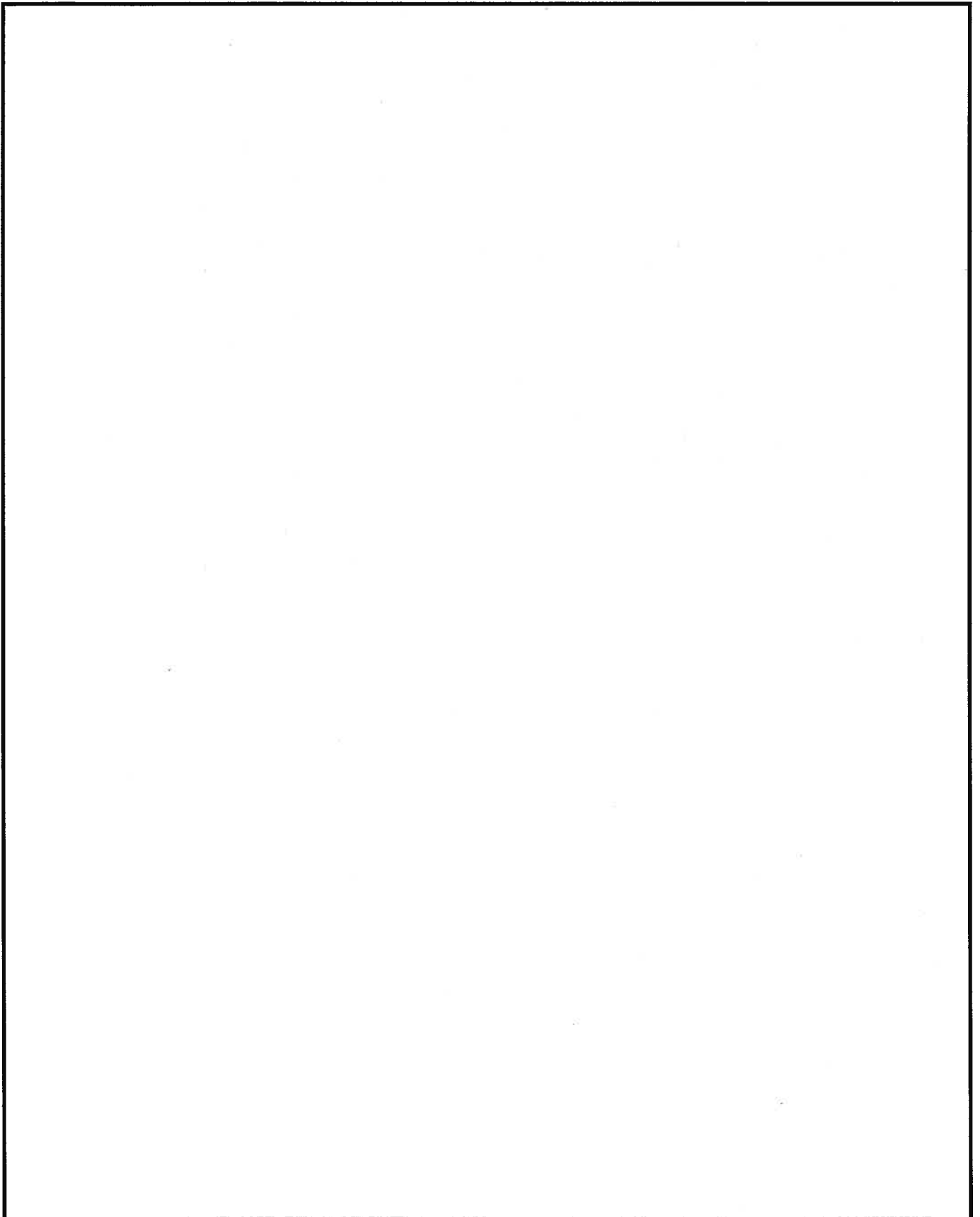


図 3-2 (149) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術管理棟 屋上階平面図

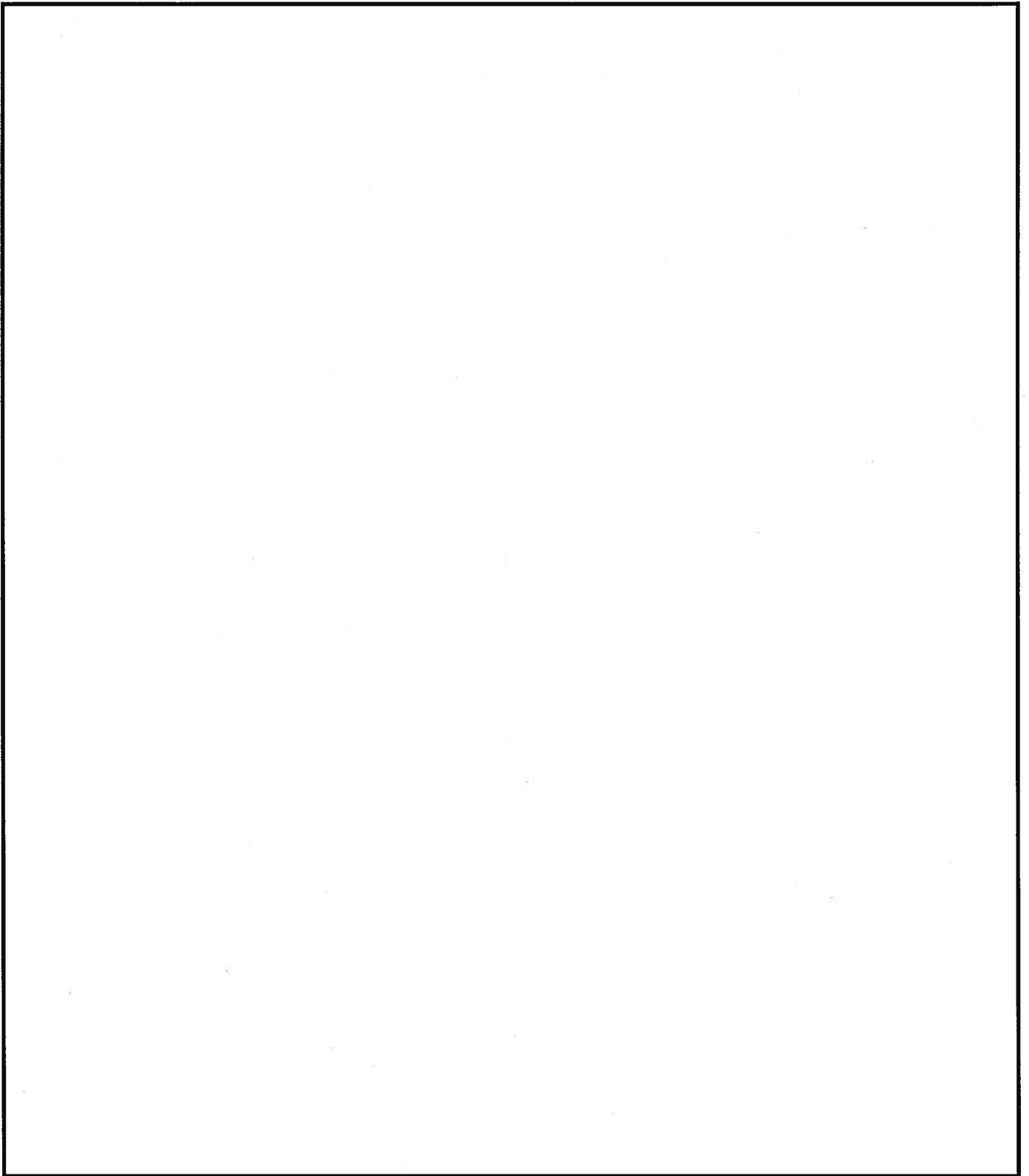


図 3-2 (150) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術管理棟 断面図

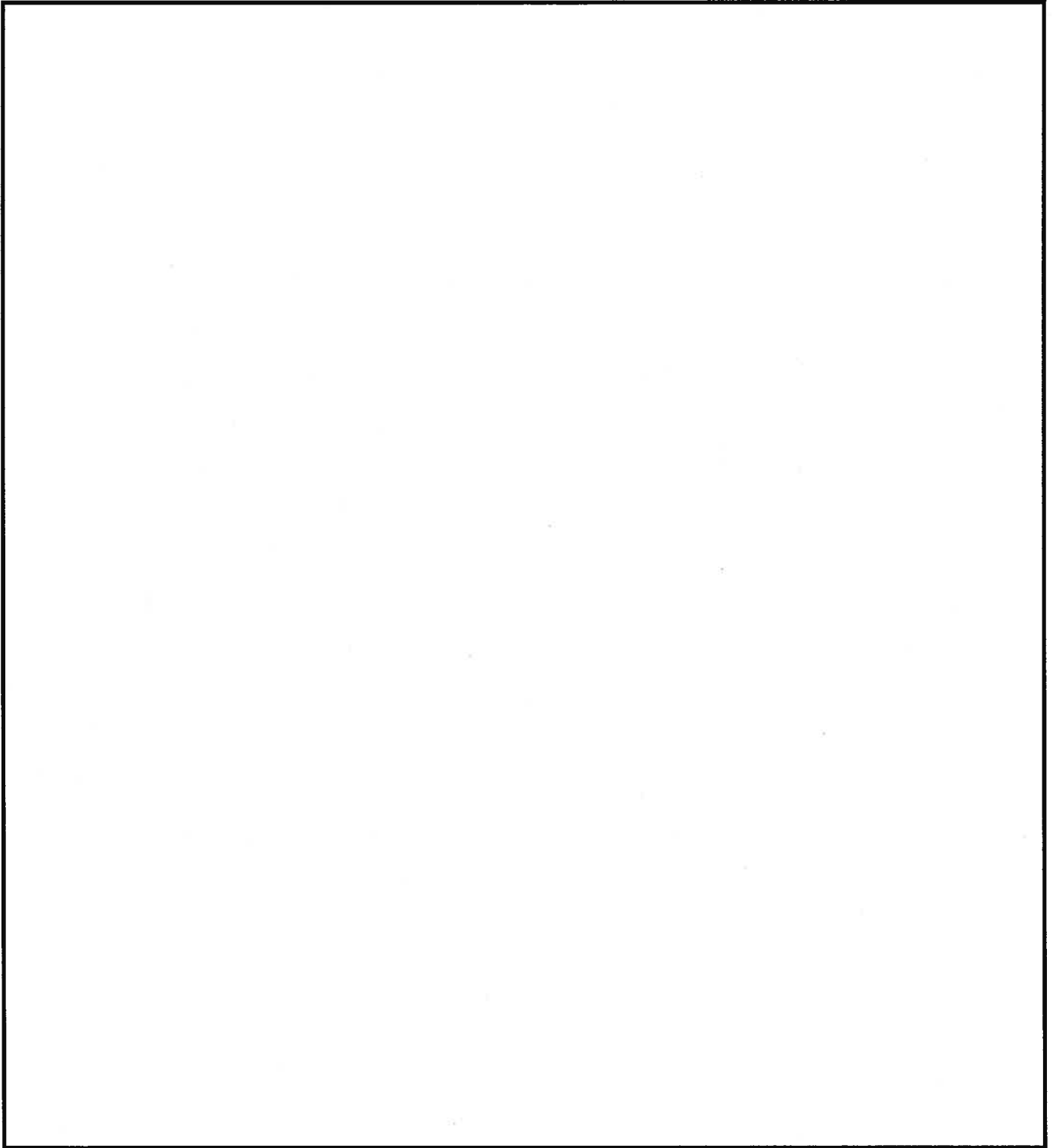


図 3-2 (151) ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術管理棟 断面図

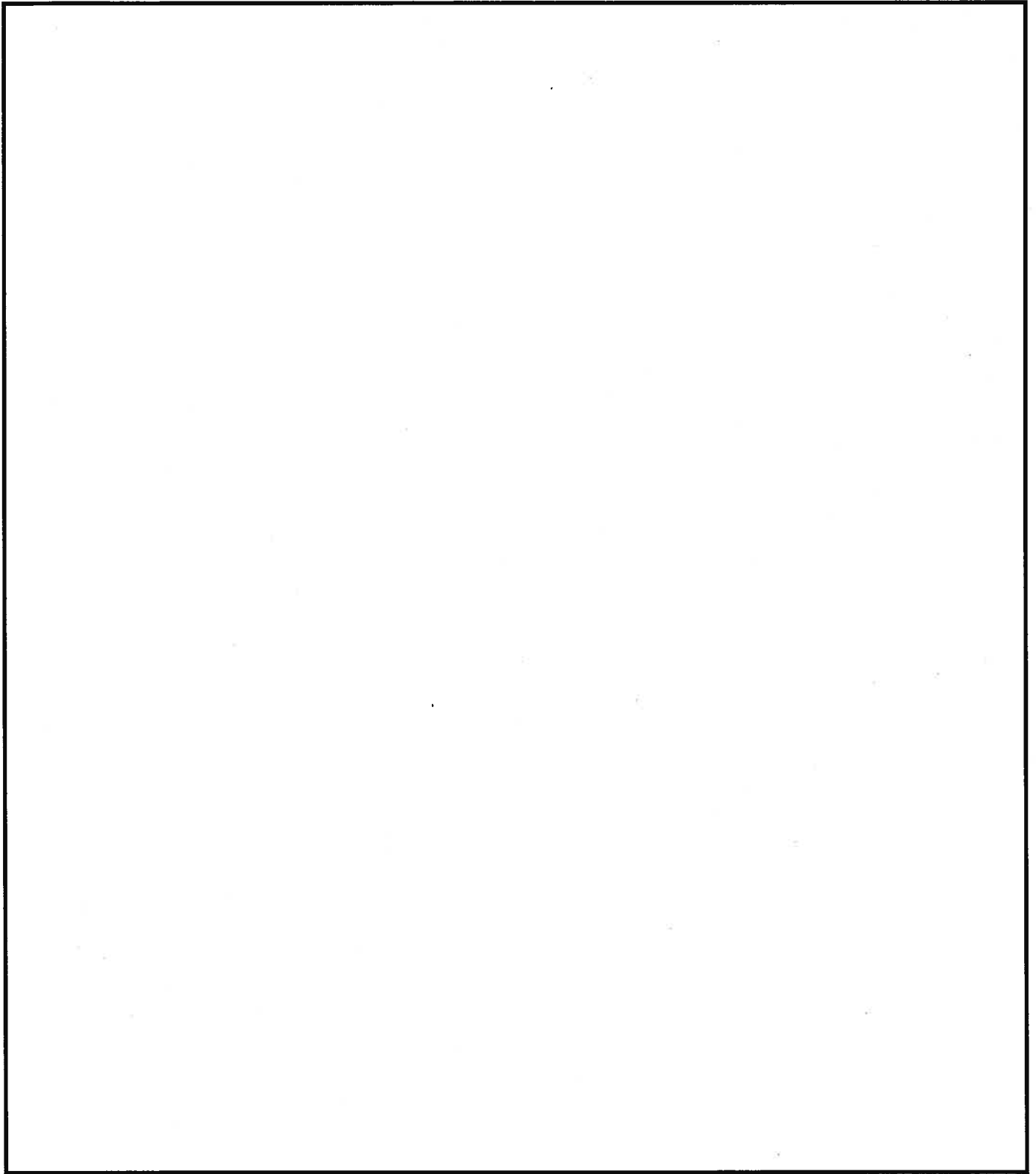


图 3-2 (152) 第二付属排気筒

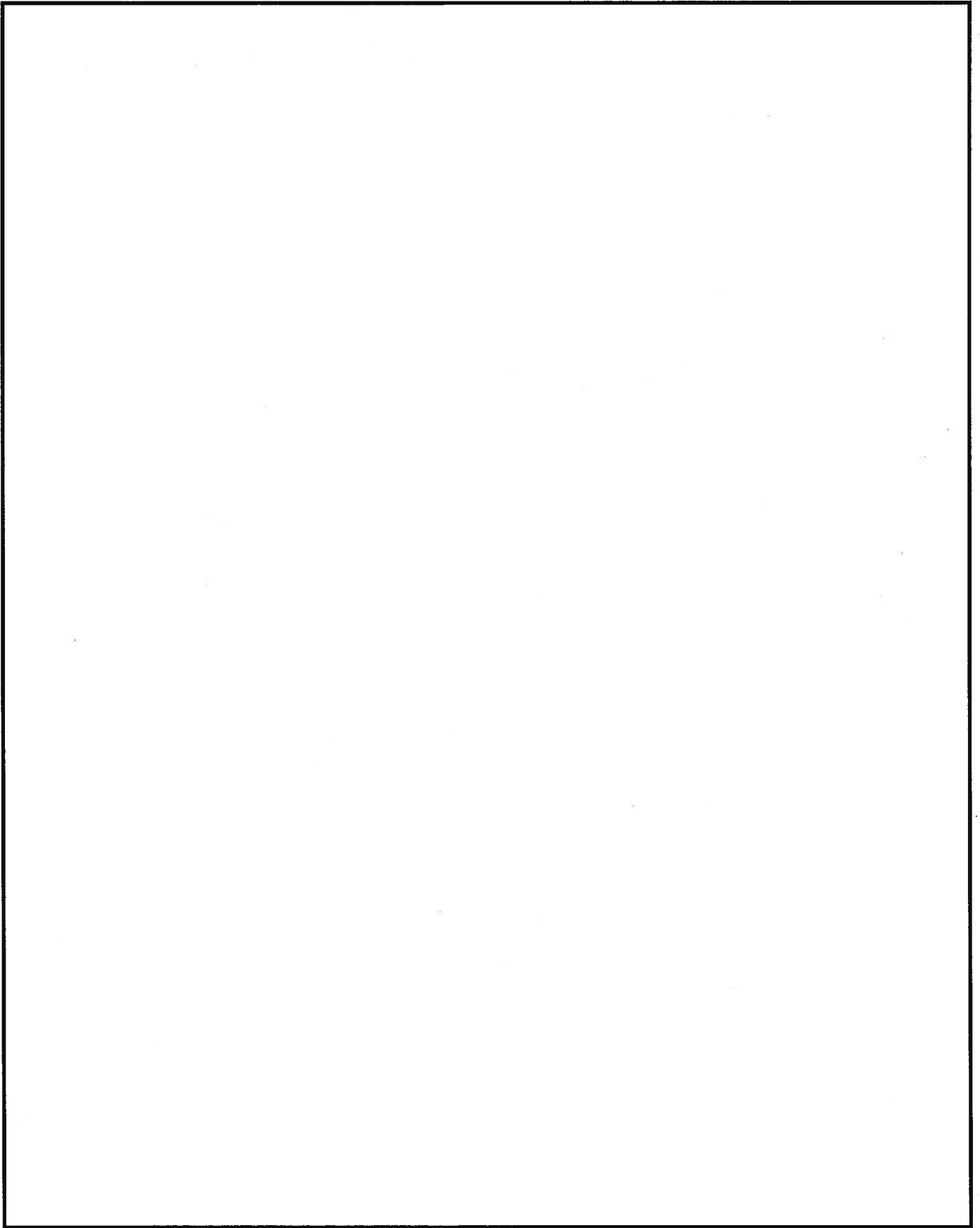


図 3-2 (153) 焼却施設 (IF) 地下 1 階平面図



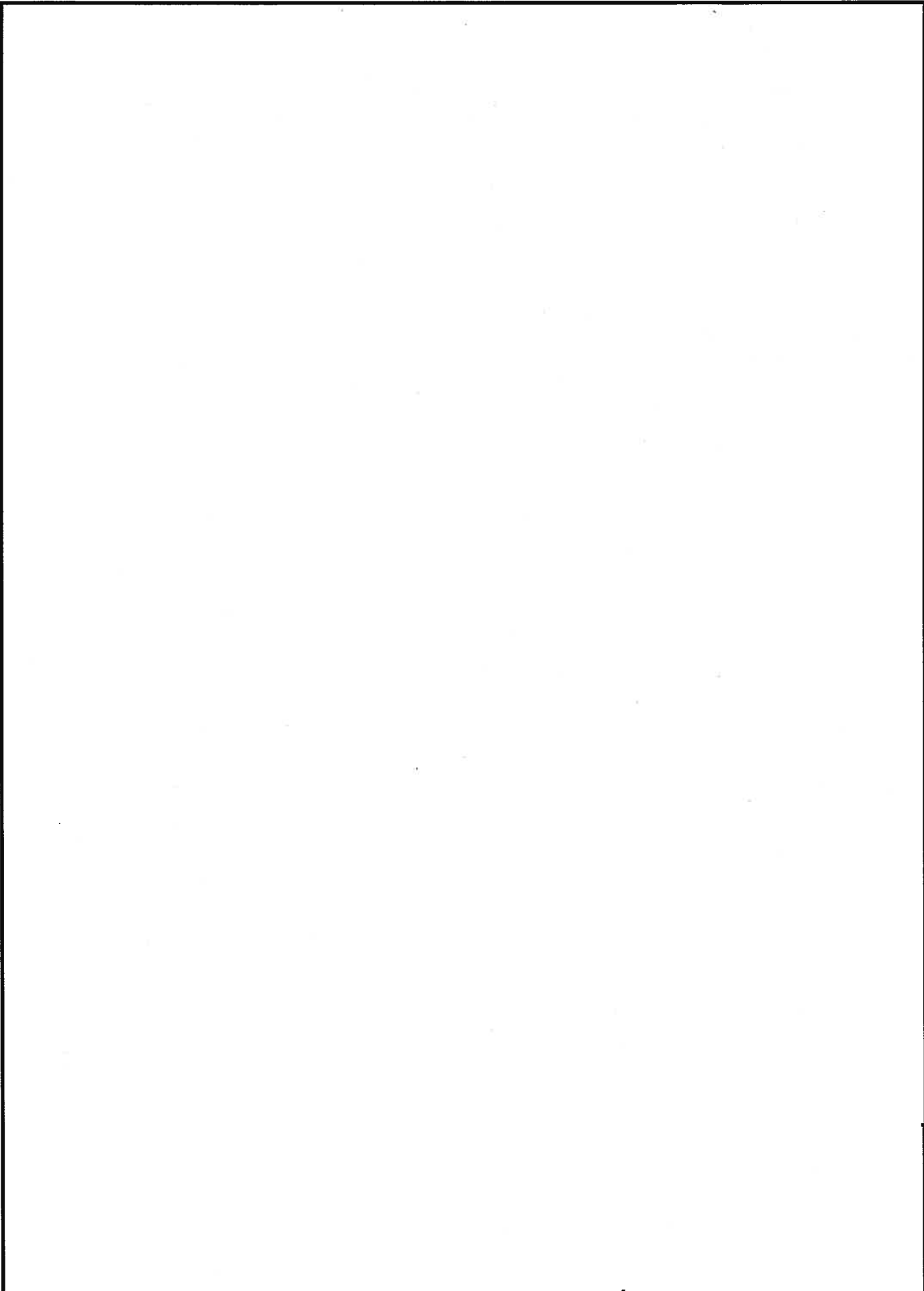


図 3-2 (154) 焼却施設 (IF) 1 階平面図

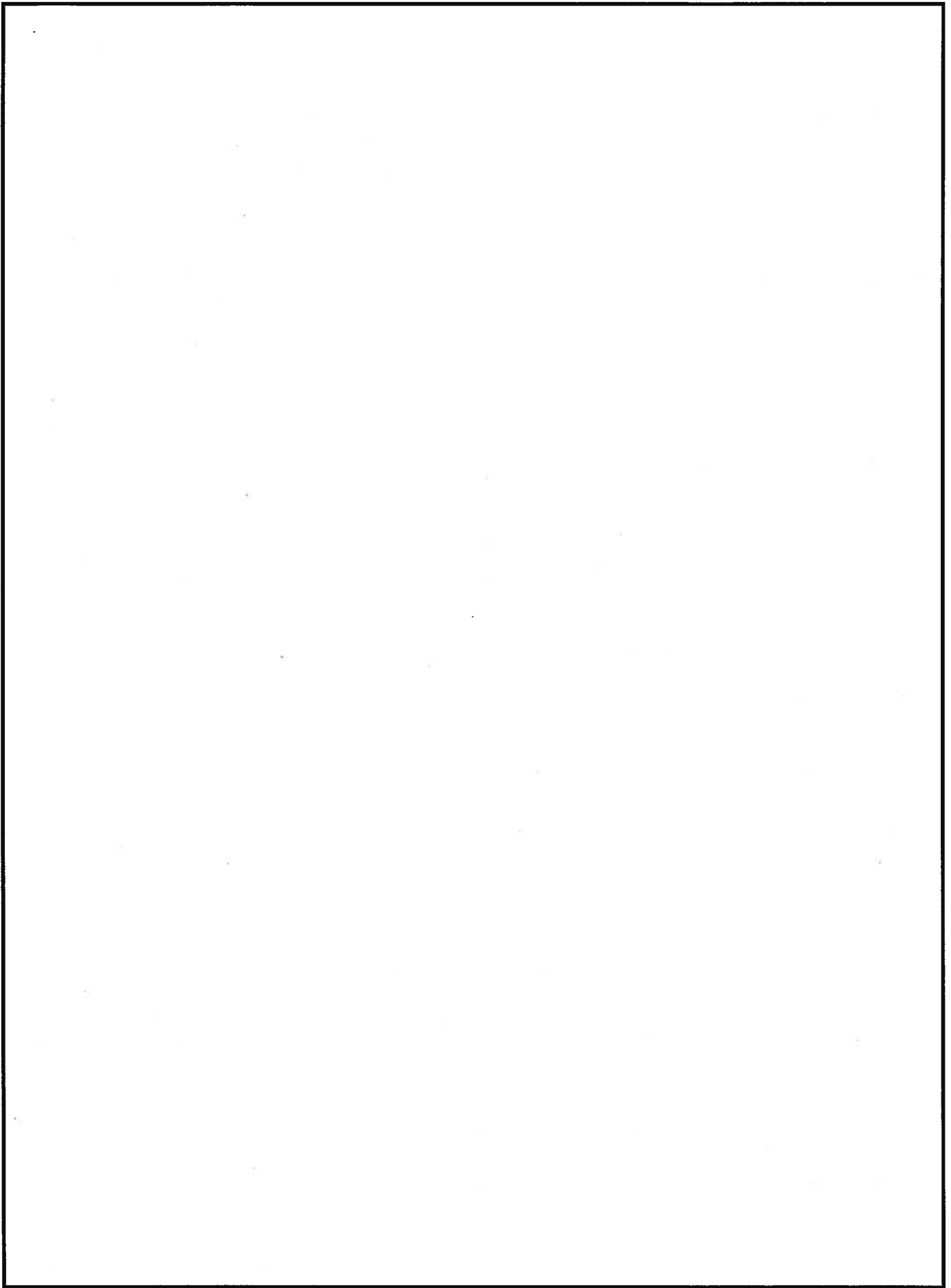


図 3-2 (155) 焼却施設 (IF) 2 階平面図

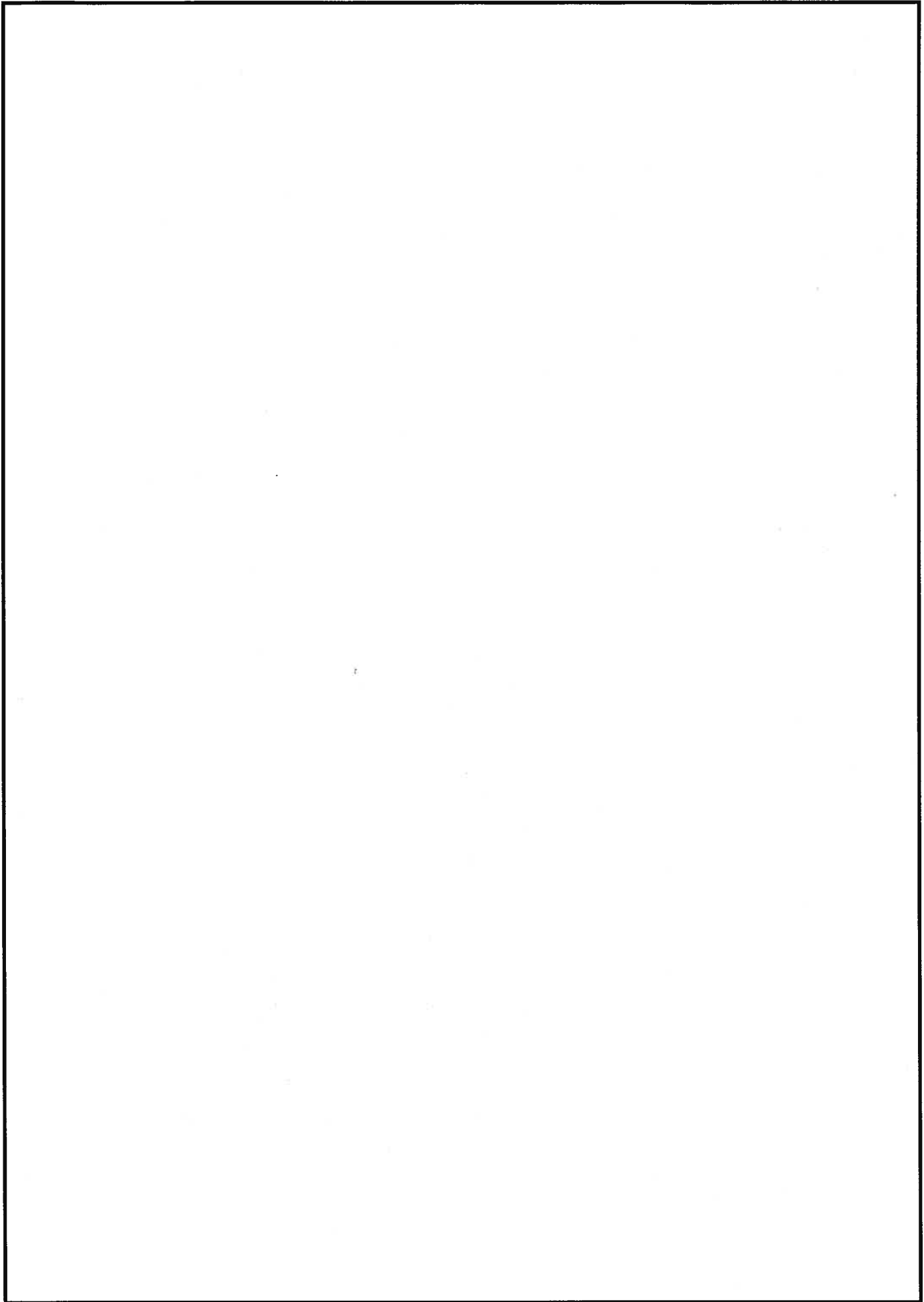


図 3-2 (156) 焼却施設 (IF) 3 階平面図

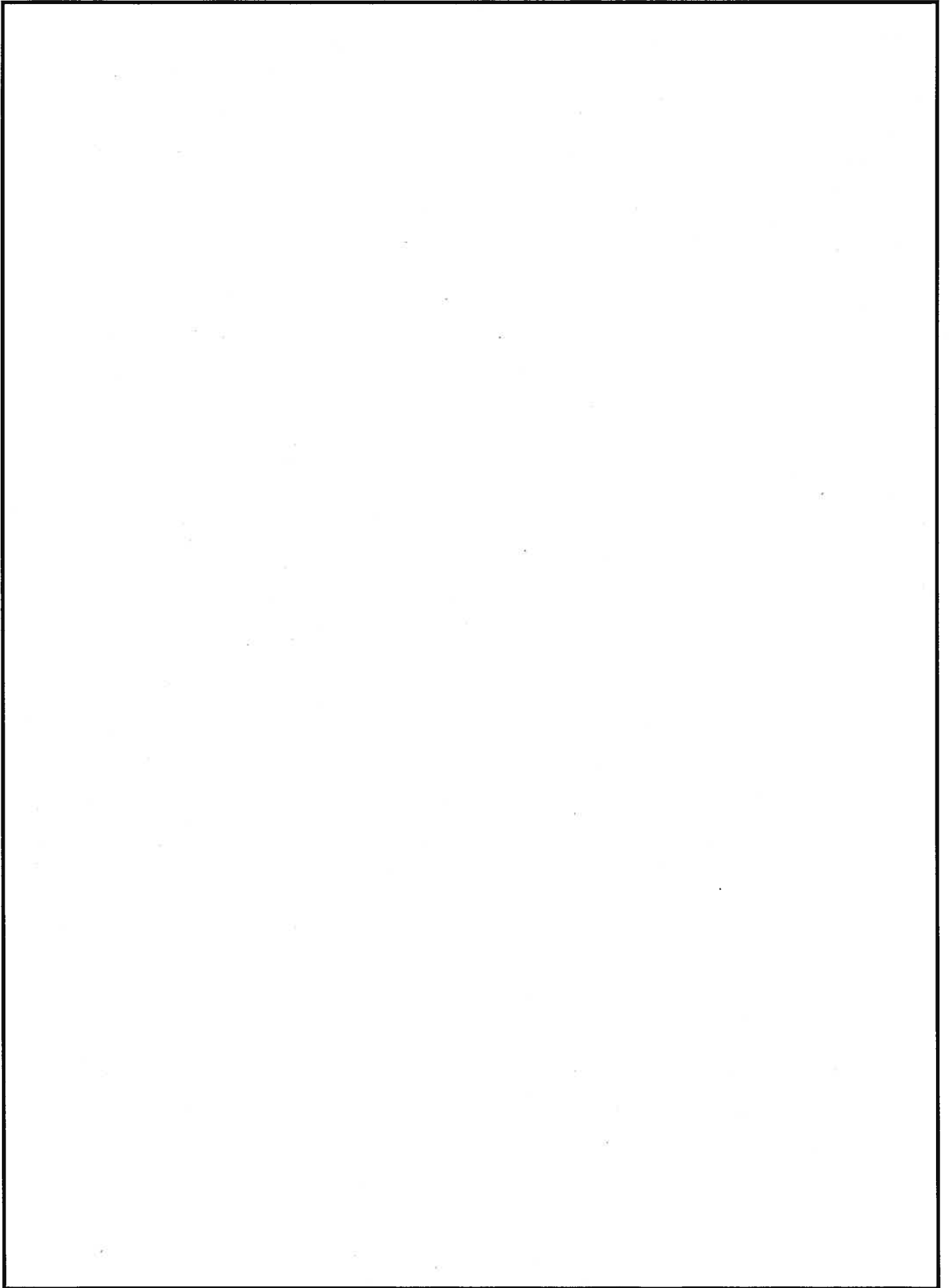


図 3-2 (157) 焼却施設 (IF) 4 階平面図

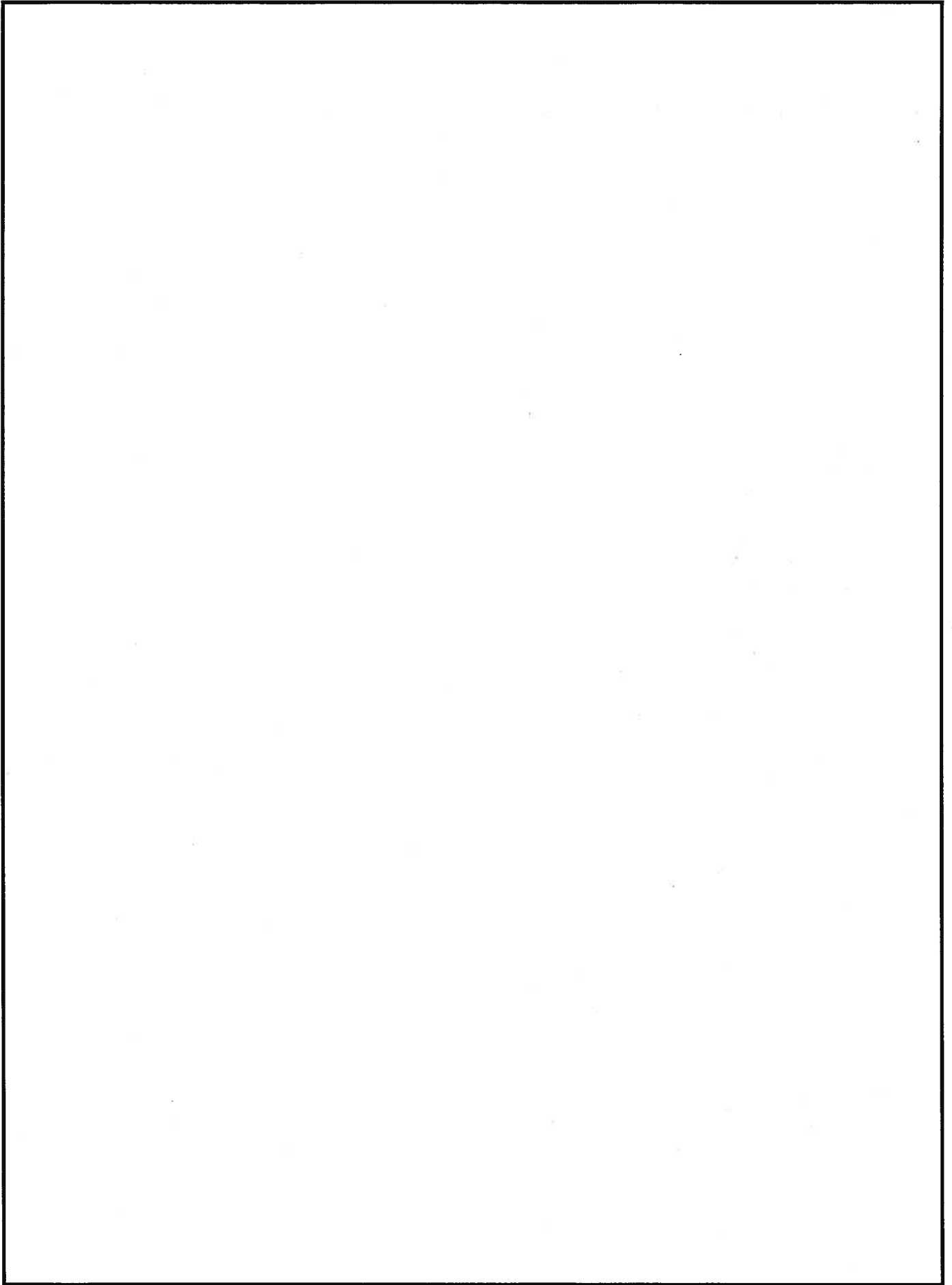


図 3-2 (158) 焼却施設 (IF) 5 階平面図

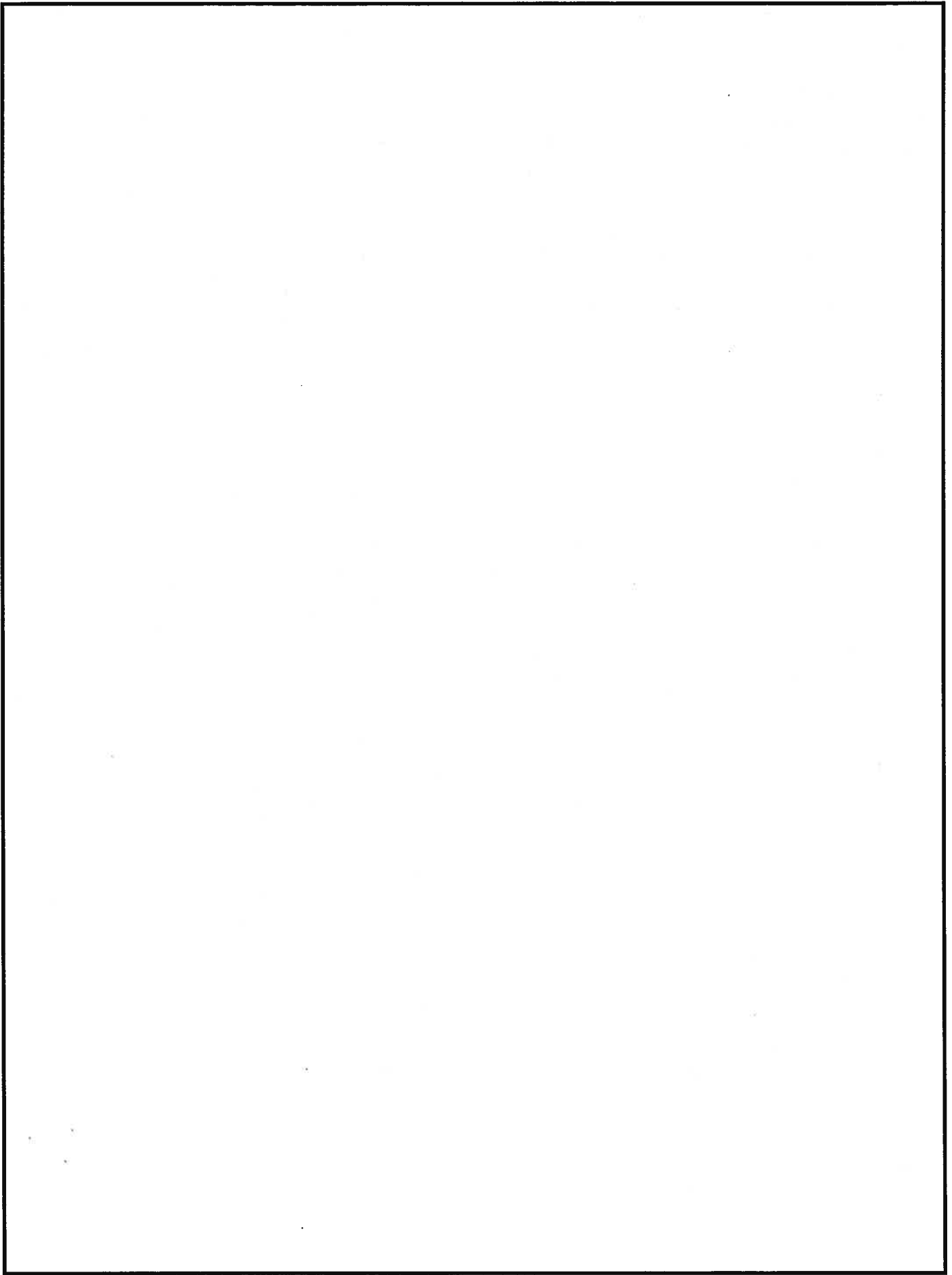


図 3-2 (159) 焼却施設 (IF) 屋上階平面図

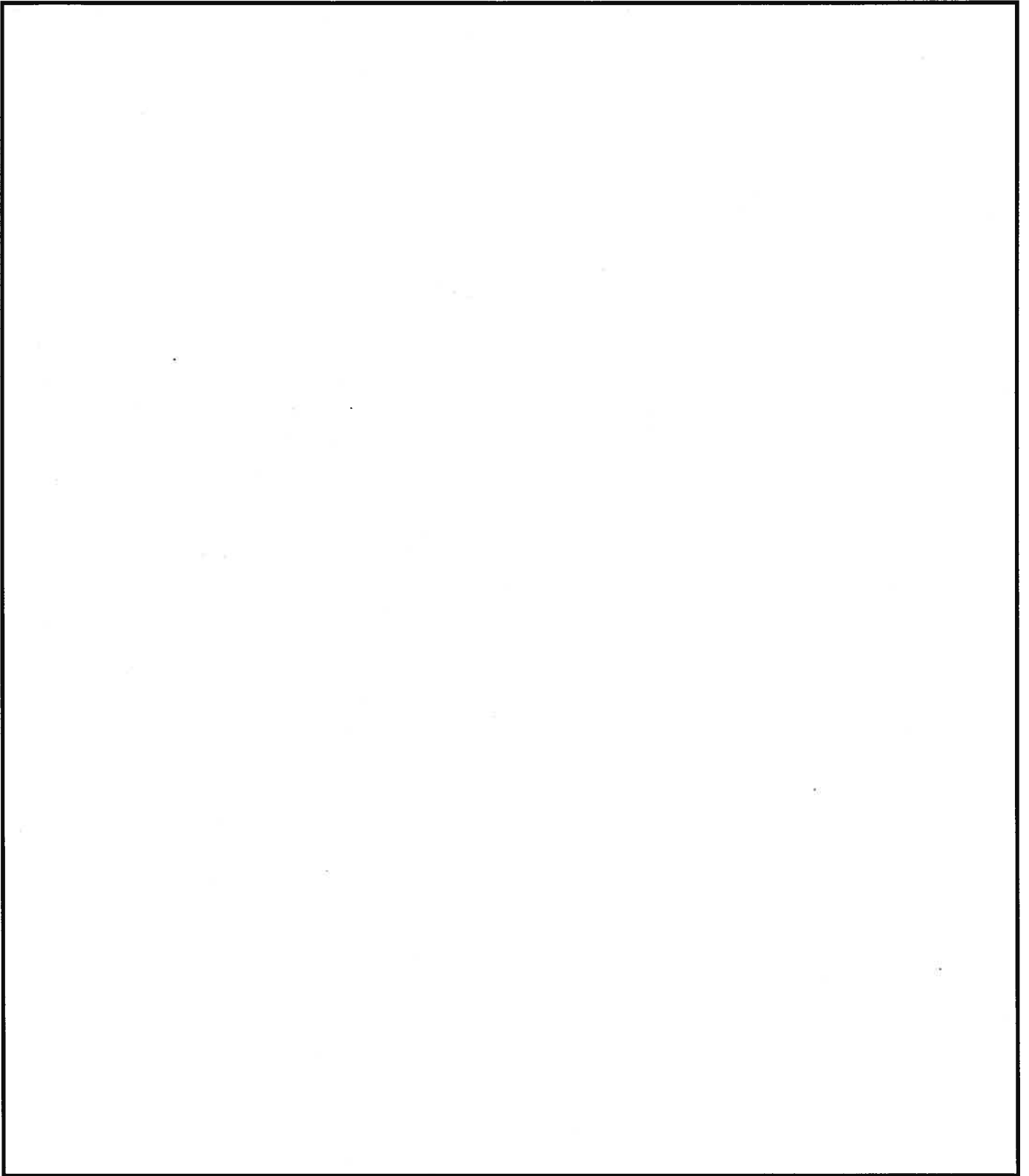


图 3-2 (160) 焼却施設 (IF) 断面図

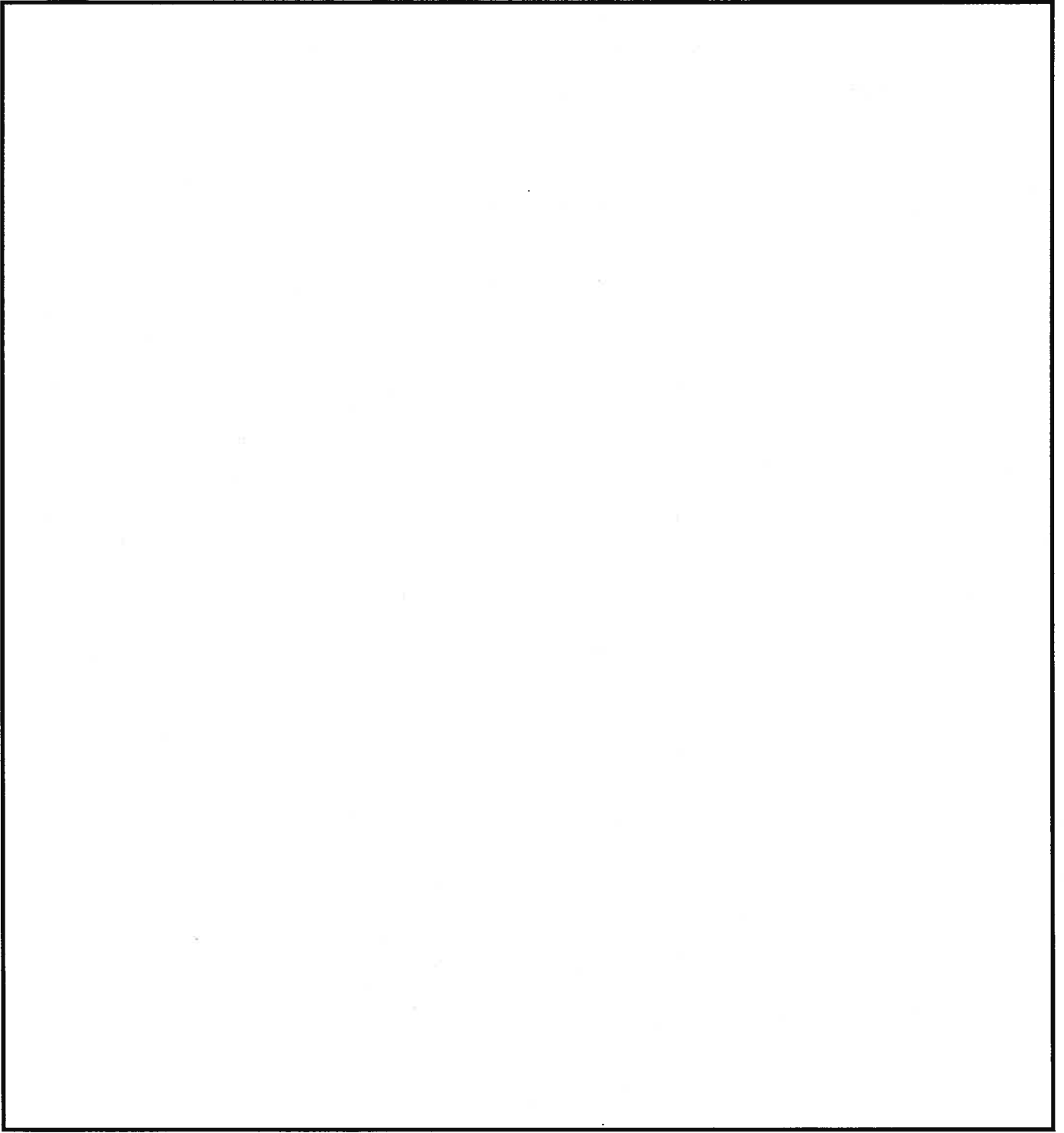


図 3-2 (161) 焼却施設 (IF) 断面図



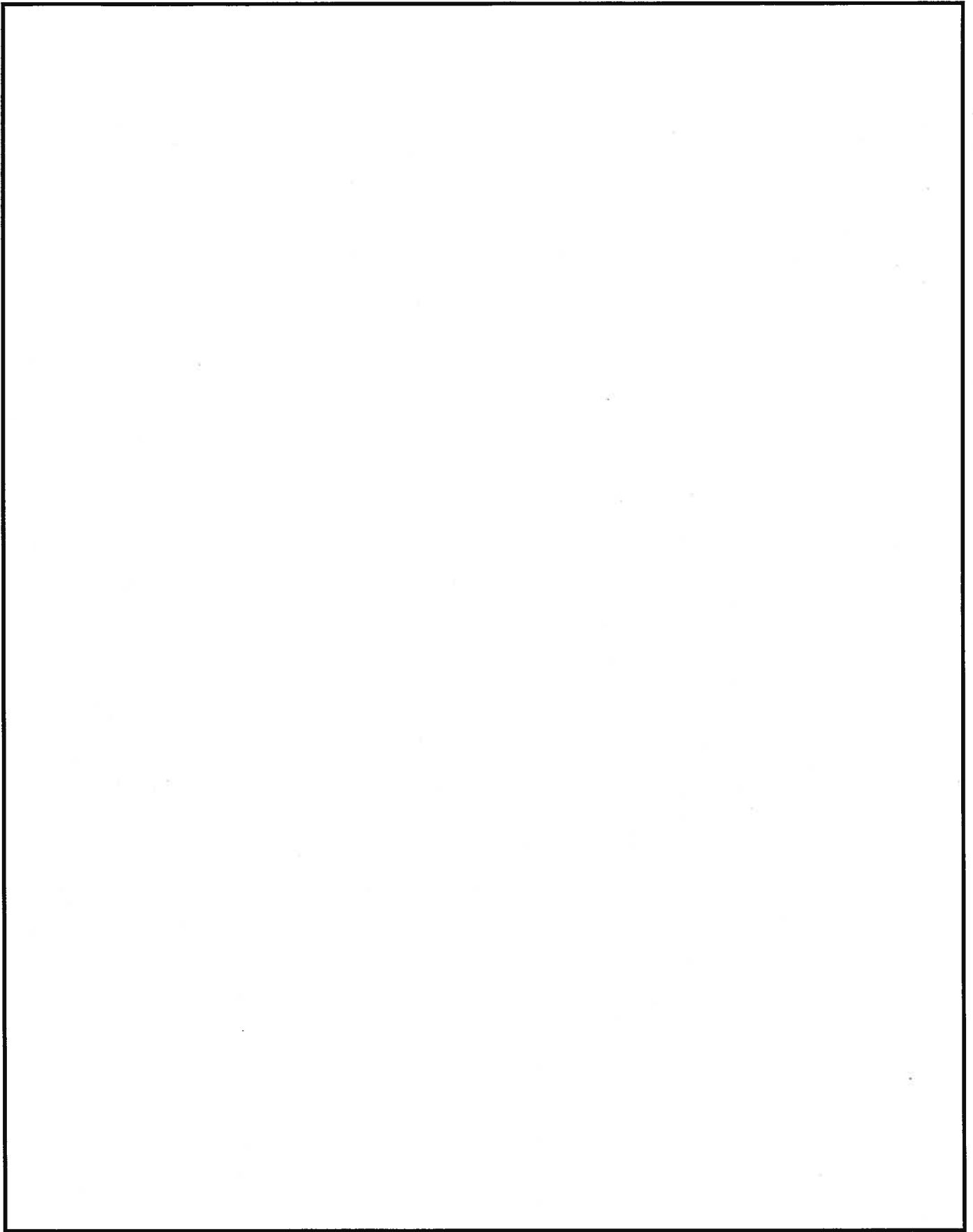


図 3-2 (162) 第三ウラン貯蔵所 (3U03) 1 階平面図

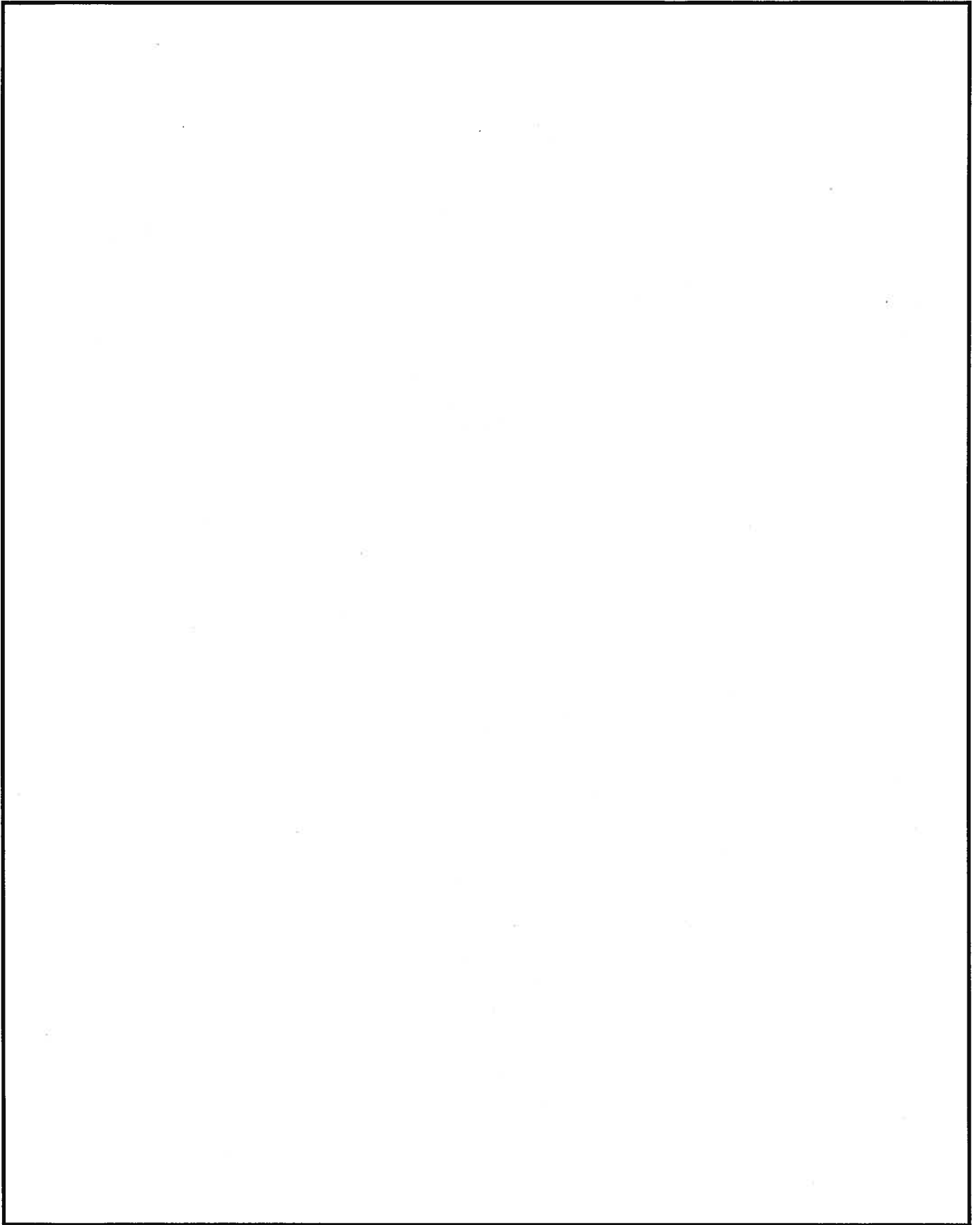


図 3-2 (163) 第三ウラン貯蔵所 (3U03) 2 階平面図

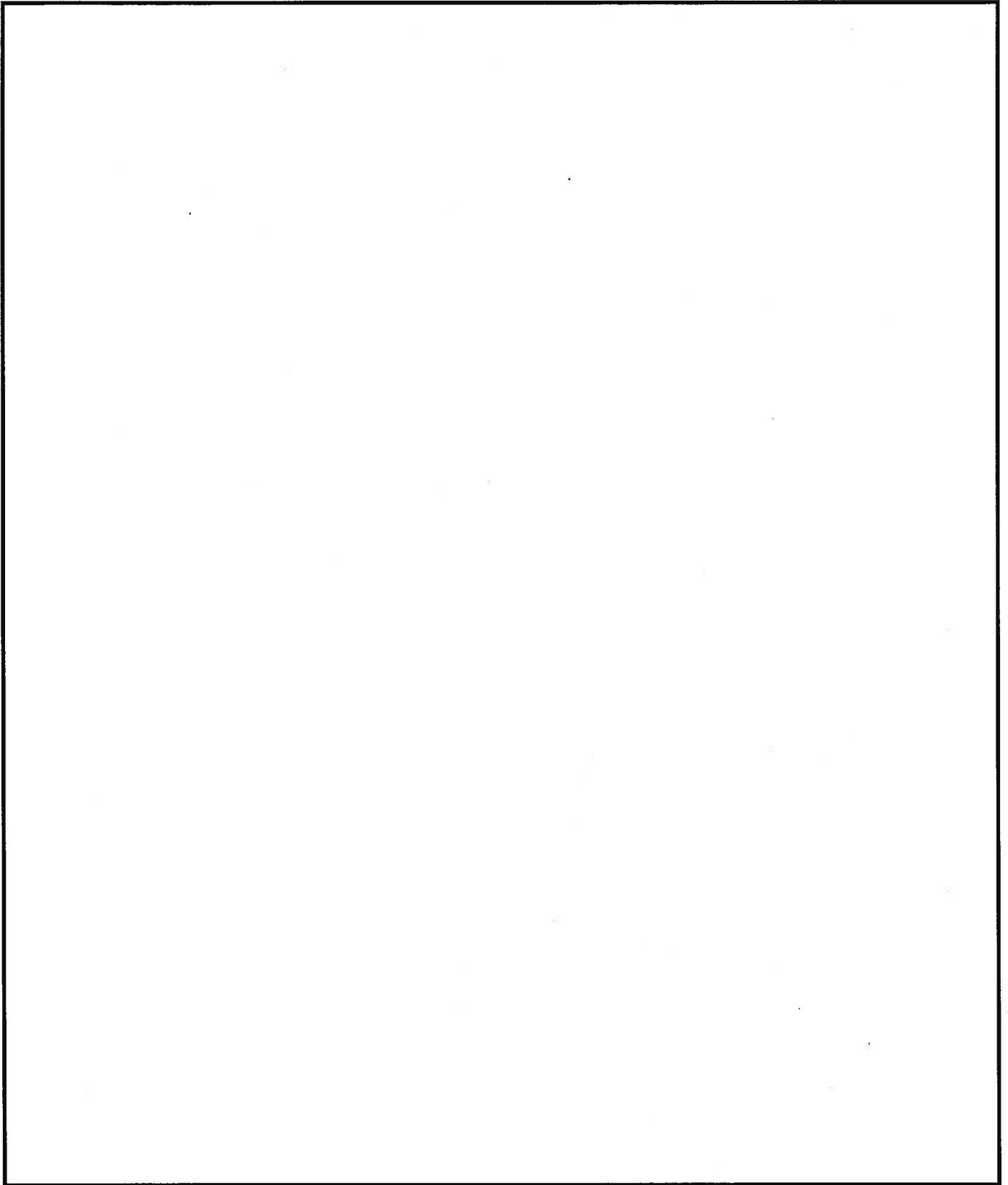


図 3-2 (164) リサイクル機器試験施設 (RETF) 地下 2 階平面図

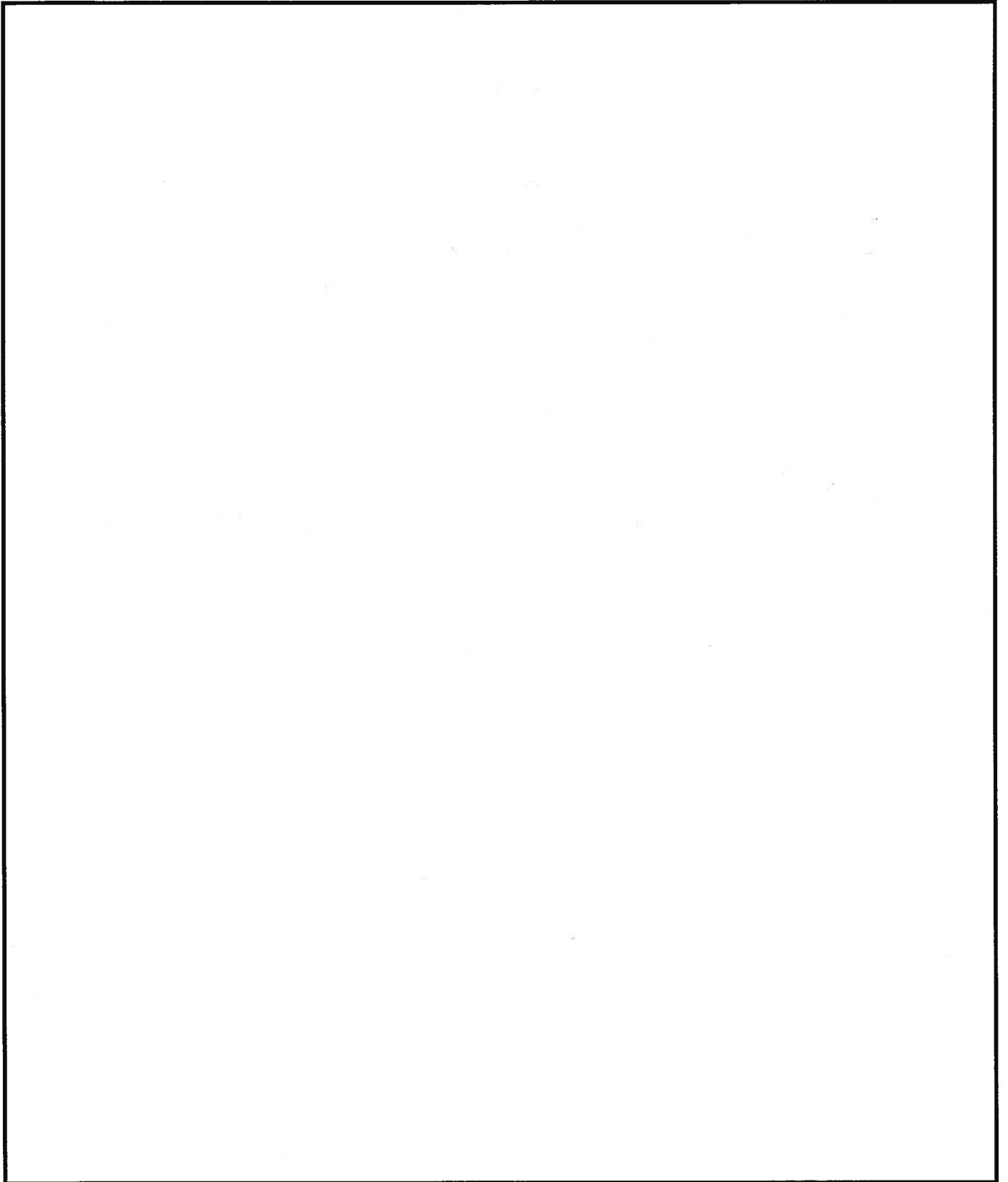


図 3-2 (165) リサイクル機器試験施設 (RETF) 地下 1 階平面図

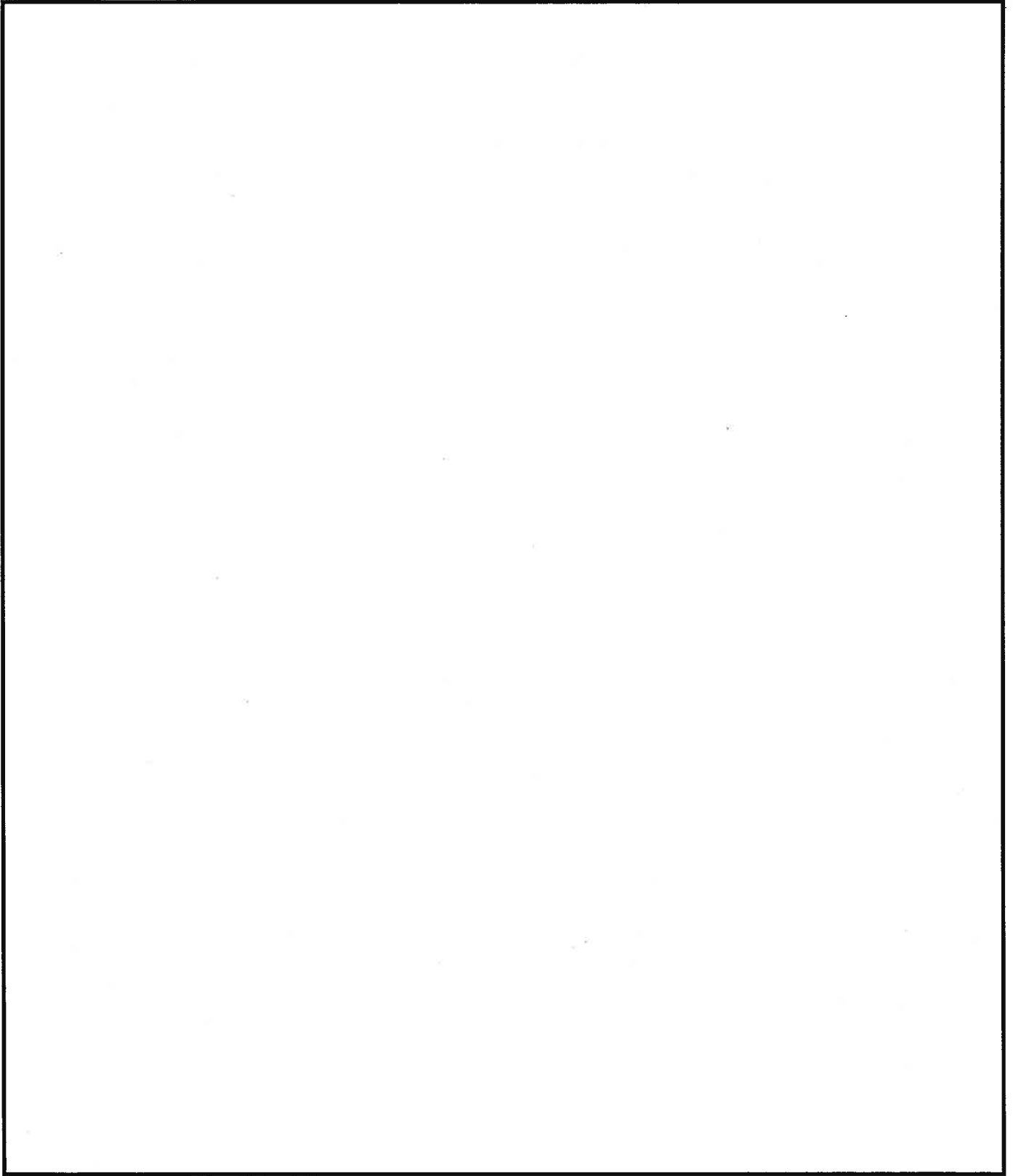


図 3-2 (166) リサイクル機器試験施設 (RETF) 1 階平面図

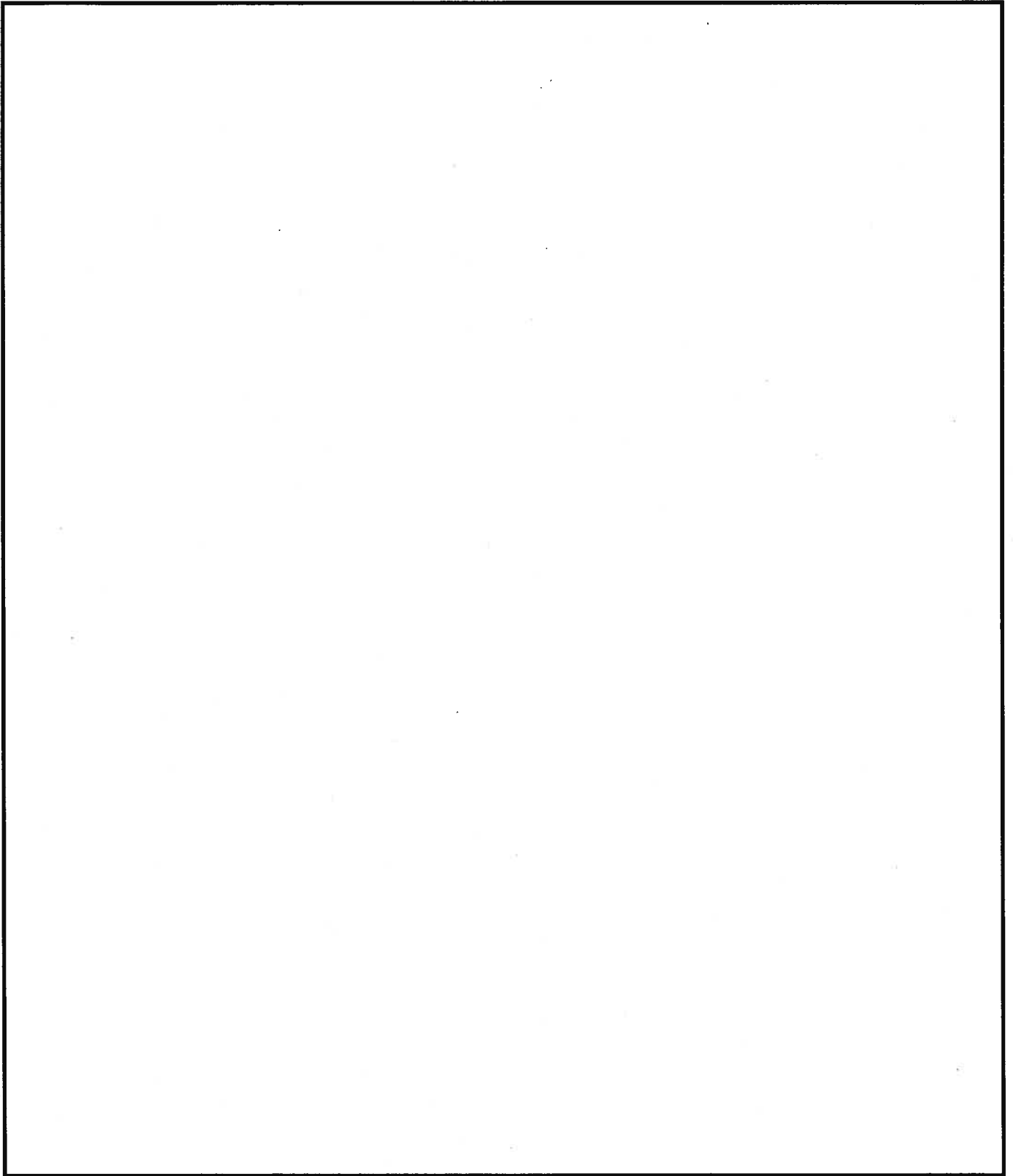


図 3-2 (167) リサイクル機器試験施設 (RETF) 2 階平面図

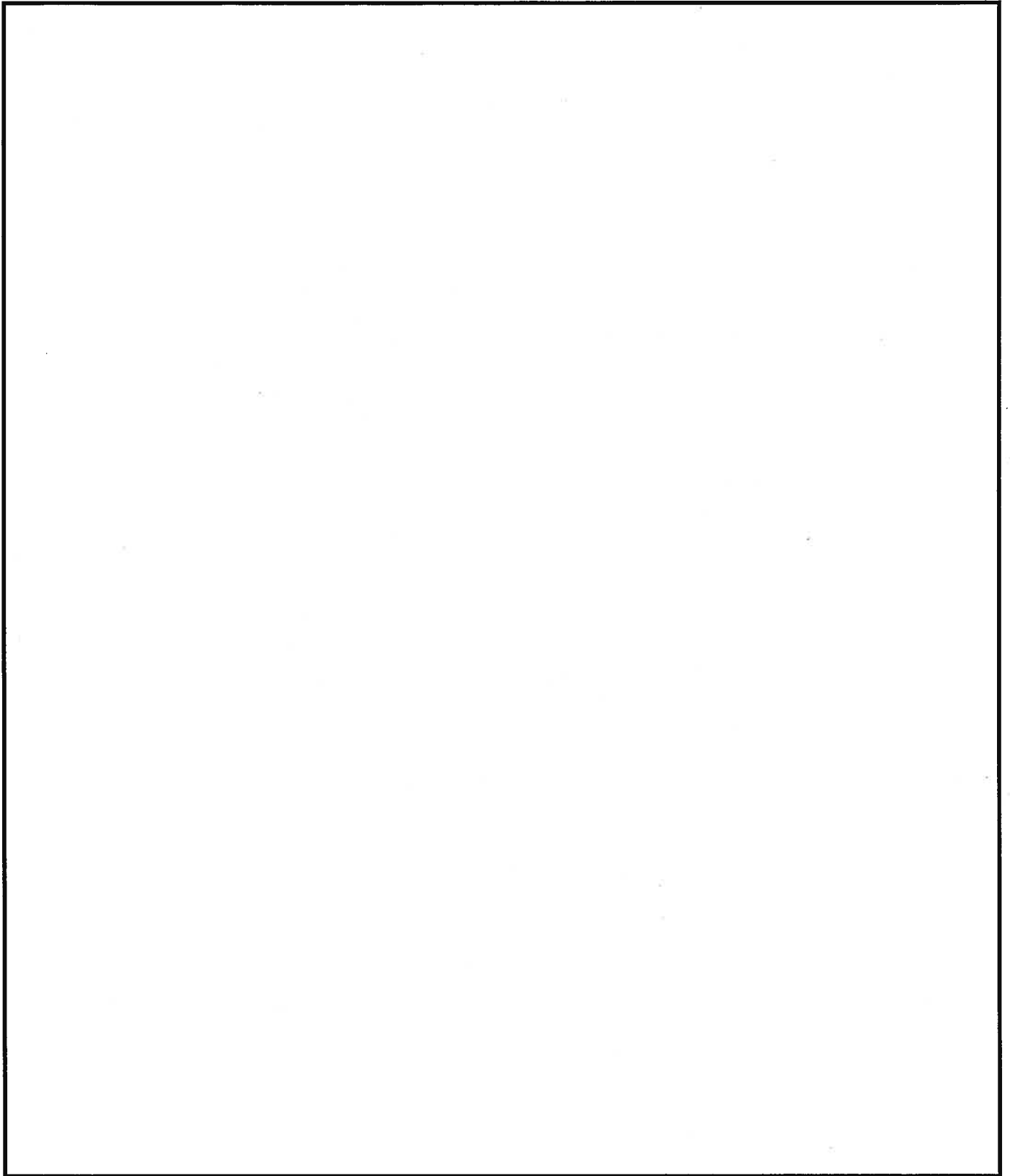


図 3-2 (168) リサイクル機器試験施設 (RETF) 3 階平面図

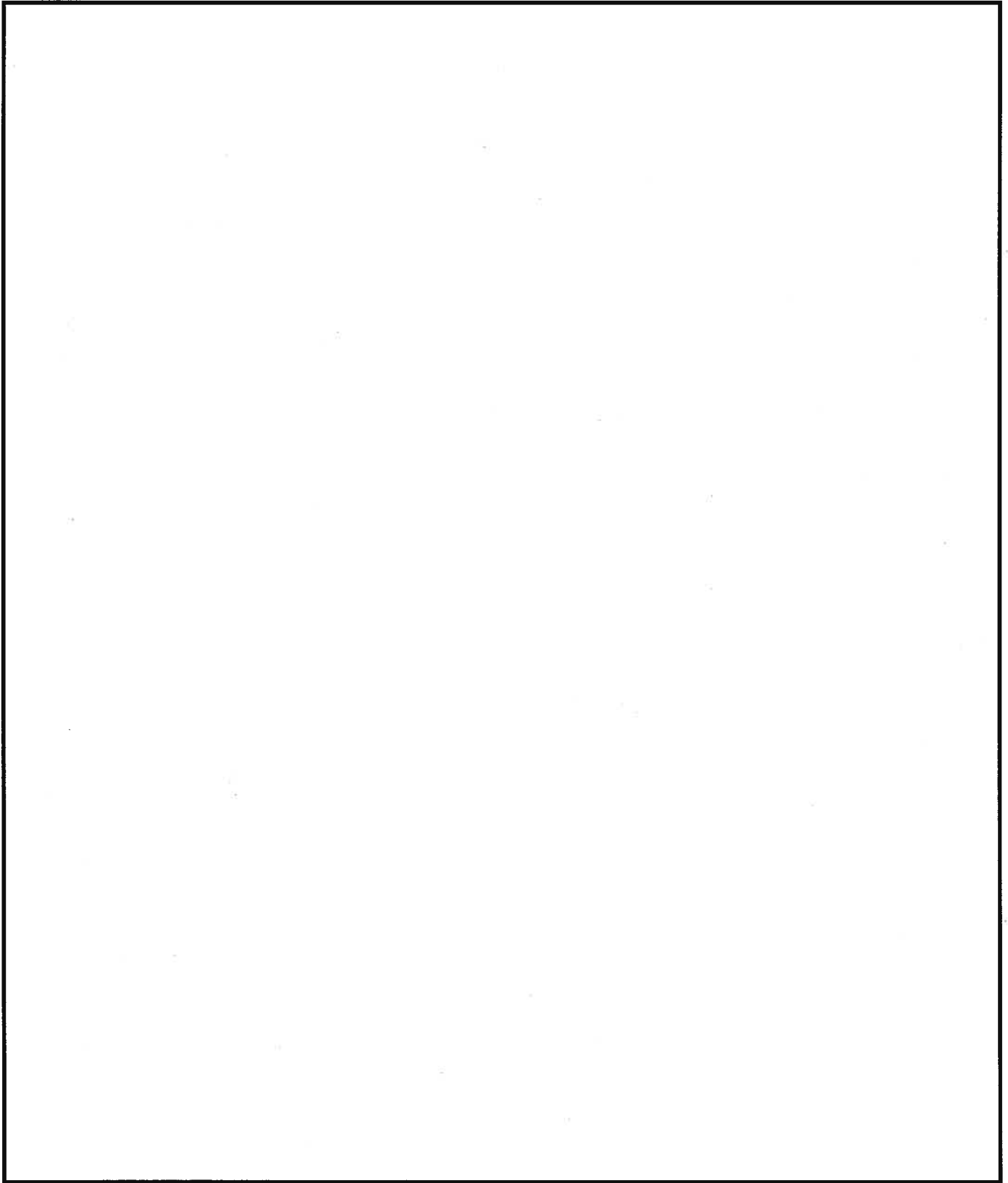


図 3-2 (169) リサイクル機器試験施設 (RETF) 4 階平面図



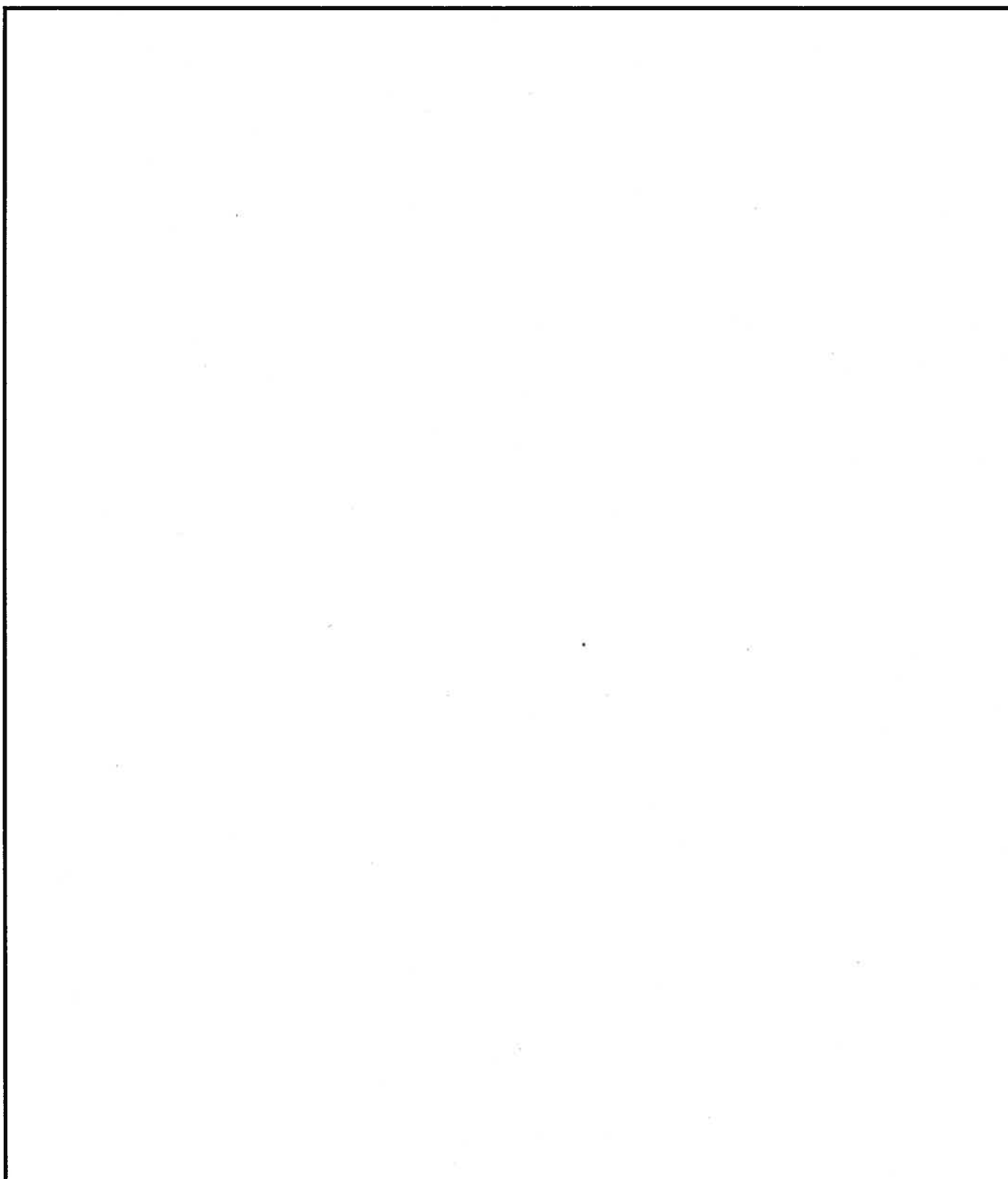


図 3-2 (170) リサイクル機器試験施設 (RETF) 5 階平面図

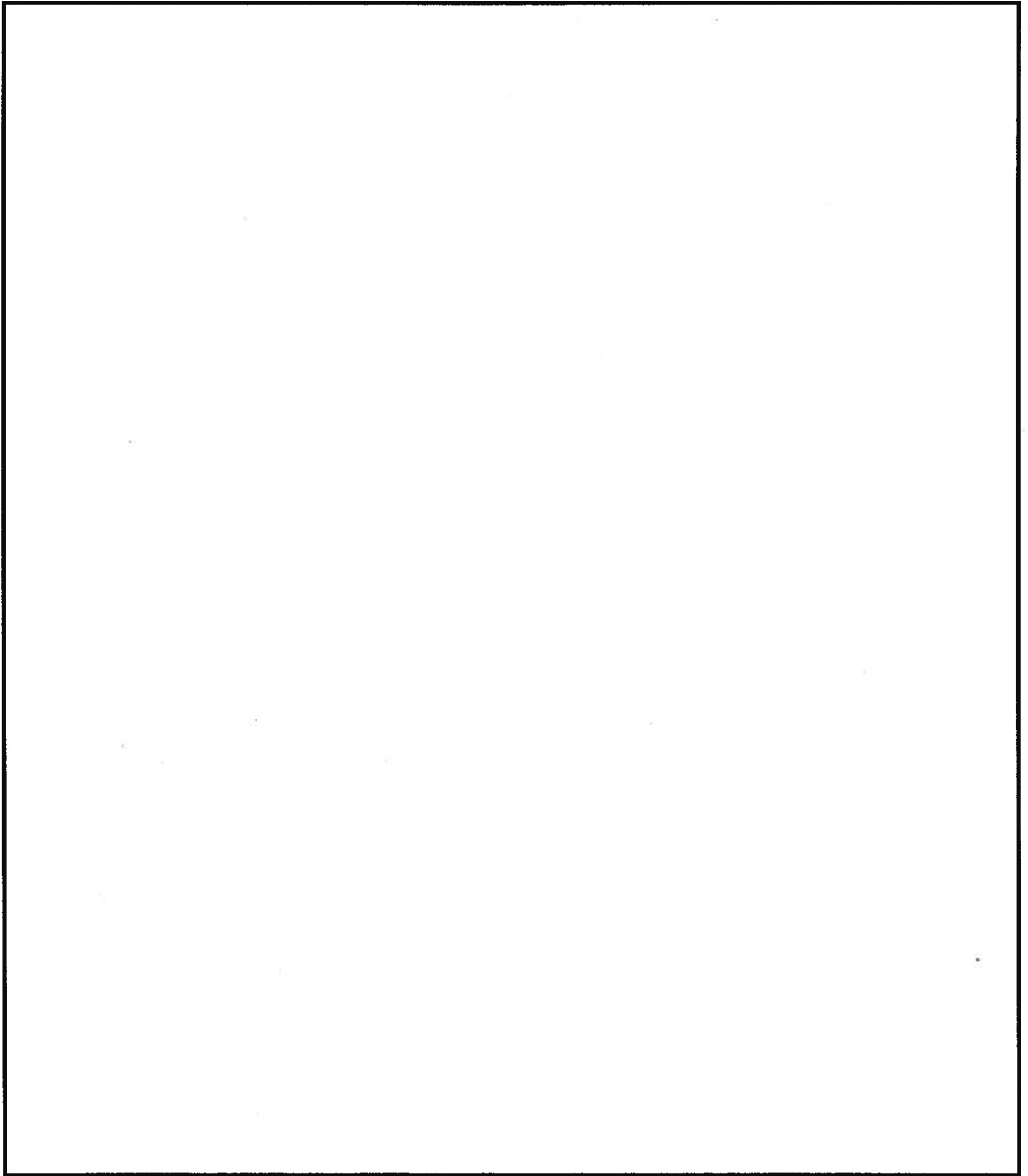


図 3-2 (171) リサイクル機器試験施設 (RETF) 6 階平面図

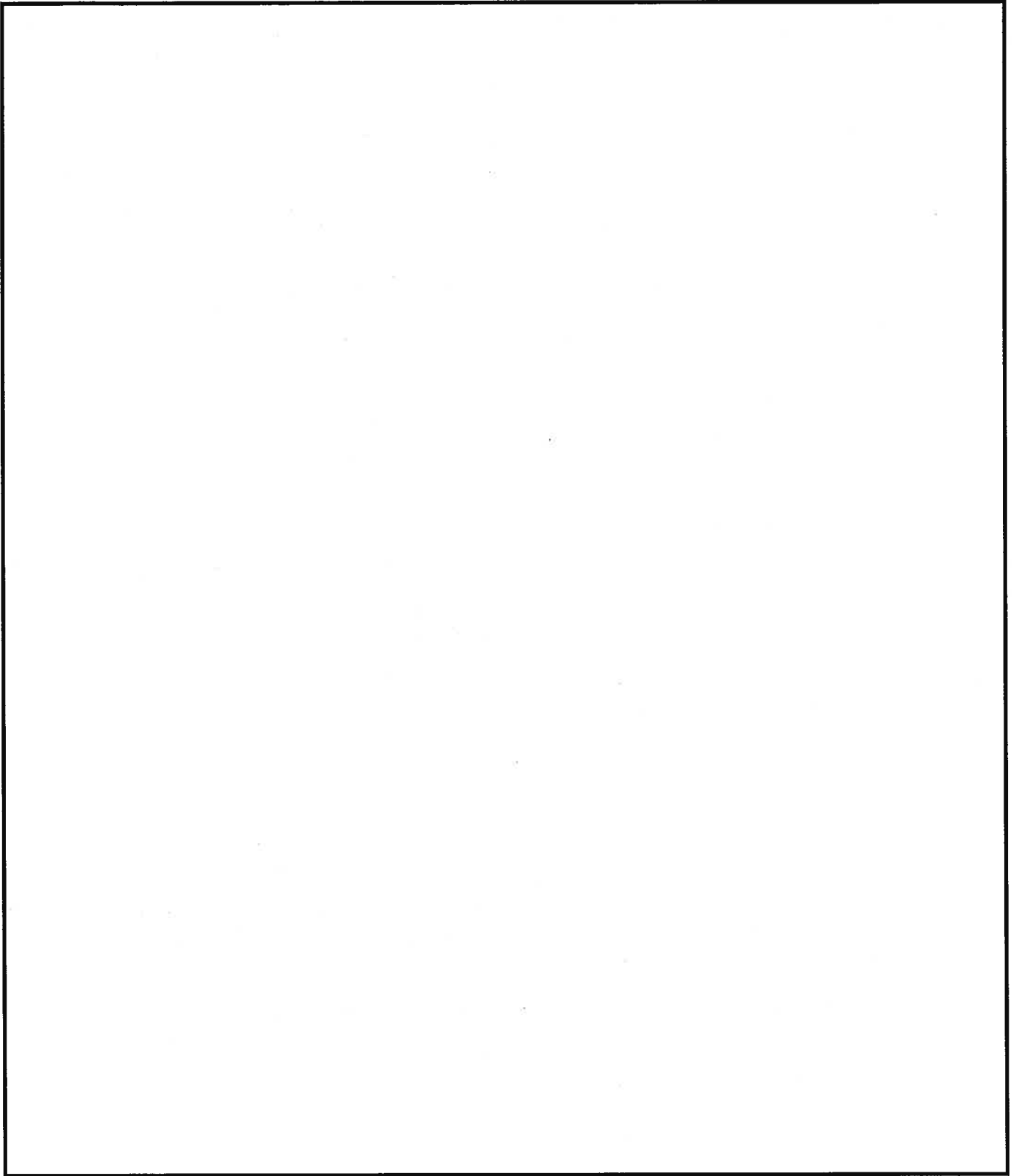


図 3-2 (172) リサイクル機器試験施設 (RETF) 断面図

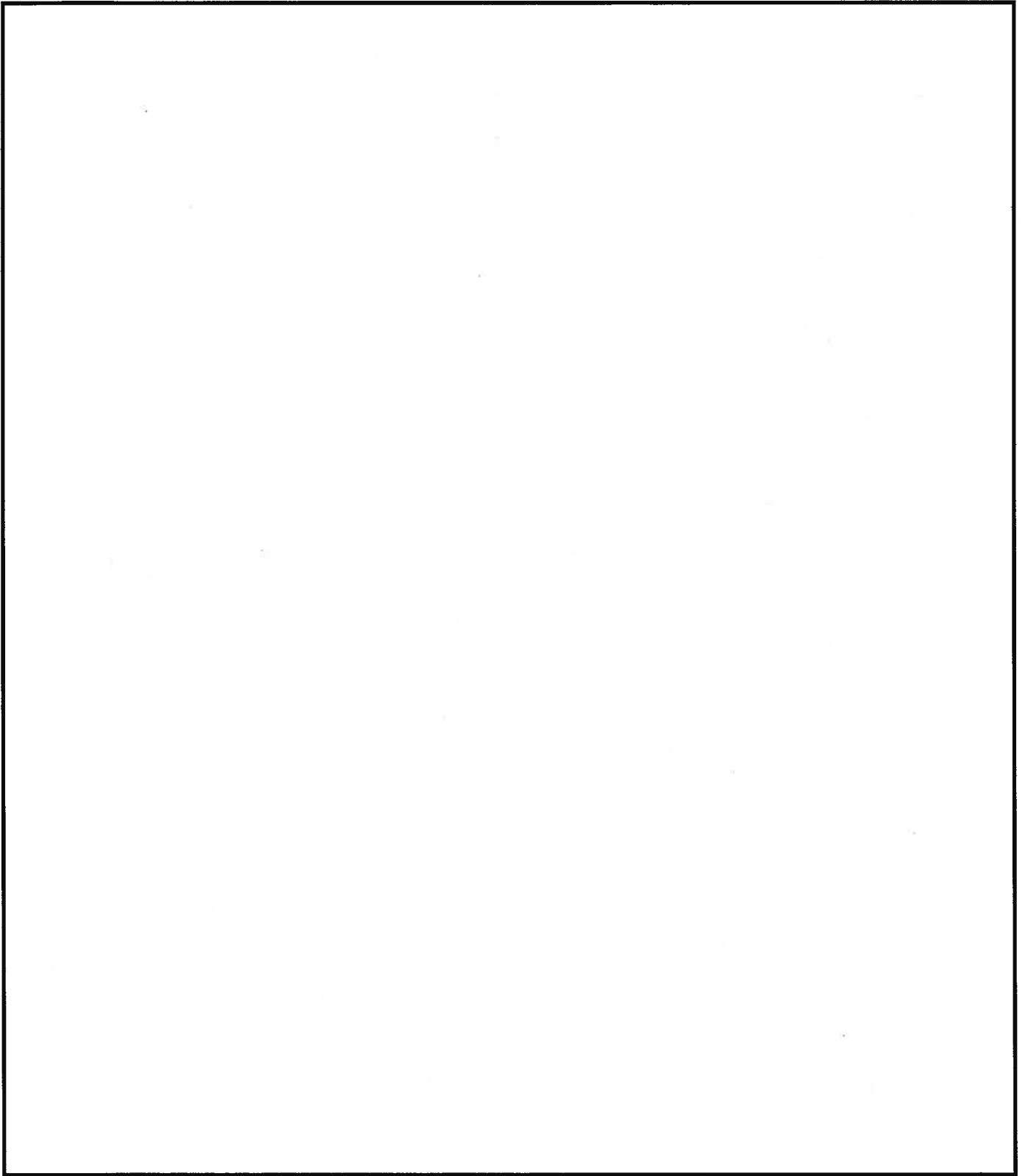


図 3-2 (173) リサイクル機器試験施設 (RETF) 断面図

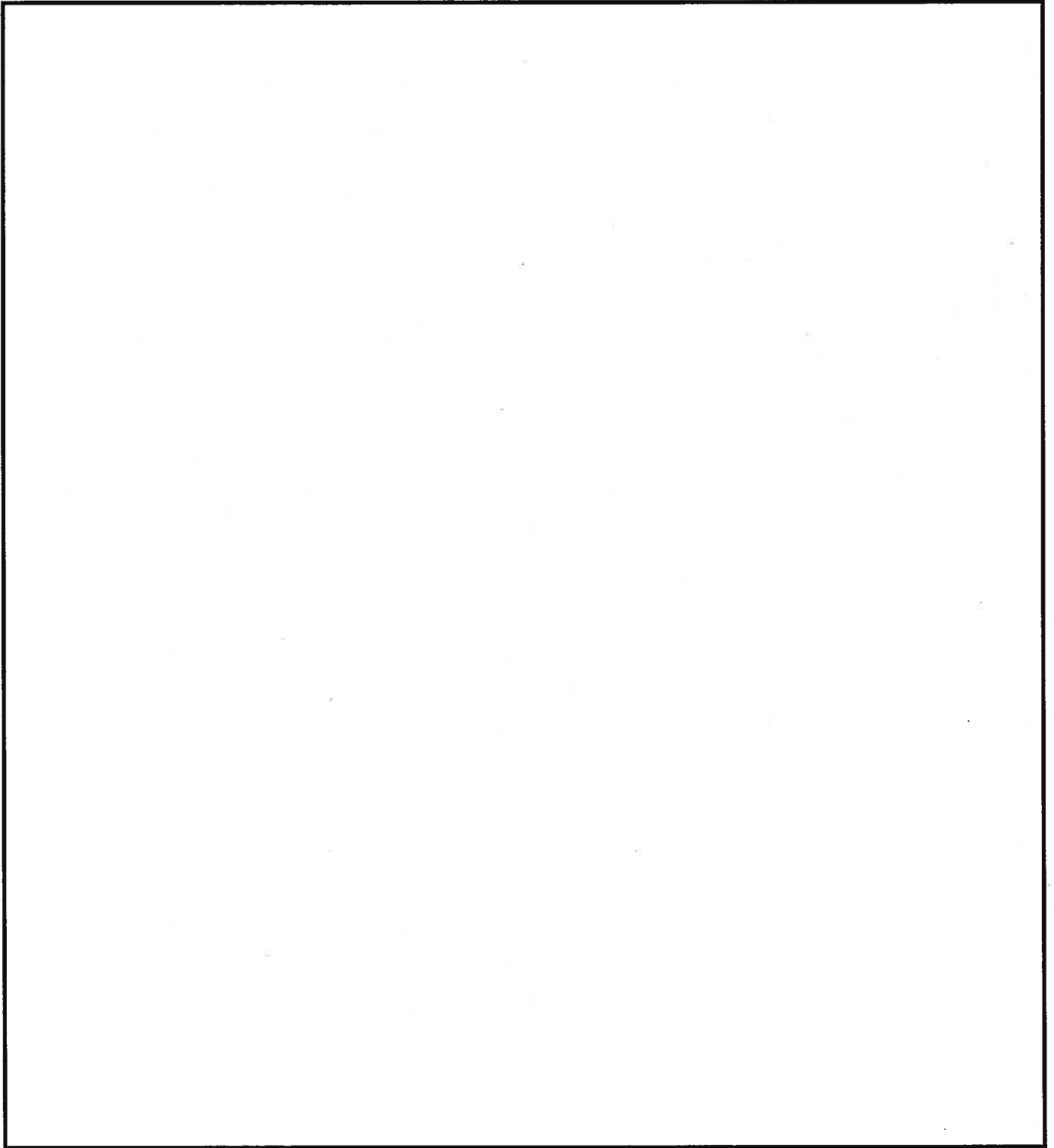


図 3-2 (174) リサイクル機器試験施設 (RETF) 断面図

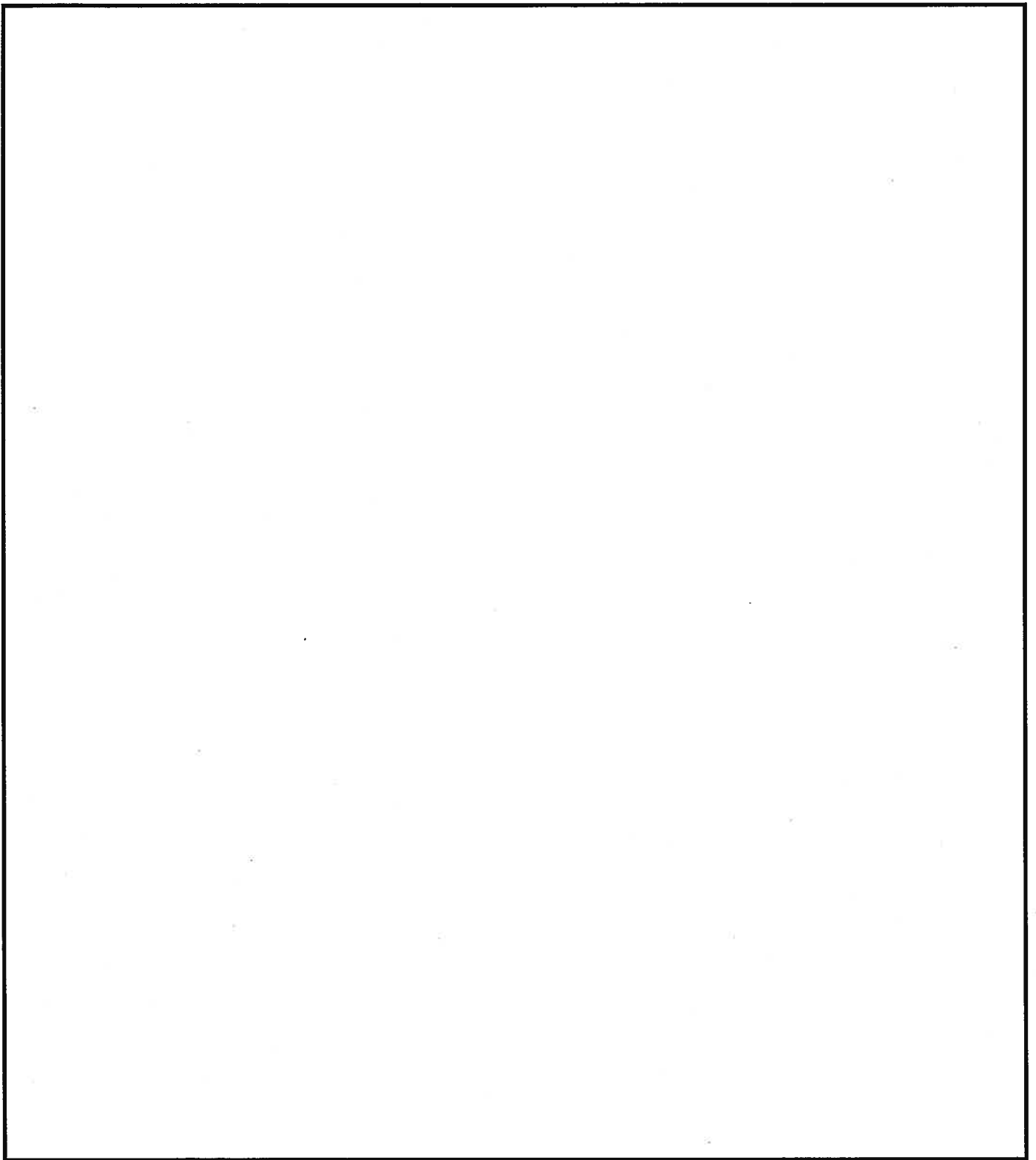


図 3-2 (175) リサイクル機器試験施設 (RETF) 断面図

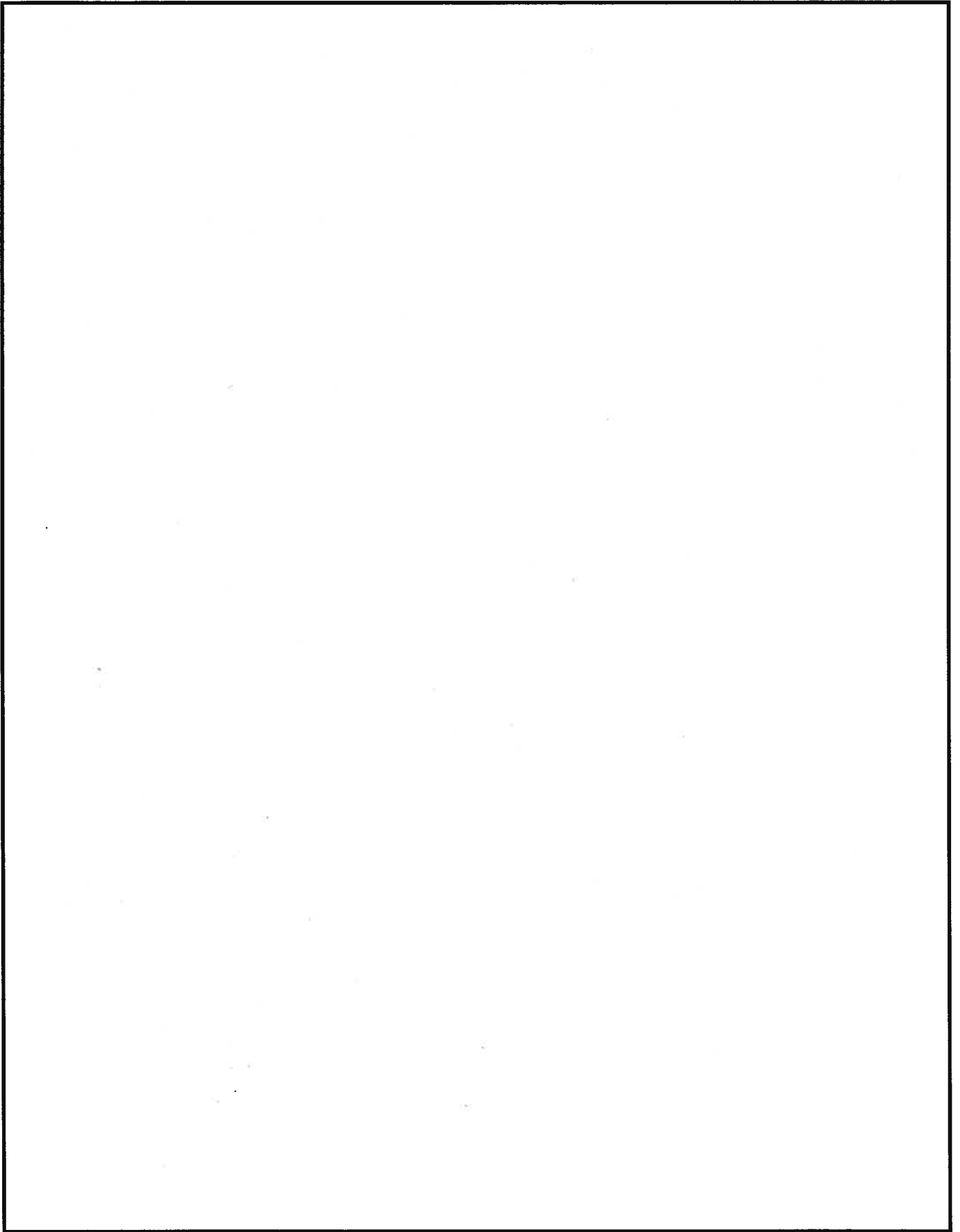


図3-2 (176) ユーティリティ施設 (UC) 地下ピット平面図 (1/2)

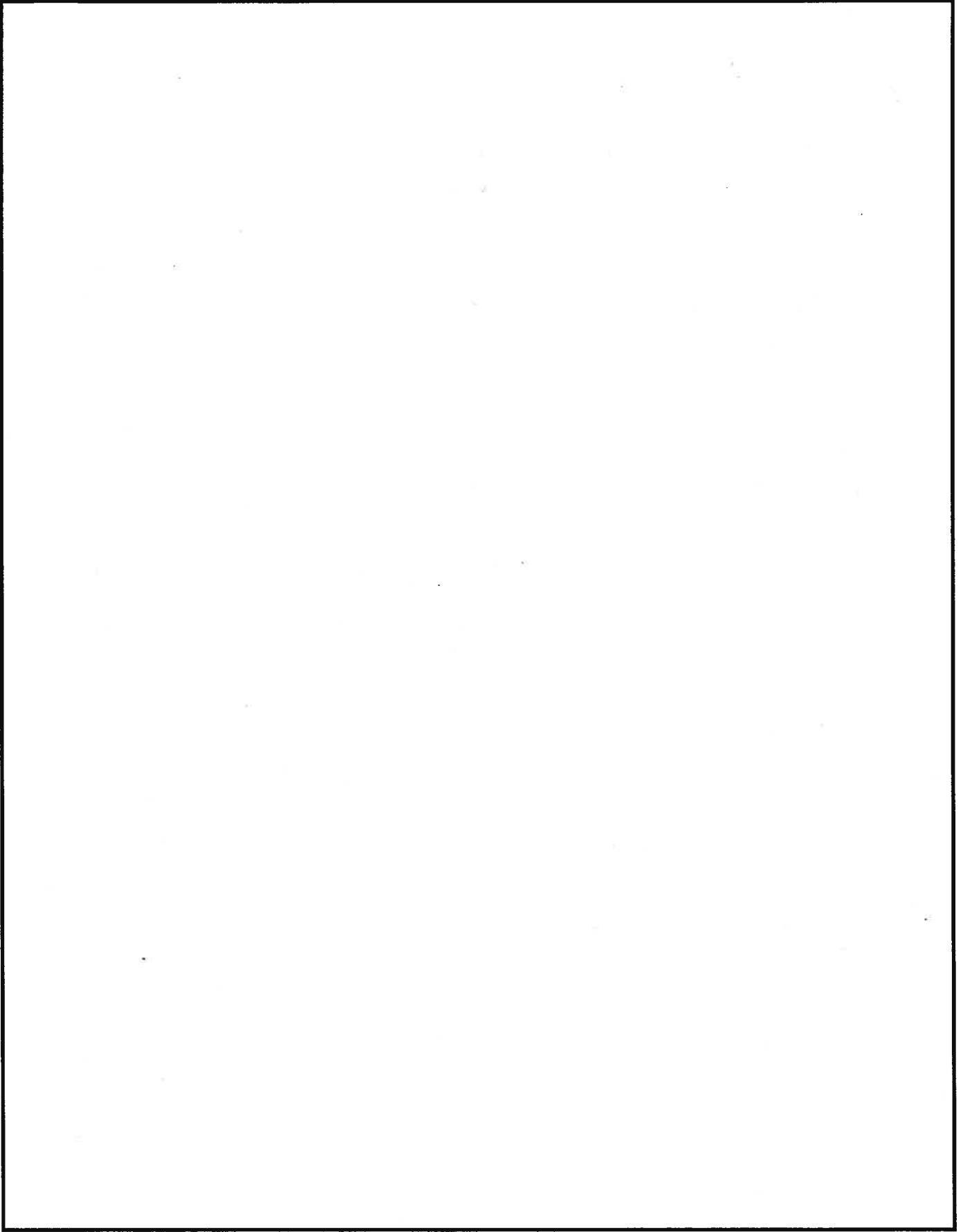


図 3-2 (177) ユーティリティ施設 (UC) 地下ピット平面図 (2/2)



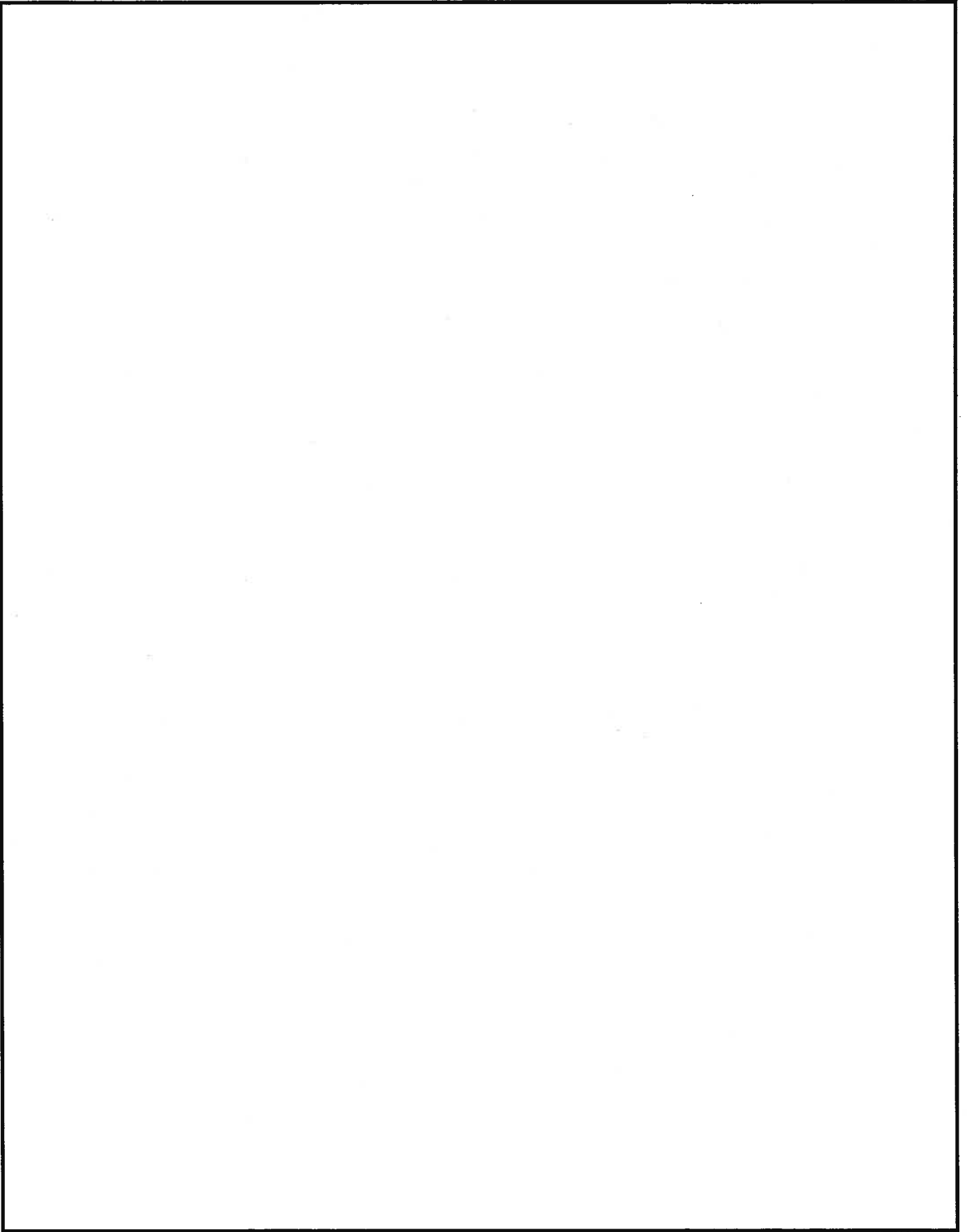


図 3-2 (178) ユーティリティ施設 (UC) 1 階平面図

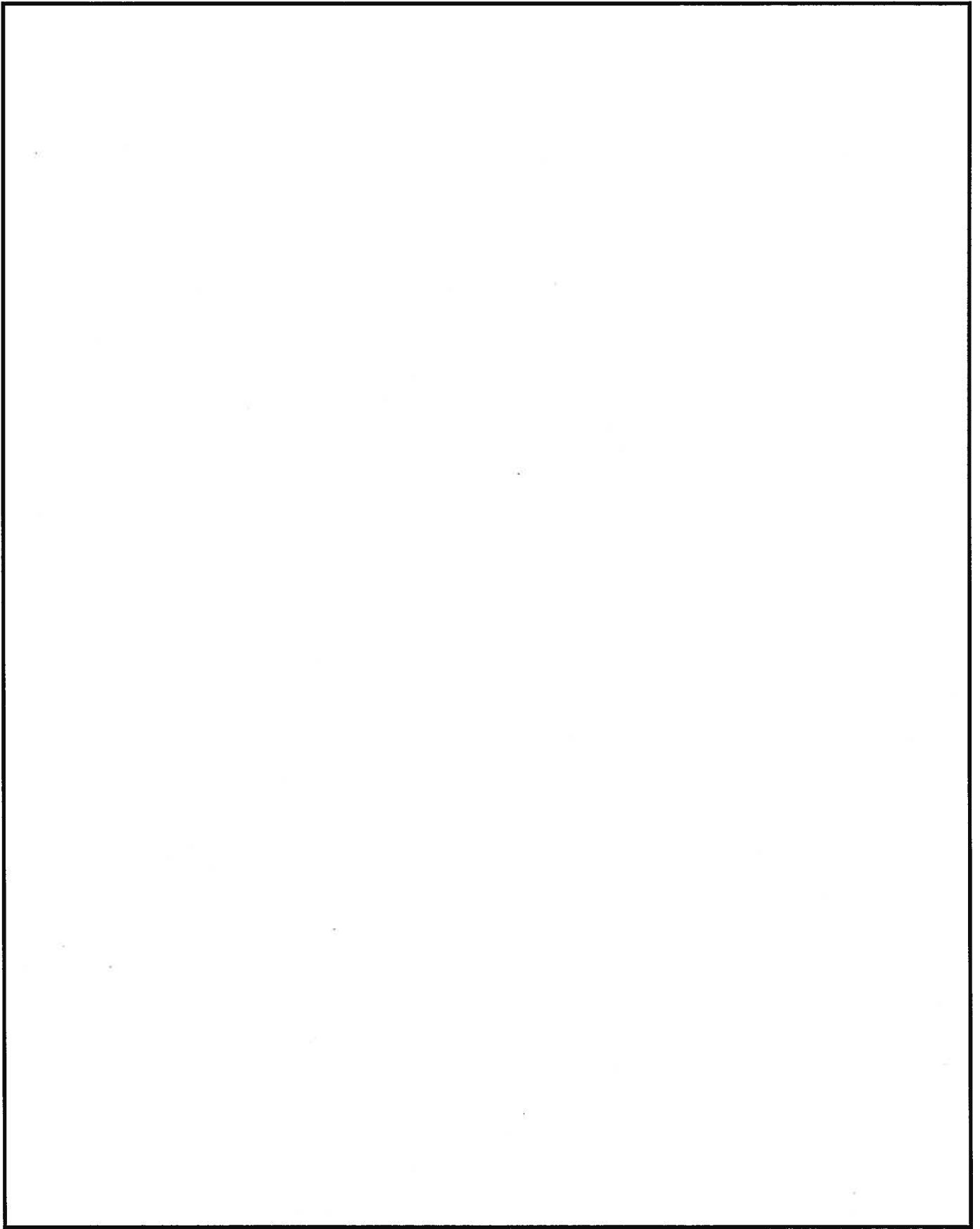


図 3-2 (179) ユーティリティ施設 (UC) 2 階平面図

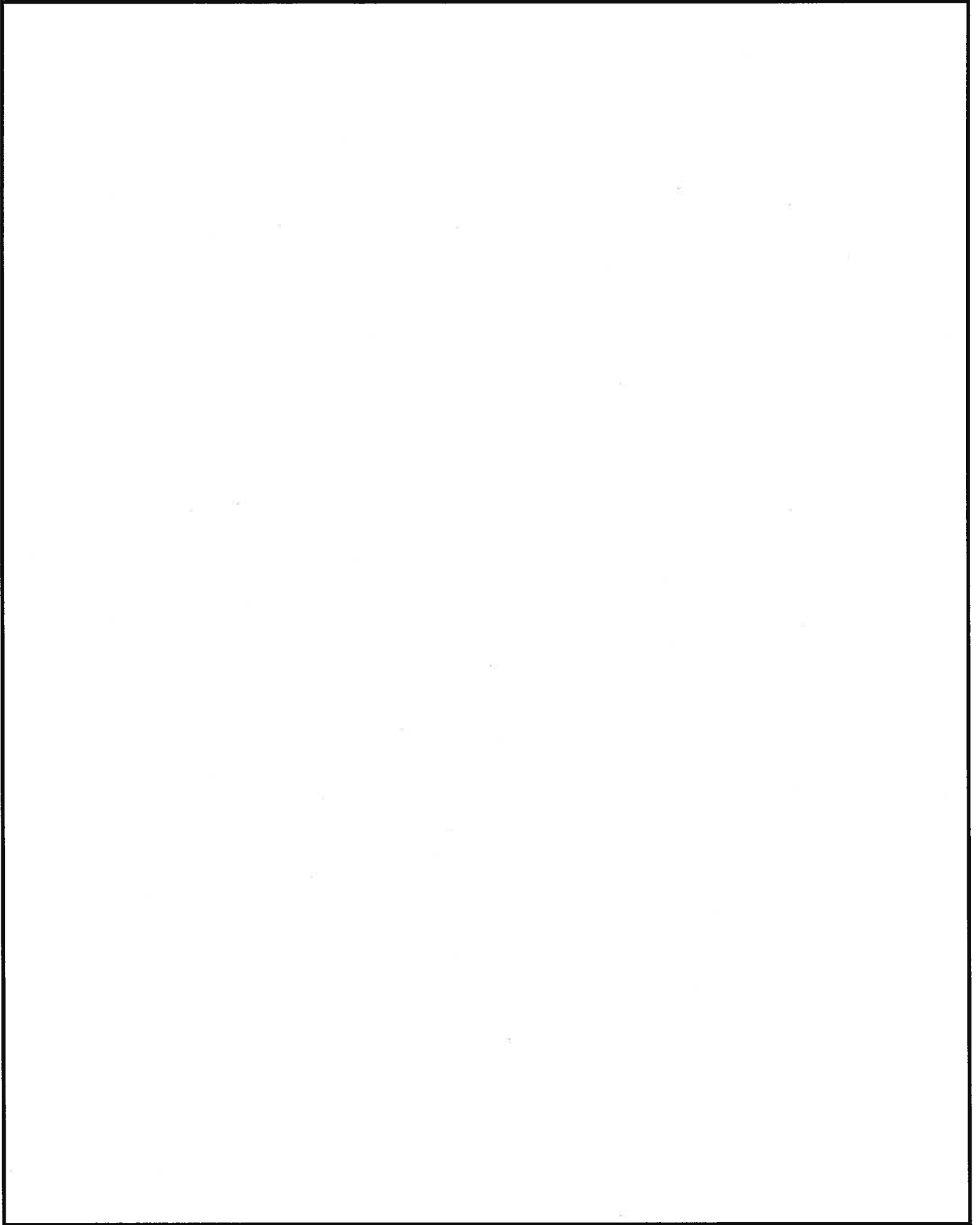


図 3-2 (180) ユーティリティ施設 (UC) 3 階平面図

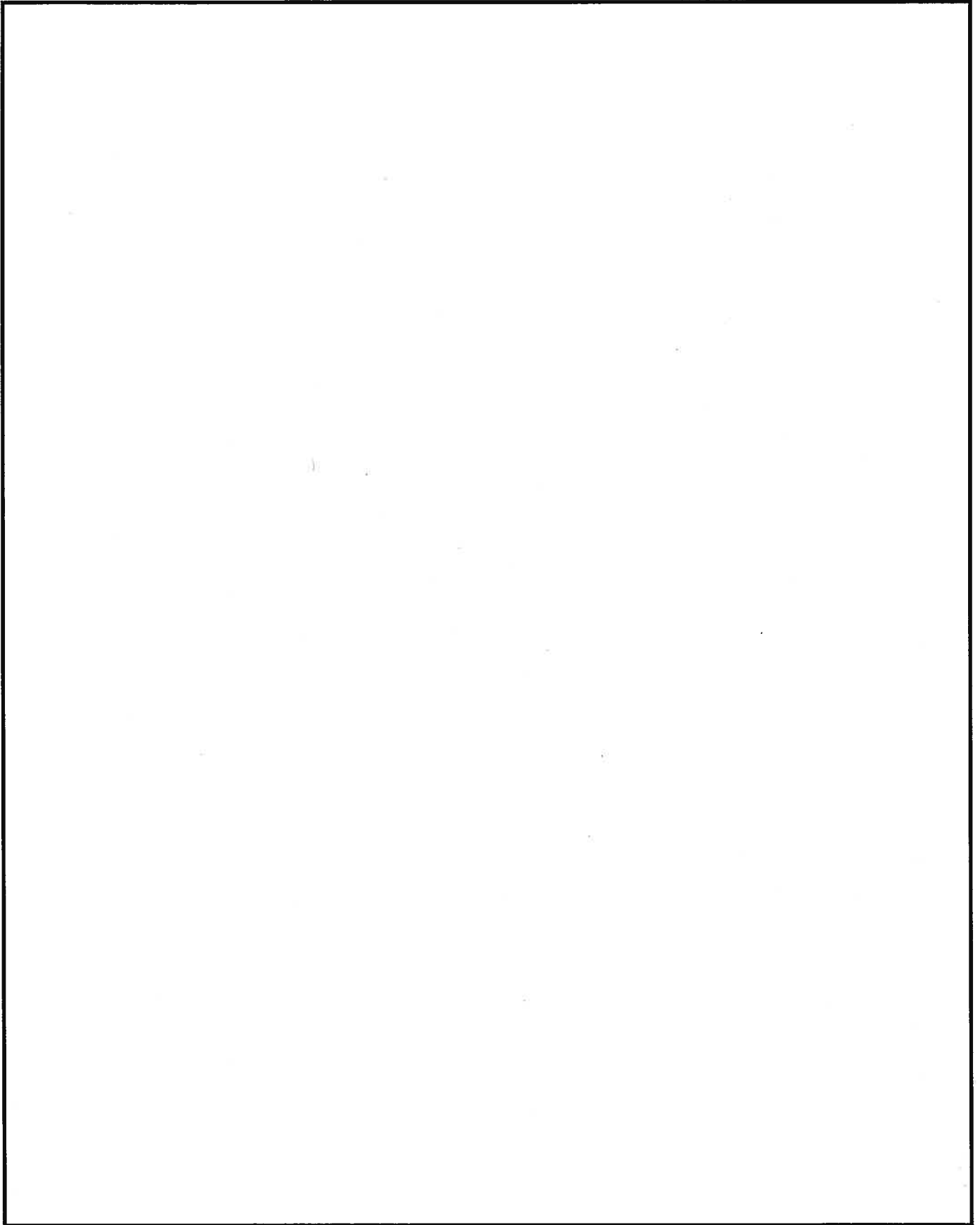


図 3-2 (181) ユーティリティ施設 (UC) 4 階平面図

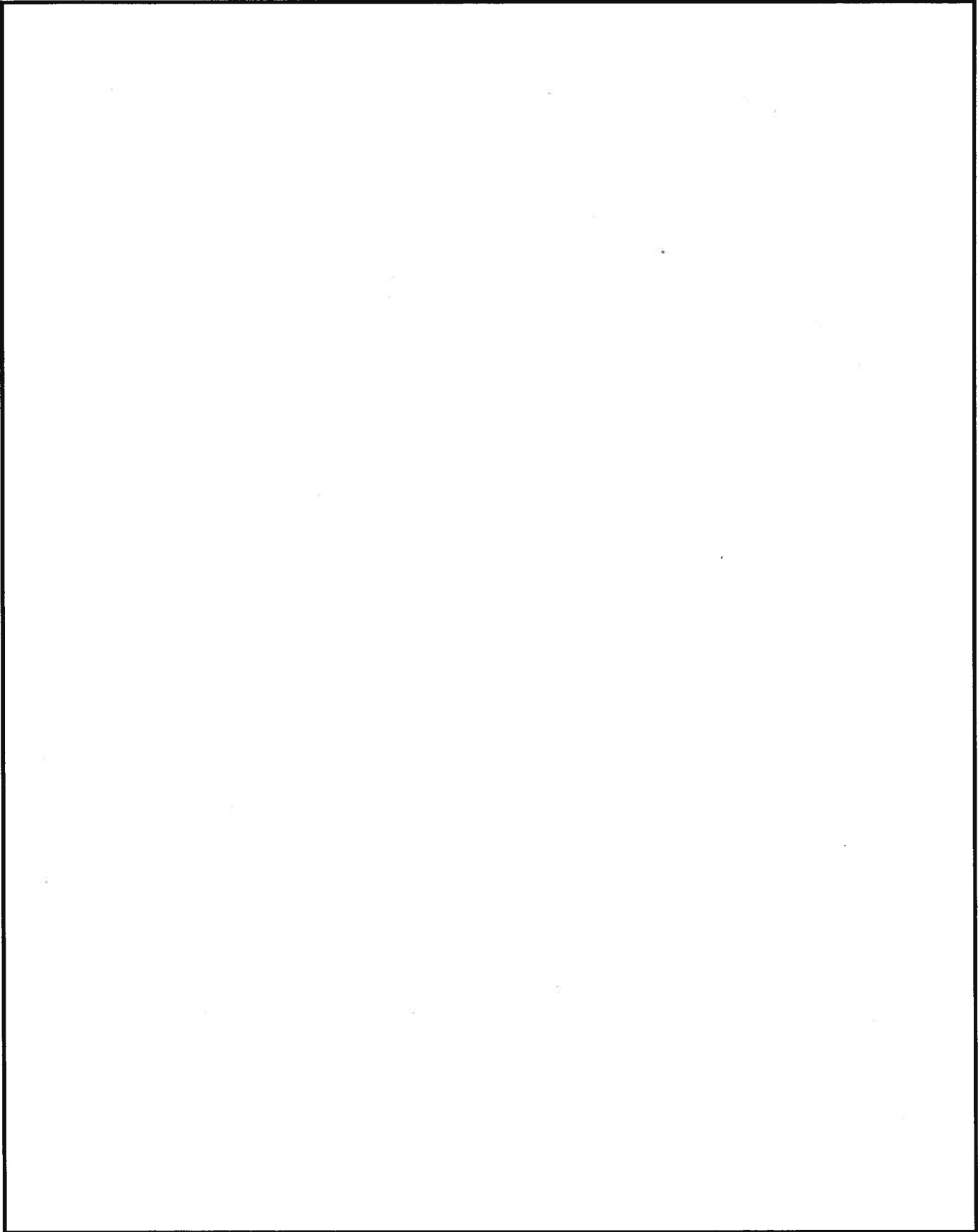


図 3-2 (182) ユーティリティ施設 (UC) 5 階平面図

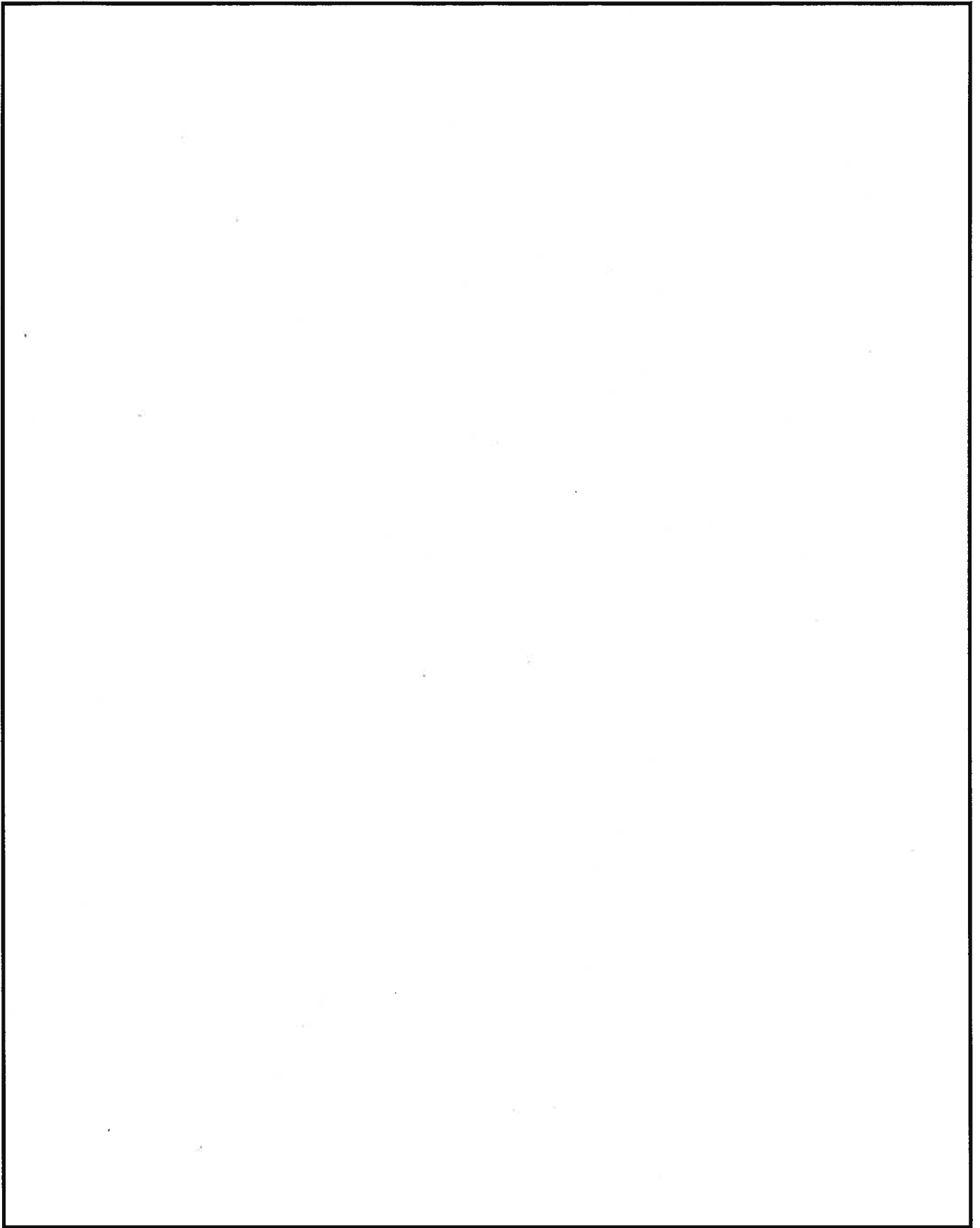


図 3-2 (183) ユーティリティ施設 (UC) 屋上階平面図

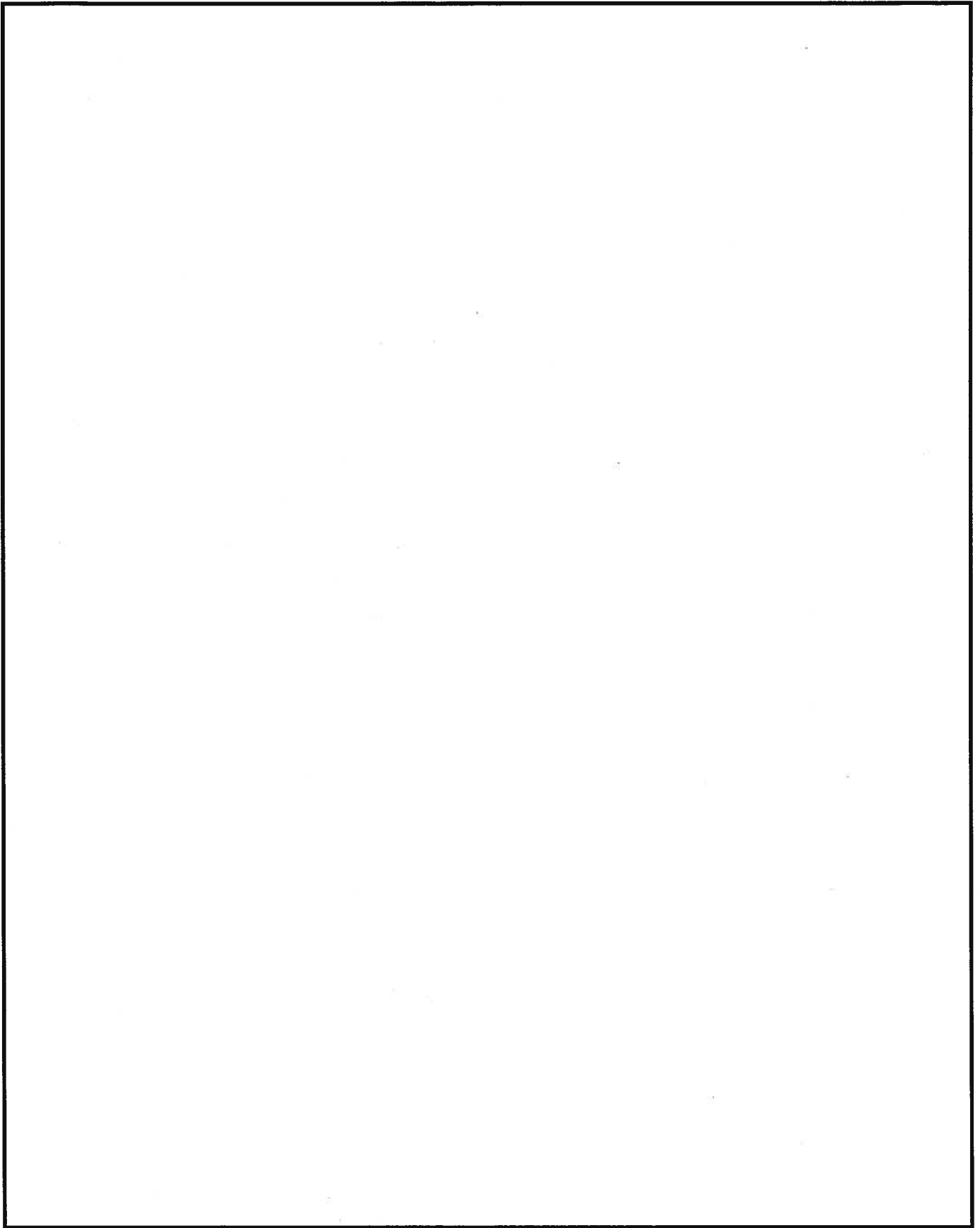


図 3-2 (184) ユーティリティ施設 (UC) 断面図

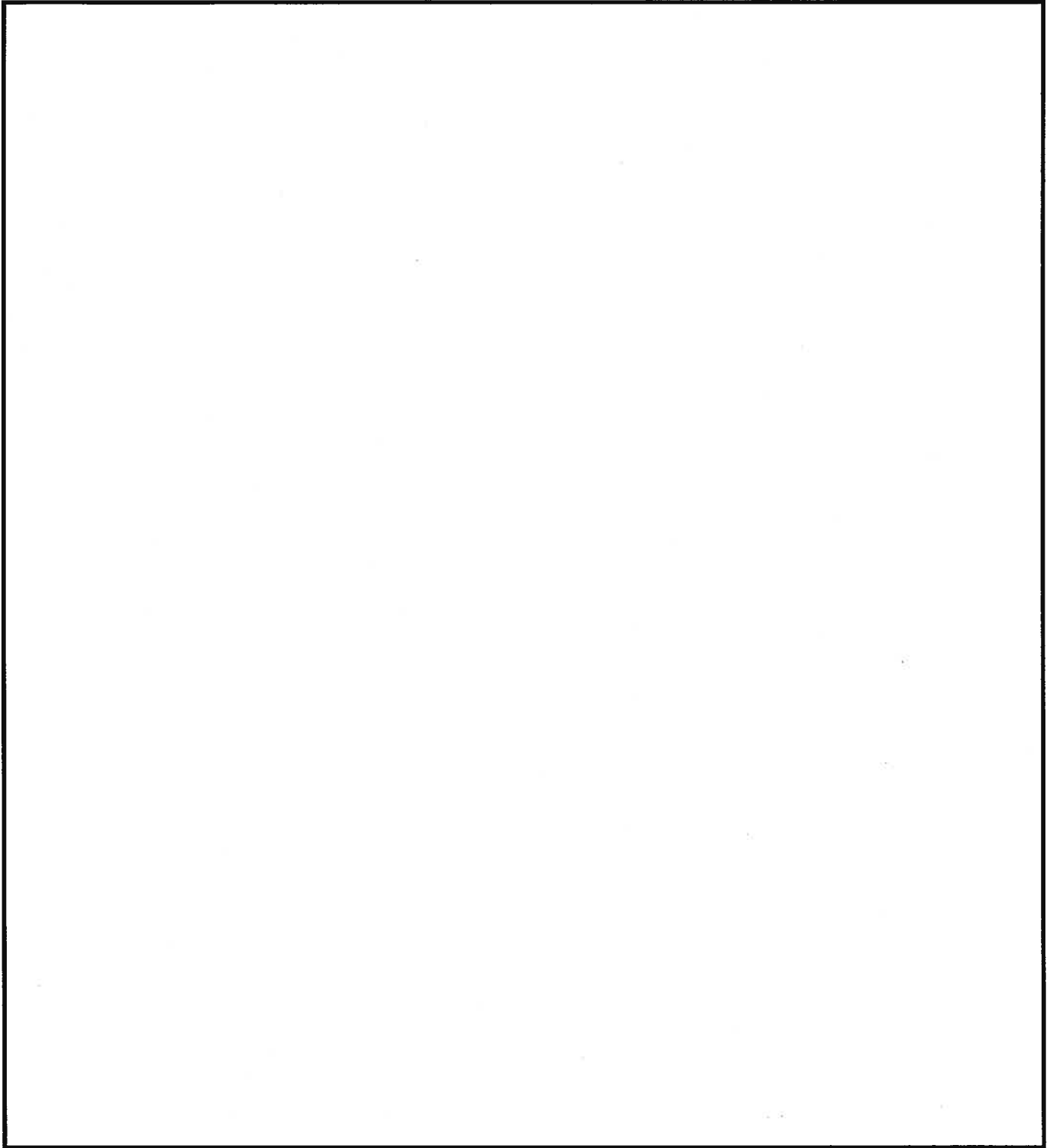


図 3-2 (185) ユーティリティ施設 (UC) 断面図



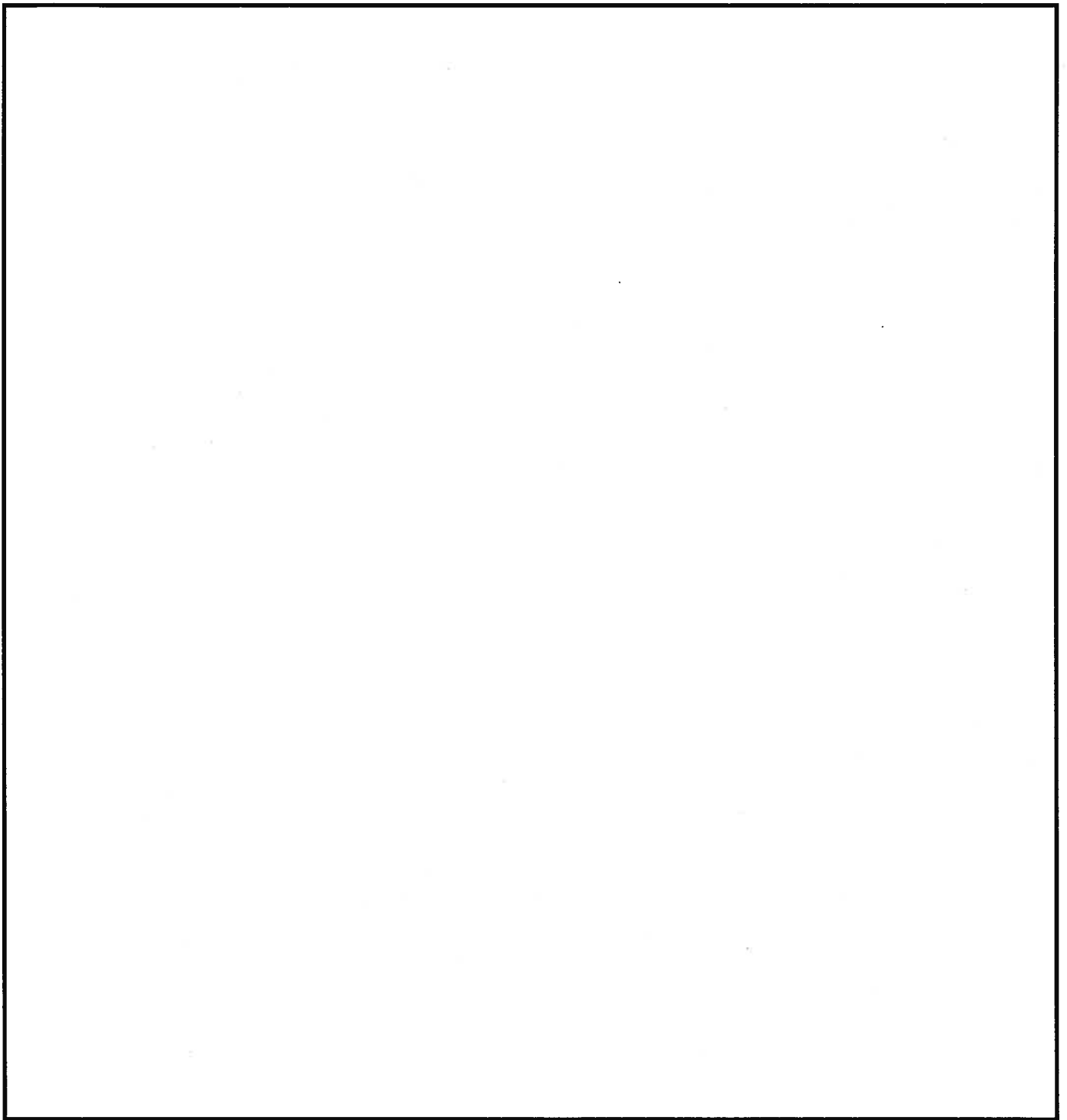


図 3-2 (186) 低放射性濃縮廃液貯蔵施設 (LWSF) 地下 2 階平面図

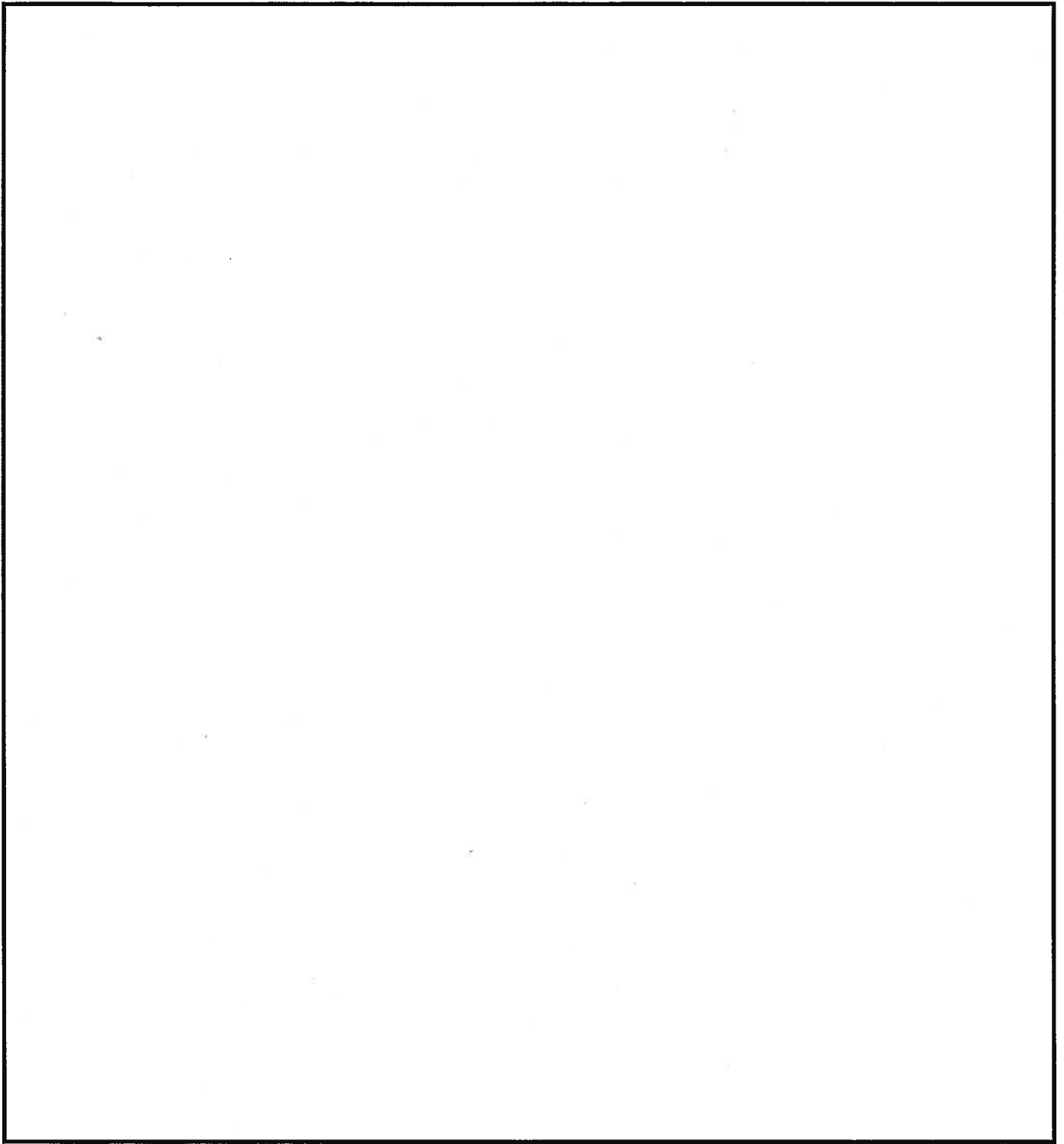


図 3-2 (187) 低放射性濃縮廃液貯蔵施設 (LWSF) 地下 1 階平面図

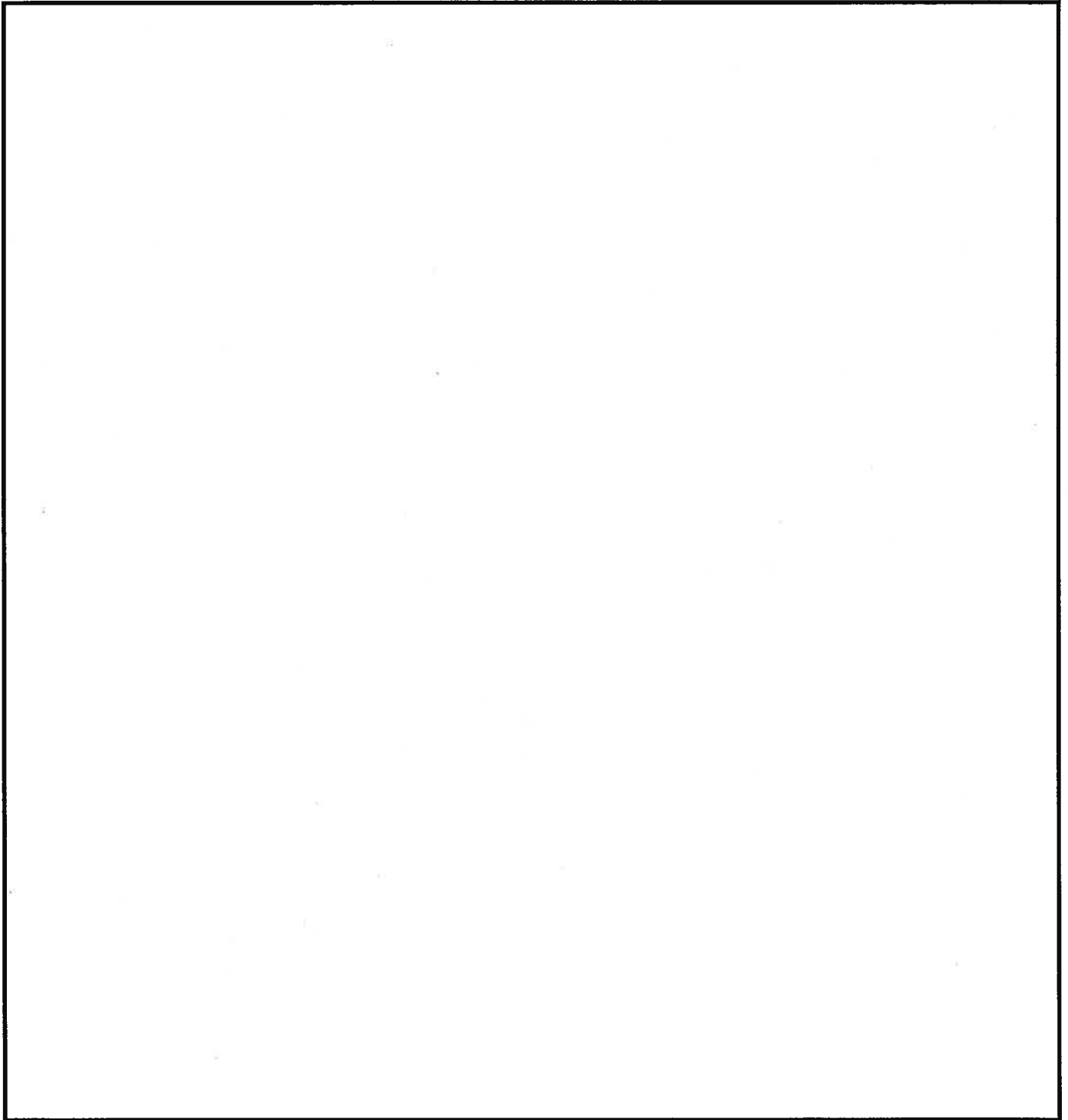


图 3—2 (188) 低放射性浓缩废液贮藏设施 (LWSF) 1 阶平面图

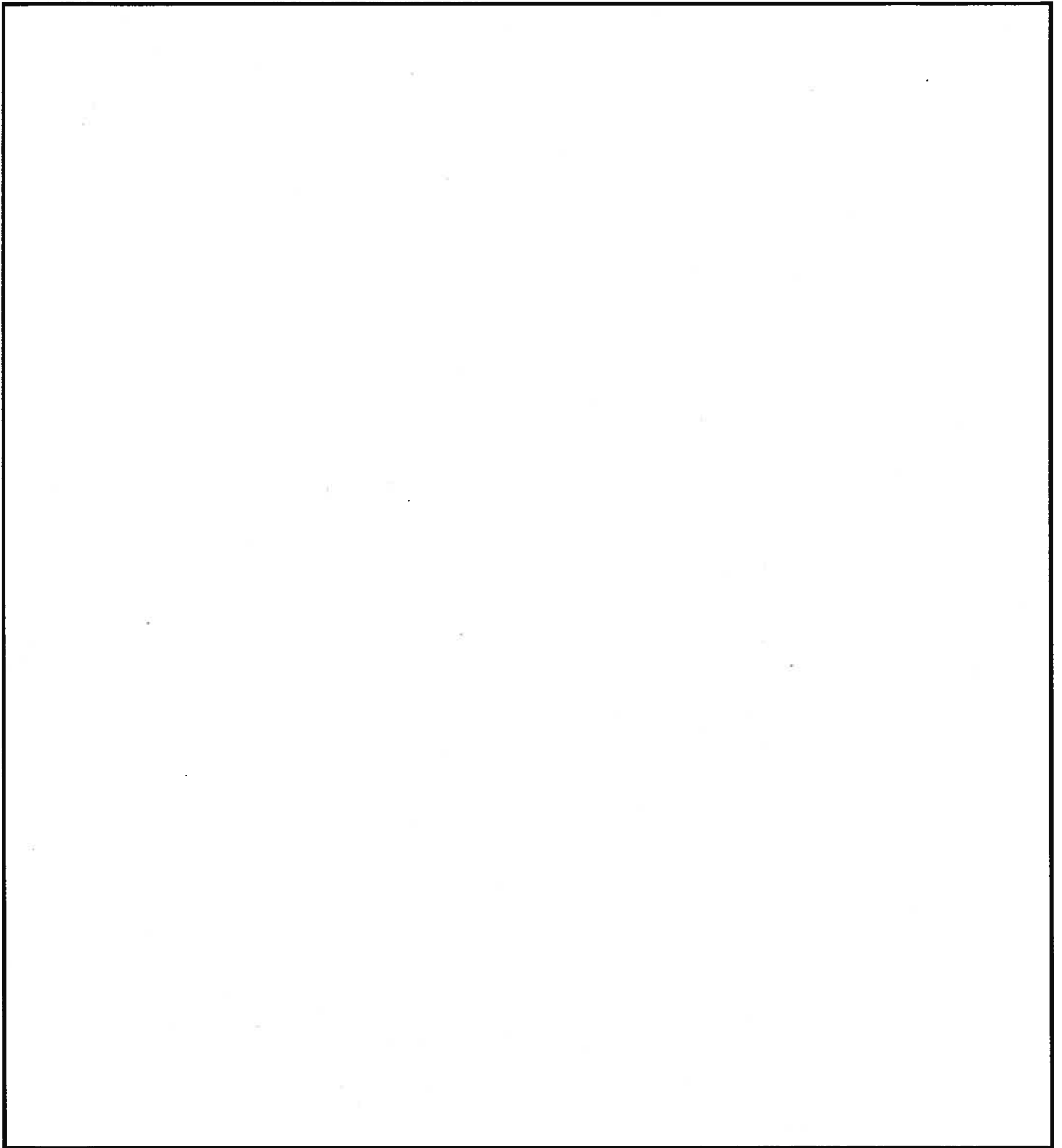


図 3-2 (189) 低放射性濃縮廃液貯蔵施設 (LWSF) 2 階平面図

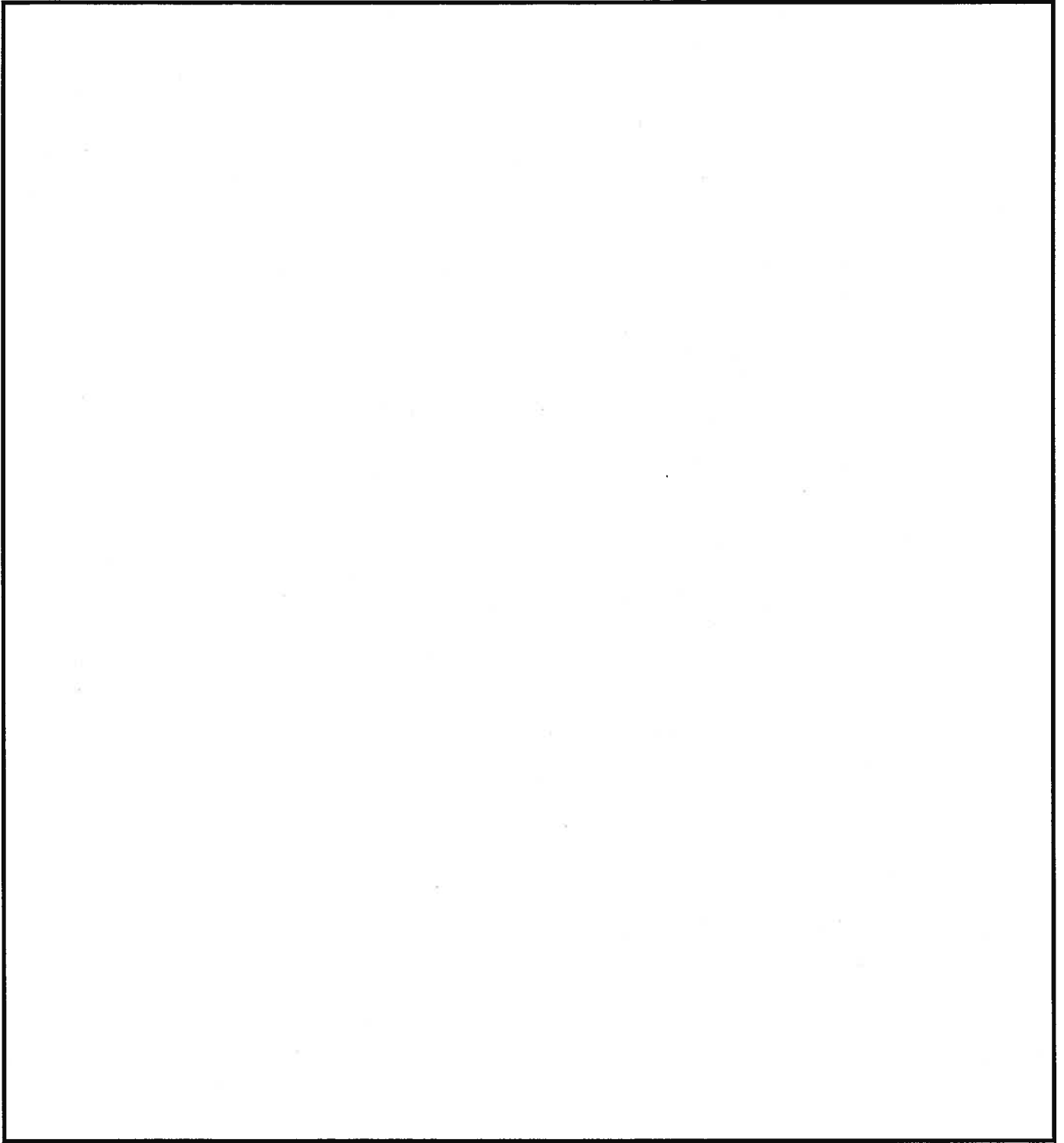


図 3-2 (190) 低放射性濃縮廃液貯蔵施設 (LWSF) 断面図

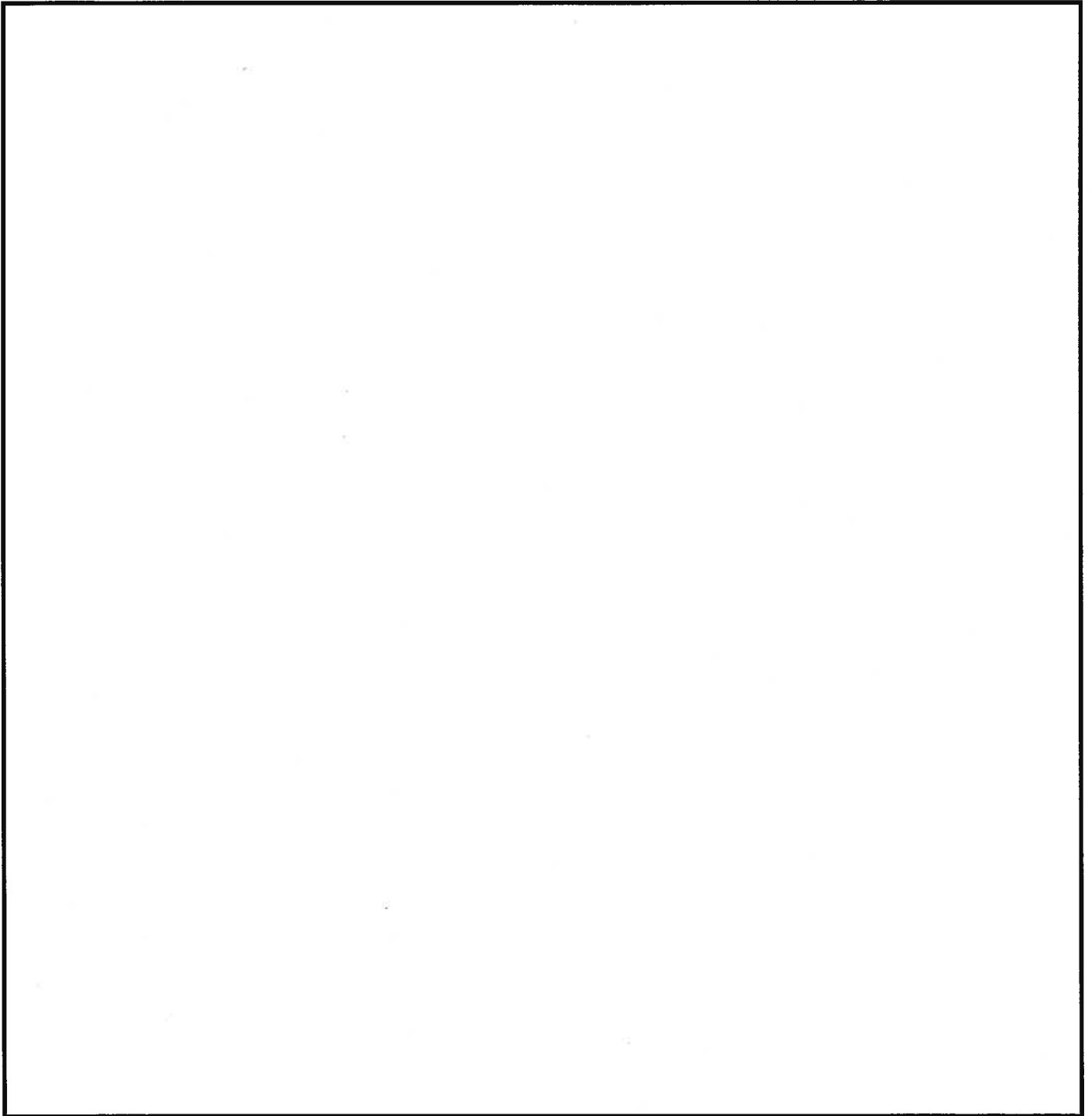


图 3-2 (191) 低放射性浓缩废液贮藏设施 (LWSF) 断面图

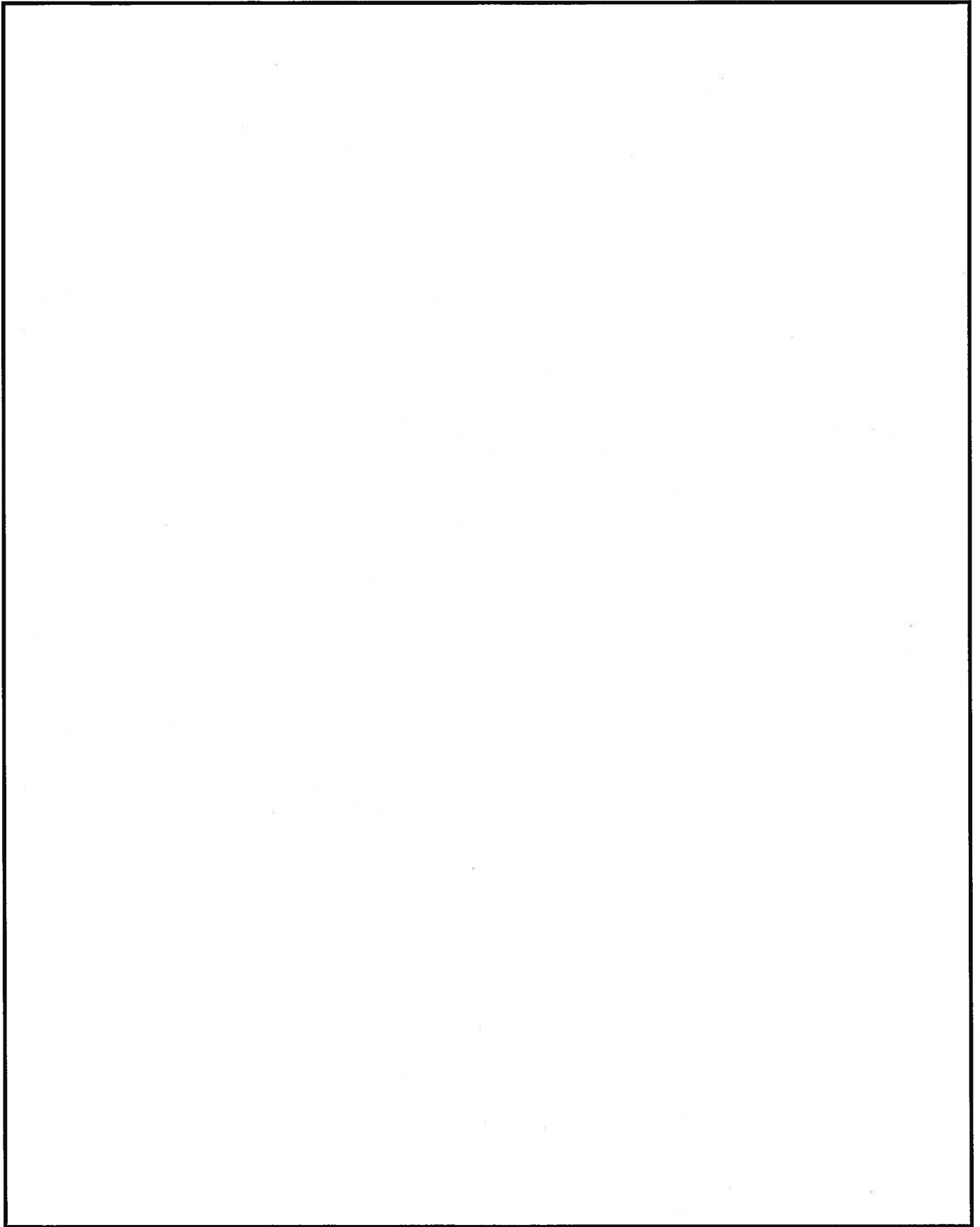


图 3—2 (192) 低放射性廢棄物处理技術開發施設 (LWTF) 地下 2 階平面図

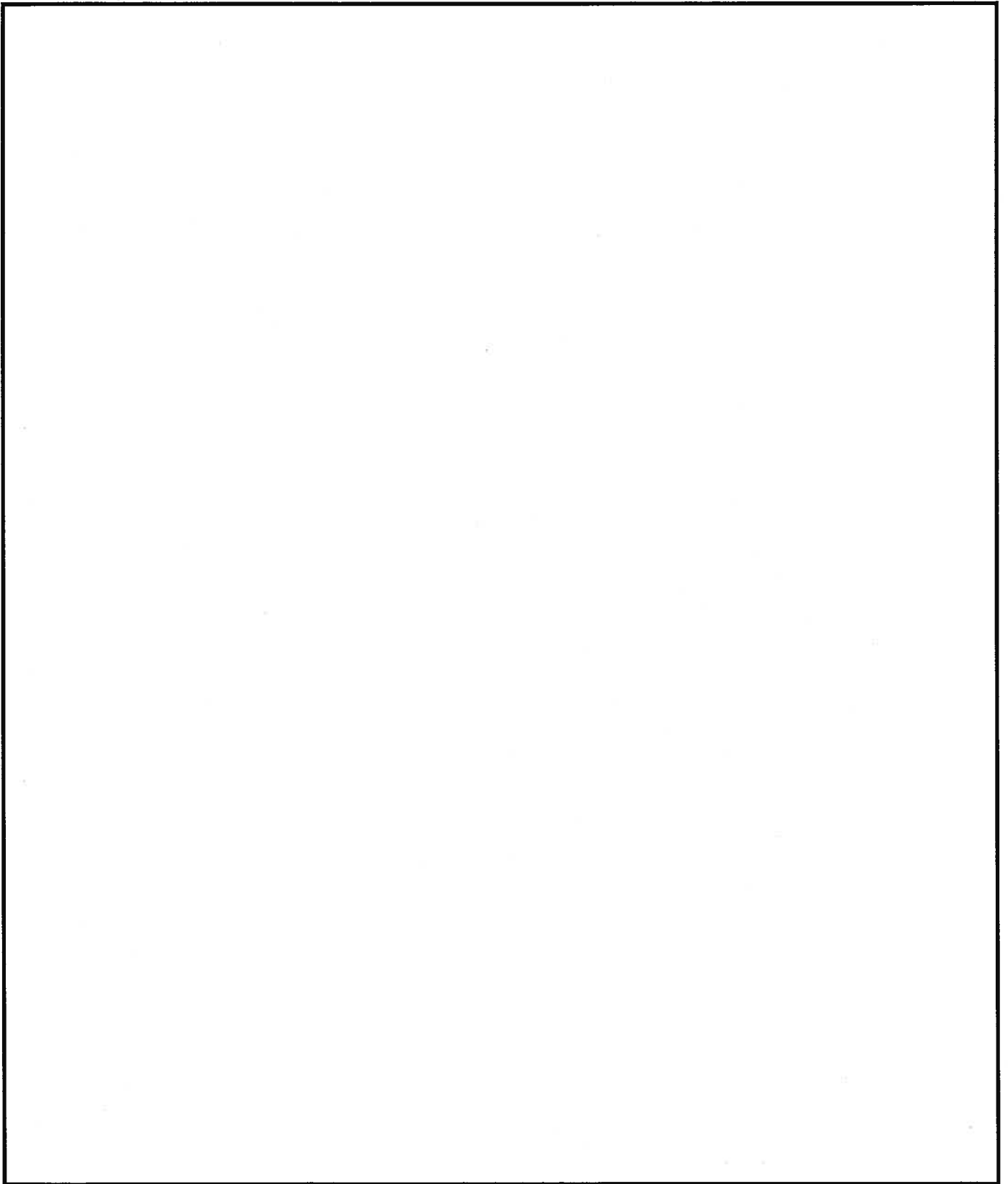


图 3—2 (193) 低放射性廢棄物处理技術開發施設 (LUTF) 地下 1 階平面図



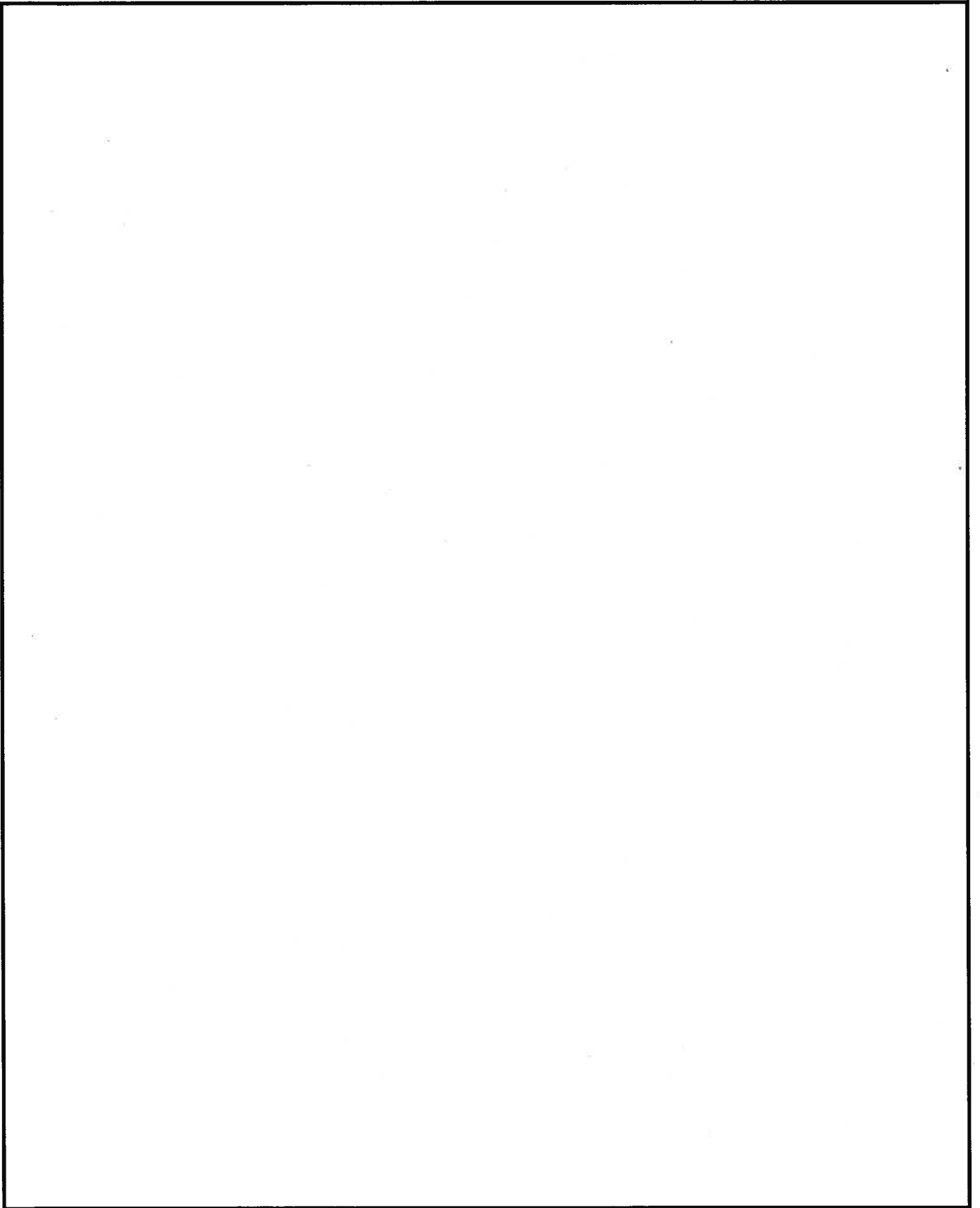


図 3-2 (194) 低放射性廃棄物処理技術開発施設 (LUTF) 1 階平面図

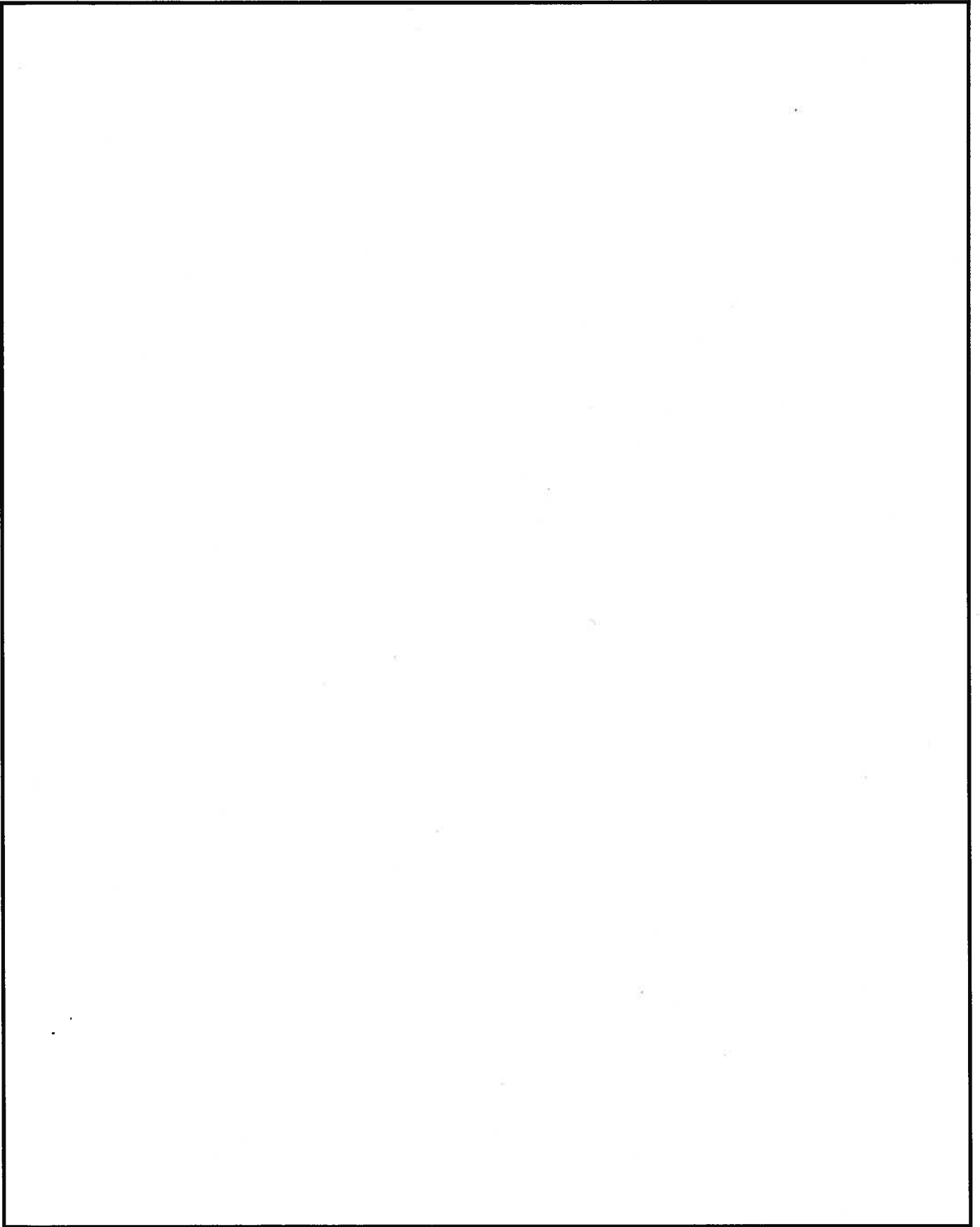


図 3-2 (195) 低放射性廃棄物処理技術開発施設 (LUTF) 2 階平面図

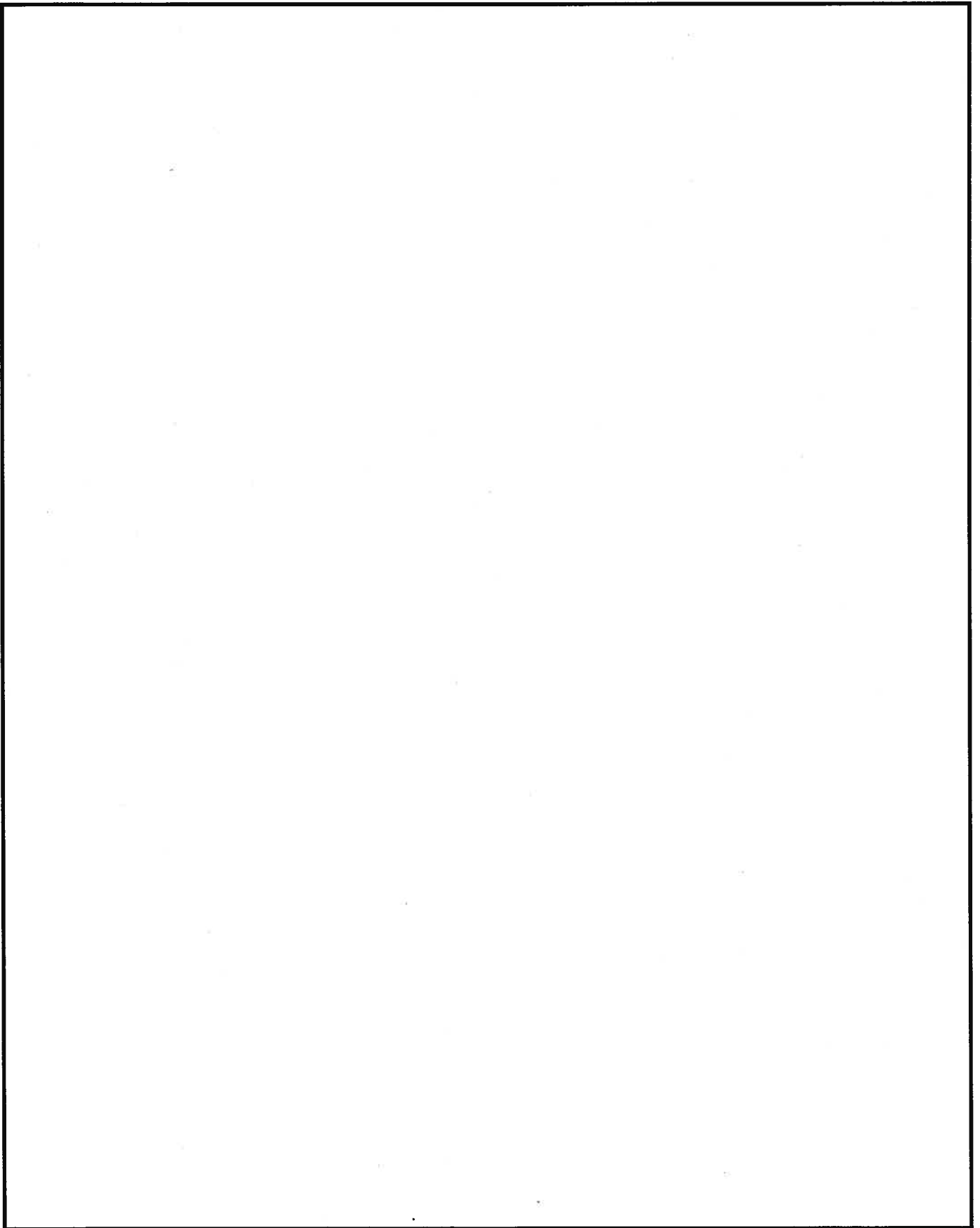


図 3-2 (196) 低放射性廃棄物処理技術開発施設 (LUTF) 3 階平面図

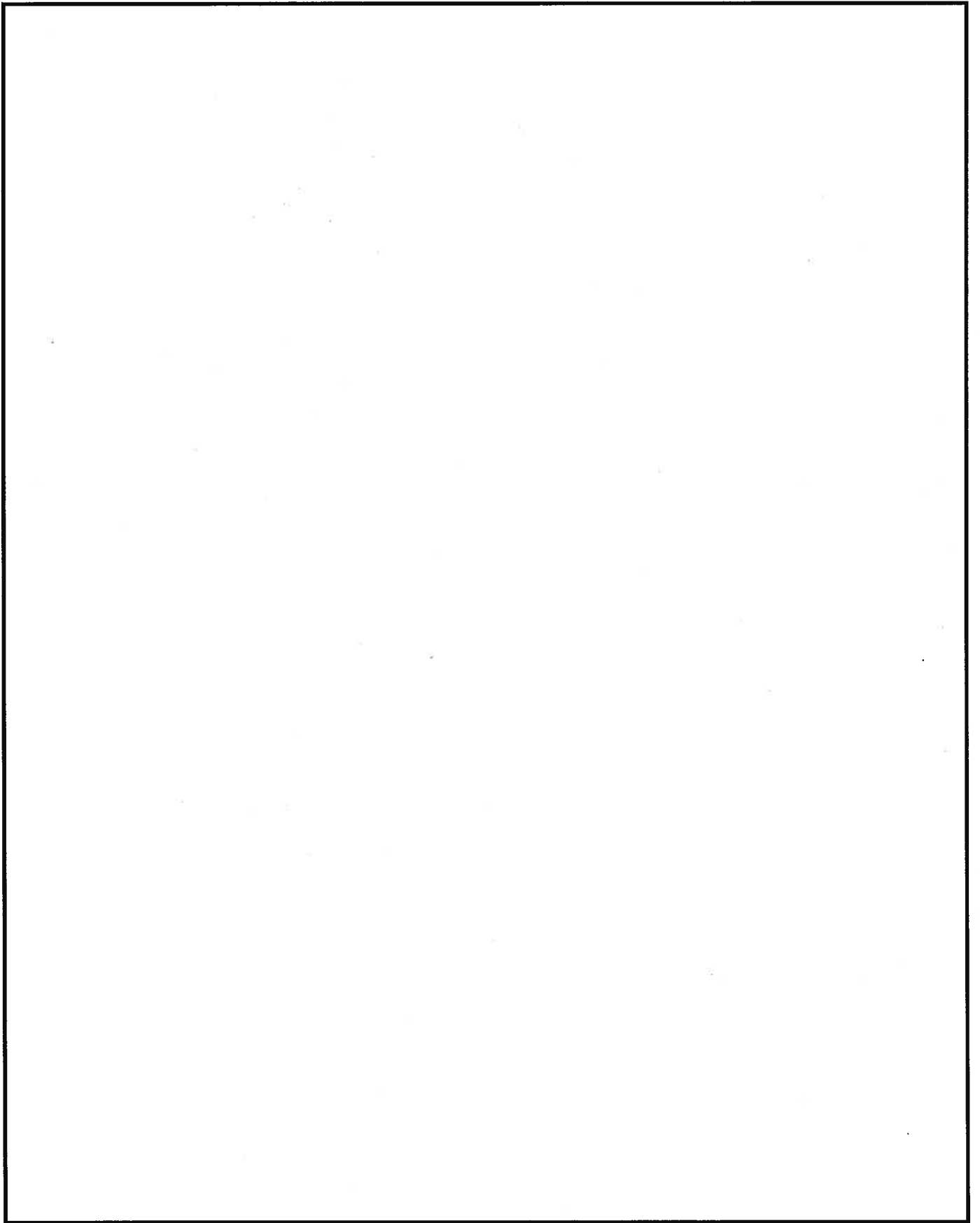


図 3-2 (197) 低放射性廃棄物処理技術開発施設 (LUTF) 4 階平面図

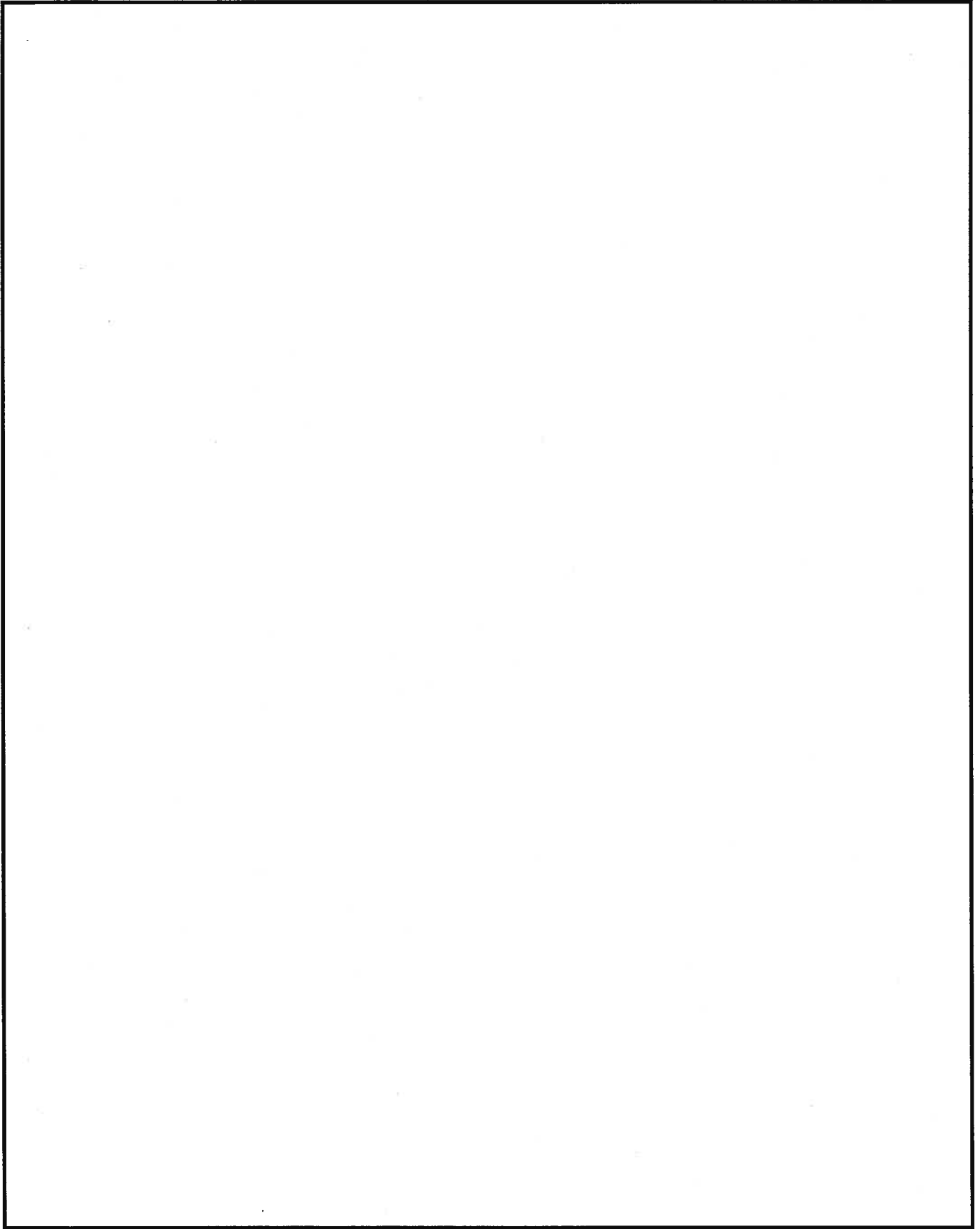


図 3-2 (198) 低放射性廃棄物処理技術開発施設 (LWTF) 5 階平面図

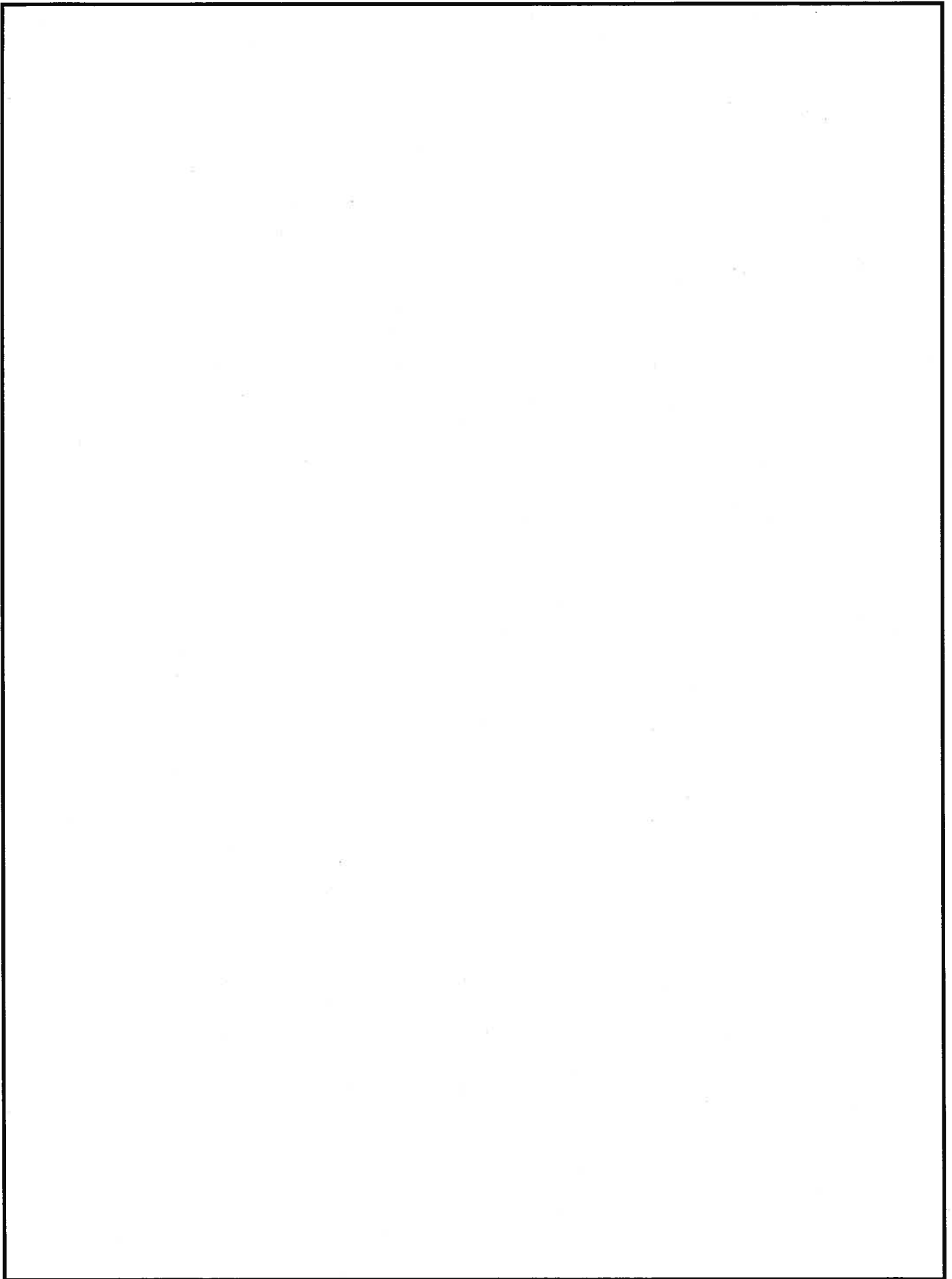


図 3-2 (199) 低放射性廃棄物処理技術開発施設 (LWTF) 断面図

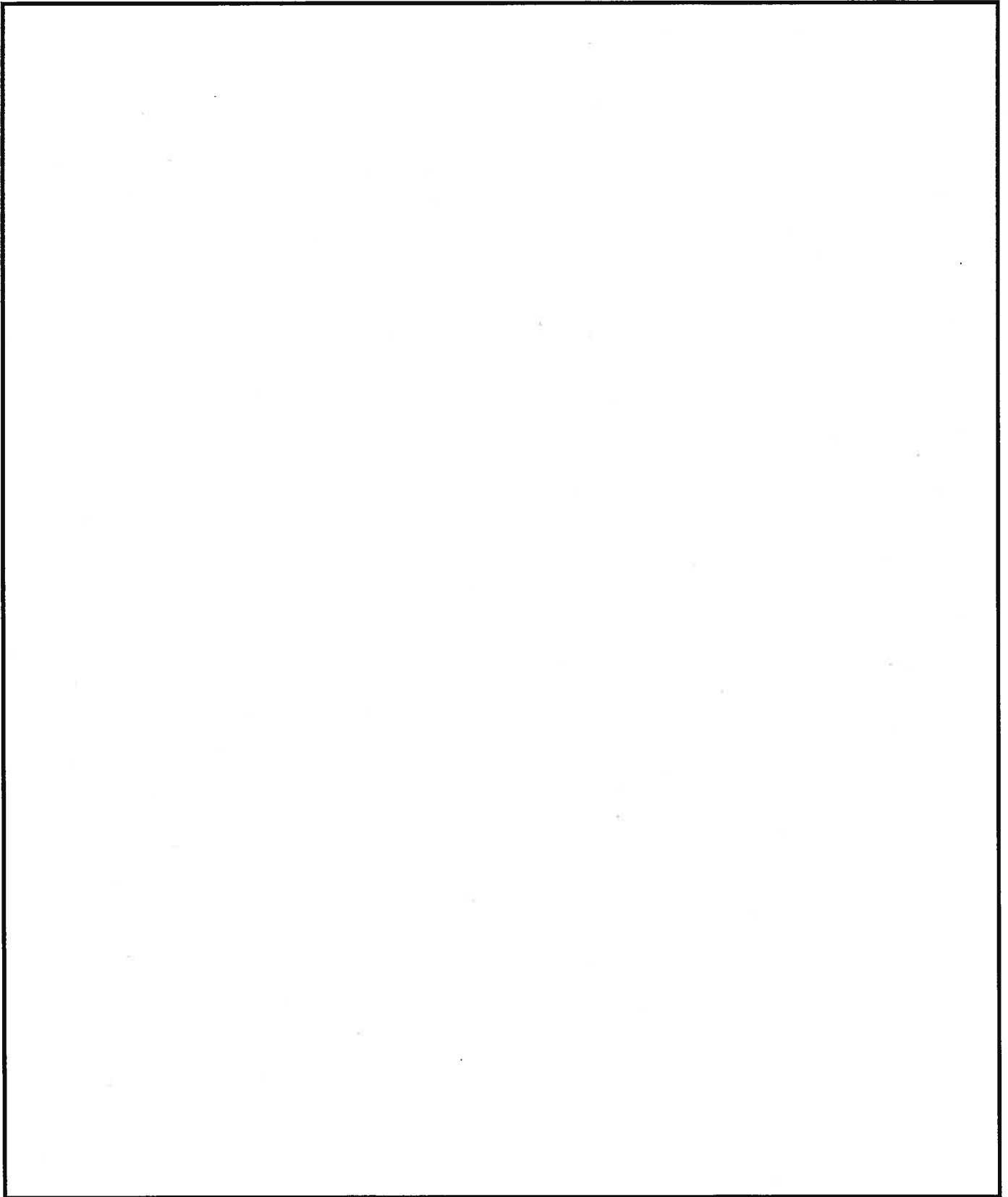


図 3-2 (200) 低放射性廃棄物処理技術開発施設 (LUTF) 断面図

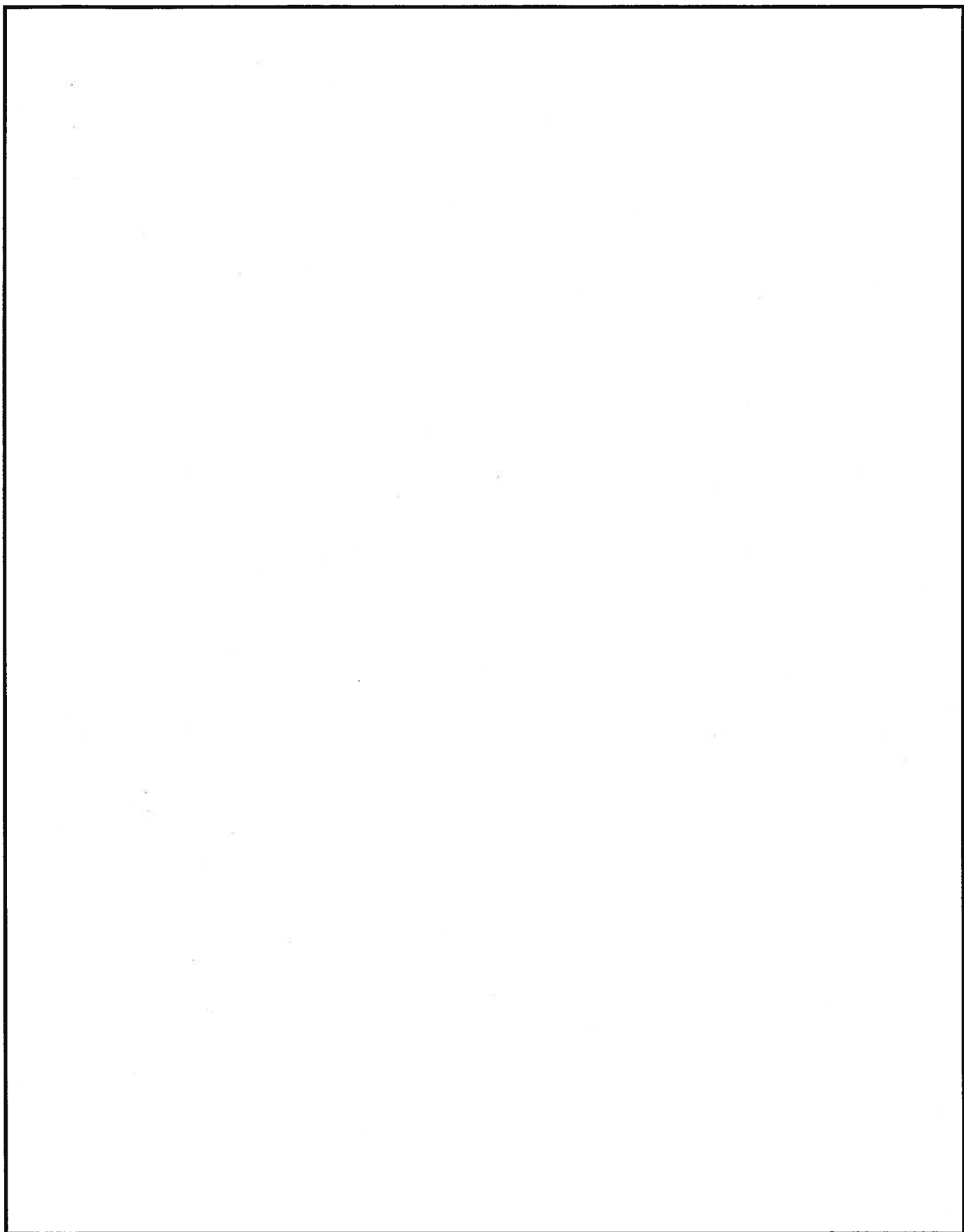


図 3-3 (1) 分離精製工場(MP)の管理区域  
(分離精製工場(MP) 地下 2 階, 地下 3 階)



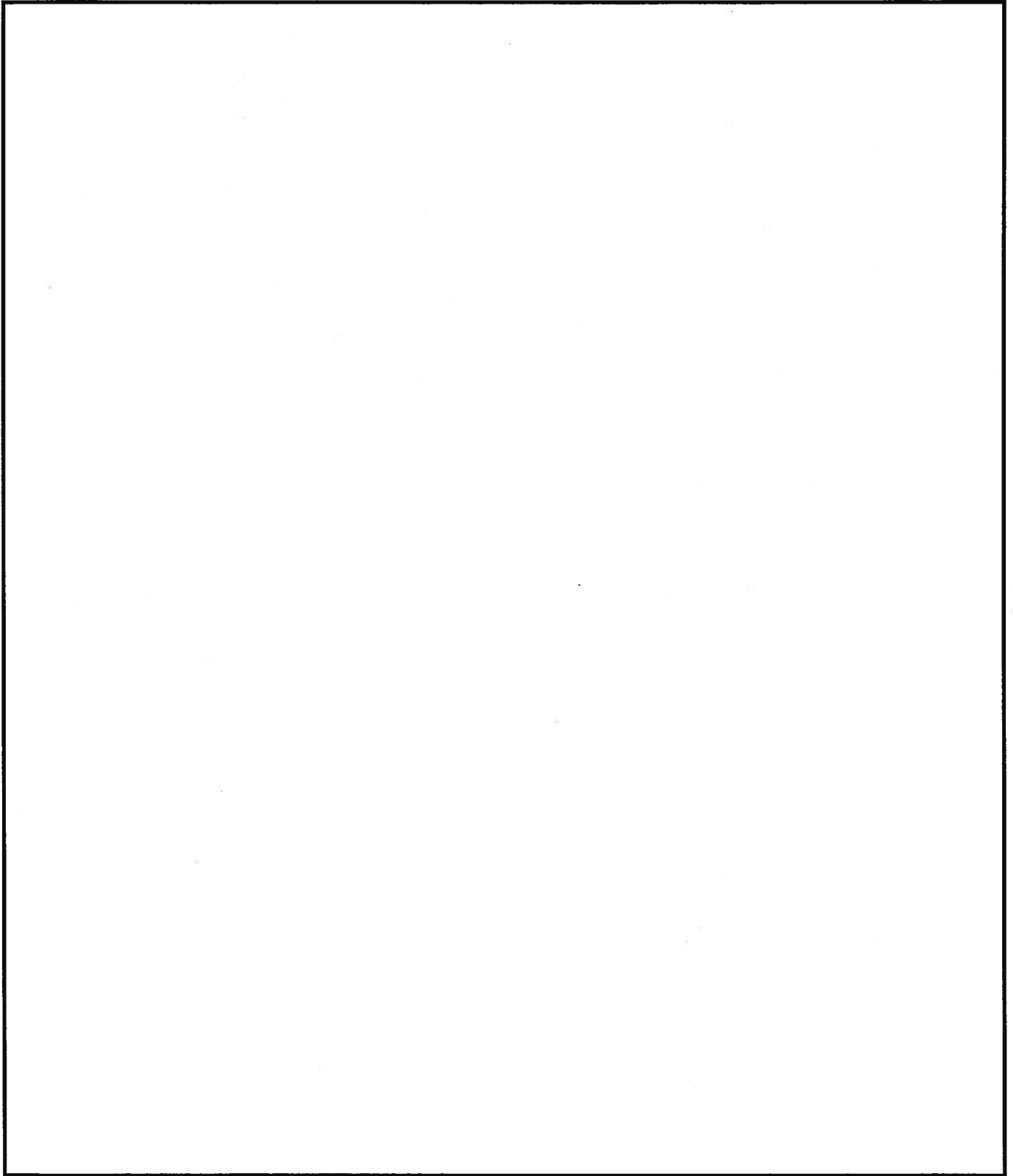


図 3-3 (2) 分離精製工場 (MP) の管理区域  
(分離精製工場 (MP) 地下 1 階)

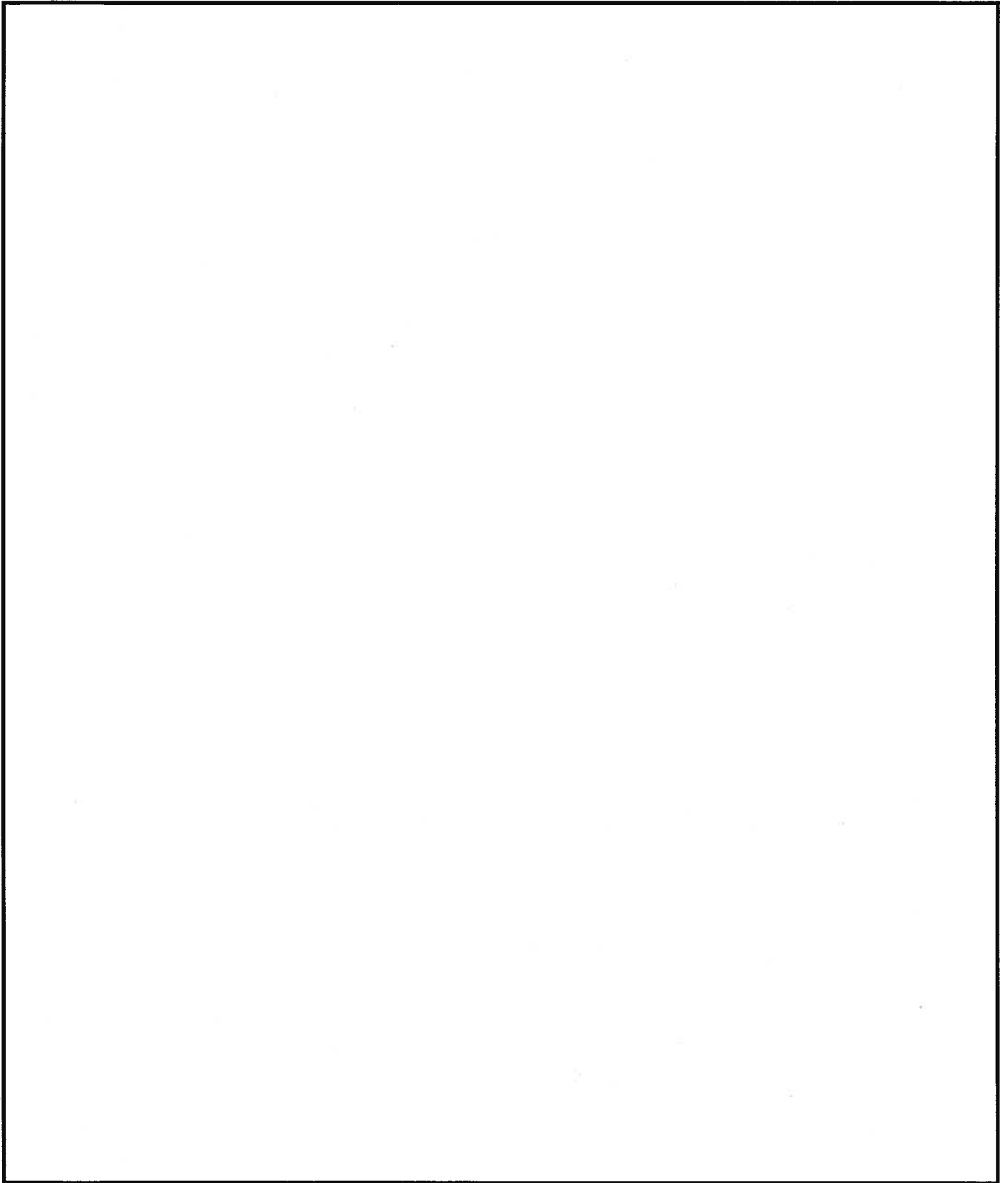


図 3-3 (3) 分離精製工場(MP)の管理区域  
(分離精製工場(MP) 1階)

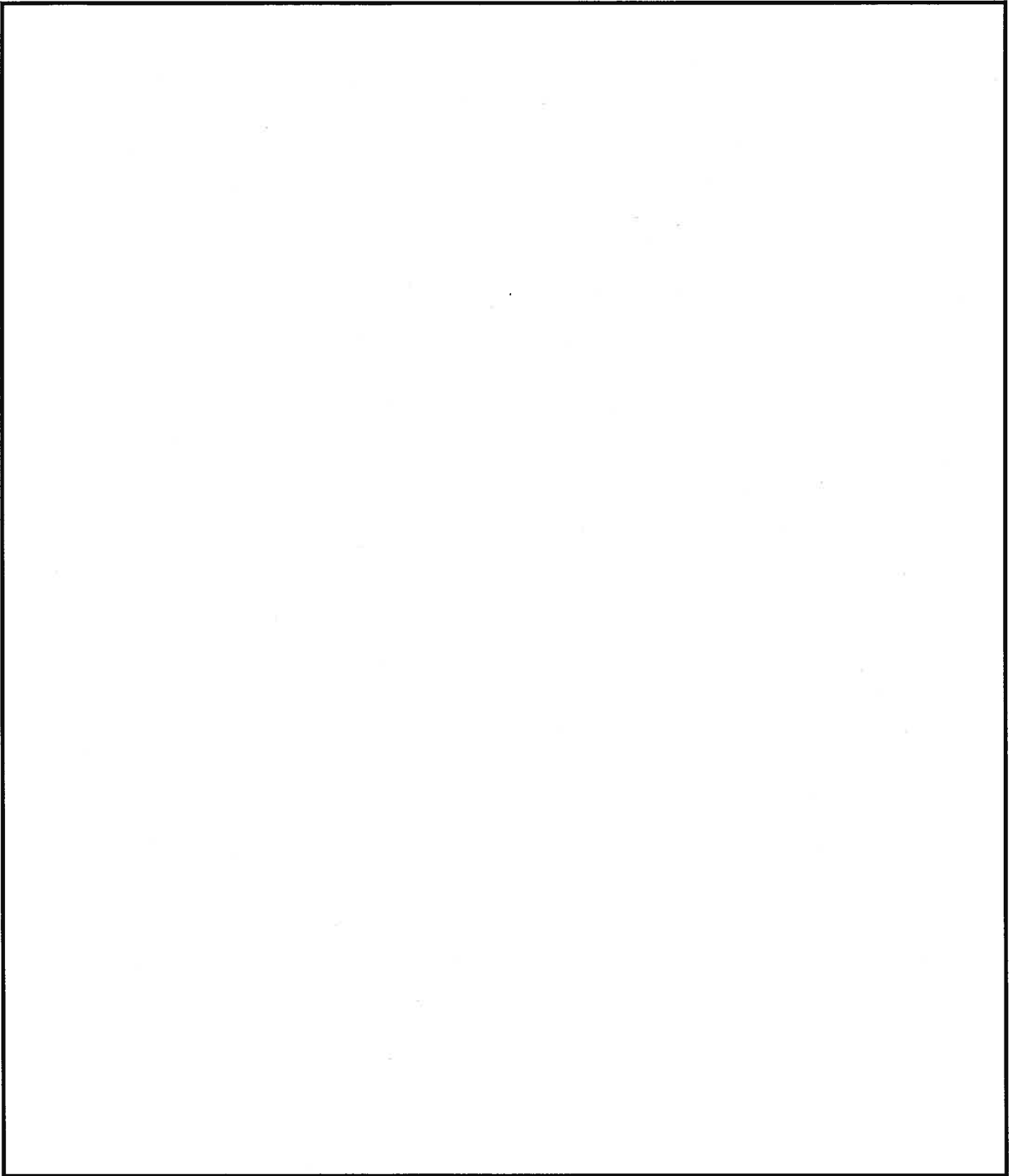


図 3-3 (4) 分離精製工場 (MP) の管理区域  
(分離精製工場 (MP) 2 階)

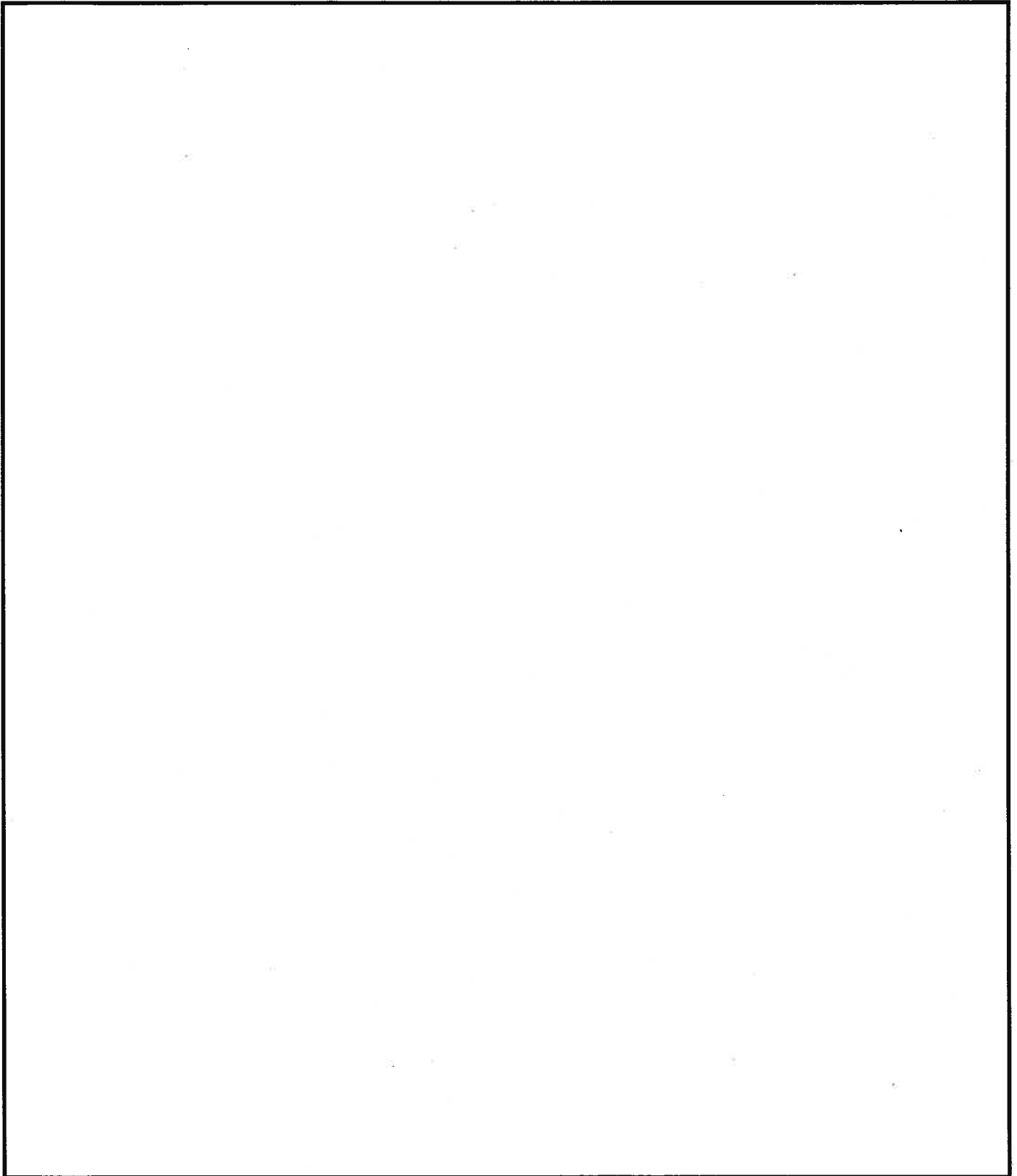


図 3-3 (5) 分離精製工場(MP)の管理区域  
(分離精製工場(MP) 3階)

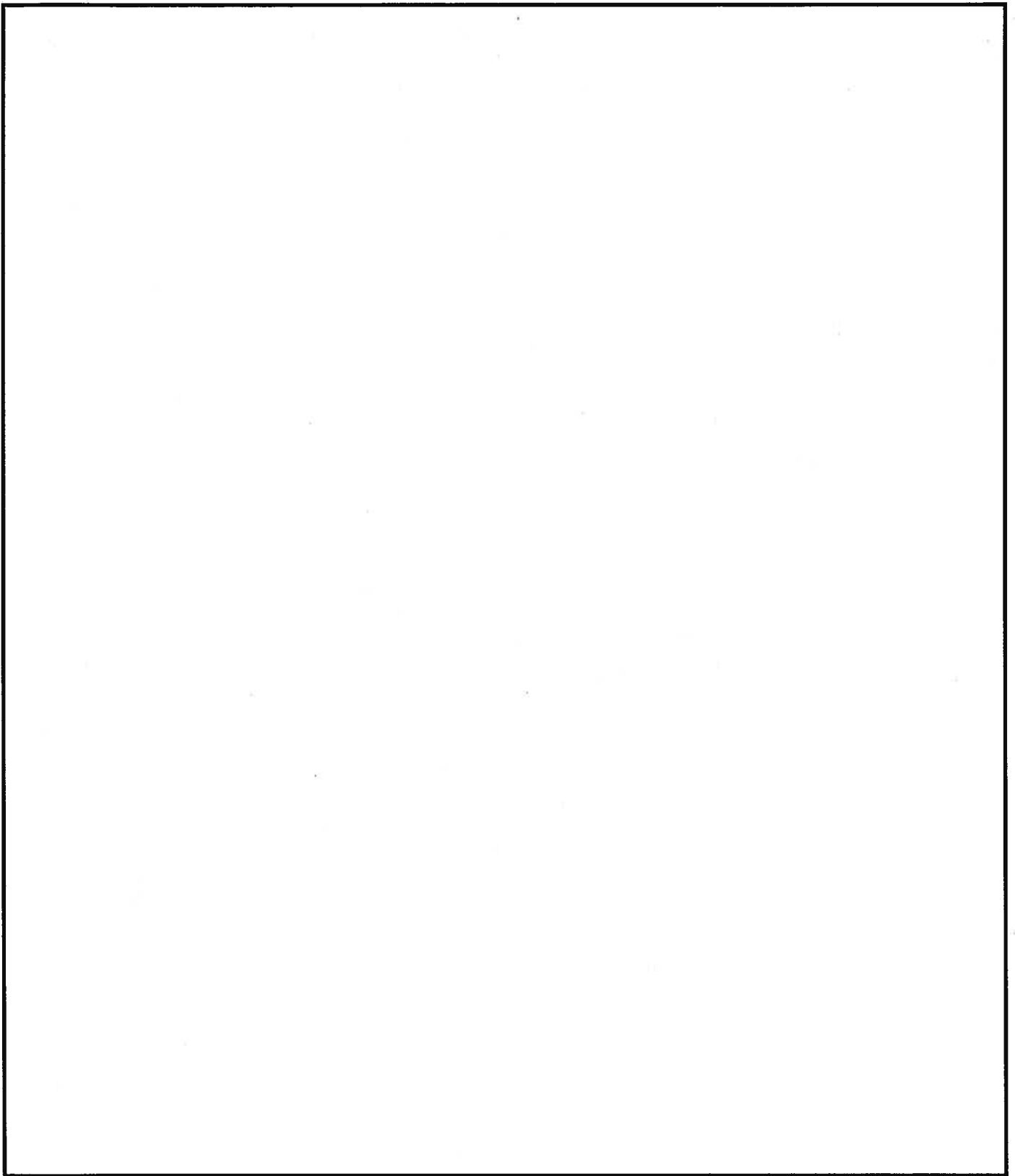


図 3-3 (6) 分離精製工場 (MP) の管理区域  
(分離精製工場 (MP) 4 階)

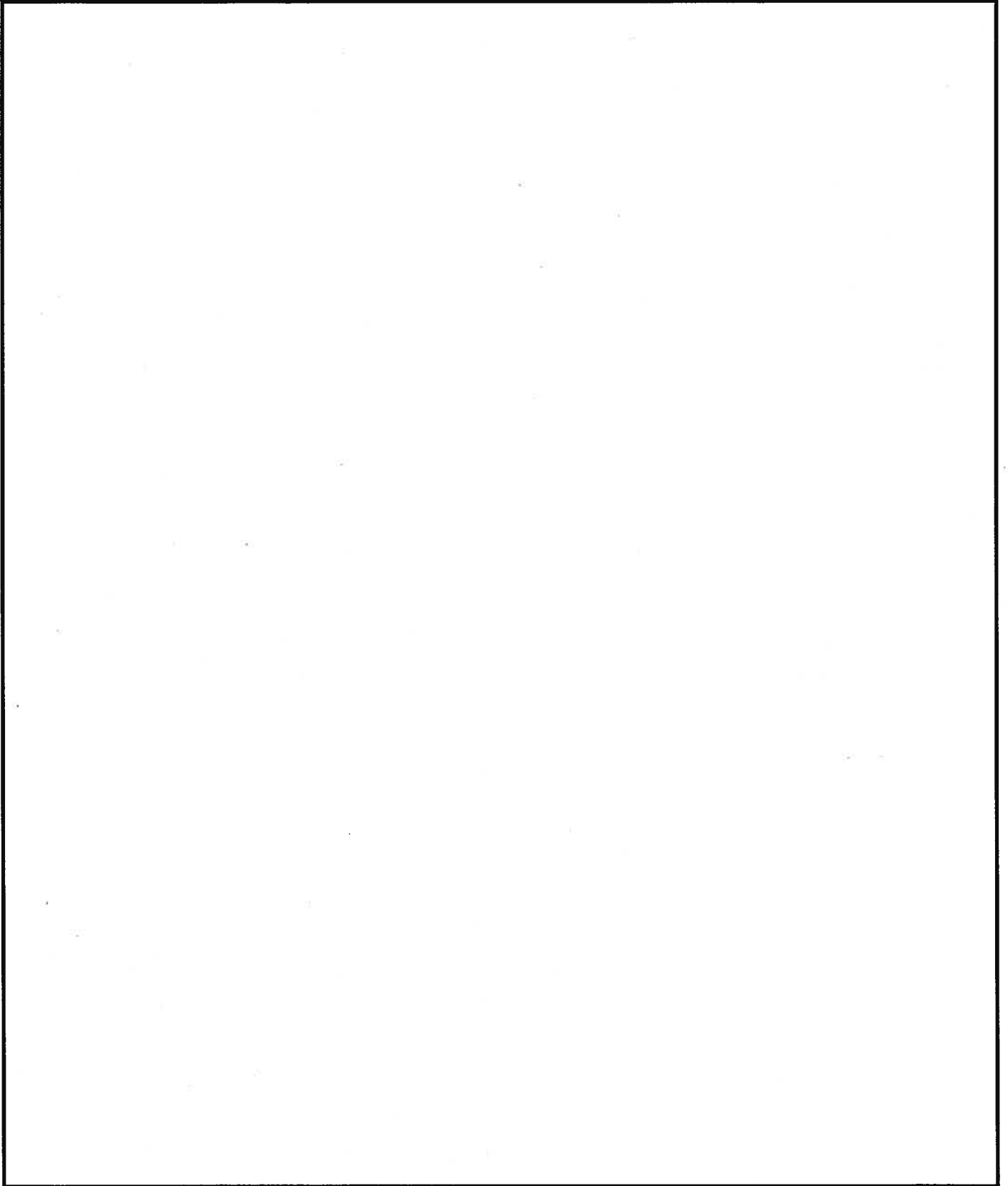


図 3-3 (7) 分離精製工場(MP)の管理区域  
(分離精製工場(MP) 5階)

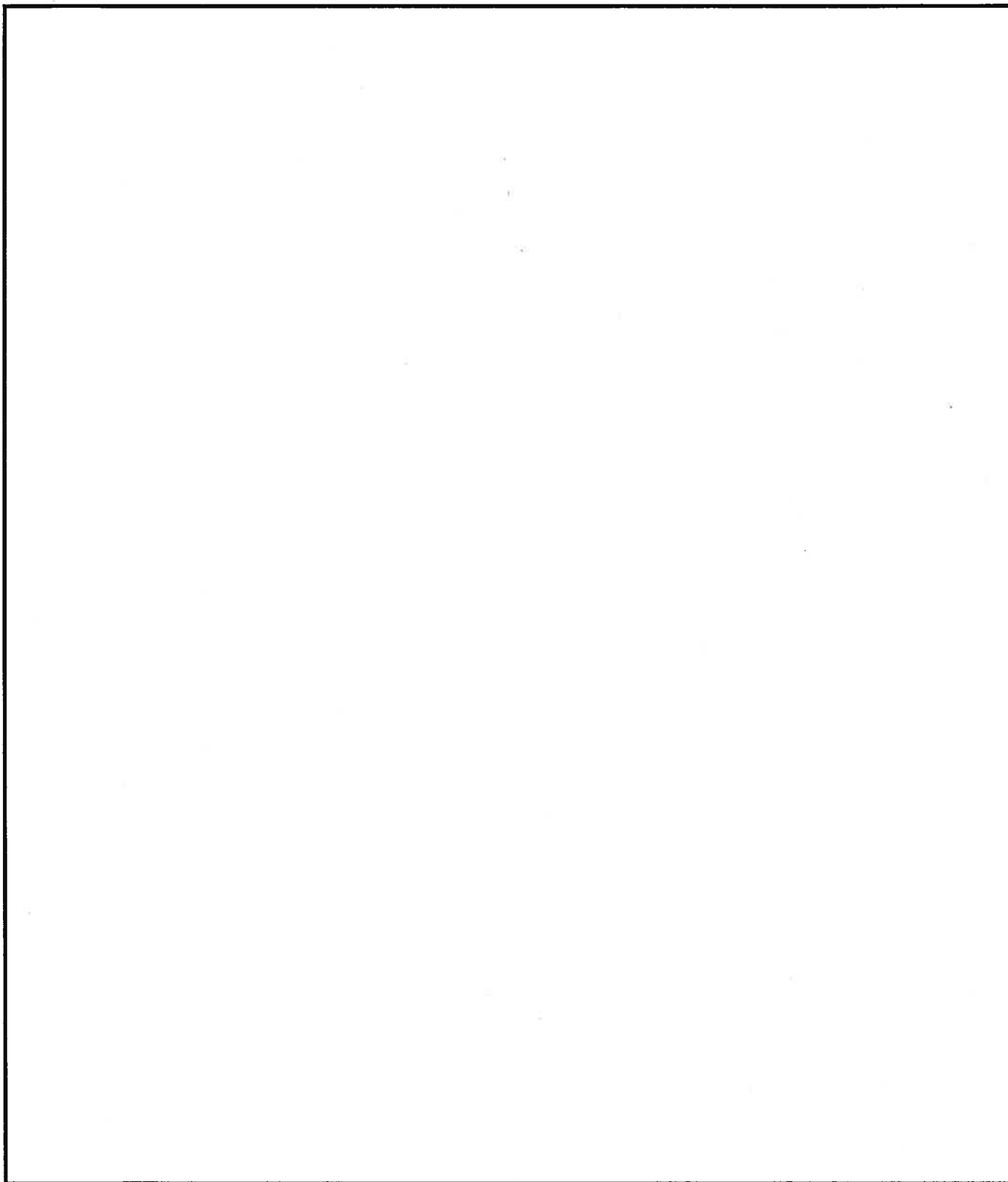


図 3-3 (8) 分離精製工場(MP)の管理区域  
(分離精製工場(MP) 6階, ペントハウス)

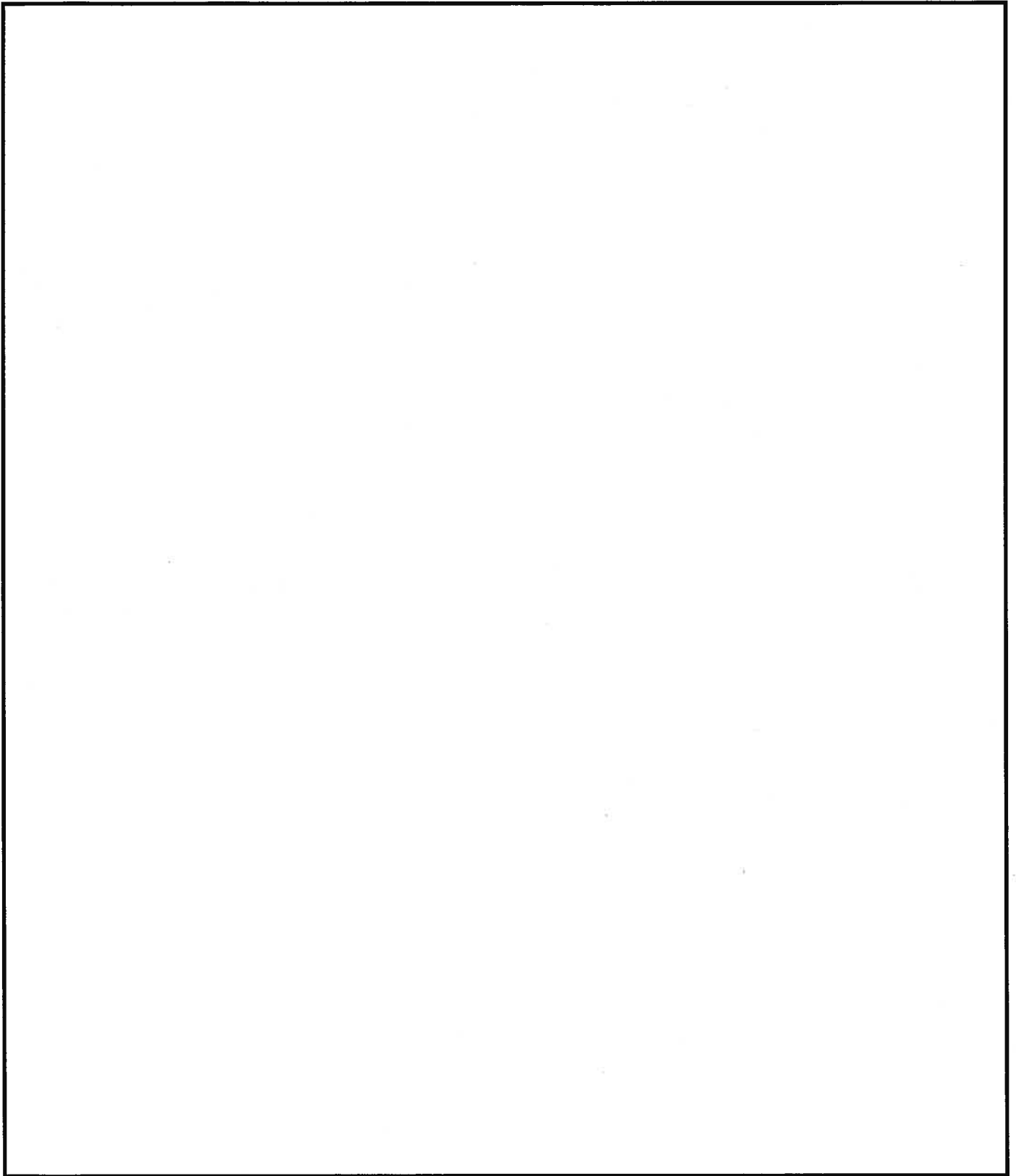


図 3-3 (9) ウラン脱硝施設(DN)の管理区域  
(ウラン脱硝施設(DN) 地下1階)



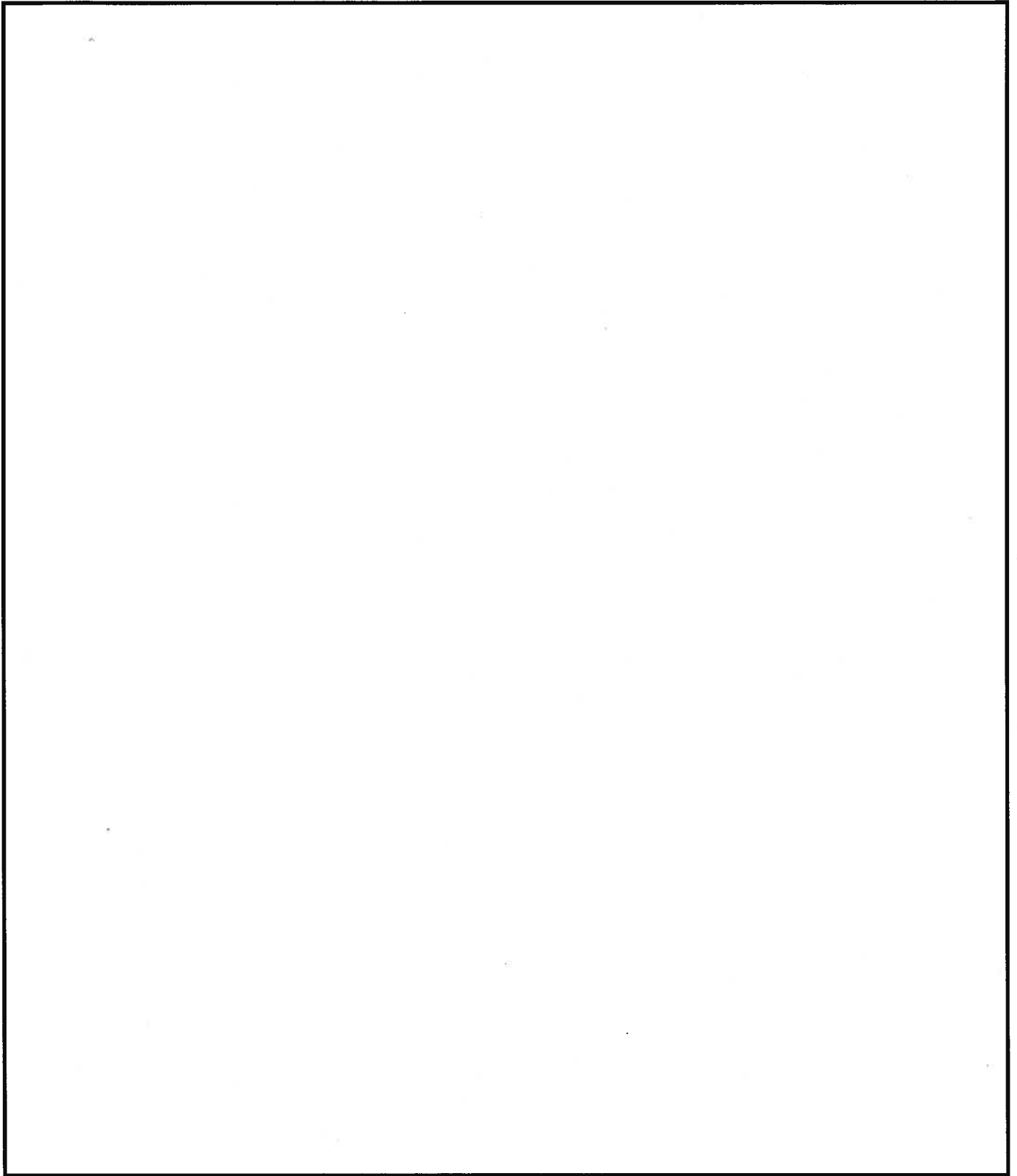


図 3-3 (10) ウラン脱硝施設(DN)の管理区域  
(ウラン脱硝施設(DN) 地下中 1 階)

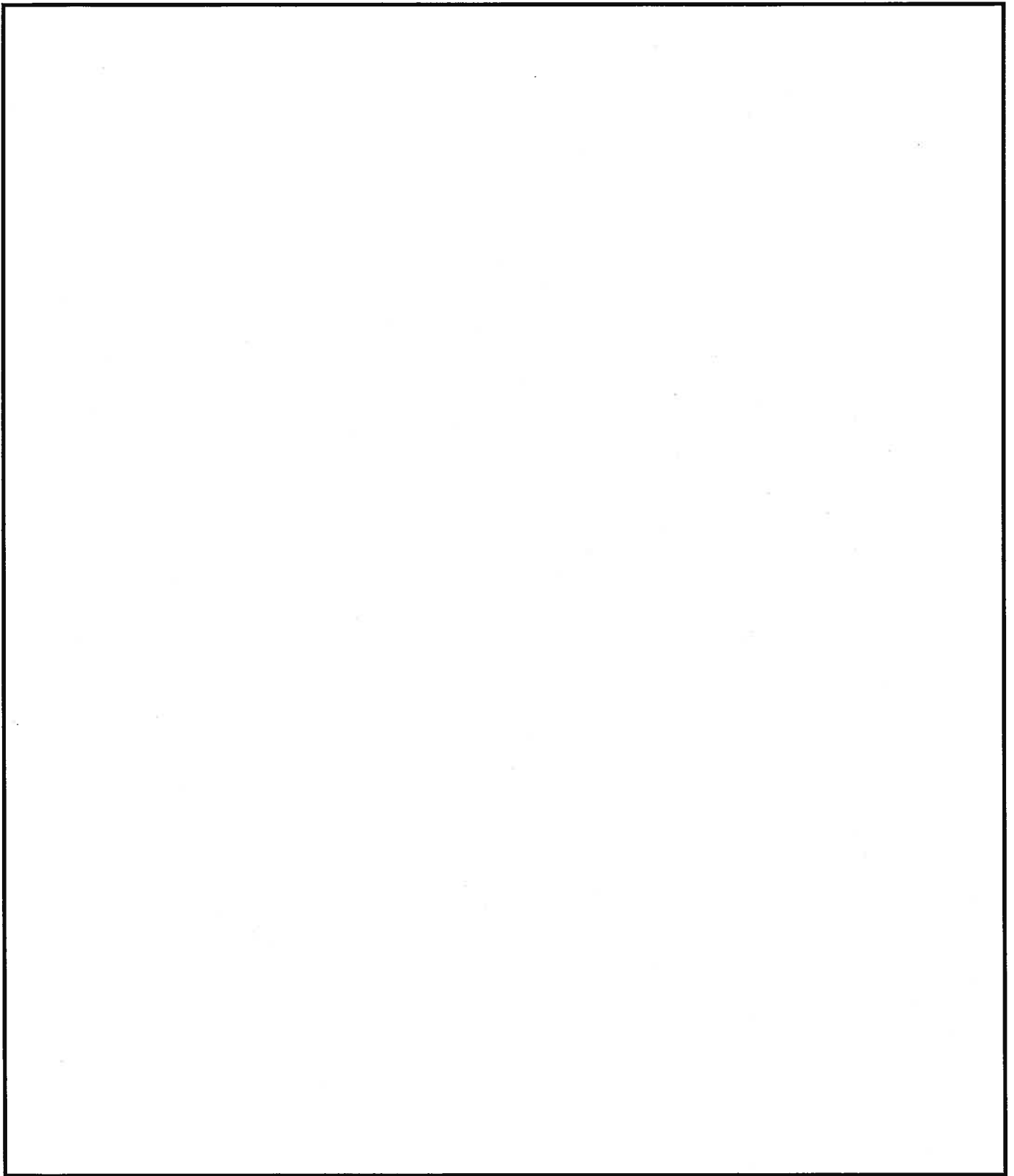


図 3-3 (11) ウラン脱硝施設(DN)の管理区域  
(ウラン脱硝施設(DN) 1階)

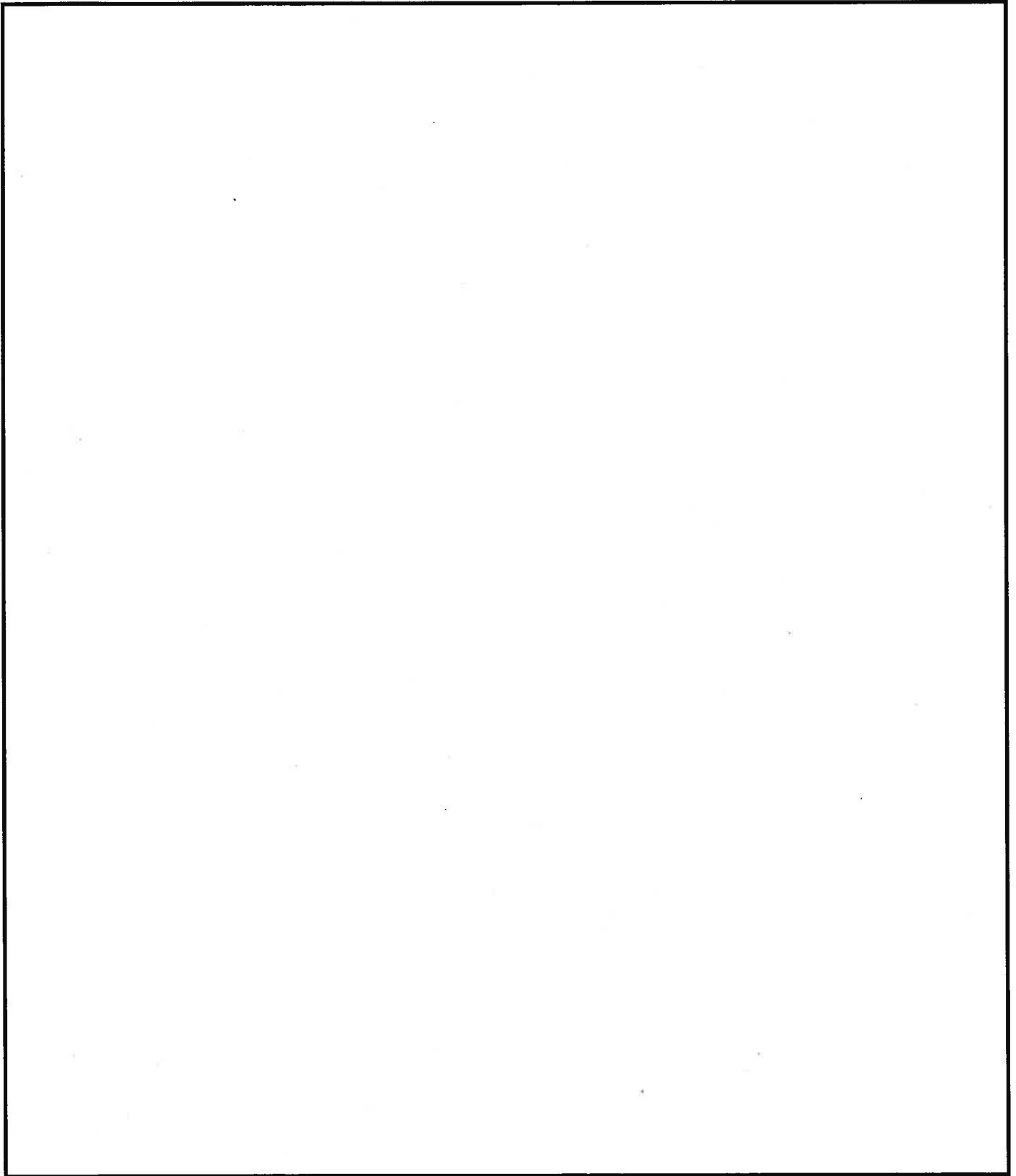


図 3-3 (12) ウラン脱硝施設(DN)の管理区域  
(ウラン脱硝施設(DN) 2階)

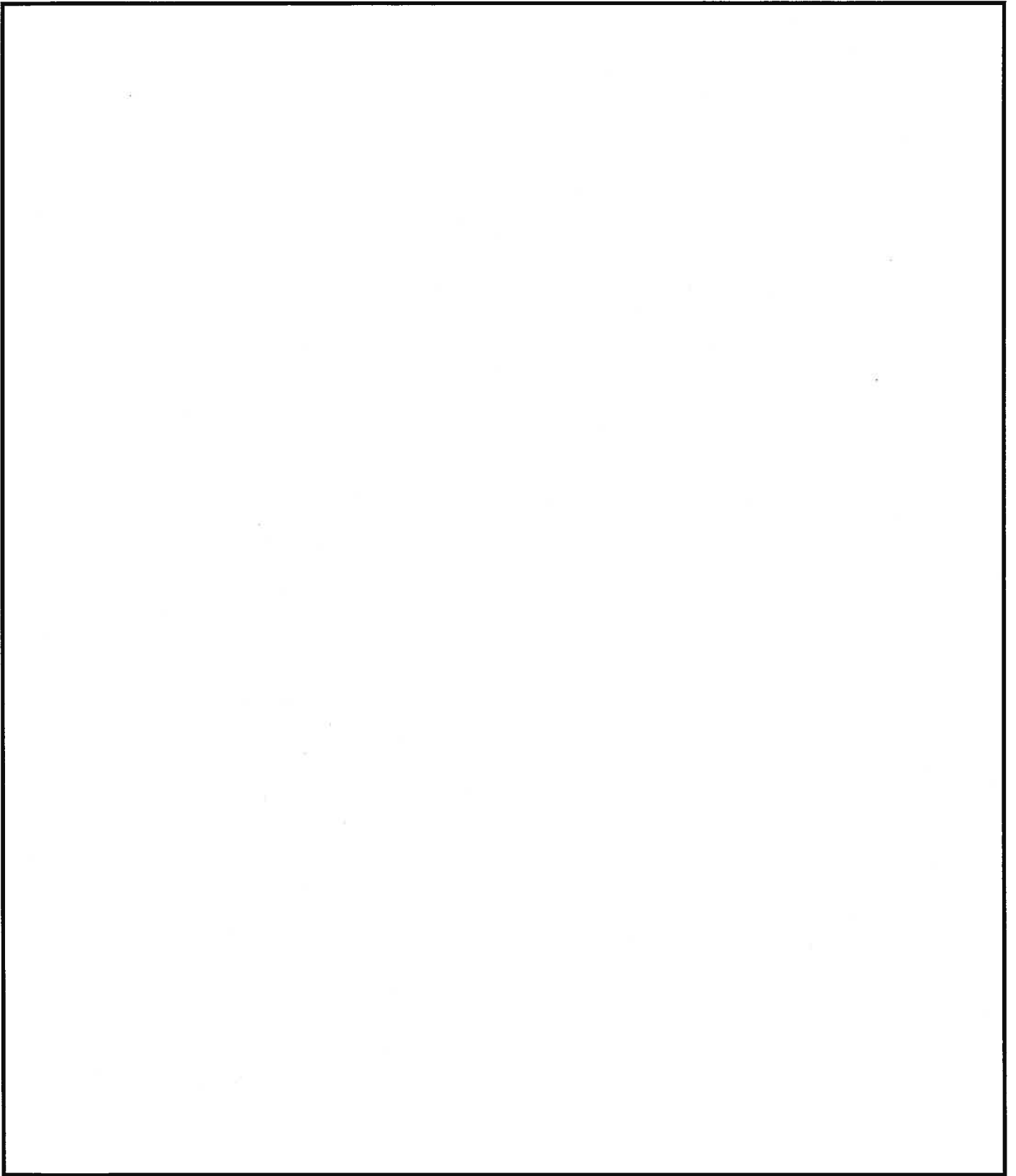


図 3-3 (13) ウラン脱硝施設(DN)の管理区域  
(ウラン脱硝施設(DN) 3階)

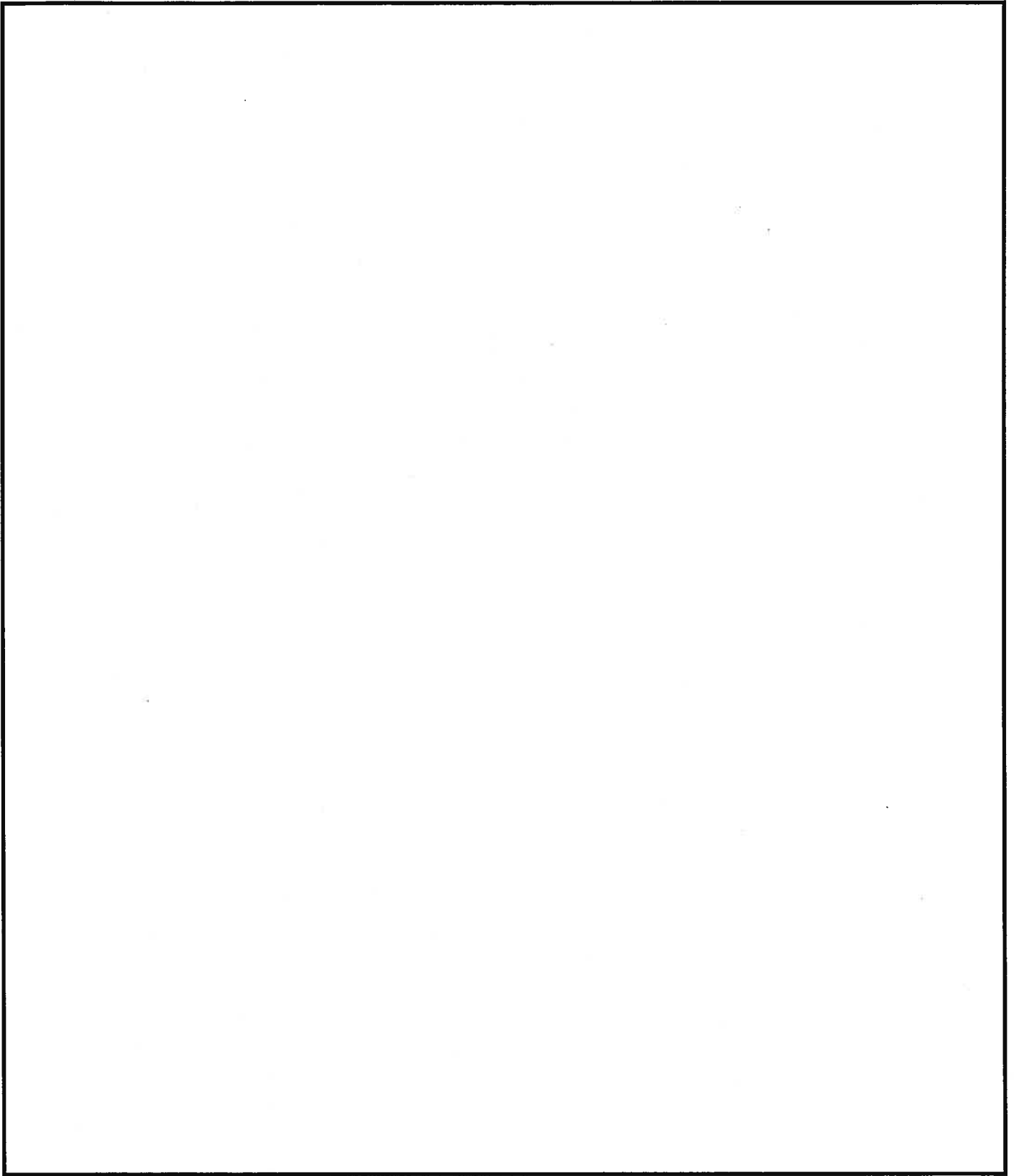


図 3-3 (14) ウラン脱硝施設(DN)の管理区域  
(ウラン脱硝施設(DN) 屋上)

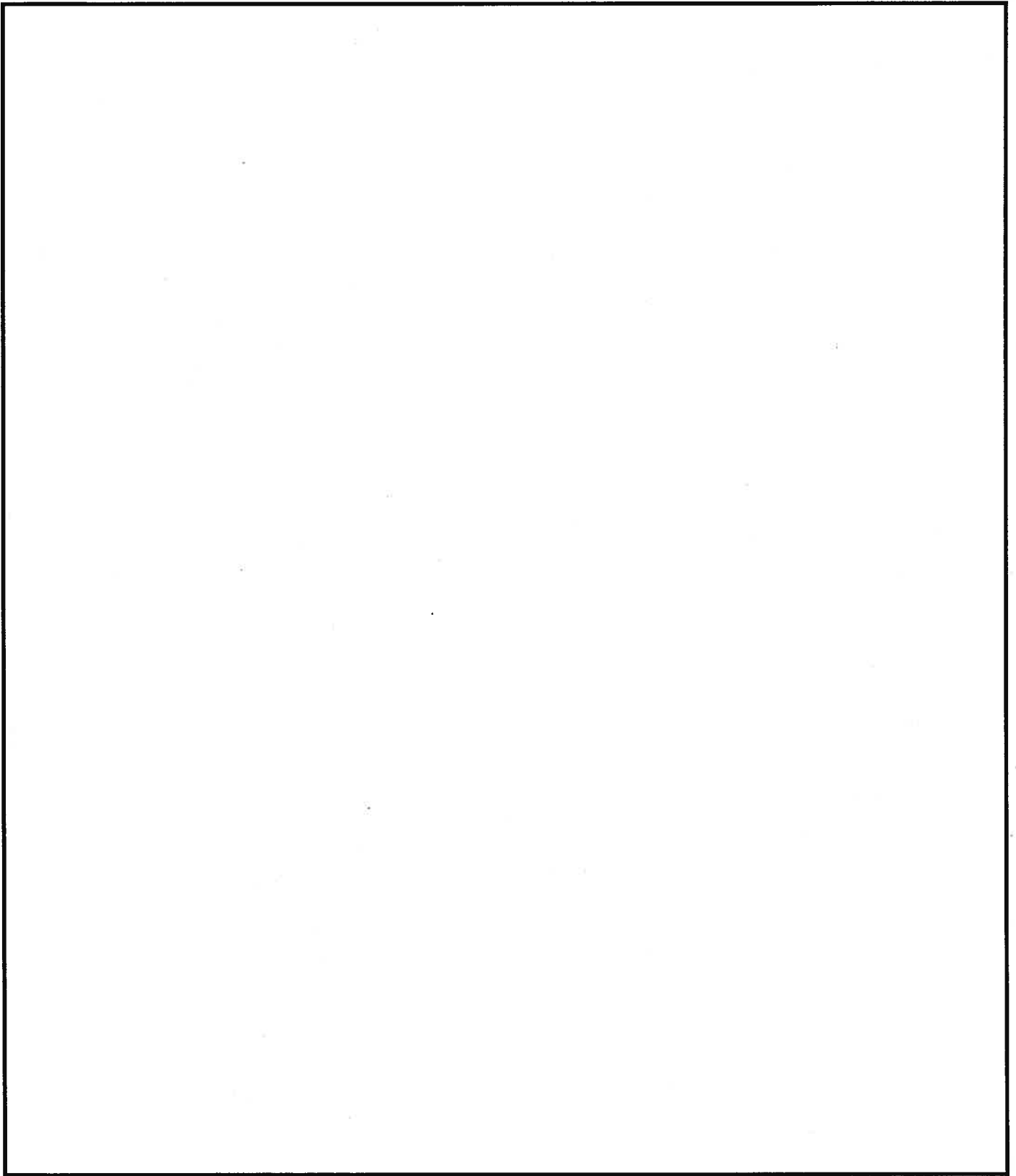


図 3-3 (15) ウラン貯蔵所(U03)の管理区域  
(ウラン貯蔵所(U03) 1階)

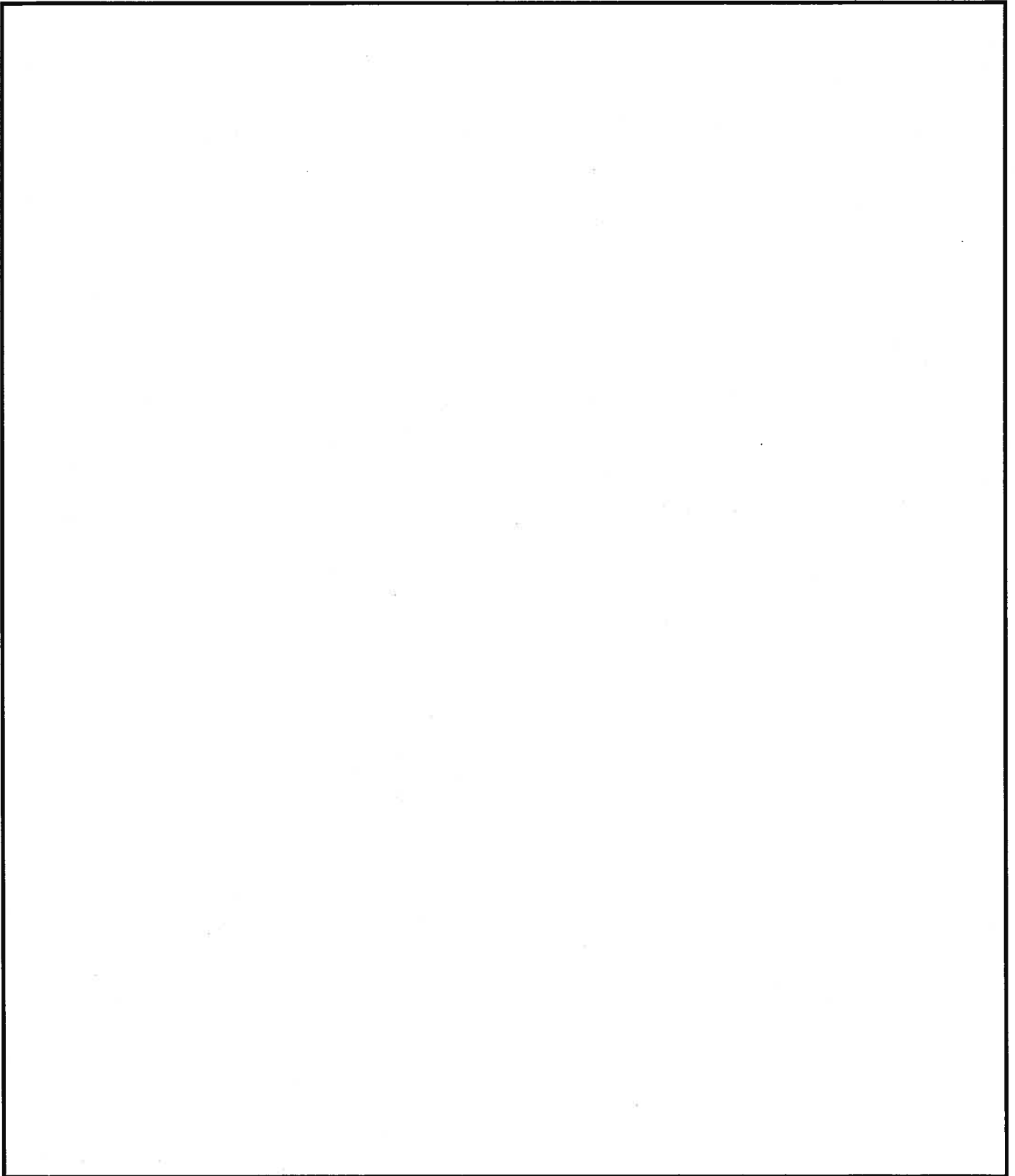


図 3-3 (16) 第二ウラン貯蔵所(2U03)の管理区域  
(第二ウラン貯蔵所(2U03) 1階)

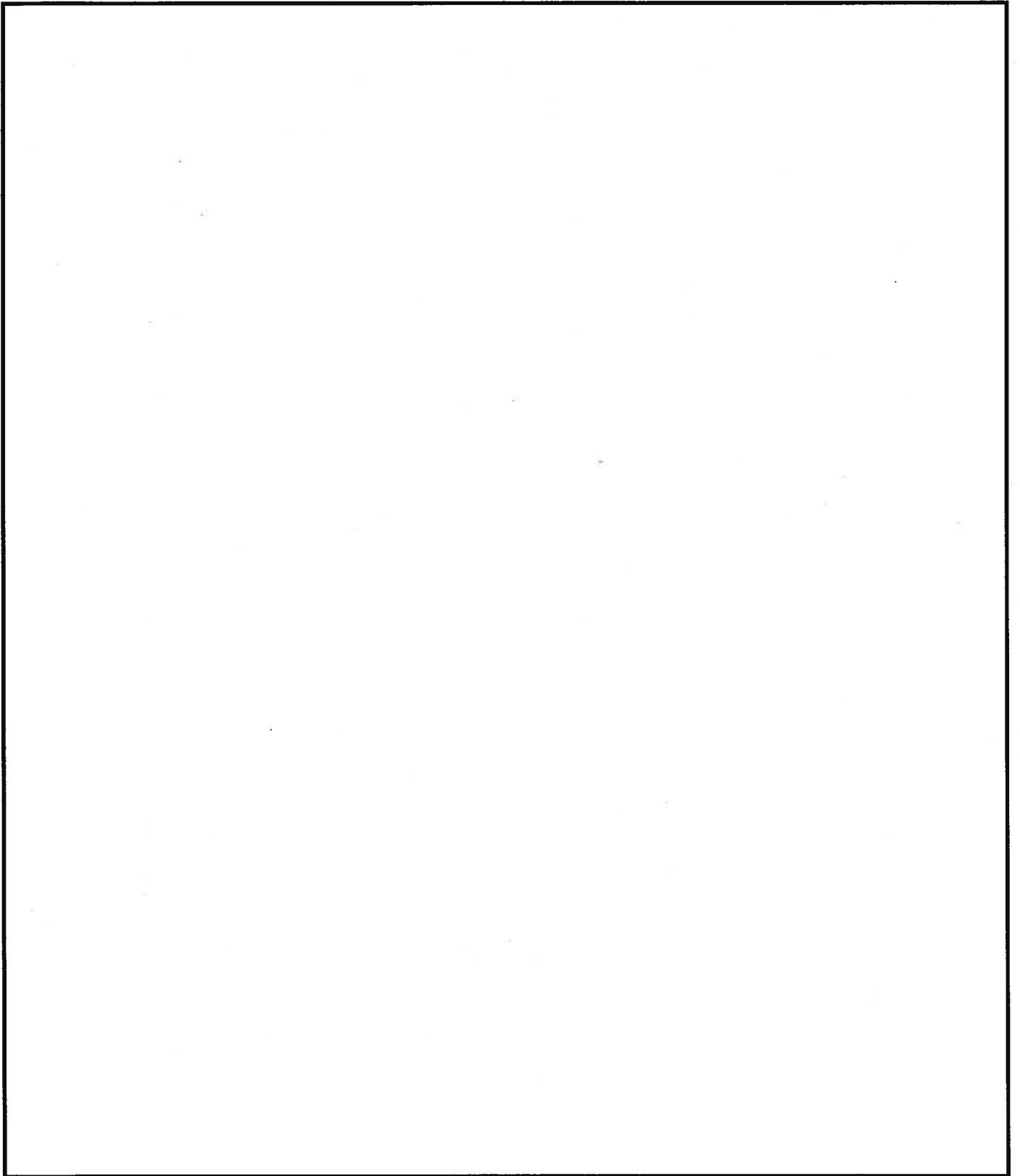


図 3-3 (17) 第二ウラン貯蔵所(2U03)の管理区域  
(第二ウラン貯蔵所(2U03) 2階)



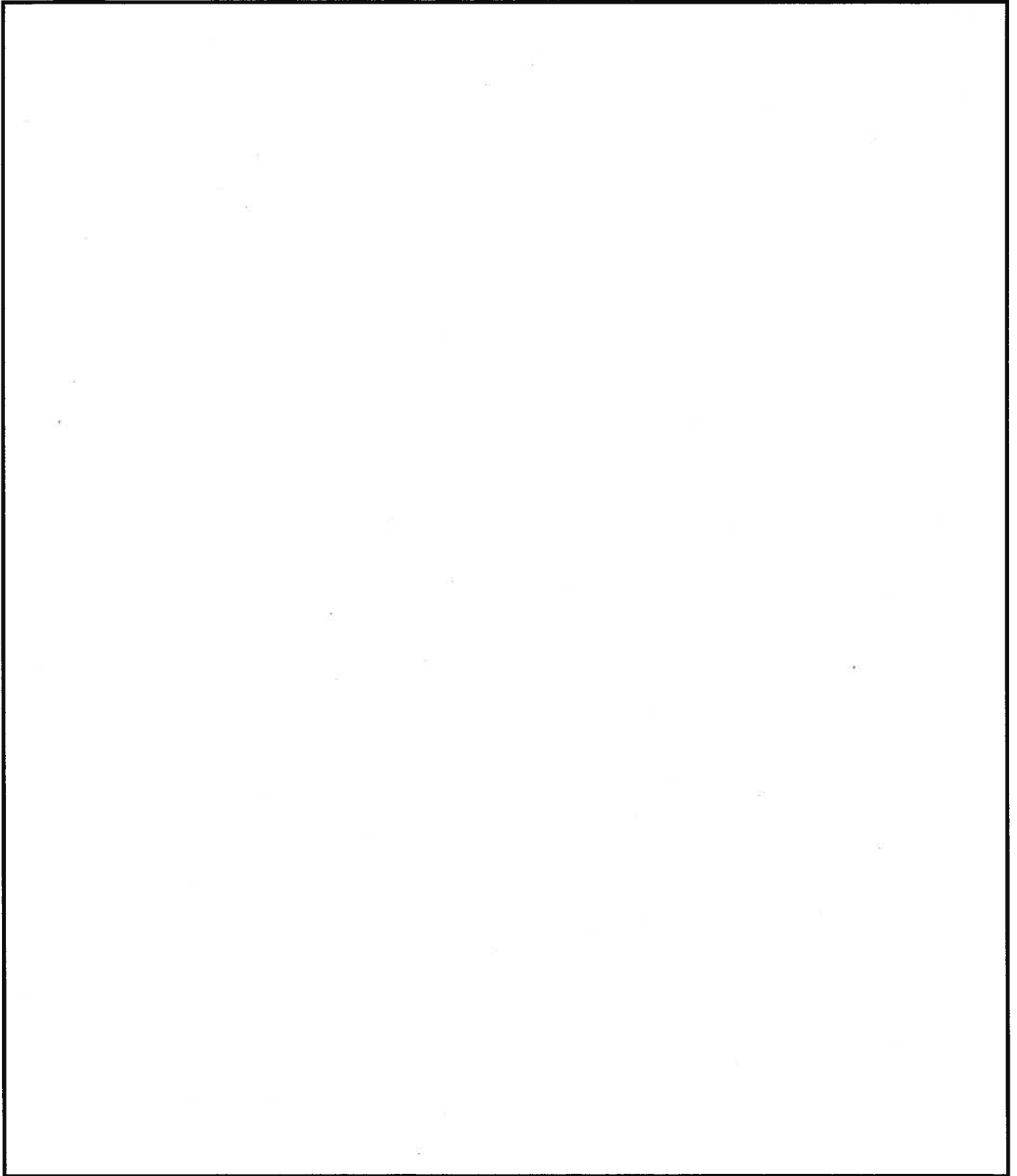


図 3-3 (18) 第三ウラン貯蔵所(3U03)の管理区域  
(第三ウラン貯蔵所(3U03) 1階)

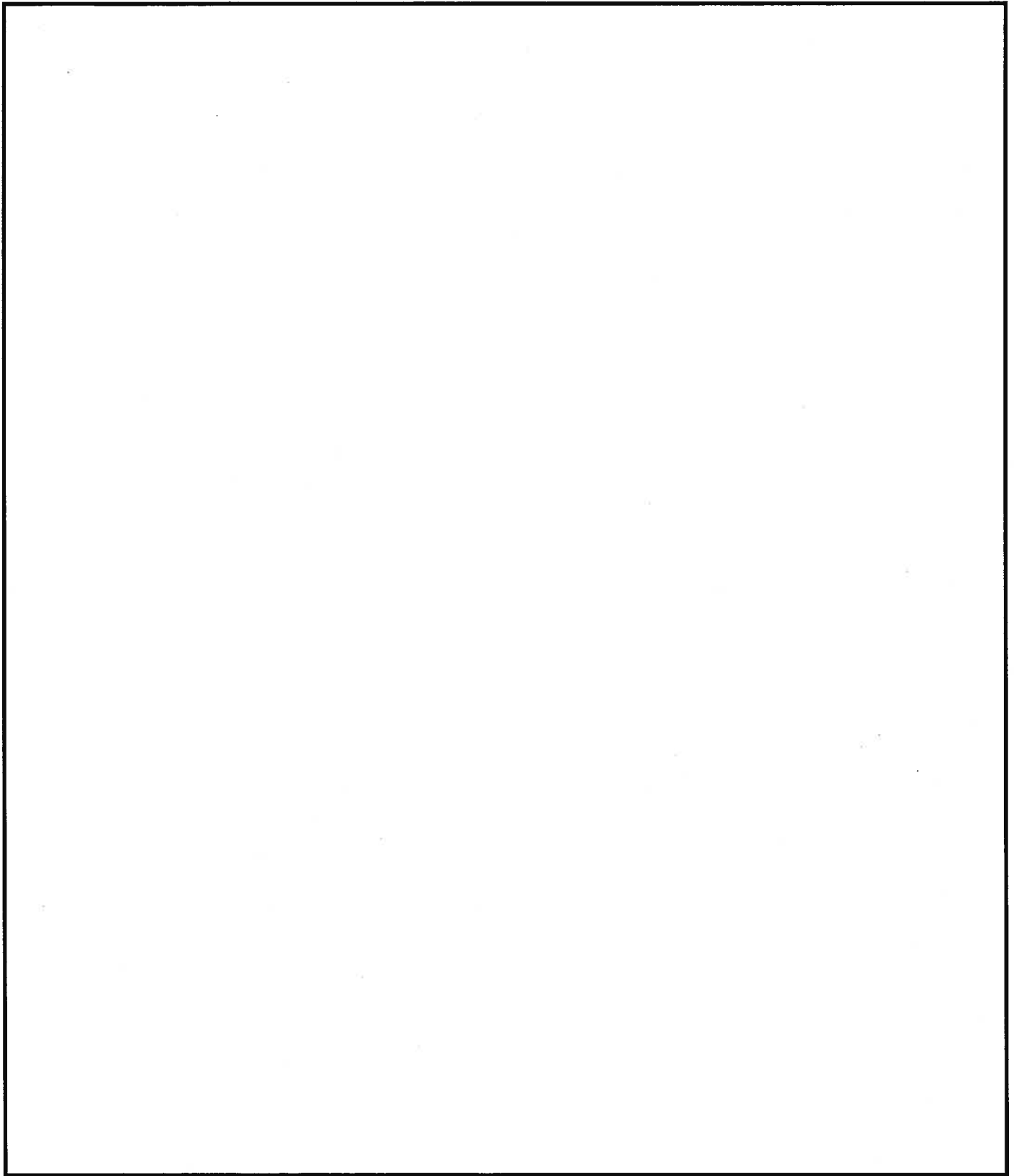


図 3-3 (19) 第三ウラン貯蔵所(3U03)の管理区域  
(第三ウラン貯蔵所(3U03) 2階)

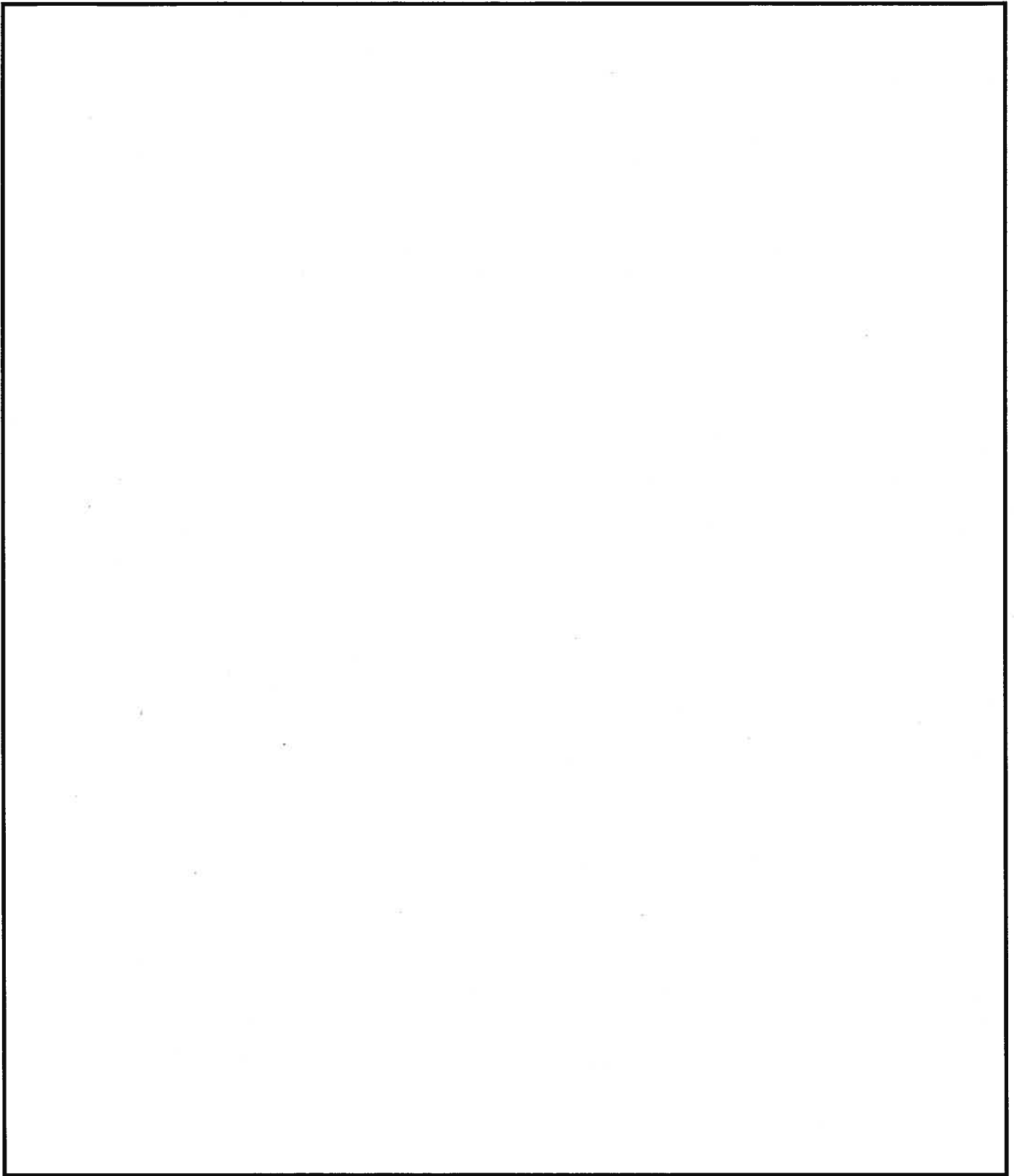


図 3-3 (20) プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)の管理区域  
(プルトニウム転換技術開発施設(PCDF) 地下1階)

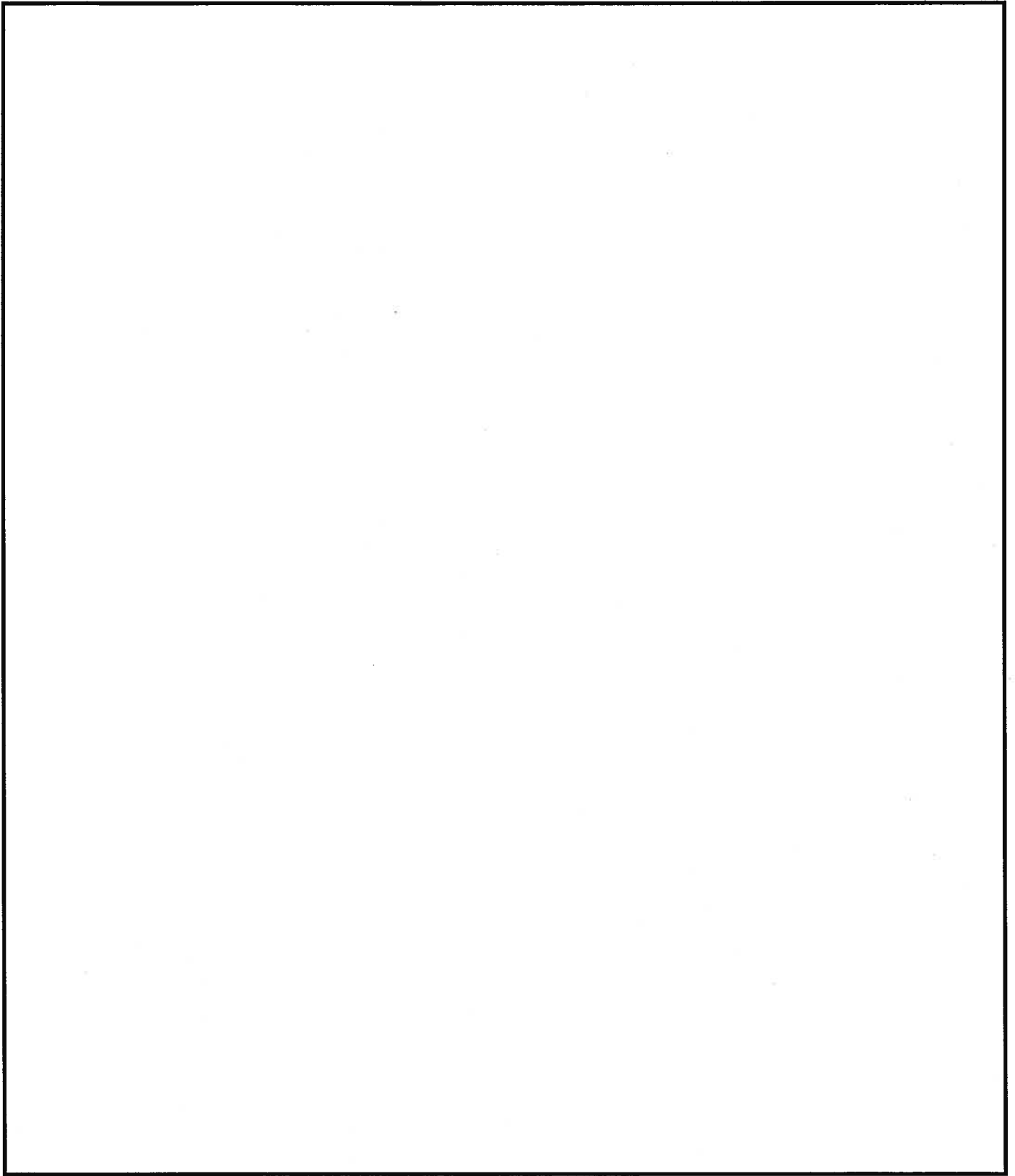


図 3-3 (21) プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)の管理区域  
(プルトニウム転換技術開発施設(PCDF) 1階)

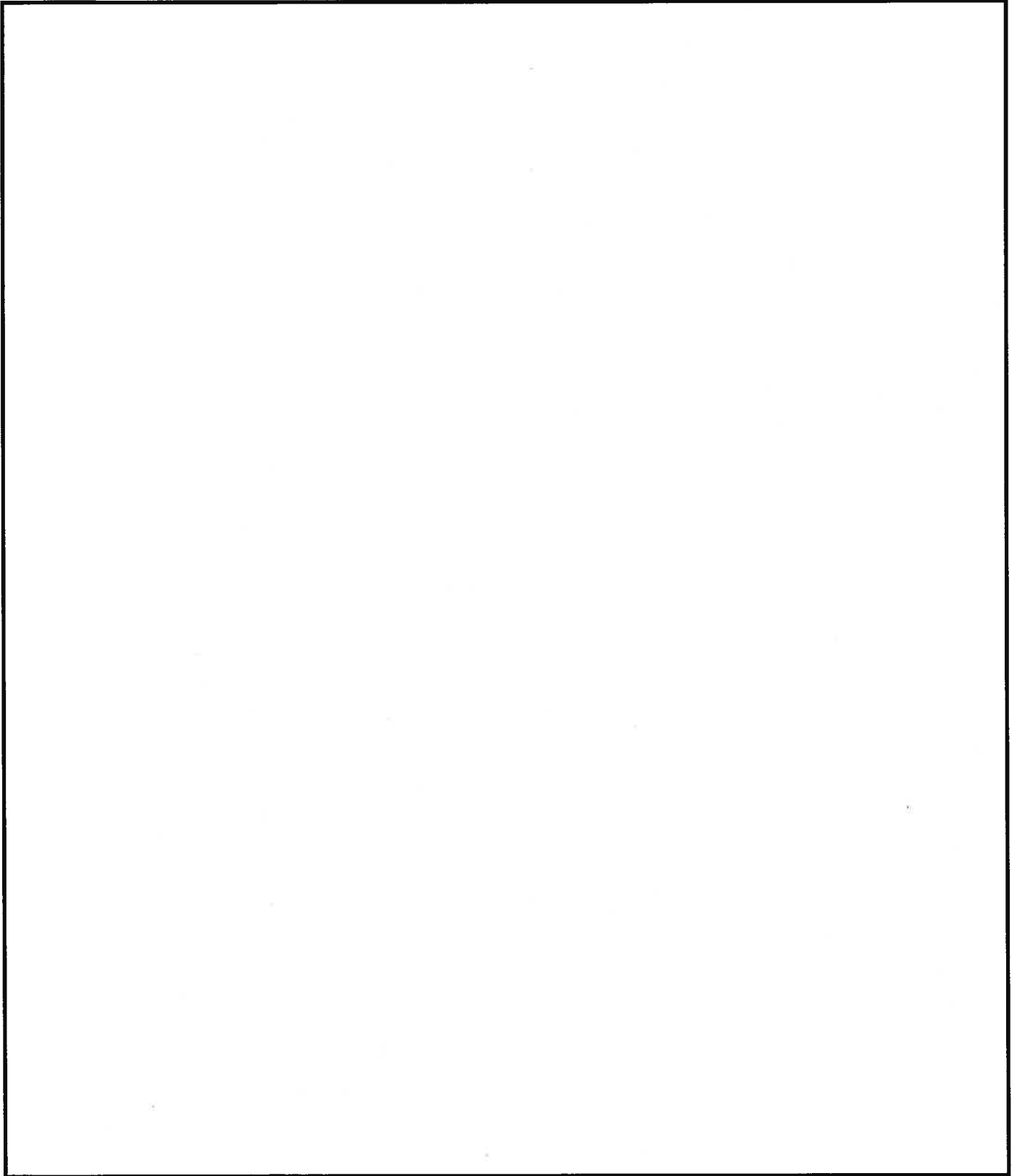


図 3-3 (22) プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)の管理区域  
(プルトニウム転換技術開発施設(PCDF) 2階)

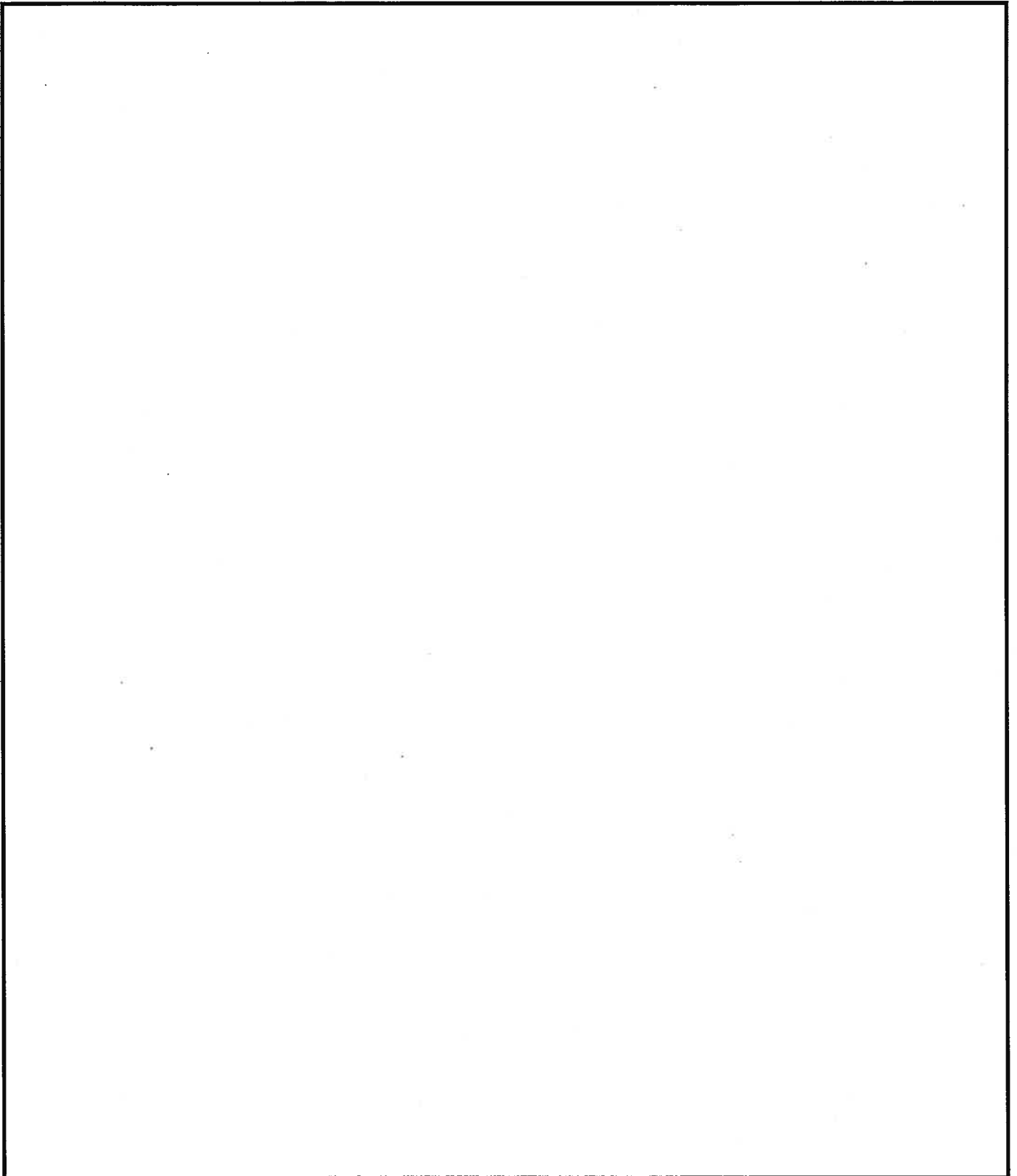


図 3-3 (23) プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)の管理区域  
(プルトニウム転換技術開発施設(PCDF) 3階)

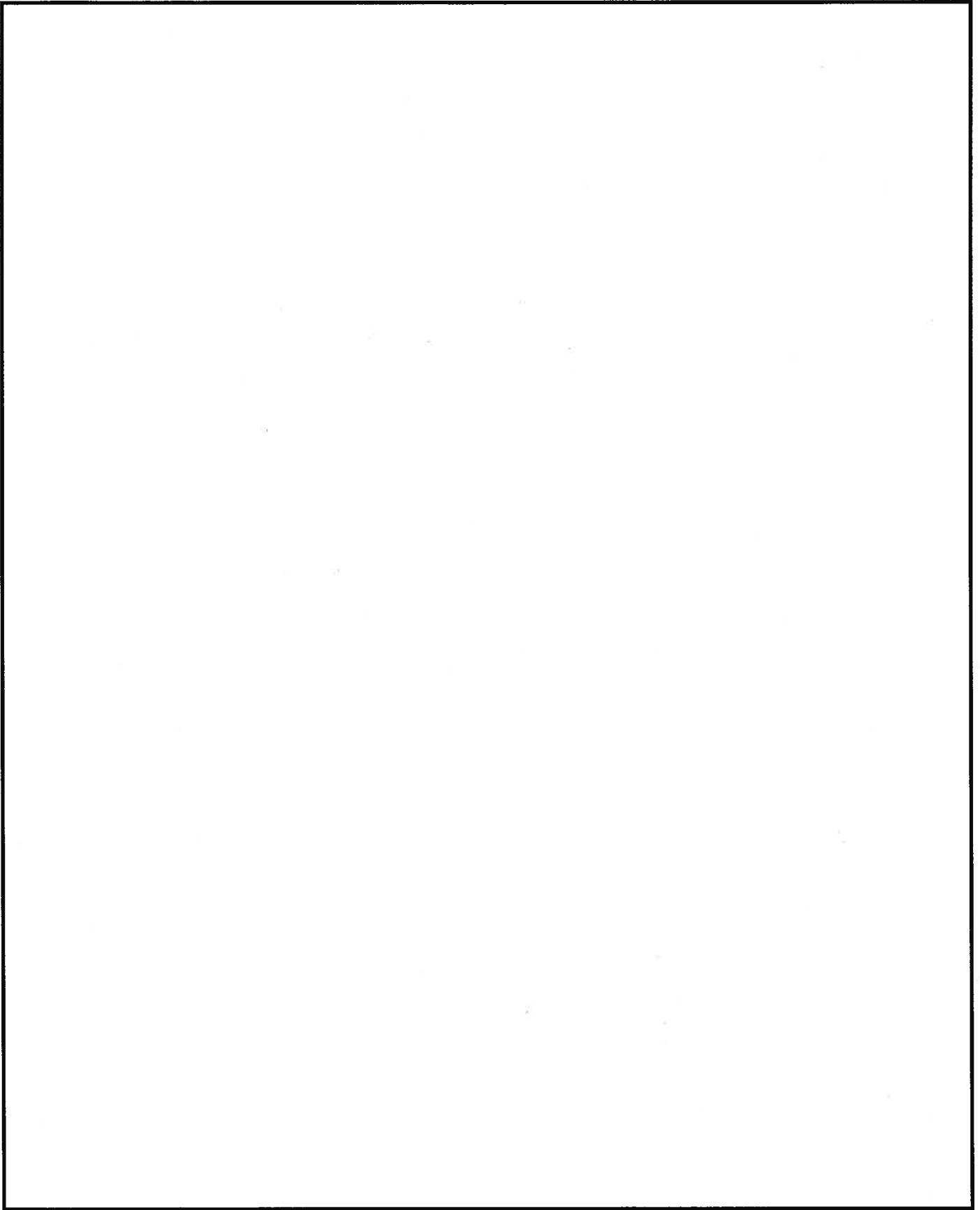


図 3-3 (24) プルトニウム転換技術開発施設(PCDF)の管理区域  
(プルトニウム転換技術開発施設(PCDF) 4階, ペントハウス)

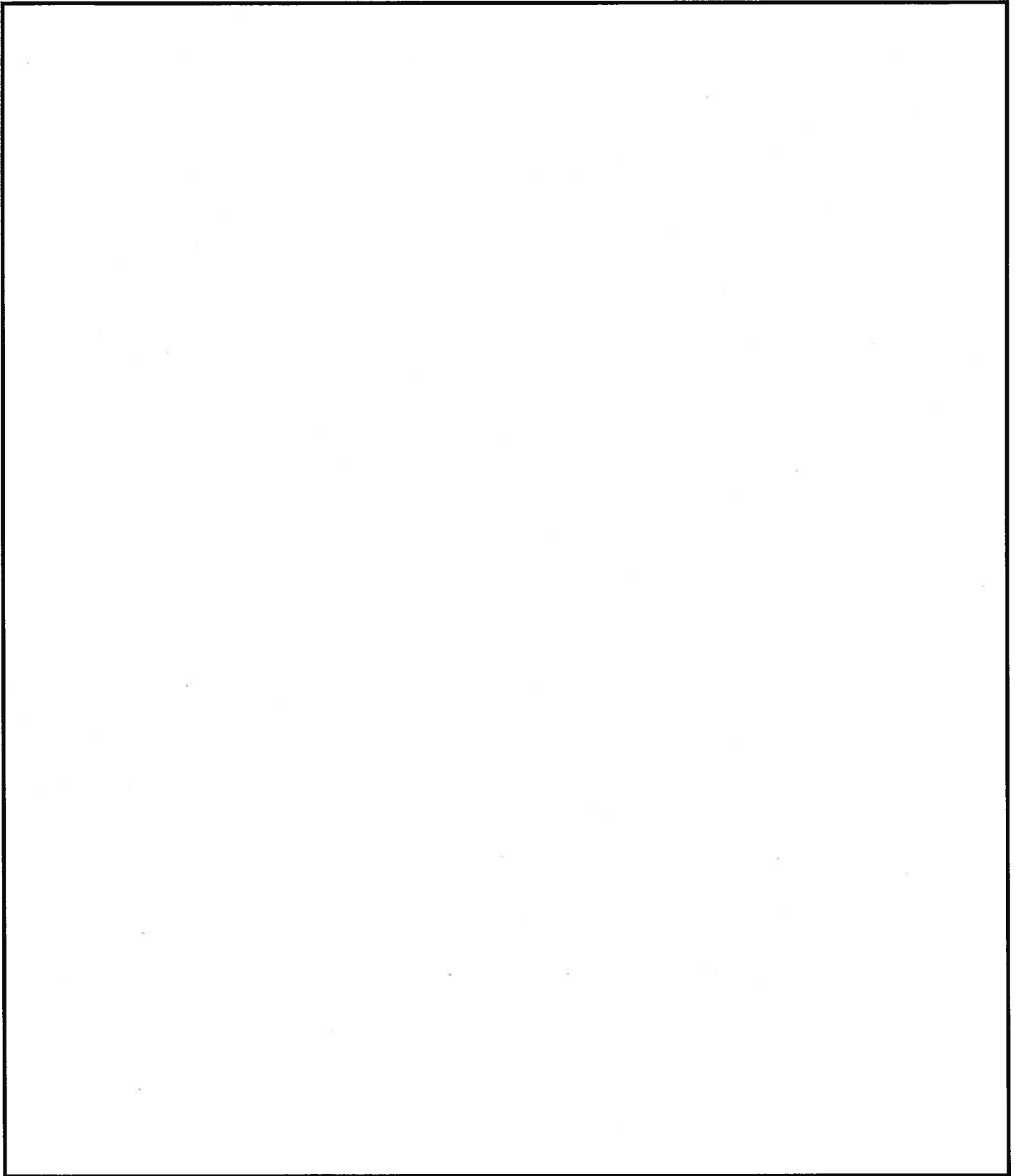


図 3-3 (25) クリプトン回収技術開発施設(Kr)の管理区域  
(クリプトン回収技術開発施設(Kr) 地下1階, 地下中1階)



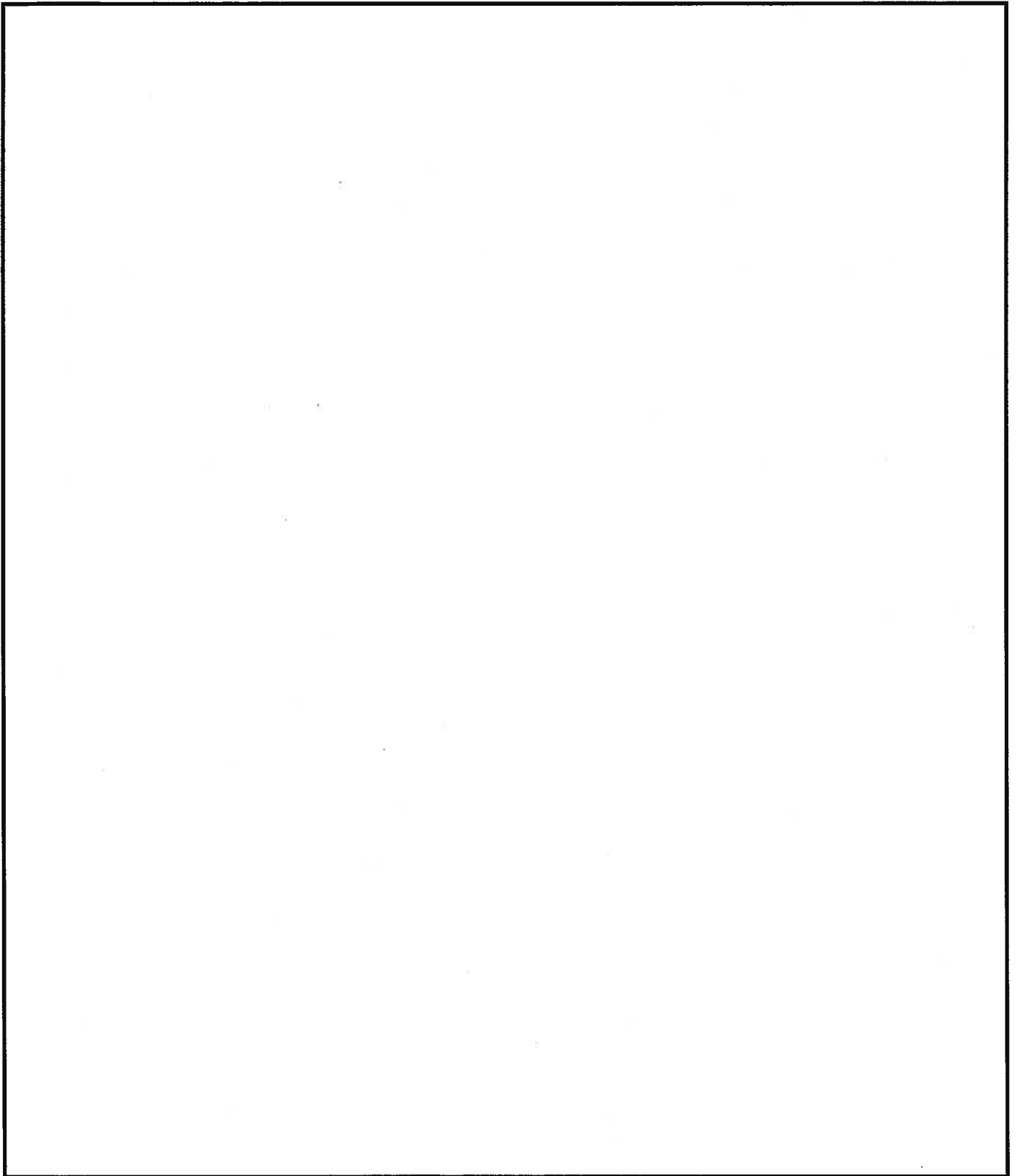


図 3-3 (26) クリプトン回収技術開発施設(Kr)の管理区域  
(クリプトン回収技術開発施設(Kr) 1階)

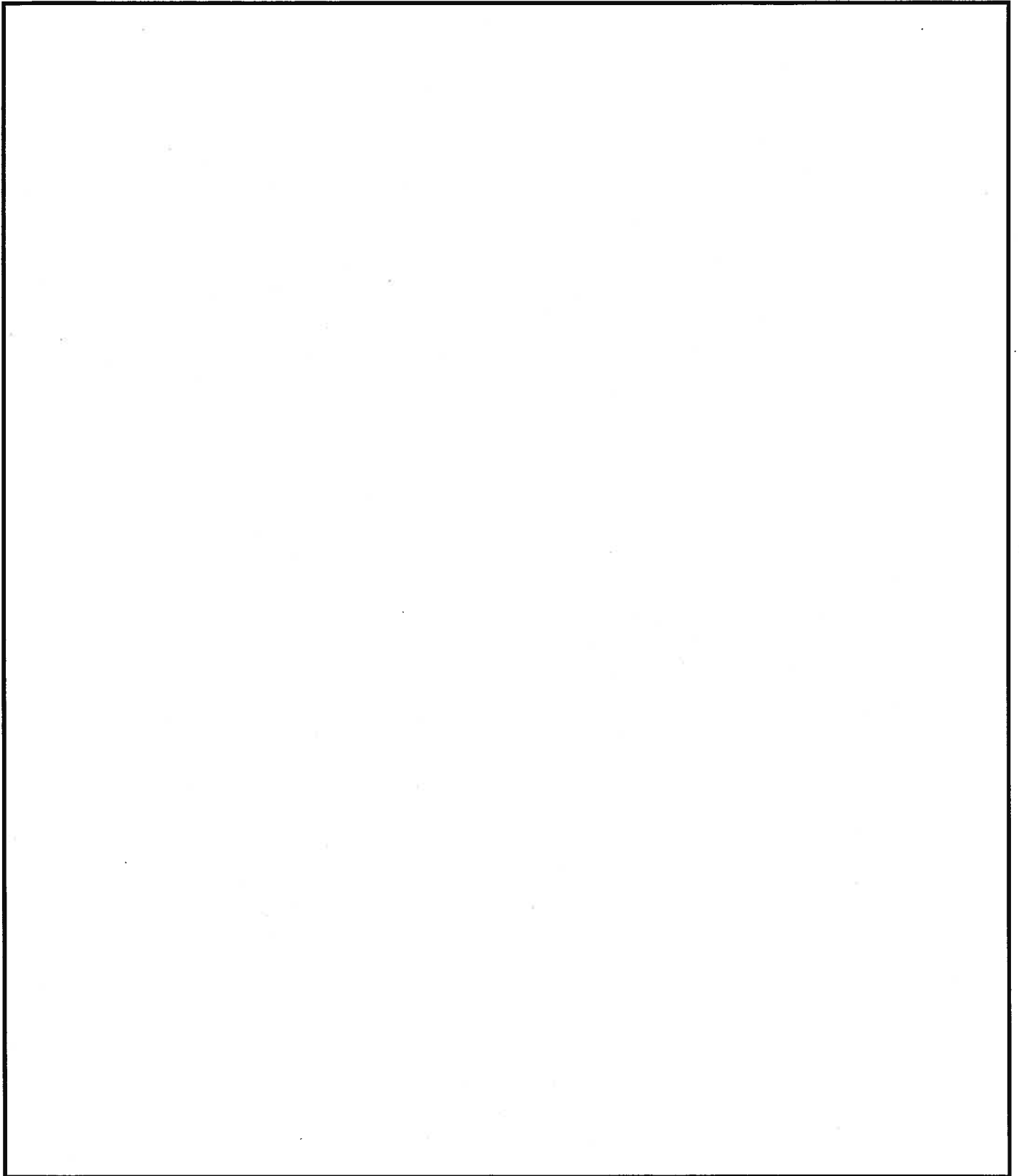


図 3-3 (27) クリプトン回収技術開発施設(Kr)の管理区域  
(クリプトン回収技術開発施設(Kr) 2階)

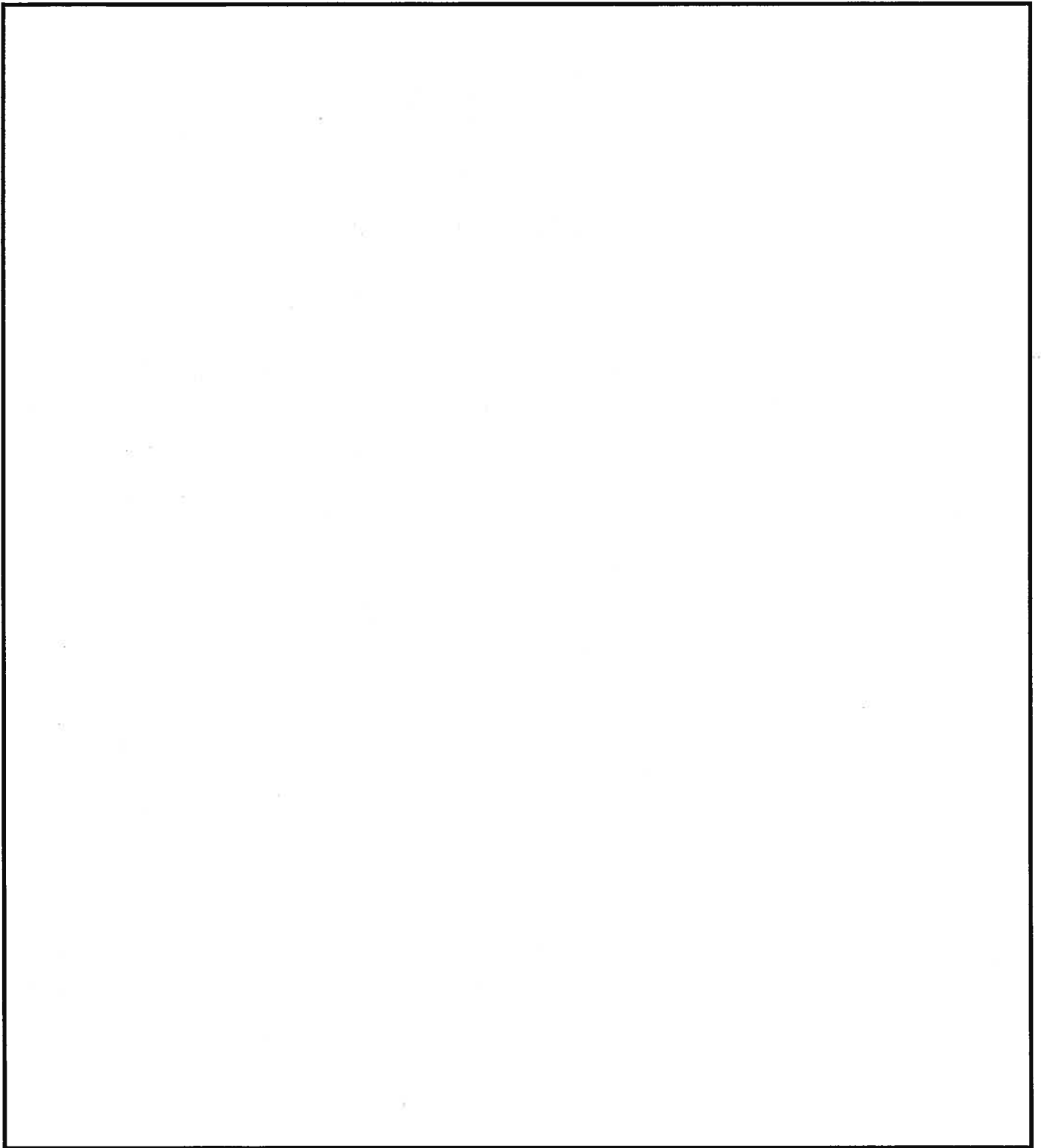


図 3-3 (28) クリプトン回収技術開発施設(Kr)の管理区域  
(クリプトン回収技術開発施設(Kr) 3階)

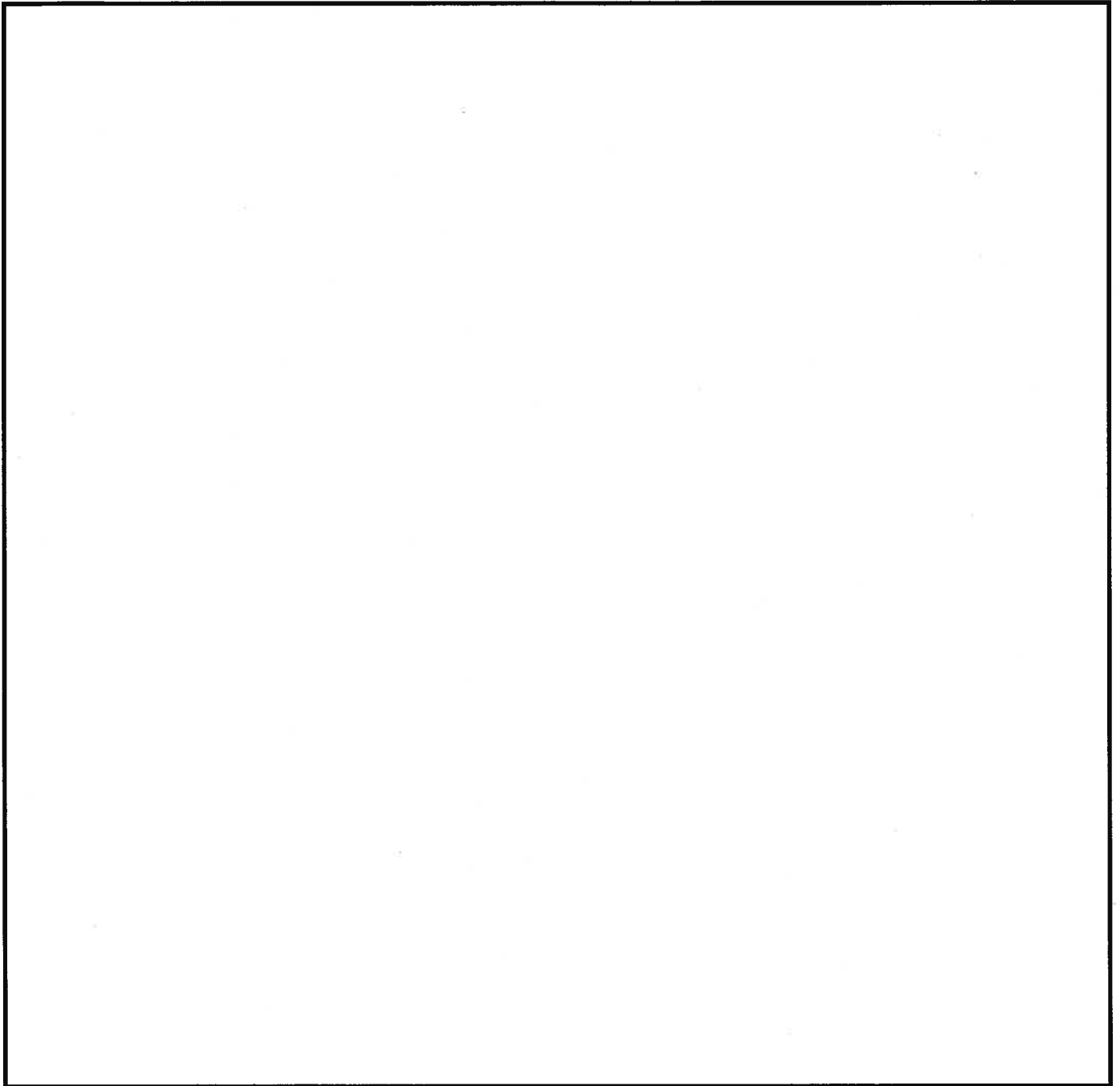


図 3-3 (29) 高放射性廃液貯蔵場(HAW)の管理区域  
(高放射性廃液貯蔵場(HAW) 地下1階)

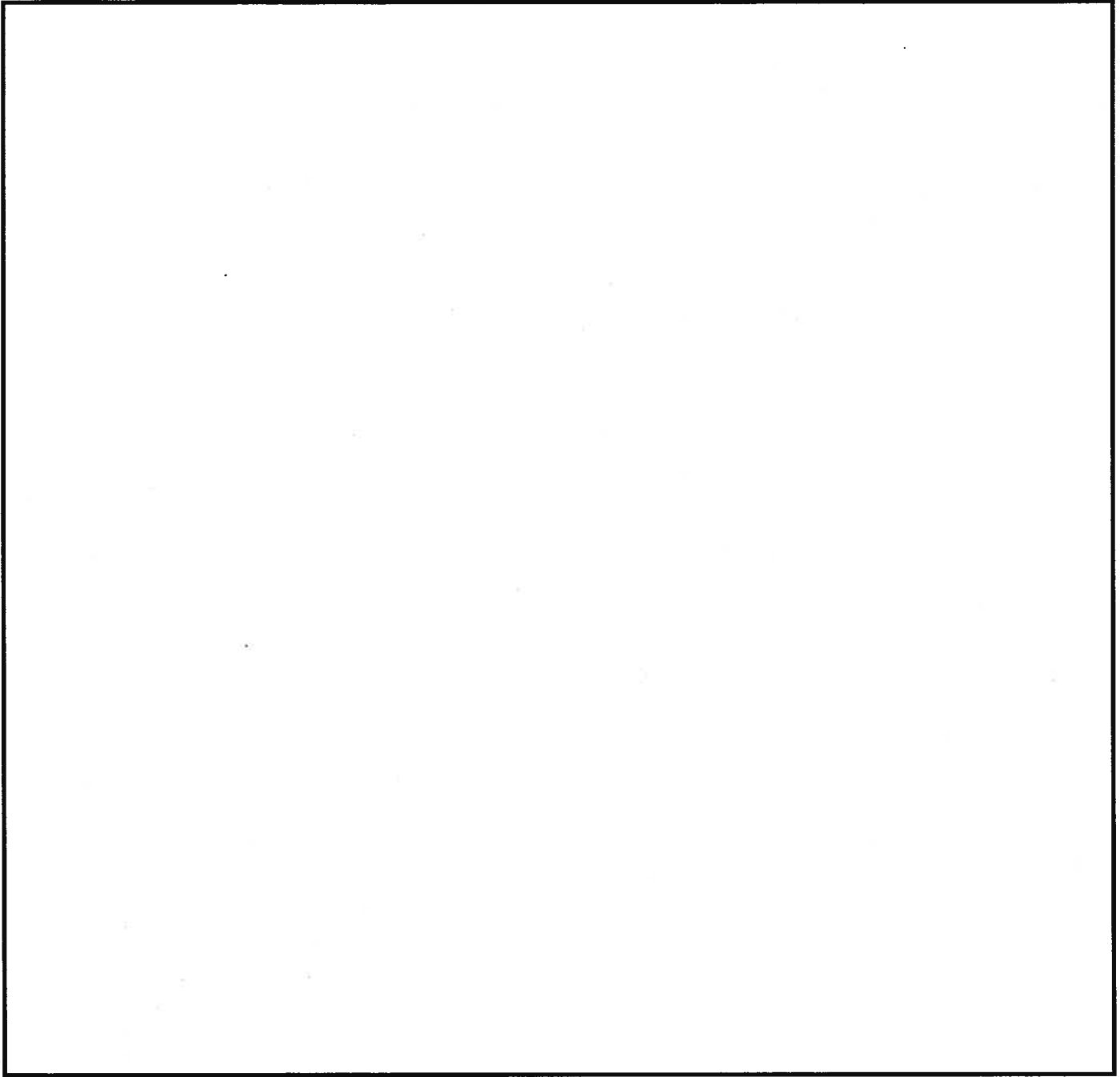


図 3-3 (30) 高放射性廃液貯蔵場(HAW)の管理区域  
(高放射性廃液貯蔵場(HAW) 1階)

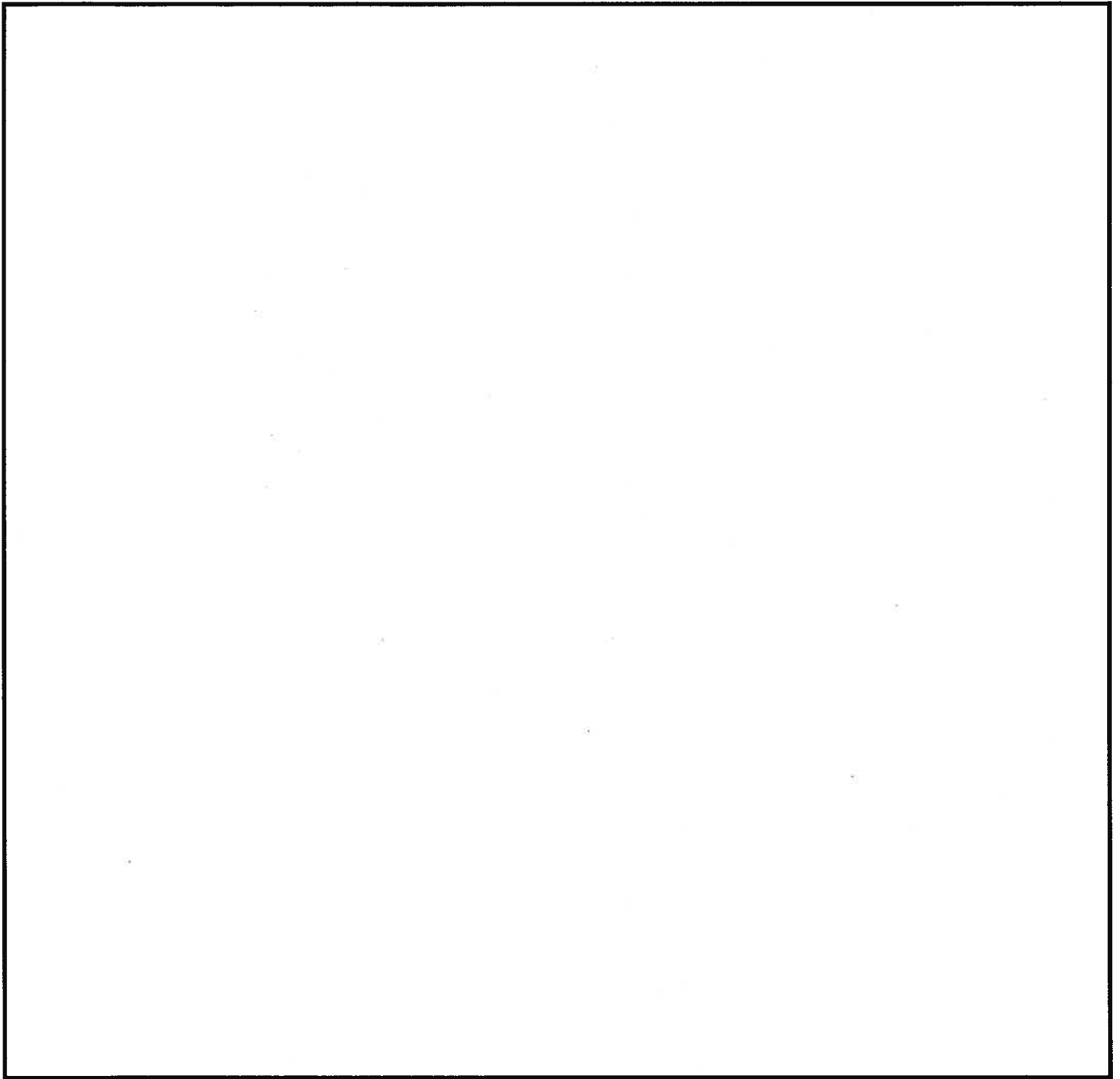


図 3-3 (31) 高放射性廃液貯蔵場(HAW)の管理区域  
(高放射性廃液貯蔵場(HAW) 2階)

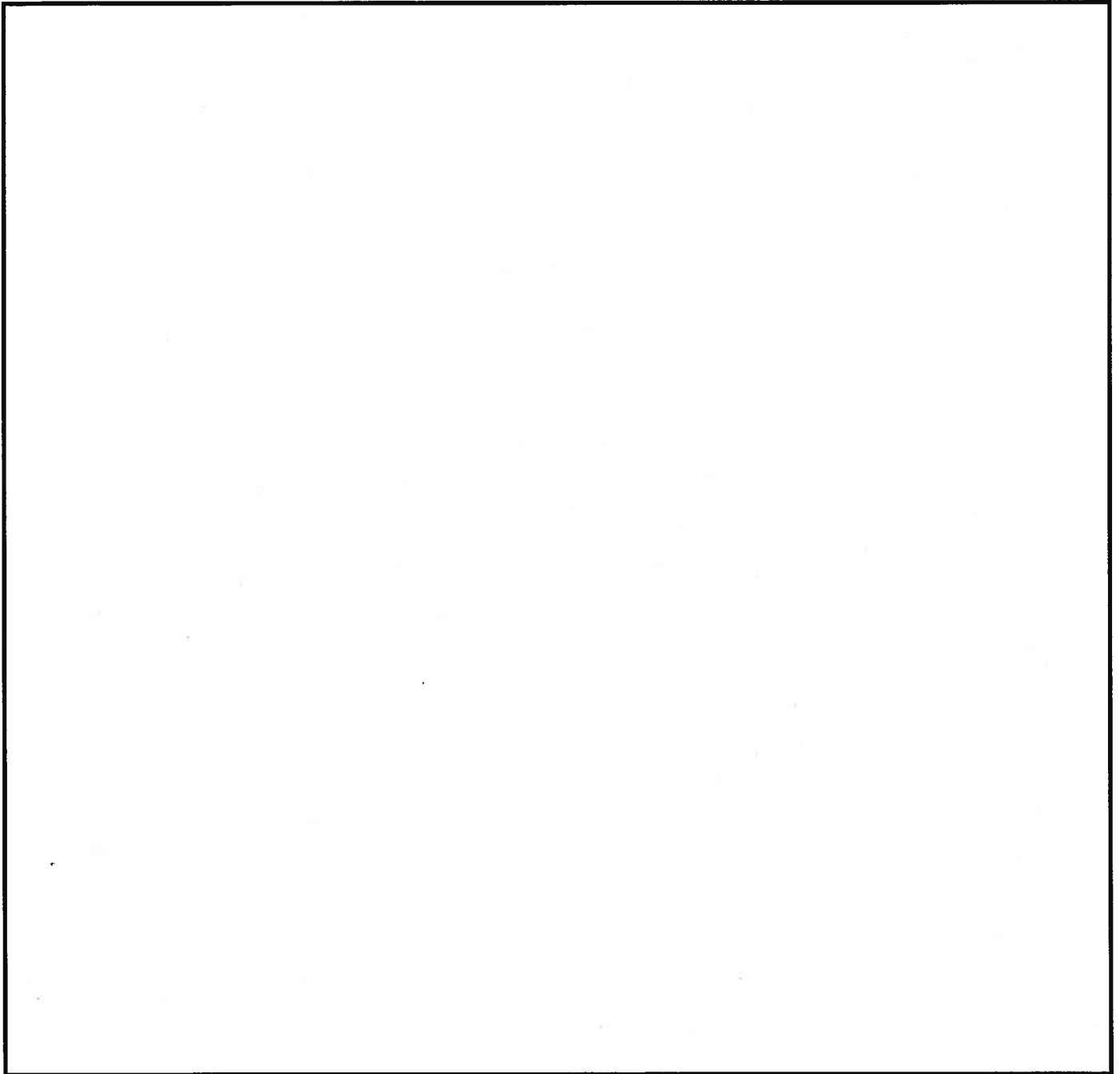


図 3-3 (32) 高放射性廃液貯蔵場(HAW)の管理区域  
(高放射性廃液貯蔵場(HAW) 3階)

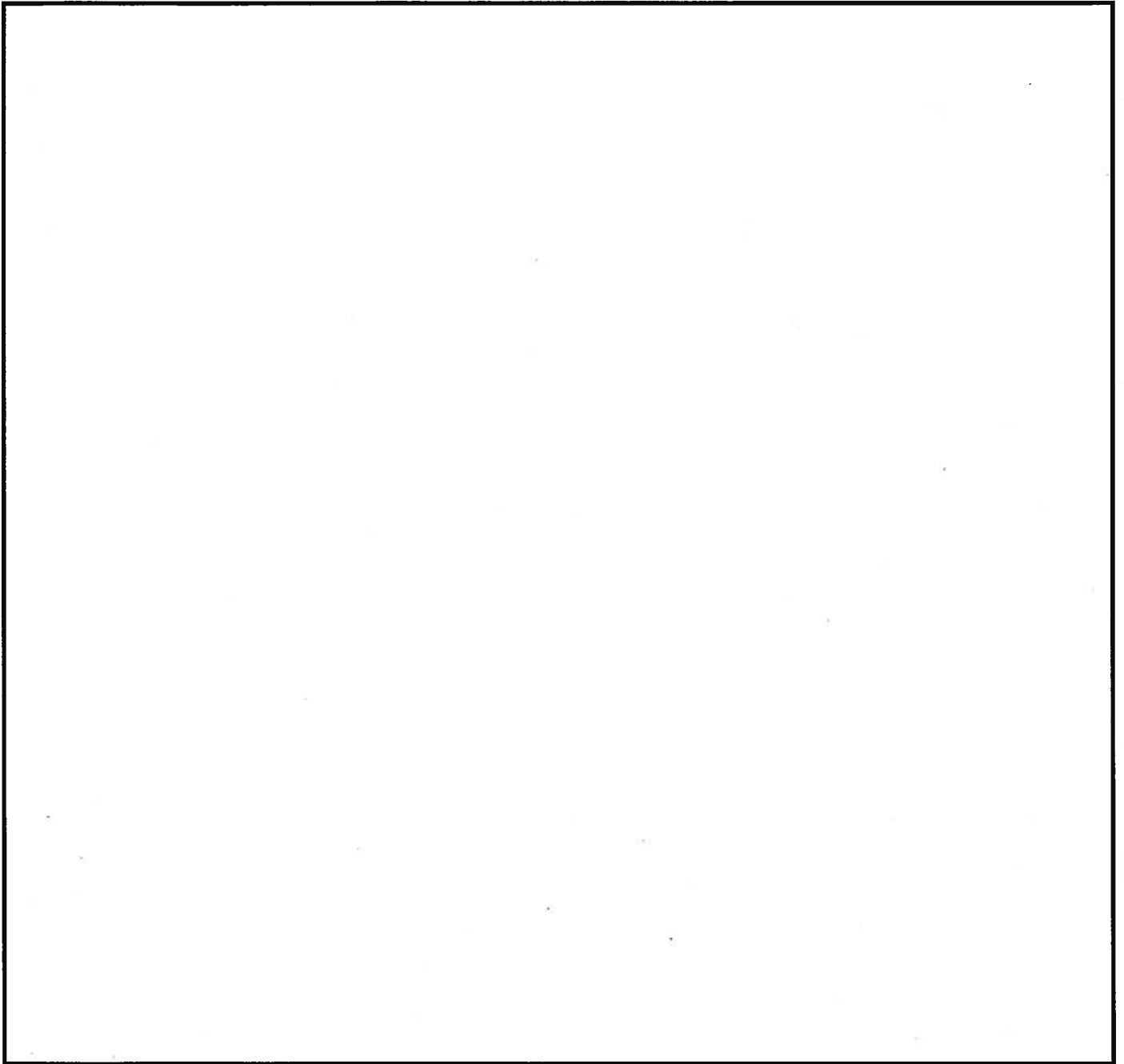


図 3-3 (33) 高放射性廃液貯蔵場(HAW)の管理区域  
(高放射性廃液貯蔵場(HAW) 4階)



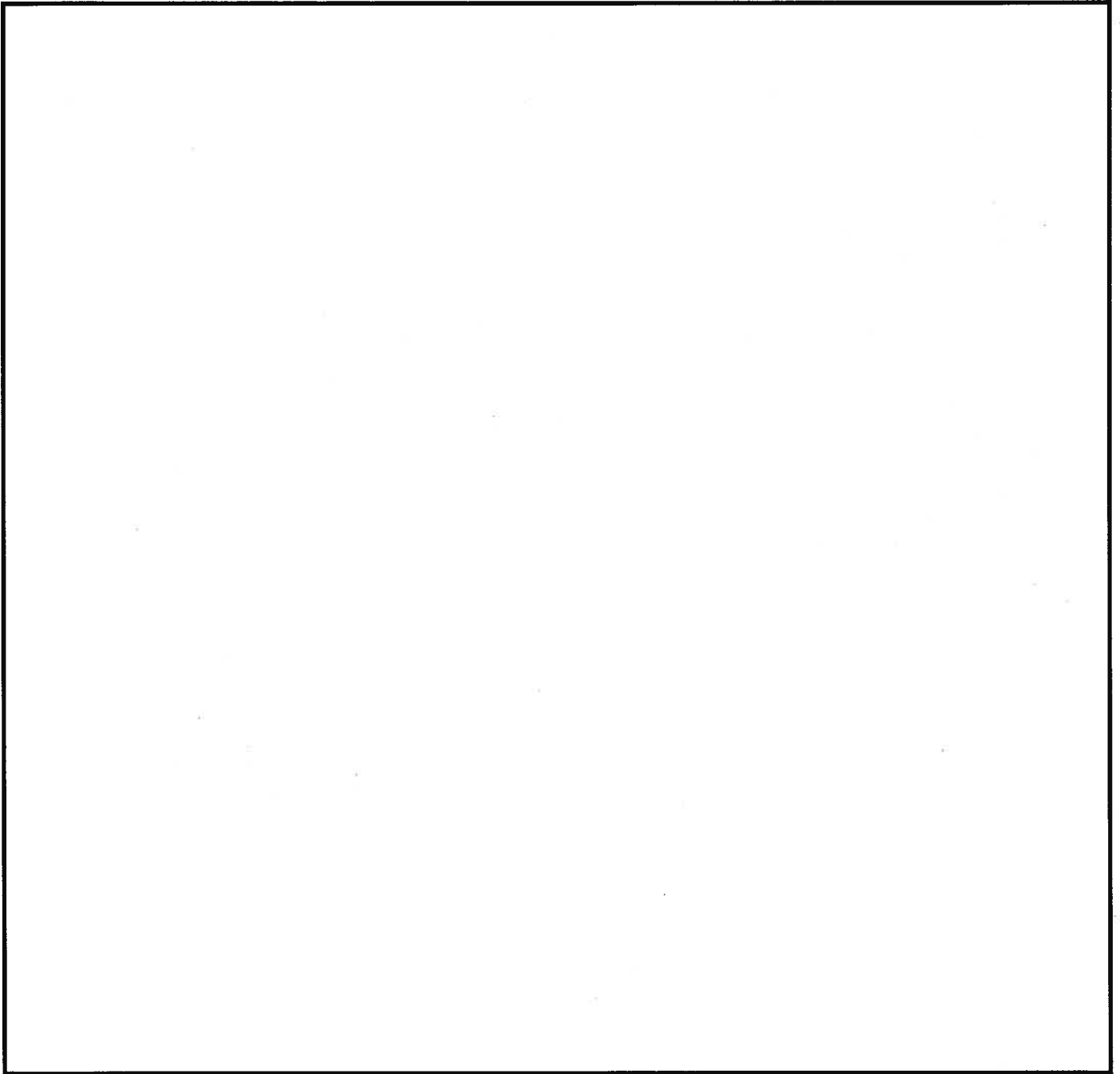


図 3-3 (34) 高放射性廃液貯蔵場(HAW)の管理区域  
(高放射性廃液貯蔵場(HAW) 5階)

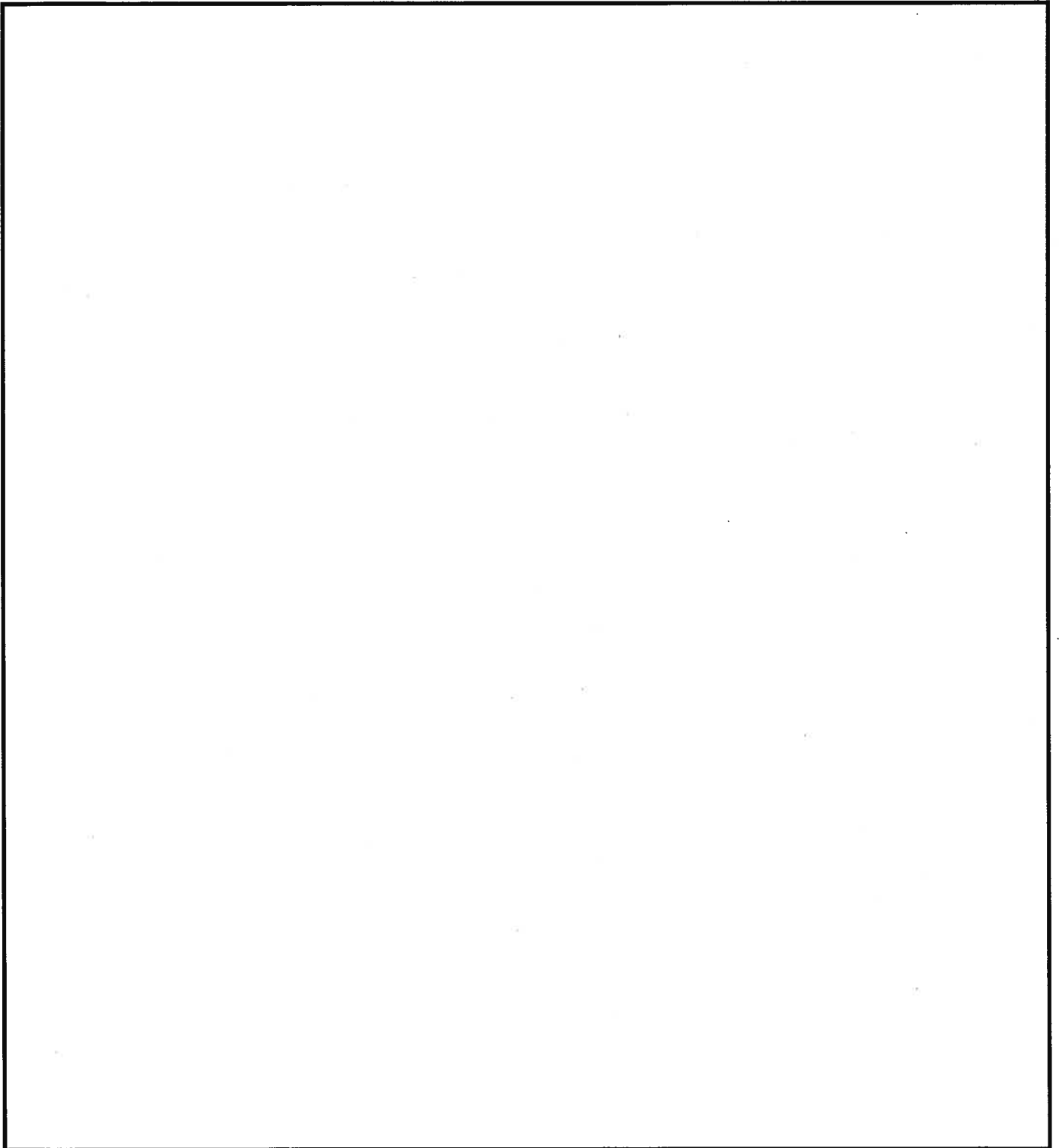


図 3-3 (35) ガラス固化技術開発施設(TVF)の管理区域  
(ガラス固化技術開発施設(TVF) 地下 2 階)

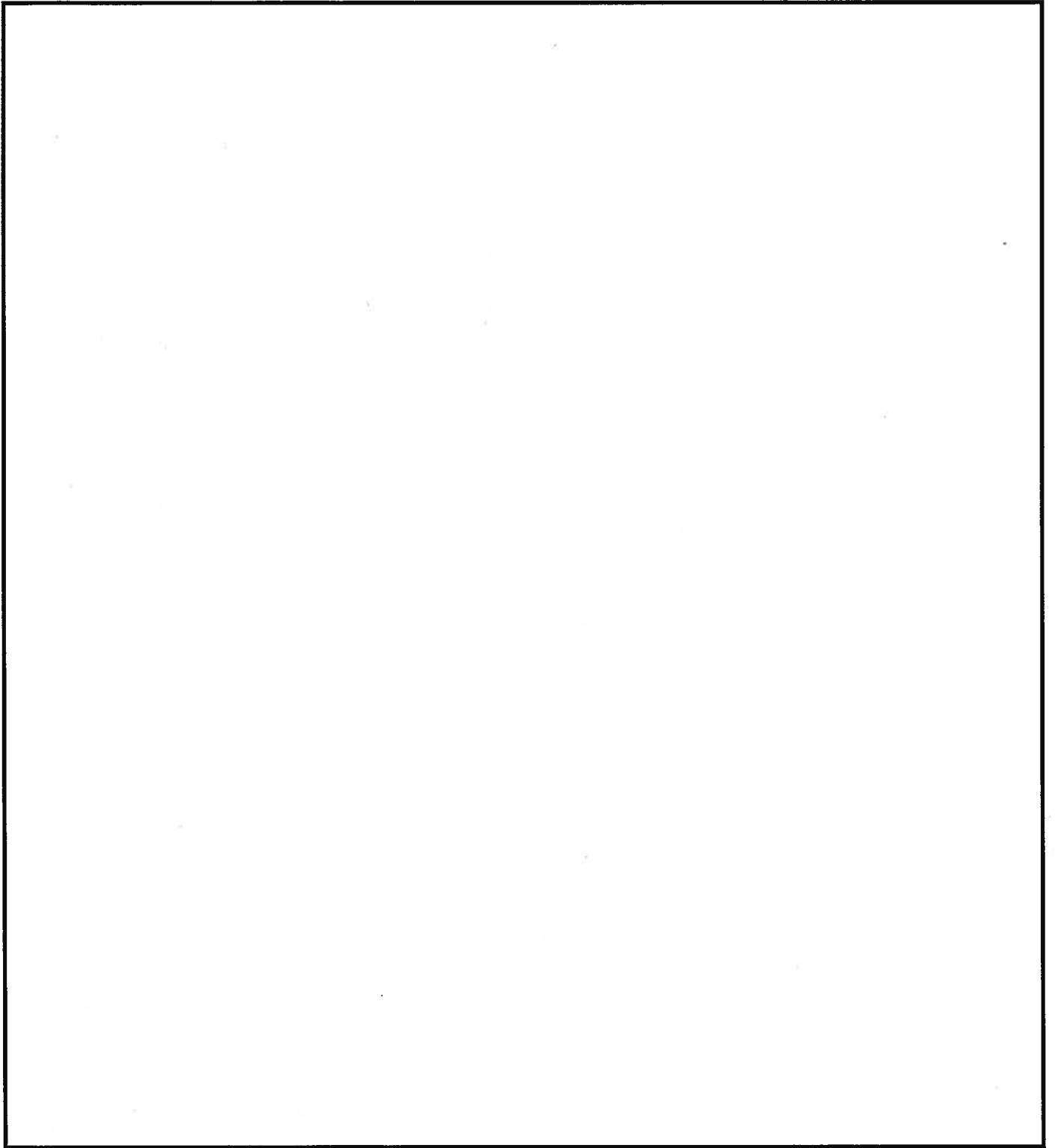


図 3-3 (36) ガラス固化技術開発施設(TVF)の管理区域  
(ガラス固化技術開発施設(TVF) 地下1階)

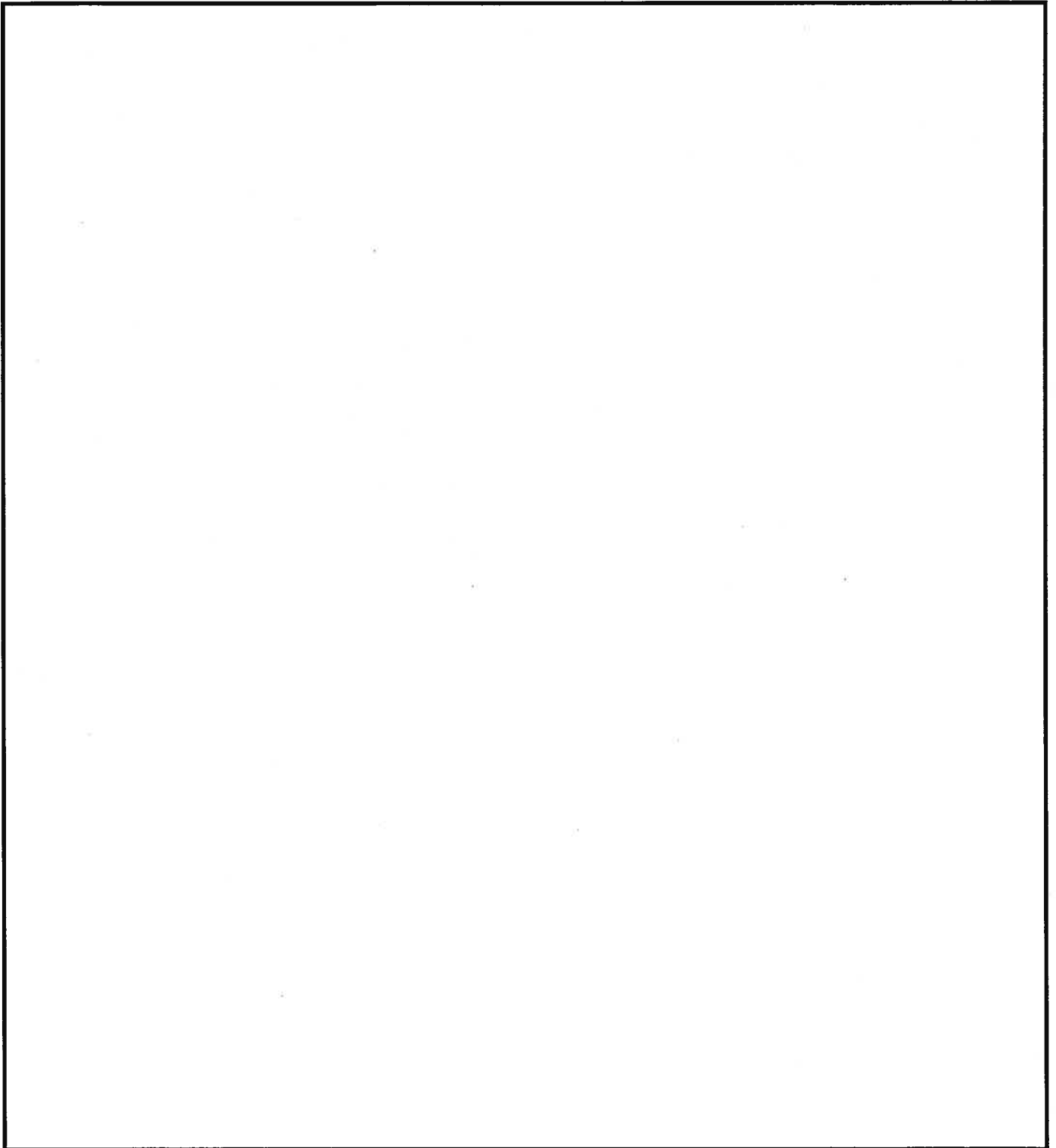


図 3-3 (37) ガラス固化技術開発施設(TVF)の管理区域  
(ガラス固化技術開発施設(TVF) 1階)

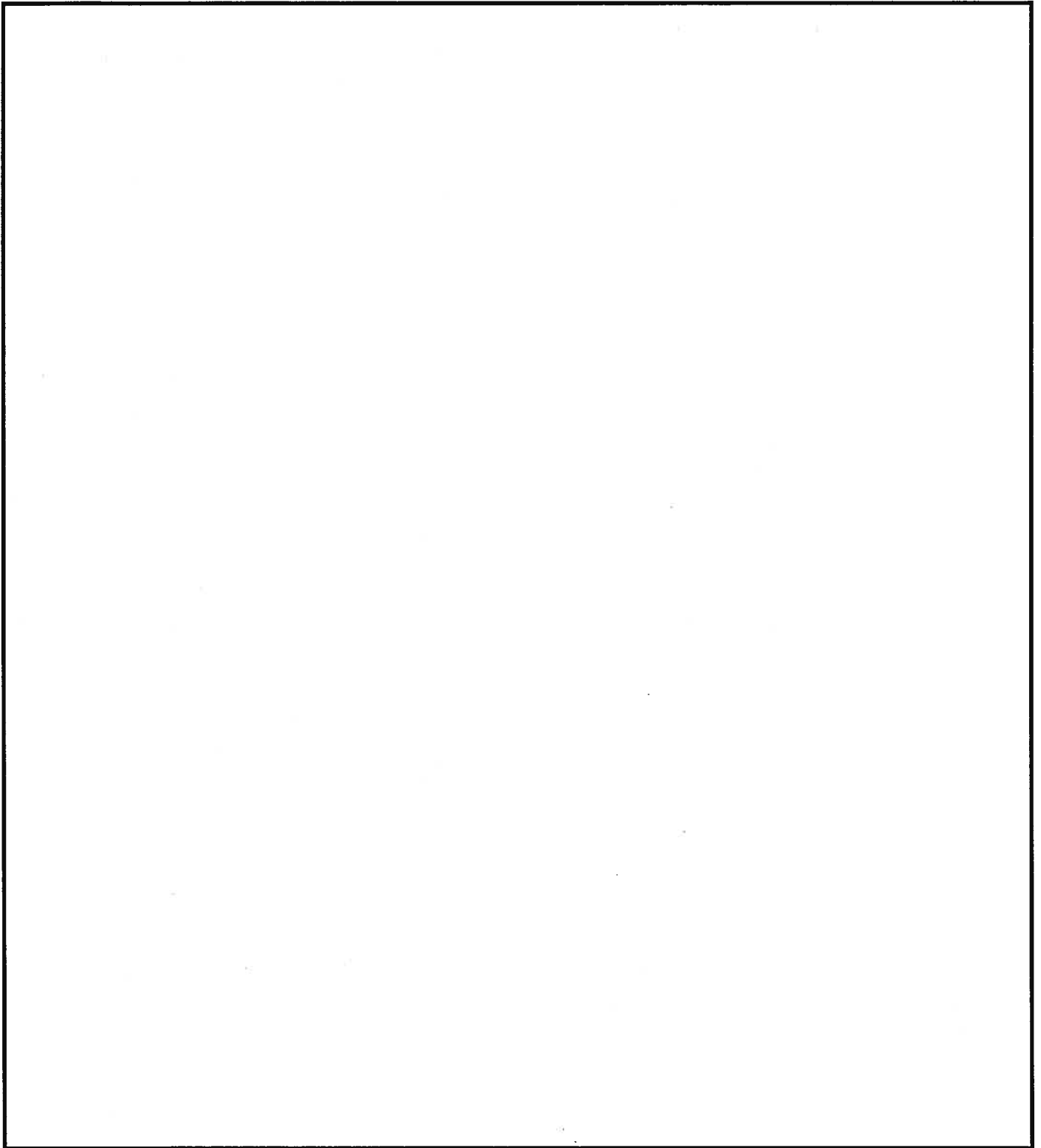


図 3-3 (38) ガラス固化技術開発施設(TVF)の管理区域  
(ガラス固化技術開発施設(TVF) 2階)

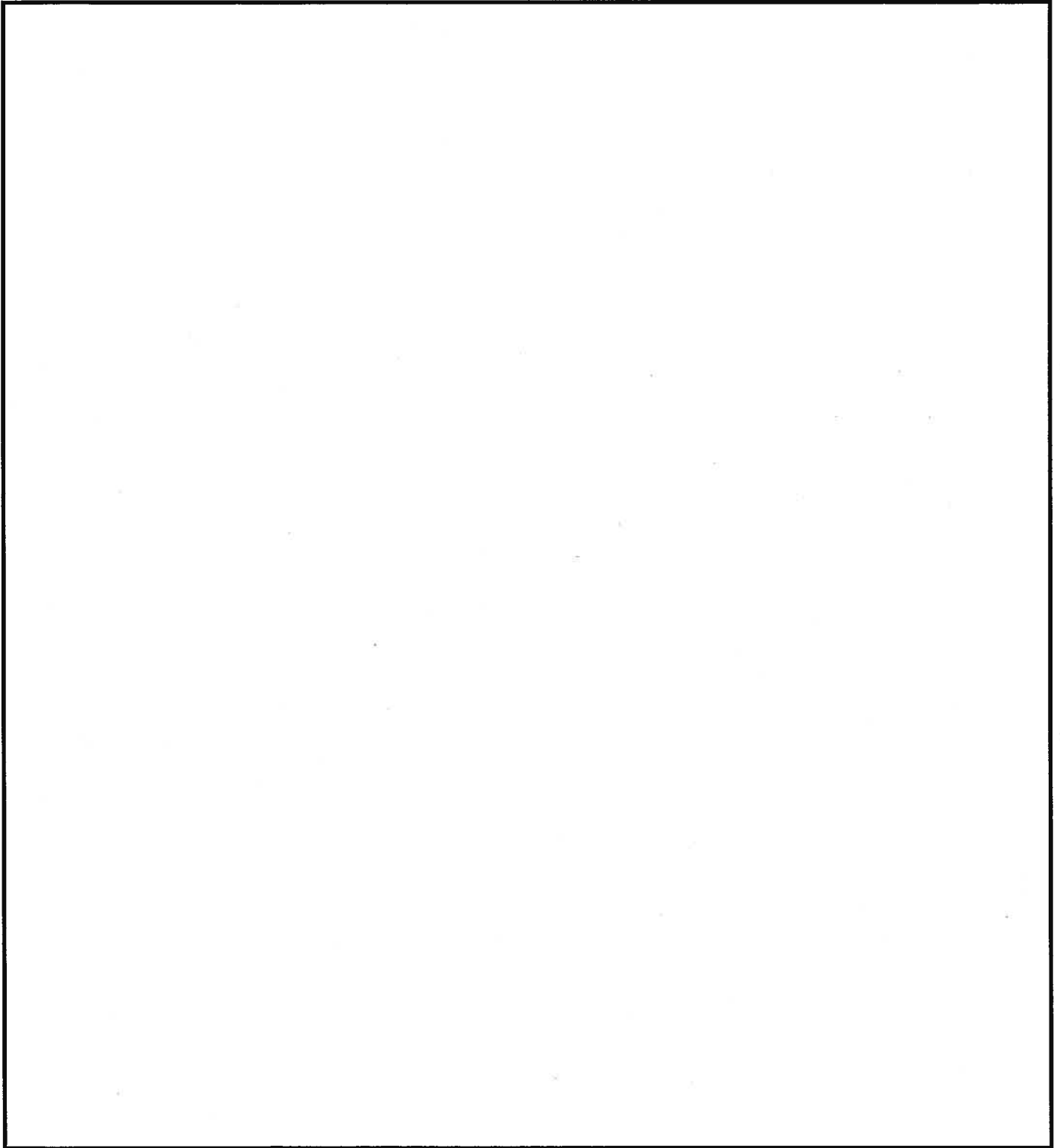


図 3-3 (39) ガラス固化技術開発施設(TVF)の管理区域  
(ガラス固化技術開発施設(TVF) 3階)

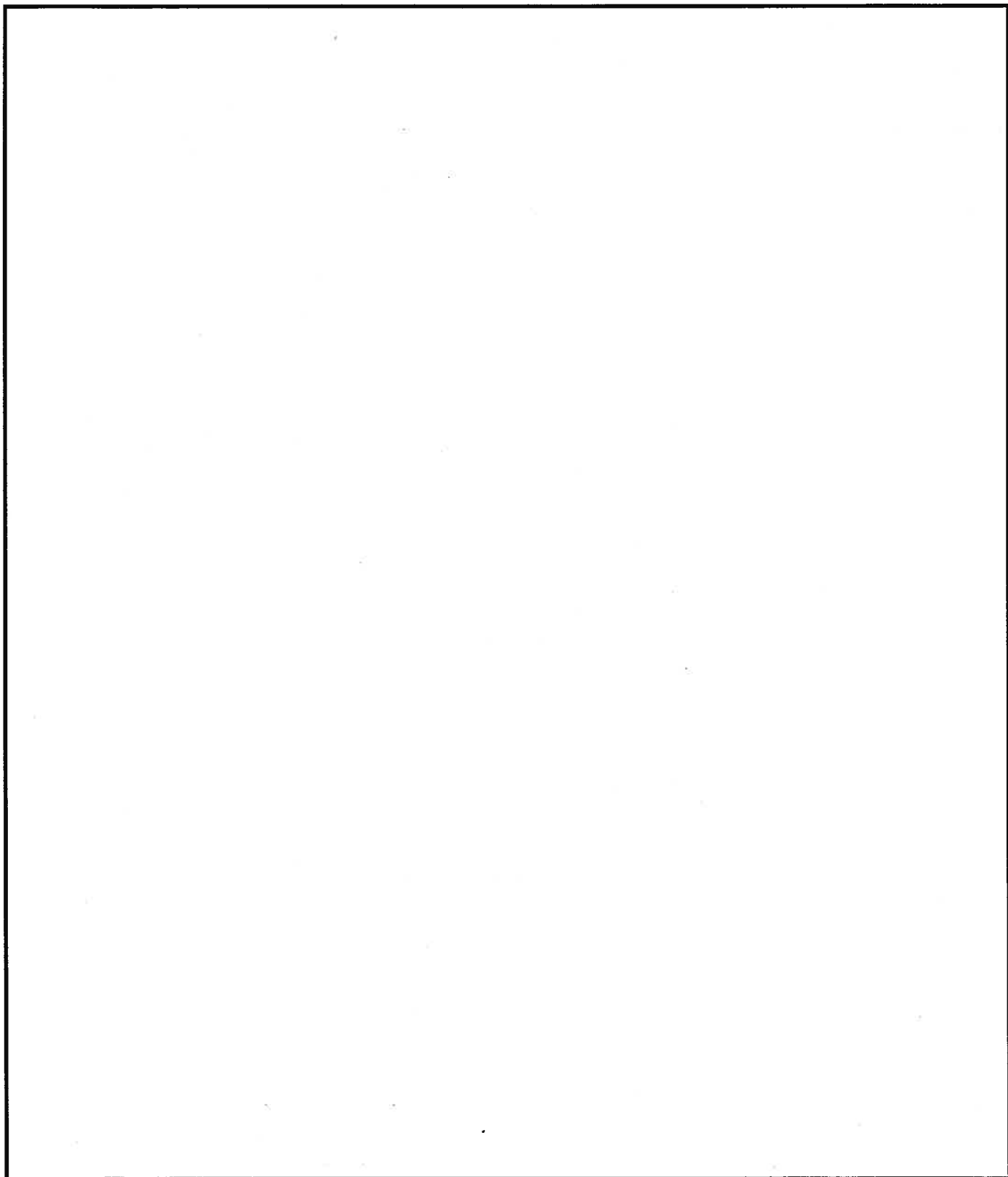


図 3-3 (40) 高放射性固体廃棄物貯蔵庫 (HASWS) の管理区域  
(高放射性固体廃棄物貯蔵庫 (HASWS) 1 階, 2 階, 3 階)

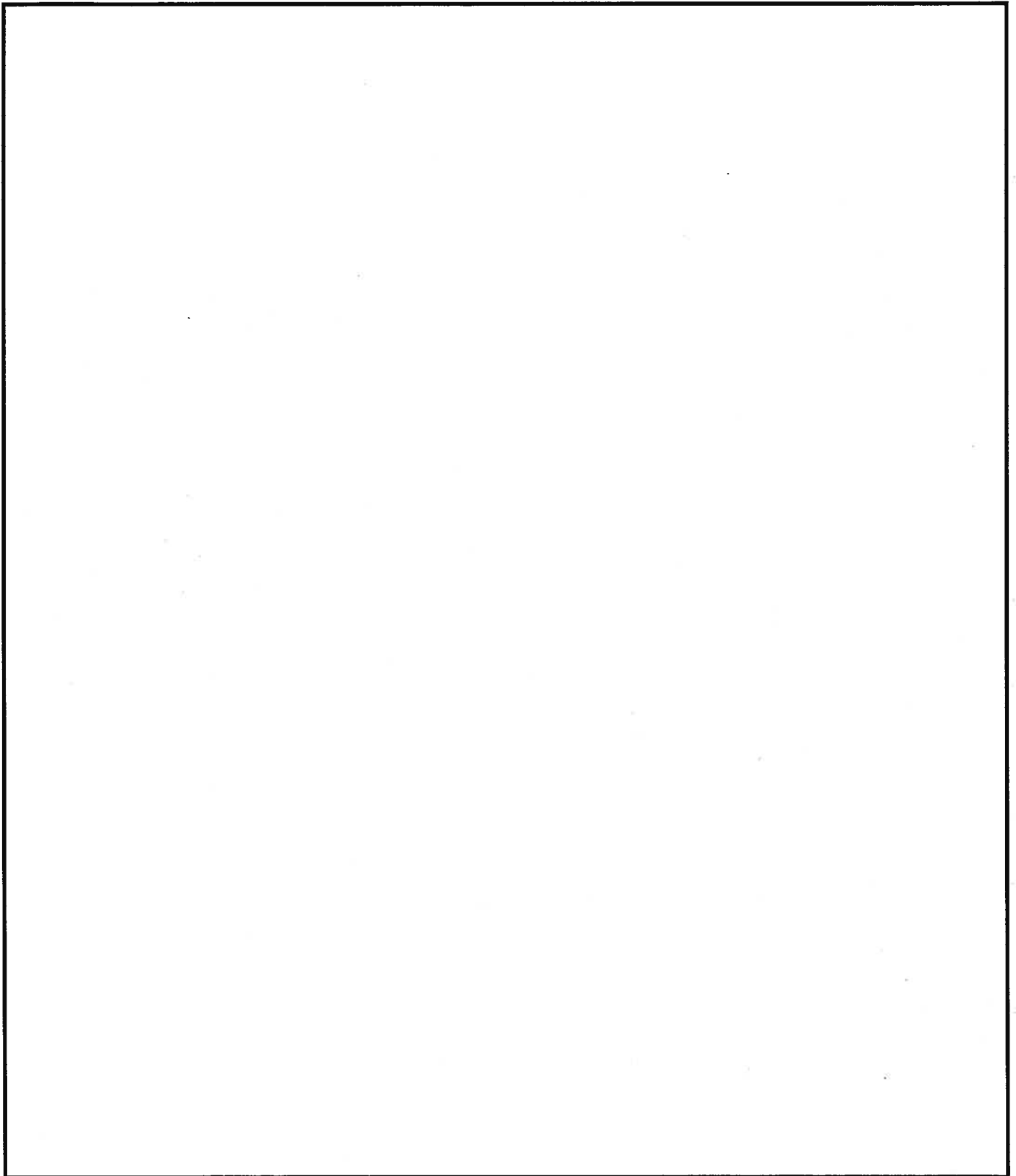


図 3-3 (41) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS)の管理区域  
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS) 地下 2 階)



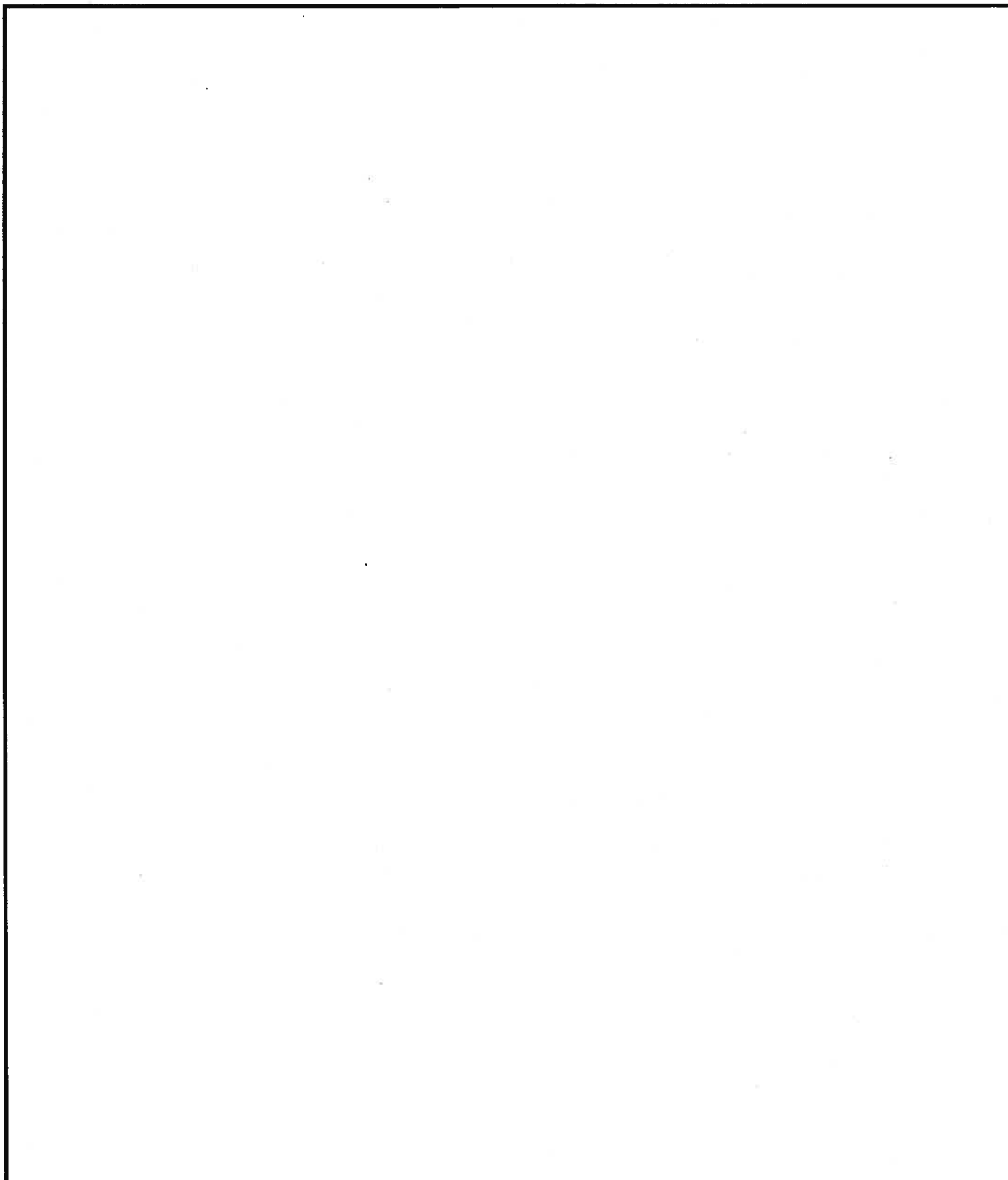


図 3-3 (42) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS)の管理区域  
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS) 中地下 2 階)

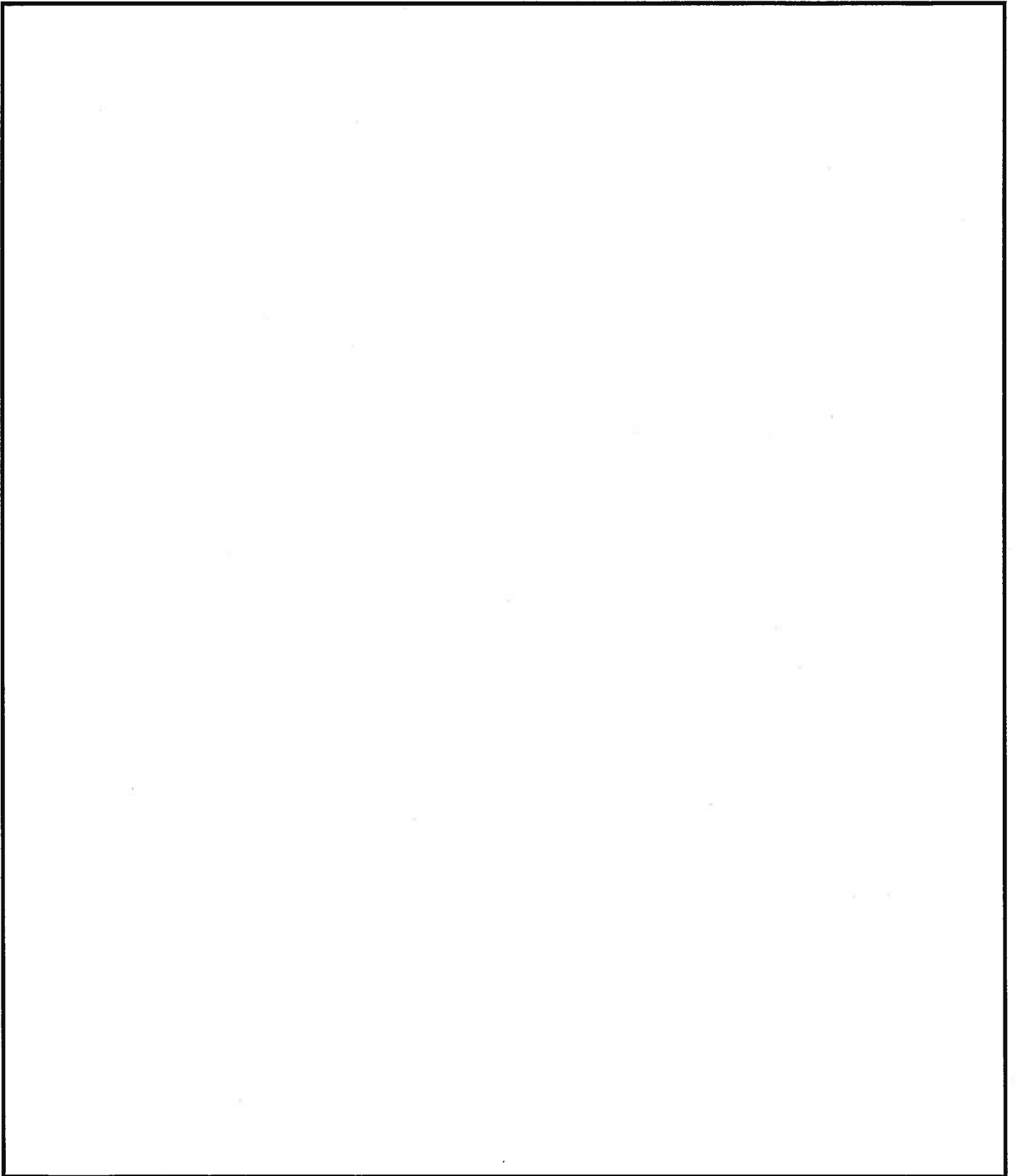


図 3-3 (43) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS)の管理区域  
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS) 地下1階)

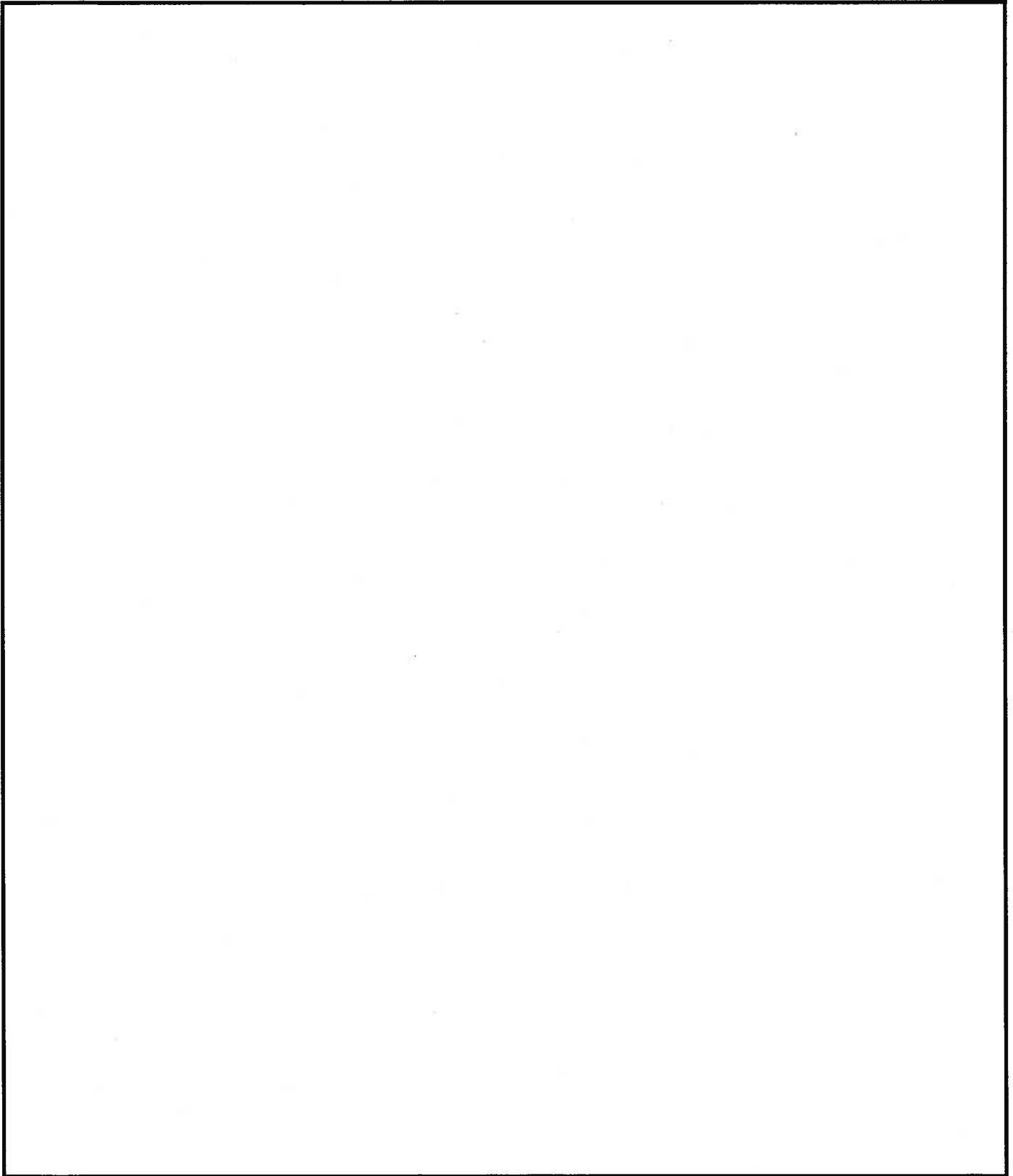


図 3-3 (44) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS)の管理区域  
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS) 中地下 1 階)

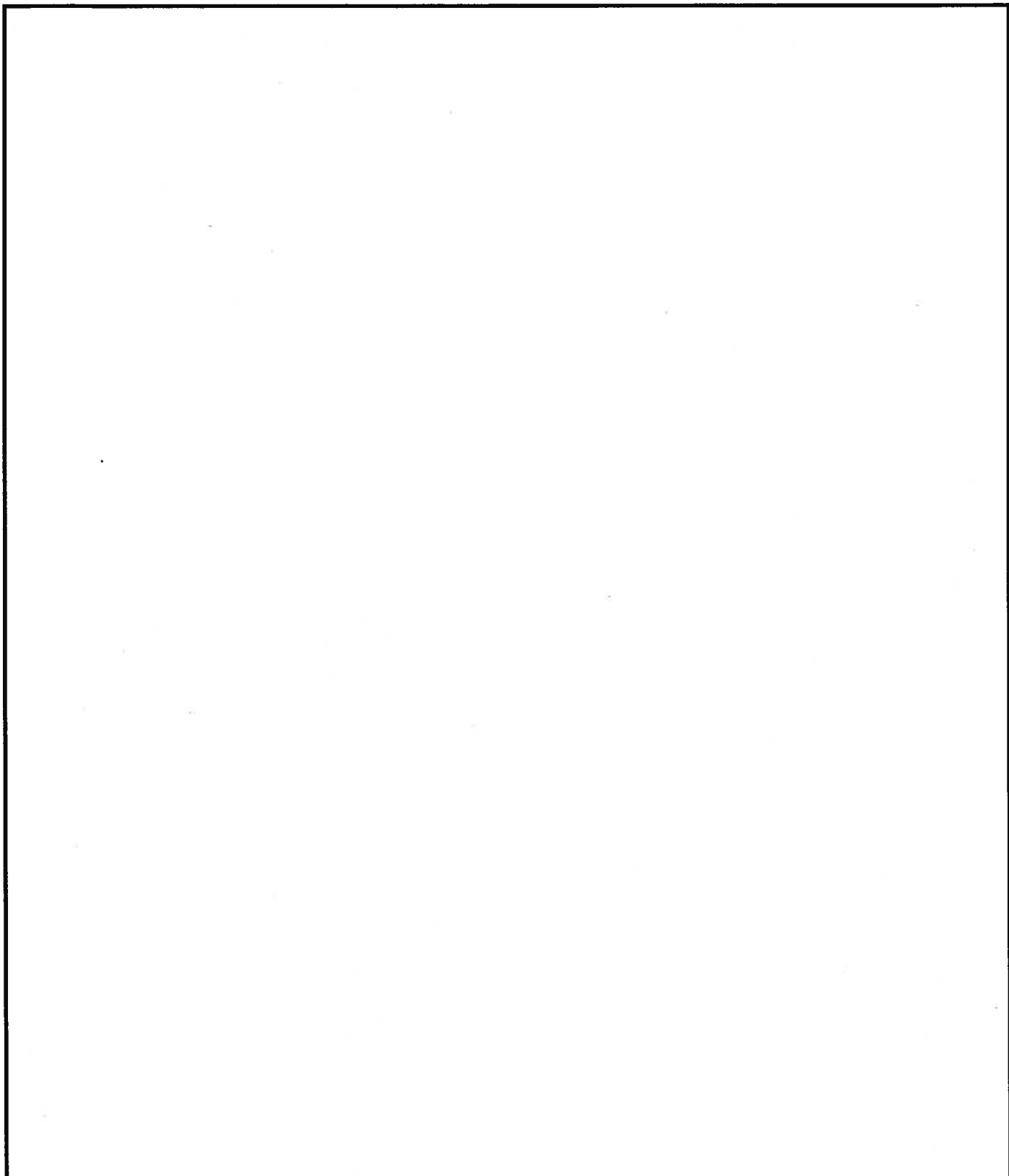


図 3-3 (45) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS)の管理区域  
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS) 1階)

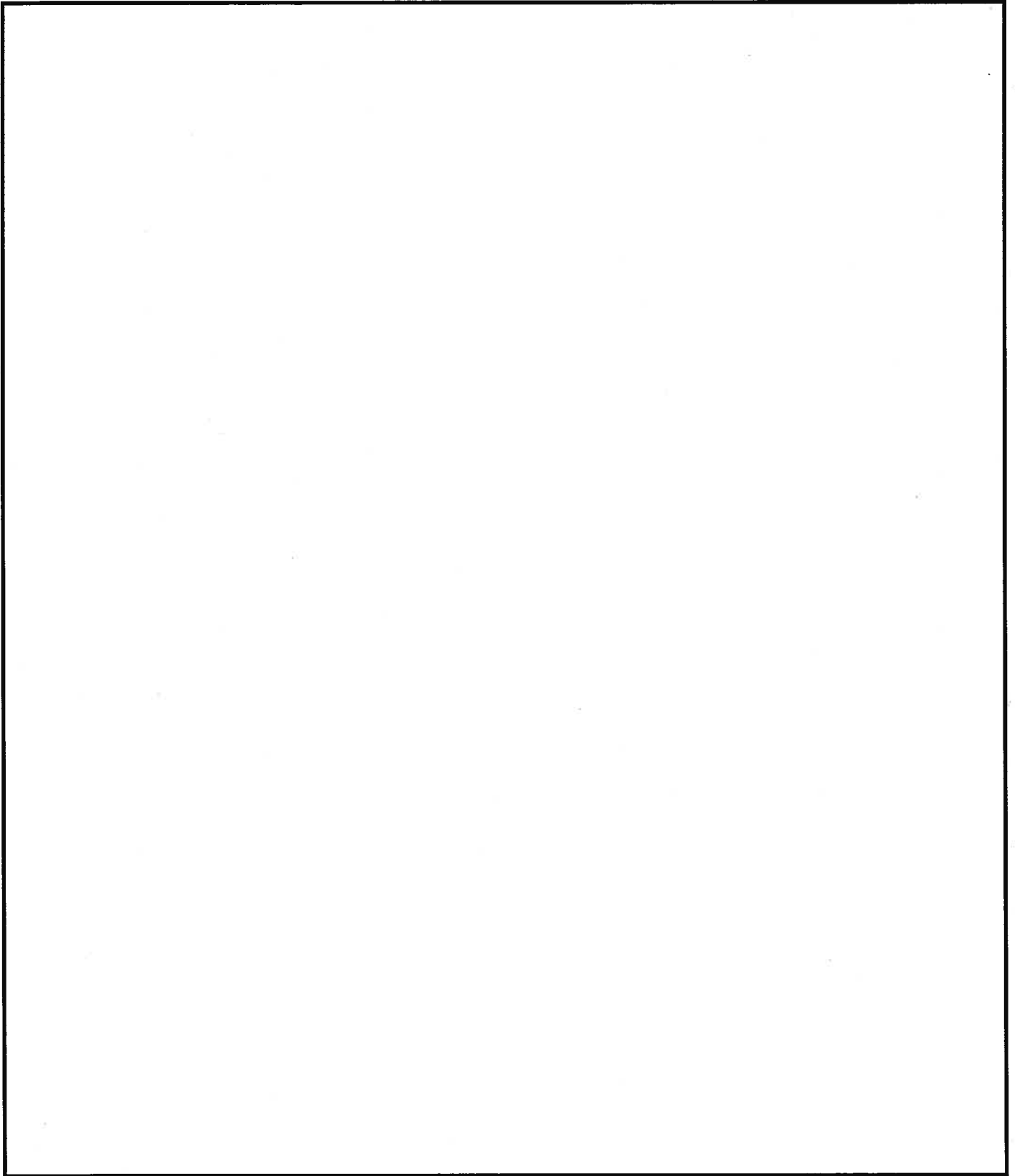


図 3-3 (46) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS)の管理区域  
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS) 中 2 階)

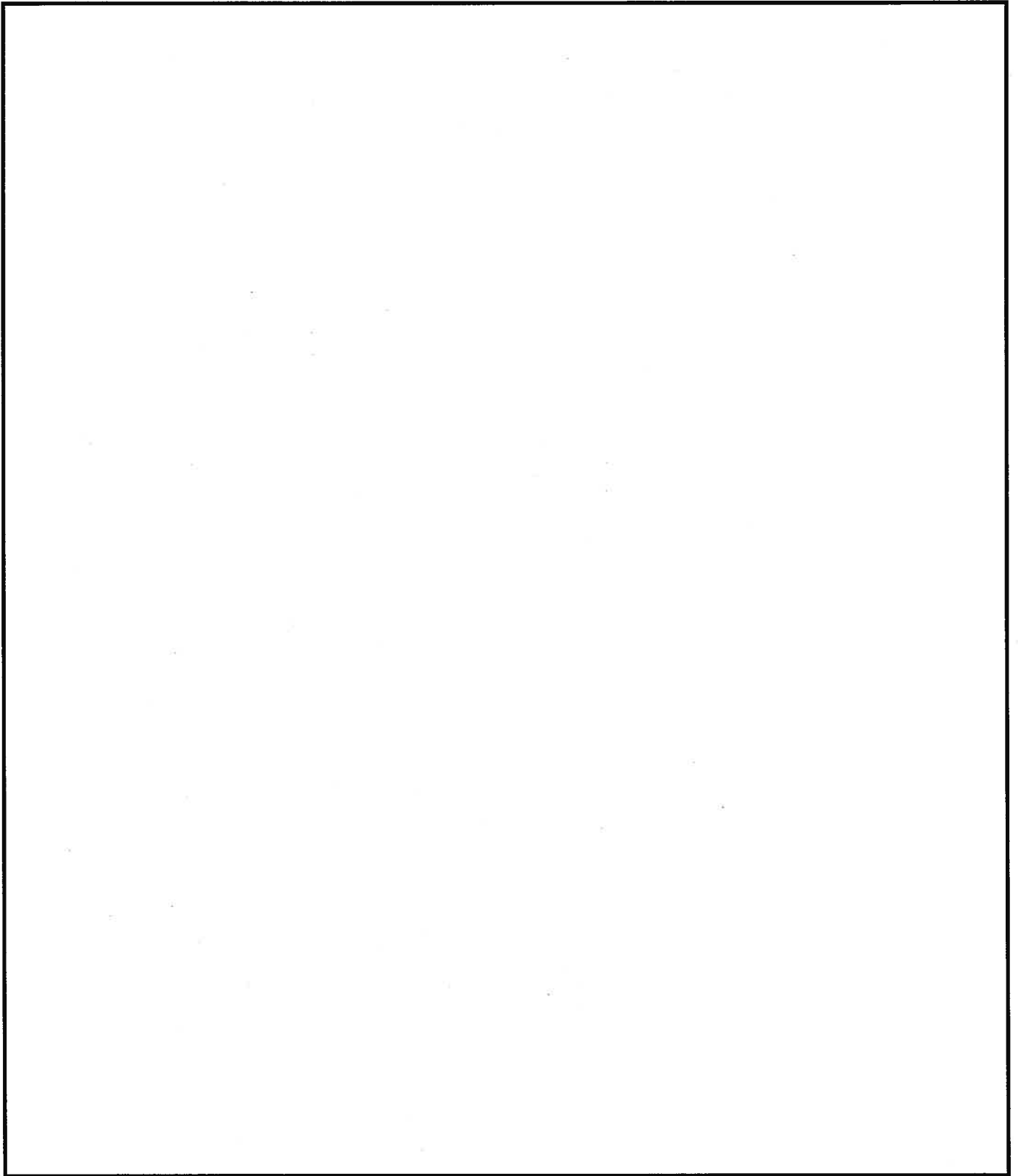


図 3-3 (47) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS)の管理区域  
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS) 2階)

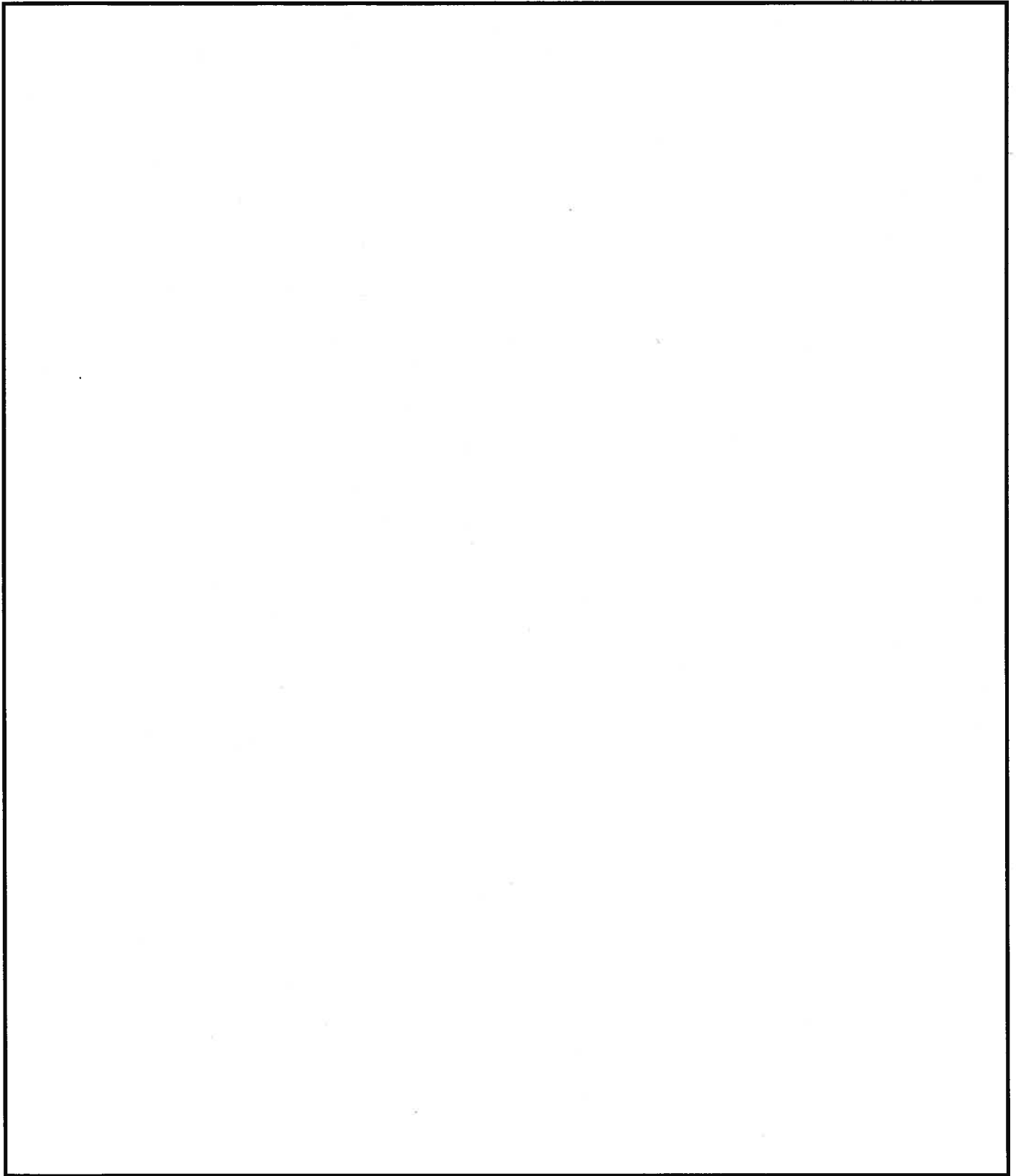


図 3-3 (48) 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS)の管理区域  
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設(2HASWS) 3階)

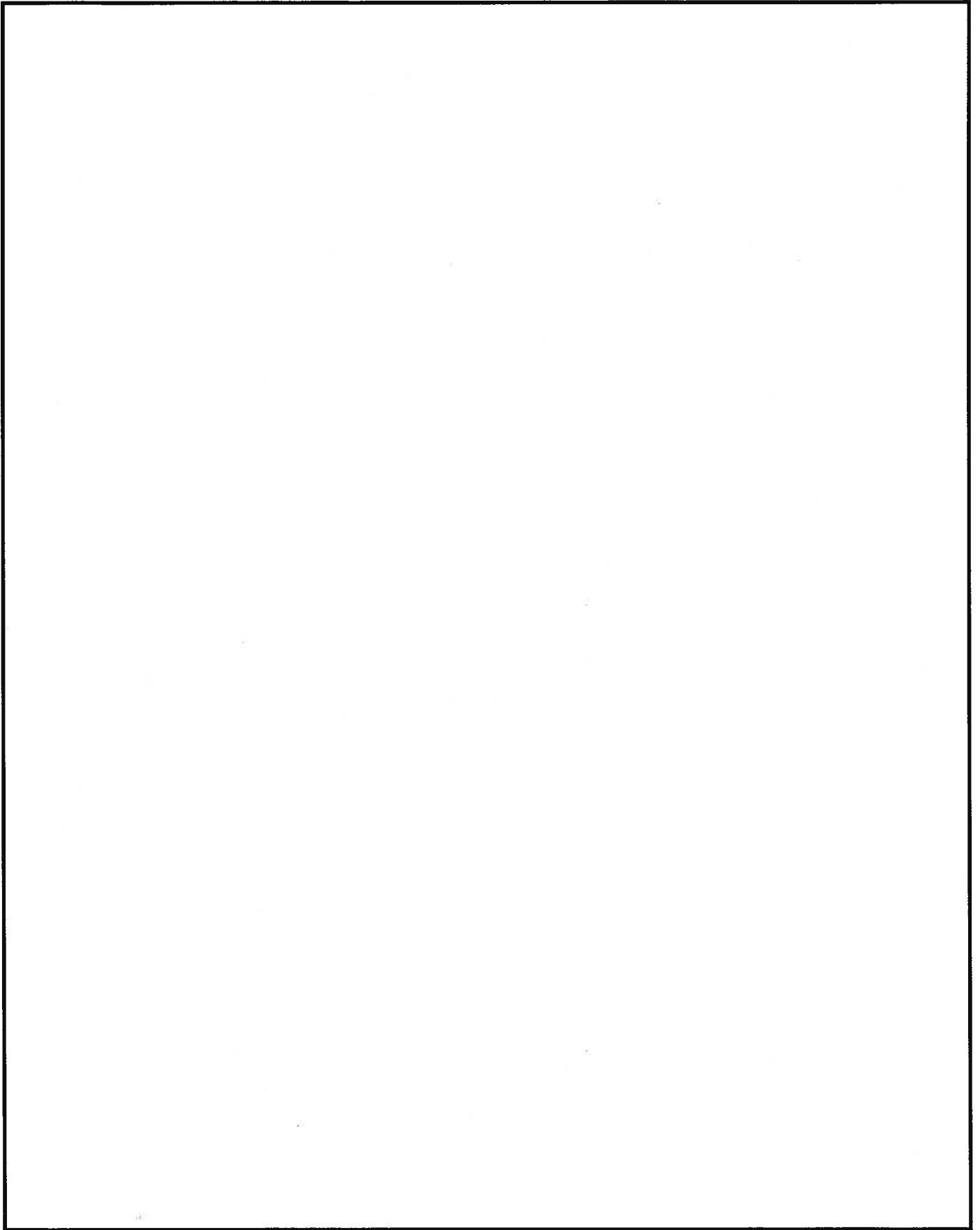


図 3-3 (49) 廃棄物処理場(AAF)の管理区域  
(廃棄物処理場(AAF) 地下1階, 地下中2階)



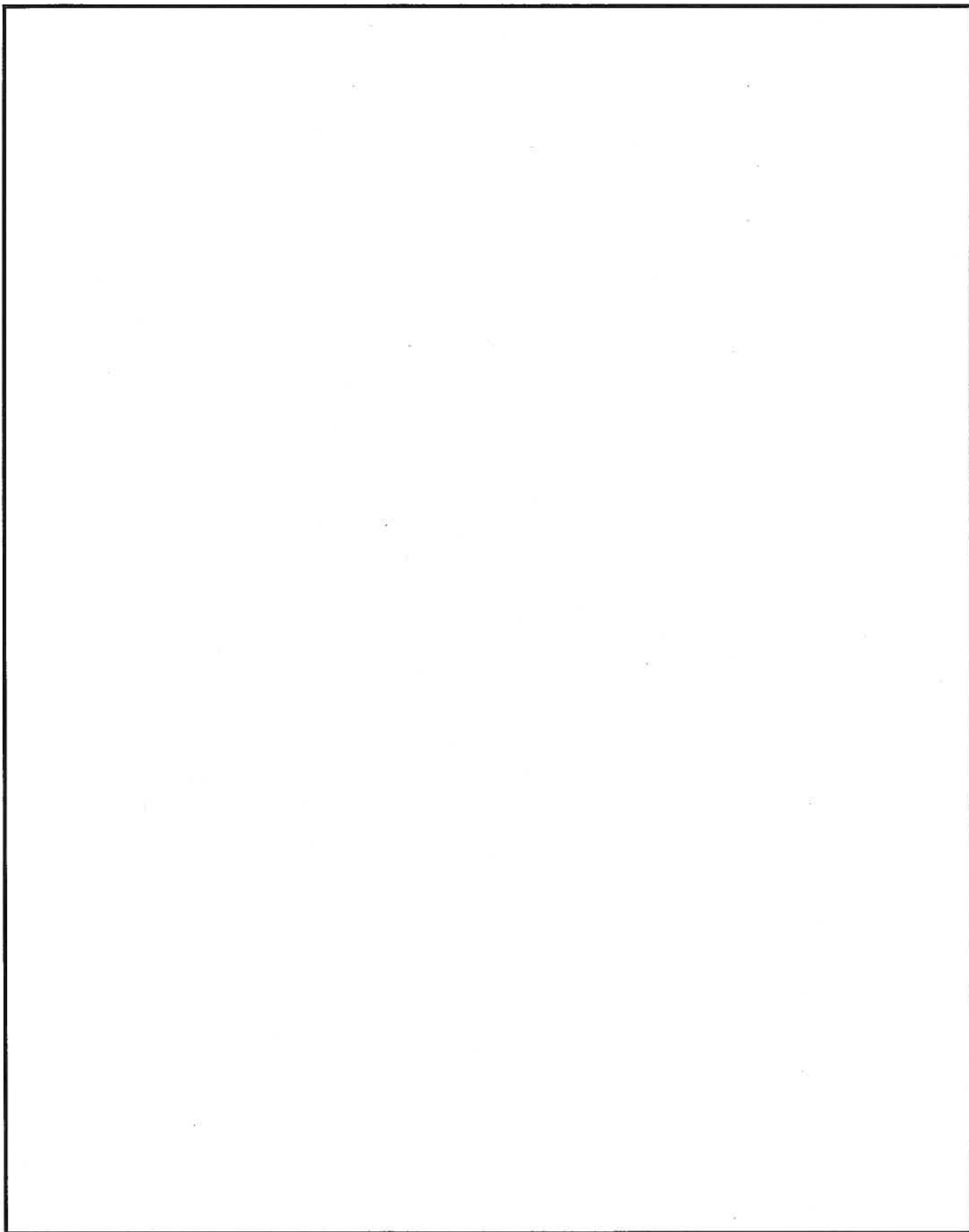


図 3-3 (50) 廃棄物処理場(AAF)の管理区域  
(廃棄物処理場(AAF) 1階, 2階)

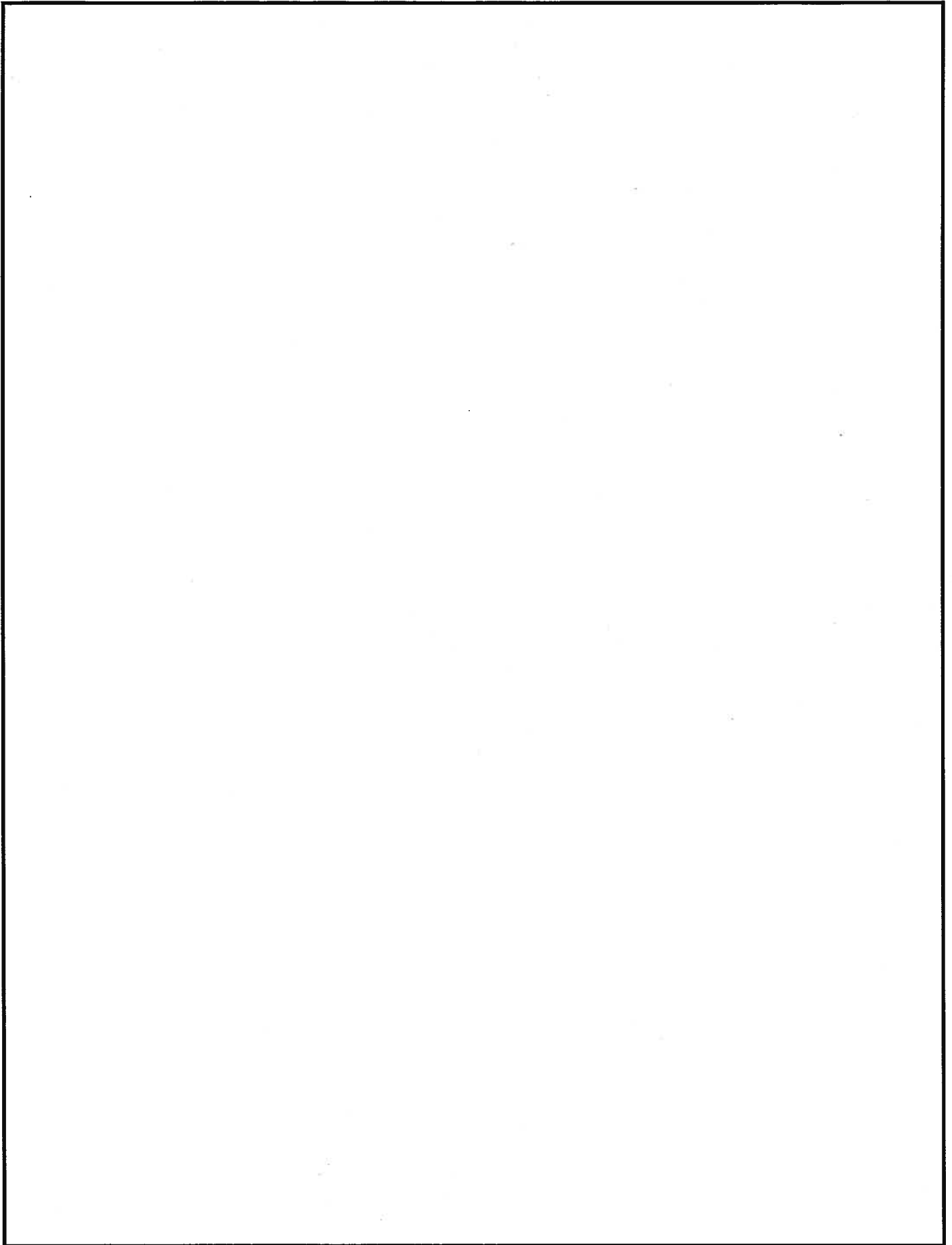


図 3-3 (51) 廃棄物処理場(AAF)の管理区域  
(廃棄物処理場(AAF) 中 3 階, 3 階)

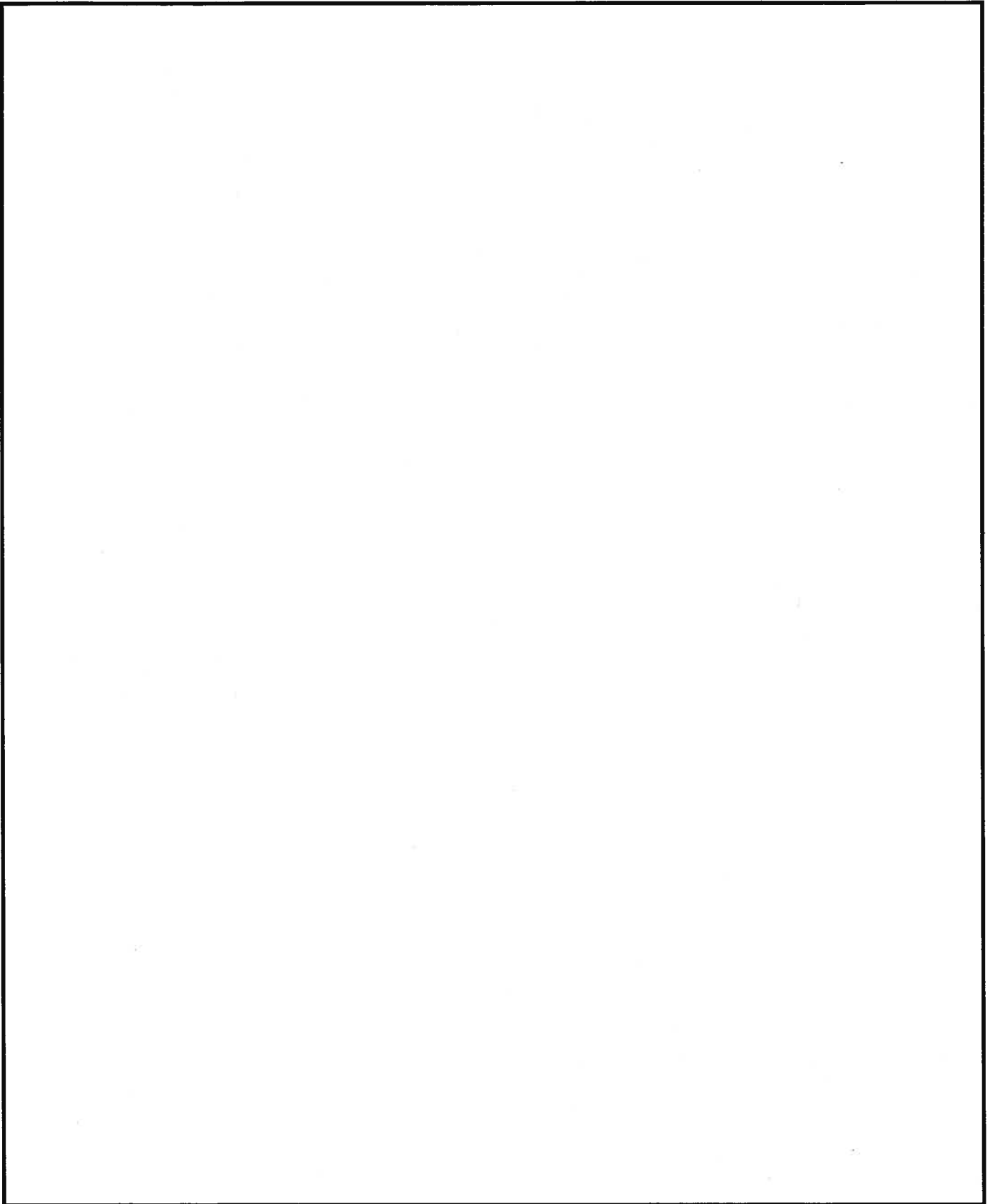


図 3-3 (52) 第二低放射性廃液蒸発処理施設(E)の管理区域  
(第二低放射性廃液蒸発処理施設(E) 地下1階)

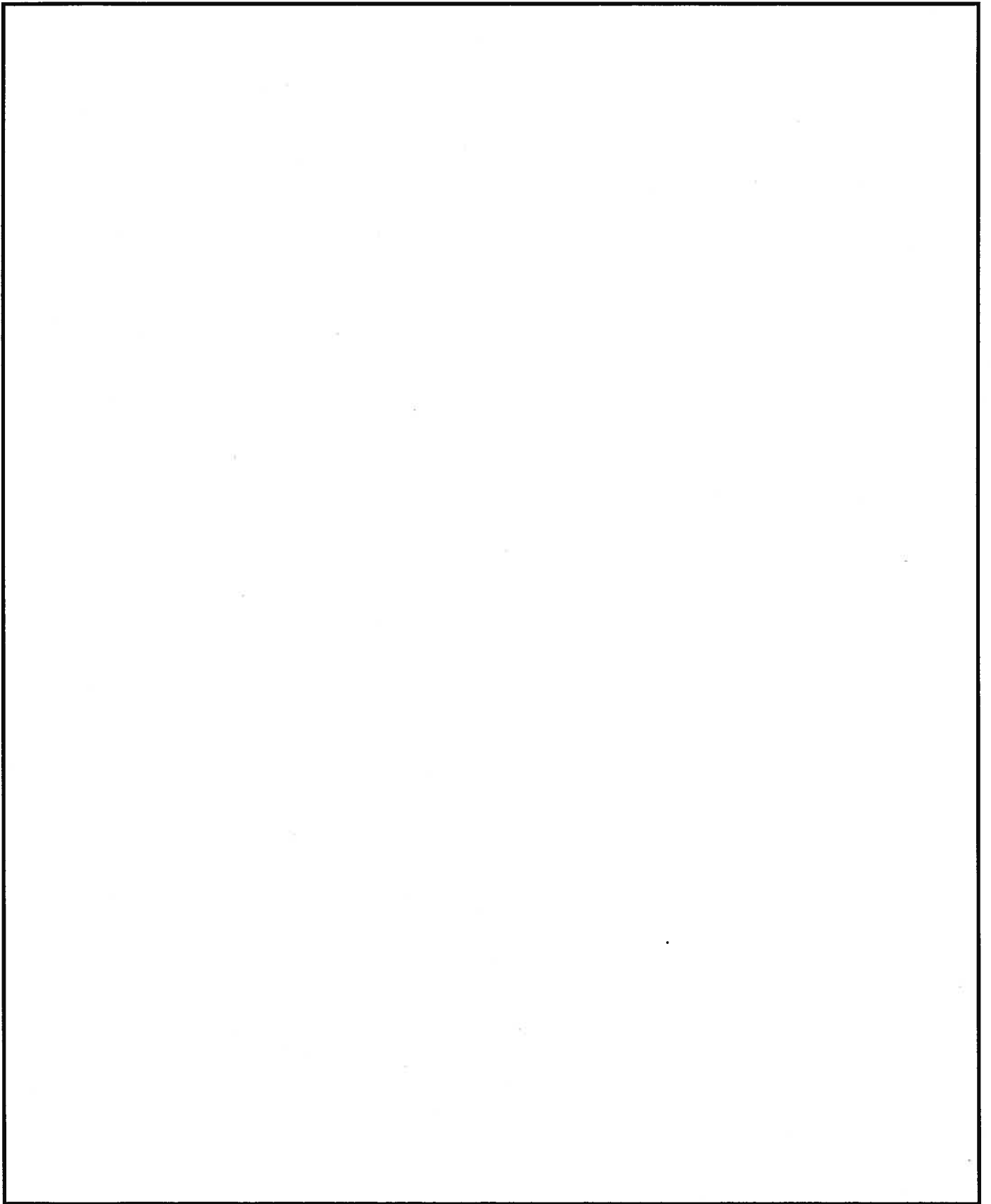


図 3-3 (53) 第二低放射性廃液蒸発処理施設(E)の管理区域  
(第二低放射性廃液蒸発処理施設(E) 1階)

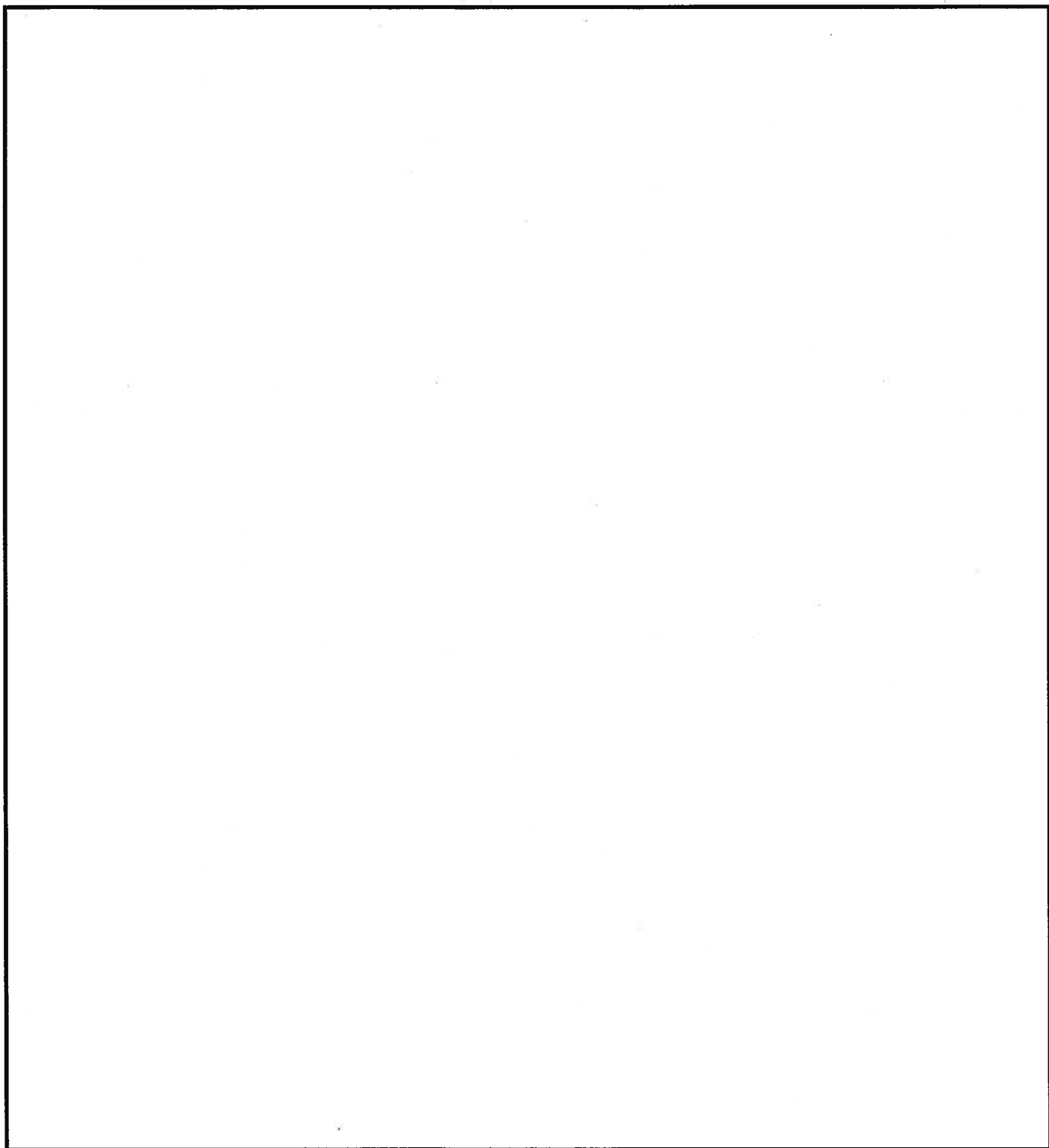


図 3-3 (54) 第二低放射性廃液蒸発処理施設(E)の管理区域  
(第二低放射性廃液蒸発処理施設(E) 2階)

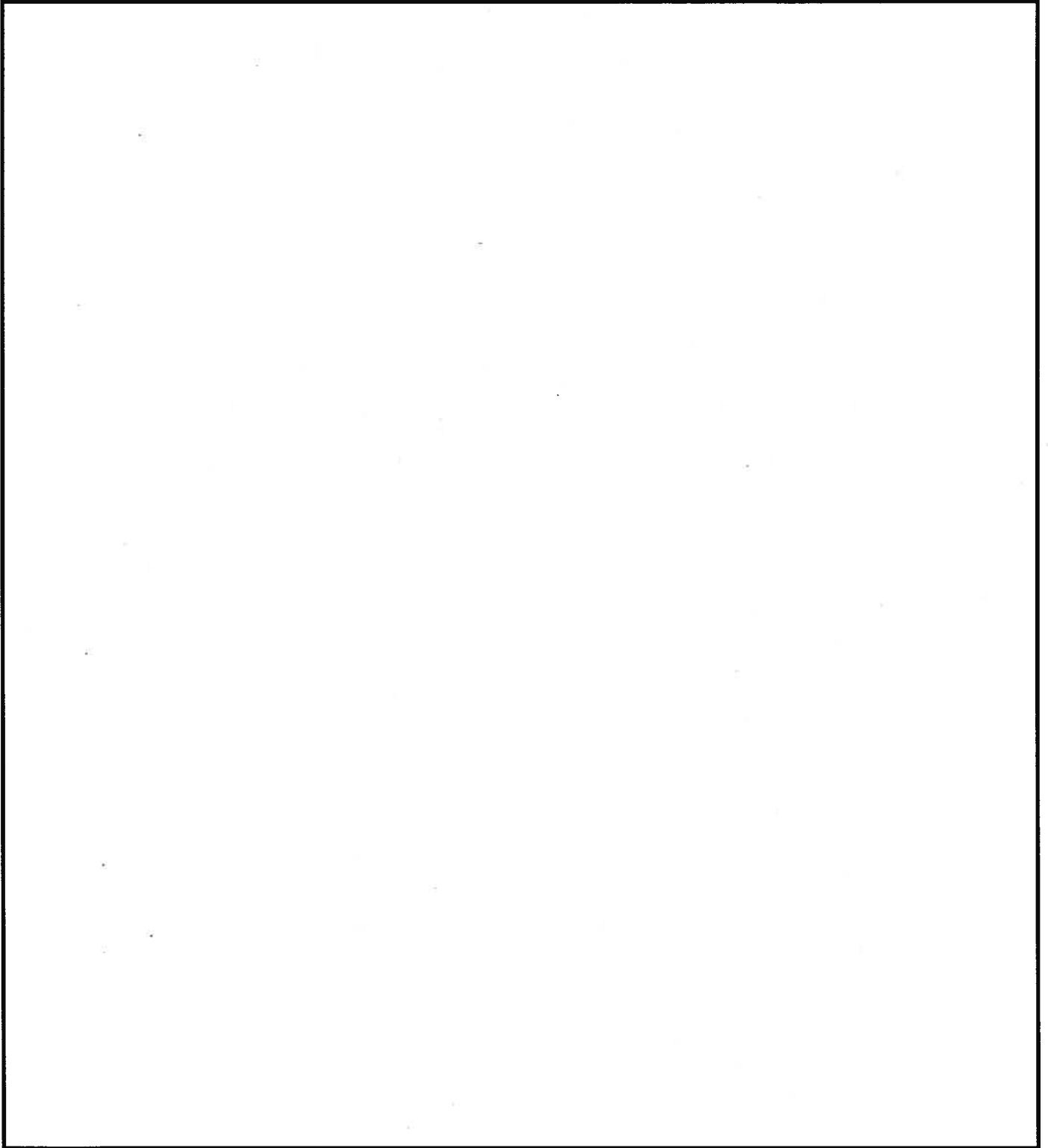


図 3-3 (55) 第二低放射性廃液蒸発処理施設(E)の管理区域  
(第二低放射性廃液蒸発処理施設(E) 3階)

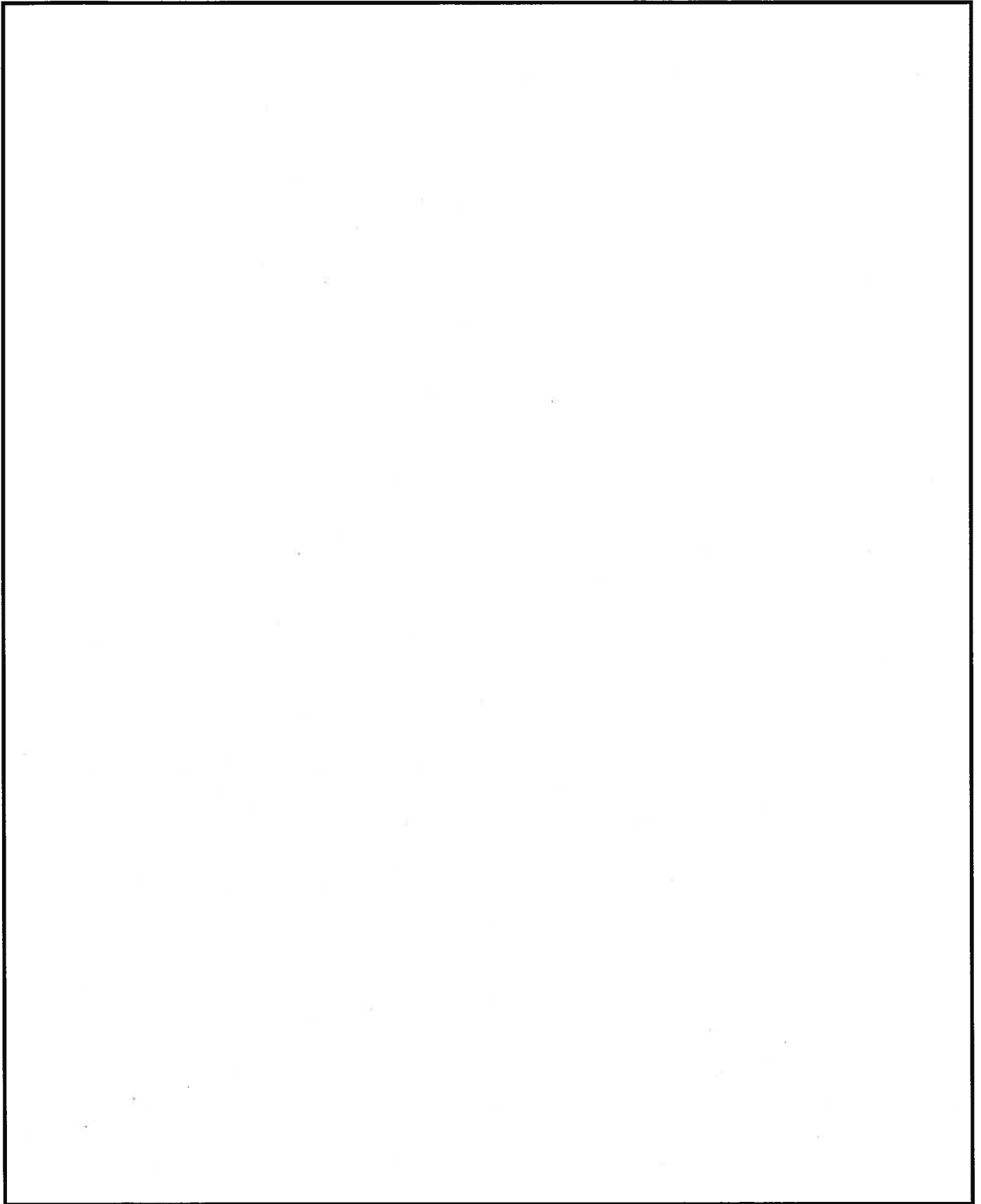


図 3-3 (56) 第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z)の管理区域  
(第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z) 地下2階)

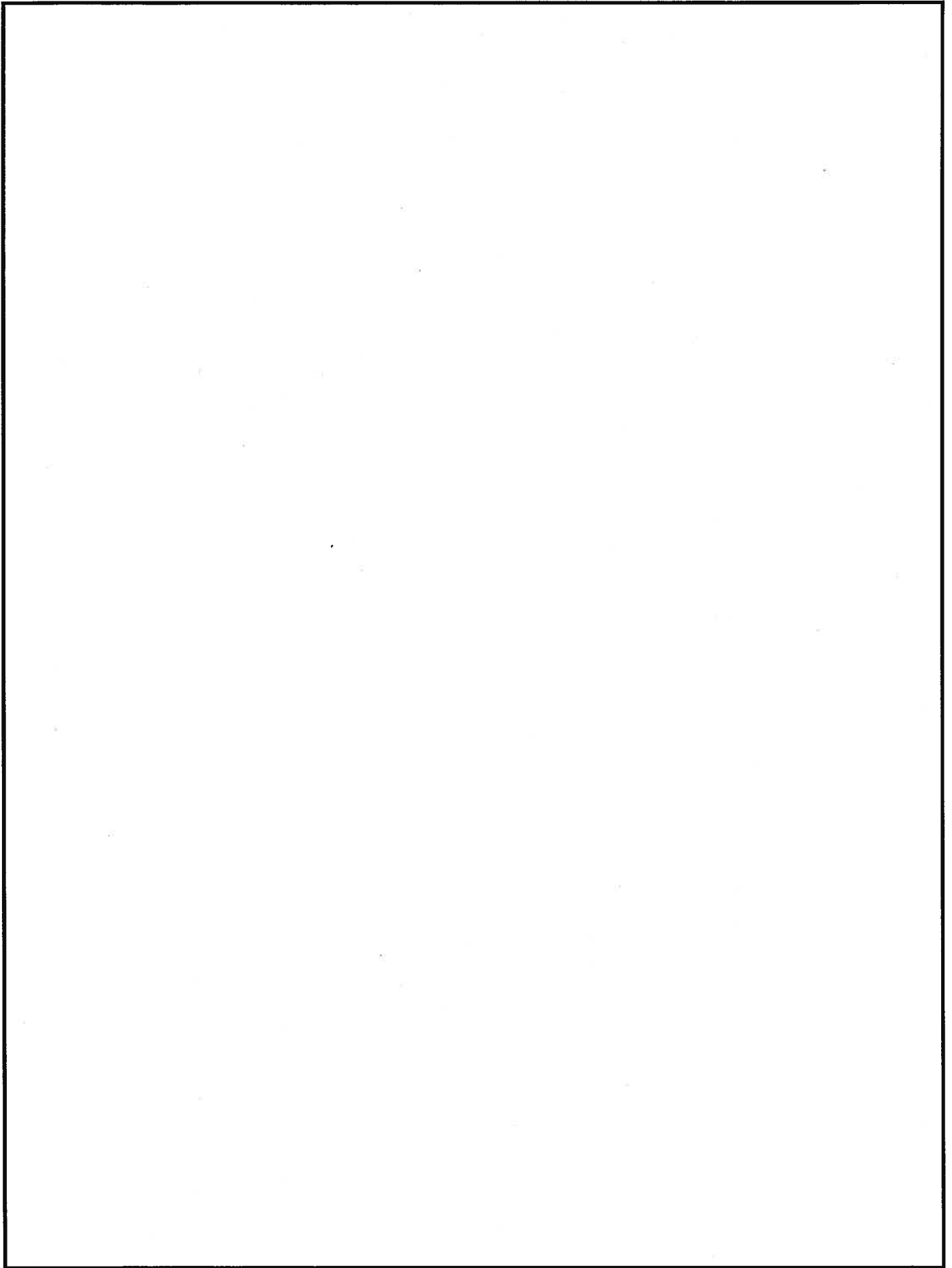


図 3-3 (57) 第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z)の管理区域  
(第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z) 地下1階)



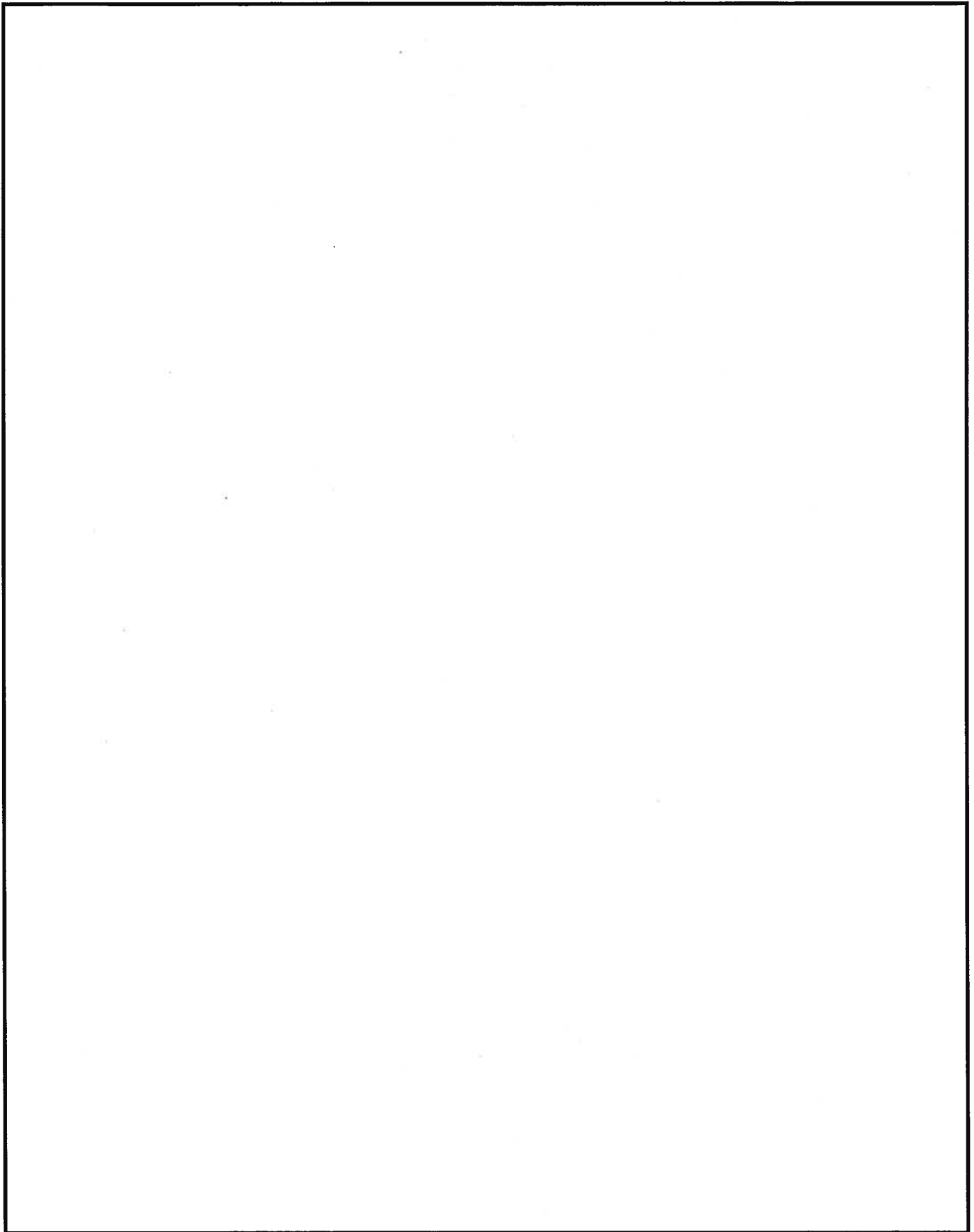


図 3-3 (58) 第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z)の管理区域  
(第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z) 1階)

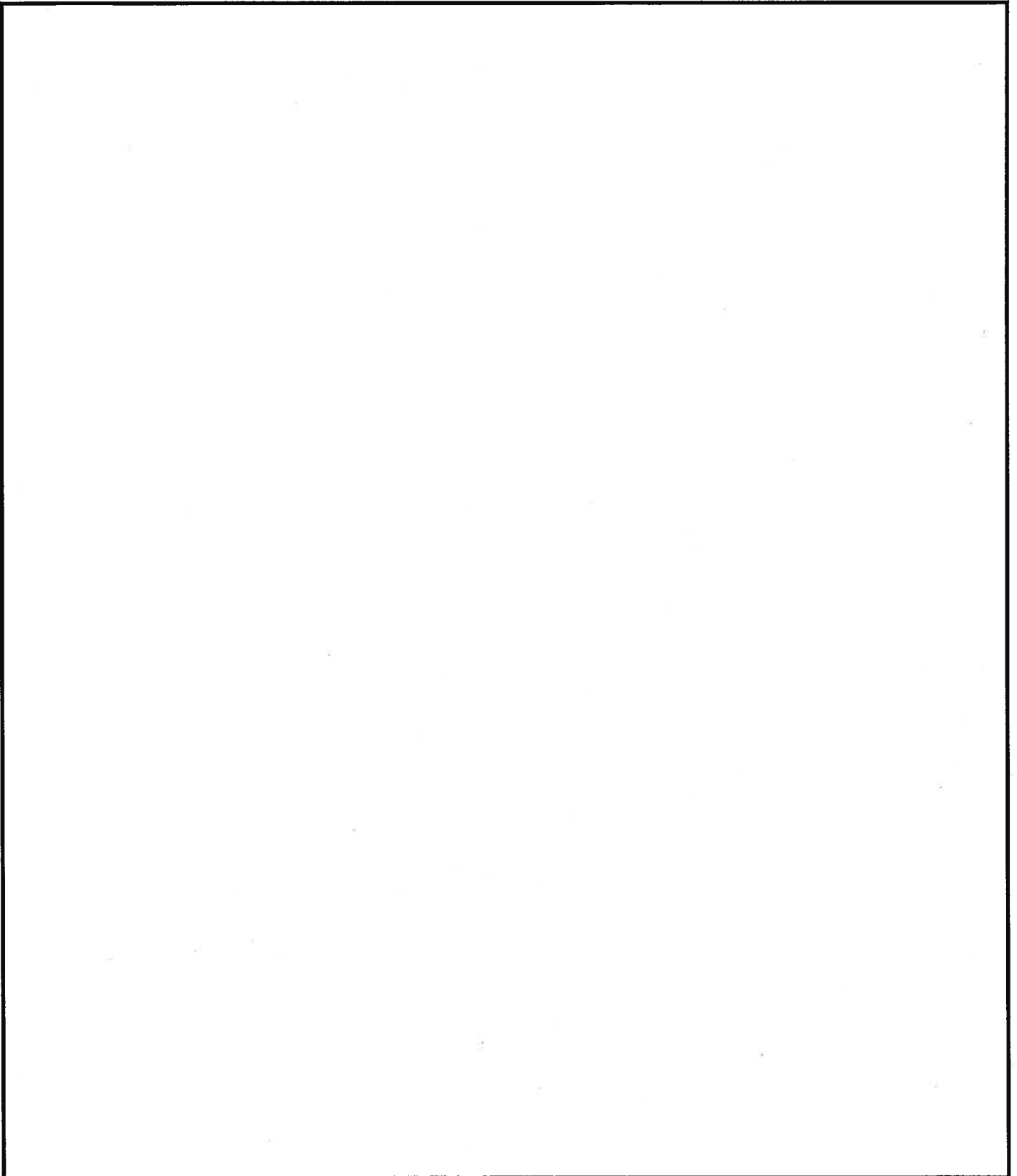


図 3-3 (59) 第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z)の管理区域  
(第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z) 2階)

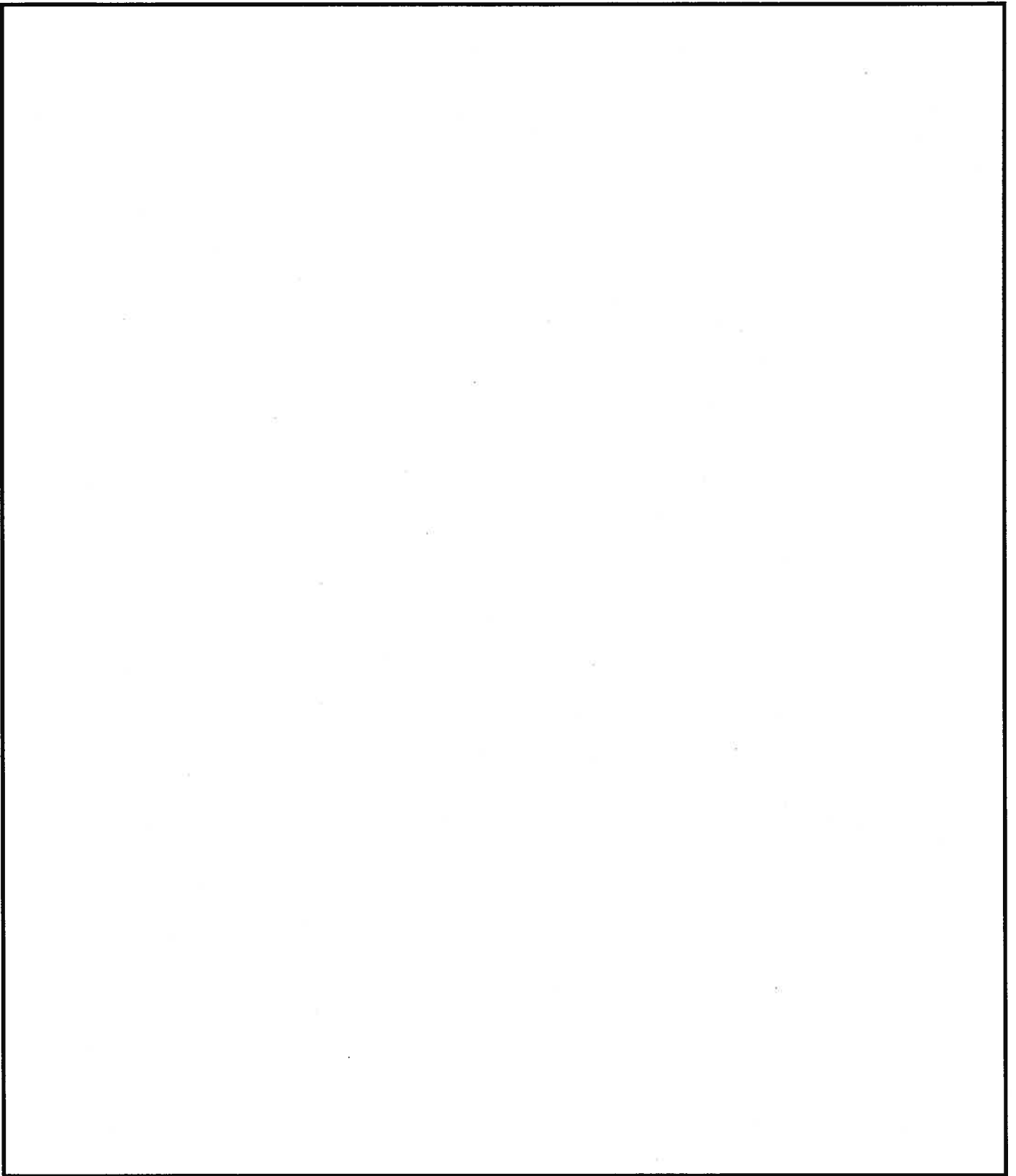


図 3-3 (60) 第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z)の管理区域  
(第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z) 3階)

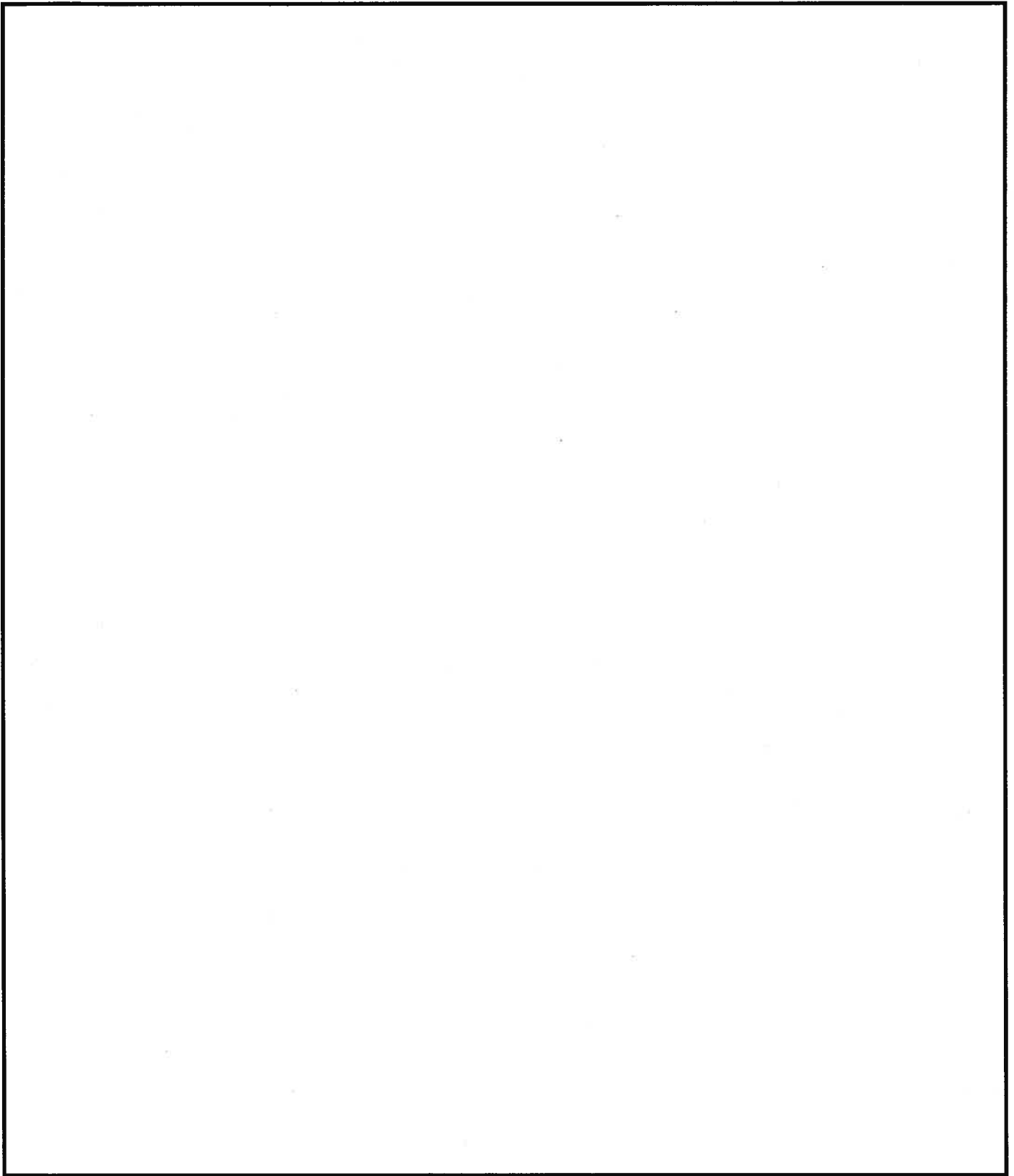


図 3-3 (61) 第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z)の管理区域  
(第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z) 4階)